取扱説明書

FOMA® P704iμ '07.8

ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「FOMA P704iμ」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FOMA P704iμは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。
  しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書では、ディスプレイの「待受画面」を「OFF」、デスクトップの「お知らせアイコン」や「貼り付けアイコン」を削除した状態で記載しています。
- 操作の方法は、スクロール選択で説明しています。⇒P.31
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

本書の引きかたについて

次のような方法で、説明ページが探せます。（詳しくは次ページ）

索引から	機能名・サービス名で探せます。
かんたん検索から	よく使う機能や知っていると便利な機能がわかりやすい言葉で探せます。
表紙インデックスから	インデックス→章扉→本文の順に探せます。

基本機能を簡潔に説明しています。切り離して使えます。
また、クイックマニュアル「海外利用編」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

ボタンの表記について

本書では、ボタンの表記を省略しています。

実際のボタン	本書での表記
1 あ	1

◆本書で使用の各ボタンイラストについて⇒P.24「各部の名称と機能」

操作手順の記載について

本書では、メインメニューに表示される大項目アイコンを「モザイクタイル」（お買い上げ時）で記載しています。⇒P.31

- 大項目アイコンを、「メニューアイコン設定」（⇒P.115）で変更すると、本書の大項目アイコンの表示に差異が生じます。あらかじめご了承ください。
  「ブラックオニキス」「スクロール」の場合は、大項目アイコンが英語で表示されます。

- この「FOMA P704iμ 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA P704iμ」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについて⇒P.294
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

「アラーム」を検索する方法を例にして説明します。

索引から

▶▶P.446

機能名称やサービス名称などを
右記の例のように探します。

かんたん検索から

▶▶P.4

よく使う機能や
知っていると便利な機能を
右記の例のように探します。

こんなこともできます

表紙インデックスから

▶▶表紙

右記の例のように
「表紙」
→「章扉(章の最初のページ)」
→「説明ページ」の順に
設定したい機能を探します。

P.325「アラームを利用する」の説明ページへ

画面に表示される選択肢と説明を記載しています。

操作する際にポイントとなる画面を記載しています。お使いのFOMA端末と照らし合わせてご覧ください。(数値や設定、任意に入力する文字などはすべて一例です)

注：上記のページはサンプルです。

かんたん検索

知りたい機能の操作方法を調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

こんなこともできます

◆よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。⇒P.454

目次

FOMA P704iμの主な機能

FOMA(Freedom Of Mobile multimedia Access)とは、第3世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格の1つと認定された「W-CDMA方式」をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ!

iモードはiモード端末のディスプレイを利用して、iモードメニューサイト(番組)やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

◆iモーション/iモーションメール

▶▶P.190、P.208、P.218

サイトやインターネットから映像や音楽を取得して楽しめます。
また、内蔵カメラで撮影した動画や、サイトやインターネットから取得したiモーションをiモードメールに添付して送れます。

◆デコメール

▶▶P.198

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
また、テンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を保存し、簡単にデコメールを作成できます。

◆着うた®/着モーション

▶▶P.102、P.112

保存したiモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定できます。

- 「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

◆国際ローミング

▶▶P.380

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます。(3Gローミングエリアのみ対応)
音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

◆あんしん設定

▶▶P.125

各種ロック機能やセキュリティ設定などの「あんしん」のための各種設定をご利用いただけます。

■おまかせロック ▶▶P.130

FOMA端末を紛失した際にFOMA端末にロックがかけられ、申し出により解除できます。
お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご参照ください。
なお、おまかせロックは有料サービス※です。
※ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

- おまかせロックは、ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

■電話帳お預かりサービス ▶▶P.142

FOMA端末の電話帳、静止画、メールをお預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータをFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理ができ、編集したデータをFOMA端末に反映できます。
電話帳お預かりサービスご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

◆ネットワーク

▶▶P.360

- 留守番電話サービス(有料)
  ・お申し込みが必要となります。
- キャッチホン(有料)
  ・お申し込みが必要となります。
- 転送でんわサービス(無料)
  ・お申し込みが必要となります。
- デュアルネットワークサービス(有料)
  ・お申し込みが必要となります。
- マルチナンバー(有料)
  ・お申し込みが必要となります。
- SMS(ショートメッセージ)(無料)
  ・お申し込みは不要です。

◆マルチアクセス　マルチタスク

▶▶P.320、P321

FOMA端末は、音声電話とｉモード(またはパケット通信によるデータ通信)を同時に使うことができる「マルチアクセス」に対応しています。マルチアクセスとは別にSMSも同時に使用できます。
また、複数のメニュー機能を同時に使用できる「マルチタスク」にも対応しています。

◆カメラ機能

▶▶P.146

2つのカメラ(インカメラ・アウトカメラ)を使って、静止画や動画を撮影できます。また、連続撮影のオートブラケットモードでは、色調や明るさを1枚ずつ変化させながら、自動で9枚の連続撮影ができます。
アウトカメラでは、カメラ有効画素数約130万画素・最大記録画素数約120万画素の高画質画像を撮影できます。

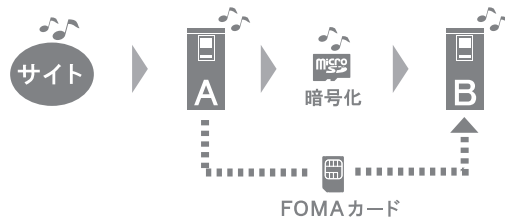
◆Feel＊Talk

▶▶P.116

Feel＊Talk(フィール・トーク)とは、45種類のキャラクタの動きと、着信／充電ランプを点灯／点滅させることによって「会話」の雰囲気を再現する機能です。
Feel＊Talkを設定すると通話終了後、待受画面にFeel＊Talk画像を再生します。通話終了後にFOMA端末を閉じたとき、着信／充電ランプをFeel＊Talkに連動させて点灯／点滅させることができます。

◆着うた®をmicroSDメモリーカードに保存する

▶▶P.260、P.300

コンテンツ移行対応により、著作権のある着うた®などをmicroSDメモリーカードに保存※1できます。
機能メニューから「microSDへ移動」を選択することにより、microSDメモリーカード内の「移行可能コンテンツ」フォルダに移動します。
また、ｉアプリデータをmicroSDメモリーカードに保存※2することもできます。保存したデータを他のFOMA端末で利用する場合は、保存した際のFOMAカードとmicroSDメモリーカードを利用する必要があります。

※1 コンテンツによっては保存できない場合もあります。
※2 ソフトによっては保存できない場合もあります。

FOMA P704iμを使いこなす！

◆テレビ電話

▶▶P.50

離れている相手と顔を見ながら会話できます。アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることができたり、自分の画像の代わりにキャラクタを表示させることも可能なキャラ電にも対応しています。
初期設定では相手の声がスピーカから聞こえるようになっているのですぐに会話を始めることができます。
また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。

テレビ電話の画面

◆着もじ

▶▶P.57

音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージを送り、用件を伝えることができます。
あらかじめ登録しておいたメッセージや送信済みのメッセージを選択して送ることもできます。

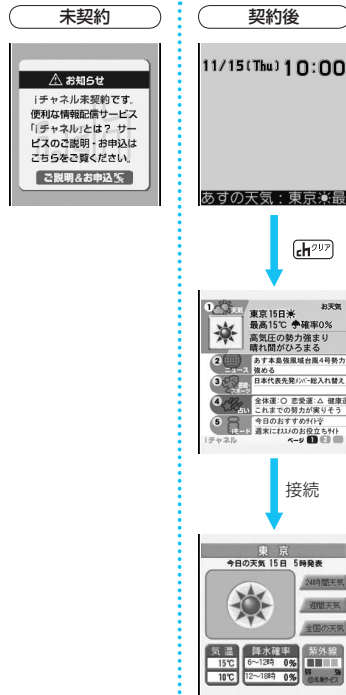
◆ｉチャネル

▶▶P.192

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
- ｉチャネルは、お申し込みが必要な有料サービスです。

未契約

契約後

接続

◆音楽再生

FOMA端末で音楽を再生する方法には次の3つがあります。

■ｉモーションプレーヤー　▶▶P.277

■メロディプレーヤー　▶▶P.290

■SDオーディオ　▶▶P.312
microSDメモリーカードに保存した音楽を再生します。音楽は付属CD-ROMの「SD-Jukebox」とパソコンを利用して、音楽CDなどからmicroSDメモリーカードに保存します。
- ●SDオーディオで音楽を聴きながらメールやサイトの表示（バックグラウンド再生）などを利用できます。⇒P.412

◆内蔵ｉアプリ ▶▶P.254

お買い上げ時には以下のｉアプリを含めて6つ登録されています。

■英会話とっさのひとこと辞典
場面別に分類された英会話辞典です。会話文がそのまま見出しになっていますので、場面･状況にあった、ぴったりの会話表現を見つけられます。

■通貨･単位換算ツール
＜通貨換算機能＞
円→ドル、ドル→ユーロなど、異なる通貨で金額を換算する機能です。通貨を選択し、金額を入力すると換算された金額が表示されます。

＜単位換算機能＞
長さ、重さなどを、世界各国で使用されている単位に換算する機能です。

安全上のご注意

必ずお守りください

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて〈共通〉

危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　P10
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA海外兼用ACアダプタ　01
FOMA DCアダプタ　01／02
卓上ホルダ　P23
FOMA乾電池アダプタ　01
FOMA補助充電アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01

※その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問合せください。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

警告

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

次ページにつづく

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

FOMA端末をアダプタ(充電器含む)に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うと、FOMA端末や電池パック・アダプタ(充電器含む)の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。

FOMA端末の取扱いについて

警告

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも自動車を安全な場所に停車してからご利用ください。
運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

注意

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
ディスプレイ側ケース(本体色:ビスクホワイト)	ステンレス	塗装
ディスプレイ側ケース(本体色:リュクスブラック)	ステンレス	ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
ディスプレイ側ケース(本体色:カクテルゴールド)	ステンレス	ニッケルメッキ下地にソフトユリジューム(スズ-銅合金)メッキ仕上げ
リアカバー	ステンレス	塗装
モード/ホームボタン、メモ/マナーボタン	ABS	アルミ塗装
電池パック収納面	ステンレス	—

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

リアカバーは、金属製のため取扱いにご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

次ページにつづく

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ(充電器含む)の取扱いについて

警告

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

濡れた手でアダプタ(充電器含む)のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V
(マイナスアース車専用)
海外で利用可能なACアダプタ
：AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)には触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

感電の原因となります。

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

アダプタ(充電器含む)をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ(充電器含む)コードや電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

注意

FOMAカード(IC部分)を取り外す際は切断面などにご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

警告

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱上のお願い

共通のお願い

■**水をかけないでください。**
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■**お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■**端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

■**エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■**FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。**
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

■**FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

■**極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■**一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■**お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■**ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。**
故障の原因となります。

■**ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
故障、破損の原因となります。

■**使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■**カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

■**電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■**初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
■直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ(充電器含む)から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
■落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。

アダプタ(充電器含む)についてのお願い

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
■充電中、アダプタ(充電器含む)が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
■お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
■極端な高温・低温は避けてください。
■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

カメラについてのお願い

■お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例(迷惑防止条例等)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘板シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「キラリメール」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「ｉモーションメール」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「Vライブ」「ｉチャネル」「セキュリティスキャン」「ｉショット」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「マルチナンバー」「OFFICEED」「IMCS」「DoPa」「sigmarion」「musea」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「WORLD WING」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 使いかたナビ®は株式会社カナックの登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- ナビダイヤルサービス名称およびナビダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Adobe、および、Adobe Readerは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- microSDロゴは商標です。

- 本製品はインターネット機能として株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
Copyright © 1996-2007 ACCESS CO., LTD.
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnn V2を使用しています。"Advanced Wnn V2" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2007 All Rights Reserved.
- IrFront®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- LCフォント、LCFONT、エルシーフォントおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
Windows Vistaは、Windows Vista™(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

その他

- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。(ｉモードとｉチャネルの一部で使用しています。)
- 本製品は、Adobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。
  Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。Copyright © 1995-2006 Adobe Systems Incorporated All rights reserved.

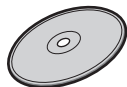
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品のOBEX機能は株式会社ACCESSのIrFront®を搭載しています。
- IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。Copyright © 1996-2007 ACCESS CO., LTD.
- 本製品のFeel＊Talkはアレグリア株式会社の音声分析技術「Sense」を搭載しています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ●MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4ビデオ)を記録する場合
  - ●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - ●MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569 5,710,784 5,778,338
- 本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。

本体付属品および主なオプション品について

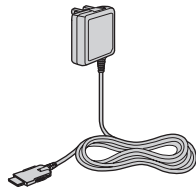
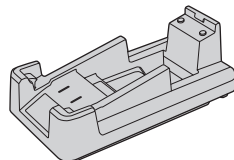
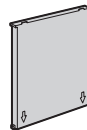
本体付属品

●FOMA P704iμ本体
（保証書、リアカバー　P21含む）

●FOMA P704iμ用CD-ROM
PDF版「データ通信マニュアル」
PDF版「区点コード一覧」
PDF版「SDオーディオ簡易操作ガイド」
を収録しています。

●取扱説明書（本書）
クイックマニュアル添付（⇒P.454）

●別紙　SDオーディオ簡易操作ガイド

主なオプション品

●FOMA ACアダプタ　01／02
（保証書、取扱説明書付き）

●卓上ホルダ　P23
（取扱説明書付き）

●電池パック　P10
（取扱説明書付き）

◆その他オプション品について⇒P.414

ご使用前の確認

各部の名称と機能

●FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。

■平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)の取り付けかた

カバーの下側を引っ張り出し、矢印方向に回転させたあと、プラグを持ってまっすぐに差してください。
また、抜くときは、カバーとプラグを一緒に持たないようにご注意ください。

❶ 受話口
・相手の声をここから聞く

❷ ディスプレイ(表示部)
⇒P.26

❸ メールボタン
・メールメニューを表示⇒P.220
・画面左下に表示されている操作を行う⇒P.30

＜1秒以上押すと＞
・ｉモード問い合わせを行う⇒P.214

❹ メニューボタン
・メインメニューを表示⇒P.31

❺ クリア／ｉチャネル対応ボタン
・操作を1つ前の状態に戻す
・入力した文字や電話番号を消す
・チャネル一覧画面を表示⇒P.193

❻ 開始ボタン
・電話をかける／受ける⇒P.51、P.65
・ハンズフリーで通話する⇒P.64

＜1秒以上押すと＞
・音声で電話帳を呼び出す⇒P.98

❼ テレビ電話ボタン
・テレビ電話をかける／受ける⇒P.51、P.65

❽ 赤外線ポート
・赤外線通信や赤外線リモコンに使用⇒P.305、P.310

❾ **インカメラ**
・自分を撮影⇒P.147
・テレビ電話時に自分の顔を映す

❿ **接写レバー**
・アウトカメラを接写モードに切り替える
⇒P.157

⓫ **[○]コマンドナビゲーションボタン**
・機能操作やメニュー操作を行う⇒P.30

⓬ **[iα] i モードボタン**
・ i モードメニューを表示⇒P.168
・画面右下に表示されている操作を行う
⇒P.30
<1秒以上押すと>
・ i アプリのソフト一覧画面を表示⇒P.249

⓭ **[📷]カメラボタン**
・「フォトモード」でカメラを起動⇒P.151
<1秒以上押すと>
・「ムービーモード」でカメラを起動⇒P.155

⓮ **[☎]電源／終了ボタン**
・通話を終了する
・各機能を終了する
・電源を入れる(1秒以上)／切る(2秒以上)
⇒P.45

⓯ **ダイヤルボタン**
・電話番号や文字を入力
●[#](1秒以上)
マナーモードに設定⇒P.108
●[*](1秒以上)
公共モード(ドライブモード)に設定
⇒P.70
●[5](1秒以上)
バックライトの点灯／消灯を切り替える
⇒P.115

⓰ **[マルチ]マルチボタン**
・マルチタスクメニューを表示⇒P.321
<1秒以上押すと>
・複数の機能が起動中に機能を切り替える
⇒P.322

⓱ **送話口**
・自分の声をここから相手に送る

⓲ **外部接続端子**
・ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)、FOMA USB接続ケーブル(別売)などを接続

⓳ **アウトカメラ**
・人や風景を撮影⇒P.147
・テレビ電話時に人や風景を映す

⓴ **着信／充電ランプ**
・電話の着信時／通話中／
メールの受信時に点滅
⇒P.118
・充電中に赤色点灯
・カメラ撮影時点灯(点滅)
・microSDメモリーカードにアクセス中に緑色点滅

㉑ **プライベートウィンドウ**
⇒P.28

㉒ **ストラップ取り付け穴**

㉓ **スピーカ**
・着信音が鳴る
・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く
⇒P.64

㉔ **充電端子**

㉕ **リアカバー**
⇒P.41

㉖ **microSDメモリーカード差し込み口**
・microSDメモリーカードをここに差し込む
⇒P.295

㉗ **イヤホンマイク端子**
⇒P.343

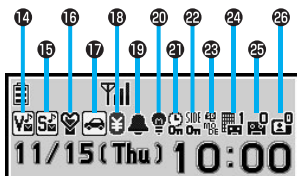
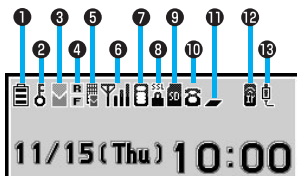
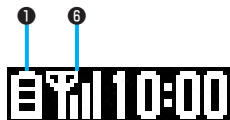
㉘ **[▲]モード／ホームボタン**
・カメラ起動中にカメラモードを切り替える
⇒P.157
・ホームURLに設定したインターネットホームページを表示⇒P.175

㉙ **[▼]メモ／マナーボタン**
・伝言メモなどを利用⇒P.74
・不在着信・新着メールを確認⇒P.120
<閉じた状態で1秒以上押すと>
・マナーモードに設定⇒P.108

ディスプレイの見かた

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❾ ❿ ⓫ ⓬ ⓭
11/15(Thu) 10:00

<プライベートウィンドウ>

❶	
	電池残量(目安)⇒P.44

❷	
	オールロック中⇒P.129
	PIMロック中⇒P.131
	ダイヤル発信制限中⇒P.136
	シークレットモード、シークレット専用モード中⇒P.137
	ダイヤル発信制限中･PIMロック中
	ダイヤル発信制限中･シークレットモード、シークレット専用モード中

❸	
(グレー)	未読ｉモードメール･SMSあり⇒P.211、P.243
(紺色)	FOMA端末内のｉモードメール･SMSが一杯⇒P.211、P.243
	FOMAカード内のSMSが一杯
(グレー)	未読メールがあり、FOMAカード内のSMSが一杯
(紺色)	FOMA端末内･FOMAカード内の両方が一杯

❹	
(グレー)	未読メッセージRあり⇒P.184
(紺色)	FOMA端末内のメッセージRが一杯⇒P.184
(グレー)	未読メッセージFあり⇒P.184
(紺色)	FOMA端末内のメッセージFが一杯⇒P.184

❺	
ｉモードセンターからの通知	
(グレー)	ｉモードメールあり⇒P.211
(紺色)	ｉモードメールが一杯⇒P.211
(グレー)	メッセージRあり⇒P.184
(紺色)	メッセージRが一杯⇒P.184
(グレー)	メッセージFあり⇒P.184
(紺色)	メッセージFが一杯⇒P.184
	メール選択受信設定を「ON」に設定中にｉモードメールあり⇒P.214

❻	
	電波の受信レベル(目安) 強 ←→ 弱
圏外	FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
self	セルフモード中⇒P.130

❼	
	ｉモード中⇒P.168、P.169
	ｉモード通信中⇒P.168
	パケット通信中(通信状態によって表示は異なります。)

❽	
SSL	SSL通信中⇒P.169

❾	
(icon)	microSDメモリーカードを装着中⇒P.295
(icon)	装着しているmicroSDメモリーカードが使用不可⇒P.295
(icon)	microSDメモリーカードを装着し、microSDモードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中⇒P.302
❿	
(icon)	音声電話中
(icon)	テレビ電話中(64K)
(icon)	テレビ電話中(32K)
(icon)	64Kデータ通信中
⓫	
(icon)	マルチタスク中⇒P.321
(icon)	複数の機能が動作中⇒P.321
⓬	
(icon)	赤外線通信中⇒P.305、P.310
⓭	
(icon)	通信モードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中
(icon)	microSDモードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中⇒P.302
(icon)	USBハンズフリー対応機器で通話･通信中⇒P.64
(icon)	USBハンズフリー対応機器接続中⇒P.64
(icon)	microSDモードでUSBハンズフリー対応機器接続中⇒P.64

⓮	
(icons)	バイブレータ設定中⇒P.104
⓯	
(icons)	着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中⇒P.68、P.107
⓰	
(icon)	マナーモード中⇒P.108
(icon)	遠隔監視設定を「ON」に設定中⇒P.82
⓱	
(icon)	公共モード(ドライブモード)中⇒P.70
⓲	
(icon)	通話料金が設定した上限値を超過⇒P.339
⓳	
(icons)	アラーム設定中⇒P.326
⓴	
(icon)	バックライトを「OFF」に設定中⇒P.114
㉑	
(icon)	閉じタイマーロック設定中⇒P.134
㉒	
(icon)	サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中⇒P.137
㉓	
(icon)	USBモード設定を「microSDモード」に設定中⇒P.302

㉔	
(icon)～(icon) (icon)	留守番電話サービスの伝言メッセージあり⇒P.360
㉕	
(icon)～(icon)	伝言メモの録音件数⇒P.73
㉖	
(icon)～(icon)	テレビ電話伝言メモの録画件数⇒P.73

- **日付･時刻を設定している場合、待受画面以外では、画面の右上に時計が表示されます。ただし、⓬⓭のアイコンが表示されているときは、時計は表示されません。**

ディスプレイの表示について

- FOMA端末を開くとディスプレイがなめらかに表示されます。
- ディスプレイやプライベートウィンドウに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- 主にお買い上げ時の設定をもとにしていますので、お買い上げ後の設定の変更によりFOMA端末の表示が取扱説明書とは異なった表示になることがあります。
- カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化などで点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。

<表示アイコン説明>
アイコンの説明を表示する

メニュー 3 6

画面の上部に表示されるマーク(などど)をアイコンといいます。アイコンの意味は画面上で確認できます。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶表示アイコン説明▶でアイコンを選ぶ

選んだアイコンの説明が表示されます。

プライベートウィンドウについて

プライベートウィンドウにはさまざまな情報が以下の例のように表示されます。

10:00	PLAN	090XXXXXXX
時計	スケジュールアラーム	着信中
DIALING	TALKING	REMOTE MONITORING
発信中	音声通話中	遠隔監視中

不在着信があったときは

FOMA端末を閉じているときは情報表示後「着信あり」と表示され、続いて「情報あり」と表示されます。
▲を押すと不在着信履歴が表示されます。電話帳に登録している相手からの不在着信の場合、名前がテロップ表示されます。
複数の不在着信があった場合、▲を押すたびに3件までの不在着信履歴が表示されます。

- ツールグループ(⇒P.321)の機能が動作中は、不在着信履歴は表示されません。
- 不在着信履歴を表示すると「情報あり」の表示は消えます。

新着メールがあったときは

FOMA端末を閉じているときは情報表示後「メールあり」と表示され、続いて「情報あり」と表示されます。
P.113「メール表示」を「ON」に設定している場合は、▲を押すとメールの受信日時、送信元、題名がテロップ表示されます。電話帳に登録している相手からの受信の場合、送信元の名前がテロップ表示されます。
SMSを受信した場合、題名には「SMS」と表示されます。
複数のメールを同時に受信した場合、▲を押すたびに3件までのメールが表示されます。

- セキュリティが設定されているBOX･フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
- 受信したメールの受信日時、送信元、題名を表示すると「情報あり」の表示は消えます。
- 「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて、待受画面以外を表示中にメールを受信したときは、情報は表示されずに「メールあり」と表示され、続いて「情報あり」と表示されます。
- 音声電話中やテレビ電話中にメールを受信したときは、「受信表示設定」を「通知優先」に設定していても情報は表示されません。

時計の表示を変更する

時計を表示しているときに▲を押して、表示内容を変更できます。

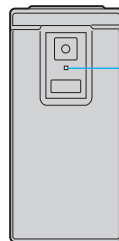
目Y.ıl 10:00	11/15(Thu)	10:00
アイコンと時刻	日付と曜日	時刻のみ

お知らせ

- FOMA端末を閉じた状態で▲または▼を押すと、バックライトが点灯します。暗い場所でも時刻を確認できます。
- 「時計表示設定」の「表示方法」の設定を変更することで、曜日の表示方法を変更することができます。⇒P.124

イルミネーションについて

充電時、着信時、メール受信時、アラーム時、FOMA端末を閉じたときなどに、着信／充電ランプが点灯／点滅してお知らせします。点灯は、着信／充電ランプがゆっくりと明るくなったり、暗くなったりして光がゆらぎます。

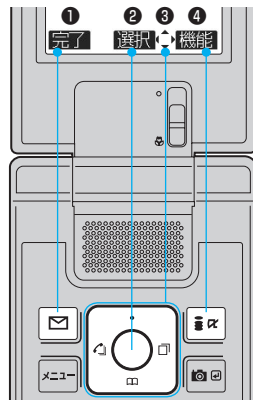
- メロディと連動させて、より豊かな表現で着信／充電ランプを点灯／点滅させることができます。
- 定時刻(毎時0分)に着信／充電ランプを点灯させることができます。

お知らせ

- ご使用のFOMA端末によっては、イルミネーションの見えかたや色味が多少異なる場合があります。

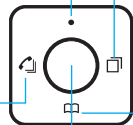
ナビゲーション表示について

表示される内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。

■主な表示例とボタン割り当て

❶	ボタンで行う操作を表示	完了　✉
❷	ボタンで行う操作を表示	選択　確定
❸	スクロールや項目の選択が可能な方向を表示	◆
❹	ボタンで行う操作を表示	機能　i

■コマンドナビゲーションボタンの操作

上
・カーソルまたは反転表示を上方向に移動。
（押し続けると連続スクロール）
・表示中のサイトやメールの本文を上方向にスクロール。
・待受画面で押すと電話帳機能の選択画面（電話帳メニュー）を表示。
・1秒以上押して受話音量を上げる。⇒P.68
・入力した文字をカタカナ、漢字に変換。⇒P.348

左／着信履歴
・カーソルを左方向へ移動。
・待受画面で押すと着信履歴を表示。⇒P.55
・待受画面で1秒以上押すと受信アドレス一覧画面を表示。⇒P.230
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロール。
（押し続けると連続スクロール）
・サイト表示中に前のページに戻す。

決定ボタン
・操作を決定。

右／リダイヤル
・カーソルを右方向へ移動。
・待受画面で押すとリダイヤルを表示。⇒P.55
・待受画面で1秒以上押すと送信アドレス一覧画面を表示。⇒P.229
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロール。
（押し続けると連続スクロール）
・サイト表示中に次のページを表示。

下
・カーソルまたは反転表示を下方向に移動。
（押し続けると連続スクロール）
・表示中のサイトやメールの本文を下方向にスクロール。
・待受画面で押すと電話帳検索画面を表示。⇒P.92
・1秒以上押して受話音量を下げる。⇒P.68
・入力した文字を漢字、カタカナに変換。⇒P.348

メニューの選択方法について

FOMA端末では[メニュー]を押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。

● メインメニューからかんたんモードに切り替えることができます。⇒P.35

スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした9つの大項目アイコンで構成されています。

● 大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。
● 選択を繰り返して設定、確認を行います。

メニュー番号選択

機能によっては、[メニュー]+メニュー番号(⇒P.390)を押すと表示されます。

マルチタスクに対応

● メインメニューの中には、同時に使用することができる機能もあります。⇒P.321「マルチタスク」

スクロール選択

この取扱説明書では、コマンドナビゲーションボタンの操作(上下左右の選択と機能項目を選択、入力したあとの[●])を省略して記載しています。

● ここでは、以下の記載例に基づき、「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

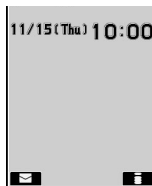
手順の記載例

大項目のアイコン　中項目　小項目の機能名称

1 [メニュー]▶[設定]▶**通話**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし ....アラームのお知らせなし。
アラーム高音 ....高音のアラームでお知らせ。
アラーム低音 ....低音のアラームでお知らせ。

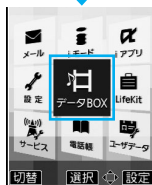
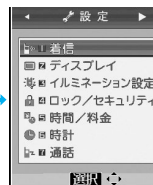
画面に表示される項目

ステップ1 メニュー機能の大項目アイコンを選択します

メインメニューから[設定]を選択します。

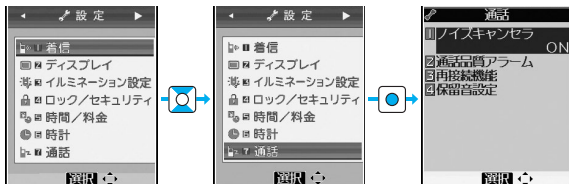
[メニュー]

メインメニュー

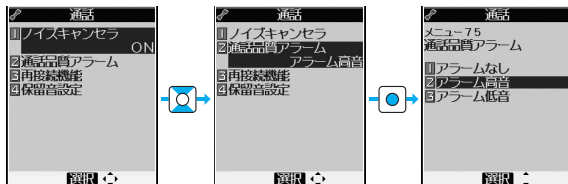
[上下左右] ▶

[●] ▶

● [上下左右]でアイコンを選択。
「メニューアイコン設定」を「スクロール」に設定している場合は、メインメニューから[上下左右]で大項目アイコン、[上下左右]で各アイコン内の中項目や機能を選べます。
● [上下左右]を押し続けると連続スクロールします。
● 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。
ただし、「メニューアイコン設定」を「スクロール」に設定している場合は戻りません。

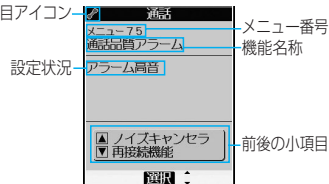
ステップ2 メニュー機能の中項目を選択します

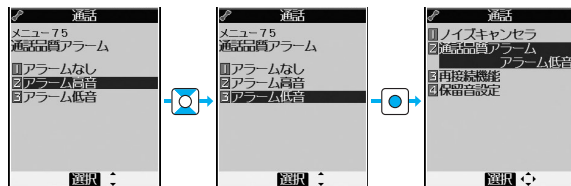
「設定」から「通話」を選択します。

- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- で下の項目、で上の項目が選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- またはを押すとページ単位でスクロールします。

ステップ3 目的の小項目(機能)を選択します

「通話」から「通話品質アラーム」を選択します。

- で下の項目、で上の項目が選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。

小項目の選択画面で各機能の設定状況を確認するには

「メニュー画面設定」の「メニュー表示」を「詳細表示」に設定しているときは、機能の設定状況やメニュー番号を確認できます。

ステップ4 機能の設定や確認をします

機能項目によっては、さらに詳細項目を選択する場合があります。
操作の例では「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。

● で下の項目、で上の項目が選べます。
● を押し続けると連続スクロールします。

メニュー番号選択

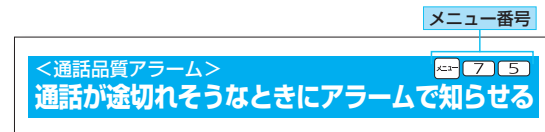
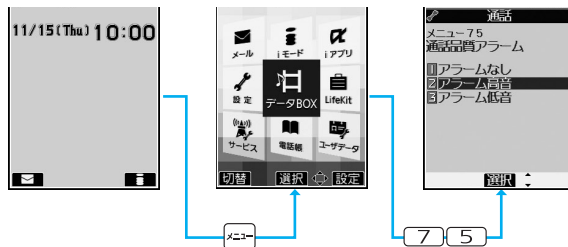
ここでは以下の記載例に基づいてメニュー番号選択を説明します。

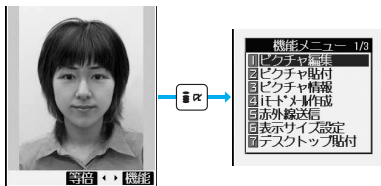
メニュー番号の記載例

● メニュー番号については「機能一覧表」を参照してください。⇒P.390

ステップ1 メニュー番号で機能を呼び出します

待受画面でメニュー75を押します。

▶▶次ページにつづく

機能メニュー画面について

- 画面の右下に「機能」が表示されているときにiαを押すと、それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目を含んだ機能メニューが表示されます。機能メニューを表示させたときの画面によって、機能メニューの内容は異なります。
- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。

機能メニューの記載例

この取扱説明書では、機能メニューの操作を以下の2つの方法で記載しています。

機能メニューに表示される項目

機能メニューの項目を選択したあとの操作手順

機能メニュー	操作・補足
全削除	すべてのデータを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

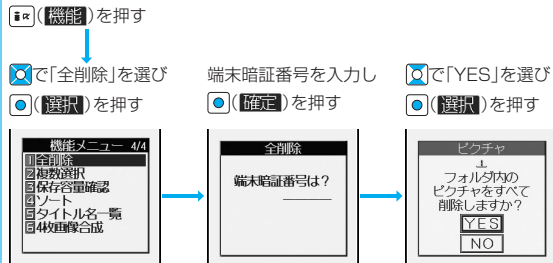
実際の操作は以下のように行います。

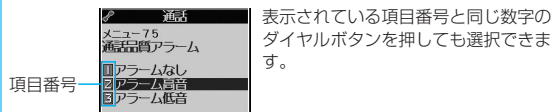
iα(機能)を押す

↓

で「全削除」を選び ●(選択)を押す

端末暗証番号を入力し ●(確定)を押す

で「YES」を選び ●(選択)を押す

すばやく項目を選択するために<ダイレクト選択>

表示されている項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押しても選択できます。

項目のスクロール

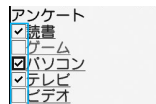
メニュー項目などが複数のページにわたるときは、画面の一番上／下の項目からを押すと前／次のページを表示します。またはを押すとページ単位でスクロールします。

チェックボックスについて

複数の項目を選択できる機能では、チェックボックスにチェックを付けて項目を選択します。

●(選択)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

機能によってはiα(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択し、一括でチェックを付けたり外したりできる場合があります。

- 機能によっては選択した項目に「☒」が表示されます。

メニュー操作が終わったとき

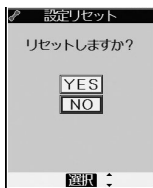
- 各機能の設定が終わると小項目の選択画面になります。（機能によっては待受画面に戻るものもあります）
- 各機能の設定が終わったら[☎]を押します。メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。（マルチタスク中を除く）

メニュー操作を途中でやめるとき

[☎]を押します。

- 設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。（設定の項目によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示されることがあります）
- [chクリア]を押すと操作を1つ前の状態に戻せます。

「YES／NO」を選択する画面のとき

1. [◎]を押して「YES」または「NO」を選ぶ
2. [●]（選択）を押す

設定リセットの場合

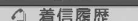
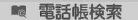
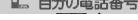
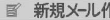
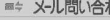
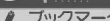
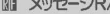
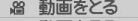
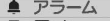
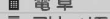
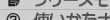
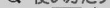
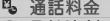
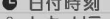
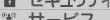
かんたんモードを利用する

かんたんモードとは、通常モードよりも操作を少なくして、使いやすくしたモードです。

- 画面に表示される機能は基本機能に絞っています。
- 本書では、通常モードでの操作のみを記載しています。かんたんモードでメニューを選択したあとは、各機能の該当ページを参照してください。

かんたんモードに切り替える

通常モードとかんたんモードをメインメニューから切り替えます。

▶▶次ページにつづく

■かんたんモードの構成

電話	メール	iモード
電話 発信履歴 着信履歴 電話帳検索 電話帳登録 伝言メモ 自分の電話番号	メール 受信メール 送信メール 保存メール 新規メール作成 メール問い合わせ	iモード iメニュー ブックマーク 画面メモ ラストURL URL入力 メッセージR/F
カメラ	**ツール**	**設定**
カメラ 写真をとる 写真を見る 動画をとる 動画を見る	ツール データBOX スケジュール アラーム 電卓 フリーメモ 使いかたナビ	設定 着信音/音量 画面/文字 通話料金 日付時刻 セキュリティ サービス

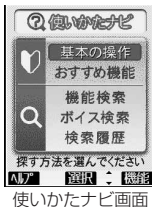
<使いかたナビ>
ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては「使いかたナビ」から実行できるものもあります。

1 [メニュー]▶[LifeKit]▶**使いかたナビ**
▶項目を選択

使いかたナビ画面

基本の操作
....基本的な機能を表示。⇒手順4へ
おすすめ機能
....おすすめの機能を表示。⇒手順4へ
機能検索
....機能を検索。
ボイス検索
....キーワードを話して検索。⇒P.37手順2へ
検索履歴
....過去の検索履歴を30件まで表示。⇒手順4へ

● 各項目を選んで[✉]([ヘルプ])を押すと詳しい操作方法が表示されます。

デスクトップのアイコンから使いかたナビを実行する

● お買い上げ時にデスクトップに貼り付けられている使いかたナビのアイコン「?」を選んで、手順1の画面を表示させることもできます。

2 **手順1で「機能検索」を選択した場合は、検索方法を選択**

文字入力キーワード検索
....キーワードを入力して検索。⇒手順3へ
索引検索
....機能を50音順で検索。[✉]、[iα]で前後の行を表示。⇒手順4へ
機能一覧検索
....機能の一覧から検索。⇒手順4へ

● 各項目を選んで[✉]([ヘルプ])を押すと詳しい操作方法が表示されます。
「文字入力キーワード検索」を選んで[✉]([ヘルプ])を押した場合は、「文字入力キーワード検索」または「文字入力のしかた」を選択します。

3 キーワードを入力

検索結果が50件まで表示されます。

● 全角24／半角48文字まで入力できます。

4 機能を選択▶項目を選択

この機能を使う
....各機能の操作を実行。
操作のしかた
....操作方法を表示。
機能の説明
....機能の説明を表示。
関連機能
....関連する機能を10件まで表示。（手順4を繰り返します）

● 機能によっては[●]（選択）を数回押して選択します。
● 手順1で「基本の操作」を選択した場合、機能を選択すると説明が表示されます。[✉]（実行）を押すと機能を実行できます。
● 機能を選んで[✉]（説明）を押しても機能の説明が表示されます。
● 検索履歴を削除するには[iα]（機能）→「1件削除」または「全削除」→「YES」を選択します。

ボイス検索

キーワードを話して検索します。「音声読み上げ設定」の「ボイス検索」を「ON」に設定しておくと、操作を音声ガイダンスで案内します。

1 使いかたナビ画面▶ボイス検索

● [✉]（ヘルプ）を押し、「ボイス検索」または「音声入力のしかた」を選択すると詳しい操作方法が表示されます。

2 音声認識開始音が鳴ったらキーワードを話す

音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。
認識結果が9件まで表示されます。

● 音声認識開始音の音量は変更できません。また、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
● 音声で入力できるキーワードはあらかじめFOMA端末に登録されているキーワードのみです。発声した言葉が認識されにくい場合は、別の言葉を発声してみてください。

◆音声入力について⇒P.99

3 認識結果を選択▶項目を選択

このキーワードで検索
....選択したキーワードで検索。（検索結果を50件まで表示）
⇒P.37手順4へ
キーワードの追加
....キーワードを追加。（手順2～3を繰り返します）

FOMAカードを使う

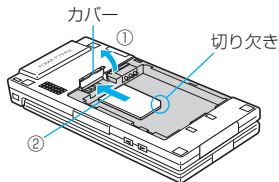
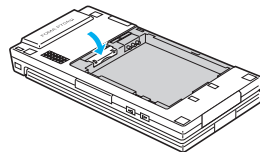
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

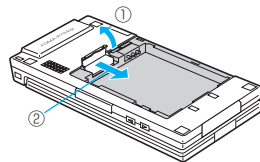
- FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。
- FOMAカードの詳しい取扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
- FOMAカードの付け外しは、FOMA端末を閉じて手で持って行ってください。また、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは、電源を切り電池パックを外してからセットします。⇒P.41、P.45

取り付けかた

1 FOMAカード差し込み口のカバーを矢印方向に開け(①)、FOMAカードの金色のIC面を下にして、カードの表面を押しながら、ゆっくりと奥まで差し込む(②)

2 FOMAカード差し込み口のカバーを「カチッ」と音がするまで閉める

取り外しかた

1 FOMAカード差し込み口のカバーを矢印方向に開け(①)、FOMAカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く(②)

お知らせ

- FOMAカード差し込み口のカバーを無理に開けようとすると、カバーが外れたり壊れたりすることがありますのでご注意ください。
- FOMAカードの向きを間違えて差し込むと、カバーが閉じられなくなります。無理に閉じようとすると、カバーやFOMAカードが壊れることがありますので、ご注意ください。
- FOMAカードを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを差し替えたとき(おまかせロック中は除く)は、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。⇒P.126

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。

・ サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
・ ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき

FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作ができなくなります。

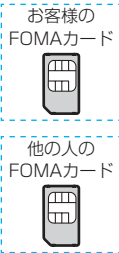
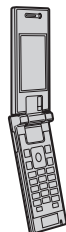
● このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

● FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「」が表示されます。

・ テレビ電話伝言メモ
・ 動画メモ
・ メロディ
・ 画像
・ ｉモーション
・ ｉアプリ
・ キャラ電
・ テンプレート
・ ダウンロード辞書
・ 画面メモ
・ 受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル
・ 送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除く）
・ ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F
・ デコメール本文中に挿入されている画像

※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電は、サイトから再びインストール（バージョンアップ）すると本機能の対象になります。

● FOMAカード動作制限機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。

データやメールを取得した際のFOMAカードが挿入されていれば、FOMAカード動作制限の設定されているデータの閲覧や再生ができます。

FOMAカードの差し替え

データやメールを取得した際のFOMAカードが挿入されていなければ、FOMAカード動作制限の設定されているデータの閲覧や再生はできません。

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。
  お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信(OBEX)機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、ダウンロード時に挿入されていたFOMAカードが挿入されていないと、メール詳細画面で反転表示されている文字などを選択しても起動できません。
- 下記の機能は設定内容がFOMAカードに登録されます。
  ･SMS有効期間設定　･SMS center設定　･バイリンガル
  ･ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定
  ･PIN1コード、PIN2コード　･PIN1コード入力設定

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード(青色)」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード(緑色／白色)」との機能差分がありますのでご注意ください。

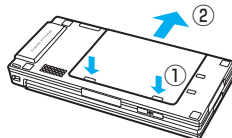
機能	FOMAカード		参照先
	(青色)	(緑色／白色)	
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.87
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	P.187
WORLD WINGの利用※	利用不可	利用可	P.380
サービスダイヤル「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内･受付(DoCoMo インフォメーションセンター)」の利用	利用不可	利用可	P.369

※WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色／白色)とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
なお、P704iμはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、GSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。
※2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
※一部ご利用になれない料金プランがあります。
※万一、FOMAカード(緑色／白色)を海外で紛失･盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。
お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。
なお、紛失･盗難されたあとに発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

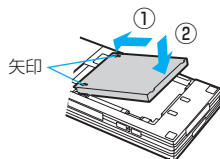
FOMA端末専用の電池パック　P10をご利用ください。

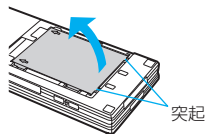
- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。

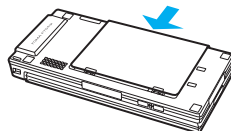
1　リアカバーの「⊂⊃」部分（2箇所）を同時に押しながら（①）、ロックが外れるまで（2mm以上）、②の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2

取り付ける場合

電池パックの矢印面を上にして、FOMA端末と電池パックのツメ側を確実に合わせて①の方向に押しつけながら、②の方向に押しこむ

- 電池パックのツメを本体の溝に確実に合わせます。

取り外す場合

電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる

3　リアカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける

- リアカバーとFOMA端末に隙間がないことを確認してから、スライドさせて確実に閉じてください。閉じていない場合、リアカバーは金属製のため手や指を傷つける可能性があります。

お知らせ

- 電池パックを無理に付けようとするとFOMA端末の端子が壊れることがあります。
- 詳しくは電池パック　P10の取扱説明書をご覧ください。
- リアカバー裏面の黒いシールは、はがさないでください。はがすと性能に影響をおよぼす場合があります。

FOMA端末を充電する

FOMA端末専用の電池パック　P10をご利用ください。

電池パックの寿命は？

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

次ページにつづく

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ　01／02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ01(別売)、FOMA DCアダプタ　01／02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ　01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ　02はAC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA海外兼用ACアダプタ　01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。海外で使用する場合は渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ(または卓上ホルダ)、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池パックの使用時間の目安

(電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。)

連続待受時間	静止時:約400時間	移動時:約270時間
連続通話時間	音声電話時:約120分	テレビ電話時:約80分

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか、弱い場合など)などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラや音楽再生を使用すると通話(通信)・待受時間は短くなります。
※滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。
※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

電池パックの充電時間の目安

ACアダプタ	約100分
DCアダプタ	約100分

※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

1 **ACアダプタ(別売)を卓上ホルダ(別売)に接続する**

2 **ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントへ差し込む**

3 **卓上ホルダのロック爪にFOMA端末の底部を押しつけ(A)、そのままFOMA端末の頭部をストッパーに合わせて、押し込む(B)**

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。
再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。

- 充電の開始、終了時に「充電確認音」(⇒P.106)が鳴ります。ただし、設定によって鳴らない場合もあります。
- FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、コネクタキャップや市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

4 **充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す**

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

■充電中・充電完了時の表示について

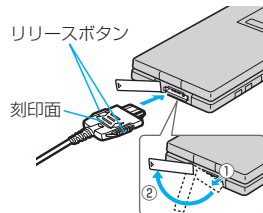
	着信／充電ランプ	ディスプレイ「[電池]」表示
充電中	赤く点灯※	点滅
充電完了	緑で点灯(1回のみ)※	点灯

- FOMA端末の電源を切っているときは、「[電池]」は表示されません。
電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。

※着信／充電ランプがゆっくりと明るくなったり、暗くなったりして光がゆらぎます。

ACアダプタのみで充電する

刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。抜く場合は、リリースボタンを押しながら抜きます。

- 外部接続端子のキャップは、右側(◁マーク側)を引っ張り出したあと、矢印方向に回転させます。

※ACアダプタの抜き差しは、向き(表裏)を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

■DCアダプタ(別売)

DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライタソケット(12V／24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。
詳しくはFOMA DCアダプタ　01／02の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

<電池残量>
電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

・十分残っているとき……………………
・少なくなっているとき…………………
・ほとんど残っていないとき…………

● 電池の残量がほとんど残っていないときは、充電してください。

画面と音で確認する

メニュー 7 1

電池残量の目安が画面と音で確認できます。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**電池残量**

十分残っているとき
ピッピッピッ

少なくなっているとき
ピッピッ

ほとんど残っていないとき
ピッ

※電池残量がほとんどありません。充電してください。

● 絵表示は約3秒後に消えます。
●「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」に設定中、および「ボタン確認音」が「OFF」に設定されているときは音は鳴りません。

電池が切れるときは

右のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるには▲、▼以外のいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。

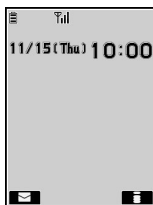
● 通話中は、画面とともに受話口からの「ピピピ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。
●「マナーモード」、「スーパーサイレント」に設定中、および「オリジナルマナー」で「低電圧アラーム」が「OFF」に設定されているときは、スピーカからの音は鳴りません。

電池切れ画面

<電源ON／OFF>
電源を入れる／切る

電源を入れる

1 [☎]を1秒以上押す

ウェイクアップ画面(⇒P.111)が表示されたあと、待受画面が表示されます。
- 電話帳の登録件数やメールの保存件数などが多い場合、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 時計設定が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。
- 「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。
- 電源を入れたときに「Starting system Wait a minute」と表示された場合は、しばらく待ってから操作してください。

待受画面

FOMAカードを差し替えたときは(おまかせロック中は除く)

電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。
5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

「PIN設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは

電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードが正しく入力されると待受画面が表示されます。PIN1コードについて⇒P.126

「通話料金通知」の「自動リセット設定」を「ON」に設定しているときは(おまかせロック中は除く)

電源を入れたあと4～8桁のPIN2コードを入力します。PIN2コードが正しく入力されると待受画面が表示されます。PIN2コードを正しく入力せずに[ch クリア]または[☎]を押すと「自動リセット設定」が「OFF」に設定され、待受画面が表示されます。PIN2コードについて⇒P.126

電源を切る

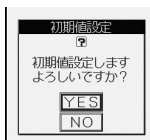
1 [☎]を2秒以上押す

終了画面が表示され、電源が切れます。
- 電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

<初期値設定>
初期設定を行う

日付時刻、端末暗証番号、ボタン確認音、音声読み上げが設定されていない場合は、電源を入れると初期値設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。ソフトウェア更新を一度も行っていない場合は、続けてソフトウェア更新も行えます。

1 電源を入れる▶YES

● 端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コードの入力画面が表示された場合⇒P.45の操作へ

2 日付時刻を設定する

⇒P.47

3 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。⇒P.126
「0000」を入力▶新しい端末暗証番号（4～8桁）を入力▶YES

4 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らす(ON)／鳴らさない(OFF)を設定します。⇒P.106

5 音声読み上げを設定する

着信やメールの内容を読み上げるかどうかを設定します。⇒P.322

6 YES▶ソフトウェア更新を行う

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはソフトウェアを更新します。⇒P.428

お知らせ

- 未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期値設定の画面やソフトウェア更新を行うかどうかの確認画面が表示されます。
- 設定中に電話がかかってきたり、[☎]または[chクリア]を押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期値設定の画面は表示されません。

＜時計設定＞
日付・時刻を合わせる

メニュー 3 1

お買い上げ時	自動

時刻を自動で補正するか、手動で設定するかを切り替えることができます。

1 メニュー▶▶時計▶時計設定▶自動・手動

自動........日付・時刻を自動で補正。（設定終了）
「圏外」が表示されているときなど自動で時刻を補正できない状態で、日付・時刻が設定されていない場合は手動時計設定の画面が表示されます。手順2で日付・時刻を設定してください。
ただし、初期値設定での時計設定時は、手動時計設定の画面は表示されません。

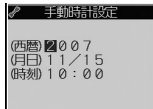
手動........日付・時刻を手動で設定。

- 「通話料金通知」を「ON」に設定している場合、端末暗証番号入力の画面が表示されます。端末暗証番号を入力します。

2 **年、月、日、時刻を入力**

手動時計設定
(西暦) 2007
(月日) 11／15
(時刻) 10：00

でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。

- 年は西暦で入力します。
- 時刻は24時間で入力します。
- 日付・時刻に1桁の数字を入力する場合は、「01」～「09」のようにはじめに「0」を付けて2桁で入力します。

日付・時刻の補正機能について

ネットワークから取得した時刻情報をもとにFOMA端末の時刻を補正する機能です。
電源を入れたときなどに時刻が補正されます。時刻をずらして設定したい場合は、手動で設定してください。

- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況やｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります。

お知らせ

- 通話中にも設定できます。
- 時計設定を行わないと次の機能は利用できません。
  - ・リダイヤル･発信履歴･着信履歴の日時記憶⇒P.54
  - ・伝言メモ／音声メモの録音日時記憶⇒P.75
  - ・テレビ電話伝言メモ／動画メモの録画日時記憶⇒P.75
  - ・カレンダー⇒P.111
  - ・アラーム⇒P.325
  - ・スケジュール⇒P.328
  - ・ToDo⇒P.333
  - ・ソフトウェア更新⇒P.428
  - ・ｉアプリの自動起動⇒P.258
  - ・スキャン機能のパターンデータ更新⇒P.432
  - ・通話料金通知の自動リセット⇒P.339
  - ・時報イルミネーション⇒P.118
  - ・文字入力中の機能メニュー「日付／時刻入力」⇒P.352
  - ・自動電源ON／OFF設定⇒P.325
  - ・撮影画面の機能メニュー「撮影日付挿入設定」⇒P.159
- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されますが、約2週間以上電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度時計設定を行ってください。また、お買い上げ後初めてお使いになるときは、FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 本機能で設定できるのは、2007年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

<発信者番号通知>
相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

- この機能は、相手の電話機がFOMA端末や携帯電話サービスの端末などのデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときだけ利用できます。

ネットワークに設定する　メニュー 1 7

発信者番号を通知するかどうかをネットワークに設定します。

1 メニュー▶サービス▶**発信者番号通知▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
発信者番号通知設定	▶通知する・通知しない▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号について⇒P.126
発信者番号通知設定確認	「発信者番号通知設定」の設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを1回の通話のたびに設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 i α（機能）▶**発番号設定▶通知しない・通知する**

- 「発番号設定」を解除する場合は、「発番号設定消去」を選択します。音声電話またはテレビ電話の場合は「発信者番号通知設定」の設定に従います。

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

■発信者番号を通知する場合　186＋相手先の電話番号＋発信

■発信者番号を通知しない場合　184＋相手先の電話番号＋発信

お知らせ

- 電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定して再度電話をかけ直してください。

<自局番号表示>　メニュー 0
自分の電話番号を確認する

ご契約の電話番号(自局番号)を表示します。自局番号はFOMAカードに登録されています。

1 メニュー▶ユーザデータ▶**自局番号表示**

メールアドレスが登録されている場合は、✉を押して1番目のメールアドレスを表示できます。

◆個人データの登録／表示について
⇒P.336

自局番号表示画面

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話を使いこなす

テレビ電話について

ドコモのテレビ電話対応端末どうしでなら、お互いの映像を見ながら通話できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

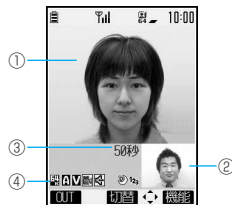
- 3GPP(3rd Generation Partnership Project):
  第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- 3G-324M:
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

- テレビ電話の通信速度について
  64K:通信速度64kbpsで通信をします。
  32K:通信速度32kbpsで通信をします。

お知らせ

- 設定により、代替画像に設定した画像を送信し、音声だけで通話できます。⇒P.76
  その場合でも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。

テレビ電話中の画面について

①…相手のカメラ画像または代替画像
②…自分のカメラ画像または代替画像
③…通話時間
④…状態表示

- :64K通信中
- :32K通信中
- :音声送信／受信中
- (グレー):音声送信／受信失敗※1
- :映像送信／受信中
- (グレー):映像送信／受信失敗※2
- :カメラ画像送信中
- :代替画像送信中
- :キャラ電通話中
- :ハンズフリーON
- :ナイトモード
- :キャラ電全体アクションモード
- :キャラ電パーツアクションモード
- :DTMF送信モード

※1 音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。
※2 映像の送信に失敗すると、自分のカメラ画像が相手に表示されません。
映像の受信に失敗すると、相手のカメラ画像が表示されません。
音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。

電話／テレビ電話をかける

1 相手の市外局番から電話番号を入力する

● 同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

<例>

● 携帯電話にかけるとき

090−XXXX−XXXX 080−XXXX−XXXX	相手の電話番号

● PHSにかけるとき

070−XXXX−XXXX	相手の電話番号

● 27桁以上入力した場合は、下26桁のみが表示されます。
● ボイスダイヤルで電話をかけることもできます。⇒P.98
● 入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、[メール]（[登録]）を押します。⇒P.90手順2へ

2 音声電話をかける場合

[発信]または[●]（[発信]）を押す

● 発信中は「[音声電話アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話をかける場合

[テレビ電話]を押す

この画面からデジタル通信料課金が始まります。

● 発信中は「[64]」または「[32]」が点滅し、通話中は点灯します。
● テレビ電話中に[テレビ電話]を押すと、相手には代替画像が表示されます。もう一度[テレビ電話]を押すと、自分のカメラ画像に戻ります。
● お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。（⇒P.78）ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。

音声電話／テレビ電話共通

● 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス（⇒P.367）が聞こえたときは、P.48「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると、相手の声をイヤホンから聞けます。⇒P.343
● 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。⇒P.67
● 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。キャラ電通話中の場合（DTMF送信）⇒P.78

3 お話が終わったら[終話]で通話を終了する

テレビ電話の場合は、切断中の画面のあとに通話時間が表示されます。

次ページにつづく

お知らせ

- ●を押してから相手の電話番号を入力しても音声電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときはを押して表示を消してからおかけ直しください。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけたときも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- FOMA端末から110番･119番･118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- テレビ電話では、自分のカメラ画像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。⇒P.76
- ドコモの国際電話サービス｢WORLD CALL｣を利用して国際テレビ電話を利用できます。⇒P.60

発信中の表示

電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。

- PIMロック中またはシークレットデータとして登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

電話番号を押し間違えたときは

chクリアを押すたびに、右端から1文字ずつ数字が消えます。chクリアを1秒以上押すと数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

- を押してカーソルを移動させ、chクリアを押すとカーソルの位置の数字が消えます。chクリアを1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから右にある数字がすべて消えます。

えチャット

音声電話中の相手に、その場で撮影した静止画や保存されている静止画を送信できます。⇒P.209

テレビ電話がかからなかったときは

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。（通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります）

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中（相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。）
パケット通信中です	相手がパケット通信中
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）
転送致しますのでお待ち下さい	転送中
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
接続できませんでした	発信者番号通知設定を｢通知する｣に設定のうえ、おかけ直しください。 ･上記以外の場合にも表示されることがあります。

自動再発信について

テレビ電話がつながらなかった場合は、自動的に32Kや音声電話に切り替えて再発信します。

	音声自動再発信「ON」	音声自動再発信「OFF」
64Kで発信してつながらなかった場合	32Kで再発信	32Kで再発信
32Kで発信してつながらなかった場合	音声電話で再発信	再発信しません

- 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境であった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。
  ※32Kでテレビ電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。
- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、音声自動再発信を「ON」にしているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけなおします。ただし、ISDN同期64KやPIAFSの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など(2007年6月現在)、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もございますので、ご注意ください。
- テレビ電話がいったん通信中になった場合、音声電話への発信動作は行いません。

電話番号入力中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
発番号設定	発信者番号を通知するかしないかを設定します。⇒P.48
プレフィックス	プレフィックスを付加します。⇒P.63
国際電話発信	国際電話をかけます。⇒P.61
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。⇒P.371
電話帳登録	⇒P.90
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。⇒P.199手順3へ
テレビ電話通信速度	テレビ電話をかけるときの通信速度を通話ごとに設定します。 ● テレビ電話通信速度の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」の順になります。 ▶64K・32K
テレビ電話画像選択	⇒P.79
着もじ	着もじメッセージをつけて発信します。⇒P.57

電話番号ごとにテレビ電話通信速度を設定する

FOMA端末(本体)の電話帳に登録した電話番号ごとに通信速度を設定します。

- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳詳細画面▶[iα]([機能])▶電話帳便利機能▶テレビ電話通信速度▶64K・32K

「テレビ電話通信速度」に「★」マークが付きます。

- 電話番号のテレビ電話通信速度を解除するには、同様の操作を行います。

グループごとにテレビ電話通信速度を設定する [メニュー][2][6]

FOMA端末(本体)の電話帳に登録されているグループごとにテレビ電話通信速度を設定します。
電話番号ごとにテレビ電話通信速度が設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。

1 待受画面▶[○]▶グループ設定▶グループを選んで[iα]([機能])▶グループ便利機能▶テレビ電話通信速度▶64K・32K

「テレビ電話通信速度」に「★」マークが付きます。

- グループのテレビ電話通信速度を解除するには、同様の操作を行います。

音声電話とテレビ電話を切り替える

発信者が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。
- 相手が「テレビ電話切替機能通知」(⇒P.80)を開始に設定していない場合は、切り替えはできません。

音声電話からテレビ電話へ切り替える

1 **音声電話中▶✉(📷電話)▶切替**

- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

音声電話の画面　切替中の画面　テレビ電話の画面

テレビ電話から音声電話へ切り替える

1 **テレビ電話中▶iα(機能)▶音声電話切替▶YES**

- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

テレビ電話の画面　切替中の画面　音声電話の画面

お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- iモード通信中、パケット通信中の場合は通信を切断してテレビ電話に切り替えます。パケット通信の場合、通信を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 相手側がパケット通信中の場合は切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声電話を継続します。
- キャッチホンをご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によっては音声電話とテレビ電話を切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間･通話料金としてカウントされます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。
- テレビ電話から音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーはOFFになります。

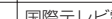
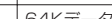
<リダイヤル><発信履歴><着信履歴>
履歴を利用する

発着信した相手の電話番号や日時を記憶し、相手にかけ直したりできます。

リダイヤル

音声電話･テレビ電話の発信を合わせて30件まで記憶し、同じ番号の古いデータは削除されます。

発信履歴

音声電話･テレビ電話の発信を合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の発信を合わせて30件まで記憶し、同じ番号の古いデータも残ります。

着信履歴

音声電話･テレビ電話の着信を合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の着信を合わせて30件まで記憶し、同じ番号の古いデータも残ります。

● 通話中に音声電話／テレビ電話を相手が切り替えた場合、最初に着信した電話が「着信履歴」に記憶されます。
● 30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。ただし、電源を切っても削除されません。

◆Feel＊Talkの再生について⇒P.117

リダイヤル･発信履歴･着信履歴のアイコン

アイコン	内容
電話／不在※	音声電話の発着信／不在着信
電話／不在※	テレビ電話の発着信／不在着信
伝言	伝言メモに用件を録音･録画
遠隔	遠隔監視の着信
電話／不在※	国際電話の発着信／不在着信
電話／不在※	国際テレビ電話の発着信／不在着信
	64Kデータ通信の発信
64K／不在※	64Kデータ通信の着信／不在着信
	パケット通信の発信
パケット／不在※	パケット通信の着信／不在着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信･パケット通信の着信
	着もじの受信

※未確認の不在着信の場合は、緑色で表示されます。

リダイヤル･発信履歴を表示する

1 **リダイヤルの場合**

待受画面▶

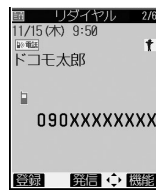
発信履歴の場合

▶**▶発信履歴**

リダイヤル一覧画面

履歴の一覧画面が表示されます。
● ✉(切替)を押すと送信アドレス一覧画面が表示されます。

2 **履歴を選択**

履歴の詳細画面が表示されます。
● 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(⇒P.93)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。

リダイヤル詳細画面

着信履歴を表示する

メニュー 2 4

1 **待受画面▶**

● 「メニュー▶ユーザデータ▶着信履歴▶全着信･不在着信」の操作を行っても着信履歴一覧画面が表示されます。
全着信……不在着信を含むすべての履歴
不在着信…不在着信の履歴
(未確認の不在着信がある場合は、未確認件数も表示されます。)
● ✉(切替)を押すと受信アドレス一覧画面が表示されます。

着信履歴一覧画面

▶▶次ページにつづく

2 着信履歴を選択

着信履歴詳細画面

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(⇒P.93)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
  パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先(APN)が表示されます。
  相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 不在着信の場合は、着信日付・時刻の右に呼出時間が表示されます。
- 着もじを受信した場合は、着もじメッセージが表示されます。

リダイヤル、発信履歴または着信履歴の一覧表示中に電話をかける

- [発信]を押すと、選んでいる相手に音声電話をかけることができます。また、[テレビ電話]を押すとテレビ電話発信します。
- 待受画面で[発信]を押して[Ｏ]を押すと最新のリダイヤルまたは着信履歴の電話番号に音声電話をかけることができます。

リダイヤル、発信履歴または着信履歴を選択中に電話をかける

- [発信]または[●]([発信])を押すと、表示している電話番号に音声電話をかけることができます。また、[テレビ電話]を押すとテレビ電話発信します。

お知らせ

- マルチナンバーの付加番号で発着信した場合は、履歴の詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名が表示されます。「マルチナンバー」の「電話番号登録」をしている場合は、番号も表示されます。
- 64Kデータ通信の発信履歴は、FOMA USB接続ケーブル(別売)を使用した場合のみ記憶されます。
- 着もじが表示されている着信履歴の電話番号に音声電話(テレビ電話)をかけても、届いた着もじメッセージは送信されません。
- ダイヤルインをご利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

リダイヤル･発信履歴･着信履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
発番号設定	発信者番号を通知するかしないかを設定します。⇒P.48
プレフィックス	プレフィックスを付加します。⇒P.63
国際電話発信	国際電話をかけます。⇒P.61
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。⇒P.371
呼出時間表示［着信履歴一覧画面のみ］	不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、呼出動作開始時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。
Feel＊Talk表示	Feel＊Talk画像を再生します。⇒P.117
電話帳登録	⇒P.90 ● 詳細画面で[✉]([登録])を押しても電話帳に登録できます。⇒P.90手順2へ
デスクトップ貼付	⇒P.121
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。⇒P.199手順3へ
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。⇒P.242手順3へ
送信アドレス一覧［リダイヤル･発信履歴のみ］	送信アドレス一覧画面を表示します。⇒P.229
受信アドレス一覧［着信履歴のみ］	受信アドレス一覧画面を表示します。⇒P.230

機能メニュー	操作・補足	
1件削除	▶YES	●リダイヤル・発信履歴の機能メニューから「全削除」を行うと、リダイヤル・発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残ります。発信履歴を削除するときは、発信履歴表示中の機能メニューから削除してください。
選択削除	▶**削除したいリダイヤル、発信履歴、着信履歴にチェック** ▶✉(完了)▶YES	
全削除	▶**端末暗証番号を入力** ▶YES	
テレビ電話通信速度	⇒P.53	
テレビ電話画像選択	⇒P.79	
着もじ	着もじメッセージをつけて発信します。⇒P.57	

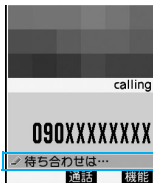
<着もじ>
着もじを設定する

音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージを送り、あらかじめ用件を伝えることができます。

- 対応機種…902iSシリーズ、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、N902iL、903iシリーズ、904iシリーズ、702iSシリーズ(N702iS、M702iS、M702iGを除く)、703iシリーズ、704iシリーズ、601iシリーズ(L601iを除く)、D800iDS
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。

着もじを受信したときは

発信元の下に着もじが10文字まで表示されます。また、着信履歴にも着もじが記憶されます。

- 着もじは着信中のみ表示されます。通話中は表示されません。
- 「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信でも、着もじは受信され、着信履歴にも残ります。

着もじメッセージを作成する

着もじメッセージを10件まで登録できます。

1 メニュー▶サービス▶**着もじ**
▶**メッセージ作成**
▶**<未登録>を選んで**✉(編集)
▶**メッセージを入力**

メッセージ一覧
1〈未登録〉
2〈未登録〉
3〈未登録〉
4〈未登録〉
5〈未登録〉

メッセージ一覧画面

- 変更する場合は、登録済みのメッセージを選んで✉(編集)を押します。
- 文字数:絵文字/記号/全角/半角問わず10文字まで。

着もじメッセージをつけて発信する

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 i(機能)▶**着もじ**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
メッセージ作成	送信する着もじを発信時に作成します。 ▶**メッセージを入力** ●文字数:絵文字/記号/全角/半角問わず10文字まで。 ●本機能で作成した着もじは、メッセージ一覧には登録されません。
メッセージ選択	送信する着もじをメッセージ一覧から選択します。 ▶**メッセージを選択**
送信メッセージ履歴	送信する着もじを送信メッセージ履歴から選択します。 ▶**送信メッセージ履歴を選択** ●送信メッセージ履歴には送信した着もじのみが10件まで記憶され、同じ着もじを送信すると古いデータから順に削除されます。

▶▶次ページにつづく

3 (☎)または(●)(発信)を押す

- (📺)を押すとテレビ電話発信します。
- 発信中は送信している着もじが表示されます。

お知らせ

- 着もじが相手側の端末に届いた場合は、「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 相手が対応端末でない場合や相手側の「メッセージ表示設定」で許容していない送信を行った場合など、着もじが相手側の端末に届かなかった場合は、「送信できませんでした」と表示されます。このとき送信料金はかかりません。
- 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
- 相手側の端末が以下のような場合、着もじを届けることができず、送信結果も表示されません。この場合、送信料金はかかりません。
  - ･着もじ対応端末でない場合
  - ･「メッセージ表示設定」により、着もじを表示しないように設定している場合
  - ･圏外のときや電源が入っていない場合や公共モード（ドライブモード）中、オールロック中、伝言メモの呼出時間を0秒に設定している場合など
- テレビ電話がつながらなかった場合に、自動的に32Kや音声電話に切り替えて再発信した場合は、着もじも再送信されます。
- 海外での利用時には着もじを送受信できません。

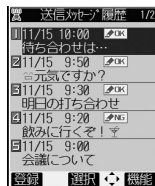
送信メッセージ詳細履歴

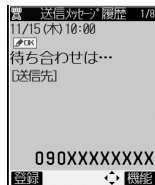
着もじを送信すると、送信メッセージ詳細履歴に10件まで記憶され、相手の電話番号や送信日時が確認できます。同じ番号に送信した古いデータも残ります。

1 (メニュー)▶(サービス)▶着もじ ▶送信メッセージ詳細履歴

- 最新のデータが一番上に表示されます。

(OK)……送信できた着もじ
(NG)……送信できなかった着もじ

- 送信結果が表示されなかった場合は、「(OK)」や「(NG)」は表示されません。
- 電波状態などによって、正しく送信結果が表示されないことがあります。

2 送信メッセージ詳細履歴を選択

- 相手の電話番号が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。

送信メッセージ詳細履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
登録	送信した着もじをメッセージ一覧に登録します。 ▶<未登録> ●(✉)(登録)でも登録できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

メッセージ表示設定

お買い上げ時	番号通知ありのみ

着もじを受信した場合の表示について設定します。

1 メニュー ▶ サービス ▶ **着もじ** ▶ **メッセージ表示設定** ▶ **項目を選択**

すべて表示……すべての着もじを表示。
電話帳登録番号のみ……電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示。
番号通知ありのみ……電話番号を通知してきた相手からの着もじのみを表示。
表示しない……着もじを表示しません。

着もじ優先設定

お買い上げ時	OFF

「オープン設定」を「着信応答」に設定しているときに、着もじを受信した場合の動作について設定します。

1 メニュー ▶ サービス ▶ **着もじ** ▶ **着もじ優先設定** ▶ **ON・OFF**

ON……着信中にFOMA端末を開いても応答せず、着もじを表示。
OFF……着信中にFOMA端末を開くと着信に応答。（着もじは表示されません。）

<ポーズダイヤル> メニュー 8 4

プッシュ信号を手早く送り出す

お買い上げ時	未登録

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ポーズダイヤルを登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **その他** ▶ **ポーズダイヤル** ▶ ✉（編集）

- すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。
- iα（機能）→「編集」を選択してもダイヤルデータを登録／編集できます。
- 登録したポーズダイヤルを削除するにはiα（機能）→「削除」→「YES」を選択します。

2 **ダイヤルデータを入力**

- ポーズ(p)は＊を1秒以上押して入力します。
- 入力できる文字は、0〜9、#、＊およびポーズ(p)のみです。
- 128桁まで入力できます。
- ポーズダイヤルの先頭にポーズ(p)を入力したり、連続して入力したりできません。

ポーズダイヤルを送信する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **その他** ▶ **ポーズダイヤル** ▶ ●(送信)

● iα(機能)を押して「ポーズダイヤル送信」を選択してもポーズダイヤルを送信できます。

2 **電話番号を入力** ▶ 発信キー **または** ●(発信)

相手に音声電話がかかり、通話中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ(p)までが表示されます。

● 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、下キーで電話帳検索画面から選択して呼び出せます。

● 右キーで着信履歴、左キーでリダイヤルから検索することもできます。

3 **相手が応じたことを確認** ▶ 発信キー **または** ●(送信)

最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。

● 発信キーまたは●(送信)を押すごとに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。

● 最後の番号を送り終えると通話画面になります。

● ダイヤルデータをまとめて送出するときは、左キーを1秒以上押して「一括送出」を選択します。

お知らせ

● 通話中にポーズダイヤル画面の機能メニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。

● 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

● テレビ電話では、ポーズダイヤルを送信できません。

<WORLD CALL> 国際電話の利用について

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

● 通話先は世界約240の国と地域です。

● 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。

● 申込手数料・月額使用料は無料です。

● 国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順(次ページのダイヤル手順から「010」を除いたもの)ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

● 一部ご利用できない料金プランがあります。

● WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し「国際テレビ電話」がご利用いただけます。「国際電話をかける」の操作手順で発信キーまたは●(発信)の代わりにテレビ電話キーを押して発信します。**⇒P.61**

● 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

国際電話をかける

1 009130→010→国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶［発信キー］または［●］(発信)

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- ［テレビ電話キー］を押すと国際テレビ電話発信します。

「+」を利用して国際電話をかける場合

発信時や電話帳登録時などで電話番号を入力しているときに［0］を1秒以上押すと「+」が入力できます。
「+」を利用すれば、009130−010などの国際電話アクセス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。

- お買い上げ時は「国際ダイヤル設定」の「自動付加設定」が「自動付加」に設定されているため、国際電話アクセス番号が自動的に入力されます。

1 ［0］(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶［発信キー］または［●］(発信)

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- ［テレビ電話キー］を押すと国際テレビ電話発信します。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、国際電話アクセス番号を付加せずに発信します。

「国際電話発信」を利用して国際電話をかける場合

電話番号の先頭で［0］を1秒以上押して入力した「+」を「国際ダイヤル設定」の国際電話アクセス番号に置き換えて発信します。

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 ［iα］(機能)▶国際電話発信▶名称を選択▶［発信キー］または［●］(発信)

- ［テレビ電話キー］を押すと国際テレビ電話発信します。
- 電話番号の先頭が「+」以外のときは国際電話アクセス番号を付加します。(電話番号が「0」で始まる場合は、自動的に先頭の「0」が削除されます。)

<国際ダイヤル設定>
国際電話の設定をする

自動付加設定

お買い上げ時	自動付加

電話番号の先頭で［0］を1秒以上押して入力した「+」を自動的に国際電話アクセス番号に置き換えて発信するかどうかを設定します。

1 ［メニュー］▶［設定］▶ネットワーク設定▶国際ダイヤル設定▶自動付加設定▶自動付加・付加なし

- 「付加なし」選択時は、設定が終了します。

2 名称を選択▶国名称を選択

- 国際電話アクセス番号や国番号が登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、国際電話アクセス番号の場合はP.62「国際電話設定」手順2、国番号の場合はP.62「国番号設定」手順2へ進みます。

国際電話設定

お買い上げ時	WORLD CALL(009130010)

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際電話アクセス番号は10桁、3件まで登録できます。

1 メニュー▶設定▶**ネットワーク設定**
▶**国際ダイヤル設定**▶**国際電話設定**
▶**<未登録>を選んで**✉(編集)

● 登録済みの項目を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **名称を入力**▶**国際電話アクセス番号を入力**

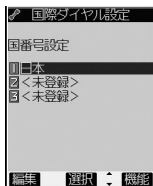
● 名称の文字数：全角8／半角16文字まで。

国番号設定

お買い上げ時	日本(81)

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号は5桁までの入力で3件まで登録できます。ただし、#、＊、＋は使用できません。

1 メニュー▶設定▶**ネットワーク設定**
▶**国際ダイヤル設定**
▶**国番号設定**
▶**<未登録>を選んで**✉(編集)

● 登録済みの国名称を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **国名称を入力**▶**国番号を入力**

● 国名称の文字数：全角8／半角16文字まで。

国際電話設定表示中・国番号設定表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足	
編集	国際電話設定の場合 ⇒P.62「国際電話設定」手順2へ、 国番号設定の場合⇒P.62「国番号設定」手順2へ ● ✉(編集)でも編集できます。	
1件削除	▶YES	●「自動付加設定」で設定されている国際電話アクセス番号や国番号は削除できません。
全削除	▶端末暗証番号を入力 ▶YES	

<プレフィックス設定>

電話番号の先頭に付加する番号を登録する

お買い上げ時	WORLD CALL(009130010)

国際電話アクセス番号や「184」「186」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。
7件まで登録できます。

1 メニュー▶設定▶**ネットワーク設定**
▶**プレフィックス設定**
▶**<未登録>を選んで**✉(編集)

● iα(機能)→「編集」を選択してもプレフィックスを登録／編集できます。
● 登録済みのプレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。
● 登録済みのプレフィックスを削除するにはiα(機能)→「1件削除」または「全削除」→「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

2 **登録名を入力**▶**プレフィックス番号を入力**

● 登録名の文字数：全角8／半角16文字まで。
● プレフィックス番号は10桁まで入力できます。入力に使用できるボタンは、0～9、#、＊のみです。

プレフィックス

電話番号の先頭にプレフィックス番号を付けて発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **[iα]([機能])▶プレフィックス▶登録名を選択▶[発信キー]または[●]([発信])**

● [TVキー]を押すとテレビ電話発信します。

<サブアドレス設定>
サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

電話番号の「＊」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

● サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 **[メニュー]▶[設定]▶その他▶サブアドレス設定▶ON・OFF**

お知らせ

● 「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「＊」、プレフィックス番号や「186／184」の直後の「＊」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

<再接続機能>　[メニュー][7][7]
再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時	アラーム高音

電波の状態が悪くなって音声電話、テレビ電話が途切れた場合に、再接続するまでのアラームを設定します。

1 **[メニュー]▶[設定]▶通話▶再接続機能▶アラームを選択**

アラームなし……アラームのお知らせなし。
アラーム高音……高音のアラームでお知らせ。
アラーム低音……低音のアラームでお知らせ。

お知らせ

● ご利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、その間も通話料金はかかります。
● 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

<ノイズキャンセラ>　[メニュー][7][6]
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

音声電話中の騒音を抑え、自分の声と受話口から聞こえる相手の声を明瞭にして通話できます。

1

[メニュー]▶[設定]▶通話▶ノイズキャンセラ▶ON・OFF

<ハンズフリー>
ハンズフリーに切り替える

ハンズフリーに設定すると、通話中の相手の音声などがスピーカから流れます。

1 **通話中▶**

音声電話の場合

テレビ電話の場合

ハンズフリー設定中は、「」が表示されます。
- もう一度を押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- 通話中にハンズフリーを切り替えることができます。テレビ電話の場合、発信中や接続中も切り替えることができます。
- ハンズフリー通話時の音量は、「受話音量」の設定に従います。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカから流れます。

お知らせ
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときは、ハンズフリーに切り替えても音声はスピーカから流れません。
- ハンズフリーに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えたりする可能性があります。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

<車載ハンズフリー>
ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット　01(別売)やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
- USB接続で車載ハンズフリーキット　01(別売)を利用する場合は、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01(別売)が必要です。

※ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- USB接続で使用する場合には、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
- USBハンズフリー対応機器で通話・通信中は「」が表示されます。
- USBハンズフリー対応機器によっては、接続中に「」、「USBモード設定」を「microSDモード」に設定して接続中に「」が表示されることがあります。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード(ドライブモード)中の着信動作は、「公共モード(ドライブモード)」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

電話／テレビ電話を受ける

テレビ電話に応答するとディスプレイには相手の画像と自分の画像が表示されます。

● 自分のカメラ画像を相手に表示しないでテレビ電話を受けることもできます。（代替画像応答）

電話がかかってくると

着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅します。

● 着信時に振動させるには、「バイブレータ」の「電話」または「テレビ電話」を「OFF」以外に設定します。

● テレビ電話がかかってきたときは、「テレビ電話着信中」と表示されます。

● 国際電話がかかってきたときは、電話番号の右上に「 」が表示されます。

着もじ⇒P.57

1 音声電話に出る場合

または（通話）で電話に出る

●「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、FOMA端末を閉じているときに▲を押して電話に出ると、通話中保留になります。「クローズ動作設定」を「ミュート」または「終話」に設定していた場合は相手には無音となり、「保留」に設定していた場合は保留音が流れます。FOMA端末を開くと、通話を開始できます。

テレビ電話に出る場合

またはでテレビ電話に出る

自分のカメラ画像が相手に送信されます。
（代替）を押してテレビ電話に出ると、相手には代替画像が送信されます。

●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定しておくと、ボタンを押して着信音や音声読み上げだけを止めることができます。

● 通話中にを押すと、相手に送信する画像を自分のカメラ画像と代替画像とで切り替えることができます。

● 通話中にを押すと、ハンズフリーに切り替えることができます。⇒P.64

2 お話が終わったらで通話を終了する

テレビ電話の場合は、切断中の画面のあとに通話時間が表示されます。

お知らせ

● お話し中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえることがあります。
留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
留守番電話サービス
…留守番電話サービスセンターへ転送できます。⇒P.362
キャッチホン
…通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。⇒P.363
転送でんわサービス
…登録した転送先へ転送できます。⇒P.366

次ページにつづく

お知らせ

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(⇒P.78)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機(⇒P.50)に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。(相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。)
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
- 自分のカメラ画像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。⇒P.77

着信中の表示

相手の電話番号が通知されたとき

電話帳に相手の名前、電話番号および画像が登録されている場合は、相手の名前、電話番号、アイコンまたは画像が表示されます。

- PIMロック中またはシークレットデータとして登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。
- 転送されてきた電話の場合は、発信元の下に転送元の電話番号が表示されます。(転送元によっては表示されないことがあります。)
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、発信元の下に付加番号の登録名が表示されます。(転送されてきた電話の場合は、[✉]([切替])を押して転送元の表示と切り替えることができます。)

相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。⇒P.140

着信中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
着信拒否	電話を受けないで着信をそのまま切ります。 ●「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、「着信拒否」はできません。
転送でんわ	転送先に転送します。⇒P.366
留守番電話	留守番電話サービスセンターに接続します。⇒P.362

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。

- 着信側から切り替えることはできません。

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

1 音声電話中▶相手がテレビ電話切替を行う▶YES・NO

YES ...自分のカメラ画像を相手に送信。
NO .....内蔵の代替画像を相手に送信。

- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

1 テレビ電話中▶相手が音声電話切替を行う

- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

＜着信アンサー設定＞ メニュー 5 8

着信時のボタン動作を設定する

お買い上げ時	エニーキーアンサー

電話がかかってきたとき、●、📞、📺(テレビ電話の場合)以外のボタンで通話を開始したり(エニーキーアンサー)、着信音を止める(クイックサイレント)ように設定できます。

1 メニュー▶設定▶**着信**▶**着信アンサー設定**▶**ボタン動作を選択**

エニーキーアンサー
以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	●、📞、0～9、＊、chクリア、✉※、📷、◎、▲
テレビ電話	●、📞、📺

● テレビ電話がかかってきた場合、「エニーキーアンサー」は無効です。

クイックサイレント
以下のボタン操作で着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。「オープン設定」を「着信継続」に設定している場合は、FOMA端末を開いても着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めても相手には呼び出し音が鳴っています。

音声電話	0～9、＊、chクリア、✉※、📷、◎、▲
テレビ電話	0～9、＊、chクリア、✉※、📷、◎、▲

● 上記のボタン操作で着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めたあとに、●、📞、📺(テレビ電話の場合)を押すと通話を開始できます。

OFF
以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	●、📞
テレビ電話	●、📞、📺

※「切替」が表示されているときは、通話を開始したり、着信音やバイブレータ、音声読み上げを止めたりできません。

お知らせ
● 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても通話を開始できます。⇒P.343

＜オープン設定＞

着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する

お買い上げ時	着信継続

1 メニュー▶設定▶**着信**▶**オープン設定**▶**着信の種類を選択**▶**着信継続・着信応答**

お知らせ
●「着信応答」に設定してテレビ電話を受けた場合、相手には「画像選択」の「代替画像選択」で設定した画像が送信されます。

＜クローズ動作設定＞ メニュー 1 8

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

お買い上げ時	終話

1 メニュー▶設定▶**着信**▶**クローズ動作設定**▶**項目を選択**

ミュート……音声をミュート(消音)。保留音は流さない。設定が終了。
保留…………閉じている間、相手に「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音を流す。
終話…………通話を終了。通話中に☎を押す操作と同じ。設定が終了。

2 **スピーカ鳴動する・スピーカ鳴動しない**

スピーカ鳴動する……保留音をスピーカから流す。
スピーカ鳴動しない….保留音をスピーカから流さない。

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- 本機能は、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときは無効になります。音声電話中にFOMA端末を閉じても通話状態は変化しません。テレビ電話中にFOMA端末を閉じた場合は、相手には代替画像が送信され通話が継続します。
- テレビ電話中にFOMA端末を閉じたときは、「ミュート」に設定していると、相手には代替画像が送信されます。「保留」に設定していると、「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が送信されます。
- 「ミュート」「保留」に設定していると、FOMA端末を閉じたときに、プライベートウィンドウに「保留中」と表示されます。

<受話音量>
相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	レベル4

1 待受画面▶[O](1秒以上)▶[O]で受話音量を調節

レベル1(最小)～レベル6(最大)の6段階で調節します。
音量を上げるときは[O]または[▲]を、音量を下げるときは[O]または[▼]を押します。

- 音声電話中は[O]を1秒以上または[▲][▼]、テレビ電話中は[O]または[▲][▼]でも受話音量を調節できます。
- 受話音量調節画面の表示後、2秒以内に[O]または[▲][▼]を押して受話音量を調節してください。

受話音量調節画面

お知らせ

- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- 受話音量を調節すると、ハンズフリー通話のスピーカ通話時の音量も調節されます。

<着信音量>
着信音の音量を調節する

[メニュー][5][0]

お買い上げ時	レベル4

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに鳴る着信音の大きさを調節します。

1 [メニュー]▶設定▶着信▶着信音量▶着信の種類を選択▶[O]で音量を調節

- 着信音量を「消去」に設定中は、以下のアイコンが表示されます。
  - S♪:音声電話またはテレビ電話のいずれかの着信音量を「消去」
  - S✉:メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」
  - S♪✉:音声電話、テレビ電話のいずれかと、メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」
- 「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
- 音声電話、テレビ電話の着信中は[O]または[▲][▼]を1秒以上押しても着信音量を調節できます。ただし、以下の場合は着信音量を調節できません。
  - ･着信音量が「ステップ」に設定されている
  - ･「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定し、着信音や音声読み上げを止めた場合
  - ･マナーモード中
  - ･「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信

＜応答保留＞
すぐに電話に出られないとき保留にする

1 着信中▶[☎]

「ピッピッピッ」という確認音が鳴り、応答保留の状態になります。
- マナーモード中や「着信音量」の「電話」が「消去」に設定されているときは確認音は鳴りません。
- 相手には「保留音設定」の「応答保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2 電話に出られるようになったら[☎]、[テレビ電話]または[●]で保留を解除する

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、[0]～[9]、[＊]、[chクリア]、[✉]、[📷]、[◯]、[▲]または[▼]、[＃]、[iα]を押しても音声電話の保留を解除できます。
- テレビ電話を保留していた場合、[テレビ電話]または[☎]を押して保留を解除すると、相手にカメラ画像が送信されます。[●]（代替）を押して保留を解除すると、代替画像が送信されます。

お知らせ
- 応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
- 応答保留中に[☎]を押すと、通話が切れます。

＜通話中保留＞
通話中に保留にする

1 通話中▶[chクリア]

- 相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定している場合は、通話中にFOMA端末を閉じても保留できます。

2 電話に出られるようになったら[☎]または[●]で保留を解除する

- [chクリア]でも保留を解除します。テレビ電話を保留していた場合、[テレビ電話]または[☎]を押して保留を解除すると、相手にカメラ画像が送信されます。[●]（代替）または[chクリア]を押して保留を解除すると、代替画像が送信されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定し、FOMA端末を閉じて保留にしていた場合、FOMA端末を開くか、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると電話に出ることができます。
平型スイッチ付イヤホンマイクを接続してテレビ電話に出る場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ
- 通話を保留している間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留している間に新しく着信があると、通話中保留は解除されます。

<保留音設定>
保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音:応答保留音1　通話中保留音:主よ人の望みの喜びよ

保留中に相手側に流れるガイダンスを設定します。

1 **メニュー▶設定▶通話▶保留音設定▶応答保留音・通話中保留音▶保留音を選択**

応答保留音1
…「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください。」と流れます。
応答保留音にのみ設定できます。

応答保留音2
…「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」と流れます。
応答保留音にのみ設定できます。

主よ人の望みの喜びよ
…メロディが流れます。
通話中保留音にのみ設定できます。

おしゃべり1･おしゃべり2
…「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。
録音されていないときは表示されません。

- ✉(デモ)で保留音の再生、chクリアでデモ再生の終了ができます。

<公共モード(ドライブモード)>
公共モード(ドライブモード)を利用する

お買い上げ時	解除

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 **待受画面▶✳(1秒以上)**

公共モードが設定され、「🚗」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード(ドライブモード)を解除するには

同様の操作を行います。

- 「🚗」の表示が消えます。

お知らせ

- 本機能は待受中のみ設定／解除できます。「圏外」表示中でも、設定／解除はできます。
- 本機能を設定中でも電話をかけることができます。ただし、緊急通報110番／119番／118番に電話をかけた場合、本機能は解除されます。
- 本機能と「マナーモード」を同時に設定している場合、本機能の設定が優先されます。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モードガイダンスは流れません。)
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

公共モード(ドライブモード)に設定すると

- 電話がかかってきても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。
- 電源が入っていないときや画面に「圏外」表示が出ているときは、公共モードガイダンスは流れずに「圏外」表示が出ているときと同じガイダンスが流れます。
- メールやメッセージを受信しても着信音は鳴らず、着信／充電ランプも点滅しません。また、バイブレータを設定していても振動しません。
- 64Kデータ通信の着信音、アラーム音、充電確認音、ｉアプリ実行中のメロディも鳴りません。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

■公共モード(ドライブモード)に設定中の着信と各サービスとの関係

音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス※	
相手に公共モードガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス※	
相手に公共モードガイダンスを流し、転送先に転送します。 相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードガイダンスを流します。 「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
キャッチホン	
相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。
迷惑電話ストップサービス	
拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
番号通知お願いサービス	
相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。

※呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、公共モードガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「不在着信あり」のアイコン、「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。

<公共モード(電源OFF)>

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 「*25251」を入力▶

公共モード(電源OFF)が設定されます。(待受画面上の変化はありません。)
公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モード(電源OFF)を解除するには、「*25250」に発信します。
- 公共モード(電源OFF)の設定状況を確認するには、「*25259」に発信します。

公共モード(電源OFF)に設定すると

「*25250」に発信して公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。

▶▶次ページにつづく

■公共モード（電源OFF）に設定中の着信と各サービスとの関係

音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	
相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。※	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス	
相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流し、転送先に転送します。※ 相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モード（電源OFF）ガイダンスを流します。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
迷惑電話ストップサービス	
拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
番号通知お願いサービス	
相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示し、切断します。

※呼出時間を0秒に設定したときは、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送電話サービス」になります。

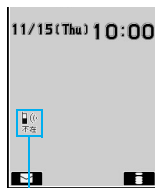
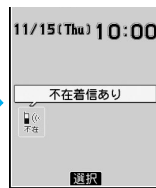
<不在着信>
かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）や新着メールがあったとき、伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージが録音・録画されているときは、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択してその機能へ移ります。

◆各アイコンについて⇒P.121

1 待受画面▶●▶●（選択）

アイコンの説明が表示されます。

- ☎または clr を押すと元の状態に戻ります。
- アイコンが複数あるときは◯でアイコンを選んで●（選択）を押します。

FOMA端末を閉じているときは

情報あり

プライベートウィンドウに表示されます。

▲を押すと不在着信履歴が表示されます。⇒P.28

＜伝言メモ＞ メニュー 5 5

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスをご契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音・録画できます。
1件につき約20秒間で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音・録画できます。

伝言メモを設定する

お買い上げ時	伝言メモ　：OFF 応答メッセージ　：標準（ON設定時） 呼出時間　：8秒（ON設定時）

1 メニュー▶LifeKit▶伝言メモ▶ON・OFF

- 「OFF」選択時は設定が終了します。

2 応答メッセージを選択

- ✉（デモ）で応答メッセージの再生、chクリアでデモ再生の終了ができます。
- 「標準」「プライベート」「英語」に設定した場合、相手に応答メッセージが流れたあと、「ピーッ」という音が鳴ります。
「おしゃべり1」「おしゃべり2」に設定した場合、音は鳴りません。

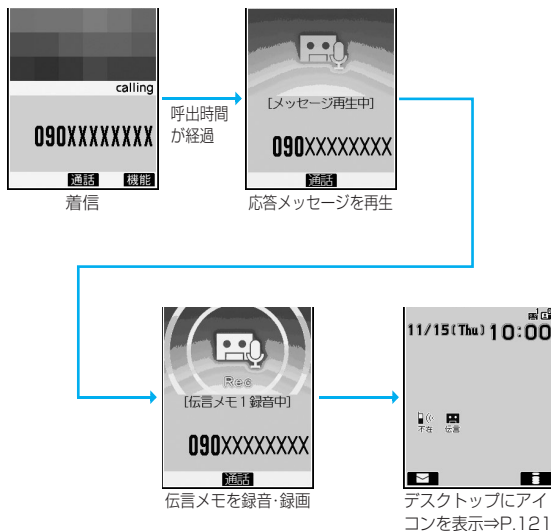
3 呼出時間（秒）を入力

- 「000」〜「120」の3桁を入力します。
- 遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
- 伝言メモ設定中は「[0]」〜「[5]」（音声電話の録音件数）、「[0]」〜「[2]」（テレビ電話の録画件数）が表示されます。

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってきたときは

着信　応答メッセージを再生

伝言メモを録音・録画

デスクトップにアイコンを表示⇒P.121

テレビ電話の場合、応答メッセージの再生中は相手に「画像選択」の「伝言メモ準備選択」で設定した静止画が表示され、録画中は「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した静止画が表示されます。

応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音・録画中に電話に出るときは

☎または●を押します。
テレビ電話の場合、📷または☎で自分のカメラ画像、●（代替）で代替画像が送信されます。
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押しても電話に出ることができます。テレビ電話の場合、相手には自分のカメラ画像が送信されます。

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- 「圏外」が表示されているときは動作しません。
- 公共モード（ドライブモード）と伝言メモを同時に設定しているときは公共モード（ドライブモード）が優先され、伝言メモは動作しません。
- 応答メッセージの優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「伝言メモの設定」の順になります。
- 応答メッセージを「おしゃべり1」「おしゃべり2」に設定しているときに、「おしゃべり1」「おしゃべり2」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。
- 「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときは、これらのサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間をこれらのサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音･録画されているときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- 伝言メモ録音･録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。

お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

電話番号ごとに応答メッセージを設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号ごとに応答メッセージを設定します。

- シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳詳細画面▶[iα]（機能）▶電話帳便利機能▶応答メッセージ

⇒P.73手順2の操作を行います。
「応答メッセージ」に「★」マークが付きます。

- 電話番号の応答メッセージを解除するには、同様の操作を行います。

グループごとに応答メッセージを設定する [メニュー][2][6]

FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているグループごとに応答メッセージを設定します。
電話番号ごとに応答メッセージが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。

1 待受画面▶[○]▶グループ設定▶グループを選んで[iα]（機能）▶グループ便利機能▶応答メッセージ

⇒P.73手順2の操作を行います。
「応答メッセージ」に「★」マークが付きます。

- グループの応答メッセージを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になります。

<クイック伝言メモ>

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモが設定されていないときに電話がかかってきても、その着信に限り用件を録音･録画できます。

1 着信中▶[#]または[▼]

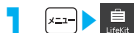
マナーモードも設定されます。
相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音･録画が開始されます。

- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音･録画されている場合は、伝言メモは動作しません。
- 「サイドボタン操作」を「閉じた時無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じているときに[▼]を押しても伝言メモは動作しません。

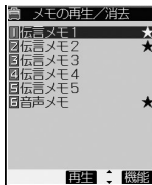
<メモの再生／消去><テレビ電話メモの再生／消去>

伝言メモ・音声メモ・テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する

伝言メモ・音声メモを再生／消去する

1

▶メモの再生／消去
▶伝言メモまたは音声メモを選択

メモ一覧画面

「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。
- メモ一覧画面では録音されている項目に「★」マークが付きます。
- 「受話音量」で設定した音量で再生されます。
- 再生が終わると「ピピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。
- 再生中はメモが録音された日付・時刻が表示されます。相手が電話番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。
ただし、シークレット登録された相手からの伝言メモを通常のモードで再生したときは、名前の表示は行わず電話番号だけが表示されます。
- 再生中に相手の電話番号が表示されているときは、[発信]で相手の電話番号に音声電話発信、[テレビ電話]でテレビ電話発信ができます。

[▼]を使って再生するには

待受画面で[▼]を押すと、一番新しい伝言メモが再生されます。伝言メモが録音されていない場合は、音声メモが再生されます。

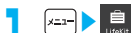
次のメモを再生するには

再生中に[▼]を押すごとに、次に新しい伝言メモ→一番古い伝言メモ→音声メモの順に再生されます。

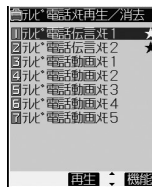
再生を途中で止めるには

[●]（停止）または[クリア]を押します。

テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する

1 [メニュー]▶[LifeKit]

▶テレビ電話メモの再生／消去
▶テレビ電話伝言メモまたは動画メモを選択

テレビ電話メモ一覧画面

- テレビ電話メモ一覧画面では録画されている項目に「★」マークが付きます。
- iモーションの再生音と同じ音量で再生されます。
- 再生中はメモが録画された日付・時刻が表示されます。

[▼]を使って再生するには

待受画面で[▼]を1秒以上押すと、一番新しいテレビ電話伝言メモが再生されます。テレビ電話伝言メモが録画されていない場合は、一番新しい動画メモが再生されます。

再生を途中で止めるには

[●]（■）または[クリア]を押します。

メモ一覧画面・テレビ電話メモ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生	再生します。
1件消去	▶YES ● 再生中に[✉]（消去）を押しても、1件消去できます。
伝言メモ消去	メモ一覧画面では伝言メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモをすべて消去します。 ▶YES
動画メモ消去 ［テレビ電話メモ一覧のみ］	動画メモをすべて消去します。 ▶YES
全消去	メモ一覧画面では伝言メモ、音声メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモ、動画メモをすべて消去します。 ▶YES

キャラ電を利用する

自分のカメラ画像の代わりにキャラ電を相手に送信します。

◆キャラ電とは⇒P.287

通話ごとに設定する

キャラ電を相手に送信する画像に設定してテレビ電話をかけます。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面▶i(機能)▶キャラ電発信

相手の電話番号を入力し、(テレビ電話キー)または●(発信)を押してテレビ電話をかけます。

● 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、(下キー)で電話帳検索画面から選択して呼び出せます。

● (右キー)で着信履歴、(左キー)でリダイヤルからでも検索できます。

お知らせ

● 相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳に登録したキャラ電」→「画像選択」の順になります。

電話番号ごとに設定する

FOMA端末(本体)の電話帳に登録した電話番号ごとに、キャラ電をテレビ電話中の代替画像に設定します。

● シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳詳細画面▶i(機能)▶電話帳便利機能▶キャラ電設定▶キャラ電を選択

「キャラ電設定」に「★」マークが付きます。

● 電話番号のキャラ電設定を解除するには、同様の操作を行います。

グループごとに設定する メニュー 2 6

FOMA端末(本体)の電話帳に登録されているグループごとに、キャラ電をテレビ電話中の代替画像に設定します。電話番号ごとにキャラ電が設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

● 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。

1 待受画面▶(下キー)▶グループ設定▶グループを選んでi(機能)▶グループ便利機能▶キャラ電設定▶キャラ電を選択

「キャラ電設定」に「★」マークが付きます。

● グループのキャラ電設定を解除するには、同様の操作を行います。

代替画像設定

お買い上げ時	Dimo

キャラ電を「画像選択」の「代替画像選択」に設定します。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面・キャラ電撮影画面▶i(機能)▶代替画像設定

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。通話中のテレビ電話にのみ有効です。

1 キャラ電通話中▶i(機能)▶キャラ電設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
キャラ電切替	● キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。 ▶キャラ電を選択
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ● アクションを選び、●(選択)でアクションを実行、✉(詳細)でアクションの詳細が確認できます。 ● ✱でもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 テレビ電話起動時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(アイコン)またはパーツアクションモード(アイコン)に切り替えます。 ● ✉でも切り替えができます。
内蔵代替画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「自作」の静止画に切り替えます。

テレビ電話に関する便利な機能

カメラを切り替える

テレビ電話起動時	インカメラ

相手に送信するカメラ画像をインカメラの画像からアウトカメラの画像に切り替えます。

1 テレビ電話中▶[✉](OUT)

- [iα](機能)→「アウトカメラ」または「インカメラ」を選択してもカメラが切り替わります。
- ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

接写する

テレビ電話中に接写モードにして、相手に画像を送信します。
⇒P.157

代替画像を送信する

相手に送信する画像を、自分のカメラ画像から代替画像に設定した静止画またはキャラ電に切り替えます。

◆キャラ電について⇒P.287

1 テレビ電話中▶[代替]

カメラがOFFになり、相手には代替画像が送信されます。
静止画による代替画像送信中は「[アイコン]」、代替画像にキャラ電を設定している場合(キャラ電通話中)は「[アイコン]」が表示されます。

- もう一度[代替]を押すと、代替画像から自分のカメラ画像に切り替わります。

送信する代替画像について

代替画像は以下の4つの機能で設定できます。

- 「電話帳便利機能」で設定したキャラ電(電話番号ごとの設定)
- 「グループ便利機能」で設定したキャラ電(グループごとの設定)
- 電話帳に登録したキャラ電
- 「画像選択」の「代替画像選択」で設定した静止画またはキャラ電

この他に、通話ごとにもキャラ電を設定できます。⇒P.76
相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳に登録したキャラ電」→「画像選択」の順になります。
テレビ電話がかかってきた場合、相手が発信者番号を通知してこないときは「電話番号ごとの設定」、「グループごとの設定」、「電話帳に登録したキャラ電」は無効になりますのでご注意ください。

代替画像でテレビ電話に出るには

テレビ電話着信中に[●](代替)を押してテレビ電話に出ます。

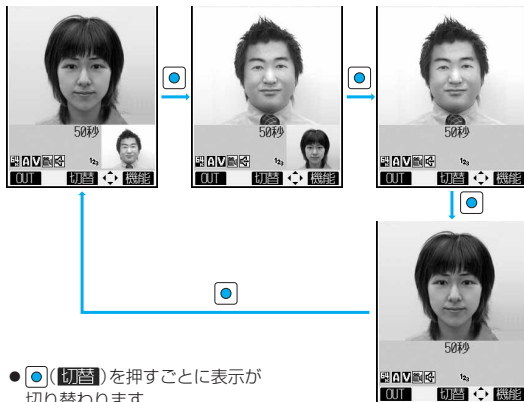
- 自分のカメラ画像に切り替えるには[代替]を押します。

お知らせ

- 代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。

画像の表示位置を切り替える

相手の画像と自分の画像の表示位置を切り替えます。

1 テレビ電話中に[●](切替)を押す

- [●](切替)を押すごとに表示が切り替わります。

ズームする

テレビ電話起動時	広角

相手に送信するカメラ画像のズームを調節します。
最大倍率はインカメラ約2.0倍、アウトカメラ約3.5倍です。

1 テレビ電話中▶[◎]でズーム倍率を調節

● テレビ電話終了後、ズームの設定は元に戻ります。

テレビ電話中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
音声電話切替	通話中のテレビ電話を音声電話に切り替えます。 ⇒P.54
テレビ電話設定（画像品質設定）	画質を設定します。 ⇒P.79
テレビ電話設定（明るさ調節） お買い上げ時: 0	相手に送るカメラ画像の明るさを －3（暗い）～＋3（明るい）で調節します。 ▶**明るさ調節**▶**明るさを選択**
テレビ電話設定（ホワイトバランス） お買い上げ時: オート	相手に送るカメラ画像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**ホワイトバランス**▶**項目を選択** **晴天**………屋外晴天下で通話するとき **曇天**………曇天や日陰で通話するとき **オート**……ホワイトバランスを自動調整するとき **電球**………電球照明下で通話するとき
テレビ電話設定（色調切替） テレビ電話起動時: 通常	相手に送るカメラ画像の色調を切り替えます。 ▶**色調切替**▶**色調を選択**
テレビ電話設定（ナイトモード） テレビ電話起動時: OFF	露光を長くして、暗いところでも相手に送る画像が鮮明になるように設定します。 ▶**ナイトモード**▶**ON・OFF**
キャラ電設定	キャラ電通話の設定をします。 ⇒P.76
照明設定 お買い上げ時: 常時点灯	画面の照明を常時点灯させるか、操作後約15秒間点灯させるかを設定します。 ▶**常時点灯・15秒点灯**
通話中時間表示	テレビ電話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。 ⇒P.338
アウトカメラ・インカメラ	カメラを切り替えます。 ⇒P.77
DTMF送信・DTMF解除	キャラ電通話中にダイヤルデータを入力してDTMF（プッシュ信号）を送ることができるDTMF送信モードに切り替えます。キャラ電通話中のみ操作できます。 ● 現在DTMF送信モードでない場合は「DTMF送信」、DTMF送信モードの場合は「DTMF解除」と表示されます。 ● DTMF送信モード中は、キャラ電のアクション操作はできません。 ● 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
自局番号表示	自分の電話番号を表示します。

<テレビ電話ハンズフリー設定>
テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時	ON

テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。

1 [メニュー]▶▶テレビ電話
▶テレビ電話ハンズフリー設定▶ON・OFF

◆ハンズフリー設定中の動作、ハンズフリー切替について⇒P.64

<画像品質設定>
テレビ電話の画質を設定する

お買い上げ時	標準

ディスプレイに表示される相手の画像と相手に送信する自分の画像の画質を設定します。

1 メニュー▶設定▶**テレビ電話▶画像品質設定▶画像品質を選択**

- 「動き優先」は画像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。
- テレビ電話中は i(機能)を押して「テレビ電話設定」を選択し、「画像品質設定」を選択します。その場合、設定は通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になるときがあります。

<画像選択>
テレビ電話の表示を変更する

お買い上げ時	応答保留選択：内蔵　通話保留選択：内蔵 代替画像選択：キャラ電（Dimo） 伝言メモ選択：内蔵　伝言メモ準備選択：内蔵 動画メモ選択：内蔵

カメラ画像の代わりに相手に送信する画像を設定します。

1 メニュー▶設定▶**テレビ電話▶画像選択▶項目を選択**

応答保留選択............応答保留中の画像を設定。
通話保留選択............通話保留中の画像を設定。
代替画像選択............カメラOFF時の代替画像（静止画またはキャラ電）を設定。
伝言メモ選択............伝言メモ録画中の画像を設定。
伝言メモ準備選択.....伝言メモ応答メッセージ再生中の画像を設定。
動画メモ選択............動画メモ録画中の画像を設定。

2 **画像を選択**

画像選択画面

内蔵..............FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信。
自作..............状態に応じたメッセージと「ピクチャ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信。
キャラ電......「代替画像設定」で選択したキャラ電を相手に送信。
⇒P.76
（手順1で「代替画像選択」を選択した場合のみ表示）

- ✉(デモ)で静止画またはキャラ電をデモ再生し、確認できます。

お知らせ

- 「自作」で選択した静止画を削除しても、相手にはその静止画が表示されます。変更する場合は「設定内容変更」や「ピクチャ貼付」で設定してください。

画像選択画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
設定内容変更	「自作」または「キャラ電」の設定を変更します。 ●「内蔵」を選択中は操作できません。 ◆設定可能な静止画⇒P.270 「自作」を選択していた場合 ▶**フォルダを選択▶静止画を選択** 「キャラ電」を選択していた場合 ▶**キャラ電を選択**

通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を設定します。

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 i α(機能)▶テレビ電話画像選択▶自画像・キャラ電

- 「自画像」選択時は設定が終了します。
- 通話ごとの設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。設定が終了します。

3 キャラ電を選択

<音声自動再発信>

テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する

お買い上げ時	OFF

テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 メニュー▶設定▶テレビ電話▶音声自動再発信▶ON・OFF

お知らせ

- 音声電話の発信動作に切り替わった場合、音声電話料金になります。
- 相手が話し中や公共モード(ドライブモード)中などのためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。

<テレビ電話切替機能通知>

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを相手に通知する機能です。
ご契約時は「開始」に設定されています。「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手がテレビ電話と音声電話を切り替えることができます。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所、または通話中は「テレビ電話切替機能通知」の操作はできません。

1 メニュー▶設定▶テレビ電話▶テレビ電話切替機能通知▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
切替機能通知開始	▶YES▶OK
切替機能通知停止	▶YES▶OK
切替機能通知設定確認	テレビ電話切替機能の設定を確認します。 ● 確認が終われば「OK」を選択します。

<パケット通信中着信設定>

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応対方法を選択する

お買い上げ時	テレビ電話優先

iモード、メールの送受信などのパケット通信中にテレビ電話がかかってきた場合、かかってきたテレビ電話をどのように扱うかを選択します。

1 メニュー▶設定▶**着信**▶**パケット通信中着信設定**▶**項目を選択**

テレビ電話優先……… テレビ電話の着信画面を表示。テレビ電話に応答するとパケット通信が切断されます。

パケット通信優先….. テレビ電話着信を拒否し、通信を継続。

留守番電話……………. かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続。

転送でんわ……………. かかってきたテレビ電話を転送先に転送。

お知らせ

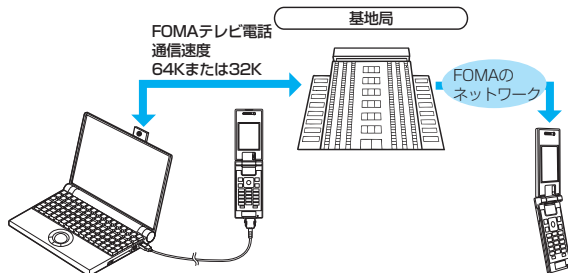
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスが未契約の場合や「開始」に設定されていない場合は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定していても「パケット通信優先」の動作になります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。

この機能を利用するには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器(市販品)を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定･操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください。
  (パソコンでのご利用環境など詳細についてはサポートホームページでご確認ください。)

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話中に音声電話･テレビ電話･64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

<遠隔監視設定>
外出先から室内の様子などを確認する

お買い上げ時	対局番号登録:未登録 応答時間設定:5秒 設定　　　　:OFF

3G-324Mに準拠したテレビ電話機能を持つ電話機からFOMA端末に電話をかけて、遠隔監視ができます。遠隔監視を行うには、必ず着信側が「遠隔監視設定」を「ON」に設定し、監視する側(発信側)の電話番号を「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録してください。(FOMA端末は開いた状態で設置してください。)

着信側の準備をする

1 ▶テレビ電話▶遠隔監視設定▶端末暗証番号を入力

2 対局番号登録▶<未登録>▶対局番号を入力

対局番号一覧画面

- 変更する場合は、登録済みの対局番号を選択します。
- 数字、#、＊、＋で5件、26桁まで入力できます。
- 対局番号登録後、対局番号一覧画面でchクリアを押すと遠隔監視設定画面に戻ります。

3 応答時間設定▶応答時間(秒)を入力

- テレビ電話がかかってから遠隔監視を開始するまでの時間を「003」〜「120」の3桁で入力します。
- 遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

4 設定▶ON

- 対局番号に登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合に、応答時間経過後、遠隔監視として自動応答します。
- 「ON」に設定中は「」が表示されます。
- マナーモード中は「ON」に設定できません。

遠隔監視設定を解除する場合
手順1と同様の操作を行い、設定▶OFFを操作します。

遠隔監視の設定内容を変更したい場合
手順1〜手順4と同様の操作を行います。

対局番号一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足	
宛先参照入力	電話帳、発信履歴、着信履歴から電話番号を呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳**……電話帳を呼び出して電話番号を選択します。 **発信履歴**…電話番号を選択して●(選択)を押します。 **着信履歴**…電話番号を選択して●(選択)を押します。	
1件削除	▶YES	●対局番号をすべて削除した場合、「遠隔監視設定」は「OFF」になります。
全削除	▶YES	

遠隔監視を行う

1 登録した電話番号からテレビ電話をかける

遠隔監視設定で設定した応答時間経過後、自動的に遠隔監視が始まります。

遠隔監視中画面

- ディスプレイに着信側の画像が表示され、音声がスピーカから流れます。
- 音声のみの遠隔監視はできません。
- 遠隔監視中は、[終話]を押して遠隔監視を終了する操作以外はできません。
- 発信者番号を通知してテレビ電話をかけてください。通知されない場合は、遠隔監視着信にならず、テレビ電話着信となります。

2 発信側または着信側で[終話]を押し、遠隔監視を終了する

着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話(カメラ映像)に出る場合

- 自動応答する前に[i]または[開始]を押すとテレビ電話が始まり、自分のカメラ画像を相手に送信します。[●]([代替])を押すと、代替画像を相手に送信してテレビ電話を開始します。
- 遠隔監視の着信時は「オープン設定」は無効になります。
- 遠隔監視の着信時に[終話]を押すと通信が切断され、遠隔監視は行われません。

お知らせ

- 本FOMA端末を着信側に使用した場合、発信側のカメラ画像が表示され、音声が流れます。(代替画像に切り替えることはできません。)
- マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は、遠隔監視は受けられません。ただし、オールロック中は遠隔監視を受けます。
- 遠隔監視設定を「ON」に設定しているときに対局番号からのテレビ電話着信があった場合は、「呼出時間表示設定」、「オート着信」、「伝言メモ」が設定中でも、その呼出時間に関わらず、遠隔監視設定の呼出時間後に遠隔監視を開始します。
- 遠隔監視が実行されなかった場合、テレビ電話の不在着信として着信履歴に残ります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中に遠隔監視の着信があった場合、「イヤホン切替」を「イヤホン」に設定していてもイヤホンとスピーカの両方から着信音が鳴ります。
- 着信音は遠隔監視専用の着信音が鳴ります。(着信音は変更できません。)
  着信音量は「着信音量」の「テレビ電話」で設定したレベルで鳴りますが、「ステップ」または「レベル1」以下に設定している場合は「レベル2」で鳴ります。
  また、着信イルミネーションの設定によらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
- 遠隔監視の着信に対しては応答保留できません。
- 転送でんわサービスと遠隔監視を同時に設定する場合、遠隔監視を優先させるには、遠隔監視の応答時間を転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 転送でんわサービスを利用して遠隔監視を行う場合は、発信元の電話番号を対局番号に登録し、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定してください。

- **お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。**

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末(本体)の電話帳と、FOMAカードの電話帳の2種類の電話帳が利用できます。

● お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

項目		FOMA端末(本体)	FOMAカード
件数		最大800件	最大50件
登録内容	名前(フリガナ)	○(1件)	○(1件)
	グループ	20グループ(※1)	11グループ(※2)
	電話番号	4件	1件
	メールアドレス	3件	1件
	アイコン	○(※3)	×
	住所	○(1件)	×
	誕生日	○(1件)	×
	メモ	○(1件)	×
	静止画	○(1件)(最大100件)	×
	キャラ電	○(1件)(最大100件)	×
	メモリ番号	000〜799	×
電話帳検索		8通り(※4)	6通り(※5)
ツータッチダイヤル		○(メモリ番号000〜009)	×
電話帳便利機能	音声/テレビ電話着信音	○(※6)	×
	着信バイブレータ		
	着信イルミネーション		
	着信イメージ		
	応答メッセージ		
	メール着信音	○(※7)	
	メールバイブレータ		
	メールイルミネーション		
	テレビ電話通信速度	○(※6)	
	キャラ電設定		
電話帳指定設定	指定発信制限	○(※8)	×
	指定着信拒否		
	指定着信許可		
	指定転送でんわ		
	指定留守番電話		
シークレットコード		○(※3)	×
シークレットモード、シークレット専用モードでの登録		○	×

※1 00〜19のグループに分類可能
※2 00〜10のグループに分類可能
※3 登録した電話番号ごと、メールアドレスごとに設定可能
※4 フリガナ、名前、電話番号、アドレス(メールアドレス)、メモリ番号、グループ、行、ツータッチダイヤル、の8通り
※5 フリガナ、名前、電話番号、アドレス(メールアドレス)、グループ、行、の6通り
※6 登録した電話番号、またはグループごとに設定可能
※7 登録した電話番号、メールアドレス、またはグループごとに設定可能
※8 登録した電話番号ごとに設定可能

<電話帳登録>
電話帳を登録する

FOMA端末(本体)またはFOMAカードの電話帳に登録します。

1 待受画面▶○▶電話帳登録▶本体・FOMAカード(UIM)

名前の入力画面が表示されます。手順2へ進んで名前を入力します。

● 「メニュー▶電話帳」でも電話帳機能の選択画面が表示されます。「電話帳登録」を選択すると登録先の選択画面が表示されます。

● 電話帳の一覧画面で✉(新規)を押しても登録先の選択画面が表示されます。

2 次ページの操作を行う

FOMA端末(本体)の場合

電話帳登録
ドコモ太郎
ドコモタロウ
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
完了 選択

FOMAカードの場合

項目	操作・補足
名＜名前＞	相手の名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。 ▶**名前を入力** ●FOMA端末（本体）の場合、全角16／半角32文字まで入力できます。絵文字も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角10／半角英数のみなら21文字まで入力できます。（半角カタカナは入力できません。）
ｶﾅ＜フリガナ＞	フリガナを半角のカタカナ、英字、数字で入力します。 ▶**フリガナを入力** ●FOMA端末（本体）の場合、半角32文字まで入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角12／半角英数のみなら25文字まで入力できます。（半角カタカナは入力できません。） ●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありませんが、条件によっては入力した名前がフリガナに反映されないことがあります。 ●名前に「ゎ（小文字）」、「ヮ（小文字）」を入力すると、フリガナには「ﾜ（半角大文字）」（FOMA端末（本体）の場合）、「ワ（大文字）」（FOMAカードの場合）として表示されます。
GR＜グループ＞	FOMA端末（本体）には20個／FOMAカードには11個のグループがあります。 ●グループを選択していない状態で登録を完了した場合、「グループ00」に登録されます。 ▶**グループを選択**
☎＜電話番号＞	FOMA端末（本体）には電話帳1件に4番号まで登録できます。 FOMAカードには電話帳1件に1番号まで登録できます。 ▶**電話番号を入力** ●電話番号は市外局番から入力します。 ●電話番号は最大26桁（FOMAカード（青色）には20桁）まで入力できます。 ●[＊]を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ（p）を入力できます。ただし、電話番号の先頭にポーズ（p）を入力したり、連続しての入力はできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ（p）は登録されません。 ●「＊」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。ただし、リダイヤル・発信履歴は残ります。 ●情報ダイヤルなどの「#」を使用した番号も登録できます。 ▶**アイコンを選択（FOMA端末（本体）のみ）** ●FOMA端末（本体）に電話番号を登録すると電話帳新規登録画面に「☎＜追加登録＞」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「☎＜追加登録＞」を選択します。

▶▶次ページにつづく

項目	操作・補足
<メールアドレス>	FOMA端末(本体)には電話帳1件に3アドレスまで登録できます。 FOMAカードには電話帳1件に1アドレスまで登録できます。 ● FOMA端末(本体)にはシークレットコードも設定できます。⇒P.96 ▶ **メールアドレスを入力** ● メールアドレスの文字数:半角英数字、記号で50文字まで。 ● メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。 ▶ **アイコンを選択(FOMA端末(本体)のみ)** ● FOMA端末(本体)にメールアドレスを登録すると電話帳新規登録画面に「<追加登録>」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「<追加登録>」を選択します。
<住所> [FOMA端末(本体)のみ]	▶ **郵便番号を入力▶住所を入力** ● 郵便番号:7桁まで。 ● 住所の文字数:全角50/半角100文字まで。 ● 住所には絵文字も入力できます。 ● 郵便番号に「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。
<誕生日> [FOMA端末(本体)のみ]	▶ **誕生日を入力**
<メモ> [FOMA端末(本体)のみ]	▶ **メモを入力** ● 文字数:全角100/半角200文字まで。 ● 絵文字も入力できます。
<静止画> [FOMA端末(本体)のみ]	登録した静止画は、電話帳を呼び出したときに表示されます。 ▶ **静止画選択▶フォルダを選択▶静止画を選択** ● 登録できる静止画は、画像サイズがVGA(640×480)以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。 ● Sub-QCIF(128×96)サイズより大きい静止画を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。 ● QCIF(176×144)サイズより大きい静止画を登録した場合、着信画面には縮小されて表示されます。 ●「電話帳画像着信設定」を「ON」にしていると、登録した静止画が着信時に表示されます。ただし「着信イメージ」にも画像を登録している場合、着信時には「着信イメージ」に登録している画像が優先して表示されます。
<キャラ電> [FOMA端末(本体)のみ]	登録したキャラ電は、電話帳の相手とのテレビ電話時に代替画像として表示されます。 ▶ **キャラ電選択▶キャラ電を選択** ● Sub-QCIF(128×96)サイズより大きいキャラ電を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。
NO <メモリ番号> [FOMA端末(本体)のみ]	▶ **メモリ番号を入力** ●「000」~「799」の3桁を入力します。 ●「メモリ番号」には、あらかじめ「010」~「799」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。 「010」~「799」がすべて登録されているときは、「000」~「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。

3 ✉(完了)を押す

- 名前を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。
- シークレットモード中にFOMA端末(本体)の電話帳に登録する場合は、電話帳をシークレット登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
  シークレット専用モード中はシークレット登録されます。

FOMA端末(本体)の電話帳に登録できないときは

- 通常モードで登録するとき、シークレットデータとして登録した電話帳のメモリ番号と重複した場合は登録できません。別のメモリ番号を入力してください。

編集中の電話帳について

電池が切れたときは

電話帳編集中に電池切れアラームが鳴り、「電池充電してください」という画面(⇒P.44)が表示された場合、編集中の電話帳は自動的に保存されます。充電して編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、以下の方法で中断した電話帳編集の続きを行ってください。

1. 待受画面▶◎▶電話帳登録▶本体･FOMAカード(UIM)
   - 編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認画面が表示されます。
2. 再編集
   - 新しく他の電話帳を登録するときは「新規」を選択します。この場合、編集中のデータは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、確認画面が再度表示されます。
3. 電話帳編集の続きを行う
   - 編集中データとして登録されているのは一番新しい1件のみです。
   - 編集中データを呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中データは消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

電話帳編集中に電話がかかってきたり、メールを受信したときでも、マルチタスク機能が働くため編集中の電話帳のデータはそのままで応対できます。
(マルチ)を1秒以上押してメニューを切り替え、電話帳の編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

お願い

- FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(⇒P.294)や電話帳お預かりサービス(⇒P.100)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(⇒P.378)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

表示／選択している電話番号やメールアドレス、静止画をFOMA端末(本体)やFOMAカードの電話帳に登録します。

操作	登録可能な項目
電話番号を入力中	電話番号
リダイヤル表示中･発信履歴表示中･着信履歴表示中	電話番号
送信アドレス一覧表示中･受信アドレス一覧表示中	電話番号･メールアドレス
サイト表示中･画面メモ表示中	電話番号･メールアドレス
メッセージR/Fの本文表示中･メールの本文表示中	電話番号･メールアドレス
バーコードリーダーやテキストリーダーで読み取ったデータを表示中	電話番号･メールアドレス
下線のついた電話番号やメールアドレスのテロップが設定されているｉモーションの再生終了時･停止中	電話番号･メールアドレス
静止画一覧表示中･静止画再生中	静止画

1 登録したい項目を表示／選択▶[iα](機能)▶電話帳登録

- 受信メールの送信元や同報先、送信メールの宛先を電話帳に登録する場合は、「アドレス登録」を選択します。
  送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、送信元･同報先･宛先を選択する画面が表示されます。[○]で登録したいメールアドレスや電話番号を選択します。
- テキストリーダーの読み取り結果を電話帳に登録する場合は、「電話番号登録」または「メールアドレス登録」を選択します。
- 静止画を電話帳に登録する場合は、「電話帳ピクチャ登録」を選択します。
- バーコードリーダーのコード読取結果画面で「電話帳登録」と表示されている場合、「電話帳登録」を選択すると読み取ったコードに付加されている電話番号やメールアドレス以外の情報も電話帳に入力されます。

2 本体・FOMAカード(UIM)▶登録方法を選択

新規登録……新たに電話帳に登録します。⇒P.86手順2へ
追加登録……すでにある電話帳に追加登録します。FOMAカードの電話帳に登録するときは「上書き登録」と表示されます。

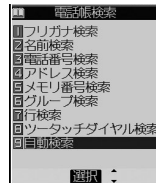
3 検索方法を選択▶電話帳を検索▶登録する電話帳を選択▶[●](選択)

電話番号やメールアドレスなどが自動的に入力されます。

- 電話帳の他の項目を修正する場合⇒P.94手順2へ

4 [✉](完了)▶YES

「自動検索」について

ｉモードサイトのページなどで反転表示された情報(電話番号、メールアドレスなど)に名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの情報が付加されているときは、手順3の電話帳検索画面に「自動検索」が表示されます。
「自動検索」を選択すると同じ名前、フリガナの電話帳を検索できます。

お知らせ

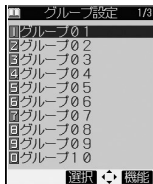
- リダイヤル、発信履歴の「発番号設定」の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に「186／184」を付けて登録してください。
- 登録できない文字はスペースに変換されたり削除されたりして登録されることがあります。
- サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

<グループ設定> メニュー 2 6

グループ名を変更する

電話帳を、「会社」や「友達」のようにおつき合いごとにグループ分けしたり、「野球」や「陶芸」のように趣味で分けたりと、お客様のアイデア次第で用途別に分けられた数冊の電話帳として活用できます。

1 待受画面▶◎▶グループ設定▶グループを選択

- FOMAカードのグループには「 」が表示されます。
- 「グループ00」のグループ名は変更できません。

2 グループ名を入力

- 全角10／半角21文字まで登録できます。ただし、FOMAカードのグループ名に全角／半角が混在しているグループ名を入力した場合は、全角／半角問わず最大10文字まで登録されます。

グループ設定画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
グループ名編集	⇒P.91手順2へ
グループ便利機能	各機能をグループごとに指定します。 ・音声／テレビ電話着信音⇒P.104 ・着信バイブレータ⇒P.105 ・着信イルミネーション⇒P.119 ・着信イメージ⇒P.113 ・応答メッセージ⇒P.74 ・メール着信音⇒P.104 ・メールバイブレータ⇒P.105 ・メールイルミネーション⇒P.119 ・テレビ電話通信速度⇒P.53 ・キャラ電設定⇒P.76
グループ名初期化	グループ名をお買い上げ時のグループ名に戻します。 ▶YES

お知らせ

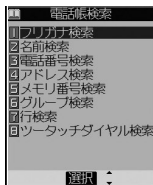
- グループ名を初期化しても、グループに設定された「グループ便利機能」は解除されません。
- 着信動作の優先順位について
  ・着信音⇒P.103
  ・バイブレータ⇒P.104
  ・着信画像⇒P.112
  ・着信イルミネーション⇒P.118

＜電話帳検索＞
電話帳を利用して電話をかける

登録した電話帳は8つの検索方法で呼び出せます。

1 待受画面▶[Q]
▶以下の操作を行う

- 一度検索したあとは、前回と同じ検索方法の画面が表示されます。[ch/クリア]を押すと電話帳検索画面が表示されます。
- 「[メニュー]▶[電話帳]▶電話帳検索」または待受画面で[○]→「電話帳検索」を選択しても電話帳検索画面が表示されます。一度検索したあとは、前回と同じ検索方法の画面が表示されます。

電話帳検索
1フリガナ検索
2名前検索
3電話番号検索
4アドレス検索
5メモリ番号検索
6グループ検索
7行検索
8ツータッチダイヤル検索
選択

電話帳検索画面

項目	操作・補足
フリガナ検索	相手のフリガナを先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 ▶フリガナの一部を入力▶[Q]
名前検索	相手の名前を先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 ▶名前の一部を入力▶[Q]
電話番号検索	相手の電話番号の一部を入力して検索します。電話番号の途中だけでも検索できます。 ▶電話番号の一部を入力▶[Q] ● 待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、[Q]を押しても電話帳一覧画面が表示されます。
アドレス検索	相手のメールアドレスの一部を入力して検索します。メールアドレスの途中だけでも検索できます。 ▶メールアドレスの一部を入力▶[Q]
メモリ番号検索	電話帳に登録したときのメモリ番号で検索します。 ▶メモリ番号を入力 ●「000」～「799」の3桁を入力します。 ● 待受画面で[発信]([テレビ電話])→[Q]を押すとメモリ番号発信画面が表示されます。メモリ番号を入力すると、そのメモリ番号に登録されている電話番号に音声電話(テレビ電話)をかけることができます。
グループ検索	指定したグループに登録されている電話帳をすべて検索します。 ▶グループを選択 ● グループの一覧画面で[iα](機能)を押すと、「グループ設定」の機能メニューが表示されます。
行検索	フリガナの行ごとに電話帳を検索します。 ▶検索したい行のボタンを押す 1 .... ア行　6 .... ハ行 2 .... カ行　7 .... マ行 3 .... サ行　8 .... ヤ行 4 .... タ行　9 .... ラ行 5 .... ナ行　0 .... ワ、ヲ、ン ＊ .... 英字　# .... 数字、記号
ツータッチダイヤル検索	メモリ番号000～009の電話帳一覧を表示します。 ● 未登録やシークレット設定中の電話帳は<－－－>で表示されます。

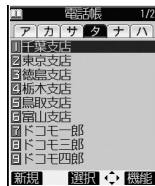
2 電話帳を選択▶[発信]または[●](発信)

- 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合や、「アドレス検索」を行った場合は、詳細画面で[○]を押して電話番号を選択します。
- [テレビ電話]を押すとテレビ電話発信します。

一覧画面について

「フリガナ検索」「行検索」「メモリ番号検索」「グループ検索」を行ったときは、一覧画面の上部にタブが表示されます。「フリガナ検索」「行検索」の場合はフリガナの行ごとに、「メモリ番号検索」の場合はメモリ番号の100番ごとに、「グループ検索」の場合はグループごとに分類されます。
[○]を押すと左右のタブ内の電話帳が表示されます。1つのタブ内に10件以上の電話帳がある場合は、[○]を押すと前後のページが表示されます。

電話帳一覧画面

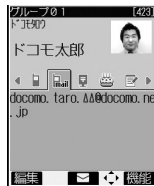
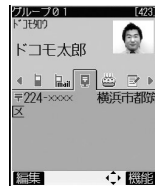
- 一覧画面で[発信]を押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ音声電話をかけることができます。また、[テレビ電話]を押すとテレビ電話発信します。複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に発信します。

検索順について

電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索します。
「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、･･･ン)」→「英字(A、a、B、b、･･･Z、z)」→「数字(0〜9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」
ただし、「フリガナ検索」「行検索」の場合は、次のような順で検索します。
「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、･･･ン)」→「英字(A、a、B、b、･･･Z、z)」→「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「数字(0〜9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」
※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索します。

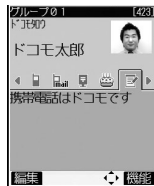
お知らせ

- FOMAカードの電話帳には、一覧画面に「」が表示されます。
- 「グループ検索」「ツータッチダイヤル検索」以外の検索方法で何も入力せずにを押すと、電話帳全検索となります。
- 「フリガナ検索」「メモリ番号検索」で入力した条件に該当する電話帳がない場合は、条件に最も近い電話帳が表示されます。

電話帳の詳細を確認するには

1. 詳細を確認する電話帳を表示▶

電話帳詳細画面
（電話番号）

メールアドレス

住所

誕生日

メモ

静止画

キャラ電 ©Disney

お知らせ

- メールアドレスを表示中に()を押すと、宛先欄にメールアドレスが入力されたｉモードメールを作成します。⇒P.199手順3へ
- FOMAカードに登録された電話帳の場合、メモリ番号は表示されず、「FOMAカード」と表示されます。

<電話帳修正>
電話帳を修正する

1 **電話帳詳細画面▶✉(編集)**

2 **修正したい項目を選択▶内容を修正**

● 電話帳の修正方法について
⇒P.86手順2

3 **✉(完了)▶YES**

● シークレットモード中にFOMA端末(本体)の電話帳を編集した場合は、電話帳をシークレット登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
シークレット専用モード中はシークレット登録されます。

<電話帳削除>
電話帳を削除する

電話帳詳細画面から削除する

1 **電話帳詳細画面▶i(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除・キャラ電削除	各項目を削除します。 ▶YES ● 詳細画面で○を押して削除する項目を選びます。選んだ電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。
1件削除	▶YES

電話帳一覧画面から削除する

1 **電話帳一覧画面▶i(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい電話帳にチェック▶✉(完了) ▶YES ● i(機能)→「タブ内全選択/全選択/タブ内全選択解除/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。 ● シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を選択した場合は、「全削除」と同様の操作を行います。
タブ内全削除	表示しているタブ内のすべての電話帳を削除します。 ▶YES
全削除	シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

<電話帳登録件数> メニュー 2 2
電話帳の登録状況を確認する

1 **待受画面▶○▶電話帳登録件数**

本体
電話帳……FOMA端末(本体)に登録されている電話帳の件数
シークレット……シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されている電話帳の件数
静止画……静止画が登録されている電話帳の件数
キャラ電……キャラ電が登録されている電話帳の件数
ボイスダイヤル……ボイスダイヤルに設定されている電話帳の件数
追加残……☎:電話番号があと何件登録できるかを表示
✉:メールアドレスがあと何件登録できるかを表示

FOMAカード(UIM)
電話帳……FOMAカードに登録されている電話帳の件数

● 確認が終わればCLRを押します。

電話帳を使いこなす

電話帳一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ソート	表示される順番を変更します。 ● 一覧画面にタブが表示されているときは、ソートできません。 ▶ **順番を選択** ●「昇順」または「降順」を選択すると逆順に並べ替えます。
赤外線送信	⇒P.307
赤外線全件送信	⇒P.308
microSDへコピー	⇒P.297
お預かりセンターに接続	⇒P.100
電話帳削除	⇒P.94
シークレット設定・シークレット解除	電話帳をシークレットに設定／解除します。 ●「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードで「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。

電話帳詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
発番号設定	発信者番号を通知するかしないかを設定します。 ⇒P.48
プレフィックス	プレフィックスを付加します。⇒P.63
国際電話発信	国際電話をかけます。⇒P.61
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。⇒P.371
テレビ電話通信速度	⇒P.53

機能メニュー	操作・補足
電話帳便利機能	各機能を電話番号やメールアドレスごとに指定します。 ・音声／テレビ電話着信音⇒P.103 ・着信バイブレータ⇒P.105 ・着信イルミネーション⇒P.119 ・着信イメージ⇒P.113 ・応答メッセージ⇒P.74 ・メール着信音⇒P.103 ・メールバイブレータ⇒P.105 ・メールイルミネーション⇒P.119 ・テレビ電話通信速度⇒P.53 ・キャラ電設定⇒P.76
電話帳指定設定	⇒P.139
電話帳編集	⇒P.94手順2へ
電話帳削除	⇒P.94
デスクトップ貼付	⇒P.121
ｉモードメール作成	メールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 ⇒P.199手順3へ
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ⇒P.242手順3へ
赤外線送信	⇒P.307
赤外線全件送信	⇒P.308
microSDへコピー	⇒P.297
お預かりセンターに接続	⇒P.100
オート表示	オート表示する電話番号を設定します。⇒P.114
名前コピー	コピーした文字はFOMA端末に記憶されます。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ● 詳細画面で[○]を押してコピーする項目を選びます。選んだ電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。

▶▶次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
シークレットコード	シークレットコード登録をしている相手にｉモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。 ●シークレットコードを設定すると機能メニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。 ▶**端末暗証番号を入力▶コード設定** ●詳細画面で[○]を押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを選びます。 ●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択します。確認が終われば[ch クリア]を押します。 ●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択します。 ▶**4桁のシークレットコードを入力▶YES** ●シークレットコードは数字4桁で入力してください。「0000」は設定できません。
シークレット設定・シークレット解除	電話帳をシークレットに設定／解除します。⇒P.137
FOMAカードへコピー・本体へコピー	⇒P.342
テレビ電話画像選択	⇒P.79
着もじ	着もじメッセージをつけて発信します。⇒P.57

お知らせ

<シークレットコード>

- FOMAカードの電話帳には、シークレットコードを設定できません。
- 送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときのみシークレットコードが追加されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは追加されません。
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールに返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

<電話帳便利機能>
電話帳便利機能を確認／解除する

メニュー 6 2

お買い上げ時	すべて解除

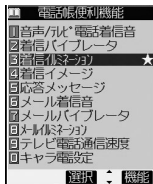
電話帳の電話番号やメールアドレスに設定した「電話帳便利機能」やグループに設定した「グループ便利機能」を確認／解除します。

1 待受画面▶◯▶電話帳便利機能

電話帳便利機能
1音声/テレビ電話着信音
2着信バイブレータ
3着信イルミネーション★
4着信イメージ
5応答メッセージ
6メール着信音
7メールバイブレータ
8メールイルミネーション
9テレビ電話通信速度
0キャラ電設定
選択 機能

電話帳便利機能画面

音声／テレビ電話着信音⇒P.103、P.104
着信バイブレータ⇒P.105
着信イルミネーション⇒P.119
着信イメージ⇒P.113
応答メッセージ⇒P.74
メール着信音⇒P.103、P.104
メールバイブレータ⇒P.105
メールイルミネーション⇒P.119
テレビ電話通信速度⇒P.53
キャラ電設定⇒P.76

- 設定されている項目には「★」マークが付きます。

2 確認したい項目を選択

選択した項目によっては、手順2の操作を繰り返して電話帳一覧画面を表示します。
- バイブレータの選択中は、確認のためバイブレータが動作します。通話中は確認のためのバイブレータは動作しません。
- イルミネーションの選択中は、確認のため本体外側の着信／充電ランプが点灯します。

3 電話帳を選択

電話帳便利機能が設定されている電話番号やメールアドレスが表示されます。
- グループ名の前には「GR」が表示されます。
- 電話番号･メールアドレス･グループごとに電話帳便利機能を解除するには、同様の操作で解除したい電話番号･メールアドレス･グループを選択し、◉(選択)→「YES」を選択します。

電話帳便利機能画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
設定確認	⇒P.97手順2へ
設定解除	▶YES <例> P.97「電話帳便利機能を確認／解除する」手順1の画面から設定解除した場合は「着信イルミネーション」が設定されている電話帳とグループがすべて解除されます。 P.97手順2で設定解除した場合は各項目に設定されている電話帳とグループがすべて解除されます。

<ツータッチダイヤル>
少ないダイヤル操作で電話をかける

FOMA端末(本体)の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録した相手には、メモリ番号の下1桁と☎を押すだけで電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタン(0～9)▶☎または◉(発信)

- 📹を押すとテレビ電話発信します。

お知らせ
- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に発信します。
- メモリ番号000～009の電話帳に「指定発信制限」を設定するときは、1番目の電話番号を設定してください。
- メモリ番号000～009の電話帳をシークレット登録したときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードで発信してください。

<ボイスダイヤル>

音声で電話帳を呼び出す

相手の名前を話すだけで、電話帳を呼び出して電話をかけます。

ボイスダイヤル登録

すでに登録してあるFOMA端末(本体)の電話帳から100件まで登録できます。

1 待受画面▶[O]▶ボイスダイヤル登録▶<新規登録>

- [iα](機能)→「新規登録」を選択してもボイスダイヤルを登録できます。
- [✉](編集)または[iα](機能)→「編集」を選択すると登録済みのボイスダイヤル名を編集できます。⇒手順3へ
- 登録済みのボイスダイヤルを削除するには、[iα](機能)→「1件削除」または「全削除」→「YES」を選択します。

2 検索したい行のボタンを押す▶電話帳を選択

- ボイスダイヤル一覧に登録されている電話帳には「★」マークが付きます。

3 ボイスダイヤル名を入力

- 文字数:半角カタカナで22文字まで。
- 電話帳のフリガナがボイスダイヤル名として表示されます。認識しやすい言葉に修正してください。

お知らせ

- 本機能で設定したボイスダイヤル名はボイスダイヤル呼出にのみ有効です。音声読み上げ時は電話帳に登録されているフリガナ(名前)が読み上げられます。
- 似ているボイスダイヤル名が多く登録されているときやボイスダイヤル名が短いと、認識率が低下し間違ったボイスダイヤル(電話帳)を呼び出すことがあります。この場合、別のボイスダイヤル名で登録をやり直してください。
- ボイスダイヤル名として「ボイスケンサク」と「ボイスセッテイ」は登録できません。

ボイスダイヤル呼出で電話をかける

ボイスダイヤル一覧に設定した電話帳を音声で呼び出します。「音声読み上げ設定」を「ON」に設定して「ボイスダイヤル」にチェックを付けておくと、操作を音声ガイダンスで案内します。

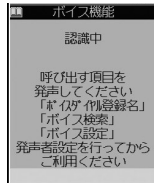
1 待受画面▶[☎](1秒以上)

2 音声認識開始音が鳴ったらボイスダイヤル名を話す

音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。

- 音声認識開始音の音量は変更できません。また、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
- 「ボイス検索」と話すと、使いかたナビが起動します。⇒P.37手順2へ
- 「ボイス設定」と話すと、ボイス設定の画面が表示されます。⇒P.99

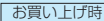
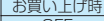
ボイスダイヤルが音声認識されると、認識結果が表示されます。

- 「ボイスダイヤル自動発信」が「ON」に設定されている場合、ボイスダイヤル自動発信の画面が表示されます。2秒後に自動的に発信します。

3 認識結果を選んで[☎]または[●]([発信])を押す

選択されている電話帳の1番目の電話番号に発信します。

- [✉]([詳細])を押すと電話帳詳細画面が表示されます。電話番号を選んで[☎]または[●]([発信])を押すと音声電話をかけることができます。また、[📹]を押すとテレビ電話発信します。

音声入力について

ボイスダイヤル名をお話しになるときには次の点にご注意ください。

- 発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が認識できない場合があります。
- なるべくはっきりと発声してください。
- 発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、ボイスダイヤル名の発声とは無関係の音を出さないでください。
- 周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
- 発声するときに送話口の穴を指でふさがないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。
- 「発声者設定」を変更すると認識率が上がることがあります。

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用する場合

- ボイスダイヤルを呼び出すには、あらかじめ「ボイスイヤホン発信」を「ON」に設定し、FOMA端末を開いた状態でスイッチを1秒以上押します。
- 電話をかけるときは、認識結果を選択し、スイッチを押します。

ボイス設定

1 [メニュー]▶[設定]▶その他▶ボイス設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
ボイスダイヤル自動発信 お買い上げ時 OFF	ボイスダイヤルで呼び出すと電話番号に自動的に電話をかけます。 ▶ON・OFF
ボイスイヤホン発信 お買い上げ時 OFF	平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を使ってボイスダイヤル呼出を行います。 ▶ON・OFF
発声者設定 お買い上げ時 男性向け	発声者の性別を登録し、認識率を上げることができます。自分の性別に合わせて設定します。 ▶**男性向け・女性向け** ● ここでの設定は、使いかたナビの音声入力時にも有効です。
音声読み上げ設定	音声読み上げを行うように設定します。 ⇒P.322
音声読み上げ音量	音声読み上げ時の音量を調節します。 ⇒P.323
音声読み上げ出力先	音声読み上げ時に受話口から音が鳴るように設定します。 ⇒P.323
音声読み上げ有効設定	平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときのみ音声読み上げを行うように設定します。 ⇒P.323

＜電話帳お預かりサービス＞
電話帳をお預かりセンターに保存(復元･更新)する

FOMA端末内に保存されている電話帳をお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続することによって、FOMA端末に復元･更新できます。
なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

- 圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

1 [メニュー]▶[LifeKit]▶**電話帳お預かりサービス**▶**お預かりセンターに接続**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

- 電話帳一覧画面、電話帳詳細画面では[iα]([機能])を押して「お預かりセンターに接続」を選択します。

お知らせ

- FOMAカードの電話帳は保存できません。
- お預かりセンターに登録されている電話帳が、FOMA端末の電話帳に登録できる件数を超えた場合、超えている部分の電話帳データは更新されません。
- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

自動更新

お預かりセンターのサイトで、FOMA端末の電話帳を定期的にお預かりセンターへ更新、保存するように設定できます。

お知らせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 電話帳の更新ができなかった場合、待受画面に「[更新]」(電話帳更新通知あり)の「お知らせアイコン」が表示されます。「[更新]」を選択すると、自動更新を設定しているときは更新画面が表示され、自動更新を設定していないときは端末暗証番号入力後に更新画面が表示されます。

電話帳通信履歴表示

お預かりセンターに電話帳やメール、静止画の保存などを行った通信記録を表示します。

1 [メニュー]▶[LifeKit]▶**電話帳お預かりサービス**▶**電話帳通信履歴表示**▶**履歴を選択**

- 最大30件まで保存します。30件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 一覧画面において通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。

電話帳内画像送信設定

お買い上げ時	しない

電話帳に設定している画像をお預かりセンターに送信するかどうかを設定します。

1 [メニュー]▶[LifeKit]▶**電話帳お預かりサービス**▶**電話帳内画像送信設定**▶**する・しない**

お知らせ

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

<着信音選択>
FOMA端末の着信音を変更する

メニュー 1 3

お買い上げ時	電話／テレビ電話: 着信音1 メール／チャットメール: 着信音2 メッセージR／F: 着信音3

着信音を着信の種類、電話帳の電話番号やメールアドレス、グループごとに設定します。
ｉモーションを選択すると、着信時にｉモーションが再生され、音声が流れます。（着モーション）

● 着信音は、PCM音源　64和音　ADPCM対応です。

■着信音一覧（プリインストール）

表　示	曲　名	作詞者名･作曲者名
着信音1	－	－
着信音2	－	－
着信音3	－	－
風の通り道	風の通り道	作曲:久石　譲
LITTLE GREEN BAG	LITTLE GREEN BAG	作曲:VISSER JAN GERBRAND
金平糖の踊り	金平糖の踊り	作曲:CHAJKOVSKIJ PETR ILICH
ジムノペディ第1番	ジムノペディ第1番	作曲:SATIE ERIK ALFREDI LE
THE ENTERTAINER	THE ENTERTAINER	作曲:JOPLIN SCOTT
おぼろ月夜	おぼろ月夜	作曲:岡野　貞一
RESONANCE	RESONANCE	オリジナル
GENTLE FLOW	GENTLE FLOW	オリジナル
Magical Stick	－	－
Scratch	－	－
Smart Beep	－	－
ヒットサウンド	－	－
ウクレレ	－	－
エコボヤージュ	－	－
スパークリング	－	－
ウォータードロップ	－	－
BLOCKYWORD[※1、※2]	－	－

※1　ｉモーション
※2 ©tomato + ©Ages5&up
(注)曲名･作詞者名･作曲者名のローマ字は大文字で表記しています。
作詞者名･作曲者名はJASRACホームページに準拠して表示しています。
曲名が長い場合、画面サイズの関係で曲名をすべて表示できないことがあります。

JASRAC 許諾番号:T-0750115

1 メニュー▶設定▶着信▶着信音選択▶項目を選択

電話........................ 音声電話の着信音を設定。
テレビ電話............ テレビ電話の着信音を設定。
メール.................... ｉモードメール、SMSの着信音を設定。
チャットメール..... チャットメールの着信音を設定。
メッセージR......... メッセージRの着信音を設定。
メッセージF.......... メッセージFの着信音を設定。

- 項目を選択して✉(デモ)を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。

2 着信音

3 着信音の種類を選択

メロディ................ メロディを着信音に設定。
ｉモーション........ ｉモーションを着信音に設定。
おしゃべり............「おしゃべり1」または「おしゃべり2」を着信音に設定。設定が終了。
OFF........................ 着信音をOFFに設定。設定が終了。

4 フォルダを選択▶着信音を選択

お知らせ

- 「電話」「テレビ電話」を選択し、「着信画面」を選択すると、着信画面を設定できます。⇒P.112手順2へ
- 「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」を選択し、「メール着信画面」を選択すると、メール着信画面を設定できます。⇒P.111「待受画面を設定する」手順2へ
- 着信音の優先順位は、「音声読み上げ設定」→「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「着信音選択」の順になります。付加番号に着信した場合は、「マルチナンバー」の「着信音設定」で設定した着信音が鳴ります。
- 本機能の設定と「画面表示設定」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の着信音や画像が再生／表示されることがあります。
- 着信音設定「可」のｉモーションのみ着信音に設定できます。着信音設定「可」「不可」を確認するには⇒P.281「ｉモーション情報」
- 映像と音を含んだｉモーションをメール着信音に設定した場合、chクリアなどを押すと着信音を停止できます。

お知らせ

- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には「画面表示設定」よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを設定した場合は、「画面表示設定」で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には本機能よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した着信音が鳴ります。
- 異なる種類のｉモードメール･SMS、チャットメール、メッセージR/Fを同時に受信した場合の着信音の優先順位は、「チャットメール」→「ｉモードメール･SMS」→「メッセージR」→「メッセージF」の順になります。同じ種類のメールを同時に受信した場合は、最後に受信したメールに対応した着信音が鳴ります。
- ダウンロードしたメロディやメールに添付されているメロディ、メールへの添付･FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。

電話番号やメールアドレスごとに設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号やメールアドレスごとに着信音を設定します。

- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳詳細画面▶iα(機能)▶電話帳便利機能▶音声／テレビ電話着信音・メール着信音

⇒P.103手順3へ
設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話番号やメールアドレスの着信音を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 「電話番号@docomo.ne.jp」のアドレスからｉモードメールを受信したときは、電話帳の電話番号に設定したメール着信音でお知らせします。

グループごとに設定する

メニュー 2 6

FOMA端末(本体)の電話帳に登録されているグループごとに着信音を設定します。
電話番号やメールアドレスごとに着信音が設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

● 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。

1 待受画面▶◯▶グループ設定
▶グループを選んで i α (機能)
▶グループ便利機能
▶音声／テレビ電話着信音・メール着信音

⇒P.103手順3へ
設定された項目に「★」マークが付きます。
● グループの着信音を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

● シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になり、「着信音選択」で選択した着信音が鳴ります。

<バイブレータ>

着信を振動で知らせる

お買い上げ時	OFF

電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。

1 メニュー▶設定▶着信▶バイブレータ
▶着信の種類を選択
▶バイブレータのパターンを選択

パターン1 ....約0.5秒間振動ON→約0.5秒間振動OFFの繰り返しで振動。
パターン2 ....約1秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動。
パターン3 ....約3秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動。
メロディ連動 ...メロディに登録されている振動パターンに合わせて振動。
OFF..................振動なし。

● 選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」を選択した場合は、振動しません。
● バイブレータ設定中は以下のアイコンが表示されます。
  V♪:音声電話またはテレビ電話の着信時に振動
  V✉:メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの受信時に振動
  V♪✉:音声電話、テレビ電話·メール、チャットメール、メッセージR/Fの受信時に振動

お知らせ

● バイブレータの優先順位は、「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「バイブレータ」の順になります。
● バイブレータの振動は、着信音量のレベルに関わらず、一定の強さとなります。
● 「メロディ連動」に設定しても、振動パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は「パターン2」で振動します。
● バイブレータに設定して机などの上に置くと、電話がかかってきたとき振動で落下する恐れがありますのでご注意ください。

電話番号やメールアドレスごとに設定する

FOMA端末(本体)の電話帳に登録した電話番号やメールアドレスごとにバイブレータを設定します。

- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳詳細画面▶i α(機能)▶電話帳便利機能▶着信バイブレータ・メールバイブレータ▶バイブレータのパターンを選択

設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話番号やメールアドレスのバイブレータを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 「電話番号@docomo.ne.jp」のアドレスからｉモードメールを受信したときは、電話帳の電話番号に設定したメールバイブレータでお知らせします。

グループごとに設定する

メニュー 2 6

FOMA端末(本体)の電話帳に登録されているグループごとにバイブレータを設定します。

電話番号やメールアドレスごとにバイブレータが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。

1 待受画面▶○▶グループ設定▶グループを選んでi α(機能)▶グループ便利機能▶着信バイブレータ・メールバイブレータ▶バイブレータのパターンを選択

設定された項目に「★」マークが付きます。

- グループのバイブレータを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になります。

<おしゃべり機能>

録音した音を着信音などに使用する

メニュー 9 1

FOMA端末で録音した音を各種着信音、応答／通話中保留音、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム音、伝言メモの応答メッセージに設定できます。

1件につき約15秒間、2件まで録音できます。

1 メニュー▶LifeKit▶おしゃべり機能▶おしゃべり1・おしゃべり2▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
録音	●録音時間(約15秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。 ●録音を途中でやめるときは●(停止)、☎または CLRを押します。それまでの録音内容は保存されます。 ●録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音を停止します。(それまでの録音内容は保存されます。)
再生	●再生を途中でやめるときは●(停止)、☎または CLRを押します。
消去	▶YES

<ボタン確認音> ボタンを押したときの音を設定する

メニュー 3 0

お買い上げ時	ON

1 メニュー▶設定▶**その他▶ボタン確認音▶ON・OFF**

お知らせ

- ボタン確認音の音量は変更できません。
- 本機能を「OFF」に設定したときは、電池残量確認音（⇒P.44）や各種警告音も鳴りません。
- ▲を押したときや、着信中、動画／ｉモーション再生中などは、ボタン確認音は鳴りません。
- FOMA端末を閉じた状態で▼を押した場合⇒P.120「確認機能設定」に従って動作。

<充電確認音> 充電開始／終了時の音を設定する

お買い上げ時	ON

充電開始、終了時に「ピピッ」と確認音を鳴らします。

1 メニュー▶設定▶**その他▶充電確認音▶ON・OFF**

お知らせ

- 充電確認音の音量は変更できません。
- 待受画面以外を表示中やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は、充電確認音は鳴りません。

<通話品質アラーム> 通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

メニュー 7 5

お買い上げ時	アラーム高音

電波の状態が悪く、途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

1 メニュー▶設定▶**通話▶通話品質アラーム▶アラームを選択**

アラームなし ....アラームのお知らせなし。
アラーム高音 ....高音のアラームでお知らせ。
アラーム低音 ....低音のアラームでお知らせ。

お知らせ

- 急に電波の状態が悪くなったときは、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- テレビ電話中は、通話品質アラームは受話口からのみ鳴ります。

＜メール／メッセージ鳴動＞ メニュー 6 8

メールやメッセージR/Fの着信音が鳴る時間を設定する

お買い上げ時	メール／メッセージ鳴動：ON　鳴動時間：5秒

ｉモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR/Fを受信したときの着信音が鳴る時間を設定します。

1 メニュー▶設定▶**着信▶メール／メッセージ鳴動▶メールやメッセージの種類を選択▶ON・OFF**

●「OFF」選択時は、待受画面に「S✉」が表示されます。
設定が終了します。

2 **鳴動時間（秒）を入力**

●「01」～「30」の2桁を入力します。

＜イヤホン切替＞ メニュー 5 1

イヤホンからのみ着信音を鳴らす

お買い上げ時	イヤホン＋スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続したとき、着信音の鳴る場所を設定します。着信音だけでなく、アラーム、メロディプレーヤーの再生音なども設定した場所から鳴ります。

1 メニュー▶設定▶**外部オプション▶イヤホン切替▶イヤホン＋スピーカ・イヤホン**

お知らせ

●「イヤホン」のみの設定でも、着信中は着信音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ただし、以下の場合は、約20秒たってもスピーカから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
　･電話やメールなどの着信時やアラーム通知時以外の操作で着信音を鳴らしている場合
　･ｉモードメール･SMS、チャットメール、メッセージR/Fの着信音にｉモーションを設定している場合
●「イヤホン」のみの設定でも、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときや、静止画･動画の撮影開始時は、スピーカから音が鳴ります。
●SDオーディオ再生中は、本機能の設定に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときはイヤホンから、接続していないときはスピーカから音が鳴ります。
●平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。
●通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

<マナーモード>
電話から鳴る音を消す

お買い上げ時	解除

FOMA端末の音を周囲に出したくないときに、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないようにできます。

- マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選べます。
- 「マナーモード」、「スーパーサイレント」設定中、または「オリジナルマナー」で「通話中マイク感度」を「アップ」に設定中は、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。

1 待受中・通話中▶#(1秒以上)

「マナーモード選択」で選択したマナーモードに設定されます。

- FOMA端末を閉じているときは、▼を1秒以上押してもマナーモードに設定されます。

お知らせ

- マナーモード設定中でも、静止画・動画の撮影開始音は鳴ります。
- マナーモード設定中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「着信音量」の「電話」で設定した音量でメロディが鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときはレベル2で鳴ります。
- マナーモード設定中に音声付きのｉモーションを再生しようとすると、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると音声も再生されます。お買い上げ時の音量はレベル4です。再生中はレベル0～6まで設定でき、次回再生時も設定した音量で再生されます。
- マナーモード設定中にSDオーディオで音楽を再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると音楽が再生されます。お買い上げ時の音量はレベル12です。再生中はレベル0～25まで設定でき、次回再生時も設定した音量で再生されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続している場合は、マナーモード設定中に音声や音楽を再生する際の確認画面は表示されない場合があります。また、SDオーディオの再生中に平型スイッチ付イヤホンマイクを外しても、スピーカから音は鳴りません。ただし、再生中に音量を調節すると、スピーカから音が鳴ります。

マナーモード設定中の表示

マナーモードに設定中は「(アイコン)」が表示されます。また、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

(V♪):「バイブレータ」でお知らせ
(S♪)・(S✉)・(S)：「着信音量」を「消去」に設定

マナーモードを解除するには

#を1秒以上押します。通話中、呼び出し中は「ピピッ」という音が鳴り、解除した旨のメッセージが表示されます。

- FOMA端末を閉じているときは、▼を1秒以上押してもマナーモードが解除されます。

着信中にマナーモードにするには

#または▼を押します。

マナーモードになり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件が録音･録画されます。

「伝言メモ」が「ON」に設定されていなくても伝言メモへ移ります。

電話に出るときは(通話キー)((テレビ電話キー))を押してください。

- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音･録画されている場合は、伝言メモは動作しません。「マナーモード選択」で設定したマナーモードの着信動作になります。
- 通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。

通話中、呼び出し中にマナーモードにすると

通話中、呼び出し中にマナーモードに設定したときは設定した旨のメッセージが表示されます。

<マナーモード選択>
マナーモードを選択する

メニュー 2 0

お買い上げ時	マナーモード

マナーモード設定中の動作を3種類から選択します。

■マナーモード設定中の動作

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー
伝言メモ	伝言メモ設定値		ONまたはOFF
バイブレータ※1	ON		ONまたはOFF
電話着信音量	消去		消去〜レベル6・ステップ①
メール着信音量	消去		消去〜レベル6・ステップ②
アラーム音量※2	消去		消去〜レベル6・ステップ
メモ確認音	ON	OFF	ONまたはOFF ③
ボタン確認音	OFF		ONまたはOFF ④
通話中マイク感度	アップ		標準またはアップ
低電圧アラーム(電池切れアラーム)	OFF		ONまたはOFF ONのときは①と同じ設定値で動作※3
着信音選択中の確認音	消去		①・②と同じ設定値で動作
応答保留音	消去		①と同じ設定値で動作※4
通話中保留音	消去		①と同じ設定値で動作※5
おしゃべり録音時の確認音	ON	OFF	③と同じ設定値で動作
電池残量確認音	消去		消去
音声認識開始音	消去		消去
不在着信・新着メールの確認音(電子音)	消去		①と同じ設定値で動作※6
不在着信・新着メールの確認音(ボイス)	消去		①と同じ設定値で動作※4
各種警告音	消去		④と同じ設定値で動作
スケジュールアラーム	消去		①と同じ設定値で動作
静止画・動画の撮影開始音	レベル4		レベル4
シャッター音選択中の確認音	OFF		③と同じ設定値で動作
「テレビ電話ハンズフリー設定」によるハンズフリー切替	OFF		OFF
音声読み上げ音量	消去		P.323「音声読み上げ音量」と同じ設定値で動作

※1 以下の音を振動でお知らせします。
着信音・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム
バイブレータのパターンはP.104での設定と同じになります。ただし、P.104の設定を「OFF」にした場合は、「パターン2」で振動します。
不在着信、新着メール確認音
・不在着信または新着メールがあるときは約1秒間振動します。
・不在着信も新着メールもないときは約0.2秒間振動します。

※2 P.326「マナーモード優先」を「アラーム優先する」に設定しているときは、アラームで設定した音量で音が鳴ります。

※3 ①が「消去」のときはレベル1で鳴ります。

※4 ①が「ステップ」のときはレベル2で鳴ります。

※5 ①が「消去」以外のときはレベル1で鳴ります。

※6 ①が「消去」以外のときはレベル6で鳴ります。

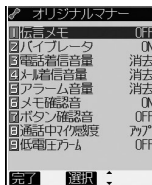
マナーモード・スーパーサイレント

電話やメールの着信をバイブレータでお知らせする標準的な「マナーモード」、受話口から鳴る確認音なども消去する「スーパーサイレント」に設定します。

1 メニュー▶設定▶**着信▶マナーモード選択▶マナーモード・スーパーサイレント**

オリジナルマナー

「オリジナルマナー」を選択するとマナーモード設定中の動作をお好みで設定できます。

1 ▶**着信▶マナーモード選択▶オリジナルマナー▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
伝言メモ お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF ●「ON」選択時は、P.73の「伝言メモ」を「OFF」に設定していると、呼出時間は約8秒になり変更できません。 ◆伝言メモについて⇒P.73
バイブレータ お買い上げ時 ON	電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。 ▶ON・OFF ◆バイブレータについて⇒P.104
電話着信音量 お買い上げ時 消去	音声電話、テレビ電話の着信音量を調節します。 ▶**で音量を調節** ◆着信音量について⇒P.68
メール着信音量 お買い上げ時 消去	iモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したときの着信音量を調節します。 ▶**で音量を調節** ◆着信音量について⇒P.68
アラーム音量 お買い上げ時 消去	▶**で音量を調節** ◆アラームについて⇒P.325
メモ確認音 お買い上げ時 ON	伝言メモの再生時、音声メモの録音・再生時、動画メモの録画時の確認音を鳴らします。 ▶ON・OFF
ボタン確認音 お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF ◆ボタン確認音について⇒P.106
通話中マイク感度 お買い上げ時 アップ	▶標準・アップ
低電圧アラーム お買い上げ時 OFF	低電圧アラーム（電池切れアラーム）を鳴らします。 ▶ON・OFF ◆低電圧アラーム（電池切れアラーム）について⇒P.44

2 **（完了）を押す**

<画面表示設定>

画面の表示を変更する

メニュー 5 6

待受画面を設定する

お買い上げ時	モザイクタイル

待受画面に表示する画像を設定します。FOMA端末で撮影したiモーションやサイトから取得したiモーションなども待受画面に設定できます。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶待受画面▶画像の種類を選択

- 「カレンダー」を選択した場合は、「背景画像あり」または「背景画像なし」を選択します。「背景画像なし」を選択すると設定が終了します。
- 「ｉアプリ待受画面」を選択した場合は、ｉアプリを選択します。設定が終了します。
  ただし、「テロップ設定」の「テロップ表示設定」を「ON」に設定しているときは、ｉアプリ待受画面を設定できません。

2 フォルダを選択▶画像を選択

- 待受画面に表示されるとき、画面より大きいサイズの画像は縦横の比率を変えずに縮小され、全体表示されます。画面より小さいサイズの画像は等倍表示されます。
- お買い上げ時に登録されている待受画面について⇒P.397

ｉモーションを設定したときは

FOMA端末を開いたとき、待受画面で●を1秒以上押したときに再生され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

- 再生中に◎または▲▼を押すと、音量を調節できます。
  ●、✉、iα、📷、◎、clear、☎、📖、☎を押すと、再生を終了します。
- マナーモード中に再生すると音声は再生されません。

カレンダーを設定したときは

待受画面に当月のカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールの設定(⇒P.328)ができるようになります。

11/15(Thu) 10:00
2007 日 月 火 水 木 金 土
11 NOVEMBER

- 待受画面から●→◎で前後の月のカレンダーが表示されます。
  待受画面に貼り付けアイコンがあるときは、●で前回使った貼り付けアイコンまたはカレンダーが選べます。
  カレンダーを選んで●(選択)→◎で前後の月のカレンダーを表示します。
  もう一度●(選択)を押すと表示している月の「スケジュール」が設定できます。

自作アニメ、アニメーションGIFを設定したときは

- FOMA端末を開いたとき、待受画面で●を1秒以上押したときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

Flash画像を設定したときは

FOMA端末を開いたとき、待受画面で●を1秒以上押したときに再生され、最初に操作したときなど、画像が静止したときの画面が待受画面として表示されます。

お知らせ

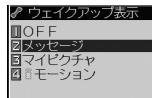
- 待受画面に設定したｉモーションからWeb To 機能、Mail To 機能、Phone To／AV Phone To 機能は利用できません。
- ｉモーションによっては、正しく表示されない場合があります。
- 画像やｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

ウェイクアップ画面を設定する

お買い上げ時	ウェイクアップ

電源を入れたときに表示する画像やメッセージを設定します。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶ウェイクアップ表示▶画像の種類を選択

- 「メッセージ」を選択した場合は、全角50／半角100文字までのメッセージを入力します。
- 「マイピクチャ」、「ｉモーション」を選択した場合
  ⇒P.111「待受画面を設定する」手順2へ
- お買い上げ時に登録されているウェイクアップ画面について⇒P.397

お知らせ

- 画像やｉモーションによってはウェイクアップ画面に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

電話発着信時などの画面を設定する

お買い上げ時	モザイクタイル

発着信、メール送受信、問い合わせ中に表示する画像を設定します。

1 [メニュー]▶[設定]▶**ディスプレイ**▶**画面表示設定**▶**画面の種類を選択**

- 「電話着信」「テレビ電話着信」選択時は「着信画面」を選択します。
- 「メール受信」選択時は「メール着信画面」を選択します。
  ⇒P.111「待受画面を設定する」手順2へ
- 「電話発信」「テレビ電話発信」「メール送信」「問い合わせ」選択時
  ⇒P.111「待受画面を設定する」手順2へ
- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」→[✉](デモ)で、実際に表示／再生される内容を確認できます。

2 **画像の種類を選択**

⇒P.111「待受画面を設定する」手順2へ

お知らせ

- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択し、「着信音」を選択すると、着信音を設定できます。⇒P.103手順3へ
- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。ただし、「音声読み上げ設定」で電話着信、テレビ電話着信を「ON」に設定している場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には本機能よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には「着信音選択」よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。
- 本機能の設定と「着信音選択」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の画像や着信音が表示／再生されることがあります。
- 画像によっては画面表示に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

省電力モードを設定する

お買い上げ時	ON

ディスプレイの表示を消して電池の消費を減らします。

1 [メニュー]▶[設定]▶**ディスプレイ**▶**画面表示設定**▶**省電力**▶**ON・OFF**

- 「ON」に設定したときは、待受画面表示時に何も操作をしないで一定時間経過するとディスプレイの表示が消えます。また、「通話中イルミネーション」を「OFF」に設定したときは、音声通話中画面表示時のディスプレイの表示も同様に消えます。

お知らせ

- ここでの設定は、「照明設定」の「省電力モード」と共通です。また、省電力モードに切り替わるまでの待ち時間は、「照明設定」の「待ち時間(分)」で設定します。⇒P.114
- データ通信中･充電中･待受ｉアプリ設定中は省電力モードに切り替わりません。
- FOMA端末を操作したときや電話がかかってきたときなどは、ディスプレイが表示されます。ただし、公共モード(ドライブモード)中に電話がかかってきたときはディスプレイは表示されません。

＜電話帳画像着信設定＞ 電話帳に登録した画像を着信中に表示する

お買い上げ時	ON

相手が通知してきた発信者番号と電話帳に登録した電話番号が同じである場合、電話帳に登録してある静止画を表示します。

1 [メニュー]▶[設定]▶**着信**▶**電話帳画像着信設定**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。ただし、「音声読み上げ設定」で電話着信、テレビ電話着信を「ON」に設定している場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。

お知らせ

● シークレットデータとして登録した電話帳については、着信時にシークレットモードおよびシークレット専用モードにしていても画像の表示はされません。

電話番号ごとに設定する

FOMA端末(本体)の電話帳に登録した電話番号ごとに着信時の画像を設定します。

● シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳詳細画面▶[iα](機能)▶電話帳便利機能▶着信イメージ▶画像の種類を選択

⇒P.111手順2へ

「着信イメージ」に「★」マークが付きます。

● 電話番号の着信イメージを解除するには、同様の操作を行います。

グループごとに設定する [メニュー][2][6]

FOMA端末(本体)の電話帳に登録されているグループごとに着信時の画像を設定します。電話番号ごとに着信イメージが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

●「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。

1 待受画面▶[○]▶グループ設定▶グループを選んで[iα](機能)▶グループ便利機能▶着信イメージ▶画像の種類を選択

⇒P.111手順2へ

「着信イメージ」に「★」マークが付きます。

● グループの着信イメージを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

● 複数のグループに同じ電話番号が登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号のグループに設定されている着信イメージが優先されます。

● シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になります。

<プライベートウィンドウ> [メニュー][9][3]

プライベートウィンドウの表示を設定する

お買い上げ時	ON

1 [メニュー]▶[設定]▶ディスプレイ▶プライベートウィンドウ▶ON・OFF▶以下の操作を行う

●「OFF」選択時は、設定が終了します。

項目	操作・補足
省電力モード お買い上げ時 ON	▶ON・OFF
着信表示 お買い上げ時 ON	電話をかけてきた相手の電話番号(電話帳に登録されている場合は名前)などを着信中にテロップ表示します。 ▶ON・OFF
メール表示 お買い上げ時 OFF	メールの受信日時、送信元、題名を表示します。⇒P.28 ▶ON・OFF ● セキュリティが設定されているBOX･フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
通信中表示 お買い上げ時 ON+[ライト]OFF	通信中にアニメーションや文字を表示するかしないか、バックライトの点灯はありかなしかを設定します。 ON+[ライト]ON........バックライト点灯ありで表示。 ON+[ライト]OFF.......バックライト点灯なしで表示。 OFF......................バックライト点灯なし／表示なし。

<オート表示>

FOMA端末を開いたときに電話番号を表示する

待受画面表示中に閉じたFOMA端末を開くと、指定した電話帳の電話番号を表示します。
[発信]を押すだけで、その電話番号に音声電話をかけることができます。また、[テレビ電話]を押すとテレビ電話発信します。

オート表示を設定する

メニュー 4 7

お買い上げ時	OFF

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶オート表示▶ON・OFF

お知らせ

- 通話中、PIMロック中、オールロック中、おまかせロック中、シークレット専用モード中はオート表示はされません。
- オート表示中に●、☎、chクリアを押すと待受画面に戻ります。

オート表示する電話番号を指定/変更する

1 電話帳詳細画面▶iα(機能)▶オート表示

オート表示が指定されると、電話帳の機能メニューの「オート表示」に「★」マークが付きます。

- オート表示に指定した電話番号を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- オート表示に指定できる電話番号は1件のみです。また、シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には指定できません。

<オープン新着表示> FOMA端末を開いたときに新着情報を表示する

お買い上げ時	OFF

FOMA端末を閉じているときに不在着信/新着メールがあった場合、FOMA端末を開くと不在着信履歴詳細画面/受信メール一覧画面が表示されます。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶オープン新着表示▶ON・OFF

お知らせ

- かんたんモード中に着信があった場合は、着信履歴詳細画面が表示されます。
- 新着メールを受信したあと、不在着信があった場合は不在着信履歴詳細画面が優先して表示されます。

<照明設定> ディスプレイとボタンの照明を設定する

メニュー 7 0

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶照明設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
通常時 お買い上げ時 ON+省電 (バックライト:ON 省電力モード:ON 待ち時間:5分)	通常時にメインディスプレイのバックライトを点灯させるかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「OFF」に設定したときは待受画面に「💡」が表示されます。 省電力モードにするかどうかも設定します。 ▶ON・OFF ●ここでの設定は、「画面表示設定」の「省電力」と共通です。⇒P.112 ▶**待ち時間(分)を入力** ●「02」～「20」の2桁を入力します。 ●待受画面に静止画以外を設定している場合は、画像の再生が終了したあと、待ち時間が経過すると省電力モードに切り替わります。
充電時 お買い上げ時 標準	▶**標準・常時点灯** **標準**……通常時のバックライト点灯と同じ設定で充電中も点灯。 **常時点灯**…充電中にバックライトを常時点灯。 ●ACアダプタ(別売)などの外部電源から電源を供給されているときは、通常時のバックライトのON/OFF設定に関わらず、充電時の設定になります。

項目	操作・補足
範囲 お買い上げ時 液晶＋ボタン	バックライトが点灯する範囲を設定します。 ▶**液晶＋ボタン・液晶**
明るさ お買い上げ時 レベル2	レベル1（暗い）～レベル3（明るい）で調節します。 ▶**明るさを選択** ● ここでの設定は、ディスプレイのバックライトにのみ有効です。

バックライトのON／OFFをワンタッチで切り替えるには

5を1秒以上押すたびにON／OFFが切り替わります。

お知らせ

- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときなどに「範囲」で設定した箇所が約15秒間点灯します。FOMA端末を閉じているときに着信などがあった場合は、プライベートウィンドウのバックライトが点灯します。カメラ起動中、動画／ｉモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定に関わらず、常時点灯します。
- テレビ電話中の画面の照明設定について⇒P.78
- ｉモードメールやメッセージR/Fの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。

＜配色パターン＞ 画面の色の組み合わせを設定する

メニュー 8 6

お買い上げ時	セピア

文字や背景など、画面の配色を設定します。

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ**▶**配色パターン**▶**配色パターンを選択**

- 「スタンダード」「カジュアル」「セピア」「フローラル」「ブラック」から選択します。

お知らせ

- 複数の色で表示されているアイコンや画像、ドコモの絵文字、ｉモード対応のインターネットホームページ（サイト）の色は変わりません。

＜メニュー画面設定＞ メニュー画面の表示を設定する

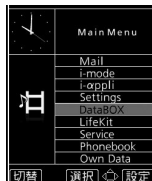
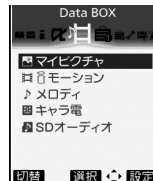
メニュー 5 7

メニューアイコン設定

お買い上げ時	モザイクタイル

メインメニューに表示されるアイコンや背景の画像を変更します。

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ**▶**メニュー画面設定**▶**メニューアイコン設定**▶**パターンを選択**

モザイクタイル

ブラックオニキス

スクロール

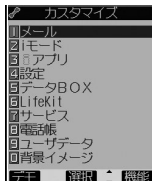
リボン

ノーマル

- メインメニューで ｉα（設定）を押してもパターンを選択できます。
- 「スクロール」に設定した場合は、メインメニューで ◯ を押して大項目アイコン、◯ を押して各アイコン内の中項目や機能を選択できます。
- 「モザイクタイル」の背景色は、時間帯によって変化します。

▶▶次ページにつづく

2 手順1で「カスタマイズ」を選択した場合は、変更したいメニューアイコンまたは背景を選択 ▶フォルダを選択▶画像を選択

手順2を繰り返してメニューアイコンまたは背景の画像を設定します。
- メニューアイコンまたは背景選択中に[メール]（デモ）で、現在設定されている画像を確認できます。
「背景イメージ」のデモを確認中に[iα]（枠色）でグループを表す枠の色を設定できます。
[メール]（切替）で16色と256色を切り替えます。

アイコン／背景選択画面

お知らせ
- カスタマイズで設定できる画像は、画像サイズがVGA（640×480）以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、背景にアニメーションGIFを設定した場合は、最初の1コマ目が表示されます。
- カスタマイズで設定した画像を削除した場合は、「ノーマル」と同じ画像になります。
- カスタマイズに設定中にPIMロックを設定した場合は、「モザイクタイル」の画像が表示されます。
- カスタマイズに設定すると、「バイリンガル」の設定を切り替えても、メインメニューのアイコンは切り替わりません。

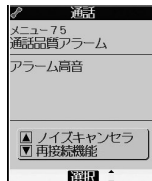
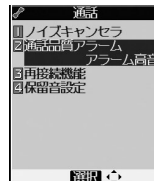
アイコン／背景選択画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
1件リセット	「ノーマル」と同じ画像に戻します。 ▶YES
全件リセット	メニューアイコンと背景をすべて「ノーマル」と同じ画像に戻します。 ▶YES

メニュー表示

お買い上げ時	一覧表示

「設定」のメニュー小項目（機能）の表示を設定します。

1 [メニュー]▶[設定]▶ディスプレイ▶メニュー画面設定▶メニュー表示▶詳細表示・一覧表示

詳細表示

一覧表示

<Feel＊Talk>

Feel＊Talkを利用する

Feel＊Talk（フィール・トーク）とは、45種類のキャラクタの動きと、着信／充電ランプを点灯／点滅させることによって「会話」の雰囲気を再現する機能です。
Feel＊Talkを設定すると通話終了後、Feel＊Talk画像を再生します。また、発信履歴、着信履歴、リダイヤルの一覧画面または詳細画面からもFeel＊Talk画像を再生できます。
通話終了後にFOMA端末を閉じたとき、Feel＊Talkに連動して着信／充電ランプを点灯／点滅させることができます。

- テレビ電話では、Feel＊Talkは利用できません。
- [☎]または[CLR]を押すと、再生が終了します。

Feel＊Talkを設定する

1 ▶▶**Feel＊Talk▶以下の操作を行う**

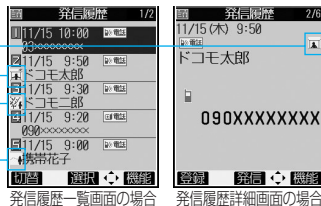
項目	操作・補足
通話後表示 お買い上げ時 ON	通話終了後の待受画面に、Feel＊Talk画像を再生します。 ●「OFF」のときの通話は、「履歴表示」を「ON」に設定していても、各種履歴画面にFeel＊Talkアイコンは表示されません。 ▶ON・OFF
履歴表示 お買い上げ時 ON	各種履歴画面に、Feel＊Talkアイコンを表示します。 ▶ON・OFF
イルミネーション お買い上げ時 ON	通話終了後、初めてFOMA端末を閉じたときに、着信／充電ランプがFeel＊Talkに連動して点灯／点滅します。 ●「クローズイルミネーション」の設定に関わらず、点灯／点滅します。 ▶ON・OFF

お知らせ

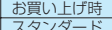
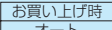
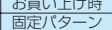
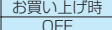
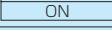
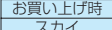
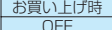
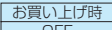
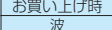
- テレビ電話から音声電話に、または音声通話からテレビ電話に切り替えて通話を終了した場合でも、Feel＊Talk画像は再生されます。

各種履歴画面からFeel＊Talkを再生する

1 **Feel＊Talkアイコンが表示された発信履歴・着信履歴・リダイヤル一覧画面、または詳細画面を選択／表示**

選択／表示すると、Feel＊Talkアイコンが動きます。

発信履歴一覧画面の場合　発信履歴詳細画面の場合

2 **[カメラ]を押す**

Feel＊Talk画像を再生します。

- [iα]（機能）を押して「Feel＊Talk表示」を選択しても、Feel＊Talk画像を再生できます。
- [ch クリア]を押すと、再生が終了します。
- かんたんモード中は再生できません。

■Feel＊Talkアイコン一覧

<イルミネーション設定>
着信／充電ランプの色を設定する

1 メニュー▶設定▶**イルミネーション設定**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
イルミネーション一括設定 お買い上げ時：スタンダード	▶**イルミネーションモードを選択** ⇒P.119
着信イルミネーション(着信イルミネーション選択) お買い上げ時：オート	着信／充電ランプの点灯／点滅色を着信の種類ごとに設定します。 ▶**着信の種類を選択▶[選択キー]で色を選択** ●「グラデーション」を選択した場合は、色1～12が順番に点滅します。 ●「線香花火～バーバーサイン」を設定すると、それぞれをイメージしたパターンで点滅します。 ●着信イルミネーションの優先順位は、「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「着信イルミネーション選択」の順になります。
着信イルミネーション(パターン設定) お買い上げ時：固定パターン	着信イルミネーションが点滅するパターンを設定します。 **固定パターン**....同じパターンを繰り返して点滅。 **メロディ連動**....メロディに合わせて点滅。 ●「メロディ連動」に設定しても以下の場合は、「固定パターン」で点滅します。 ・「着信イルミネーション選択」を「色1～12」、「グラデーション」以外に設定している場合。 ・点滅パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合。
着信イルミネーション(カラー設定▶カラー名編集)	「色1～12」を編集できます。 ▶**カラー名編集▶色を選択▶名前を入力** ●文字数：全角10／半角20文字まで。
着信イルミネーション(カラー設定▶カラー調節)	「色1～12」を調節できます。 ▶**カラー調節▶色を選択▶[選択キー]でカラーを調節** ●[選択キー]で色を選択し、[選択キー]で色調を変更します。
通話中イルミネーション お買い上げ時：OFF	通話中の着信／充電ランプの点灯／点滅色を設定します。 ▶**[選択キー]でイルミネーションデータを選択** ●伝言メモの動作中、応答保留中、通話保留中なども通話中と同じ色で点灯／点滅します。
不在未読イルミネーション お買い上げ時：ON	不在着信や新着メール、新着チャットメールがあるときに、約30分間、約30秒ごとに着信／充電ランプが点滅します。 ▶**ON・OFF** ●他の機能が動作中は、点滅しない場合があります。
クローズイルミネーション お買い上げ時：スカイ	FOMA端末を閉じたときに、着信／充電ランプが点灯／点滅します。 ▶**[選択キー]でイルミネーションデータを選択** ●着信／充電ランプを点灯／点滅させない場合は「OFF」を選択します。 ●公共モード(ドライブモード)中は、着信／充電ランプは点灯／点滅しません。
時報イルミネーション お買い上げ時：OFF	音と着信／充電ランプの点灯で定時刻(毎時0分)をお知らせします。 **OFF**.............消灯。 **パターン1** ...固定の音が鳴り、固定の色で点灯。 **パターン2** ...月や時刻ごとに、音と着信／充電ランプの色が変化。 ●待受画面以外を表示中は、「時報イルミネーション」は動作しません。 ●時報は「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。
ミュージックイルミネーション お買い上げ時：OFF	SDオーディオ再生開始時の着信／充電ランプの色を設定します。 ▶**[選択キー]でイルミネーションデータを選択** ●点灯／点滅させない場合は「OFF」を選択します。 ●点灯／点滅時間は、イルミネーションデータによって異なります。約6～36秒間点灯／点滅します。
サイドボタンイルミネーション お買い上げ時：波	FOMA端末を閉じているときに[▲]を押すと着信／充電ランプが点灯／点滅します。 ●他の機能が動作中は、点灯／点滅しない場合があります。 ▶**[選択キー]でイルミネーションデータを選択** ●点灯／点滅させない場合は「OFF」を選択します。

イルミネーション一括設定について

個別のイルミネーション設定を「スタンダード」「省電力」「にぎやか」「ひかえめ」の4つのイルミネーションモードでまとめて設定できます。

イルミネーション設定＼イルミネーション一括設定		スタンダード	省電力	にぎやか	ひかえめ
着信イルミネーション	電話	オート	オート	オート	オート
	テレビ電話				
	メール				
	チャットメール				
	メッセージR				
	メッセージF				
通話中イルミネーション		OFF	OFF	レインボー	ライム
不在未読イルミネーション		ON	OFF	ON	ON
クローズイルミネーション		スカイ	OFF	レインボー	マリン
時報イルミネーション		OFF	OFF	パターン2	パターン1
ミュージックイルミネーション		OFF	OFF	バーバーサイン	夕焼け
サイドボタンイルミネーション		波	OFF	ルーレット	キャンドル

お知らせ

<着信イルミネーション>
- 「オート」に設定した場合は、以下の動作で点滅します。
  - ･プリインストールメロディ……………それぞれのメロディに用意されているパターンと色
  - ･プリインストール以外のメロディ….プリインストール以外のメロディに用意されているパターンと色

<パターン設定>
- 「着信イルミネーション選択」で「色1～12」「グラデーション」を選択した場合に有効です。

電話番号やメールアドレスごとに設定する

FOMA端末(本体)の電話帳に登録した電話番号やメールアドレスごとに着信イルミネーションを設定します。
- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳詳細画面▶[iα]([機能])▶電話帳便利機能▶着信イルミネーション・メールイルミネーション▶[○]でイルミネーションデータを選択

設定された項目に「★」マークが付きます。
- 解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ
- 「電話番号@docomo.ne.jp」のアドレスからｉモードメールを受信したときは、電話帳の電話番号に設定したメールイルミネーションでお知らせします。

グループごとに設定する [メニュー][2][6]

FOMA端末(本体)の電話帳に登録されているグループごとに着信イルミネーションを設定します。
電話番号やメールアドレスごとに着信イルミネーションが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。
- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。

1 待受画面▶[○]▶グループ設定▶グループを選んで[iα]([機能])▶グループ便利機能▶着信イルミネーション・メールイルミネーション▶[○]でイルミネーションデータを選択

設定された項目に「★」マークが付きます。
- 解除するには、同様の操作を行います。

<確認機能設定> メニュー 6 5

不在着信や新着メールを音と着信／充電ランプで確認する

お買い上げ時	電子音

不在着信・新着メール・新着チャットメール・伝言メモ・留守番電話があるかないかを、FOMA端末を閉じたまま▾を押して確認します。本機能を利用するには、「サイドボタン操作」を「閉じた時有効」に設定しておく必要があります。

1 メニュー▶設定▶着信▶確認機能設定▶項目を選択

電子音……不在着信や新着メール、新着チャットメールがあるかないかを電子音と着信／充電ランプの点滅でお知らせ。

ボイス……「チャットメールあり」、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」の順に声と着信／充電ランプの点滅でお知らせ。

OFF………確認機能OFF。

FOMA端末を閉じた状態で▾を押すと

不在着信や新着メール、新着チャットメールがあるとき

（待受画面に「不在着信あり」、「新着メールあり」または「チャットメールあり」のアイコンのいずれかが表示されているとき）

「確認機能設定」を「電子音」に設定していると、「ピピ、ピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約3秒間点灯します。

「確認機能設定」を「ボイス」に設定していると、「ピピ」という音が鳴り「新着メールあり」、「不在着信あり」などと声でお知らせし、着信／充電ランプが約3秒間点灯します。

- 声でのお知らせが終了するまでに▾を再度押すと、お知らせを停止できます。

不在着信や新着メール、新着チャットメールがないとき

「確認機能設定」を「電子音」または「ボイス」に設定していると、「ピピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプは点灯しません。

「ボイス」に設定していても、声でお知らせはしません。

お知らせ

- ｉモードセンターに保管されているメールは本機能で確認できません。
- 起動中の機能によっては、確認機能が動作しない場合があります。
- 電子音の音量は変更できません。
- ボイスは「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定しているときは、不在着信・新着メール、新着チャットメールともに着信／充電ランプと振動でお知らせします。
- 振動でのお知らせは次のようになります。
  - ・不在着信または新着メール、新着チャットメールがあるときは約1秒間振動します。
  - ・不在着信も新着メール、新着チャットメールもないときは約0.2秒間振動します。
- 不在着信、新着メール、新着チャットメールがあるときは、「色1」で着信／充電ランプが点灯します。また、すべてなかったときは着信／充電ランプは点灯しません。
- お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。

<デスクトップ>
デスクトップのアイコンを利用する

お買い上げ時	使いかたナビ

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)や新着メールがあったときなど、待受画面にアイコンでお知らせします。(お知らせアイコン)
また、よく使う電話番号やメールアドレスなどをアイコンとして貼り付けることができます。(貼り付けアイコン)

デスクトップにアイコンを貼り付ける

電話番号やメールアドレスなどを「貼り付けアイコン」として合計15件まで貼り付けることができます。

1 貼り付けたい項目の画面▶i α(機能)▶デスクトップ貼付▶YES

- 送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、貼り付けたいメールアドレスや電話番号を選択します。

お知らせ

- サイトによっては、URLをデスクトップ貼付できないことがあります。
- URLのタイトルは、全角16文字まで、半角32文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上あるときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。
- ファイルやデータによってはデスクトップ貼付できない場合があります。

■お知らせアイコンを選択したときの動作

アイコン	動作
不在	**不在着信あり** 不在着信の着信履歴一覧画面を表示⇒P.55
伝言	**伝言メモあり** メモ一覧画面を表示⇒P.75
伝言	**テレビ電話伝言メモあり** テレビ電話メモ一覧画面を表示⇒P.75
メール	**新着 i モードメール･SMSあり** 受信メール一覧画面を表示⇒P.218
チャット	**新規チャットメールあり** チャットメールを起動⇒P.239
ソフト	**i アプリの自動起動ができなかったとき** i アプリの自動起動情報画面を表示⇒P.258
エラー	**i アプリ待受画面でセキュリティエラーが発生** セキュリティエラー履歴を表示⇒P.250
アラーム	**未通知アラームあり** 通知できなかったアラームの内容を表示⇒P.327
留守	**留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり** 留守番電話の画面を表示⇒P.360
更新	**電話帳お預かりサービスの更新ができなかったとき** 電話帳お預かりサービスの更新画面を表示⇒P.100
更新	**ソフトウェア更新を行ったとき** 端末暗証番号入力後、更新完了画面または完了しなかった理由を表示⇒P.428
更新	**パターンデータの自動更新を行ったとき** 更新結果を表示⇒P.433
USB	**FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続** 「USBモード設定」の設定画面を表示⇒P.302

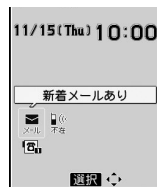
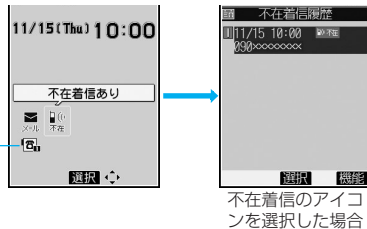
■貼り付けアイコンを選択したときの動作

アイコン	動作
	電話番号 電話番号が入力された状態でダイヤル発信の画面を表示⇒P.51
	サイトのURL サイトを表示⇒P.168
	ｉモードメールの送信元・宛先 宛先が入力された状態でメール作成画面を表示⇒P.199
	SMSの送信元・宛先 宛先が入力された状態でSMS作成画面を表示⇒P.241
	ｉアプリ※ ｉアプリを起動⇒P.249
	ピクチャ※ ピクチャビューアで表示⇒P.264
	ｉモーション※ ｉモーションプレーヤーで再生⇒P.277
	キャラ電※ キャラ電プレーヤーで再生⇒P.287
	メロディ※ メロディプレーヤーで再生⇒P.290
	使いかたナビ 使いかたナビ画面を表示⇒P.36
	カメラメニュー カメラメニューを表示⇒P.151、P.155
	バーコードリーダー機能 バーコードリーダー選択画面を表示⇒P.161
	テキストリーダー機能 テキストリーダー選択画面を表示⇒P.164
	赤外線受信機能 赤外線受信選択画面を表示⇒P.308、P.309
	ToDo機能 ToDoの一覧画面を表示⇒P.333
	プライベートメニュー プライベートメニューを表示⇒P.335

※登録元のデータが削除されたり上書き登録された場合は、貼り付けアイコンは無効になります。

デスクトップのアイコンからそれぞれの機能に進む

1 待受画面▶◎

各アイコンの説明が表示されます。

2 ◎でアイコンを選んで◎(選択)を押す

不在着信のアイコンを選択した場合

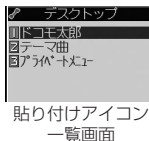
- 「貼り付けアイコン」は5件まで表示されます。6件以上ある場合は「◀」「▶」が表示されます。
- 「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには、手順1の画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- 海外で「留守番電話あり」のお知らせアイコン( )が表示された場合、お知らせアイコンからの操作では留守番電話機能を使用できません。P.387「海外用サービス」の手順に従って操作してください。

貼り付けアイコンの詳細を確認する　メニュー 6 3

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶デスクトップ

デスクトップに貼り付けられている貼り付けアイコンの一覧が表示されます。

貼り付けアイコン一覧画面

2 詳細を表示するアイコンを選択

● URLが長い場合は○で画面をスクロールして確認できます。

貼り付けアイコン一覧画面の機能メニュー

● 待受画面で貼り付けアイコンを選んでiα(機能)を押しても機能メニューが表示されます。

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ● 文字数：全角16／半角32文字まで。ただし、アイコンを選んだときに表示されるタイトルは、入力したタイトルの先頭から全角11／半角22文字までです。
デスクトップ初期化	貼り付けアイコンをお買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

<フォント設定>

文字(フォント)の設定を変更する　メニュー 6 6

お買い上げ時	フォント1

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶フォント設定▶フォントを選択

フォント1 .....ゴシック体風のフォント。
フォント2 .....ポップ体風（丸文字）のフォント。

お知らせ

● 漢字など、文字によっては、本機能の設定に関わらず「フォント1」で表示されます。
● 電話番号入力や時計表示などの文字は変更できません。

<時計表示設定>
時計の表示を設定する

待受画面の時計表示を日本語表示／英語表示／時計表示なしに切り替えたり、表示サイズを変更したりします。

1 メニュー▶設定▶**時計▶時計表示設定**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作･補足
表示方法 お買い上げ時：英語	▶日本語・英語・OFF ●ここでの設定はプライベートウィンドウの時計表示にも反映されます。(⇒P.29)ただし、「OFF」に設定した場合は、「バイリンガル」(⇒P.124)の設定に従います。
表示サイズ お買い上げ時：大きく表示	▶大きく表示・小さく表示

<バイリンガル>
画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時　Japanese

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ▶バイリンガル**
▶**Japanese・English**

●Japanese(日本語表示)とEnglish(英語表示)では、以下の機能の項目が異なります。

機能	Japanese	English
時計表示設定の「表示方法」	日本語 英語 OFF	選択不可 ON OFF
確認機能設定	電子音 ボイス OFF	ON 選択不可 OFF
使いかたナビ	選択可能	選択不可

お知らせ
●FOMAカードを挿入している場合、「バイリンガル」の設定はFOMAカードに記憶されます。
●「バイリンガル」を「English」に設定中は音声読み上げを行いません。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

FOMA端末の操作や機能、発着信や送受信を制限するロック機能について、本章でご紹介している項目を一覧表にまとめています。目的に合わせてご利用ください。

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

本章以外でご紹介しているあんしん設定に関する機能／サービスを一覧表にまとめています。目的に合わせてご利用ください。

暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

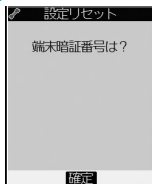
- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。⇒P.127

端末暗証番号入力の画面が表示された場合

4～8桁の端末暗証番号を入力します。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからはドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書の裏表紙の裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。⇒P.173
ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」→「料金&お申込・設定」→「オプション設定」→「ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。⇒P.128

- PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
- PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

● 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コードまたはPIN2コード入力の画面が表示された場合

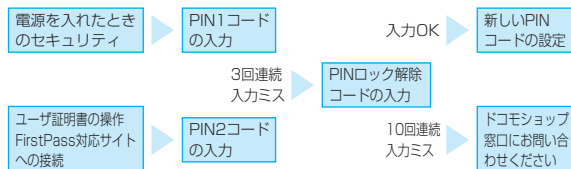
4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力します。

● 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
● 3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。（入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）
正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。

PIN1コードの場合

PINロック解除コード

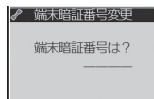
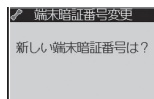
PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

● PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

<端末暗証番号変更>

端末暗証番号を変更する

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号（4～8桁）に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 メニュー ▶ 設定
▶ロック／セキュリティ
▶端末暗証番号変更
▶現在設定されている端末暗証番号を入力

● お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 **新しい端末暗証番号（4～8桁）を入力▶YES**

端末暗証番号変更
新しい端末暗証番号は？

<PIN設定>
PINコードを設定する

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1

▶ロック／セキュリティ▶PIN設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード入力設定▶ON・OFF▶PIN1コードを入力

◆PIN1コードについて⇒P.126

PIN1コード変更・PIN2コード変更

PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

1

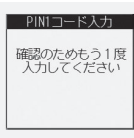
▶ロック／セキュリティ▶PIN設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード変更・PIN2コード変更▶現在設定されているPIN1コードまたはPIN2コードを入力

PIN1コード変更の場合

◆PIN1コード／PIN2コードについて⇒P.126

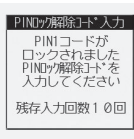
2 新しいPIN1コードまたはPIN2コード(4～8桁)を入力

● 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

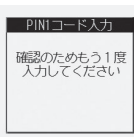
3 新しいPIN1コードまたはPIN2コードを再入力

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 PINロック解除コード(8桁)を入力

● 入力した解除コードは「_」で表示されます。

2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

● 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力

各種ロック機能について

ロック機能	説明	参照先
オールロック	電源のON／OFF以外の操作ができなくなります。	P.129
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際などに、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P.130
セルフモード	電話やｉモード、メールなどの通信機能を利用できないようにします。	P.130
PIMロック	電話帳や自局番号、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにします。	P.131
フェイスリーダー設定	顔データを登録し、PIMロックを解除する際の認証に利用できます。	P.132
ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンでの発信をできないようにします。	P.136
サイドボタン操作	サイドボタンの誤動作を防ぎます。	P.137
履歴表示設定	発着信や送受信アドレス一覧を表示できないようにします。	P.137
シークレットモード／シークレット専用モード	電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにします。	P.137
シークレットメール表示設定	シークレット登録した電話帳と一致する送信元／宛先のメールを表示できないようにします。	P.138
メールセキュリティ設定	メールの受信･送信･保存BOXを利用できないようにします。	P.138
電話帳指定設定	電話をかける、受ける･受けないにあたって、電話番号を指定することができます。	P.139
非通知着信設定	発信者番号を通知していない相手からの電話の着信を受けないようにします。	P.140
呼出時間表示設定	電話帳に登録していない相手からの呼出動作が開始するまでの時間を設定します。	P.141
登録外着信拒否	電話帳に登録していない相手からの電話の着信を受けないようにします。	P.141

<オールロック>

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時	解除

オールロックをかけると電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ**▶**オールロック**▶**端末暗証番号を入力**

「🔒」と「オールロック」が表示され、オールロックが設定されます。

- オールロックを解除するには、待受画面で端末暗証番号を入力します。電源を切ってもオールロックは解除されません。

お知らせ

- オールロック中は電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信します。
- オールロック中は電話がかかってきても着信動作せず、相手には話中音が流れます。ただし、遠隔監視を受けることはできます。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
- オールロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。オールロック解除後に「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
- オールロック中は、デスクトップのアイコンは表示されません。オールロック解除後に再表示されます。
- オールロック中は、ｉチャネルのテロップは表示されません。
- オールロック中は、ウェイクアップ画面にｉモーションを設定していても、お買い上げ時のウェイクアップ画面が表示されます。

<おまかせロック>
おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーを守ります。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。
※おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間 24時間
※パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックのご利用方法／料金など詳細については「ご利用ガイドブック(手続き･アフターサービス編)」をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

11/15(Thu) 10:00
おまかせロック中です

待受画面に「おまかせロック中」と表示され、おまかせロックが設定されます。
- おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロック中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用できなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ
- 他の機能が起動中の場合でも、起動中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用できます。ただし、おまかせロックをかける前にオールロックや公共モード(ドライブモード)などを設定していた場合は、音声電話、テレビ電話の着信もできなくなります。
- 圏外、セルフモード中や電源OFF中の場合はロックがかかりません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<セルフモード>
セルフモードを利用する

お買い上げ時	解除

すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスを利用できます。

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶セルフモード▶YES▶OK**

「self」が表示され、セルフモードが設定されます。
- セルフモードを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると、セルフモードを解除して発信します。
- セルフモード中は、メールやメッセージR/Fの受信も行いません。
- セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」のアイコンは表示されません。

<PIMロック>
個人情報に関する機能を操作できないようにする

お買い上げ時	解除

個人情報を他人が見たり、不正に書き換えられたりするのを防ぐため、以下の機能が使用できないように設定します。(「PIM」とは、「個人情報管理プログラム」を意味します。)

- ·伝言メモ
- ·電話帳
- ·FOMAカード(UIM)操作
- ·自局番号表示
- ·オート表示
- ·アラーム
- ·スケジュール
- ·ToDo
- ·音声メモ
- ·動画メモ
- ·フリーメモ
- ·カメラ
- ·バーコードリーダー
- ·テキストリーダー
- ·iモード
- ·ブックマーク
- ·iアプリ
- ·メール
- ·メールメンバー
- ·えチャット
- ·チャットグループ
- ·静止画※1
- ·動画
- ·メロディ※1
- ·キャラ電
- ·SDオーディオ
- ·microSDメモリーカード
- ·データリンク
- ·ソフトウェア更新
- ·パターンデータ更新
- ·おしゃべり機能
- ·画像選択
- ·遠隔監視設定
- ·登録外着信拒否
- ·デスクトップ※2
- ·設定リセット
- ·端末初期化
- ·メモの再生／消去
- ·赤外線通信
- ·ボイスダイヤル
- ·iチャネル

※1 お買い上げ時に登録されている静止画·メロディは表示できます。
※2 プライベートメニュー、使いかたナビの「貼り付けアイコン」や、PIMロック設定後に表示された不在着信の「お知らせアイコン」などは操作できます。

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶PIMロック▶端末暗証番号を入力**

「PIM」が表示され、PIMロックが設定されます。

- PIMロックを解除するには、上記と同様の操作を行います。
  「PIMロック設定」の「セキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、P.135「フェイスリーダーでロックを解除する」の操作を行います。
  「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、P.135の操作を行ったあとに端末暗証番号を入力します。

お知らせ

- PIMロック設定中は、メッセージR/F、iモードメール、チャットメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。PIMロック解除後に「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
- PIMロック中はデスクトップの貼り付けアイコンを削除できません。
  また、PIMロック中は、「新着メールあり」「未通知アラームあり」「電話番号」「URL」「メールアドレス」など表示されない「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」がありますが、PIMロック解除後に再表示されます。
- PIMロック中は、FOMA端末を閉じた状態で▼を押して不在着信、新着メールを確認できません。
- PIMロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
- PIMロック中に「オールロック」を設定すると「PIM」が消え、「🔑」が表示されます。

<フェイスリーダー設定>
フェイスリーダーを利用する

フェイスリーダーに顔データを登録し、PIMロックを解除する際の認証に利用できます。
フェイスリーダーを利用するには、あらかじめ顔データを3件以上登録し、「PIMロック設定」の「セキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定しておく必要があります。

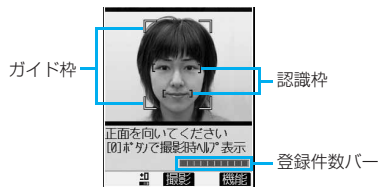
フェイスリーダー利用時のご注意

- カメラが汚れていたりすると誤作動の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてからご使用ください。
- 強く光が当たり、顔の明るい部分と暗い部分の差が大きくなる環境では顔を識別しにくくなります。この場合、登録が困難になったり、認証率(本人が正しく本人と認識される確率)が低下することがあるため、顔に当たる光が一定になるようにしてください。
- 顔に光が当たり顔全体が白くなる場合などは正常に認識できない場合があります。
- 顔の状態が次のような場合には、顔の登録が困難になったり、認証率が低下することがあります。
  ・髪や眼鏡、マスクなど顔の特徴(目、口、鼻、眉など)がはっきりと見えていない状態の場合
  ・暗い場所の電灯下など、顔に当たっている光の明暗が大きい場合
- 目、鼻、口、眉がはっきりと見えるように髪をあげる(眼鏡、マスクなどを取る)、顔が均一な明るさになるような場所に移動するなど、お客様の顔の状態に合わせて対処することで認証時の状況が改善される場合があります。また、顔データを追加登録すると、認証率が改善されます。
- 顔認証技術は完全な本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、またはフェイスリーダーの誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

登録

お買い上げ時	未登録

フェイスリーダーを利用するには顔データを3件以上登録してください。顔データは最大10件まで登録できます。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶登録▶OK**

顔データ読取画面

正面を向き、ガイド枠内に顔が入るようにします。
- 登録時と認証時の顔の位置の違いによる認証失敗を減らせます。認識されると目元と口元に認識枠が表示され、ガイド枠が緑色になります。
- 認識枠が表示されない場合や、認識枠が目元、口元からずれている場合は、顔をガイド枠から外してから、もう一度向き直して認識枠が正しく表示されるようにしてください。

顔データ読取画面の登録件数バーに顔データの登録件数が表示されます。

2 ●(撮影)を押す

顔データを撮影します。
- 顔データの認識に失敗したときは、「OK」を選択し手順1に戻ります。

3 ●(登録)を押す

撮影した顔データを登録します。手順2～手順3を繰り返して、顔データを3件以上登録します。

- 3件目の顔データを登録すると、顔データを追加するとフェイスリーダーが使いやすくなる旨のメッセージが表示されます。
  追加登録する場合は「OK」を選択し、手順1の「登録」から再度登録操作を行ってください。終了する場合は「OK」を選択して終了します。
- ch/クリアを押すと顔データを取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると顔データ読取画面に戻ります。
- 同じ環境で登録を行うと登録できない場合があります。向きや場所を変えるなどすると登録できます。

お知らせ

- 撮影時には着信／充電ランプが赤色で点滅し、マナーモードなどの設定に関わらずシャッター音が鳴ります。
  シャッター音の音量は変更できません。ただし、SDオーディオ再生中、一時停止中は、シャッター音は鳴りません。

顔データ読取画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
明るさ調節 フェイスリーダー起動時 ±0	▶**明るさを選択** －3(暗い)～＋3(明るい)で調節します。 ● 顔データ読取画面で3を押しても明るさを調節できます。
ヘルプ表示	撮影時の注意事項を確認できます。 ● 顔データ読取画面で0を押してもヘルプを表示できます。 ● 確認が終わればch/クリアを押します。

登録画像リセット

フェイスリーダーに登録した顔データをすべて消去し、リセットします。

1 メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶登録画像リセット▶YES

お知らせ

- PIMロック中はリセットできません。
- 顔データをリセットすると、「PIMロック設定」の「セキュリティモード」が「端末暗証番号」に設定されます。

認識失敗画像

フェイスリーダーで認識動作を行った際に他人と判断された画像が5件まで保存されます。5件を超えると一番古いデータに上書きされます。不正にアクセスしようとした人間を特定するのに利用できます。

1 メニュー▶

▶ロック／セキュリティ
▶フェイスリーダー設定
▶端末暗証番号を入力
▶認識失敗画像▶画像を選択

- 認識失敗画像を削除するには、iα(機能)→「1件削除」または「全削除」→「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

フェイスリーダーセキュリティ

お買い上げ時	標準

フェイスリーダーを利用する際にまばたきの動作も読み取るように設定します。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ**
▶**フェイスリーダー設定**▶**端末暗証番号を入力**
▶**フェイスリーダーセキュリティ**▶**標準・高い**

標準........まばたきの動作読み取りなし。
高い........まばたきの動作読み取りあり。

フェイスリーダー暗証番号変更

「セキュリティモード」を「フェイスリーダー」や「ダブルセキュリティ」に設定しているときに、フェイスリーダー認証の代わりに入力する暗証番号を設定します。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ**
▶**フェイスリーダー設定**▶**端末暗証番号を入力**
▶**フェイスリーダー暗証番号変更**
▶**現在設定されているフェイスリーダー暗証番号を入力**

- お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 **新しいフェイスリーダー暗証番号(4〜8桁)を入力**
▶**YES**

PIMロック設定

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ**
▶**PIMロック設定**▶**端末暗証番号を入力**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
閉じタイマーロック設定 お買い上げ時 閉じタイマーロック設定:OFF 経過時間:5分 (ON設定時)	「ON」に設定すると、FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過したときに、自動的にロックがかかります。 ▶ON・OFF ●「ON」に設定中は「」が表示されます。 ●「OFF」選択時は設定が終了します。 ▶0分・5分・60分・180分
開きロック解除設定 お買い上げ時 OFF	「ON」に設定すると、FOMA端末を開いたときに、ロックの解除画面が表示されます。 ▶ON・OFF
セキュリティモード お買い上げ時 端末暗証番号	ロックの解除方法を設定します。 ●フェイスリーダー、ダブルセキュリティを設定するには「フェイスリーダー設定」であらかじめ顔データを3件以上登録しておく必要があります。 **端末暗証番号** ...端末暗証番号を入力してロックを解除。設定が終了。 **フェイスリーダー** ...フェイスリーダーで認証してロックを解除。 **ダブルセキュリティ** ...フェイスリーダーで認証したあとに端末暗証番号を入力してロックを解除。設定が終了。 ▶YES

お知らせ

<閉じタイマーロック設定>

● 待受画面が表示されていない場合や、待受画面が表示されていても、他の機能が起動している場合は、設定した時間が経過してもロックはかかりません。

● FOMA端末を閉じてから電話の着信やメールの受信などがあったり、FOMA端末を開いたりすると、経過時間は0秒に戻ります。

●「閉じタイマーロック設定」を設定している場合、PIMロックの解除操作をすると一時的にロックは解除されますが、FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、再びロックがかかります。

<開きロック解除設定>

● 待受画面が表示されていない場合や、待受画面が表示されていても、他の機能が起動している場合は、FOMA端末を開いても解除画面は表示されません。

<セキュリティモード>

● PIMロック中はセキュリティモードの変更はできません。

フェイスリーダーでロックを解除する

「セキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、端末暗証番号の代わりにフェイスリーダーで認証してロックを解除します。

「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、フェイスリーダーで認証したあとに端末暗証番号を入力してロックを解除します。

1 PIMロックの解除画面 ▶ガイド枠に顔を合わせ、◉(開始)を押す

顔データ読取画面

正面を向き、ガイド枠内に顔が入るようにします。目元と口元に認識枠が表示され、ガイド枠が緑色になります。認識枠が表示されない場合や、認識枠がずれている場合は、顔をガイド枠から外してから、もう一度向き直して認識枠が正しく表示されるようにしてください。

● 登録したときと同じ表情で認証操作を行ってください。

● ✉(暗証番号)を押してフェイスリーダー暗証番号を入力すると、フェイスリーダーの代わりに認証操作を行うことができます。

◆ フェイスリーダー暗証番号について⇒P.134

▶▶次ページにつづく

認証に失敗したときは

顔データの追加登録が可能な場合は、「OK」を選択すると追加登録を行うかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択し、端末暗証番号を入力すると顔データが追加登録されます。顔データの追加登録ができない場合は、「OK」を選択すると顔データ読取画面が表示されます。撮影した顔が他人と判断された場合は、シャッター音が鳴り、認識失敗画像が保存されます。「OK」を選択すると顔データ読取画面が表示されます。再度フェイスリーダーで認証を行ってください。

- 顔データが10件登録されているときに追加登録を行うと、一番古いデータに上書きされます。

「フェイスリーダーセキュリティ」が「高い」に設定されているときは

フェイスリーダー認証に成功するとまばたき検出を行います。ゆっくり目を閉じて開く動作を繰り返します。
まばたき検出に失敗した場合は、認証が失敗となります。

- フェイスリーダー認証時と同じ環境でも、まばたき検出に失敗することがあります。向きや場所などを変えて操作してください。

<ダイヤル発信制限>
ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにする

お買い上げ時	解除

ダイヤルボタンでの発信を禁止します。FOMA端末を会社の業務用としてお使いになるときなど、私用電話を防止するために操作を制限します。

■実行できない操作
- ・ダイヤルボタンでの発信
- ・着信履歴による発信
- ・初期値設定
- ・電話帳（登録、修正、削除、microSDメモリーカードからのコピー、赤外線での送受信）
- ・Phone To／AV Phone To 機能
- ・Mail To 機能

■実行できる操作
- ・電話帳·ボイスダイヤルの呼出発信
- ・リダイヤル、発信履歴、送信アドレス一覧による発信

上記の操作からメール送信も可能です。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ロック／セキュリティ ▶ ダイヤル発信制限 ▶ 端末暗証番号を入力

「アイコン」が表示され、ダイヤル発信制限が設定されます。
- ダイヤル発信制限を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ
- ダイヤル発信制限を設定すると、それまでのリダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に残っているデータはすべて削除されます。ダイヤル発信制限の設定以後に発生する発着信データはすべて残ります。
- ダイヤル発信制限中でも緊急通報110番／119番／118番にダイヤルボタンで電話をかけることはできます。

<サイドボタン操作>
サイドボタンの誤動作を防止する

お買い上げ時	閉じた時有効

FOMA端末を閉じたときに▲、▼が効かなくなるよう設定します。かばんの中での誤動作が防止できます。

1 **メニュー▶＊（1秒以上）**

「SIDE」が表示され、「閉じた時無効」に設定されます。
- 「閉じた時有効」に設定するには、同様の操作を行います。
- 「メニュー▶設定▶その他▶サイドボタン操作▶閉じた時有効・閉じた時無効」の操作を行っても設定できます。

お知らせ
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの外部機器を接続しているときは、本機能の設定に関わらずサイドボタンの機能は有効になります。

<履歴表示設定>
リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする

お買い上げ時	着信履歴：ON　リダイヤル／発信履歴：ON

1 **メニュー▶設定▶その他▶履歴表示設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

着信履歴……着信履歴と受信アドレス一覧の表示を設定。
リダイヤル／発信履歴…リダイヤル・発信履歴と送信アドレス一覧の表示を設定。

2 **ON・OFF**

ON……履歴表示あり。
OFF…..履歴表示なし。
- 「着信履歴」を「OFF」に設定した場合は、音声電話の伝言メモも再生できなくなります。

<シークレットモード><シークレット専用モード>
知られたくない電話帳やスケジュールを守る

お買い上げ時	解除

シークレットデータとして登録した電話帳やスケジュールは、通常のモードでは呼び出せません。シークレットモードでは、登録／編集した電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するか通常のデータとして登録するかを選択でき、シークレット専用モードで登録／編集した電話帳やスケジュールはシークレットデータとして登録されます。
シークレットモードではすべてのデータ、シークレット専用モードではシークレットデータだけを呼び出します。

シークレットモードにする　メニュー 4 0
シークレット専用モードにする　メニュー 4 1

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶シークレットモード・シークレット専用モード▶端末暗証番号を入力**

「シークレットモード」を選択したときは、「![icon]」が表示され、シークレットモードになります。
「シークレット専用モード」を選択したときは、「![icon]」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。
- シークレットモードで電話帳またはスケジュールを呼び出した場合、通常の電話帳またはスケジュールでは「![icon]」が点灯したままとなり、シークレットデータのときは「![icon]」が点滅します。
- シークレットモード、シークレット専用モードを解除するには、同様の操作を行うか待受画面で☎を押します。

シークレットデータを通常の電話帳・スケジュールに変更するには
シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除する電話帳・スケジュールの機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- シークレット登録できる電話帳はFOMA端末(本体)の電話帳のみです。
- シークレット登録した相手に電話をかけたときや、シークレット登録した相手から電話がかかってきたときは、発着信中の画面には名前は表示されずに電話番号が表示されます。
- シークレットデータを呼び出して電話をかけたり、メールを送信したときは、「リダイヤル」「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- シークレット登録した相手が発信者番号を通知して電話をかけてきたときは、「着信履歴」には通知された電話番号が表示されますが、登録されている名前は表示されません。
- 「オールロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「オールロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
- 電話を発着信した場合や、[☎]または[TV]を押してそのまま発信せずに待受画面に戻った場合、シークレットモード、シークレット専用モードは解除されます。
- 電話帳／スケジュールの編集中、電話帳検索の結果表示中に着信があった場合などはシークレットモード、シークレット専用モードは解除されます。電話帳／スケジュールの画面に戻ったときや操作をしたあとに、端末暗証番号を入力する画面が表示されます。端末暗証番号を入力し、[●]([確定])を押すと再びシークレットモードまたはシークレット専用モードに設定され、操作を続けることができます。

<シークレットメール表示設定>

送受信メールBOX内のメールにシークレットを設定する

お買い上げ時	表示する

シークレット登録した電話帳と一致する送信元／宛先のメール(シークレットメール)を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面▶[✉]([✉])▶メール設定▶シークレットメール表示設定▶端末暗証番号を入力▶表示する・表示しない

お知らせ

- 「表示しない」に設定していても、シークレットモード、シークレット専用モードではシークレットメールを確認できます。
- 「表示しない」に設定している場合、チャットメンバーにシークレット登録されたメンバーが含まれていると、チャットメンバー全員のチャットメールが表示されません。

<メールセキュリティ設定>

送受信メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

お買い上げ時	すべてチェックなし

メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。セキュリティを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 待受画面▶[✉]([✉])▶メール設定▶メールセキュリティ設定▶端末暗証番号を入力▶設定したいBOXにチェック▶[✉]([完了])

- セキュリティを設定すると、メールメニューの設定したBOXのアイコンに「🔑」が付きます。

お知らせ

- 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

<電話帳指定設定>
電話帳に指定機能を設定する

お買い上げ時	すべて解除

指定発信制限
指定した電話番号以外への音声電話、テレビ電話をかけられないようにします。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。音声電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出して[発信]または[●]([発信])を押します。(テレビ電話をかけるときは[テレビ電話]を押します。)電話番号は20件まで指定できます。
設定すると、それまでのリダイヤル、発信履歴、送信アドレス一覧に残っているデータはすべて削除されます。指定発信制限設定以後に発生する発信データはすべて残ります。

指定着信拒否
指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話がつながらないようにします。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないように設定できます。発信者側には話中音が流れます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

指定着信許可
指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話だけがつながるようにします。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるように設定できます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

指定発信制限・指定着信拒否・指定着信許可

1 電話帳詳細画面▶[iα]([機能])▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

指定発信制限..........指定した番号にだけ発信可能。
指定着信拒否..........指定した番号からの着信を拒否。
指定着信許可..........指定した番号からの着信を許可。
指定転送でんわ.......⇒P.366
指定留守番電話.......⇒P.362
設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面で[◎]を押して電話帳指定設定を設定する電話番号を選びます。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとに[クリア]を押して電話帳の詳細画面に戻り、[◎]で設定したい電話番号を選んで操作を行ってください。
  [終話]を押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。
- 電話帳指定設定を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「指定発信制限」を設定中に「PIMロック」を設定すると、すべての発信ができなくなります。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定中に「PIMロック」を設定すると、すべての着信を許可します。
- 「指定発信制限」を設定すると、以下の操作はできません。
  ・指定した電話番号以外の呼び出し、参照
  ・ダイヤル発信
  ・着信履歴からの発信
  ・電話帳の登録、修正、削除、microSDメモリーカードからのコピー、FOMAカードへのコピー
- 「指定発信制限」と同時に「オート表示」を利用するには、「オート表示」に指定した電話番号にも「指定発信制限」を設定してください。
- 「指定発信制限」を設定していても、緊急通報110番/119番/118番に電話をかけることはできます。

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- 「指定着信拒否」に設定した電話番号から電話がかかってきたときや、「指定着信許可」に設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」に関係なく受信されます。

電話帳指定設定を確認／解除する

メニュー 1 2

1 待受画面▶〇▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

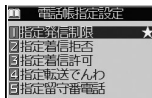
電話帳指定設定
1指定発信制限 ★
2指定着信拒否
3指定着信許可
4指定転送でんわ
5指定留守番電話

指定発信制限……⇒P.139
指定着信拒否……⇒P.139
指定着信許可……⇒P.139
指定転送でんわ……⇒P.366
指定留守番電話……⇒P.362

- iα(機能)→「設定確認」を選択しても電話帳指定設定を確認／解除できます。
- 設定されている項目には「★」マークが付きます。
- それぞれの電話帳指定設定に設定されている電話帳をすべて解除するには、iα(機能)→「設定解除」→「YES」を選択します。

2 電話帳を選択

電話帳指定設定が設定されている電話番号が表示されます。

- 電話番号ごとに電話帳指定設定を解除するには、同様の操作で解除したい電話番号を選択し、「YES」を選択します。

<非通知着信設定>

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

お買い上げ時	通知不可能：許可／通常着信音と同じ 公衆電話：許可／通常着信音と同じ 非通知設定：許可／通常着信音と同じ

発信者番号非通知理由によって音声電話、テレビ電話を受ける（許可）か受けない（拒否）かを設定できます。発信者番号非通知理由には「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」の3つがあります。

1 メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶非通知着信設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

通知不可能……海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合。（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります）
公衆電話……公衆電話などから発信した場合。
非通知設定……発信者の意思で発信者番号を通知せずに発信した場合。

2 許可・拒否

- 「許可」を選択した場合は、P.103手順3へ進み着信音の種類を選択します。
  「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。

お知らせ

- 「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても相手には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

<呼出時間表示設定> メニュー 9 0

呼出動作をすぐに開始しないようにする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **着信** ▶ **呼出時間表示設定** ▶ **以下の操作を行う**

項目	操作・補足
呼出動作開始時間 お買い上げ時 呼出動作開始時間:OFF 開始時間:1秒(ON設定時)	電話帳に電話番号が登録されていない相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときの呼出動作が開始するまでの時間を設定します。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用できます。 ▶**ON・OFF** ▶**開始時間「秒」を入力** ●「01」~「99」の2桁を入力します。
時間内不在着信表示 お買い上げ時 表示する	「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた着信を着信履歴に表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**

お知らせ

- 電話帳に電話番号が登録されている相手から着信があった場合は、「186/184」を付加して登録されていても、着信と同時に呼出動作を開始します。ただし、PIMロック中やシークレットで登録されている相手からの着信については、本機能の設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信の呼出時間でも同様です。

<登録外着信拒否>

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時	許可

電話帳に電話番号が登録されていない相手からの音声電話、テレビ電話を拒否できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

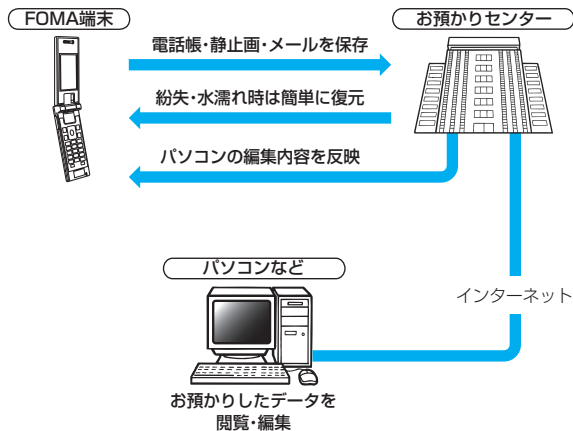
1 メニュー ▶ ▶ **ロック/セキュリティ** ▶ **登録外着信拒否** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **許可・拒否**

お知らせ

- PIMロック中やシークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定に関わらず、着信は拒否されません。
- 「電話帳指定設定」の「指定着信許可」と同時に設定している場合は、「指定着信許可」が優先されます。
- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のお知らせアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- 本機能を「拒否」に設定していても、「非通知着信設定」の各設定を「許可」に設定しているときは、「非通知着信設定」に従います。
- SMSやiモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- 「呼出時間表示設定」の「呼出動作開始時間」を「ON」に設定中は、「登録外着信拒否」を「拒否」に設定できません。

電話帳お預かりサービスとは

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・静止画・メール(以下「保存データ」といいます。)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている電話帳などのデータを新しいFOMA端末に復元させることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約が必要です。)

電話帳お預かりサービスについて

電話帳.....電話帳一覧画面・電話帳詳細画面の機能メニューからの操作⇒P.95
「メニュー▶LifeKit」からの操作⇒P.100
メール.....メール一覧画面・メール詳細画面の機能メニューからの操作⇒P.226、P.228
静止画.....静止画一覧画面・静止画再生中の機能メニューからの操作⇒P.266、P.271

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照先
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.366
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.367
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.187
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.428
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.432
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.214
災害が発生した際にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「ｉモード災害用伝言板」サービス	「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください
メールアドレスを変更／確認したい	アドレス変更／確認	
URLが記載されたメールを受信したくない	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	

目的	機能／サービス名称	参照先
1日に1台のｉモード端末から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	

お知らせ

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「登録外着信拒否／非通知着信設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

・撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
・撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
・撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上から下に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
・◉(撮影)を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、◉(撮影)を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
・microSDメモリーカードへ保存中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
・ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
・本体またはmicroSDメモリーカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカード(⇒P.294)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(⇒P.378)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

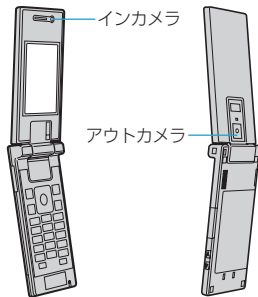
著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

● お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラのご使用について

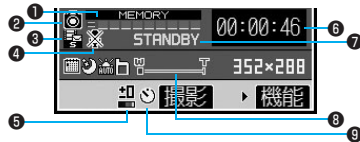
カメラを使って静止画や動画を撮影します。
カメラは前面(インカメラ)と背面(アウトカメラ)の2箇所のカメラを切り替えて使います。
カメラ切替について
⇒P.157

■撮影時に使用するボタン

ボタン	操作
●	シャッター・保存
望遠キー	望遠
広角キー	広角
iα	機能メニュー呼出
▲	カメラモード切替
1	色調切替
2	ホワイトバランス設定
3	明るさ調節
4	撮影モード選択
6	セルフタイマー設定
7	画像サイズ設定(フォトモード・連写モード時)
#	インカメラ/アウトカメラ切替
☎・ch クリア	カメラ終了(通常時)・戻る

お知らせ

- カメラ起動中は本体外側の着信/充電ランプが点滅します。点滅は消せません。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
- 撮影画面で何もボタン操作を行わないと、約3分後にカメラが自動的に終了します。
- 暗い場所で撮影する場合は、「画質調整」の「撮影モード選択」を「ナイトモード」に設定してご利用ください。

撮影画面の見かた

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❶使用メモリ量バー※1	MEMORY	メモリ使用状況 10段階で表示されます。メモリや保存件数がいっぱいのときは赤色で表示されます。	—
❷カメラモード	(フォト)	フォトモード	P.151
	(ムービー)	ムービーモード	P.155
	(A)・(M)・(B)	連写モード(オート・マニュアル・オートブラケット)	P.151
❸動画容量設定	(S)	メール制限(小) :290Kバイトまで保存可能	P.158
	(L)	メール制限(大) :490Kバイトまで保存可能	
	(LONG)	長時間:長時間撮影可能	
❹撮影種別設定	(映像)	映像のみ録画	P.159
	(マイク)	音声のみ録音	
❺明るさ調節・連続撮影枚数	±0	撮影画像の明るさ	P.158
	1/4	連写モードのマニュアル時の撮影枚数	P.157
❻記録可能時間	—	動画の記録可能時間(目安)	—
❼撮影状態	STANDBY	動画撮影可能	P.155
	●REC	動画撮影中	
❽ズームバー	W——T	望遠・広角の状態 調節中は拡大表示されます。	P.156
❾セルフタイマー設定	(タイマー)	セルフタイマーON	P.160

▶▶次ページにつづく

アイコン・バー名	アイコン	説明		参照先
⑩撮影日付挿入設定・動画保存設定		日付挿入		P.159
		FOMA端末	標準：標準画質	P.158
			画質優先：画質重視	
			時間優先：撮影可能時間重視	
			動き優先：動き重視	
		microSDメモリーカード	ノーマル：標準画質	P.158
			ファイン：やや高画質	
			スーパーファイン：高画質	
			エクストラファイン：最高画質	
⑪撮影モード選択		ナイトモード		P.158
⑫ホワイトバランス設定		オート：ホワイトバランスを自動調整するとき		P.158
		晴天：屋外晴天下で撮影するとき		
		曇天：曇天や日陰で撮影するとき		
		電球：電球照明下で撮影するとき		
⑬記録媒体設定		本体：FOMA端末に保存		P.158
		microSD：microSDメモリーカードに保存		

アイコン・バー名	アイコン	説明				参照先
⑭画像サイズ※2	1280×960	アウトカメラフォト			SXGA（1280 × 960）	P.157
	640×480				VGA（640 × 480）	
	352×288		インカメラフォト	連写	CIF（352 × 288）	
	240×320				待受（240 × 320）	
	176×144			ムービー	QCIF（176 × 144）	
	128×96				Sub-QCIF（128 × 96）	
	320×240				QVGA（320 × 240）	

※1 フォト・連写モード中は静止画の使用メモリ量、ムービーモード中は動画の使用メモリ量、記録媒体設定が「microSD」のときはmicroSDメモリーカードの使用メモリ量を表しています。

※2 動画撮影時の画像サイズは「動画保存設定」により決まります。

静止画撮影の仕様

ファイル形式	JPEG
圧縮方式	Baseline方式
画素数	フォト: SXGA(1280×960)、VGA(640×480)、 CIF(352×288)、待受(240×320)、 QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96) 連写: CIF(352×288)、待受(240×320)、 QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)
拡張子	jpg
タイトル	保存日時と枚数により自動設定(2007年11月15日10時00分1枚目に撮影した場合) 「2007/11/15 10:00」
ファイル名	保存日時と枚数により自動設定(2007年11月15日10時00分1枚目に撮影した場合) 「200711151000000」(記録媒体設定:本体) 「P1000001」(記録媒体設定:microSD)
最大ファイルサイズ	500Kバイト
メール添付・出力	メール添付やmicroSDメモリーカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	2.8Mバイト(本体) microSDメモリーカードについて⇒P.149
表示方法	ピクチャビューア

保存できる静止画枚数の目安

保存できる枚数は撮影環境により異なります。

※本体・microSDメモリーカードには保存可能なファイル数に上限があります。

■P704iμに保存可能な枚数

画像サイズ	枚数
SXGA(1280×960)	約5枚
VGA(640×480)	約28枚
CIF(352×288)	約46枚
待受(240×320)	約62枚
QCIF(176×144)	約112枚
Sub-QCIF(128×96)	約186枚

■microSDメモリーカードに保存可能な枚数

画像サイズ	容量:64Mバイト
SXGA(1280×960)	約122枚
VGA(640×480)	約543枚
CIF(352×288)	約951枚
待受(240×320)	約1268枚
QCIF(176×144)	約1902枚
Sub-QCIF(128×96)	約3804枚

● 保存可能な枚数は目安です。なお、microSDメモリーカードのメーカにより保存できる枚数は異なります。

動画撮影の仕様

ファイル形式	MP4、ASF
符号化方式	映像:MPEG4※1 音声:AMR、G.726
画素数	QVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)
拡張子	3gp、mp4、asf※2
タイトル	撮影日時により自動設定(2007年11月15日10時00分に撮影した場合) 「2007/11/15 10:00」
ファイル名	撮影日時により自動設定(2007年11月15日10時00分に撮影した場合) 「200711151000」(記録媒体設定:本体) 「MOL001」(記録媒体設定:microSD)
最大ファイルサイズ	490Kバイト(記録媒体設定:本体) 撮影時にｉモーションメール添付可能なサイズに制限できます。⇒P.158
メール添付・出力	メール添付やmicroSDメモリーカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	3.3Mバイト(本体) microSDメモリーカードについて⇒P.150
表示方法	ｉモーションプレーヤー

※1 MPEG4とはMoving Picture Experts Group Phase4の略で、移動体通信やインターネットに向けた高能率符号化(データ圧縮)方式です。
※2 3gp、mp4、asfのファイル生成について⇒P.305

録画時間の目安

撮影できる時間は撮影環境により異なります。撮影画面に表示される記録可能時間・容量も参考にしてください。

■P704iμに録画可能な時間

動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間				総録画可能時間			
		画質設定				画質設定			
		動き優先	画質優先	標準	時間優先	動き優先	画質優先	標準	時間優先
メール制限(小)	通常	約11秒	約20秒	約47秒	約71秒	約122秒	約229秒	約530秒	約14分
	映像のみ	約12秒	約23秒	約54秒	約90秒	約129秒	約258秒	約10分	約17分
	音声のみ	約177秒	約177秒	約177秒	約177秒	約33分	約33分	約33分	約33分
メール制限(大)	通常	約18秒	約34秒	約79秒	約119秒	約122秒	約229秒	約530秒	約14分
	映像のみ	約20秒	約39秒	約92秒	約153秒	約129秒	約258秒	約10分	約17分
	音声のみ	約300秒	約300秒	約300秒	約300秒	約33分	約33分	約33分	約33分

● 録画可能な時間は目安です。

■microSDメモリーカード(64Mバイト)に録画可能な時間

動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間				総録画可能時間			
		画質設定				画質設定			
		エクストラファイン	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	エクストラファイン	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
長時間	通常	約442秒	約570秒	約18分	約33分	約442秒	約570秒	約18分	約33分
	映像のみ	約456秒	約594秒	約19分	約39分	約456秒	約594秒	約19分	約39分
	音声のみ	約180分	約180分	約180分	約180分	約240分	約240分	約240分	約240分

● 録画可能な時間の目安です。なお、microSDメモリーカードのメーカにより録画できる時間は異なります。

＜静止画撮影＞
静止画を撮影する

カメラを使って静止画を撮影します。撮影した静止画は本体の「マイピクチャ」内の任意のフォルダまたはmicroSDメモリーカードに保存されます。
- 保存先を選択するには「記録媒体設定」、「保存先フォルダ選択」参照。
- 保存した静止画を再生するには⇒P.264

静止画を撮影する

1 待受画面▶📷
- 「メニュー▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。「フォトモード」を選択します。
- カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。⇒P.121

撮影画面

2 ●(撮影)を押す

静止画を撮影します。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定時は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。⇒手順4へ

3 ●(保存)▶保存したいフォルダを選択

撮影した静止画を保存します。
- 鏡像（左右反転）で保存する場合は、iα(機能)→「鏡像保存」を選択します。
- 「記録媒体設定」が「microSD」に設定されていると、「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。

ポストビュー画面

- chクリアを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。
- ✉(✉)を押すと撮影した静止画を簡単にｉモードメールに添付できます。⇒P.153

4 カメラを終了するには☎を押す

ポストビュー画面について

ポストビュー画面とは、撮影した静止画や動画を保存する前に確認できる画面です。

連続撮影する

静止画を連続撮影します。撮影枚数やオート撮影時の撮影間隔を設定できます。⇒P.157

1 待受画面▶📷▶▲▶連写モード

オート……………………「撮影間隔／枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影。
マニュアル…………「撮影間隔／枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影。
オートブラケット…約0.3秒間隔で9枚の静止画を1枚ずつ明るさや色調を変えて自動で撮影。

撮影画面

- 「マニュアル」を選択すると連続撮影枚数が表示されます。

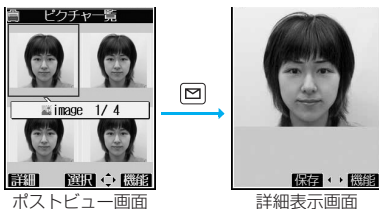
2 ●(連写)を押す

連続撮影を開始します。
手順1で「マニュアル」を設定した場合は、撮影枚数分●(撮影)を押します。
- 撮影を途中で中止する場合はchクリアを押します。「オート」または「オートブラケット」モードで撮影している場合は、✉(中止)でも撮影を中止できます。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定時は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。⇒手順5へ

▶▶次ページにつづく

3

1枚だけ選択して保存する場合

静止画を選んで[メール]([詳細])▶[●]([保存])

ポストビュー画面

詳細表示画面

- 詳細表示画面で[左右]を押すと、前または次の静止画を表示します。
- 鏡像(左右反転)で保存する場合は、[iα]([機能])→「鏡像保存」を選択します。

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画にチェック▶[iα]([機能])▶選択保存▶保存・鏡像保存

すべての静止画を保存する場合

[iα]([機能])▶全保存▶保存・鏡像保存

- ポストビュー画面で[chクリア]を押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

4 保存したいフォルダを選択する

- 「記録媒体設定」が「microSD」に設定されていると、「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。
- すべての静止画を保存した場合は撮影画面に戻ります。

5 カメラを終了するには[終話]を押す

お知らせ

- 「画像サイズ設定」や「表示サイズ設定」により画質が粗くなることがあります。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。未読メールアイコンは表示されますが、メール受信画面は表示されません。
- 撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。
- フォトモード·連写モードのマニュアルは撮影時に着信／充電ランプが赤色で点滅します。連写モードのオート、オートブラケットは赤色で点灯します。microSDメモリーカードにアクセス中は緑色で点滅します。

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
保存	撮影した静止画を保存します。⇒P.151、P.152
鏡像保存	フレームを付けずに撮影した静止画を鏡像(左右反転)のまま保存します。⇒P.151、P.152
iモードメール作成	撮影した静止画を保存し、iモードメールに添付します。 ▶フォルダを選択 ⇒P.199手順2へ
画像加工	撮影した静止画を加工します。 フォトモード時のみ設定できます。 ▶YES▶フォルダを選択 ●画像加工画面の機能メニューについて⇒P.154 機能 画像加工画面
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶フォルダを選択 ⇒P.270手順1へ ●「記録媒体設定」を「microSD」に設定していても、本体に保存されます。
フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。フォトモード時のみ設定できます。 ▶フレームを選択 ●[左右キー]で前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は[メールキー](取消)を押します。 ▶[決定キー](確定) ●[iαキー](機能)→「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●フレームの解除はできません。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについて⇒P.398
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
表示サイズ設定	静止画の表示方法を設定します。⇒P.159
ファイル制限	⇒ P.160
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

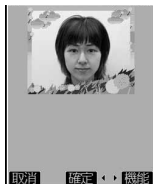
<iモードメール作成>
- 画像サイズがQVGA(320×240)サイズより大きいときは、画像サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。
  「そのまま添付」を選択すると、画像サイズは変更しません。
  「QVGA縮小添付」を選択すると、縦横比を保ったままQVGA(320×240)サイズ以下に縮小します。
  ファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。

<画像加工>
- 画像加工できるのは以下のサイズの静止画です。
  CIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)
- インカメラで撮影した鏡像表示の画像は、「画像加工」を選択すると正像表示になります。

<取り消し>
- 連続撮影時の詳細表示画面からは、この機能は使用できません。

▶▶次ページにつづく

画像加工画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
フレーム合成	**▶フレームを選択▶●(確定)** ●iα(機能)→「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●◯で前または次のフレームを表示します。 ●中止する場合は✉(取消)を押します。 ●加工した画像を保存する場合は●(保存)を押します。 保存について⇒P.151 ●お買い上げ時に登録されているフレームについて⇒P.398
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 **▶項目を選択▶●(確定)** **シャープ**…輪郭を強調。 **ソフト**…輪郭をぼかす。 **セピア**…色調をセピアに設定。 **浮き彫り**…でこぼこの質感に設定。 **ネガ**…色調を反転。 **ミラー**…左右を反転。 ●iα(機能)→「確定」を選択してもフォトレタッチを確定できます。 ●◯で前または次のフォトレタッチを表示します。 ●中止する場合は✉(取消)を押します。 ●加工した画像を保存する場合は●(保存)を押します。 保存について⇒P.151 「ネガ」の場合
iモードメール作成	⇒P.153
保存	加工した静止画を保存します。⇒P.151

お知らせ

<フレーム合成>
- 編集中の静止画と同じサイズのフレーム以外は合成できません。
- フレーム合成できるのは以下のサイズの静止画です。
  CIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)

<フォトレタッチ>
- フォトレタッチできるのは以下のサイズの静止画です。
  CIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)

連写モードのポストビュー画面の機能メニュー

●ポストビュー画面で静止画を選んで●(選択)を押すと、「☑」が付きます。再度●(選択)を押すと選択は解除されます。

機能メニュー	操作･補足
選択保存	撮影した静止画の中から複数の静止画を選択して保存します。⇒P.152
全保存	撮影した静止画をすべて保存します。⇒P.152
全保存&自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。 **▶保存** ●鏡像(左右反転)で保存するには「鏡像保存」を選択します。 **▶フォルダを選択▶<未登録>**
1件選択	1件選択します。
全選択	**▶YES**
1件解除	選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。 **▶YES**
正像表示･鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。

機能メニュー	操作・補足
選択ファイル制限	ポストビュー画面で選択した複数の静止画のファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ● ファイル制限について⇒P.160
全ファイル制限	ポストビュー画面に表示される全静止画のファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ● ファイル制限について⇒P.160
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<全保存＆自作アニメ>
- 「記録媒体設定」を「microSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。
- 1枚だけ撮影した場合は、この機能は使用できません。

<動画撮影>
動画を撮影する

カメラを使って動画を撮影します。撮影した動画は本体の「ｉモーション」内の任意のフォルダまたはmicroSDメモリーカードに保存されます。
- 保存先を選択するには「記録媒体設定」、「保存先フォルダ選択」参照。

1 待受画面▶📷（1秒以上）

- 「メニュー▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。「ムービーモード」を選択します。
- カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。⇒P.121

撮影画面

2 ●（撮影）を押す

録画を開始します。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。

3 ●（終了）を押す

録画を終了します。
- 録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、FOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画を終了します。
- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合や「記録媒体設定」が「microSD」に設定されている場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。「記録媒体設定」が「microSD」に設定されている場合、「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。⇒手順5へ

4 ●（保存）▶保存したいフォルダを選択

撮影した動画を保存します。
- クリアを押すと撮影した動画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

5 カメラを終了するには☎を押す

撮影中に録画が終了したり画質が悪くなったときは

データの保存や削除を繰り返しているmicroSDメモリーカードを使用していると、データの書き込み速度が遅くなり、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりすることがあります。
以下の操作を行うと改善される場合があります。

1. **microSDメモリーカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。**
   - パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
   - パソコン上にコピーしたデータのフォルダ名やファイル名は変更しないでください。

▶▶次ページにつづく

2.パソコンでmicroSDメモリーカード内のすべてのデータを削除する。
- フォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

3.手順1でコピーしておいたデータを、microSDメモリーカードにコピーして戻す。
- 必ず同じmicroSDメモリーカードにコピーして戻してください。他のmicroSDメモリーカードに保存しても、著作権のあるデータは再生できません。

お知らせ
- 撮影開始時･終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。
シャッター音の音量は変更できません。
- 録画中･録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 録画中は着信／充電ランプが点滅します。「記録媒体設定」が「本体」に設定されている場合は赤色、「microSD」に設定されている場合は緑色で点滅します。

ムービーモードのポストビュー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
再生	撮影した動画を再生します。⇒P.277
保存	撮影した動画を保存します。⇒P.155
iモードメール作成	撮影した動画を保存し、iモードメールに添付します。 ▶フォルダを選択 ⇒P.199手順2へ
待受画面設定	撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。 ▶フォルダを選択
表示サイズ設定	動画の表示方法を設定します。⇒P.159
ファイル制限	⇒P.160
取り消し	撮影した動画を保存しません。

お知らせ
<待受画面設定>
- 動画によっては、正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定した動画の再生について⇒P.111

撮影時の設定を変える

撮影時にカメラの設定をします。

ズームを使う

カメラで写している映像を広角(Wide)･望遠(Tele)で表示します。
各サイズにおける最大倍率は、以下のとおりです。

■アウトカメラ

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト	SXGA(1280×960)	－	－
	VGA(640×480)	21段階	約2.0倍
	CIF(352×288)	11段階	約1.7倍
	待受(240×320)	11段階	約1.6倍
	QCIF(176×144)	31段階	約3.5倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約5.0倍
連写	CIF(352×288)	11段階	約1.7倍
	待受(240×320)	11段階	約1.6倍
	QCIF(176×144)	31段階	約3.5倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約5.0倍
ムービー	QVGA(320×240)	21段階	約2.0倍
	QCIF(176×144)	31段階	約3.5倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約5.0倍

■インカメラ

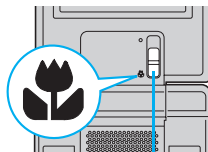
カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト／連写	CIF(352×288)	－	－
	待受(240×320)	－	－
	QCIF(176×144)	2段階	約2.0倍
	Sub-QCIF(128×96)	2段階	約2.7倍
ムービー	QVGA(320×240)	－	－
	QCIF(176×144)	2段階	約2.0倍
	Sub-QCIF(128×96)	2段階	約2.7倍

1 撮影画面▶[ズーム]でズーム倍率を調節

お知らせ

- 広角･望遠にすると画質は多少変化することがあります。
- 以下の場合、望遠は解除されます。
  ･[終話]を押してカメラを終了したとき　･サイズを変更したとき
  ･カメラモードを切り替えたとき

接写する

被写体まで約8cmの距離で撮影します。
「🌷」の方向に接写レバーを動かします。
アウトカメラのみ接写モードに設定できます。
接写終了後は、接写レバーを「・」の方向に戻します。

接写レバー

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面の機能メニュー

- カメラ撮影時･ファイル保存時の設定はカメラを終了しても戻りません。再度カメラを起動すると、前回カメラ終了時の設定となります。

機能メニュー	操作･補足
インカメラ･アウトカメラ お買い上げ時 アウトカメラ	インカメラとアウトカメラを切り替えます。 ● 撮影画面表示中に[#]でも切り替えられます。
カメラモード切替	▶モードを選択 ●「連写モード」選択時は「オート」、「マニュアル」、「オートブラケット」を選択します。 ● 撮影画面表示中に[▲]を押しても、「カメラモード切替」を選択できます。
画像サイズ設定 お買い上げ時 フォトモード･連写モード:CIF(352×288) えチャット撮影:QCIF(176×144) [フォト･連写モード]	▶画像サイズを選択 ● 撮影画面表示中に[7]でも画像サイズを設定できます。 ● えチャット撮影時は「QCIF(176×144)」「Sub-QCIF(128×96)」のみ選択できます。 ● 動画撮影時の画像サイズは「動画保存設定」により自動的に決まります。
撮影間隔／枚数(撮影間隔) お買い上げ時 CIF(352×288)･待受(240×320)･QCIF(176×144)･Sub-QCIF(128×96):1.0秒 [連写モードのみ]	▶撮影間隔▶撮影間隔を選択 ●「画像サイズ設定」を「CIF(352×288)」に設定時は、「1.0秒」、「2.0秒」が選択できます。(「0.5秒」は選択できません。) ● 連写モードのオート時のみ設定できます。
撮影間隔／枚数(撮影枚数) お買い上げ時 CIF(352×288):4枚(固定) 待受(240×320)･QCIF(176×144)･Sub-QCIF(128×96):5枚 [連写モードのみ]	▶撮影枚数▶撮影枚数(枚)を入力 ●「画像サイズ設定」を「CIF(352×288)」に設定時は、「撮影枚数」を変更できません。 ● 連写モードのオート･マニュアル時のみ設定できます。

▶▶次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
動画容量設定 お買い上げ時 メール制限(小) [ムービーモードのみ]	▶**項目を選択** **メール制限(小)** .... 290Kバイトまで撮影 **メール制限(大)** .... 490Kバイトまで撮影 **長時間** .... 長時間撮影(microSDメモリーカードに保存)
動画保存設定 お買い上げ時 標準 [ムービーモードのみ]	保存する際の画質を設定します。 ▶**画質を選択** ●「標準」「画質優先」「動き優先」「ノーマル」「ファイン」はQCIF(176×144)、「時間優先」はSub-QCIF(128×96)、「スーパーファイン」「エクストラファイン」はQVGA(320×240)の画像サイズになります。
画質調整(明るさ調節) カメラ起動時 ±0	▶**明るさ調節**▶**明るさを選択** −3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。 ●撮影画面表示中に[3]でも明るさを調節できます。
画質調整(ホワイトバランス設定) お買い上げ時 オート	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**ホワイトバランス設定** **オート**....... ホワイトバランスを自動調整 **晴天**........... 屋外晴天下での撮影 **曇天**........... 曇天や日陰での撮影 **電球**........... 電球照明下での撮影 ●撮影画面表示中に[2]でもホワイトバランスを調整できます。
画質調整(色調切替) カメラ起動時 通常	▶**色調切替**▶**色調を選択** ●撮影画面表示中に[1]でも色調を切り替えられます。

機能メニュー	操作・補足
画質調整(撮影モード選択) カメラ起動時 標準 [フォト・ムービーモード]	露光を長くして、暗いところでも撮影できるナイトモードに設定します。 ▶**撮影モード選択** ▶**標準・ナイトモード** ●撮影画面表示中に[4]でも撮影モードを選択できます。
画質調整(画像チューニング) お買い上げ時 自動	アウトカメラで撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。 ▶**画像チューニング** ▶**自動・モード1(50Hz地域)・モード2(60Hz地域)**
自動保存設定 お買い上げ時 OFF	撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「記録媒体設定」が「本体」のときは「カメラ」フォルダ内、「記録媒体設定」が「microSD」のときは「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ▶**ON・OFF**
記録媒体設定 お買い上げ時 本体	撮影した静止画や動画の保存先を設定します。 ▶**本体・microSD**
シャッター音選択 お買い上げ時 シャッター音1	シャッター音を設定します。 フォトモード時・連写モード時とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。 ▶**シャッター音を選択** ●選択中は、確認のためシャッター音が鳴ります。
セルフタイマー設定	⇒P.160
マジックスタンプ カメラ起動時 OFF [フォト・ムービーモード]	人物の顔にマジックスタンプを貼り付けて撮影します。マジックスタンプは適切な位置に自動配置されます。 ▶**ON・OFF** ▶**マジックスタンプを選択** ●お買い上げ時に登録されているマジックスタンプについて⇒P.398

機能メニュー	操作・補足
撮影種別設定 カメラ起動時 通常 ［ムービーモードのみ］	動画撮影時に映像と音声の両方、またはどちらか一方のみを記録するように設定します。 ▶**通常・映像のみ・音声のみ**
フレーム撮影 カメラ起動時 OFF ［フォト・モードのみ］	フレームを合成して撮影します。 ▶**ON・OFF** ▶**フレームを選択** ●お買い上げ時に登録されているフレームについて⇒P.398
ファイル制限	⇒P.160
表示サイズ設定 お買い上げ時 等倍表示	撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示（等倍表示）するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**等倍表示・画面サイズで表示**
保存容量確認	空き容量と保存容量（目安）を表示します。 ●確認が終わればchクリアを押します。
撮影日付挿入設定 お買い上げ時 OFF ［フォトモードのみ］	撮影した静止画に日付を挿入するかどうかを設定します。あらかじめ「時計設定」で日付を設定しておいてください。 ▶**ON・OFF** ●「画像サイズ設定」を「VGA（640×480）」以上に設定している場合のみ設定できます。

お知らせ

＜インカメラ・アウトカメラ＞
- 「画像サイズ設定」を「VGA（640×480）」以上に設定しているとインカメラに切り替えることはできません。

＜撮影間隔／枚数（撮影枚数）＞
- 画像サイズによって設定できる枚数は異なります。設定できる枚数については以下のとおりです。
  CIF（352×288）：　4枚
  待受（240×320）：　5枚～10枚
  QCIF（176×144）：　5枚～20枚
  Sub-QCIF（128×96）：5枚～20枚

お知らせ

＜動画容量設定＞
- 「長時間」に設定した場合、「記録媒体設定」が「microSD」に設定されます。「長時間」に設定していてカメラを終了し再度起動した場合は、「メール制限（小）」に切り替わります。このとき「記録媒体設定」は「microSD」に設定されたままです。

＜画質調整＞
- ナイトモード時は露光が長くなり特にぶれやすくなるので、ご注意ください。
- 「画像チューニング」を「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてご利用ください。

＜自動保存設定＞
- 「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。
- ムービーモード時に「動画容量設定」を「長時間」に設定しているときや「記録媒体設定」を「microSD」に設定しているときは、「自動保存設定」を変更できません。

＜記録媒体設定＞
- microSDメモリーカード内の保存先を設定するには「保存先フォルダ選択」参照。
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「記録媒体設定」は「microSD」に設定されます。

＜マジックスタンプ＞
- フォトモードの場合、「画像サイズ設定」を「VGA（640×480）」以上に設定していると貼り付けできません。

＜フレーム撮影＞
- 「画像サイズ設定」を「VGA（640×480）」以上に設定している場合は合成できません。
- インカメラでフレーム付きの静止画を撮影して保存すると、自動的に正像表示に変換されるのに伴い、フレームも反転します。
- フレームを合成して撮影した静止画は、鏡像で保存できません。

＜表示サイズ設定＞
- 「動画保存設定」を「エクストラファイン」「スーパーファイン」に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になります。
- 撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

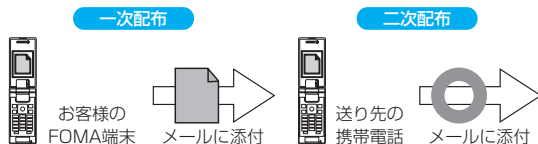
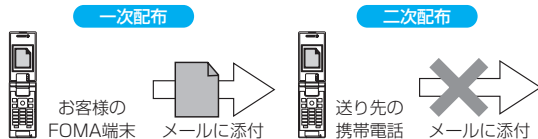
ファイル制限

お買い上げ時	なし

撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を設定します。一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。

1 **撮影画面・フォトモード、ムービーモード、えチャットのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面 ▶ i α (機能) ▶ ファイル制限**

2 **なし・あり**

ファイル制限「なし」の場合

ファイル制限「あり」の場合

お知らせ

- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDメモリーカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
- 保存後も設定を変更できます。⇒P.267「ファイル制限」
- ムービーモードで「動画容量設定」を「長時間」に設定しているときや「記録媒体設定」を「microSD」に設定しているときは、「ファイル制限」を設定できません。

セルフタイマー設定

カメラ起動時	OFF

1 **撮影画面 ▶ i α (機能) ▶ セルフタイマー設定 ▶ ON・OFF**

- 撮影画面から 6 でもセルフタイマーを設定できます。

2 **作動時間(秒)を入力**

- 「01」～「15」の2桁を入力します。

セルフタイマー設定を「ON」に設定したときは

「ON」に設定すると、撮影画面に「⏲」が表示されます。
●(撮影)を押すと確認音が鳴り、「⏲」が点滅します。撮影の約5秒前までは約1秒ごとに着信／充電ランプが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとに着信／充電ランプが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。設定している作動時間の経過後に撮影されます。

- 撮影を中止する場合は、着信／充電ランプが点滅中に ✉ (中止)または ch クリア を押します。撮影を中止しても「セルフタイマー設定」は「ON」のままです。
- セルフタイマー作動中に ● (撮影)を押すとすぐに撮影します。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず確認音が鳴ります。確認音の音量は変更できません。

お知らせ

- 連写モードのマニュアル時はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

<バーコードリーダー>
バーコードリーダーを利用する

アウトカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。
データを使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- 接写レバー(⇒P.157)を「🌷」にし、コードに対してカメラを約8cm離してください。
ただし、コードが小さい場合はガイド枠内に大きく写るようにゆっくりカメラを近づけてください。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。
- 読み取り終了後は接写レバーを「●」に戻します。

ガイド枠

JANコード

JANコードとは、幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
8桁(JAN8)または13桁(JAN13)のJANコードを読み取れます。

- FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

QRコード

QRコードとは、縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
文字として表示されるのは、漢字・カタカナ・英数字・絵文字です。
画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

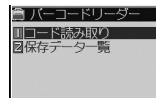
コード読み取り

バーコードリーダー起動時	明るさ:±0 ズーム:拡大

読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 メニュー▶LifeKit▶**バーコードリーダー▶コード読み取り**

- 撮影画面の機能メニューから「カメラモード切替」の「バーコードリーダー」を選択してもバーコードリーダー選択画面が表示されます。
- バーコードリーダーメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。⇒P.121

バーコードリーダー
1コード読み取り
2保存データ一覧

バーコードリーダー選択画面

2 **接写モードにして読み取りたいコードをガイド枠に合わせて表示する**

- 文字入力(編集)画面の機能メニューで「バーコードリーダー」を選択してもコード読取画面が表示されます。
- i α(機能)→「明るさ調節」を選択すると、明るさを−3(暗い)〜+3(明るい)で調節できます。
- ◎で縮小表示、◎で元の表示に戻ります。

コード読取画面

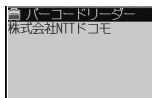
▶▶次ページにつづく

3 ●(開始)を押す

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

- 読み取りを中止する場合はchクリアまたは●(中止)を押します。
- 読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定中は音が鳴りません。
- メロディのデータは「♪」、対応していないデータや破損しているデータは「NG」や「」で表示されます。
- 文字入力(編集)中の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。読み取った文字を入力する場合は●(確定)を押します。破棄する場合は✉(取消)またはchクリアを押します。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。また、文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。
- 読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断され、コード読取画面に戻ります。
- 読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、「OK」を選択して手順2～手順3の操作を繰り返して残りのデータを読み取ります。

4 iα(機能)▶認識結果保存▶YES▶OK

読み取ったデータが登録されます。

コード読取結果画面

お知らせ

- JANコードとQRコード以外のバーコード･二次元コードは読み取れません。
- 読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

コード読取結果画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
認識結果保存	読み取り結果を登録します。⇒P.162
一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。
Internet	選択中のURLに接続します。 ▶YES ●URLを選んで●(選択)を押しても接続できます。
iモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたiモードメールを作成します。⇒P.199手順3へ ●メールアドレスを選んで●(選択)を押してもiモードメールを作成できます。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。
電話発信	選択中の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信します。 ▶発信方法を選択 ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。 ●電話番号を選んで●(選択)を押しても発信できます。 ▶発信 ●国際電話をかける場合は「国際電話発信」を選択します。⇒P.61 ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。⇒P.48手順2
電話帳登録	⇒P.90
Bookmark登録	サイト名とURLをブックマークに登録します。 ▶YES ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶OK▶登録したいフォルダを選択

機能メニュー	操作・補足
画像保存	読み取った画像データを保存して、待受画面などに設定します。 ▶保存したいフォルダを選択 ⇒P.178「画像ダウンロード」手順2へ ● 保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180
メロディ保存	読み取ったメロディデータを保存して、着信音などに設定します。 ▶YES▶保存したいフォルダを選択 ⇒P.179「メロディダウンロード」手順2へ ●「♪」を選択するとメロディが再生されます。 ● 保存されているメロディがいっぱいのとき⇒P.180
iアプリ起動	読み取ったデータからｉアプリを起動します。 ▶YES ● コード読取結果画面で「ｉアプリ起動」を選択してもｉアプリが起動します。
コピー	▶コピーする始点を選択 ▶コピーする終点を選択 ● 全角5000／半角10000文字までコピーできます。 ● コピーした文字を貼り付けるには⇒P.354

お知らせ

<Internet>

- URLは、バーコードリーダーでは半角512文字、テキストリーダーでは半角256文字まで表示されます。

<ｉモードメール作成>

- 入力できない文字が含まれていた場合、宛先は入力されません。また、本文は文字がスペースになることがあります。

<電話発信>

- 「110」「119」「118」を読み取っても緊急通報することはできません。

<Bookmark登録>

- URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。

<画像保存>

- 保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXX」(XXXは数字)となります。
- 1224×1632ドットを超える画像のバーコードは読み取れません。

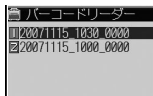
<メロディ保存>

- 保存されたメロディのファイル名は「melodyXXX」(XXXは数字)となります。
- タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。
- メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定された音量で再生されます。

保存データ一覧を表示する

1 メニュー▶LifeKit▶**バーコードリーダー▶保存データ一覧**

バーコードリーダー一覧画面

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。
- タイトルを選択すると、コード読取結果画面が表示されます。

お知らせ
- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
(例)2007年11月15日10時00分に保存した場合
　タイトル名:20071115_1000_0000
　・同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで順に増えます。

バーコードリーダー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●文字数:全角9／半角18文字まで。
結果表示	登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<テキストリーダー>
テキストリーダーを利用する

アウトカメラを使って、印刷されている電話番号やメールアドレス、URLなどの英数記号を読み取り、文字情報として登録したり、電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

テキストリーダーで読み取りを行うときは

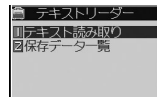
- 接写レバー(⇒P.157)を「🌷」にし、読み取りたい文字列に対してカメラを約8cm離してください。
約8cmの距離からずれた場合、認識率が低下します。
- 読み取りたい文字列をガイド枠内に入るようにして読み取ってください。
- 読み取りたい文字列に対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。
- 読み取り終了後は接写レバーを「●」に戻します。

文字を読み取る

読み取ったデータは、1件につき半角256文字、8件まで登録できます。一度に読み取り可能な文字数は半角50文字までで、長い文字列は分割して読み取れます。

1 メニュー▶LifeKit▶**テキストリーダー▶テキスト読み取り**

テキストリーダー選択画面

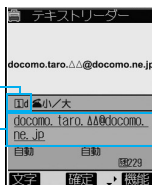
- 撮影画面の機能メニューから「カメラモード切替」の「テキストリーダー」を選択してもテキストリーダー選択画面が表示されます。
- テキストリーダーメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。
⇒P.121

2 接写モードにして読み取りたい文字をガイド枠に合わせて表示する

テキスト読取画面

3 ◉(撮影)を押す

文字が読み取られます。
(シャッター音は鳴りません。)
- 読み取りを中止する場合はchクリアを押します。
- 読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定中は音が鳴りません。

4 読み取り結果を確認する

下線が付いて表示されている読み取った文字に間違いがないか確認します。
- 読み取りをやり直す場合はchクリアを押します。
- 文字を修正せずに登録する場合⇒手順6へ

テキスト読取結果確認画面

文字の修正方法

変換候補の文字を選択して修正する

それぞれの文字の変換候補が最大4種類まで表示されます。
- ✱による「.ne.jp」や「.co.jp」などの文字入力はできません。

1. ◎で修正したい文字を選んで変換候補文字の番号を押す

直接入力して修正する

変換候補以外の文字などに修正したい場合

1. ◎で修正したい文字を選んで✉(文字)を押し、「英字入力モード」または「数字入力モード」に切り替える
   ▶文字を入力

5 ◉(確定)を押す

読み取った文字が確定します。
- 文字を結合させる場合は、手順2～手順5を繰り返します。
- 確定を解除する場合は、chクリアを押します。

6 iα(機能)▶登録

テキスト読取結果画面

読み取った文字が登録されます。
- 読み取った文字に「tel」「@」「http://」などが含まれる場合は、文字を選択することによってPhone To機能やWeb To機能などが起動できます。(⇒P.181)ただし、複数ある場合でも、最初の1つ目のみ選択できます。
- ✉(✉)を押すと、読み取った文字を宛先にしてｉモードメールを作成できます。⇒P.166

お知らせ

- 読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 読み取りできる文字は、英字(大文字･小文字)、数字、記号(# & ( ) ー . / : @ [ ] _ ˜ ? = % +)です。
  漢字やひらがななどは読み取りできません。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく読み取りできない場合があります。
- 手書きの文字は正しく読み取りできません。
- FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく読み取りできない場合があります。

保存データ一覧を表示する

1 メニュー▶LifeKit▶**テキストリーダー**
▶**保存データ一覧**

テキストリーダー一覧画面

登録済みの場合は、最初の半角22文字までが表示されます。
- 項目を選択すると、テキスト読取結果画面が表示されます。
- ✉（✉）を押すと、項目の文字を宛先にしてｉモードメールを作成できます。⇒P.166

テキスト読取画面・テキスト読取結果確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
登録	読み取り結果を登録します。⇒P.165
編集	読み取った文字列を編集して登録します。 ▶**文字を編集**
認識モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の種類に合わせて認識モードを設定できます。 ▶**項目を選択** **自動設定**…………文字の種類を自動で判別。 **URL**……………URLを読み取る場合に選択。登録する際に文字列の先頭を自動で「http://」または「https://」に設定。 **アドレス**…………メールアドレスを読み取る場合に選択。 **電話番号**…………電話番号を読み取る場合に選択。 **数字**………………数字を読み取る場合に選択。 **フリー文字列**…特に指定せずに英文字を読み取る場合に選択。
反転モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の印刷の状態に合わせて設定します。 ▶**項目を選択** **自動設定**…………印刷の状態を自動で判別。 **無反転固定**………薄い色地に濃い色の文字の場合。 **反転固定**…………濃い色地に薄い色の文字の場合。

テキスト読取結果画面・テキストリーダー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	▶**文字を編集**
Internet	読み取ったURLに接続します。⇒P.162
ｉモードメール作成	読み取ったメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。⇒P.199手順3へ ●テキスト読取結果画面でメールアドレスを選択してもｉモードメールを作成できます。
電話発信	読み取った電話番号に発信します。⇒P.162
メールアドレス登録	読み取ったメールアドレスを電話帳に登録します。⇒P.90
電話番号登録	読み取った電話番号を電話帳に登録します。⇒P.90
Bookmark登録	読み取ったURLをブックマークに登録します。 ▶OK ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶**登録したいフォルダを選択**
電話帳検索	読み取った文字を使って電話帳検索を行います。 ▶**検索方法を選択**▶◎ 文字に該当する電話帳の一覧が表示されます。
詳細表示・一覧表示	テキスト読取結果画面とテキストリーダー一覧画面を切り替えます。
1件削除	▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

iモード／iモーション／iチャネル

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

iモードの便利な機能

iモードの設定を行う

メッセージサービスを利用する

証明書を利用する

iモーションを利用する

iチャネルを利用する

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末(以下iモード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書の裏表紙の裏面をご覧ください。
- iモードサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

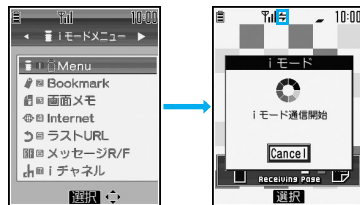
iモードのご使用にあたって

- サイト(番組)やインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト(番組)やインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売したり、メールへの添付やiモード端末外へ出力することはできません。
- iモード端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリ・iモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。iモード端末に保存されている内容(メール、メッセージR/F、画面メモ、iアプリ、iモーション)やブックマークなどの登録内容は、iモード端末の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画・動画・メロディ)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

<iMenu>

サイトに接続する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスを利用します。FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。(IPによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。)

1 待受画面▶[iα]([iモード])▶iMenu

iモードメニュー

通信中は「⇆」が点滅します。

- 接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。ページを取得中に中止する場合は[✉]([中止])を押します。
- 「[メニュー]▶[iモード]」の操作を行ってもiモードメニューが表示されます。

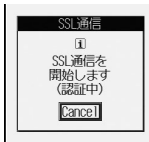
2 項目(リンク先)を選択

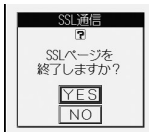
項目(リンク先)の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

- 表示したサイトの画面などで下線が表示されているときは、その項目を選択できます。項目を選ぶと反転表示されます。
- リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続できます。(サイトによっては接続できない場合があります。)
- サイト表示中に[○]を押すと行単位でスクロールします。また、[▲]や[▼]を押すと画面単位でスクロールします。

SSLページを取得するときは

SSLに対応したサイトを取得するとき、右の画面が表示されます。取得が完了するとSSLページが表示され、「🔒」が点灯します。

● 認証中に中止する場合は「Cancel」を選択します。認証後のページを取得中に中止する場合は✉(中止)を押します。

通常のサイトに戻るときは

SSLに対応していないサイトに戻るとき、右の画面が表示されます。「YES」を選択すると通常のサイトが表示され、「🔒」が消灯します。

iモードを終了するには

1. サイト表示中▶☎▶YES

「i」が消灯し、iモードが終了します。

● iモード終了までに時間がかかる場合があります。

お知らせ

● iモードのサービスを受けているとき(iモード待機中)は「i」が点滅します。
● サイトによっては、ご利用の前に別途書面などで申し込みが必要なものや、情報料が必要なものがあります。
● サイトによっては、画像を正しく表示できず、「✕」が表示される場合があります。
● サイトやデータによっては、メロディやソフトなどのダウンロードや保存ができない場合があります。
● iモード対応のインターネットホームページ(サイト)によっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

取得済みのページに戻る・進む

FOMA端末は、表示したインターネットホームページなどのデータをキャッシュと呼ばれる一時的な記憶領域に保存します。◎を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記憶されたページを表示できます。

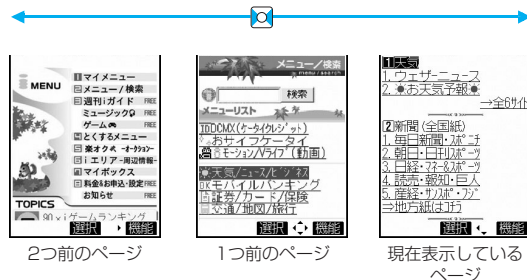
● FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしているページや、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、通信を行います。
● iモードを終了するとキャッシュはクリアされます。

1 前のページを表示させるときは◎を押す
次のページを表示させるときは◎を押す

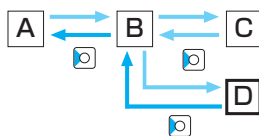
2つ前のページ

1つ前のページ

現在表示しているページ

▶▶次ページにつづく

ページを移動するには

○を続けて押すことにより、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、前のページ(「B」)から他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」から○を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページを表示します。

<画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき>

…ページの表示の順番

…画面「D」から前のページを表示させたときの順番

お知らせ

- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。

お知らせ

- キャッシュに記憶されたページを表示する際、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。

サイトで選択・入力する

サイトでは、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニューが表示されることがあります。

名称	表示例	操作・補足
ラジオボタン	○:非選択状態 ◉:選択状態	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	□:非選択状態 ☑:選択状態	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス	乗換駅から 下車駅へ 0. 検索	文字を入力できます。テキストボックスを選んで●(選択)を押すと文字入力画面が表示されます。
プルダウンメニュー	東京 0. 検索 ↓ 東京 神奈川 千葉 埼玉 群馬 茨城 静岡	選択肢の一覧から項目を選択できます。プルダウンメニューを選んで●(選択)を押すと選択肢一覧が表示されます。 ●プルダウンメニューによっては、複数の項目を選択できる場合があります。○で項目を選んで●(選択)を押すごとに項目の選択/選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったら✉(完了)を押します。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像を利用した画像をFOMA端末にダウンロードして再生したり、待受画面に設定したりできます。

お知らせ

- Flash画像によってはお客様のFOMA端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するには、「端末情報データ利用設定」を「利用する」に設定してください。(お買い上げ時は「利用する」に設定されています。)
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合には、「効果音設定」を「効果音OFF」に設定してください。
- 待受画面に設定されたFlash画像の効果音やバイブレータは動作しません。
- SDオーディオ再生中は、Flash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。「バイブレータ」を「OFF」に設定していても振動します。

お知らせ

- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見え方と異なる場合があります。
- Flash画像によっては、正しく動作しない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によってはやで操作できることがあります。「」が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができることがあります。

User IDやPasswordを入力するには

サイトによっては右のような認証画面が表示されることがあります。
(サイトによって表示される画面が異なります。)

1.「User ID」欄を選択▶User IDを入力
2.「Password」欄を選択▶Passwordを入力
   - 入力したPasswordは「＊」で表示されます。
3. OK
   User ID、Passwordの認証を始めます。

携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号について

項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。送信してもよいときは「YES」を選択します。または(戻る)を押すと前の画面に戻ります。

お知らせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

サイト表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
Bookmark登録	⇒P.175
画面メモ保存	⇒P.177
i Menu	「i Menu」に戻ります。
Bookmark一覧	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。⇒P.176
画面メモ一覧	画面メモフォルダ一覧画面を表示します。⇒P.177
再読み込み	サイトの内容が最新の情報に更新されます。
画像保存	⇒P.178
背景画像保存	▶YES▶保存したいフォルダを選択 ⇒P.178「画像ダウンロード」手順2へ
URL入力	URLを入力して、インターネットホームページを表示します。⇒P.174
電話帳登録	⇒P.90
デスクトップ貼付	⇒P.121
i モードメール作成	表示中のサイトや画面メモのURL、画像をiモードメールの本文に貼り付けまたは添付して作成します。 ▶項目を選択 **URL貼付**……URLをiモードメールの本文に貼り付け。 **メール添付**……画像を選択してiモードメールに添付。 **デコメール挿入**……画像を選択してデコメールに貼り付け。 ⇒P.199手順2へ ◆デコメールについて⇒P.202
ホーム登録	ホームURLに登録します。⇒P.175
ホーム表示	ホームURLに登録したサイトを表示します。⇒P.175
タイトル表示	表示中のサイトのタイトルを表示します。
URL表示	表示中のサイトのURLを表示します。
証明書表示	SSL通信で使用している証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認します。最大5枚まで表示されます。 ●で画面をスクロールして確認できます。

機能メニュー	操作・補足
文字コード変換	文字が正しく表示されないときに、正しい文字に変換します。 ●表示中のサイトにのみ有効です。
画像表示設定	画像を表示するかどうかを設定します。⇒P.182
効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。⇒P.182
リトライ	アニメーションや Flash 画像を最初から再生します。

お知らせ

＜iモードメール作成＞
- 本文に貼り付けできるURLの文字数は半角256文字までです。半角256文字以上あるときは貼り付けできません。
- 画像によってはiモードメールに添付または貼り付けできない場合があります。

＜タイトル表示＞
- タイトルは半角128文字まで表示されます。

＜文字コード変換＞
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

＜ラストURL＞ 最後に見たサイトのページを表示する

ラストURLを表示する

iモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。
iモードメニューで「ラストURL」を選択すると、最後に見たページを表示します。

1 **待受画面▶（ ）▶ラストURL**

お知らせ
- URLが半角2048文字を超えるページ、メロディやiモーションのダウンロード（取得）完了画面、FirstPassセンターのページなど、ページによっては「ラストURL」に記憶されません。

ラストURL初期化

最後に見たページのURLを初期化（i MenuのURLに）します。

1 **待受画面▶（ ）▶iモード設定▶ラストURL初期化▶YES**

<マイメニュー>
マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。最大45件まで登録できます。

マイメニューに登録する

1 登録したいサイトのページを表示▶マイメニュー登録

- 各サイトによりページ構成が異なります。

2 iモードパスワードのテキストボックスを選択▶iモードパスワードを入力▶決定

- 入力したiモードパスワードは「＊」で表示されます。

◆ iモードパスワードについて⇒P.126

お知らせ

- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- メニュー／検索内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 待受画面▶[iα]( )▶iMenu▶マイメニュー▶接続したいサイトを選択

お知らせ

- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

<iモードパスワード変更>
iモードパスワードを変更する

メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「iモードパスワード」(4桁)が必要になります。なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

1 待受画面▶[iα]( )▶iMenu▶料金＆お申込・設定▶オプション設定▶iモードパスワード変更▶「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶iモードパスワード(4桁)を入力

- 初回はご契約時にiモードパスワードとして設定されている「0000」(数字のゼロ4つ)を入力します。
- 入力した数字は「＊」で表示されます。

2 「新パスワード」のテキストボックスを選択▶新しいiモードパスワード(4桁)を入力

- お客様独自のiモードパスワードを入力してください。

3 「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶新しいiモードパスワード(4桁)を入力▶決定

- 手順2で入力した数字と同じものを入力します。

お知らせ

- iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

<URL入力>
インターネットホームページを表示する

URLは半角の英数字や記号で入力します。

1 待受画面▶iα( )▶Internet▶URL入力▶<新規入力>

- サイト表示中はiα(機能)→「URL入力」を選択し、手順2の画面が表示されたらテキストボックスを選択します。(テキストボックスには表示中のサイトのURLが入力されています。)

2 URLを入力▶OK

- 文字数:半角256文字まで。

お知らせ

- iモードに対応していないインターネットホームページや、接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 受信したページのデータが1ページの取得可能な最大サイズを超えたときは、受信を中断します。「OK」を選択すると、取得したところまでのデータが表示される場合もあります。

<URL入力履歴>
URL入力履歴を使って表示する

入力したURLはURL入力履歴として10件まで記憶されます。

1 待受画面▶iα( )▶Internet▶URL入力▶表示したいURLを選択▶OK

- 「http://」または「https://」以下の半角22文字までが表示されます。
- URLのテキストボックスを選択するとURLを編集できます。

URL入力履歴一覧画面

お知らせ

- 履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URLを新規入力してアクセスした場合は、同じURLでも別の履歴として記録されます。

URL入力履歴一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
デスクトップ貼付	⇒P.121
iモードメール作成	選択中のURLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。⇒P.199手順2へ
ホーム登録	ホームURLに登録します。⇒P.175
削除	▶YES
選択削除	▶削除したいURL入力履歴にチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<ホーム表示>
ホーム登録したサイトを表示する

待受画面で▲を押したり、サイト表示中に機能メニューから「ホーム表示」を選択したときに、登録したインターネットホームページを表示します。

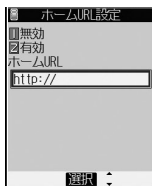
ホームURL設定

お買い上げ時	無効

ホーム登録するインターネットホームページのURLとホーム表示の有効・無効を設定します。
例：URLを入力して「有効」に設定する場合

1 待受画面▶iα(i)▶iモード設定▶ホームURL設定

2 「ホームURL」のテキストボックスを選択

● 無効に設定する場合は「無効」を選択します。

3 URLを入力▶有効

● 文字数：半角256文字まで。

ホーム登録

表示中のサイトやブックマーク一覧、URL入力履歴のURLをホームURLに登録します。

1 サイト表示中・Bookmark一覧画面・URL入力履歴一覧画面▶iα(機能)▶ホーム登録▶YES

ホーム表示

「ホーム登録」や「ホームURL設定」で登録したURLからサイトを表示します。

1 待受画面▶▲

● 「メニュー▶i▶Internet▶ホーム表示」の操作を行っても表示できます。
● サイト表示中はiα(機能)を押して「ホーム表示」を選択します。

<ブックマーク>
ホームページやサイトを登録して素早く表示する

ブックマークに登録する

よく見るサイトのURLをブックマークに登録しておくと、直接目的のページを表示できます。100件まで登録できます。（全フォルダの合計）

1 登録したいページを表示中▶iα(機能)▶Bookmark登録▶YES▶登録したいフォルダを選択

お知らせ

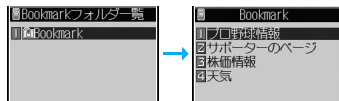
● 登録できる1件あたりのURLの文字数は半角256文字までです。URLの文字数がそれ以上あるときは登録できません。
● タイトルは全角12／半角24文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。
● ブックマークに登録時は、サイトで入力した内容は登録されません。
● ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード（⇒P.294）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（⇒P.378）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 待受画面▶[iα]([i])▶Bookmark ▶フォルダを選択▶表示したいブックマークを選択

●サイト表示中は[iα](機能)→「Bookmark一覧」を選択します。

Bookmark
フォルダ一覧画面

Bookmark
一覧画面

●ブックマークを使ってページを表示させると、次回はそのブックマークがBookmark一覧画面の先頭に表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。 「Bookmark」･「画面メモ」フォルダ以外にそれぞれ9件まで追加できます。 ▶フォルダ名を入力 ●文字数:全角10／半角20文字まで。
フォルダ名編集	▶フォルダ名を編集 ●文字数:全角10／半角20文字まで。
登録件数確認	全フォルダに登録されているブックマークの件数を表示します。
赤外線全件送信	⇒P.309
フォルダ削除	フォルダとフォルダ内のすべてのブックマークや画面メモを削除します。 「Bookmark」･「画面メモ」フォルダは削除できません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
Bookmark全削除	すべてのブックマークを削除します。フォルダは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

Bookmark一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
フォルダ移動	ブックマークや画面メモを別のフォルダに移動します。 ▶移動先のフォルダを選択 ▶移動したいブックマークや画面メモにチェック ▶[✉](完了)▶YES
タイトル編集	▶タイトルを編集 ●ブックマークの場合、全角12／半角24文字まで入力できます。空白で[●](確定)を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。 ●画面メモの場合、全角11／半角22文字まで入力できます。空白で[●](確定)を押した場合は、「無題」と登録されます。
デスクトップ貼付	⇒P.121
iモードメール作成	選択中のURLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。⇒P.199手順2へ
赤外線送信	⇒P.307
microSDへコピー	⇒P.297
ホーム登録	ホームURLに登録します。⇒P.175
URLコピー	ブックマークのURLをコピーします。 ▶コピーする始点を選択▶コピーする終点を選択 ●コピーした文字を貼り付けるには⇒P.354
登録件数確認	表示しているフォルダ内に登録されているブックマークの件数を表示します。
削除	▶YES
選択削除	▶削除したいブックマークや画面メモにチェック ▶[✉](完了)▶YES
全削除	フォルダ内に登録されているすべてのブックマークや画面メモを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

<画面メモ>
サイトの内容を保存する

画面メモを保存する

一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存できます。画面メモに保存したページは、i モードに接続せずに表示できます。最大100件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

1 保存したいページを表示中▶i∝(機能)▶画面メモ保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

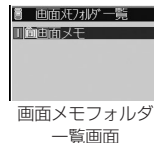
- 保存されている画面メモがいっぱいのとき⇒P.180

お知らせ

- タイトルは全角11/半角22文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。
- ダウンロード(取得)完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。(再生期限付きのi モーションの取得完了画面は保存できません。) ダウンロード(取得)完了画面は、画面メモとして保存できない場合があります。ダウンロード(取得)完了画面以外は、そのページのURLが半角256文字まで保存されます。
- SSL対応のページの画面を保存すると、画面とともにそのページのSSL証明書も保存されます。
- テキストボックスに入力した内容や、プルダウンメニュー、チェックボックス、ラジオボタンで選択した内容は保存されません。
- 1件あたり100Kバイトまでのページを保存できます。ただし、i モーションの取得完了画面は500Kバイトまで、テンプレートの取得完了画面は20Kバイトまで保存できます。

画面メモを表示する

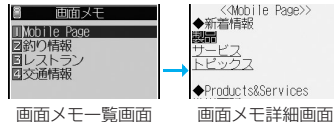
1 待受画面▶i∝(画面メモアイコン)▶画面メモ

- サイト表示中はi∝(機能)→「画面メモ一覧」を選択します。

画面メモフォルダ一覧画面

2 フォルダを選択▶画面メモを選択

- ◎で他の画面メモを確認できます。

画面メモ一覧画面

画面メモ詳細画面

お知らせ

- 画面メモに保存されたページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。

画面メモフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	⇒P.176
フォルダ名編集	⇒P.176
保存件数確認	全フォルダに保存されている画面メモの件数と保護されている画面メモの件数を表示します。
セキュリティ設定/解除	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES フォルダが「(アイコン)」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
フォルダ削除	⇒P.176
画面メモ全削除	すべての画面メモを削除します。フォルダは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

▶▶次ページにつづく

画面メモ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ移動	⇒P.176
タイトル編集	⇒P.176
保護／保護解除	画面メモを削除されないように最大50件まで保護できます。(保護するページのデータ量により件数は変動します。) 保護すると「」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保存件数確認	表示しているフォルダ内に保存されている画面メモの件数と保護されている画面メモの件数を表示します。
削除	⇒P.176
選択削除	⇒P.176
全削除	⇒P.176

画面メモ詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
画像保存	⇒P.178
背景画像保存	▶YES▶保存したいフォルダを選択 ⇒P.178「画像ダウンロード」手順2へ
電話帳登録	⇒P.90
タイトル編集	⇒P.176
保護／保護解除	⇒P.178
ｉモードメール作成	⇒P.171
URL表示	画面メモのURLを表示します。
証明書表示	SSL通信で使用している証明書を確認します。⇒P.171
効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。⇒P.182
リトライ	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。
削除	▶YES

サイトからファイルやデータをダウンロードする

サイトから画像やメロディなどのファイルやデータをダウンロードしてFOMA端末に保存できます。ファイルによってはmicroSDメモリーカードに直接保存できるものもあります。

画像ダウンロード

サイト、画面メモに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。デコメール用の画像やフレーム、スタンプ画像なども保存できます。

1 サイト表示中・画面メモ詳細画面▶(機能)▶画像保存▶画像を選択▶YES▶保存したいフォルダを選択

●保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180

2 ピクチャ貼付するには「YES」を選択

⇒P.270「ピクチャ貼付」手順1へ

お知らせ

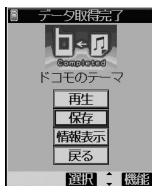
- ファイル名は半角36文字までで保存されます。
  ファイル名が指定されていない場合には、取得したURLの一部または「imageXXX」(XXXは数字)で保存されます。
- サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存してピクチャビューアで表示すると、表示されない場合があります。
- 以下の条件を満たす画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
  ･透過GIF(アニメーションGIFを除く)
  ･拡張子が「ifm」
  ･CIF(352×288)以下の画像
  CIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)の画像はフレーム、それ以外はスタンプとなります。
- 1件あたり100Kバイトまでの画像を保存できます。

メロディダウンロード

サイトからメロディをダウンロードして、着信音などに設定できます。メロディは20～最大400曲まで保存できます。(データ量により実際に保存できる曲数が少なくなる場合があります。)

1 メロディダウンロード可能なサイトを表示▶メロディを選択▶保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

取得完了画面

- メロディ再生中の操作について⇒P.290
- 「情報表示」を選択するとメロディの情報が表示されます。⇒P.292
- 保存されているメロディがいっぱいのとき⇒P.180
- 画面メモを保存したいとき⇒P.177

2 着信音に設定するには「YES」を選択▶着信の種類を選択

お知らせ

- メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
- ファイル名は半角36文字までで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、ダウンロードしたURLの一部または「melodyXXX」(XXXは数字)で保存されます。
- タイトルが付けられていないメロディは取得完了画面では「無題」と表示されますが、一覧ではファイル名がタイトルになります。
- 1件あたり100Kバイトまでのメロディを保存できます。

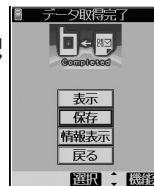
テンプレートダウンロード

サイトからデコメール用のテンプレートをダウンロードします。お買い上げ時のものも含めて最大45件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。⇒P.180

1 テンプレートダウンロード可能なサイトを表示▶テンプレートを選択▶保存▶YES

取得完了画面

- 「情報表示」を選択するとテンプレートの情報が表示されます。⇒P.207
- 保存したテンプレートの確認方法について⇒P.206
- 画面メモを保存したいとき⇒P.177

保存されているテンプレートがいっぱいのときは

すでにテンプレートが最大保存件数まで保存されている場合は、不要なテンプレートを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1.YES▶削除したいテンプレートを選択▶YES

お知らせ

- テンプレートにデコレーションが1つもない場合やFOMA端末外への出力が禁止されている画像が挿入されていた場合は、保存できません。
- テンプレートにファイルが添付されている場合は、添付ファイルは削除されます。
- ダウンロードしたテンプレートのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)
- 1件あたり10Kバイトまでのテンプレートを保存できます。

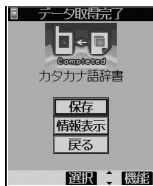
辞書ダウンロード

サイトから辞書をダウンロードします。お買い上げ時のものも含めて5件まで保存できます。

● お買い上げ時に登録されている辞書は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。⇒P.180

1 辞書ダウンロード可能なサイトを表示▶辞書を選択▶保存▶YES

取得完了画面

● 「情報表示」を選択すると、辞書の情報が表示されます。⇒P.356
● 画面メモを保存したいとき⇒P.177

2 <未登録>▶辞書ファイルに設定するには「YES」を選択

● ダウンロードした辞書の操作方法について⇒P.356

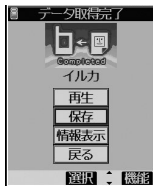
お知らせ
● 1件あたり20Kバイトまでの辞書を保存できます。

キャラ電ダウンロード

サイトからキャラ電をダウンロードします。お買い上げ時のものを含めて10件まで保存できます。

1 キャラ電ダウンロード可能なサイトを表示▶キャラ電を選択▶保存▶YES

取得完了画面

● 「情報表示」を選択するとキャラ電の情報が表示されます⇒P.288
● 画面メモを保存したいとき⇒P.177

お知らせ
● 1件あたり100Kバイトまでのキャラ電を保存できます。

保存されているデータがいっぱいのときは

データを保存するときに、すでに最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

● 本操作は以下のデータを保存するときに行います。
・画像　・iモーション　・メロディ　・キャラ電　・画面メモ

1. YES▶削除したいデータにチェック▶[✉]（完了）▶YES
メモリの空き容量が不足している場合は、各データの容量を参考にして削除したいデータにチェックを付けます。不足している容量分にチェックを付けると「完了」が表示されます。
● 他の機能で設定しているデータには「★」マークが付いています。

「P-SQUARE」について

お買い上げ時に登録されているテンプレート（⇒P.400）、辞書（⇒P.356）、キャラ電（⇒P.287）は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。

i Menu→メニュー／検索→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した画像、メロディは、microSDメモリーカード（⇒P.294）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（⇒P.378）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

サイトのページやメールなどで反転表示された情報(電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像など)を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したりできます。

- Web To、Phone To/AV Phone To、Mail To、iアプリ To機能について。
  ･パソコンなどから送信されたメールや、サイトによっては、使用できない場合があります。
  ･電話番号、メールアドレス、URL以外の反転表示された情報を使って利用できる場合もあります。

Phone To/AV Phone To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている電話番号などの情報を使って、音声電話発信、テレビ電話発信します。

- テレビ電話でのPhone To 機能のことをAV Phone To 機能と呼びます。

1 電話番号などの情報を選択▶発信方法を選択

- 「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。
- 電話番号の前に「tel:」または「tel-av:」があった場合などは、発信方法の選択肢が表示されないことがあります。手順2へ進みます。

2 発信

- 国際電話をかける場合は「国際電話発信」を選択します。
  ⇒P.61
- 発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。
  ⇒P.48手順2へ

Mail To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、メールを送ります。

1 メールアドレスなどの情報を選択

宛先にはメールアドレスがすでに入力されています。
⇒P.199手順3へ

Web To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURLなどの情報を使って、インターネットホームページに接続します。

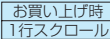
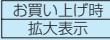
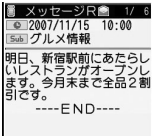
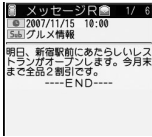
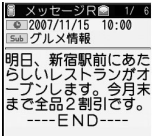
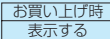
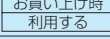
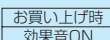
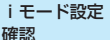
1 URLなどの情報を選択

- 接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。ページを取得中に中止する場合は[✉]([中止])を押します。

iアプリ To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURL(リンク)からiアプリを起動します。

1 iアプリの情報を選択▶YES

iアプリが起動します。

お知らせ

- iモードメール本文にiアプリを起動させるリンクがある場合、返信や転送をするとiアプリを起動させるリンクは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時もiアプリを起動させるリンクは引用できません。
- 起動させるiアプリがない場合は、ソフトがない旨の確認画面が表示されます。この場合、ダウンロードする必要があります。

＜iモード設定＞
詳細機能を設定する

iモードやメッセージR/Fの設定をします。

1 待受画面▶[iα]([i])▶iモード設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
スクロール設定 お買い上げ時：1行スクロール	サイトや画面メモ、メッセージR/Fの本文を表示している画面で[○]を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶**行数を選択**
文字サイズ設定 お買い上げ時：拡大表示	サイトや画面メモ、メッセージR/Fの本文に表示される文字サイズを設定します。 ▶**文字サイズを選択** メッセージRの場合 メッセージR 1/6 2007/11/15 10:00 Sub グルメ情報 明日、新宿駅前にあたらしいレストランがオープンします。今月末まで全品2割引です。----END---- 標準表示 縮小表示 拡大表示
画像表示設定 お買い上げ時：表示する	サイトや画面メモなどに含まれる画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない** ●サイト表示中は、[iα]([機能])→「画像表示設定」を選択します。
iモーション設定	⇒P.191
メッセージ自動表示設定	⇒P.184
開封時メロディ再生設定	メッセージR/F開封時にメロディを自動再生するかどうかを設定します。⇒P.184
端末情報データ利用設定 お買い上げ時：利用する	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、FOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、情報を利用するかどうかを設定します。 ▶**利用する・利用しない**
ホームURL設定	⇒P.175
効果音設定 お買い上げ時：効果音ON	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶**効果音ON・効果音OFF** ●サイト表示中や画面メモ詳細画面表示中は、[iα]([機能])→「効果音設定」を選択します。
iモード設定確認	iモード設定の各設定内容を確認します。
ラストURL初期化	最後に見たサイトのURLを初期化(iMenuのURLに)します。⇒P.172
iモード設定リセット	「iモード設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目については「機能一覧表」を参照してください。⇒P.390 ▶**端末暗証番号を入力▶YES**

お知らせ

＜画像表示設定＞
●「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「[画像]」が表示されます。
●「表示しない」に設定すると、「[画像]」で表示され、データの受信を行いません。

お知らせ

<端末情報データ利用設定>

● 利用できる情報は以下のとおりです。
 ・「時計設定」で設定された日付時刻
 ・電波の受信レベル
 ・電池残量
 ・「着信音量」の「電話」で設定された音量
 ・「バイリンガル」で設定された言語
 ・FOMA端末の機種や製造番号

<効果音設定>

● 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<接続待ち時間設定>

接続待ち時間を設定する

お買い上げ時	60秒間

サイトを取得するまでしばらく時間がかかることがあります。取得を中止するまでの時間を設定します。「無制限」に設定すると、自動的には中止しません。

1 メニュー▶▶**アプリケーション通信設定▶接続待ち時間設定▶待ち時間を選択**

お知らせ

● 「無制限」に設定していても、電波状況などにより切断される場合があります。

<接続先選択> メニュー 8 1

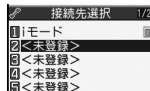
ｉモードから接続先を変更する(ISP接続通信)

お買い上げ時	ｉモード

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード(ドコモ)以外のサービスを受けるときに使う接続先(APN)の設定をします。
登録した接続先に変更したときはｉモードを利用できなくなります。

1 メニュー▶▶**アプリケーション通信設定▶接続先選択▶<未登録>を選んで** ✉(編集)**▶端末暗証番号を入力**

接続先選択 1/2
1 ｉモード
2 <未登録>
3 <未登録>
4 <未登録>
5 <未登録>

● 変更する場合は、登録済みの接続先を選択します。
● iα(機能)→「編集」を選択し、端末暗証番号を入力しても接続先を登録／編集できます。
● 登録済みの接続先を削除するにはiα(機能)→「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 以下の操作を行う

項目	操作・補足
接続先名称	▶接続先名称を入力 ●文字数：全角9／半角18文字まで。
接続先番号	▶接続先番号を入力 ●文字数：半角英数字で99文字まで。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ●文字数：半角英数字で30文字まで。
接続先アドレス2	▶接続先アドレス2を入力 ●文字数：半角英数字で30文字まで。

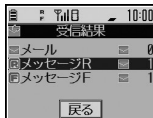
3 ✉**(完了)を押す**

お知らせ

● 接続先をｉモード以外に設定した場合、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルは適用されません。

<メッセージR/F受信>
メッセージR/Fを自動的に受信する

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
FOMA端末が通話圏内にあるときには、iモードセンターから自動的にメッセージR/Fが送られてきます。
メッセージR/Fが届くと画面の上部に「R(グレー)」や「F(グレー)」が表示されます。
受信したメッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。

1 メッセージR/Fを受信すると「R(グレー)」または「F(グレー)」が点滅し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。
- 「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」が「自動表示しない」以外に設定されていると、受信したメッセージR/Fの内容が自動で表示されます。
- 何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。(「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)

お知らせ
- 待受画面以外を表示中、iアプリ起動中、公共モード(ドライブモード)中、オールロック中、PIMロック中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。
- 最大保存件数を超えた場合は、古いメッセージR/Fから順に上書きされます。未読または保護されているメッセージR/Fは上書きされません。
- FOMA端末がこれ以上メッセージR/Fを受信できない場合は、「R(紺色)」または「F(紺色)」が表示されます。不要なメッセージR/Fを削除するか、未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。

お知らせ
- 「R(グレー)」または「F(グレー)」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fが保管されています。「R(紺色)」または「F(紺色)」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fがいっぱいです。「iモード問い合わせ」を行ってメッセージR/Fを受信してください。
- 自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは既読となります。
- 以下のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、iモードセンターに保管されます。

･電源OFFのとき	･テレビ電話中
･セルフモード設定中	･圏外のとき
･赤外線通信中	･FirstPassセンター接続中
･お預かりセンターに接続中	

･保護または未読のメッセージにより、メッセージR/Fの容量が満杯のとき

メッセージ自動表示設定

お買い上げ時　メッセージR優先

待受中にメッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 待受画面▶iα(メニュー)▶iモード設定▶メッセージ自動表示設定▶自動表示の方法を選択

開封時メロディ再生設定

お買い上げ時　自動再生する

受信したメッセージR/F開封時に、貼り付けまたは添付されているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 待受画面▶iα(メニュー)▶iモード設定▶開封時メロディ再生設定▶自動再生する・自動再生しない

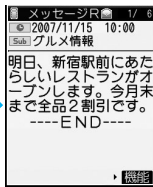
お知らせ
- SDオーディオ再生中、一時停止中は、「開封時メロディ再生設定」の設定に関わらず添付または貼り付けられているメロディは再生されません。

<メッセージR/F表示>
受信したメッセージR/Fを見る

受信したメッセージR/Fを確認します。

1 待受画面▶(　)▶メッセージR/F
▶メッセージR・メッセージF
▶表示したいメッセージR/Fを選択

- 未読のメッセージR/Fを選択した場合は「　(ピンク)」が「　」に変わります。
- で他のメッセージR/Fを確認できます。
- メッセージR/Fの本文が長い場合はで画面をスクロールして確認できます。また、▲や▼を押すと画面単位でスクロールします。

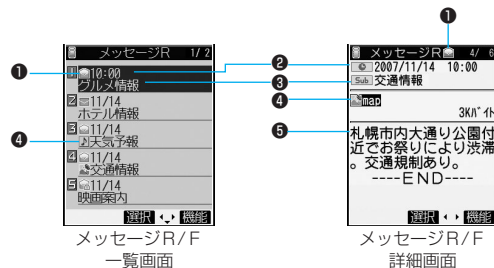
メッセージR/F
一覧画面

メッセージR/F
詳細画面

お知らせ

- 添付されているメロディを選んで●(選択)を押すと、メロディを再生できます。

iモードメニュー

未読のメッセージR/Fがあるときはアイコンに「NEW」が付きます。

メッセージR/F一覧画面とメッセージR/F詳細画面

メッセージR/F
一覧画面

メッセージR/F
詳細画面

❶メッセージR/Fの状態

保護設定すると「　」が表示されます。

(ピンク)	未読のメッセージR/F
	既読のメッセージR/F

❷受信した時刻や日付

一覧画面では、当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示され、前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸題名

❹添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

	正常なメロディデータ
/	一部／すべてのメロディデータが不正
	複数の貼付データ

❺本文

メッセージR/F一覧画面の機能メニュー

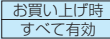
機能メニュー	操作･補足
全表示	ソート機能やフィルタ機能を行ったあと、すべてのメッセージR/Fを「新しい順」で表示します。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**
フィルタ	条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。 ▶**種類を選択**
保護／保護解除	メッセージR/Fを上書き･削除されないように保護します。最大50件（メッセージRとメッセージFそれぞれ）まで保護できます。 保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保護全解除	保護をすべて解除します。 ▶YES
保存件数確認	FOMA端末に保存されているメッセージR/Fの総件数、未読件数、保護件数を表示します。
削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいメッセージR/Fにチェック** ▶[✉]（完了）▶YES
既読削除	既に読んだメッセージR/Fをすべて削除します。 ▶YES
全削除	メッセージR/Fをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

<ソート><フィルタ>
- 元に戻すには「全表示」を実行します。
- 一覧画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示に戻ります。

メッセージR/F詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
電話帳登録	⇒P.86
メロディ保存	添付または貼り付けられたメロディを保存して、着信音に設定します。 ▶YES▶**保存したいフォルダを選択** ⇒P.179「メロディダウンロード」手順2へ ●複数のメロディが添付されているときは、[○]で登録するメロディを選択してから操作してください。 ●保存されているメロディがいっぱいのとき⇒P.180
画像保存	添付された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶YES▶**保存したいフォルダを選択** ⇒P.178「画像ダウンロード」手順2へ ●保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180
背景画像保存	▶YES▶**保存したいフォルダを選択** ⇒P.178「画像ダウンロード」手順2へ
保護／保護解除	⇒P.186
削除	▶YES

お知らせ

<メロディ保存>
- 保存時にはファイル名ではなくタイトルが登録されます。タイトルが設定されていない場合はファイル名が登録されます。
- 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

<SSL証明書操作>
SSL証明書を操作する

1 **メニュー▶設定▶アプリケーション通信設定▶証明書▶証明書を選んでiα(機能)▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
証明書表示	証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を表示します。 ●iα(機能)の代わりに●(選択)でも証明書を確認できます。 ●Ⓞで画面をスクロールして確認できます。
有効/無効設定 お買い上げ時 すべて有効	無効に設定され、「」が「」になります。 ●すでに無効に設定されている証明書を選択した場合は、有効に設定されます。 ●無効に設定すると、そのSSL証明書を持っているサイトは表示できなくなります。 ●「ドコモ証明書2」は無効に設定できません。

SSL通信で使用する証明書について

証明書
. . .認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ドコモ証明書
. . .FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード(緑色／白色)内に保存されています。

ユーザ証明書
. . .ｉモードメニューから「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード(緑色／白色)内に保存されます。

<ユーザ証明書操作>
FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスと契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトでご利用になれます。
FOMAカードに保存されているユーザ証明書が有効期限切れであったり、または必要なユーザ証明書がFOMAカードに保存されていないために、FirstPass対応サイトが表示できない場合、FirstPassセンターに更新申請を行い、そのユーザ証明書をダウンロードできます。

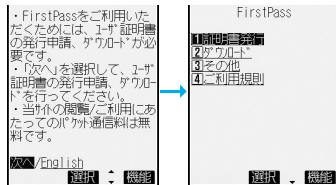
●FirstPassセンターへユーザ証明書の発行を要求し、ダウンロードができます。
●青色のFOMAカードではご利用になれません。
●FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
●FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
●FirstPassセンターに接続する際は、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
●海外ではご利用になれません。

クライアント認証について

●FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。
●クライアント認証は、FOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには付属のCD-ROMのFirstPass PCソフトが必要です。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。
「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターのサイトから行います。

1 待受画面▶iα( )▶ユーザ証明書操作▶次へ

FirstPassセンターのサイト画面

お知らせ

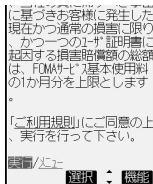
- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

ユーザ証明書の発行を申請し、ダウンロードする

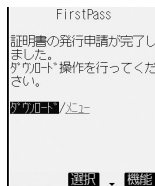
ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトが表示できるようになります。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶証明書発行▶実行

- 更新の場合、「証明書の更新発行申請を行います。」と表示されます。
- ユーザ証明書の発行を申請済みの場合は、FirstPassセンターのサイト画面で「ダウンロード」を選択すると手順3の画面が表示されます。手順3へ進みます。

に基づきお客様に発生した現在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。
「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。
実行/ﾒﾆｭｰ
選択 機能

2 PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。

◆PIN2コードについて⇒P.126

3 ダウンロード▶実行

- すぐにユーザ証明書をダウンロードしない場合は、「メニュー」を選択します。SSLページを終了するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、FirstPassセンターのサイト画面に戻ります。

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応サイトに接続します。

1 FirstPass対応サイトを表示▶項目を選択▶YES

2 PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。正しく入力されると、認証中の画面が表示され、続いてサイトの画面が表示されます。

◆PIN2コードについて⇒P.126

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態や、ユーザ証明書の有効期限が切れている状態でFirstPass対応サイトに接続しようとした場合、継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると元のページに戻りますので、FirstPassセンターのサイトでユーザ証明書をダウンロード／更新してから再度接続してください。
- FirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルに含まれます。

ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

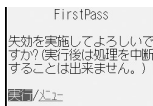
1 **FirstPassセンターのサイト画面▶その他▶証明書失効▶YES**

2 **PIN2コードを入力**

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。

◆PIN2コードについて⇒P.126

3 **実行▶次へ▶実行**

FirstPass
失効を実施してよろしいですか?(実行後は処理を中断することは出来ません。)
実行/メニュー

お知らせ

- 失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る場合⇒P.187

<証明書センター接続設定>
証明書発行接続先を変更する

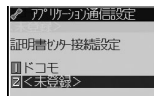
お買い上げ時	ドコモ

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 **メニュー▶** **▶アプリケーション通信設定▶証明書センター接続設定▶<未登録>を選んで✉(編集)**

アプリケーション通信設定
証明書センター接続設定
1ドコモ
2<未登録>

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- iα(機能)→「編集」を選択しても接続先を登録／編集できます。
- 登録済みの接続先を削除するにはiα(機能)→「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 **端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
初期画面URL	▶初期画面URLを入力 ● 文字数：半角英数字で100文字まで。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ● 文字数：半角英数字で99文字まで。

3 **✉(完了)を押す**

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものと見なされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。

- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

iモーションとは

iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。また、iモーションを着信音に設定することもできます。iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
スタンダード(標準)タイプ(保存可※)	データ取得後の再生(最大500Kバイトまで)	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中の再生(最大500Kバイトまで)	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、「データ取得後の再生」と同様に再生できます。
ストリーミングタイプ(保存不可)	データ取得中の再生(最大2Mバイトまで)	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったiモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存したりできません。＊FOMA P704iμでは対応していません

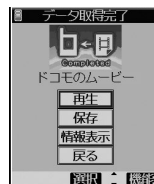
※iモーションによっては、保存できないものもあります。

<iモーション取得>
サイトからiモーションを取得する

サイトからiモーションを取得して再生する

1 iモーション取得可能なサイトでiモーションを選択▶再生

再生中の操作について⇒P.278参照。

- 取得しながら再生できるiモーションの場合は、取得中にiモーションが再生されます。
- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合、取得したあと自動的にiモーションが再生されます。
- 画面メモを保存したいとき⇒P.177

取得完了画面

お知らせ

- 接続するサイトやiモーションによっては、データの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。また、ASF形式のiモーションは取得できません。
- スタンダード(標準)タイプの場合、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得したあとに自動再生はされません。
- 再生回数･再生期間･再生期限に制限があるiモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているiモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているiモーションは再生できません。再生制限を確認するには⇒P.281
- 回線速度･回線状況･電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。スタンダード(標準)タイプのiモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生できます。

ｉモーションを保存する

取得したｉモーションをFOMA端末に保存し、着信音や待受画面、ウェイクアップ画面に設定できます。ｉモーションは最大100件まで保存できます。（データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。）

1 取得完了画面▶保存▶YES ▶保存したいフォルダを選択

- 保存されているｉモーションがいっぱいのとき⇒P.180

2 ｉモーション貼付するには「YES」を選択

- ⇒P.280手順2へ

お知らせ

- ｉモーションによっては取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- 待受画面に設定したｉモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To／AV Phone To機能は利用できません。

お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカード（⇒P.294）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（⇒P.378）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

情報を表示する

取得したｉモーションの情報を表示します。⇒P.281

1 取得完了画面▶情報表示

- [Q]で画面をスクロールして確認できます。

お知らせ

- 「microSDへの移動」は「microSDへの保存」と表示されます。

テロップ中にリンクが設定されていたとき

テロップが設定されているｉモーションの場合、再生中にテロップが表示されます。テロップに下線が付いている電話番号やメールアドレス、サイトの URL などが設定されていたときは、再生終了時・停止中に Phone To ／ AV Phone To 機能や Mail To 機能、Web To 機能、電話帳登録を実行できます。

<例>テロップ中の URL に接続する場合

1 再生終了時▶YES

<ｉモーション設定>
ｉモーションの取得方法を設定する

1 待受画面▶[iα]（[ｉ]）▶ｉモード設定 ▶ｉモーション設定▶以下の操作を行う

項目	操作･補足
自動再生設定 お買い上げ時 自動再生する	サイトからスタンダード（標準）タイプのｉモーションを取得した場合や、スタンダード（標準）タイプのｉモーションが登録されている画面メモを選択した場合に、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。 ▶自動再生する・自動再生しない

iチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP(情報サービス提供者)がiチャネル対応端末に配信するサービスです。

定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧画面に表示されます。
⇒P.193

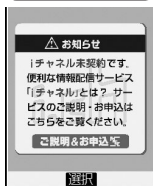
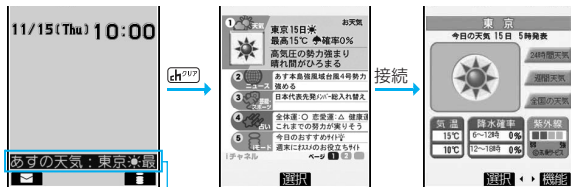
さらに、チャネル一覧画面でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- iチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

未契約

iチャネルをご契約いただいていない場合。

契約後

11/15(Thu) 10:00
あすの天気：東京☀最

テロップ

iチャネルをご契約いただいたあと、情報を受信したタイミング、またはチャネル一覧画面を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。

ch クリアを押すとチャネル一覧画面が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

※各画像はイメージです。
実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。

「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでiチャネルの利用開始時からすぐに利用できます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はiチャネルのサービス利用料に含まれます。

「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP(情報サービス提供者)が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。

なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP(情報サービス提供者)に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧画面から詳細情報を閲覧する際は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。
- 国際ローミング中のベーシックチャネルに関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、iチャネルのサービス利用料に含まれません。

● ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモード契約が必要です。）
● 操作方法について⇒P.193

おためしサービス
ｉモードをご契約のうえ、ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。
なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。
● おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ｉチャネル対応ボタンを押すことで開始できます。おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。
また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご参照ください。

お知らせ

● ｉチャネル契約後、FOMA端末の電源が「OFF」または「圏外」など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。その場合は、[ch クリア]を押して表示される未契約者用のチャネルを選択することで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、[ch クリア]を押すことで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。
● ｉチャネルは海外では、ｉチャネル受信ごとに通信料がかかります（国内の無料通話適用外）。
● ｉチャネルサービス解約後などは、自動的にテロップが「OFF」に設定されます。
● ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合は、テロップは「ON」に設定されたままになります。

ｉチャネルを使う

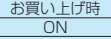
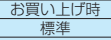
「テロップ表示設定」を「ON」に設定すると、最新のものから最大10件のテロップが待受画面に繰り返し流れます。詳しい情報を知りたいときはチャネル一覧画面から取得できます。

1 待受画面▶[ch クリア]

「テロップ表示設定」の設定に関わらず、チャネル一覧画面が表示されます。
● 「[メニュー]▶[ｉモード]▶ｉチャネル」の操作を行ってもチャネル一覧画面が表示されます。
● ｉアプリ待受画面を表示中は[ch クリア]を1秒以上押します。
● 情報を受信中は「⇋」が点滅します。

チャネル一覧画面

2 項目（リンク先）を選択

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- 情報を受信しても、着信音･バイブレータは鳴動しません。また、着信／充電ランプも点灯／点滅しません。
- 以下の場合は、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、chクリアを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
  ･FOMAカードを差し替えた場合
  ･「接続先選択」を変更した場合
  ･「端末初期化」を行った場合
  ただし、「接続先選択」を変更すると、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、chクリアを押してチャネル一覧画面を表示してください。
- 「接続先選択」を変更した場合は、iチャネルの接続先も変更されます。（通常は、設定を変更する必要はありません。）
- ご利用の状況により、チャネル一覧画面を表示したタイミングで情報を受信することがあります。

<テロップ設定>

テロップの表示を設定する

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ**▶**テロップ設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作･補足
テロップ表示設定 お買い上げ時 ON	待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
テロップ速度設定 お買い上げ時 標準	テロップが流れる速度を設定します。 ▶**速度を選択**

お知らせ

<テロップ表示設定>
- 「テロップ表示設定」を「ON」に設定しているときは、iアプリ待受画面を設定できません。
- 「テロップ表示設定」が「ON」で、待受画面にアニメーションを設定している場合、再生は5秒で中断され、テロップ表示を開始します。
- 公共モード（ドライブモード）中、オールロック中は、テロップは表示されません。

メール

iモードメール／デコメールを作成する

iモードメールを受ける・操作する

メールBOXを操作する

メールの履歴を利用する

メールの設定を行う

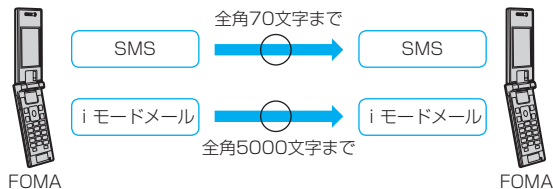
チャットメールを使う

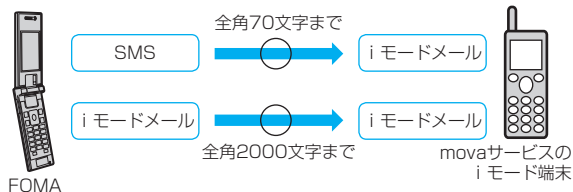
SMS(ショートメッセージ)を使う

FOMA端末のメール機能について

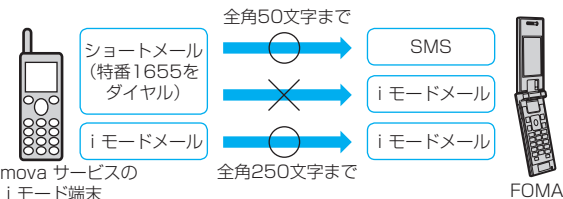
FOMA端末はｉモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」のご契約が必要です。

メールの送受信について

FOMA端末→FOMA端末へ

FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ

FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末では、ｉモードメールとして受信されます。

※SMS送達通知設定(⇒P.244)を「要求する」にしている場合は、movaへ送ることができません。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ

movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末のSMSで受信できます。

※ショートメールとは、movaサービスの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
・FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末などから送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末(mova端末含む)間はもちろん、インターネットを経由してe-mail(電子メール)とのメールのやりとりができます。

ｉモードメールの送信、受信方法について⇒P.199、P.211

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合

「@」マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスを確認してください。

(例)abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

〈お客様のメールアドレスの確認方法〉
ｉMenu→料金＆お申込･設定→メール設定→アドレス確認

● ｉモード端末(mova端末含む)間でメールをやりとりする場合は、「@」マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
● パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。
● ｉモードメールの送信方法について⇒P.199
● ｉモードメールの受信方法について⇒P.211
● ｉモードサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

メール選択受信
ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除したりできます。⇒P.214

■メール設定を行う
下記の各種設定を行えます。
<設定方法>
ｉMenu→料金＆お申込･設定→メール設定→【各設定】
● 詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

メールアドレス変更【メールアドレス設定(アドレス変更)】
たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分をお好みのアドレスに変更できます。

メールアドレス確認【メールアドレス設定(アドレス確認)】
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

シークレットコード登録
【メールアドレス設定(その他設定)→シークレットコード登録】
電話番号のアドレス利用時に、電話番号に加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないｉモードメールは受信されなくなるため、不要なｉモードメールの受信を避けられます。

メールアドレスリセット
【メールアドレス設定(その他設定)→アドレスリセット】
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

迷惑メール対策
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。
①URL付きメール拒否設定
【メール受信設定(迷惑メール対策)→URL付きメール拒否設定】
・ｉモードメールのうち出会い･アダルト･不法･セキュリティなどのカテゴリに該当するとネットスター株式会社が判断したサイトのURLが記載されているメールを受信しないように設定できます。
②受信／拒否設定
【メール受信設定(迷惑メール対策)→受信／拒否設定】
・ドコモ･au･ソフトバンク･ツーカー･ウィルコムのうち、メールを受信したい会社を指定することができます。また指定するドメインまたはアドレスからのメールのみ受信することもできます。受信設定した会社やドメインであっても、個別に拒否したいメールアドレスを指定して拒否することもできます。なお、上記の会社以外(インターネット)からのメールのうち、携帯･PHSドメインになりすましたメールのみを拒否することもできます。
③SMS拒否設定
【メール受信設定(迷惑メール対策)→SMS拒否設定】
・受信するSMSを制限でき、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の4つの中からいずれか1つを選択いただけます。また、設定の状況を確認したりできます。
④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
【メール受信設定(その他設定)→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
・1日に1台のｉモード端末(mova端末含む)から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。
⑤未承諾広告※メール拒否
【メール受信設定(その他設定)→未承諾広告※メール拒否】
・受信者の同意なしに一方的に広告･宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要がありません。
(送信者はメール件名欄の最前部に「未承諾広告※」(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています。)

▶▶次ページにつづく

メールサイズ制限【メール受信設定(メールサイズ制限)】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

設定状況確認【メール受信設定(設定状況確認)】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行えます。メール機能停止設定後、「メール機能再開」もできます。
ただし、メール機能を再開した直後のメールアドレスは「電話番号@docomo.ne.jp」となります。

迷惑メールを防ぐために
メールアドレス変更や受信／拒否設定などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

■ｉモードメールを受信できないとき
ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合や圏外などで受信できないときは、メールが保存されている720時間は届くまで再送いたします。
※受信されない場合は720時間ｉモードセンターで保存されます。
※受信できない条件により再送条件が変わります。
また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選択して受信することもできます。

■こんなこともできます
ファイル添付メール
- **メロディ添付メール(送信⇒P.208、受信⇒P.216)**
  サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。
  (メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません。)
  - 送受信した相手がFOMA P704iμ以外の場合は、メロディが正しく再生できない場合があります。
- **画像添付メール(送信⇒P.208、受信⇒P.217)**
  サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをｉモードメールに添付できます。
  (メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。)

デコメール
ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。
(パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。)デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信される場合があります。
その場合、受信者は表示されているURLを選ぶことにより、デコメールを閲覧できます。
- デコメール編集方法について⇒P.203
- デコメール送信方法について⇒P.202
- 対応機種…デコメール対応機種でご利用いただけます。
  詳しくは、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

SMS(ショートメッセージ)について
ｉモードを契約しなくても、SMSの送受信ができます。
SMSの送信、受信方法について⇒P.241、P.243
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。
  ご利用可能な国･海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

お知らせ
- FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードに保存できます。⇒P.342

■SMSの宛先
SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

■送受信できる文字数
SMSで送受信できる文字数は、次のとおりです。

宛先	21文字(「＋」を含む)	
SMS本文入力設定	日本語入力(70文字)	半角英数入力(160文字)

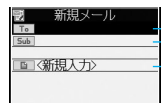
■SMSを受信できないとき
SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、センターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。保管期間は「SMS有効期間設定」で設定できます。⇒P.244
- 保管期間が経過したSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、⇒P.243「SMS問い合わせ」により受信できます。
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。⇒P.243

＜ｉモードメール作成＞ ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して送信します。
送信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大400件まで送信BOXに保存できます。
デコメールを作成するには⇒P.202

1 待受画面▶✉(✉)▶新規メール作成

メール作成画面

- 保存BOXに保存メールが20件あると、ｉモードメールを作成できません。
  保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 「メニュー▶メール」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。
- 「メニューアイコン設定」が「スクロール」以外の場合は、「待受画面▶✉(✉)▶✉(New)」を行ってもメール作成画面が表示されます。

2 宛先欄を選択▶項目を選択

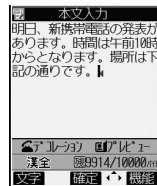
電話帳……電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。
送信アドレス一覧……電話番号またはメールアドレスを選択。
受信アドレス一覧……電話番号またはメールアドレスを選択。
メールメンバー……メールメンバーを選択。
直接入力……メールアドレスや電話番号を入力。

- 文字数：半角50文字まで。
- 送信する相手がｉモード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
- 複数の宛先に送信する場合⇒P.200
- 追加した宛先を削除する場合⇒P.200

3 題名欄を選択▶題名を入力

- 文字数：全角15／半角30文字まで。

4 本文欄を選択▶本文を入力

- 文字数：全角5000／半角10000文字まで。
- 冒頭文／署名を貼り付けるとき⇒P.201
- 入力した本文をすべて削除する場合⇒P.201
- ファイルを添付する場合⇒P.208

メール本文入力画面

5 ✉(送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

- 送信を途中で中止する場合は、◉(中止)またはch(クリア)(1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

6 OK

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモード端末どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字は正しく表示されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- 電話番号入力中などの機能メニューから「ｉモードメール作成」を選択した場合、電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されているとメールアドレスが宛先に入力されます。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスが入力されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 宛先に「,（カンマ）」が入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信できます。
- 入力した宛先がシークレットコードを設定して電話帳に登録されている場合、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは電話帳にシークレットコードを登録していても、シークレットコードは追加されず、通常のｉモードメールとして送信されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 改行は全角1文字、スペースは全角または半角1文字分としてカウントされます。

メール作成画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	メールを送信します。 ▶OK
送信プレビュー	送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルを確認します。確認が終われば●（確定）を押します。 ●✉（送信）を押すとメールを送信できます。
保存	作成中や編集中のメールを保存BOXに保存します。
宛先追加	同時に送信できる宛先は5件までです。 ▶**項目を選択** **電話帳** ....電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。 **送信アドレス一覧** ....電話番号またはメールアドレスを選択。 **受信アドレス一覧** ....電話番号またはメールアドレスを選択。 **直接入力** ....メールアドレスや電話番号を入力。 ●続けて追加する場合は<未入力>を選択し、上記の手順を繰り返します。 ●追加した宛先は、「宛先削除」（⇒P.200）や「宛先タイプ変更」（⇒P.200）で、削除や変更ができます。 ▶✉（完了）
宛先削除	宛先が複数あるときに、選択している宛先を削除します。 ▶YES
宛先タイプ変更	▶**宛先のタイプを選択** To......通常の宛先。（宛先は受信側に表示されます※） Cc.....直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定。（宛先は受信側に表示されます※） Bcc...他の送信相手に知られたくないときに指定。（宛先は受信側に表示されません） ※受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。

機能メニュー	操作・補足
テンプレート(テンプレート読込み)	テンプレートを読み込んでデコメールを作成します。 ▶テンプレート読込み ▶テンプレートを選択 テンプレートの内容が本文に入力されます。[✉](デモ)を押すと内容の確認ができます。 ●デコメールの作成について⇒P.202 ●お買い上げ時に登録されているテンプレートについて⇒P.400
テンプレート(テンプレート保存)	作成中のデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶テンプレート保存▶YES ●保存されているテンプレートがいっぱいのとき⇒P.179 ●保存したテンプレートの確認方法について⇒P.206
添付ファイル追加	⇒P.208
カメラ起動	画像やｉモーションを撮影して添付します。 ▶撮影モードを選択 ●フォトモードで設定できる画像サイズは「待受(240×320)」と「Sub-QCIF(128×96)」です。 ●撮影方法について⇒P.151、P.155
添付ファイル削除	⇒P.209
添付ファイル全削除	⇒P.209
冒頭文貼付	冒頭文をｉモードメールの本文の先頭に貼り付けます。 ●あらかじめ冒頭文を登録しておく必要があります。⇒P.236
署名貼付	署名をｉモードメールの本文の最後に貼り付けます。 ●あらかじめ署名を登録しておく必要があります。⇒P.236
本文消去	本文に入力されている文章や挿入された画像をすべて削除します。 ▶YES
メール削除	編集中のｉモードメールを削除します。 ▶YES

お知らせ

<テンプレート(テンプレート保存)>
- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<カメラ起動>
- 撮影した画像によりｉモードメールに添付できない場合があります。

<冒頭文貼付><署名貼付>
- 冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000／半角10000文字を超える場合は、貼り付けできません。
- 本文の先頭や文末に文字色や文字サイズのデコレーションが設定されている場合は、冒頭文や署名も合わせてデコレーションされます。

メール本文入力画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
デコレーション	パレットを表示します。⇒P.203
絵文字入力	⇒P.351
記号入力	⇒P.351
全角切替・半角切替	全角、半角を切り替えます。⇒P.351
コピー	文字をコピーします。⇒P.354
切り取り	文字を切り取ります。⇒P.354
貼り付け	切り取り・コピーした文字を貼り付けます。⇒P.354
定型文入力	⇒P.352
スペース入力	⇒P.352
区点入力	区点コードで文字を入力します。⇒P.352
電話帳引用	⇒P.352
個人データ引用	⇒P.352
プロパティ	デコメールで挿入した画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ●あらかじめカーソルを画像の直前に移動しておく必要があります。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

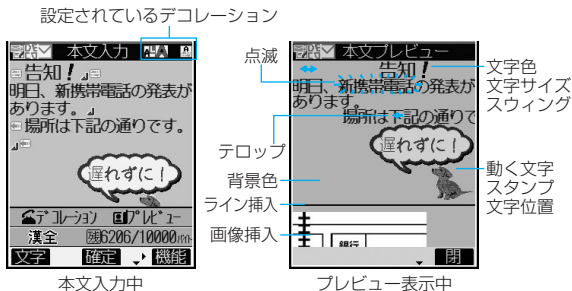
機能メニュー	操作・補足
元に戻す	文字の入力や削除、貼り付け、デコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。
全画面／参照切替	参照返信時に、メール本文入力画面を全画面に表示するか、受信メール詳細画面を画面下に表示するかを切り替えます。
ウィンドウ切替	参照返信時に、メール本文入力画面の操作と受信メール詳細画面の操作を切り替えます。
JUMP	カーソルをJUMPさせます。⇒P.353
プレビュー	送信する前に本文の内容を確認します。 ● メール本文入力画面で( )を押してもプレビューを表示できます。 ●確認が終われば(閉)を押します。

お知らせ

<元に戻す>
- 「元に戻す」でひとつ前の状態に戻したあと、「元に戻す」の取り消しはできません。
- メール本文入力画面を終了すると、再度メール本文入力画面を表示しても「元に戻す」でひとつ前の状態には戻せません。(「プレビュー」でプレビューを表示後の場合は戻せません。)

デコメールを作成して送信する

ｉモードメール本文編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入することによって自分のオリジナルメールを作成して送信できます。
また、テンプレート(ひな形)を使用して作成できます。⇒P.206

本文入力中　　プレビュー表示中

1 P.199の手順1～手順3の操作を行う

2 本文欄を選択▶パレットを使って本文をデコレーションする

- パレットの使い方について⇒P.203

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

( )▶デコレーションを選択▶本文を入力

本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶[ ]
▶[ ](デコレーション変更)

⇒P.204「デコレーション変更」へ
- 文字数:全角5000/半角10000文字まで。(デコレーションにより、入力できる文字数は少なくなります。)
- メール本文をデコレーションすると、「[ ]」が表示されます。
- [ ]を押すと、本文のプレビューを表示できます。
- [ ](閉)を押すとプレビューを終了して元の画面に戻ります。

3 [ ](確定)を押す

メール作成画面が表示されます。
⇒P.199手順5へ

お知らせ

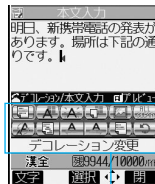
- デコレーションした文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。なお、[ ]を1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- 受信したデコメールを引用返信、転送した場合、デコレーションや挿入した画像はそのままの状態で本文に入力されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除されます。
- パソコンなどとデコメール送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- テロップ･スウィングの動作や点滅、アニメーションは、一定の時間が経過すると停止します。

デコレーションについて

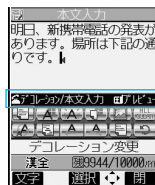
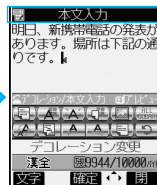
パレットを使って、iモードメールの本文をデコレーションします。1箇所に複数のデコレーションを設定できます。

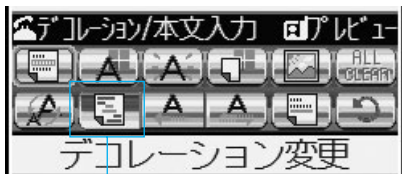
- 文字位置･テロップ･スウィングを1箇所に組み合わせることはできません。
- ライン挿入は文字色で指定している色で挿入されます。
- 画像挿入と動く文字スタンプ作成は文字位置･テロップ･スウィングで指定している状態で挿入されます。

■パレットの使い方

メール本文入力画面で[ ]を押すとパレットが表示されます。
- 機能メニューから「デコレーション」を選択してもパレットを表示できます。
- [ ](閉)を押すと、パレットを閉じます。
  パレット操作中に[ ]を押しても、パレットを閉じます。

パレット

操作を切り替える

[ ]を押すごとに、パレットの操作と本文入力の操作を切り替えることができます。パレットを表示したままカーソルを移動させたり、本文を入力したりできます。
- 文字を入力後は「本文入力操作」になります。続けてパレットを操作する場合は、[ ]を押してから操作します。

パレット操作　本文入力操作

アイコンの状態

押された状態

● デコレーションしている文字にカーソルがある場合、設定しているデコレーションのアイコンが押された状態で表示されます。
押された状態のアイコンを選んで◎(選択)を押すとデコレーションを変更または終了、解除できます。
範囲選択中はクリアでも範囲選択を解除できます。

■デコレーションの操作方法

機能	操作・補足
(デコレーション変更)	入力済みの文字を選択して文字色、点滅、文字サイズ、文字位置、テロップ、スウィングを設定します。また、設定済みのデコレーションを変更、追加したり、点滅、テロップ、スウィングを解除できます。 ▶**始点を選択** ●(全選択)→「YES」を選択すると全文を選択できます。 ▶**終点を選択** 各デコレーションを設定、変更、追加、解除します。 ●範囲選択中は画面の右上に「選択/SELECT」が表示されます。 **<デコレーションを設定、変更、追加する>** ▶**アイコンを選択し、デコレーションを設定、変更、追加** ●複数のデコレーションを変更する場合やデコレーションを追加する場合は、続けて他のアイコンを選択します。 ▶ ●点滅、テロップ、スウィングを設定した場合は、再度それぞれのアイコンを選択して各デコレーションを終了します。 **<点滅、テロップ、スウィングを解除する>** ▶**点滅、テロップ、スウィングのアイコンを選択** ▶**再度同じアイコンを選択**
(文字色)	入力する文字の色、ラインの色を変更します。 ▶**色を選択**▶**文字を入力** ●文字色を変更中は画面の右上に「A」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(点滅)	入力する文字を点滅表示させます。 ▶**文字を入力** 文字が点滅表示されます。 ●点滅を設定中は画面の右上に「A」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶**(点滅終了)**

機能	操作・補足
(背景色)	メール本文の背景色を変更します。 ▶**色を選択**
(画像挿入／動く文字スタンプ作成)	入力する文字をスタンプにして本文に挿入します。スタンプはアニメーションになり様々な動きをして相手に気持ちを伝えてくれます。 ▶▶**動く文字スタンプを選択▶文字を入力** ● 動く文字スタンプを削除するには、動く文字スタンプにカーソルをあて、[クリア]を押します。 ● お買い上げ時に登録されている動く文字スタンプについて⇒P.399
(画像挿入／マイピクチャ)	「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。 ▶▶**フォルダを選択▶画像を選択** ● 画像を削除するには、画像にカーソルをあて、[クリア]を押します。 ● お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャについて⇒P.398
(画像挿入／カメラ)	その場でカメラを起動して撮影した画像をメール本文に挿入します。 ▶▶**静止画を撮影** ● 画像サイズはSub-QCIF(128×96)です。 ● 画像を削除するには、画像にカーソルをあて、[クリア]を押します。 ● 撮影方法について⇒P.151「静止画を撮影する」手順2、手順3
(デコレーション全解除)	すべてのデコレーションを解除します。 ▶**YES** ● 挿入した画像がある場合は、「インライン画像を削除しました」と表示されます。「OK」を選択するとメール本文入力画面に戻ります。

機能	操作・補足
(文字サイズ)	入力する文字のサイズを変更します。 ▶**サイズを選択▶文字を入力** ● 文字サイズを変更中は画面の右上に「」「」が表示されます。 ● 続けて他のデコレーションも設定できます。 ● 範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(文字位置)	入力する文字、挿入する画像の位置を変更します。 ▶**文字位置を選択▶文字を入力** 自動的に改行が入力され、文字位置が設定されます。 ● 文字位置を設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ● 続けて他のデコレーションも設定できます。 ● 範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(テロップ)	入力する文字、挿入する画像をテロップ表示(右から左へ流れる表示)させます。 ▶**文字を入力** 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「」が表示されます。 ● テロップを設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ● 続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶**(テロップ終了)** 自動的に改行が挿入されます。
(スウィング)	入力する文字、挿入する画像をスウィング表示(左右を往復する表示)させます。 ▶**文字を入力** 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「」が表示されます。 ● スウィングを設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ● 続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶**(スウィング終了)** 自動的に改行が挿入されます。

▶▶次ページにつづく

機能	操作・補足
(ライン挿入)	メール本文にライン(水平線)を挿入します。 自動的に改行が挿入され、ラインが挿入されます。 ● ラインを削除するには、ラインにカーソルをあて、chクリアを押します。
(元に戻す)	設定したデコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。

お知らせ

<文字色>
- 別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。

<背景色>
- デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。
- 冒頭文や署名の編集時は背景色を変更できません。

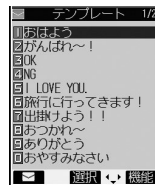
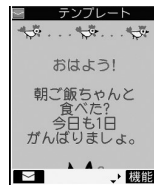
<画像挿入>
- メール本文との画像の合計が10000バイトまでとなるJPEGまたはGIF画像を10件まで挿入できます。
- 挿入できる画像は10件までですが、操作によっては10件以下でもメモリ不足のため再編集する旨の確認画面が表示されます。「OK」を選択し、再度本文の編集を行ってください。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされ合わせて1件として扱われます。

<文字サイズ>
- 別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。

<テンプレート>
テンプレートを利用してデコメールを作成する

テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションがすでに指定されているデコメール用のひな形データです。
お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたり(⇒P.179)、送受信したデコメールや作成中のデコメールをテンプレートとしてメールメニューの「テンプレート」に保存したりできます。⇒P.201、P.228
保存したテンプレートはパレットで編集できます。
- お買い上げ時に保存されているテンプレート(⇒P.400)は削除できます。「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。⇒P.39

1 待受画面▶✉(✉)▶テンプレート▶テンプレートを選択

- ✉(✉)を押すと、テンプレートの内容でデコメールを作成します。⇒P.199手順2へ
- 「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

テンプレート一覧画面　テンプレート詳細画面

テンプレート一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 ⇒P.199手順2へ
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●文字数：全角15／半角30文字まで。
情報表示	テンプレートのファイルサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。 ●確認が終われば[CLR]を押します。
保存件数確認	テンプレートの保存件数を表示します。 ●確認が終われば[CLR]を押します。
削除	▶YES
選択削除	▶削除したいテンプレートにチェック ▶[✉]（完了）▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

テンプレート詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 ⇒P.199手順2へ
編集	テンプレートの内容を編集して保存します。 ▶本文を編集▶[●]（保存）▶YES・NO YES ....上書きして保存。 NO.......別データとして保存。 ●本文の編集方法について⇒P.202手順2 ●[iα]（機能）→「保存」を選択しても保存できます。 ●保存されているテンプレートがいっぱいのとき⇒P.179
挿入画像保存	テンプレートやデコメールの本文に挿入された画像を保存して、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶画像を選択▶YES▶保存したいフォルダを選択 ⇒P.178「画像ダウンロード」手順2へ ●保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180

お知らせ

<編集>

● 別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）

<添付ファイル>
ファイルを添付する

ｉモードメールに画像やメロディを添付して送信します。また、動画／ｉモーションを添付して、ｉモーションメールとして送信できます。

■添付可能なファイルについて

ファイルの種類	添付可能な最大件数
メロディ	合計10件※1
10000バイト以下の画像(JPEG、GIF)	
10000バイトを超える画像(JPEG)	どちらか1件※2
動画／ｉモーション	

※1 メロディ、画像の合計と本文を合わせたデータ量が全角5000文字分(10000バイト)までで最大10件です。ファイルのデータ量によっては10件より少なくなる場合があります。

※2 最大500Kバイトまでの画像もしくは動画／ｉモーションのどちらか1件のみ添付できます。メロディ、10000バイト以下の画像とは別で1件として数えます。

- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- 自端末で撮影した静止画、動画や赤外線で受信したファイルは、「ファイル制限」の設定に関わらず、添付できます。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像もしくはｉモーションを添付すると、本文に入力できる文字数が全角100文字分(半角200文字分)少なくなります。本文をデコレーションしている場合は、全角200文字分(半角400文字分)少なくなります。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像をｉモード対応端末に送信した場合、ｉショットセンターで「ｉモード対応端末に適したサイズ」に変換されます。

1 メール作成画面▶[iα](機能)▶添付ファイル追加▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
メロディ添付	▶フォルダを選択▶メロディを選択 ⇒P.199手順2へ ●添付したメロディは[●](選択)で再生でき、いずれかのボタンで再生停止できます。
イメージ添付	▶フォルダを選択▶画像を選択 ⇒P.199手順2へ ●添付した画像は[●](選択)で表示でき、再度[●](選択)で元の画面に戻せます。
ｉモーション添付	▶フォルダを選択▶ｉモーションを選択 ⇒P.199手順2へ ●添付したｉモーションは[●](選択)で再生でき、再生中に[ch クリア]で元の画面に戻せます。

お知らせ

<メロディ添付>
- MFi形式のメロディは添付できません。
- microSDメモリーカードに保存されているメロディは添付できません。メロディをFOMA端末にコピーしてください。⇒P.299
- 受信側がFOMA P704iμ以外の場合は、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。
- 添付されたメロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。

<イメージ添付>
- 500Kバイトを超える画像は添付できません。「ｉモードメール作成」(⇒P.280)や「メール用サイズ変更」(⇒P.267)を行うと500Kバイト以下に変更して添付できます。
- movaサービスのｉモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。movaサービスのｉモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)です。(受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合)
  複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
- GIF画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
- 受信側の機種によっては、画像が正しく受信できなかったり、受信した画像が表示できない場合や粗く表示される場合があります。

お知らせ

＜ｉモーション添付＞

- ファイルサイズが500Kバイトより大きいときは、メールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると、ｉモーションの先頭から約490Kバイトまでを切り出します。
- ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。
- microSDメモリーカードに保存されている動画は添付できません。動画をFOMA端末にコピーしてください。⇒P.299
- 受信側の端末によっては、動画が粗くなったり連続静止画に変換されて表示される場合があります。

添付ファイル削除

選択している添付ファイルを削除します。

1 メール作成画面▶添付ファイルを選んで［iα］(機能)▶添付ファイル削除▶YES

添付ファイル全削除

1 メール作成画面▶［iα］(機能)▶添付ファイル全削除▶YES

＜えチャット＞

えチャットを使う

音声電話中の相手に静止画を送ります。静止画はｉモードメールの添付ファイルとして送信され、通話中に画像を見ることができます。えチャットを利用するには、あらかじめ相手の電話番号とメールアドレスを同じ電話帳に登録しておく必要があります。
相手側の機種によっては、通話中に画像を見られない場合があります。

静止画を撮影して送信する

音声電話中に静止画を撮影して送信します。

1 音声電話中▶［iα］(機能)▶えチャット撮影／送信▶フォトモード

カメラが起動します。

2 ［●］(撮影)を押す

静止画が撮影されます。

- 撮影画面で［☎］を押すと通話画面に戻ります。
- 撮影画面の操作について⇒P.157

撮影画面

3 ［●］(送信)▶フォルダを選択▶メールアドレスを選択

静止画が送信されます。

- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択します。
- ［iα］(機能)→「保存&メール送信」を選択しても送信できます。
- ［✉］(取消)を押すか、［iα］(機能)→「取り消し」を選択すると、送信を中止できます。
- ［iα］(機能)→「ピクチャ貼付」「ファイル制限」を設定することもできます。⇒P.153、P.160

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- カメラの画像サイズは、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)です。

静止画を選択して送信する

保存されている静止画を送信します。

1 音声電話中▶[iα]([機能])▶えチャット撮影/送信▶マイピクチャ

2 フォルダを選択▶静止画を選択▶メールアドレスを選択

静止画が送信されます。

- QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)のファイルのみ選択できます。
- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択します。

えチャットを受信すると

「えチャット表示設定」を「自動表示する」に設定していると、自動で静止画が表示されます。
複数のえチャットを受信したときは[○]で静止画を切り替えることができます。

- 音声電話中に[iα]([機能])→「えチャット表示」を選択すると、受信している静止画を表示できます。
- 音声電話中に[iα]([機能])→「iモード問い合わせ」を行うこともできます。⇒P.214

お知らせ

- 次の場合、えチャットは利用できません。
  - ･通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていないとき
  - ･通話中の相手の電話番号とメールアドレスがシークレットデータとして電話帳に登録されているとき
  - ･音声電話を受けた側に、電話番号が通知されない状態(非通知設定、公衆電話、通知不可能など)のとき(ただし、電話をかけた側からは送信可能です。)
  - ･指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
  - ･保存BOXがいっぱいのとき(送信できません。)
  - ･受信BOXが未読または保護されているメールでいっぱいのとき(受信できません。)
  - ･10000バイトを超えるJPEG形式の画像が添付されたiモードメールの受信中
  - ･キャッチホン中のとき
- 画像によってはえチャット送信できない場合があります。
- 送受信したえチャットは、画像添付メール(題名は電話番号)として送信BOX/受信BOXに保存されます。送信時に中止した場合は保存BOXに保存されます。

<メール自動受信>
iモードメールを自動的に受信する

FOMA端末が通話圏内にあるときには、自動的にiモードメール・SMS・SMS送達通知が送られてきます。(iモードメールを選択して受信するには⇒P.214)
メールが届くと画面の上部に「(グレー)」が表示されます。
受信したiモードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで保存できます。

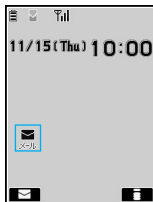
1 iモードメールを受信すると「(グレー)」が点滅し、受信中のメッセージが表示される

受信結果
メール 1
メッセージR 0
メッセージF 0
戻る

受信結果画面

受信が終わると、受信したiモードメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。
- 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- 受信を途中で中止する場合は、「メール受信中･･･」と表示されている間に(中止)または(1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

何も操作しないで約15秒経過すると

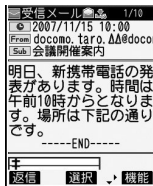
元の画面に戻ります。(「メール/メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)
- デスクトップに「」が表示されます。
→「」→(選択)を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。

FOMA端末を閉じているときは

⇒P.28

お知らせ
- 受信メールの最大保存件数を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読または保護されている受信メールは上書きされません。
- FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「(紺色)」が表示されます。iモードメールを受信するには、「(紺色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「iモード問い合わせ」を行ってください。
- iモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルはiモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。
- 以下のような場合にメールを受信したときは、iモードセンターに保管されます。

  ･電源OFFのとき　･テレビ電話中
  ･セルフモード設定中　･圏外のとき
  ･赤外線通信中　･FirstPassセンター接続中
  ･おまかせロック中　･お預かりセンターに接続中
  ･保護または未読メールにより、受信BOXの容量が満杯のとき
  ･microSDへコピー中
- iモードセンターにiモードメールが保存されているときは「(グレー)」が、iモードセンターのiモードメールが一杯のときは「(紺色)」が表示されます。

新着 i モードメールを表示する

1 受信結果画面▶メール▶表示したい i モードメールを選択

i モードメール表示切替機能

i モードメールの詳細画面(本文)を表示しているときに[メール]を1秒以上押して文字の大きさを変更できます。
フォルダ一覧／メール一覧画面の文字サイズも同時に変更されますが、「縮小表示」に設定した場合、フォルダ一覧／メール一覧画面では標準表示になります。

お知らせ

- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。
- i モードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- i モードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。また、画像サイズが横240ドットを超えている場合は、縦横比を保ったまま横240ドットまで縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール(HTMLメール)を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

<キラリメール>

キラリメールを受信したときは

キラリメールとは、メール本文中のキラリメール対応絵文字に合わせて着信／充電ランプが光る機能です。
メール受信時、メールの詳細画面表示時、メール作成中のプレビュー表示時に着信／充電ランプが光ります。

- **メール受信時**
  - ・i モードメール、SMSに関わらず、対応絵文字が含まれていれば光ります。
  - ・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに対して光ります。
  - ・通常の着信／充電ランプが点滅したあと光ります。
  - ・公共モード(ドライブモード)中、通話中に受信した場合は光りません。
- **メールの詳細画面表示時**
  - ・メロディが添付または貼り付けられている場合は、メロディ再生後に光ります。
  - ・詳細画面以外に移ったときは、点灯や点滅は中断されます。
  - ・メール連動型 i アプリでメールを表示した場合は光りません。
- **メール作成中のプレビュー表示時**
  - ・「キラリメール設定」の設定に関わらず光ります。

着信／充電ランプの点灯や点滅を確認するには

受信メール詳細画面、送信メール詳細画面、メール作成画面、送信プレビュー表示の画面で[＊]を押します。

- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面、送信プレビュー表示の画面で[iα]([機能])→「キラリメール確認」を選択しても確認できます。
- 「キラリメール設定」の設定に関わらず確認できます。
- メール作成画面で確認した場合は、いずれかのボタンを押すと点灯や点滅は停止します。

お知らせ

- 点灯中や点滅中に着信などがあった場合は中断されます。

■キラリメール対応絵文字一覧

絵文字	ランプ色	光りかた
	白	A
	白	A
	白	A
	白	B
	白	C
	白	C
	白	C
	白	C
	赤	A
	赤	A
	赤	A
	赤	A
	赤	B
	赤	C
	赤	C
	赤	C
	黄	A
	黄	C
	黄	C
	黄	C

絵文字	ランプ色	光りかた
	黄	C
	黄	C
	黄	C
	緑	C
	水色	A
	水色	C
	水色	C
	水色	C
	青	A
	青	C
	青	C
	青	C
	青	C
	青	C
	ピンク	A
	ピンク	C
	ピンク	C
	ピンク	C
	ピンク	C
	グラデーション	C

●光りかたA:約1秒間速く点滅
●光りかたB:約1秒間点灯
●光りかたC:約2秒間点灯
※ランプ色はイメージです。

キラリメール設定

お買い上げ時	すべてチェックあり

キラリメールを受信したり表示したときに、対応絵文字に合わせて着信／充電ランプが光るかどうかを設定します。

1 待受画面▶✉(✉)▶メール設定
▶キラリメール設定
▶設定したい項目にチェック▶✉(完了)

自動表示設定.....キラリメールの詳細画面を表示したときに着信／充電ランプが点灯･点滅。
着信時設定.........キラリメールを受信したときに着信／充電ランプが点灯･点滅。

<メール選択受信>
iモードメールを選択して受信する

iモードセンターに保管されているiモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。
メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にiモードメールを受信できません。

メール選択受信設定

お買い上げ時	OFF

iモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 待受画面▶✉(✉)▶メール設定▶メール選択受信設定▶ON・OFF

メールを選択受信する

1 待受画面▶✉(✉)▶メール選択受信

- 「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。●(選択)を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。
- 「メニュー▶iモード▶iMenu▶メニュー／検索▶メール選択受信」の操作を行ってもメール選択受信画面が表示されます。

2 「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」の手順に従って操作する

お知らせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合は、自動的にiモードメールを受信できません。送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管され、「▮」が表示されます。その際、メール着信音は鳴らずマナーモードやバイブレータを設定していても振動しません。受信するには、「iモード問い合わせ」や「メール選択受信」を行ってください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定していても「iモード問い合わせ」を行うとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。⇒P.215
- メール選択受信画面を表示した場合、「▮」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「▮」のアイコンは消灯します。
- SMSは選択して受信できません。

<iモード問い合わせ>
iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

iモードセンターに届いたiモードメールやメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、iモードセンターに保管されます。
「▮(グレー)」が表示された場合は、iモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。
「▮」が表示された場合⇒P.214「メール選択受信」

1 待受画面▶✉(1秒以上)

「✉(グレー)」と「R(グレー)・F(グレー)」が点滅して「問い合わせ中」と表示され、iモードメールやメッセージR/Fを受信します。
問い合わせ結果には、新しく受信したiモードメールとメッセージR/Fの件数を表示します。

- 「メニュー▶メール・iモード▶iモード問い合わせ」の操作を行っても問い合わせできます。
- 受信を途中で中止する場合は、●(中止)またはCLR(1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

お知らせ

- 「(紺色)」「(紺色)・(紺色)」「(紺色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールやメッセージR/Fを受信できません。不要なメールやメッセージを削除するか、未読のメールやメッセージを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージは、古いものから順に自動的に上書きされます。)
- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「(グレー)」や、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯になっていることを示すアイコン「(紺色)」が表示されないことがあります。(FOMA端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など)
- 問い合わせをする項目を「ｉモード問い合わせ設定」で選択できます。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

ｉモード問い合わせ設定

お買い上げ時	すべてチェックあり

「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目をｉモードメール、メッセージR、メッセージFの中から設定します。

1 **メニュー ▶ 設定 ▶ アプリケーション通信設定 ▶ ｉモード問い合わせ設定 ▶ 問い合わせたい項目にチェック ▶ ✉(完了)**

お知らせ

- メッセージRやメッセージFをｉモード問い合わせで受信したくない場合は、「□」にしてご利用ください。

受信したｉモードメールに返信する

返信・引用返信

送信元に返信します。「引用返信」では、受信したｉモードメールの本文を引用して返信できます。
SMSは引用返信できません。

1 **受信メール一覧画面・受信メール詳細画面 ▶ iα(機能) ▶ 返信・引用返信**

- 受信メール詳細画面表示中は、✉(返信)でも返信できます。
- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
  「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。
- 引用符(⇒P.236)は、引用返信するｉモードメールの本文の先頭にひとつだけ付きます。

2 **題名、本文を入力して送信する**

ｉモードメールを選択していた場合⇒P.199手順3へ
SMSを選択していた場合⇒P.242手順3へ
送信すると「」が「」に変わります。

参照返信

画面上にメール本文入力画面、画面下に受信メール詳細画面が表示され、受信メールを参照しながら本文を入力できます。SMSは参照返信できません。

1 **受信メール一覧画面・受信メール詳細画面 ▶ iα(機能) ▶ 参照返信**

- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
  「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。

▶▶次ページにつづく

2 本文を入力

- （メール）を押すごとにメール本文入力画面の操作と受信メール詳細画面の操作を切り替えることができます。
  （iα）（機能）→「ウィンドウ切替」を選択しても切り替わります。
- （メール）を1秒以上押すと、本文のプレビューを表示できます。
  （iα）（閉）を押すと元の画面に戻ります。
- メール本文入力画面を全画面に表示するには、（iα）（機能）→「全画面／参照切替」を選択します。もう一度操作すると画面下に受信メール詳細画面が表示されます。

3 題名を入力して送信する

⇒P.199手順3へ
送信すると「」が「」に変わります。

お知らせ

- 返信できない送信元（メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど）には「」が表示されます。
- 返信または引用返信、参照返信する際は題名に「Re:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。（すでに「Re:」が付いているときは「Re2:」となり、「Re99:」まで付きます。）
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについて⇒P.221
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。

<転送>

受信したｉモードメールを転送する

ｉモードメールやSMSを他の人に転送できます。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面 ▶（iα）（機能）▶転送

2 宛先を入力して送信する

ｉモードメールを選択していた場合⇒P.199手順2へ
SMSを選択していた場合⇒P.241手順2へ
送信すると「」が「」に変わります。

お知らせ

- 転送する際は題名に「Fw:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。（すでに「Fw:」が付いているときは「Fw2:」となり、「Fw99:」まで付きます。）
- 取得されていない画像があるｉモードメールを転送すると、画像の情報は削除されます。
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについて⇒P.221
- microSDメモリーカード内に保存されているメールを転送する場合は、添付ファイルは削除されます。

<メロディ再生><メロディ保存>

ｉモードメールからメロディを再生・保存する

メロディを再生する

添付または貼り付けられているメロディを再生できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面 ▶添付または貼り付けメロディを選択

メロディを保存する

添付または貼り付けられたメロディを保存して、着信音に設定します。送信元がFOMA P704iμ以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面 ▶添付または貼り付けメロディを選択 ▶ i α (機能) ▶データ保存▶YES

⇒P.179「メロディダウンロード」手順2へ

- 複数のメロディが添付または貼り付けられているときは、登録するメロディを で選択してから操作してください。
- 保存されているメロディがいっぱいのとき⇒P.180

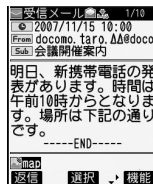
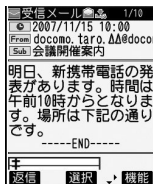
お知らせ

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

＜画像表示＞＜画像保存＞

添付画像を表示・保存する

画像表示

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面 ▶添付画像を選択

- を押すごとに、画像表示とファイル名表示が切り替わります。

10000バイトを超えるJPEG形式の画像を受信したときは

10000バイトを超えるJPEG形式の画像が添付されたｉモードメールを受信すると、画像は自動的に取得され、「ｉモード」フォルダに保存されます。「 画像あり」が表示されているときは、画像が自動的に取得できず、ｉショットセンターに保管されています。この場合は、以下の操作を行い保管されている画像を「ｉモード」フォルダに保存します。

1.「 画像あり」を選択

10000バイトを超えるJPEG形式の画像の取得が開始されます。取得が完了すると画像が保存され、受信メールの画面に戻ります。

- 途中で中止する場合は、 (中止)または (1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより取得されることがあります。
- 取得したデータが正しくない場合は「 」が表示されます。

お知らせ

- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。ただし、大きすぎる画像は表示されない場合があります。

データ保存

添付された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。

- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像はメール受信時にすでに保存されているため、この操作は不要です。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面 ▶添付画像を選択▶ i α (機能) ▶データ保存 ▶YES

⇒P.178「画像ダウンロード」手順2へ

- 保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180

挿入画像保存

デコメールの本文やテンプレートに挿入された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面・テンプレート詳細画面▶ (機能)▶挿入画像保存▶画像を選択▶YES**

⇒P.178「画像ダウンロード」手順2へ

- 保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180

<i モーションメール>

iモーションメールからiモーションを再生・保存する

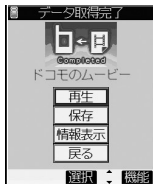
iモーション取得

受信したiモーションメール中のURLを選択することにより、iモーションメールセンターに保管されているiモーションを取得して保存します。

1 **待受画面▶ ( )▶受信BOX▶フォルダを選択▶iモーションメールを選択**

2 **URLを選択▶YES**

iモーションの取得が開始されます。

- 取得しながら再生できるiモーションの場合は、取得中にiモーションが再生されます。

3 **保存▶YES▶保存したいフォルダを選択**

⇒P.191手順2へ

- 保存されているiモーションがいっぱいのとき⇒P.180

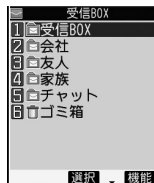
<受信BOX><送信BOX><保存BOX>

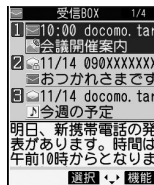
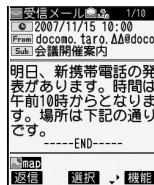
受信／送信／保存BOXのメールを表示する

受信BOXのメールを表示する

受信したiモードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで保存できます。
受信したiモードメールやSMSを確認できます。

1 **待受画面▶ ( )▶受信BOX▶フォルダを選択**

- 「 ▶ 」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。

受信フォルダ一覧画面

2 **メールを選択**

受信メール一覧画面

受信メール詳細画面

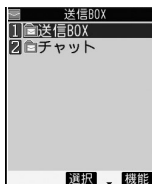
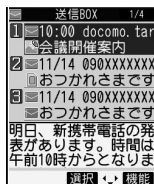
- 未読のメールを選択した場合は「 (ピンク)」が「 」に変わります。
- で他のメールを確認できます。
- や を押すと画面単位でスクロールします。
- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。（「開封時メロディ再生設定」で変更できます。）

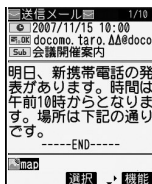
送信BOXのメールを表示する

送信したｉモードメールやSMSは合わせて最大400件まで保存できます。
送信したｉモードメールやSMSを確認できます。

1 待受画面▶[✉](✉)▶送信BOX▶フォルダを選択

送信フォルダ一覧画面

- 「[メニュー]▶[メール]」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。

2 メールを選択

送信メール一覧画面

送信メール詳細画面

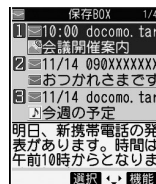
- [○]で他のメールを確認できます。
- [▼]や[▲]を押すと画面単位でスクロールします。

保存BOXのメールを表示する

送信せずに保存してあるｉモードメールやSMSを編集して送信できます。
ｉモードメールとSMSを合わせて最大20件まで保存できます。

1 待受画面▶[✉](✉)▶保存BOX

保存メール一覧画面

- 「[メニュー]▶[メール]」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。

2 メールを選択

ｉモードメールを選択していた場合⇒P.199手順2へ
SMSを選択していた場合⇒P.241手順2へ

お知らせ

- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、それに対応するメール連動型ｉアプリが起動します。

お願い

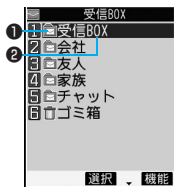
FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(⇒P.294)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(⇒P.378)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

受信／送信／保存メール一覧画面・詳細画面の見かた

■メールメニュー

アイコンには以下のマークが付くことがあります。

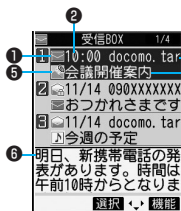
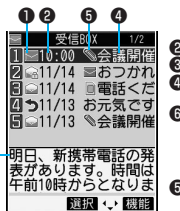
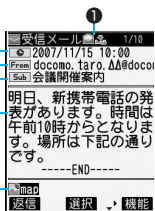
アイコン	説明
NEW	受信BOXに未読メールあり
!	送信BOXに送信に失敗したメールあり 保存BOXに保存メールあり
鍵	「メールセキュリティ設定」設定中 （チャットメールにも表示されます。）

■受信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

未読のメールがあるときは「NEW」、メールセキュリティを設定すると「鍵」が表示されます。

アイコン	説明
フォルダ	通常のフォルダ
フォルダ(iアプリ)	iアプリメール用フォルダ
ゴミ箱	ゴミ箱フォルダ

❷フォルダ名

■受信メール一覧画面と受信メール詳細画面

受信メール一覧画面
2行表示（本文あり）の場合

受信メール一覧画面
1行表示（本文あり）の場合

受信メール詳細画面

❶メールの状態やタイプ

保護設定すると「🔒」が表示されます。

アイコン	説明
（ピンク）	未読メール
	既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール
To Cc Bcc	受信したメールのタイプ（詳細画面のみ）

❷受信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸送信元・同報先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。

アイコン	説明
From	送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
Fm	返信できない送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
To Cc	同報メールアドレス（詳細画面のみ）
To Cc	返信できない同報メールアドレス（詳細画面のみ）

❹題名

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。
（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

アイコン	説明
（青色）	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS

❺添付または貼り付けられているデータ
詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<受信メール一覧画面(2行表示の場合)と受信メール詳細画面>

「添付ファイル削除」するとアイコンに「」が付きます。(詳細画面のみ)

	正常なメロディデータ
／	一部／すべてのメロディデータが不正、または「添付ファイル削除」により削除済み(一覧画面のみ)
	正常な画像データ
／	一部／すべての画像データが不正、または「添付ファイル削除」により削除済み(一覧画面のみ)
	正常な10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データが不正、または「添付ファイル削除」により削除済み(一覧画面のみ)
	取得前の10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ(一覧画面のみ)
	取得前の10000バイトを超えるJPEG形式の画像データが不正
	ｉアプリ起動情報(一覧画面のみ)
	ｉアプリメール(一覧画面のみ)
	複数のデータ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

<受信メール一覧画面(1行表示の場合)>

	正常なメロディデータ·画像データ
／	一部／すべてのメロディデータ·画像データが不正
	正常な10000 バイトを超えるJPEG形式の画像を含むデータ
／	一部／すべての10000バイトを超えるJPEG形式の画像を含むデータが不正
	ｉアプリメール
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❻本文
「メール一覧表示設定」で「2行表示」や「1行表示」に設定している場合、受信メール一覧画面に本文は表示されません。

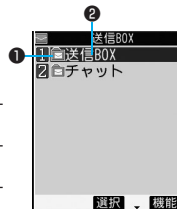
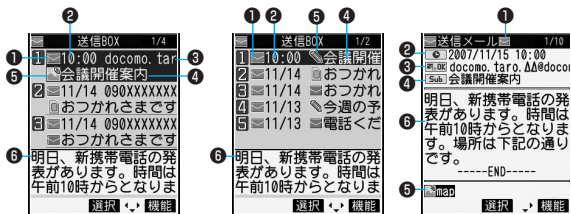
	取得前の10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ
	ｉモーションのURLを記載

■送信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態
メールセキュリティを設定すると「」が表示されます。

	通常のフォルダ
	ｉアプリメール用フォルダ

❷フォルダ名

▶▶次ページにつづく

■送信メール一覧画面と送信メール詳細画面

送信メール一覧画面
2行表示（本文あり）の場合

送信メール一覧画面
1行表示（本文あり）の場合

送信メール 1/10
2007/11/15 10:00
docomo.taro.ΔΔ@docor
Sub 会議開催案内
明日、新携帯電話の発
表があります。時間は
午前10時からとなりま
す。場所は下記の通り
です。
-----END-----
map
選択 機能

送信メール詳細画面

❶メールの状態

保護設定すると「🔒」が表示されます。

（ピンク）	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	すべての宛先に送信できた同報メール

（グレー）	一部の宛先に送信できた同報メール
（ピンク）	すべての宛先に送信できなかった同報メール

❷送信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、送信した日時が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。

To OK　CC OK　BCC OK	送信に成功したメールアドレス（詳細画面のみ）
To ×　CC ×　BCC ×	送信に失敗したメールアドレス（詳細画面のみ）

❹題名

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。
（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

（青色）	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS

	SMS送達通知受信済み（一覧画面（2行表示）と詳細画面のみ）

❺添付されているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

＜送信メール一覧画面（2行表示の場合）と送信メール詳細画面＞

「添付ファイル削除」するとアイコンに「🗑」（詳細画面のみ）／「×」（一覧画面のみ）が付きます。

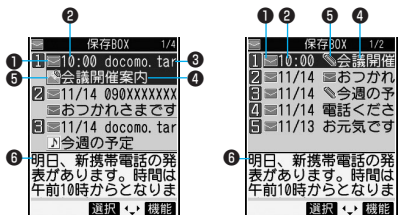
	メロディデータ
	画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ
	iモーションデータ
	iアプリメール（一覧画面のみ）
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

＜送信メール一覧画面（1行表示の場合）＞

	メロディデータ・画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像やiモーションを含むデータ
	iアプリメール
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❻本文

「メール一覧表示設定」で「2行表示」や「1行表示」に設定している場合、送信メール一覧画面に本文は表示されません。

■保存メール一覧画面

2行表示(本文あり)の場合

1行表示(本文あり)の場合

❶メールの状態

(ピンク)	通常のメール
	同報メール

❷保存した時刻や日付

メール一覧画面では、当日保存したメールは時刻が表示され、前日までに保存したメールは日付が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。

❹題名

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。

(青色)	SMSを示す

❺添付されているデータ

＜2行表示の場合＞

	メロディデータ
	画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ
	ｉモーションデータ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

＜1行表示の場合＞

	メロディデータや画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像やｉモーションを含むデータ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❻本文

「メール一覧表示設定」で「2行表示」や「1行表示」に設定している場合、保存メール一覧画面に本文は表示されません。

お知らせ

- 画像が添付されたｉモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像を選択し、●(選択)を押すごとに画像表示とファイル名表示に切り替わります。本書では、説明のため画像表示ではなくファイル名表示で記載している画面があります。
- 送信先や送信元の電話番号またはメールアドレスが、電話帳に登録されている内容と一致した場合は、名前で表示されます。送信元が「電話番号@docomo.ne.jp」の場合、電話帳のメールアドレス欄に「電話番号@docomo.ne.jp」を登録していても名前表示されません。電話番号のみを登録すると名前表示されます。
- 送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致した場合は、名前で表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると名前で表示されます。送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると、名前で表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると名前で表示されます。

メールを管理する

受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。「受信BOX」「送信BOX」「チャット」「ゴミ箱」およびｉアプリメール用の各フォルダ以外に22件までフォルダを追加できます。 ▶**フォルダ名を入力** ● 文字数:全角10／半角20文字まで。
自動振分け設定	⇒P.231
フォルダ名編集	追加したフォルダのみ編集できます。 ▶**フォルダ名を編集** ● 文字数:全角10／半角20文字まで。
メールセキュリティ	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES** フォルダが「 」に変わります。 ● 解除する場合も同様の操作を行います。
フォルダ削除	シークレットメールを含めフォルダ内のメールもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
フォルダ並び替え	フォルダの順番を変更できます。追加したフォルダ、ｉアプリメール用フォルダのみ並べ替えできます。 ▶**でフォルダの順番を変更** ▶**(選択)**
保存件数確認	**受信メール** 全件…全受信フォルダ内の総メール件数※ 未読…全受信フォルダ内の未読メール件数※ 保護…全受信フォルダ内の保護メール件数 **送信メール** 全件…全送信フォルダ内の総メール件数※ 保護…全送信フォルダ内の保護メール件数 **FOMAカード(UIM)** 受信…FOMAカード内の受信SMS件数 送信…FOMAカード内の送信SMS件数 ※FOMAカード内のSMS件数、各フォルダのメール件数を含みます。 ● 確認が終われば を押します。
フォルダ内表示	ｉアプリ用メールフォルダを「フォルダ内表示」にすると、メール連動型ｉアプリを起動することなくフォルダ内のメールを表示できます。
赤外線全件送信	⇒P.309
既読メール全削除［受信フォルダのみ］	全受信フォルダ内の既読メールをシークレットメールを含めてすべて削除します。 FOMAカード内の既読SMSもすべて削除されます。 ▶**YES**
受信メール全削除［受信フォルダのみ］	全受信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。 FOMAカード内の受信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
送信メール全削除［送信フォルダのみ］	全送信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。 FOMAカード内の送信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

<メールセキュリティ>

- メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

<フォルダ削除>

- 対応するメール連動型iアプリがある場合、iアプリメール用フォルダは削除できません。ソフトがない場合はiアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

受信メール一覧画面・送信メール一覧画面・保存メール一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
返信 ［受信メールのみ］	⇒P.215
引用返信 ［受信メールのみ］	⇒P.215
参照返信 ［受信メールのみ］	受信メールを見ながら返信します。 ⇒P.215
転送 ［受信メールのみ］	⇒P.216
再編集 ［送信メールのみ］	送信したメールを再編集して送信します。 iモードメールを選択していた場合 ⇒P.199手順2へ SMSを選択していた場合 ⇒P.241手順2へ
フォルダ移動 ［受信メール・送信メール］	▶**移動先のフォルダを選択** ▶**移動したいメールにチェック** ▶✉(完了)▶**YES**
メール検索（送信元検索） ［受信メールのみ］	送信元のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 ▶**送信元検索**▶**項目を選択** **電話帳** …電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。 **受信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **送信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **直接入力** …メールアドレスや電話番号を入力。 ●文字数：半角50文字まで。
メール検索（宛先検索） ［送信メールのみ］	宛先のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 ▶**宛先検索**▶**項目を選択** **電話帳** …電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。 **送信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **受信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **直接入力** …メールアドレスや電話番号を入力。 ●文字数：半角50文字まで。
メール検索（題名検索） ［受信メール・送信メール］	題名からメールを検索します。 ▶**題名検索**▶**題名を入力** ●文字数：全角15／半角30文字まで。
全表示 ［受信メール・送信メール］	メール検索・ソート機能・フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。

▶▶次ページにつづく

機能メニュー	操作･補足
送信＋受信メール ［受信メール･送信メール］	選択または表示中の送信元や宛先との送受信履歴を表示します。日付･時刻の新しい順に1000件まで表示します。 ▶**送信元または宛先を選択** 対象の送受信メールが表示されます。 ⇦…送信メール ⇨…受信メール ●履歴を選択すると受信メール詳細画面または送信メール詳細画面を表示できます。ch/クリアを押すと元の画面に戻ります。
ソート ［受信メール･送信メール］	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**
フィルタ ［受信メール･送信メール］	条件に合うメールのみを表示します。 ▶**種類を選択**
一覧表示切替	一覧画面で表示する内容を選択します。送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかも選択できます。 ▶**表示する内容を選択** ●#でも切り替えることができます。
全件既読 ［受信メールのみ］	フォルダ内の未読メールを既読メールに変更します。メール検索機能やフィルタ機能でメールを表示させているときは、表示されているメールのみ既読メールになります。 ▶YES
保護／保護解除 ［受信メール･送信メール］	メールを上書き･削除されないように保護します。受信メールは最大500件、送信メールは最大200件(いずれもSMSとｉモードメールの合計で)まで保護できます。保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。 ●受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で1を押しても、保護／保護解除が切り替わります。
保護全解除 ［受信メール･送信メール］	▶YES
カラーラベル ［受信メール･送信メール］	受信メール一覧画面や送信メール一覧画面の文字に色を付け分別できます。 「指定なし」を選択すると通常の文字色になります。 ▶**カラーを選択**
赤外線送信	⇒P.307
赤外線全件送信 ［保存メールのみ］	⇒P.309
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。 ⇒P.297
お預かりセンターに保存	FOMA端末内に保存されているメールをお預かりセンターに保存します。なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。 ▶**端末暗証番号を入力** ▶**保存したいメールにチェック** ▶✉(完了)▶YES ●10件まで選択できます。 ●受信メール詳細画面、送信メール詳細画面表示中は、メールをチェックする操作は不要です。
FOMAカード操作 ［受信メール･送信メール］	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。 ⇒P.342
メール情報 ［受信メールのみ］	送信元のメールアドレスや電話番号、受信日時、題名を確認します。 ●確認が終わればch/クリアを押します。

機能メニュー	操作・補足
保存件数確認	**受信メール** フォルダ内…フォルダ内の総メール件数※1 未読…………フォルダ内の未読メール件数※1 保護…………フォルダ内の保護メール件数 **送信メール** フォルダ内…フォルダ内の総メール件数※2 保護…………フォルダ内の保護メール件数 **保存メール** 全件…………保存BOX内の総メール件数 FOMAカード(UIM) 受信…………FOMAカード内の受信SMS件数 送信…………FOMAカード内の送信SMS件数 ※1「受信BOX」フォルダ選択時はFOMAカード内のSMS件数を含みます。 ※2「送信BOX」フォルダ選択時はFOMAカード内のSMS件数を含みます。 ● 確認が終われば[CLR]を押します。
ゴミ箱へ捨てる [受信メールのみ]	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き(消去)されます。 ▶**ゴミ箱に捨てたいメールにチェック** ▶[✉]([完了])▶YES
削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいメールにチェック** ▶[✉]([完了])▶YES
既読削除 [受信メールのみ]	フォルダ内の既に読んだメールをすべて削除します。 ▶YES
SMS送達通知全削除 [受信メールのみ]	メール検索機能やフィルタ機能でSMS送達通知を表示させているときは、表示されているSMS送達通知のみ削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
全削除	フォルダ内のメールをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

<メール検索>

- メール検索の題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<保護／保護解除>

- 送信メールが最大保存件数まである状態で、送信メールを全件保護するとｉモードメールの作成ができません。

<保護全解除>

- メール検索機能やフィルタ機能でメールを表示させたあとに「保護全解除」を行うと、表示されているメールのみ保護が解除されます。

<カラーラベル>

- microSDメモリーカードへコピーした場合や、FOMAカードへコピー・移動、FOMAカードからコピー・移動した場合、または赤外線送信した場合は、カラーラベルは解除されます。
- FOMAカード内のSMSにカラーラベルを設定した場合、FOMAカードを抜き差しすると、カラーラベルは解除されます。

<お預かりセンターに保存>

- FOMAカードに保存されているSMSは保存できません。
- メールに添付された以下のデータは保存されません。
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･10000バイトを超えるファイル
  - ･ｉモーション
- 圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- お預かりセンターに保存したメールは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。詳しくは「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

<ゴミ箱へ捨てる>

- 未読メールをゴミ箱に捨てると、既読メールになります。

受信メール詳細画面・送信メール詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
返信 [受信メールのみ]	⇒P.215
引用返信 [受信メールのみ]	⇒P.215
参照返信 [受信メールのみ]	受信メールを見ながら返信します。 ⇒P.215
再編集 [送信メールのみ]	送信したメールを再編集して送信します。 iモードメールを選択していた場合 ⇒P.199手順2へ SMSを選択していた場合 ⇒P.241手順2へ
再送信 [送信メールのみ]	▶YES
キラリメール確認	⇒P.213
転送 [受信メールのみ]	⇒P.216
保護/保護解除	⇒P.226
送信+受信メール	メールの相手との送受信履歴を表示します。 ⇒P.226
カラーラベル	メールに色を付けます。⇒P.226
フォルダ移動	▶移動先のフォルダを選択
コピー	▶コピーしたい項目を選択 ●コピーの方法について⇒P.354 ●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、コピーしたいメールアドレスや電話番号を選択します。
アドレス登録	送信元や同報先を電話帳に登録します。⇒P.90
電話帳登録	⇒P.90
自動振分け登録	送信元や題名を振分け条件に登録します。⇒P.231
データ保存	⇒P.217
挿入画像保存	⇒P.207
デスクトップ貼付	⇒P.121
テンプレート保存	送受信したデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶YES ●保存されているテンプレートがいっぱいのとき ⇒P.179 ●保存したテンプレートの確認方法について ⇒P.207
プロパティ	本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ▶画像を選択 ●確認が終われば「OK」を選択します。
貼付URL表示 [受信メールのみ]	iモードメールに貼り付けられている10000バイトを超えるJPEG形式の画像のURLを表示します。半角150文字まで表示できます。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
チャット起動 [受信メールのみ]	送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。 ⇒P.237手順2へ
SMS送達通知表示 [送信メールのみ]	SMSの送信結果や相手に届いた日時などを確認します。SMS送達通知を受信するには、「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定してください。
赤外線送信	⇒P.307
microSDへコピー	⇒P.297
お預かりセンターに保存	⇒P.226
FOMAカード操作	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。⇒P.342

機能メニュー	操作・補足
スクロール設定	スクロールする行数を設定します。 ⇒P.234
文字サイズ設定	⇒P.234
添付ファイル削除	▶YES
ゴミ箱へ捨てる［受信メールのみ］	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き（消去）されます。 ▶YES
削除	▶YES ●[0]でも削除できます。
アドレス表示切替	送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ●[5]でも切り替わります。

お知らせ

＜再送信＞

● 送信に失敗したメールは、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。

＜送信アドレス一覧＞＜受信アドレス一覧＞ 送受信したメールの履歴を表示する

ｉモードメールやSMSを送受信すると、送信アドレス一覧と受信アドレス一覧にそれぞれ30件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号を確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号との送受信があった場合、古いデータは削除されます。

1 送信アドレス一覧の場合

待受画面▶[◯]（1秒以上）

[SMS]…送信に成功したSMS
[MAIL]…送信に成功したｉモードメール
[×SMS]…送信に失敗したSMS
[×MAIL]…送信に失敗したｉモードメール

送信アドレス一覧画面

● 「[メニュー]▶[ユーザデータ]▶発信履歴▶[iα]（機能）▶送信アドレス一覧」の操作を行っても送信アドレス一覧画面が表示されます。
● 送信アドレス一覧画面で[✉]（切替）を押すとリダイヤルが表示されます。発信履歴から送信アドレス一覧画面を表示していた場合は、[✉]（切替）を押すと発信履歴が表示されます。

▶▶次ページにつづく

受信アドレス一覧の場合

待受画面▶○(1秒以上)

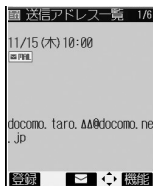
SMS ..... SMS
MAIL ..... ｉモードメール

- 「メニュー▶ユーザデータ▶着信履歴▶全着信･不在着信▶iα(機能)▶受信アドレス一覧」の操作を行っても受信アドレス一覧画面が表示されます。
- 受信アドレス一覧画面で✉(切替)を押すと着信履歴が表示されます。

受信アドレス一覧画面

2 表示したい履歴を選択

アドレス一覧の詳細画面が表示されます。

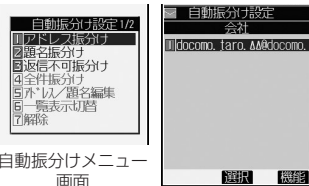
- 相手の電話番号が通知されなかったSMSの場合は、非通知理由が表示されます。
- 表示されたアドレスにｉモードメールを送るには●(✉)を押してP.199手順3へ、電話番号にSMSを送るには●(✉)を押してP.242手順3へ進みます。
- 電話帳に登録する場合は、✉(登録)を押します。⇒P.90手順2へ

送信アドレス一覧の場合

送信アドレス一覧･受信アドレス一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
電話帳登録	⇒P.90
デスクトップ貼付	⇒P.121
ｉモードメール作成	宛先欄にメールアドレスが入力されます。 ⇒P.199手順3へ
SMS作成	宛先欄に電話番号が入力されます。 ⇒P.242手順3へ
電話発信	メールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信します。 **▶発信方法を選択** ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。設定を解除する場合は「設定解除」を選択します。 ●電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。 **▶発信** ●国際電話をかける場合は「国際電話発信」を選択し、国際電話アクセス番号を選択したあと、再度機能メニューから「電話発信」を選択し、上記の操作を行います。⇒P.61 ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。⇒P.48手順2へ
リダイヤル表示･発信履歴表示 [送信アドレス一覧のみ]	リダイヤル一覧画面または発信履歴一覧画面を表示します。
着信履歴表示 [受信アドレス一覧のみ]	着信履歴一覧画面を表示します。すべての着信履歴(全着信)を表示します。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい履歴にチェック ▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

＜自動振分け設定＞
送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダ、iアプリメール用フォルダにのみ設定できます。

1 受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面▶i(機能)▶自動振分け設定

自動振分けメニュー画面

自動振分け設定画面

P.232の機能メニュー表の操作を行って自動振分けを設定します。
すでに振り分け条件が設定されているフォルダを選択した場合は、自動振分け設定画面が表示されます。

自動振分け登録

送受信したメールの詳細画面から振り分ける条件とフォルダを設定します。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶i(機能)▶自動振分け登録▶以下の操作を行う

項目	操作･補足
アドレス振分け	表示している送信元や宛先を振り分け条件として設定します。 ▶**フォルダを選択** ●複数の宛先があるときは、アドレスを選択します。
題名振分け	表示している題名を編集して振り分け条件として設定します。 ▶**題名を編集**▶**フォルダを選択**

条件を変更するときは
再設定または上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。

同じ条件が他のフォルダに設定されているときは
変更するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると他のフォルダに設定されていた条件は解除され、選択しているフォルダに設定を変更します。
●メールセキュリティがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。

「アドレス振分け」が設定されているフォルダに別のアドレスを登録するときは
追加するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると追加登録されます。

お知らせ
●各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。
●複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
①全件振分け
②題名振分け
③返信不可振分け･送信失敗振分け
④アドレス振分け(アドレス参照入力･直接入力)
⑤アドレス振分け(メールメンバー参照)
⑥アドレス振分け(グループ参照)
●同報送信した送信メールは、「アドレス振分け」や「送信失敗振分け」では振り分けされません。

自動振分け設定画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
アドレス振分け（アドレス参照入力）	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を電話帳や送信・受信アドレス一覧から設定します。 ▶アドレス参照入力▶項目を選択 **電話帳** …電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。 **受信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **送信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。
アドレス振分け（グループ参照）	フォルダに振り分けるグループを設定します。 ▶グループ参照▶グループを選択
アドレス振分け（メールメンバー参照）	フォルダに振り分けるメールメンバーを設定します。 ▶メールメンバー参照▶メールメンバーを選択
アドレス振分け（直接入力）	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。 ▶直接入力▶メールアドレスや電話番号を入力 ●メールアドレスや電話番号の文字数：半角50文字まで。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。電話番号のみを入力するとSMSも振り分けることができます。
題名振分け	フォルダに振り分けるｉモードメールの題名を入力します。1つのフォルダに設定できる題名は1件です。 ▶題名を入力
返信不可振分け	返信不可のメールを振り分けるよう設定します。 1つのフォルダにのみ設定できます。
送信失敗振分け	送信に失敗したメールを振り分けるよう設定します。 1つのフォルダにのみ設定できます。
全件振分け	ｉアプリメール用フォルダにすべてのメールを振り分けるよう設定します。受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにのみ設定できます。「全件振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。 ▶YES
アドレス／題名編集	フォルダに設定したメールアドレス、電話番号、題名を編集・登録します。 ▶メールアドレス、電話番号、題名を編集
一覧表示切替	メールの宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶名前表示・アドレス表示 ●[#]でも切り替えることができます。
解除	振り分け条件を解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶YES
選択解除	メールアドレスや電話番号などを選択して解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶解除したいメールアドレスや電話番号などにチェック▶[✉]（完了）▶YES ●[#]を押して名前とメールアドレス（電話番号）を切り替えることができます。
全解除	振り分け条件をすべて解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶YES

お知らせ

<アドレス振分け(グループ参照)>
- 自動振分け設定画面では、グループ名の前に「GR」が表示されます。
- 「グループ00」やFOMAカード内のグループは設定できません。
- 「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードでシークレットメールを受信した場合は、フォルダに振り分けられません。

<アドレス振分け(メールメンバー参照)>
- 自動振分け設定画面では、メールメンバー名の前に「」が表示されます。

<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「受信BOX」や「送信BOX」に最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

<全件振分け>
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。

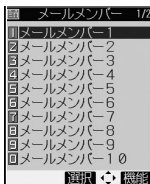
<メールメンバー>

メールメンバーを作成する

メニュー 9 7

メールアドレスをグループごとに登録します。決まった複数の相手にメールを送信できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。
グループは20件まで作成できます。

1 メニュー▶▶**メールメンバー**
▶**登録したいメールメンバーを選択**

- メールメンバーにメールアドレスが登録されている場合、画面左下に「✉」が表示されます。✉(✉)を押すと、選択しているメールメンバーにｉモードメールを送信します。⇒P.199手順3へ

メールメンバー一覧画面

2 **<未登録>を選んで✉(編集)を押す**

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、メールメンバーアドレス確認画面が表示されます。

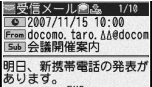
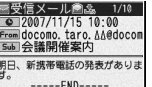
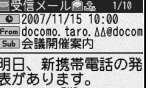
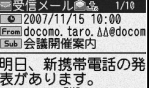
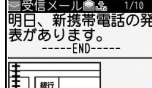
メールメンバー詳細画面

3 **メールアドレスを入力**

- 文字数:半角50文字まで。

手順2～手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。

メールメンバー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモードメール作成	メールメンバー宛のｉモードメールを作成します。 ⇒P.199手順3へ
メンバー名編集	▶**メールメンバー名を入力** ●文字数:全角10/半角20文字まで
メンバー名初期化	メールメンバー名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

メールメンバーアドレス一覧画面・メールメンバーアドレス確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
アドレス編集	⇒P.233手順3へ ✉(編集)でもアドレス編集できます。
アドレス参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶**項目を選択** **電話帳** …電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。 **送信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **受信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。
1件削除	▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

<メール設定>
iモードメールやSMS(ショートメッセージ)の詳細設定について

1 待受画面▶✉(［✉］)▶メール設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
スクロール設定 お買い上げ時 1行スクロール	メール詳細画面・メール作成画面・プレビュー表示の画面で◎を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶**行数を選択** ●送信メールや受信メール表示中は、i α(機能)→「スクロール設定」を選択します。
文字サイズ設定 お買い上げ時 拡大表示	メール一覧画面と、メール詳細画面本文の文字サイズを設定します。 ▶**文字サイズを選択** ●送信メールや受信メール表示中は、i α(機能)→文字サイズ設定」を選択するか、3を押します。 標準表示　縮小表示　拡大表示
メール一覧表示設定 お買い上げ時 2行表示(本文あり)	メール一覧画面でメールを表示する行数や画面下に本文を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示方法を設定**
本文表示設定 お買い上げ時 通常表示	受信メールを通常表示(先頭から表示)するか、本文から表示するか設定します。 ▶**通常表示・本文から表示** 通常表示　本文から表示
開封時メロディ再生設定 お買い上げ時 自動再生する	受信メールの本文を表示時に、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。 ▶**自動再生する・自動再生しない**
冒頭文／署名設定	冒頭文・署名・引用符を登録します。⇒P.236
メールセキュリティ設定	メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。⇒P.138
受信表示設定 お買い上げ時 通知優先	他の機能を操作中でもメール受信中やメール受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。 ▶**通知優先・操作優先** **通知優先**…メール受信時に受信中や受信結果画面を優先。 **操作優先**…メール受信時に操作中の画面を優先。
メール選択受信設定	iモードメールを選択受信するかどうかを設定します。⇒P.214
添付ファイル設定 お買い上げ時 すべて有効	iモードメールに添付されるファイルを受信するかどうかを設定します。 ▶**受信する項目を選択**
えチャット表示設定 お買い上げ時 自動表示する	えチャットを受信したときに、自動的に静止画を表示するかどうかを設定します。 ▶**自動表示する・自動表示しない**
キラリメール設定	キラリメール受信時の動作を設定します。⇒P.213
チャット設定	チャットメールの設定を行います。⇒P.239

項目	操作・補足
SMS送達通知設定	SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。 ⇒P.244
SMS有効期間設定	SMSがSMSセンターに保存される期間を設定します。 ⇒P.244
SMS本文入力設定	SMSの本文に入力できる文字を設定します。 ⇒P.244
シークレットメール表示設定	シークレットメールの表示方法を設定します。 ⇒P.138
カラーラベル自動設定	受信メール一覧画面での送信元や受信した日付・時刻などの表示色をメールアドレスごとに指定します。 10件まで登録できます。 ▶<未登録>▶項目を選択 **電話帳** …電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。 **送信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **受信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **直接入力** …メールアドレスや電話番号を入力。 ●[iα]（機能）→「カラー選択」を選択してもカラーを選択できます。 ●設定済みの項目を削除するには[iα]（機能）→「1件削除」または「全削除」→「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。 ▶カラーを選択
メール設定確認	メール設定の各項目の設定状態を確認します。 ●[○]で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば[CLR]を押します。
メール設定リセット	「メール設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目については「機能一覧表」を参照してください。⇒P.390 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<文字サイズ設定>

- メール本文表示中に[○]を1秒以上押しても、文字サイズを変更できます。⇒P.212、P.243
  その場合、本機能の設定も変更されます。
- 一覧画面と詳細画面本文以外では標準表示になります。

<メール一覧表示設定>

- 2行表示に設定すると一覧画面では名前が表示され、1行表示に設定すると題名が表示されます。
- 本文ありに設定すると、受信メール一覧画面から「返信」「引用返信」「参照返信」「転送」が操作でき、送信メール一覧画面から「再編集」が操作できます。

<本文表示設定>

- 「本文から表示」に設定していても、メール本文の文字数により本文から表示されない場合があります。

<開封時メロディ再生設定>

- SDオーディオ再生中、一時停止中は、「開封時メロディ再生設定」の設定に関わらず添付または貼り付けられているメロディは再生されません。

<添付ファイル設定>

- 無効に設定している添付ファイルを受信した場合は、iモードセンターで添付ファイルが削除されます。削除されたファイルは、再度受信できません。

<カラーラベル自動設定>

- 本機能を設定しても、すでに受信したメールの表示色は変更されません。

冒頭文／署名設定

冒頭文・署名・引用符を登録します。また、冒頭文や署名を自動的に貼り付けるかどうかも設定します。

1 待受画面▶✉(✉)▶メール設定▶冒頭文／署名設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
冒頭文 お買い上げ時 未入力 （自動貼付する）	冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文のことです。 ▶冒頭文の欄を選択▶冒頭文を入力 ▶✉(完了) ● 文字数：全角5000／半角10000文字まで。 ● 冒頭文の入力方法について⇒P.199手順4 ● 冒頭文を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「☑」を「☐」にします。
署名 お買い上げ時 未入力 （自動貼付する）	署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。 ▶署名の欄を選択▶署名を入力 ▶✉(完了) ● 文字数：全角5000／半角10000文字まで。 ● 署名の入力方法について⇒P.199手順4 ● 署名を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「☑」を「☐」にします。
引用符 お買い上げ時 〉	引用符とは、引用返信するときなどに受信メールから引用したことを表す記号です。 ▶引用符を入力 ● 文字数：全角10／半角20文字まで。

お知らせ

- 「自動貼付」にチェックを付けていても、えチャット・テンプレート・ｉアプリからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。
- SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。

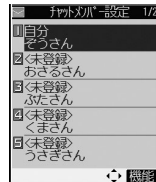
<チャットメール>

チャットメールを利用する

チャットメールでは、1つの画面で複数の相手とメールのやりとりができます。

チャットメンバーを登録する

チャットメールを行うには、あらかじめチャットメンバーに相手のメールアドレスを登録しておく必要があります。チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。

1 待受画面▶✉(✉)▶チャットメール▶iα(機能)▶チャットメンバー▶<未登録>▶メールアドレスを入力

チャットメンバー一覧画面

- 編集する場合は、登録済みのメンバーを選択します。
- メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 文字数：半角50文字まで。

お知らせ

- 登録済みのメンバーのメールアドレスを編集した場合は、メンバー名と画像も変更されます。

チャットメンバー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	メールアドレスを編集します。⇒P.236「チャットメンバーを登録する」手順1へ
メンバー参照入力	電話帳、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶**項目を選択** **電話帳** …電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。 **送信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **受信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。
メンバー入れ替え（チャットグループ）	チャットグループに登録されているメンバーをチャットメンバーに登録します。 ▶**チャットグループ** ▶**グループ一覧・メンバー一覧** **グループ一覧**…チャットグループ単位で選択。 **メンバー一覧**…チャットグループに登録されている全メンバーから選択。 ●「グループ一覧」を選択した場合は、チャットグループを選択します。選択したチャットグループのメンバーが登録されます。 ●「メンバー一覧」を選択した場合は、登録したいメンバーをチェックし、[メール]（完了）を押します。
メンバー入れ替え（メールメンバー）	メールメンバーに登録されているメールアドレスをチャットメンバーに登録します。 ▶**メールメンバー** ▶**メールメンバーを選択**
詳細設定確認	チャットメンバーのメンバー名、画像、背景色、メールアドレスを確認します。 ●[左右]でメンバーを切り替えることができます。 ●ユーザ（自分）のメールアドレスは表示されません。
削除	▶YES
全削除	▶YES

チャットメールをやりとりする

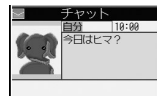
1 **待受画面▶[メール]（[メール]）▶チャットメール**

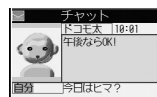
チャットメール画面

2 **[決定]（選択）▶文字を入力**

入力した文字が入力ボックスに表示されます。
● 文字数：全角250／半角500文字まで。

3 **[メール]（送信）を押す**

チャットメールが送信されます。
送信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。

4 **受信中の画面が表示され、チャットメールを受信する**

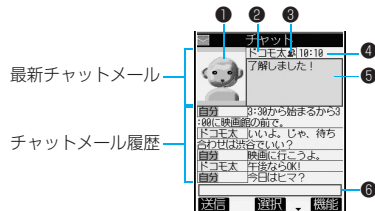
受信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。
手順2～手順4を繰り返してチャットメールをやりとりします。

5 **[iα]（機能）▶チャット終了▶YES・NO**

YES…既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除します。
NO……既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除しません。

チャットメールが終了します。
● [ch/クリア]または[終話]を押してチャットメールを終了できます。
● 送受信したチャットメールが1件もない場合、確認画面は表示されません。

▶▶次ページにつづく

チャットメール画面

以下のように表示されます。

❶画像

チャットグループで登録した画像が表示されます。

❷メンバー名

チャットグループに登録されているメンバー名が表示されます。また、設定されている背景色で表示されます。

- チャットグループに登録されていない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4／半角8文字までが表示されます。

❸同報マーク

複数の宛先が設定されているチャットメールを受信した場合に表示されます。

(青色)：すべての宛先がチャットメンバーに登録されている場合

(紺色)：チャットメンバーに登録されていない宛先がある場合

❹送受信日時

送受信した日時を表示します。当日送受信したチャットメールは時刻が表示され、前日までに送受信したチャットメールは日付が表示されます。

❺本文

チャットメールの本文を表示します。表示される本文は全角250／半角500文字までです。

本文が4行を超える場合は が表示され、 でページを切り替えることができます。

- チャットメール履歴の本文はページの切り替えができません。
- 正常に送信されたチャットメールの本文は黒色で表示されます。送信に失敗したチャットメールの本文はグレーで表示されます。

❻入力ボックス

入力した文字（送信する文字）の先頭から1行分を表示します。

お知らせ

- 複数の相手とチャットメールをやり取りした場合の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。）
- 「メール選択受信設定」が「ON」に設定されていると、チャットメールは行えません。
- 受信メールが未読や保護でいっぱいの場合は、チャットメールは行えません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。
- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。（「自動振分け設定」で変更できます。）
- 送信したチャットメールの題名は「チャットメール」（半角）となります。
- チャットメール画面表示中は、チャットメール本文に電話番号・メールアドレス・URLが含まれていても、Phone To／AV Phone To 機能・Mail To 機能・Web To 機能は利用できません。ただし、チャットメールを終了し、「受信BOX」や「送信BOX」からチャットメールを表示した場合は利用できます。

待受中にチャットメールを受信すると

待受中にチャットメールを受信すると、デスクトップに「チャット」が表示されます。

●を押し、「チャット」を選んで●（選択）を押すとチャットメールが起動します。

お知らせ

- 以下の場合に、チャットメールと認識します。
  - ・送信元や宛先のアドレスが、チャットメンバーやチャットグループに登録されている場合
  - ・題名に「チャットメール」（すべて全角、またはすべて半角）が含まれている場合
- チャットメール起動中に、チャットメンバー以外のチャットグループのメンバーからチャットメールを受信した場合も「チャット」が表示されます。

デスクトップ・受信メール・チャットグループからチャットメールを起動すると

チャットメンバーに登録されていないメールアドレスやチャットグループから起動した場合は、登録されているメンバーを削除して起動するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると現在のチャットメンバーを削除して、送信元のメールアドレスやチャットグループのメンバーをチャットメンバーに登録します。

<デスクトップや受信メールから起動した場合>
送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録されます。送信元のメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、そのグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。ただし、送信先に選択されているのは、送信元のメールアドレスのみです。

<チャットグループから起動した場合>
チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。
送信先にはグループのメンバーすべてが選択されています。

チャットメール画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	チャットメールを送信します。
送信先選択	チャットメンバーの中から、チャットメールを送信する宛先を選択します。 ▶送信したい宛先にチェック▶✉(完了)
チャットメンバー	チャットメンバーを登録します。 ⇒P.236
同報宛先確認	同報送信されたチャットメールの宛先を確認します。 ●チャットメンバーに登録されていない宛先がある場合は、チャットメンバーに登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、「YES」を選択し、登録したい宛先をチェックして✉(完了)を押します。 ●チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。
更新	自動的に受信できなかったチャットメールを受信します。新しいチャットメールを受信すると、チャットメール画面が更新されます。
先頭表示	最も新しいチャットメールを表示します。
最終表示	最も古いチャットメールを表示します。
既読削除	受信した既読のチャットメールと送信したチャットメールをシークレットメールや送信に失敗したチャットメールも含めてすべて削除します。 ▶YES
チャット終了	⇒P.237

チャット設定

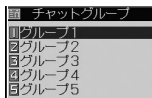
1 待受画面▶✉(✉)▶メール設定▶チャット設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
お知らせ音設定 お買い上げ時 チャットお知らせ音1	チャットメール画面でチャットメールを送受信したときに鳴るお知らせ音を設定します。 ▶フォルダを選択▶お知らせ音を選択 ●お知らせ音を鳴らさない場合は「OFF」を選択します。設定が終了します。 ●チャットメンバーに登録されていないメンバーから受信したときは鳴りません。
チャットメール画像設定 お買い上げ時 有効	チャットメール画面で画像を表示するかしないかを設定します。 ▶有効・無効
ユーザ詳細設定 お買い上げ時 ユーザ名:自分 画像:ぞうさん	ユーザ(自分)の名前、画像を設定します。 ▶ユーザ名欄を選択▶ユーザ名を入力 ●文字数:全角4/半角8文字まで。 ●ユーザ名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶画像欄を選択▶フォルダを選択▶画像を選択

<チャットグループ>
チャットグループを作成する

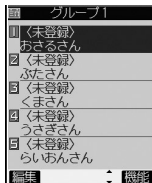
チャットメールを行いたいメールアドレスをグループごとに登録します。
複数のメンバーをグループに登録しておけば、一度にチャットメンバーとして設定できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。
グループは5件まで作成できます。

1 ▶▶**チャットグループ▶登録したいチャットグループを選択**

チャットグループ
1グループ1
2グループ2
3グループ3
4グループ4
5グループ5

チャットグループ一覧画面

- チャットグループにメンバーが登録されている場合、画面左下に「CHAT」が表示されます。[✉]（CHAT）を押すと、チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。⇒P.237手順2へ

2 <未登録>を選んで[✉]（編集）を押す

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、メールアドレス確認画面が表示されます。

メールアドレス一覧画面

3 メールアドレスを入力

- 文字数：半角50文字まで。
- 入力したメールアドレスが電話帳に登録されており、電話帳に画像が登録されているときは、画像も設定されます。
- メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。

手順2〜手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
チャット起動	チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。 ⇒P.237手順2へ
グループ名編集	▶チャットグループ名を入力 ● 文字数：全角10／半角20文字まで。
グループ名初期化	チャットグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

メールアドレス一覧画面・メールアドレス確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	メールアドレスを編集します。⇒P.240手順3へ ●［メール］(［編集］)でも編集できます。
メンバー参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶**項目を選択** **電話帳** …電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択。 **送信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。 **受信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択。
メンバー入れ替え	メールメンバーに登録されているメンバーをチャットグループに登録します。 ▶**メールメンバー**▶**メールメンバーを選択**
メンバー詳細設定	メンバーのメンバー名、画像を設定します。［◎］でメンバーを切り替えることができます。 ▶**メンバー名欄を選択** ▶**メンバー名を入力** ●文字数：全角4／半角8文字まで。 ●メンバー名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶**画像欄を選択**▶**フォルダを選択** ▶**画像を選択** （画面：メンバー詳細設定　1メンバー名：ドコモ太　2画像：おさるさん　背景色：イエロー　メールアドレス：docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp　選択　機能）
削除	▶**YES**
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

<SMS作成>

SMS(ショートメッセージ)を作成して送信する

SMSを作成して送信します。送信したSMSは、iモードメールと合わせて最大400件まで送信BOXに保存できます。

● ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
● 送信・受信したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。⇒P.342

1 待受画面▶［メール］(［メール］)▶SMS作成

SMS作成画面

● 保存BOXに保存メールが20件あると、SMSを作成できません。保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
● 「［メニュー］▶［メール］」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳 ……………………電話帳を呼び出して電話番号を選択。
送信アドレス一覧 …電話番号を選択。
受信アドレス一覧 …電話番号を選択。
直接入力………………電話番号を入力。

宛先は1件しか指定できません。

● 21桁まで入力できます。(「＋」を含む)
● 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「＋」(［0］を1秒以上押す)、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。)

▶▶次ページにつづく

3 **本文欄を選択▶本文を入力**

●入力できる文字数は「SMS本文入力設定」により異なります。

4 **(送信)を押す**

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

5 **OK**

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- 「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。また、宛先の先頭に「184」または「186」が入力されているSMSを送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「＋」は宛先の先頭でのみ有効です。
- 宛先に数字、「＊」「＃」、「＋」、以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- 本文編集中に改行できません。
- 本文に特殊記号(⇒P.406)を入力した場合、半角スペースに置き換えられます。
- スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。

SMS作成画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	SMSを送信します。⇒P.242手順5へ
送信プレビュー	送信する前に宛先、本文の内容を確認します。 確認が終われば「戻る」を選択します。 ●(送信)を押すとSMSを送信できます。
保存	作成中や編集中のSMSを保存BOXに保存します。 ●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。
SMS送達通知設定	作成中のSMSの送達通知を要求するかどうかを設定します。⇒P.244
SMS有効期間設定	作成中のSMSの有効期間を設定します。 ⇒P.244
SMS本文入力設定	作成するSMSの本文に入力できる文字を設定します。 ⇒P.244
本文消去	本文に入力されている文章をすべて削除します。 宛先は削除されません。 ▶YES
SMS削除	編集中のSMSを削除します。 ▶YES

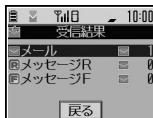
<SMS受信>
SMS(ショートメッセージ)を自動的に受信する

受信したSMSは、iモードメールと合わせて最大1000件まで保存できます。

● 受信したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。⇒P.342

1 SMSを受信すると「✉(グレー)」が点灯し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したSMSの件数が表示されます。

● 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。

受信結果画面

何も操作しないで約15秒経過すると

デスクトップに「✉メール」が表示され、元の画面に戻ります。⇒P.211
(「メール/メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)

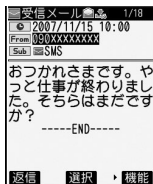
FOMA端末を閉じているときは

⇒P.28

お知らせ

● FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「✉(紺色)」が表示されます。SMSを受信するには、「✉(紺色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「SMS問い合わせ」を行ってください。

新着SMS(ショートメッセージ)を表示する

1 受信結果画面▶メール▶表示したいSMSを選択

SMS表示切替機能

SMSの詳細画面(本文)を表示しているときに[Q]を1秒以上押して文字の大きさを変更できます。一覧画面と詳細画面本文以外では標準表示になります。

お知らせ

● 受信したSMSに入力されている文字によっては、スペースで表示されることがあります。

● 表示したSMSの送信元(電話番号)を反転表示した状態で[●]([選択])を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。(Phone To /AV Phone To 機能)
また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。

● 相手の電話番号が通知されない場合は、その理由が送信元欄に表示されます。

<SMS問い合わせ>
SMS(ショートメッセージ)があるかどうかを問い合わせる

SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
SMSセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。

1 待受画面▶[✉]([✉])▶SMS問い合わせ

2 戻る

センターにSMSが保管されていれば、自動的に受信されます。

お知らせ
- 問い合わせを行っても、すぐにSMSが届かない場合があります。
- 「(紺色)」「(紺色)」などが表示されたときは、これ以上SMSを受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に上書きされます。)
- 本機能でｉモードメールやメッセージR/Fは受信できません。ｉモードメールやメッセージR/Fは「ｉモード問い合わせ」で受信してください。

SMS(ショートメッセージ)の設定を行う

SMS送達通知設定

お買い上げ時	要求しない

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。

1 待受画面▶( )▶メール設定▶SMS送達通知設定▶要求する・要求しない

- SMS作成画面表示中は、(機能)→「SMS送達通知設定」を選択します。

SMS有効期間設定

お買い上げ時	3日

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保存される期間を設定します。

1 待受画面▶( )▶メール設定▶SMS有効期間設定▶保存期間を選択

- 「0日」に設定すると、一定時間経過後に再送し、SMSセンターから削除します。
- SMS作成画面表示中は、(機能)→「SMS有効期間設定」を選択します。

SMS本文入力設定

お買い上げ時	日本語入力(70文字)

SMSの本文に入力できる文字を設定します。半角英数字、半角記号のみ入力できるように設定できます。

1 待受画面▶( )▶メール設定▶SMS本文入力設定▶項目を選択

日本語入力(70文字)
…全角文字、半角文字で本文を70文字まで入力可能。「」「」(⇒P.402)を除く絵文字は入力不可。

半角英数入力(160文字)
…半角英数字、半角記号のみで本文を160文字まで入力可能。

- SMS作成画面表示中は、(機能)→「SMS本文入力設定」を選択します。その場合、「日本語入力(70文字)」は「日本語入力」、「半角英数入力(160文字)」は「半角英数入力」と表示されます。

SMS center設定

お買い上げ時	ドコモ

※通常は、設定を変更する必要はありません。

SMSセンターのアドレスと「Type of number」の設定をします。現在ご利用されているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 メニュー▶設定▶アプリケーション通信設定▶SMS center設定▶ユーザ設定▶アドレスを入力

アプリケーション通信設定
SMS center設定
1ドコモ
2ユーザ設定
3リセット

- 文字数:半角20文字まで。

2 International・Unknown

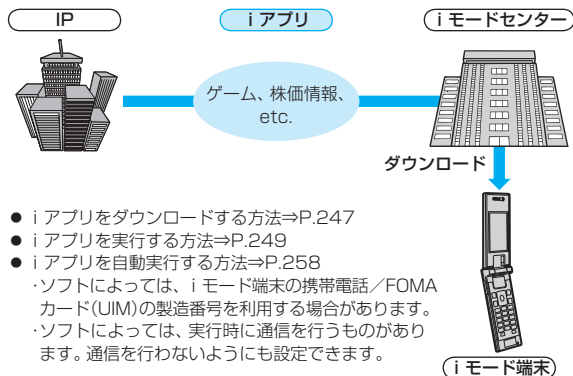
入力したアドレスに「＊」や「＃」が含まれている場合、「International」に設定できません。

ユーザ設定をリセットして「ドコモ」に戻すには

1. 手順1の画面▶リセット▶端末暗証番号を入力▶YES

ｉアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末(以下、iモード端末)をより便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。

- iアプリをダウンロードする方法⇒P.247
- iアプリを実行する方法⇒P.249
- iアプリを自動実行する方法⇒P.258
  - ・ソフトによっては、iモード端末の携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を利用する場合があります。
  - ・ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないようにも設定できます。

■登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)を参照、登録、操作ができるものがあります。

登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録　　・アイコン情報利用
・ブックマーク登録　　・スケジュール登録
・データBOXからの画像取得　　・データBOXへの画像保存
・microSDメモリーカードの利用

iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報(メールや発着信履歴・リダイヤル、電話帳データなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

■登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。

登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録　　・電話帳参照
・アイコン情報利用　　・ブックマーク登録
・スケジュール登録　　・メールメニューの利用
・iモードメール作成画面利用　　・最新のリダイヤル参照
・最新の着信履歴参照　　・最新の未読メール参照
・着信音保存　　・着信音変更(電話、メール、メッセージ)
・データBOXからの画像取得　　・データBOXへの画像保存
・画面設定の変更(待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信)
・microSDメモリーカードの利用

- iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- iアプリDXを起動するには、時計設定が必要です。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやり取りすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用できます。

● メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

■ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。⇒P.259

● ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。⇒P.258

■カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。

● カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使い方ができます。⇒P.305

● 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
● 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。⇒P.310

例えばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用できます。⇒P.257

● 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

<ｉアプリダウンロード>

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをFOMA端末にダウンロードします。
ダウンロードしたソフトは10～最大200件まで登録できます。
（データ量により実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。）

1 **ｉアプリダウンロード可能なサイトを表示▶ソフトを選択**

2 **ダウンロードが完了したら「OK」を選択する**

● ダウンロード完了後にソフト設定（通信設定、待受画面設定、待受画面通信）の画面が表示されることがあります。設定が終われば✉（完了）を押します。各設定は、ソフト一覧からも設定できます。

3 **YES・NO**

YES .... ｉアプリ起動。
NO ...... サイト画面に戻る。

保存されているソフトがいっぱいのときは

すでにソフトが最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なソフトを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. YES▶削除したいソフトにチェック▶✉（完了）▶YES
   ● ディスプレイの左下に「完了」が表示されるまでチェックを付けます。
   ● メール連動型ｉアプリの削除について⇒P.252

メール連動型iアプリのダウンロード

メール連動型iアプリをダウンロードすると、送信／受信フォルダ一覧にiアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型iアプリのタイトルになり、変更できません。
メール連動型iアプリは5件まで保存できます。

- 同じフォルダを利用するメール連動型iアプリがすでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メールセキュリティ設定中はメール連動型iアプリをダウンロードできません。
- 送信／受信フォルダ一覧にiアプリメール用フォルダが5つある場合、メール連動型iアプリはダウンロードできません。

メール連動型iアプリの再ダウンロード

iアプリメール用フォルダのみが残っているメール連動型iアプリを再ダウンロードしようとした場合、既存のiアプリメール用フォルダを利用できます。既存のiアプリメール用フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除してiアプリメール用フォルダを新規作成します。フォルダを新規作成せずにメール連動型iアプリをダウンロードすることはできません。

既存のiアプリメール用フォルダを利用する場合

1. フォルダを利用するかどうかの確認画面▶YES

既存のフォルダを削除し、iアプリメール用フォルダを新規作成する場合

1. フォルダを利用するかどうかの確認画面▶NO
2. フォルダを新規作成するかどうかの確認画面▶YES

お知らせ

- 「iアプリメール」とは、メール連動型iアプリで送信･保存、メール連動型iアプリ用として受信したメールのことです。iアプリメールは、iアプリメール用フォルダに自動的に保存されます。

お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカード(⇒P.294)を利用して保管することをおすすめします。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているiアプリは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
 iMenu→メニュー／検索→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- iアプリのソフトによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定(通信設定)」での設定が必要です。
- SSL対応のページからソフトの情報やソフトをダウンロード中のときは、画面の上に「SSL」が表示されます。
- ダウンロード時に、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロード終了後、異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトのデータは削除されます。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。
- 1件あたり100Kバイトまでのiアプリを保存できます。
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、iアプリで立体画像を表示できます。
 ※多角形を組み合わせることにより、立体的で奥行きのある画像を表現します。

ソフト情報表示設定

お買い上げ時	表示しない

ソフトダウンロード時にソフト情報を表示できます。

1 **▶ｉアプリ設定**
▶ソフト情報表示設定▶表示する・表示しない

＜ｉアプリ実行＞
ｉアプリを起動する

1 待受画面▶ｉα（1秒以上）▶起動したいソフトを選択

ソフト一覧（本体）
1 英会話とっさの
2 通貨・単位換算ﾂｰﾙ
3 脳problem？
4 ｶｳﾝﾄﾀﾞｳﾝﾄﾚｲﾝ-P
5 リバーシ
6 Gｶﾞｲﾄﾞ番組表ﾘﾓｺﾝ
起動　機能

ソフト一覧画面

→ Java POWERED
ｉアプリ起動中

：ｉアプリDX
：メール連動型ｉアプリ
：自動起動に設定中
：ｉアプリ待受画面に設定中
：自動起動とｉアプリ待受画面の両方に設定中
：ｉアプリ待受画面に設定可能
：SSLページからダウンロードしたことを表します。
：異なるFOMAカードでダウンロード／バージョンアップされていることを表します。

- 「メニュー▶ｉアプリ▶ソフト一覧（本体）」の操作を行ってもソフト一覧画面が表示されます。
- microSDメモリーカード内のソフト一覧画面を表示するには、「メニュー▶ｉアプリ▶ｉアプリ（microSD）▶ソフト一覧（microSD）」の操作を行います。
- 「ソフト設定（通信設定）」を「起動ごとに確認」にしていると、通信を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- ｉアプリDXの起動時や実行中に、FOMA端末内の情報や機能を利用する旨の確認画面が表示される場合があります。
- ｉアプリ実行中は「」や「」が表示されます。
- ｉアプリを終了するにはクリアを1秒以上または終話→「YES」を選択します。
- 最後に起動したソフトが最上段に表示されます。ソフトの並び順は手動で変更できません。

次ページにつづく

ソフトから他のソフトを起動するには

ソフトによっては、指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しめます。起動させるソフトがあらかじめ指定されているものと、指定されていないものがあります。

起動するソフトが指定されている場合

ｉアプリ実行中に、指定されたソフトを起動するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

起動するソフトが指定されていない場合

起動するソフトが指定されていない場合、ソフトを選択する必要があります。ｉアプリ実行中に、ソフトを選択するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、ソフトを選択します。

ソフトに異常があったときは

ソフトに異常があった場合、その内容を確認できます。

1. メニュー▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶トレース情報
   トレース情報の画面が表示されます。

セキュリティエラーが起こったときは

セキュリティエラーによりｉアプリが終了した場合、その内容を確認できます。

デスクトップに「エラー」が表示されている場合は、アイコンを選択してもセキュリティエラー履歴を表示できます。

1. メニュー▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶セキュリティエラー履歴
   セキュリティエラー履歴の画面が表示されます。

トレース情報またはセキュリティエラー履歴の画面に「機能」が表示されているときは

ｉα（機能）→「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。

「情報削除」→「YES」を選択すると情報を削除します。

お知らせ

- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報表示が参考になる場合があります。
  トレース情報の確認方法は、「ソフトに異常があったときは」をご覧ください。

お知らせ

- ｉアプリDXを起動するには、あらかじめ「時計設定」で日付･時刻を設定しておいてください。
- ソフトの実行中に再生されるメロディは、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、通話中は再生されません。
- ソフトを実行中に、通信設定が必要な場合があります。
- ｉアプリ実行中に一定時間内の通信回数が極端に多い場合は、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- ソフトによっては、ｉアプリからWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能なども利用できます。ただし、ｉアプリ待受画面として実行している場合は利用できません。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は通常の画像と一緒には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、ｉアプリによっては、画像サイズや画質などを設定できることがあります。
- ｉアプリからカメラを利用してQRコード、JANコードを読み取れます。読み取った結果はソフトで利用･保存されます。
- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※ ｉアプリで利用する画像とは
  ･カメラ連携（連動）アプリからカメラを起動して撮影した画像
  ･ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像
  ･サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像
  ･ｉアプリがデータBOXから取得した画像
- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリ上で使用している各種情報をｉアプリ終了時に保存することがありますが、ｉアプリ実行中に電池切れアラームが鳴ったり、電池パックを外した場合は、各種情報が保存されないことがあります。電池残量が「▯」のときは、終話キーを押すか各ソフトの操作に従ってｉアプリを終了してください。
- ソフトによっては、microSDメモリーカードにデータを保存できるものもありますが、他の機種では利用できないことがあります。microSDメモリーカードを利用するソフトは「ｉアプリデータ（microSD）」で確認できます。

お知らせ

- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなります。削除やソフト情報の表示などは可能です。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP(情報サービス提供者)にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP(情報サービス提供者)がソフトに対し、停止･再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、「」が表示されます。この際、通信料はかかりません。

ソフト一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
ｉアプリ To設定	サイトやメールの中のリンクからｉアプリの起動を許可するかどうかを設定します。ソフトごとに設定できます。 ▶**設定したい項目にチェック** ▶✉(完了) ●ソフトによっては設定できない項目があります。
自動起動時刻設定	自動起動する日時を設定します。⇒P.258
ソフト設定(待受画面設定)	ｉアプリ待受画面に設定します。⇒P.259
ソフト設定(通信設定)	ｉアプリ実行中に通信するかどうかを設定します。 ▶**通信設定**▶**通信する・通信しない・起動ごとに確認** ▶✉(完了) ●「起動ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリを起動するたびに確認画面が表示されます。
ソフト設定(待受画面通信)	ｉアプリ待受画面実行中に通信するかどうかを設定します。⇒P.259
ソフト設定(アイコン情報)	ｉモードメール、SMS、メッセージ(R/F)、電池残量、マナーモード、圏内／圏外アイコンの情報をｉアプリが利用するかどうかを設定します。 ▶**アイコン情報**▶**利用する・利用しない** ▶✉(完了)
ソフト設定(着信音／画像変更)	ｉアプリが着信音･待受画面などの設定を変更するかどうかを設定します。 ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**着信音／画像変更** ▶**許可する・許可しない・変更ごとに確認** ▶✉(完了) ●「変更ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリから着信音･待受画面などの設定を変更しようとするたびに確認画面が表示されます。

機能メニュー	操作・補足
ソフト設定(電話帳／履歴参照)	iアプリが電話帳・リダイヤル・着信履歴の参照をするかどうかを設定します。iアプリDXにのみ設定できます。 ▶**電話帳／履歴参照**▶**許可する・許可しない** ▶[メール](完了)
ソフト情報	iアプリのソフト名、バージョンなどを表示します。 ●[方向キー]で画面をスクロールして確認できます。
バージョンアップ	▶YES
デスクトップ貼付	⇒P.121
削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいソフトにチェック**▶[メール](完了) ▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
microSDへ移動	ソフトをmicroSDメモリーカードに移動します。 ▶YES ●移動したソフトは「[メニュー]▶[iアプリ]▶ iアプリ(microSD)▶ソフト一覧(microSD)」の操作を行って確認できます。
本体へ移動	microSDメモリーカード内のソフトをFOMA端末に移動します。 ▶YES

お知らせ

<ソフト設定(アイコン情報)>

● iアプリ待受画面の「ソフト設定(アイコン情報)」を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号と同様にインターネットを経由してIP(情報提供者)に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

●ソフト設定(アイコン情報)が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定すると動作しない場合があります。

お知らせ

<バージョンアップ>

●起動時にソフトが更新されていた場合は、自動でバージョンアップできます。

●バージョンアップ時に、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとバージョンアップが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

●以下の場合は、メール連動型 i アプリをバージョンアップできません。
- ・対応する i アプリメール用フォルダの詳細を表示中
- ・メールセキュリティ設定中
- ・対応する i アプリメール用フォルダにセキュリティが設定されているとき

<削除><選択削除><全削除>

●待受画面や自動起動に設定されているソフトを削除する場合は、削除するかどうかの確認画面が表示されます。

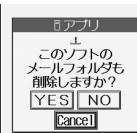
メール連動型 i アプリを削除するときは

メール連動型 i アプリを削除する場合、自動的に作られた i アプリメール用フォルダを削除するかどうかを選択できます。フォルダのみを残した場合、送信／受信メール一覧からメール本文を確認できます。

1.「削除」、「選択削除」または「全削除」の操作を行う

YES.........ソフト・ i アプリメール用フォルダとも削除。

NO........... i アプリメール用フォルダを削除せずソフトのみ削除。

Cancel....削除せず元の画面に戻る。

1件削除の場合

お知らせ

- 以下の場合は、「YES」を選択してもソフト、ｉアプリメール用フォルダともに削除できません。
  ･フォルダの詳細を表示中
  ･メールセキュリティ設定中
  ･フォルダにセキュリティが設定されているとき
  ･フォルダに保護メールが含まれているとき

microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリを削除するときは

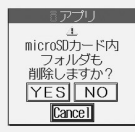
microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリを削除する場合、microSDメモリーカード内のデータを削除するかどうかを選択できます。

iアプリ
microSDカード内
フォルダも
削除しますか？
YES　NO
Cancel

1.「削除」、「選択削除」または「全削除」の操作を行う

YES.........ソフト･microSDメモリーカード内のデータとも削除。（確認画面で再度「YES」を選択）「削除」または「選択削除」を実行した場合は端末暗証番号の入力が必要になります。

NO...........microSDメモリーカード内のデータを削除せずソフトのみ削除。

Cancel....削除せず元の画面に戻る。

■お買い上げ時に登録されているｉアプリのソフト設定

ソフト設定	英会話 とっさの ひとこと辞典	通貨･単位 換算ツール	脳problem？	カウント ダウン トレイン-P
待受画面設定	なし	—	なし	設定しない
通信設定	通信する	—	通信する	通信する
待受画面通信	なし	—	なし	通信する
アイコン情報	利用する	—	なし	なし
着信音／画像変更	—	—	—	—
電話帳／履歴参照	—	—	—	—

ソフト設定	リバーシ	Gガイド 番組表 リモコン
待受画面設定	なし	なし
通信設定	通信する	通信する
待受画面通信	なし	なし
アイコン情報	なし	なし
着信音／画像変更	—	なし
電話帳／履歴参照	—	なし

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時には以下のｉアプリが登録されています。

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。⇒P.39
- 「英会話とっさのひとこと辞典」「通貨･単位換算ツール」「脳problem？」「リバーシ」の再ダウンロードサービスは2011年6月30日、「カウントダウントレイン-P」については2010年7月31日に終了の予定です。
- 「カウントダウントレイン-P」のｉアプリ用追加データのダウンロードなどは2010年8月31日に終了の予定です。「英会話とっさのひとこと辞典」の音声データのダウンロードは2011年7月31日に終了の予定です。
- 再ダウンロードサービスやｉアプリ用追加データのダウンロードなどは、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

英会話とっさのひとこと辞典

日常生活に必要な英会話を様々な場面やキーワードから指定して調べます。また、調べた英会話を音声で確認したり、クイズ形式で楽しんだりすることができます。

- 「英会話とっさのひとこと辞典」の音声データはmicroSDメモリーカードに保存されるため、ご利用にはmicroSDメモリーカードが必要です。
- 音声データのダウンロードにはパケット通信料が発生します。
  音声データは大容量なため、パケ･ホーダイでのご利用がおすすめです。ただし、海外で音声データをダウンロードする際は、パケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフルの対象外となりますので、ご注意ください。

1 ソフト一覧画面▶英会話とっさの▶「ご利用の前に」をよく読む▶OK

- 画面の文字サイズを設定するには「大」「中」「小」を選択します。
- 「次回からこの画面を表示しない。」にチェックを付けると、次に起動するときには「ご利用の前に」は表示されません。

2 項目を選択

場面から選ぶ……場面別で会話文を表示できます。
キーワード検索…キーワードを入力して検索します。
お気に入り……登録したお気に入りを表示します。
クイズ……見出し文をもとにしたクイズが楽しめます。
音声データ管理…音声データを章ごとに削除します。
文字サイズ変更…文字サイズを「大」「中」「小」から選択します。
免責表示……免責事項を表示します。

- 調べた結果の画面で、✉(機能)→「お気に入り登録」または「音声ダウンロード」を選択すると、結果をお気に入りに登録したり、音声をダウンロードして再生したりできます。
- 画面右下に「戻る」が表示されているときは、iαを押すと1つ前の画面に戻ります。
- ｉアプリを終了する場合は、iα(終了)→「YES」を選択します。

通貨･単位換算ツール

「円」「ドル」「ユーロ」などの通貨、長さや重さの単位などを、自由な組み合わせで設定し、簡単に相互換算できます。
例えば、150ユーロは何円になるか、あるいは20ポンドは何グラムになるか、などを調べることができます。

- 通貨換算の際、通貨レートを手動で変更できます。自動でレート変換する機能はありません。

1 ソフト一覧画面▶通貨･単位換算ツール▶「免責」をよく読む▶✉(OK)

- 「次回からこの画面を表示しない」にチェックを付けると、次に起動するときには「免責」は表示されません。

2 iα(メニュー)▶メニューを選択

メニュー	操作・補足
通貨換算	▶通貨を設定して金額を入力 ●入力後、もう一方の欄に換算された金額が表示されます。
レート設定	▶通貨を設定して金額を入力 ●「0」は入力できません。 ●画面下に選択された通貨の名前、使用国、最後にレートを設定した日付が表示されます。 ●金額入力中に[ ]や[i](メニュー)を押すと、レート設定が無効になる旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると入力中のレート設定が無効になります。
単位換算	▶項目を選択 ●「面積」「長さ」「重さ」「容積」「温度」「速度」から選択します。 ▶単位を設定して数値を入力 ●入力後、もう一方の欄に換算された数値が表示されます。 ●「温度」の単位設定の場合、上の欄が「摂氏」、下の欄が「華氏」に固定されます。また、[＊]で「＋」「－」を切り替えることができます。
ヘルプ	通貨・単位換算ツールの使いかたを表示します。
免責	免責事項が表示されます。
アプリ終了	アプリを終了します。

■通貨換算・レート設定・単位換算のボタン操作

ボタン操作	操作内容
[左右]	通貨・単位の切り替え
[上下]	カーソルの移動(通貨換算・単位換算のみ)
[メール]	小数点
[CLR]	押すたびに右側から1文字ずつ数字を削除 (残り1文字の状態で押すと、表示が「0」になります)

脳problem？

頭を鍛える5つの分野に特化したミニゲームを楽しむことができる新感覚頭脳ゲームです。チャレンジモードでハイスコアを出し、出世を目指しましょう。

© Panasonic Mobile Communications Co., Ltd.

1 **ソフト一覧画面▶脳problem？**

- 画面左下に「♪×」などが表示されているときは、[メール]を押すと音量を調節できます。
- ｉアプリを終了する場合は、[i](終了)→「YES」を選択します。
- 画面右下に「戻る」が表示されているときは、[i]を押すと1つ前の画面に戻ります。

2 **[●]を数回押す▶名前を入力▶YES▶秘書を選択▶[●]**

- 名前の文字数：全角6／半角12文字まで。
- 秘書の選択画面で[メール](紹介)を押すと、秘書のプロフィールが表示されます。

すでに個人データが登録されているときは

個人データを選択します。「新規データ作成」を選択すると、新しい個人データを登録できます。

- 「説明」を選択すると、アプリの説明が表示されます。

前回中断したデータがあるときは

再開するかどうかの確認画面が表示されます。

- 中断データは各個人データごとに記憶されます。

▶▶次ページにつづく

3 メニューを選択

トレーニングモード… 1つのゲームを選択してプレイします。
チャレンジモード……5分野のゲームを1つずつプレイします。成績によって、ランクがアップしたり、プレイできるゲームや秘書が増えたりします。
成績確認……これまでのゲームの成績を確認します。
秘書変更……秘書を変更します。
名前変更……個人データの名前を変更します。
データ削除……個人データを削除します。

カウントダウントレイン-P

時刻表をダウンロードして、乗りたい列車の発車時刻まで分／秒単位でカウントダウンを表示します。
さらに、発車5～30分前を知らせるアラーム機能もついています。
時刻表はメニューから更新できるため、常に最新のものをお使いいただけます。
- ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは、メニューのヘルプをご覧ください。

Powered by
JRトラベルナビゲータ

1 ソフト一覧画面▶カウントダウントレイン-P▶「免責事項」をよく読む▶[i](次へ)▶はい

2 [✉](メニュー)▶駅名入力検索▶駅名を入力▶[i](決定)

- 駅名はすべて入力しなくても構いません。

3 駅名を選択▶路線方面を選択▶列車を選んで[i](保存)▶はい

リバーシ

8×8のテーブルの中央に白黒4つの石が対角線上に置かれています。
相手の色の石を自分の色の石で挟むことで、自分の石の色に裏返します。
縦、横、斜め方向から挟むことができます。
白黒交互に石を置き、相手のすべての石を裏返すか、終了時点で相手よりも石の数が多いと勝利です。

1 ソフト一覧画面▶リバーシ

- 画面左下に「♪3」などが表示されているときは、[✉]を押すと音量を調節できます。

2 メニューを選択

ゲーム開始……ゲームを始めます。手順3へ進みます。
レコード……お客様の段位や記録を確認できます。
オプション……BGMの変更やヒント機能のON/OFFが設定できます。ヒント機能がONの場合は、石を置くことができるマスが表示されます。
ヘルプ……ルール、操作方法、レコード、オプションについての説明が表示されます。

3 項目を選択

難易度……「初級」、「中級」、「上級」からお客様のお好みのレベルを設定できます。
（難易度によりゲーム中の背景色が異なります。）
順番……「黒番」（先手）または「白番」（後手）のどちらかを選択できます。

■ゲーム中のボタン操作
カーソルを移動させて、相手の石を挟むことができるマスに自分の石を置きます。

ボタン操作	操作内容
[上]([2])	上にカーソルを移動します。
[下]([8])	下にカーソルを移動します。
[左]([4])	左にカーソルを移動します。
[右]([6])	右にカーソルを移動します。
[1]	左上にカーソルを移動します。
[3]	右上にカーソルを移動します。
[7]	左下にカーソルを移動します。
[9]	右下にカーソルを移動します。
[●]([5]/[*]/[#])	石を置く位置を決定します。
[iα]	ゲームを中断します。 **YES……メニュー画面に戻ります。** **NO……ゲームを再開します。**

段位機能について
成績の記録を向上させると段位ポイントが増え、段位が上がります。
各成績は難易度ごとに個別に記録されます。

中断したゲームの再開について
ゲーム開始時に中断したゲームを再開するかどうかの確認画面が表示されます。
YES……中断したゲームを再開します。
NO……手順3に戻ります。
（中断したゲームは負けとなり、レコードに記録されます。）

Gガイド番組表リモコン

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料は無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル･番組内容･開始／終了時間などを知ることができます。気になった番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約できます。（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。）さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります。）

- 赤外線リモコンの詳細について⇒P.310「赤外線リモコン機能を利用する」
- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、携帯電話の時計設定を日本時間に合わせてください。
- 詳しくは、「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

リモート録画予約機能について
リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約ができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

初期設定方法
1.DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をする
（ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください）
2.ソフト一覧▶Gガイド番組表リモコン▶[iα]（[メニュー]）▶リモート録画予約▶ガイダンスに従って操作

番組予約の方法
初期設定完了後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリで設定したDVDハードディスクレコーダーを接続し、録画予約ができます。
※既に同じ時間に予約がされている場合には、メッセージが番組表に表示されます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

iアプリを自動起動する

設定した日時に自動的にiアプリが起動します。自動起動時刻設定で起動する日時を設定します。

自動起動設定

お買い上げ時	許可しない

iアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

1 メニュー▶iアプリ▶**自動起動設定▶許可する・許可しない**

自動起動時刻設定

自動起動する日時を設定します。3件まで設定できます。

1 **ソフト一覧画面▶**iα**(機能)▶自動起動時刻設定**

2 **設定したい項目にチェック▶**✉**(完了)**

時間間隔設定....ソフトに設定された間隔で起動。設定が終了。
起動時刻設定....設定した時刻に自動的に起動。

3 **起動時刻を選択▶設定する日付・時刻を入力**

でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。
- 年は西暦で入力します。
- 時刻は24時間で入力します。

4 **繰り返しなし▶項目を選択**

設定なし....繰り返しなし(1回のみ)の設定。⇒手順6へ
毎日............設定した自動起動を毎日繰り返す。⇒手順6へ
曜日指定....設定した自動起動を毎週、指定した曜日に繰り返す。

5 **設定したい曜日にチェック▶**✉**(完了)**

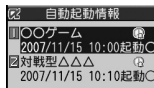
6 ✉**(完了)を押す**

自動起動情報

ソフトが正しく自動起動したかどうかを確認します。自動起動情報は3件まで記憶されます。

1 メニュー▶iアプリ▶**iアプリ実行情報▶自動起動情報**

自動起動情報画面

起動○.....正常に自動起動。
起動×.....自動起動せず。
(「起動」が表示されている場合は、●(起動)を押してソフトを起動できます)
未起動.....まだ自動起動していない状態。

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - ･FOMA端末の電源がOFFの場合
  - ･日付･時刻が設定されていない場合
  - ･他の機能が動作中の場合
  - ･オールロック、PIMロック設定中
  - ･アニメーション、Flash画像再生中
  - ･「ソフトウェア更新」の予約時刻、「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームの設定時刻と同じ時刻の場合
  - ･オート表示中
  - ･同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分以内の起動時刻が設定されていた場合
- 自動起動ができなかった場合、デスクトップに「α」が表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。

＜iアプリ待受画面＞
iアプリ待受画面を操作する

ソフト設定(待受画面設定)

iアプリを待受画面に設定します。一度設定すると、待受画面を表示するたびに自動的にiアプリ待受画面が表示されます。

1 ソフト一覧画面▶[iα](機能)▶ソフト設定▶待受画面設定▶設定する・設定しない

設定する........iアプリ待受画面に設定。
設定しない....iアプリ待受画面の設定を解除。

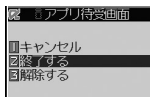
2 [✉](完了)を押す

待受画面に設定すると「α」が表示されます。
iアプリ待受画面実行中は「α」や「α」が表示されます。

iアプリ待受画面実行中に通常のiアプリとして操作するには

iアプリ待受画面で[ch]を押します。
「α」や「α」が「α」や「α」の点滅に変わり、通常のiアプリとして操作できます。

- iアプリ待受画面に戻る場合は、[ch]を1秒以上か、[☎]→「終了する」を選択します。「解除する」→「YES」を選択するとiアプリ待受画面が解除されます。

α　iアプリ待受画面
1キャンセル
2終了する
3解除する

お知らせ
- ソフトによっては、iアプリ待受画面設定中にボタン操作により通常のiアプリの状態からiアプリ待受画面の状態に戻せるものもあります。ただし、他のメニュー機能が動作中はiアプリ待受画面の状態に戻せません。

お知らせ
- iアプリ待受画面を実行した状態でFOMA端末の電源を切った場合、次回電源を入れたときにiアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。
- iアプリ待受画面に設定できるiアプリは1つのみです。
- iアプリによっては、待受画面に設定できないものがあります。

お知らせ
- 「ソフト設定(待受画面通信)」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- iアプリ待受画面からはWeb To 機能やPhone To／AV Phone To機能などは利用できません。
- ネットワークに接続するソフトをiアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- iアプリ待受画面を設定すると「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像は表示されません。
- メニュー機能の動作中に待受画面を表示したときには、iアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- iアプリ待受画面を実行中にiアプリの通信回数が一定時間内で極端に多い場合は、確認を行う旨の画面が表示されます。[ch]を押すと、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- iアプリ待受画面表示中にオールロックまたはPIMロックを設定すると、iアプリ待受画面は終了します。オールロックを設定すると「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が表示され、PIMロックを設定するとお買い上げ時に登録されている画像が表示されます。オールロックまたはPIMロックを解除すると、iアプリ待受画面が再表示されます。

ソフト設定(待受画面通信)

iアプリ待受画面実行中の通信を許可するかどうかを設定します。

1 ソフト一覧画面▶[iα](機能)▶ソフト設定▶待受画面通信▶通信する・通信しない▶[✉](完了)

待受画面終了

実行中のiアプリ待受画面を一時的に終了します。
また、iアプリ待受画面を解除します。

1 [メニュー]▶[設定]▶iアプリ設定▶待受画面終了▶終了・設定解除

待受画面終了情報

ｉアプリ待受画面が正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認します。

1 メニュー▶iアプリ▶ｉアプリ実行情報▶待受画面終了情報

● 待受画面終了情報の画面で「機能」が表示されているときは、iα（機能）→「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」→「YES」を選択すると情報を削除します。

ｉアプリ起動中の照明やバイブレータを設定する

α照明設定

お買い上げ時	システム依存

ｉアプリ起動中のバックライト点灯のしかたを設定します。

1 メニュー▶設定▶ｉアプリ設定▶α照明設定▶項目を選択

システム依存….「照明設定」に従う。
ソフト依存……..ソフトの設定に従う。
常時点灯…………常時点灯する。

αバイブレータ

お買い上げ時	システム依存

1 メニュー▶設定▶ｉアプリ設定▶αバイブレータ▶システム依存・ソフト依存

システム依存….「バイブレータ」の設定に関わらず動作しない。（ソフトによっては動作する場合があります）
ソフト依存……..ソフトの設定に従う。

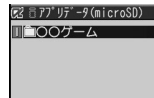
お知らせ

● ソフトによってはバックライト、バイブレータの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行するとそれらは動作しませんので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

<ｉアプリデータ（microSD）>

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する

ｉアプリによってはmicroSDメモリーカード内にデータを保存できるものがあります。
microSDメモリーカード内に保存されているｉアプリデータを表示します。

1 メニュー▶iアプリ▶ｉアプリ（microSD）▶ｉアプリデータ（microSD）

お知らせ

● ｉアプリをダウンロードしたときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できます。

ｉアプリデータ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ情報	選択したフォルダを利用するソフトやフォルダの利用可／不可、利用不可の場合の原因を表示します。 ● ◯で画面をスクロールして確認できます。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のデータを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXには以下のような項目とフォルダがあります。
種類に合わせてそれぞれのフォルダに保存されます。

マイピクチャ		
ｉモード		ダウンロードした静止画など
カメラ		カメラで撮影した静止画や撮影したキャラ電ピクチャなど
デコメールピクチャ		デコメール作成で使用できる静止画
プリインストール		お買い上げ時に登録されている静止画
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内の静止画
自作アニメ		静止画連続再生機能
microSD	ピクチャ	カメラで撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたDCF規格に準ずるJPEG形式、GIF形式の画像
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション画像やDCF規格外のJPEG形式の画像
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある静止画
フレーム		フレームに使用できる静止画
スタンプ		マーカースタンプ、マジックスタンプに使用できる静止画

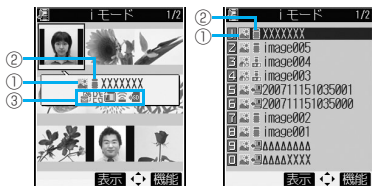
ｉモーション		
ｉモード		サイトから取得したｉモーションなど
カメラ		カメラで録画したｉモーションや撮影したキャラ電ムービーなど
プリインストール		お買い上げ時に登録されているｉモーション
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内のｉモーション
microSD	ムービー／アナログTV	カメラで撮影した動画やFOMA端末からコピーした動画
	デジタルTV	他のAV機器でデジタル放送を録画した著作権保護対応動画
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある動画
	その他コンテンツ	カメラ機能を使って記録した音声のみのｉモーション、FOMA端末からコピーした音声のみのｉモーション、FOMA端末からコピーした映像が再生不可能なｉモーション
プログラム		ｉモーション連続再生機能
しおり		ｉモーションのしおり機能

メロディ		
ｉモード		ダウンロードしたメロディなど
プリインストール		お買い上げ時に登録されているメロディ
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内のメロディ
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音したデータ
microSD	メロディ	FOMA端末からコピーしたメロディ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるメロディ
プログラム		メロディ連続再生機能

キャラ電
お買い上げ時に登録されているキャラ電やダウンロードしたキャラ電

SDオーディオ
microSDメモリーカード内の音楽

※「フォルダ追加」「フォルダ名編集」により表示されるフォルダ名は異なります。

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

ピクチャ一覧　タイトル名一覧

①ファイル種別

アイコン	種別	ファイル形式
（青色）	静止画	JPEG
（橙色）	静止画	GIF
	フレーム	GIF
	マーカースタンプ	GIF
	マジックスタンプ	GIF
	Flash	SWF
	ｉモーション	MP4（AMR）
	ｉモーション	MP4（AAC）
	ｉモーション	MP4（AAC+[HE-AAC]）
	ｉモーション	ASF
	メロディ	SMF
	メロディ	MFi

- ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「」が付きます。ファイル制限について⇒P.160
- ファイルによっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには「」、再生制限切れのファイルのアイコンには「」が付きます。

②取得元

アイコン	説明
※	サイトやｉモードメール添付などから取得
	FOMA端末で撮影
	赤外線通信などから取得
	キャラ電撮影

※著作権のあるファイルでmicroSDメモリーカードに移動可の場合は「」が表示されます。

③可能な操作

アイコン	説明
	ｉモードメール添付（10000バイト以下）
（グレークリップ）	ｉモードメール添付（10000バイトを超える500Kバイト以下）
（赤クリップ）	ｉモードメール添付（500Kバイトを超える）
	デコメールに画像挿入
	ピクチャ貼付
	赤外線送信
	microSDメモリーカードへコピー

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカード（⇒P.294）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（⇒P.378）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

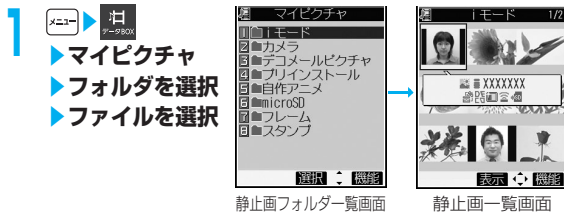
＜ピクチャビューア＞ メニュー 4 6

画像を表示する

FOMA端末内またはmicroSDメモリーカード内に保存した静止画を表示します。

1
▶マイピクチャ
▶フォルダを選択
▶ファイルを選択

静止画フォルダ一覧画面

静止画一覧画面

- カメラメニューで「マイピクチャ」を選択してもピクチャビューアを起動できます。
- プレビュー画像が表示できないときは右記の画像が表示されます。
- 他の機能でフォルダや静止画を選択するときは、機能によって表示されないフォルダや静止画があります。また、静止画を選択中に✉(デモ)で静止画を確認できる場合があります。

■静止画再生時の操作

- 機能メニューから操作する場合⇒P.271

操作	ボタン操作
次のファイルを表示※1	◀
前のファイルを表示※1	▶
等倍表示※2	●(等倍) 再度●(戻る)で元に戻る

※1 静止画一覧画面の並び順で表示します。
※2 画像サイズやファイル形式によっては操作できない場合があります。

■静止画再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※1、GIF、Flash
拡張子	jpg、gif、swf、ifm
画素数	1632×1224ドット以下のファイル※2
ファイルサイズ	700Kバイト以下の静止画

※1 再生できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 Progressive形式のファイルの場合は、VGA(640×480)サイズ以下のファイルまで表示できます。

- 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

静止画フォルダ一覧画面で「microSD」を選択したときは

1. 項目を選択

ピクチャ
……. カメラで撮影した静止画や「ピクチャmicroSDへコピー」でコピーした静止画を表示します。

イメージボックス
……. 「イメージmicroSDへコピー」でコピーしたアニメーションGIF画像などを表示します。

移行可能コンテンツ
……. サイトから取得した著作権のある静止画で、microSDメモリーカードに移行可能な静止画を表示します。

2. フォルダを選択

静止画の一覧が表示されます。

microSD静止画フォルダ一覧画面

静止画フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。20件まで作成できます。 ▶フォルダ名を入力 ●文字数:全角10/半角20文字まで。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶フォルダ名を入力 ●文字数:全角10/半角20文字まで。
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべてのファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
画像全削除	ファイルをすべて削除します。ただし、お買い上げ時に登録されているファイルやmicroSDメモリーカード内のファイルは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<フォルダ削除><画像全削除>

●添付元の静止画を削除しても、メールに添付された静止画は削除されません。

●添付元の動画を削除すると、メールに添付された動画は削除されます。

microSD静止画フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダタイトル編集	▶フォルダ名を入力 ●文字数:全角31/半角63文字まで。(「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10/半角20文字まで)
フォルダ作成	▶フォルダ名を入力 ●文字数:全角31/半角63文字まで。(「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10/半角20文字まで)
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
保存先フォルダ選択	撮影した静止画や動画などをmicroSDメモリーカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES

お知らせ

<フォルダ作成>

●以下の場合はフォルダ追加できません。

・「ピクチャ」内フォルダ数が900件のとき
・「イメージボックス」内フォルダ数が999件のとき
・「iモーション」内フォルダ数が4095件のとき

<フォルダ削除>

●「イメージボックス」内の「SDイメージ」フォルダは削除できません。

<保存先フォルダ選択>

●保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。

「 」......「ピクチャ」フォルダ内、「ムービー/アナログTV」フォルダ内のフォルダ
「 」......「イメージボックス」フォルダ内のフォルダ
「 」......「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
「 」......「その他コンテンツ」フォルダ内のフォルダ

●microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

▶▶次ページにつづく

静止画一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
ピクチャ編集	静止画を編集します。⇒P.272
タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●FOMA端末内のファイルの場合 …文字数:全角9／半角18文字まで。 ●microSDメモリーカード内のファイルの場合 …文字数:全角18／半角36文字まで。
フォルダタイトル編集	「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダの名前を変更します。 ▶**フォルダ名を入力** ●文字数:全角10／半角20文字まで。
ピクチャ表示	画像を表示します。 ●[●]を押すごとに等倍表示と画面サイズに合わせた表示を切り替えることができます。(「表示サイズ設定」の設定やファイル･画像サイズによっては切り替えられない場合があります。)
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。⇒P.270
ピクチャ情報	情報を表示します。⇒P.270
ｉモードメール作成	⇒P.199手順2へ
赤外線送信	⇒P.307
デコメール作成	「デコメールピクチャ」フォルダからデコメールを作成します。 ⇒P.199手順2へ ◆デコメールについて⇒P.202
デスクトップ貼付	⇒P.121
ピクチャmicroSDへコピー	FOMA端末内のDCF規格静止画をmicroSDメモリーカードへ1件コピーします。 ⇒P.299
イメージmicroSDへコピー	FOMA端末内のDCF規格外静止画をmicroSDメモリーカードへ1件コピーします。 ⇒P.299
お預かりセンターに保存	FOMA端末内に保存されている静止画をお預かりセンターに保存します。 ▶**端末暗証番号を入力** ▶**保存したい静止画にチェック** ▶[✉](完了)▶**YES** ●10件まで選択できます。 ●[iα](機能)で「ピクチャ一覧」「タイトル名一覧」を切り替えることができます。 ●静止画再生中は、静止画をチェックする操作は不要です。
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。⇒P.297
microSDへ移動	microSDメモリーカードに1件移動します。⇒P.300
本体へ移動	「移行可能コンテンツ」フォルダ内の静止画をFOMA端末に1件移動します。⇒P.300
電話帳ピクチャ登録	静止画を電話帳に登録します。⇒P.90

機能メニュー	操作・補足
メール用サイズ変更	静止画をｉモードメールに添付可能なファイルサイズ・画像サイズになるよう変更します。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。 ▶**項目を選択** **そのまま添付** …………画像サイズは変更なし。 **QVGA縮小添付** …………縦横比を保ったままQVGA(320×240)サイズ以下に縮小。 **QVGA切出し添付** …………縦横比を保ったままQVGA(320×240)サイズ以下に縮小・切り出し。 ●ファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。ファイルサイズを変換しても500Kバイトを超える静止画の場合、「そのまま添付」は選択できません。 ▶[●]([保存])▶YES ●QVGA(320×240)サイズに縮小または切り出しした場合、[✉]([取消])を押すと再度縮小・切り出しを設定できます。[iα]([機能])→「取消」を選択しても再度縮小・切り出しを設定できます。 また、[iα]([機能])→「保存」を選択すると静止画が保存されます。 ●保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180
貼付表示位置 お買い上げ時 中央に表示	静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの位置を設定します。 ピクチャ貼付について⇒P.270 ▶**表示位置を選択**
切り出し範囲 お買い上げ時 中央を表示	静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの範囲を設定します。 ピクチャ貼付について⇒P.270 ▶**表示範囲を選択**
ファイル名編集	▶**ファイル名を入力** ●文字数：半角英数字で36文字まで。

機能メニュー	操作・補足
ファイル制限	ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶**なし・あり** ●ファイル制限について⇒P.160
フォルダ移動	FOMA端末内の静止画・動画をFOMA端末内の別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択**
DPOF設定	⇒P.310
スライドショー	フォルダ内の静止画を選択している静止画から順にすべて表示していきます。静止画が切り替わる速度を選択できます。 ▶**標準・スロー** [●]([停止])でスライドショーを停止します。 再度[●]([再開])でスライドショーを再開します。
コピー	microSDメモリーカード内の静止画・動画をmicroSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶**コピー先を選択**
移動	microSDメモリーカード内の静止画・動画をmicroSDメモリーカード内の別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択** ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、[✉]([📁↓])で表示できます。上の階層に戻すには[iα]([📁↑])で戻します。
1件削除	▶YES
全削除	フォルダ内に保存されているすべてのファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

▶▶次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
複数選択	複数のファイルを選択して操作します。 **▶操作したいファイルにチェック▶iα(機能)** **▶項目を選択** **ピクチャ一覧・タイトル名一覧・一覧表示切替** …………………⇒P.271、P.282 **削除**……………⇒P.267「1件削除」 **DPOF設定**…⇒P.310 **コピー**…………⇒P.267 **移動**……………⇒P.267 **ピクチャmicroSDへコピー・イメージmicroSDへコピー・microSDへコピー** …………………⇒P.299 **本体へコピー** …………………⇒P.297 **赤外線送信**…⇒P.307 **全選択**…………全選択します。 **全選択解除**…選択をすべて解除します。
保存容量確認	空き容量と保存容量(目安)を表示します。
ソート お買い上げ時 新しい順	表示される順番を変更します。 **▶順番を選択**
ピクチャ一覧・タイトル名一覧	静止画の一覧表示を切り替えます。⇒P.271
4枚画像合成	4枚の画像を合成して1枚の画像を作成します。 **▶画像配置＜左上＞＜右上＞＜左下＞＜右下＞を選択** **▶フォルダを選択▶画像を選択** 上記の手順を繰り返して4つの画像を配置します。 ●JPEGファイルのみ選択できます。 ●配置した画像を解除するには、配置した画像を選択して「ピクチャ解除」を選択します。 **▶✉(完了)▶●(保存)** ●✉(取消)で画像配置を選択する手順に戻ります。 ●保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180
フォルダ作成	⇒P.265
フォルダ削除	⇒P.265
保存先フォルダ選択	⇒P.265

お知らせ

＜タイトル編集＞
- microSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、タイトル編集できない場合があります。
- ファイルによってはタイトル編集できない場合があります。
- お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャ、フレーム、スタンプ、プリインストールフォルダ内の画像はタイトル編集できません。

＜ピクチャ表示＞
- ファイルによってはピクチャ表示できない場合があります。
- Flash画像は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で音が鳴ります。

＜ｉモードメール作成＞
- 画像サイズがQVGA(320×240)サイズより大きいときは、画像サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
  「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
  「QVGA縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままQVGA(320×240)サイズ以下に縮小します。
  「QVGA切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままQVGA(320×240)サイズ以下に縮小・切り出しします。
  ファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。ファイルサイズを変換しても500Kバイトを超える静止画の場合、「そのまま添付」は選択できません。
- QVGA(320×240)サイズに縮小または切り出しした場合、✉(取消)を押すと再度縮小・切り出しを設定できます。iα(機能)→「取消」を選択しても再度縮小・切り出しを設定できます。また、iα(機能)→「確定」を選択するとｉモードメール作成画面を表示します。
- 画像によってはｉモードメール作成できない場合があります。
- ファイル制限ありのファイルのメール添付について⇒P.160

お知らせ

＜デコメール作成＞

- 画像サイズがSub-QCIF(128×96)サイズより大きいときは、画像サイズの変更方法を選択する画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
  「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
  「Sub-QCIF縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(128×96)サイズ以下に縮小します。
  「Sub-QCIF切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(128×96)サイズ以下に縮小･切り出しします。
  ファイルサイズがデコメール作成可能サイズを超える場合は、デコメール作成可能サイズ以下に変換します。
- Sub-QCIF(128×96)サイズに縮小または切り出しした場合、✉(取消)またはiα(機能)→「取消」を選択すると再度縮小･切り出しを設定できます。また、iα(機能)→「確定」を選択するとｉモードメール作成画面を表示します。
- 画像によってはデコメール作成できない場合があります。

＜お預かりセンターに保存＞

- 以下の静止画は保存できません。
  ･1件あたりのサイズが100Kバイトを超える画像
  ･FOMA端末外への出力が禁止されている画像
  ･JPEG形式、GIF形式以外の画像
- 圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- お預かりセンターに保存した静止画は、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。
  詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード＜FOMA＞編)」をご覧ください。

＜メール用サイズ変更＞

- 画像によってはメール用サイズ変更できない場合があります。

＜貼付表示位置＞＜切り出し範囲＞

- Flash画像に貼付表示位置は設定できません。
- 設定した表示位置、切り出し範囲は待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した表示位置、切り出し範囲が機能しない場合があります。

お知らせ

＜ファイル名編集＞

- ファイルによってはファイル名編集できない場合があります。
- メールに添付されている10000バイトを超えるJPEG形式の画像やｉモーションをファイル名編集しようとすると、メール添付解除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- ファイル名に半角スペースは使用できません。

＜ファイル制限＞

- ファイルによってはファイル制限を設定できない場合があります。

＜スライドショー＞

- 画像によっては表示される間隔が異なる場合があります。

＜コピー＞＜移動＞

- 複数のファイルをコピー･移動中に着信があった場合、コピー･移動は途中でも中止されます。

＜1件削除＞＜全削除＞

- 他の機能で設定していたファイルを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目にピクチャ貼付した画像は変更されません。
- 添付元の静止画を削除しても、メールに添付された静止画は削除されません。(ｉモードメールに添付された10000バイトを超えるJPEG形式の画像は削除されます。)
- 添付元の動画を削除すると、メールに添付された動画は削除されます。
- microSDメモリーカード内の複数のファイルを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。

＜複数選択＞

- FOMA端末内の静止画は560件、動画は100件まで選択できます。
  microSDメモリーカード内のファイルは100件まで選択できます。

＜4枚画像合成＞

- VGA(640×480)サイズを除く、CIF(352×288)サイズを超える静止画は選択できません。
- 合成した画像の取得元は合成前の画像の取得元と同じになります。ただし、取得元が複数ある場合は、「」または「」→「」→「」→「」の優先順位になります。

ピクチャ貼付

画像を待受画面などに貼り付けて表示します。
貼り付ける画像の位置や範囲について⇒P.267「貼付表示位置」、P.267「切り出し範囲」

1 静止画一覧画面・静止画再生中▶i α(機能)▶ピクチャ貼付▶貼付先を選択

- 貼付された項目には「★」マークが付きます。
  「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連の項目には、すでに貼付されていても表示されません。
- 「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目を選択した場合、「応答保留／On Hold」、「保留／Holding」、「カメラオフ／Camera off」、「伝言メモ録画中／Recording」、「伝言メモ準備中／Preparing」、「動画メモ録画中／Recording」と静止画の中央に表示されます。

貼付先	ファイル形式		
	GIF	JPEG	Flash
待受画面⇒P.110	○	○	○
ウェイクアップ表示⇒P.111	○	○	○
電話発信⇒P.112	○	○	○
電話着信⇒P.112	○	○	○
テレビ電話発信⇒P.112	○	○	○
テレビ電話着信⇒P.112	○	○	○
メール送信⇒P.112	○	○	○
メール受信⇒P.112	○	○	○
問い合わせ⇒P.112	○	○	×
テレビ電話応答保留⇒P.79	×	○	×
テレビ電話通話中保留⇒P.79	×	○	×
テレビ電話代替画像⇒P.79	×	○	×
テレビ電話伝言メモ⇒P.79	×	○	×
テレビ電話伝言準備⇒P.79	×	○	×
テレビ電話動画メモ⇒P.79	×	○	×

○:貼付可能　×:貼付不可能

お知らせ

- 画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。
- ファイルによってはピクチャ貼付できない場合があります。

ピクチャ情報

1 静止画一覧画面・静止画再生中▶i α(機能)▶ピクチャ情報

- ◎で画面をスクロールして確認できます。
- 自作アニメのピクチャ情報では、ピクチャ貼付の項目のみ表示されます。
- 確認が終われば ch クリア を押します。

項目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示。
ファイル種別	ファイル形式を表示。Flashファイルの場合は表示されません。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示。
保存日時	ファイルの保存日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示されます。
ファイル制限	ファイル制限のあり／なしを表示。
表示サイズ	表示サイズを表示。Flashファイルの場合は表示されません。
取得元	ファイルの取得元を表示。
故障時移行可否	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様の情報内容をドコモ指定の故障取扱窓口で移行可能かどうかを表示。(万が一、お客様の情報内容の移行ができない場合および情報内容の消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。)「可」になるのは、移行を許可されたダウンロードした静止画･メロディです。
ピクチャ貼付	設定している貼付先を表示。(「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目は表示されません。)
DPOF設定	DPOF設定のあり／なし(ありの場合は枚数)を表示。100枚以上設定されている場合、「＊＊」が表示されます。(microSDメモリーカードの「ピクチャ」フォルダ内静止画のみ。)

項目	情報内容
microSDへの移動	ファイルをmicroSDメモリーカードに移動またはコピーできるかどうかを「可／不可／可(同一機種間)」で表示。移動、コピーのどちらかが可能な場合は「可」と表示。
本体への移動	microSDメモリーカード内に保存してあるファイルをFOMA端末に移動またはコピーできるかどうかを「可／不可／可(同一機種間)」で表示。移動、コピーのどちらかが可能な場合は「可」と表示。

お知らせ

- 「microSD」フォルダ内のファイルには、故障時移行可否は表示されません。
- 「可(同一機種間)」のファイルはP704iμ以外のFOMA端末には移動できません。

ピクチャ一覧・タイトル名一覧

お買い上げ時　ピクチャ一覧

1 ▶ディスプレイ ▶ピクチャ表示設定 ▶ピクチャ一覧・タイトル名一覧

ピクチャ一覧

タイトル名一覧

- ピクチャ一覧では、FOMA端末内の静止画は9枚、microSDメモリーカード内の静止画は4枚表示されます。
- 静止画一覧画面では[iα]([機能])を押して「ピクチャ一覧」または「タイトル名一覧」を選択します。
- 「移行可能コンテンツ」フォルダ内のファイルは、タイトルが一覧表示され、変更できません。

お知らせ

- 「ピクチャ一覧」で表示すると、画像によっては見えかたが異なる場合があります。

静止画再生中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ピクチャ編集	静止画を編集します。⇒P.272
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。⇒P.270
ピクチャ情報	情報を表示します。⇒P.270
iモードメール作成	[✉]([✉])でもiモードメールを作成できます。⇒P.199手順2へ
デコメール作成	⇒P.266
赤外線送信	⇒P.307
表示サイズ設定 お買い上げ時 標準	静止画を本来のサイズ(等倍)で表示するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶標準・画面サイズで表示 ●「標準」に設定しても、画面サイズを超える静止画は画面サイズに縮小されます。
デスクトップ貼付	⇒P.121
ピクチャmicroSDへコピー	FOMA端末内のDCF規格静止画をmicroSDメモリーカードへ1件コピーします。⇒P.299
イメージmicroSDへコピー	FOMA端末内のDCF規格外静止画をmicroSDメモリーカードへ1件コピーします。⇒P.299
お預かりセンターに保存	再生中の静止画をお預かりセンターに保存します。⇒P.266 ▶端末暗証番号を入力▶YES
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。⇒P.299
電話帳ピクチャ登録	静止画を電話帳に登録します。⇒P.90
貼付表示位置	貼り付けて表示するときの位置を設定します。⇒P.267
切り出し範囲	貼り付けて表示するときの範囲を設定します。⇒P.267
DPOF設定	⇒P.310
1件削除	▶YES
リトライ	アニメーション、Flash画像を最初から再生します。

＜ピクチャ編集＞
静止画を編集する

1 **静止画一覧画面・静止画再生中▶ｉα(機能)▶ピクチャ編集**

● VGAサイズより大きい静止画の場合、VGAサイズに縮小されます。
● 編集する静止画がディスプレイより大きい場合は、◎でスクロールできます。

ピクチャ編集画面

2 **ｉα(機能)▶静止画を編集**

操作方法についてはP.273～P.276をご覧ください。

3 **●(保存)▶YES・NO**

YES …上書きして保存。
NO …..新しい静止画として保存。
編集した静止画が保存されます。

● microSDメモリーカード内の静止画を編集して保存する場合は、手順3で●(保存)を押すと「ｉモード」フォルダに新規保存されます。
● 編集した静止画を保存しない場合は、chクリアまたは☎→「YES」を選択します。
● 保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180

ピクチャ編集ができる静止画のサイズ

編集メニュー	SXGA	VGA	CIF	待受（メインLCD待受）（QVGA）
マーカースタンプ	○	○	○	○
フレーム合成	×	×	○	○
文字スタンプ	○	○	○	○
マジックスタンプ	×	×	○	○
サイズ変更	○	○	○	○
トリミング	○	○	○	○
フォトレタッチ	×	×	○	○
回転	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
ｉモードメール作成	○	○	○	○

編集メニュー	QCIF	Sub-QCIF	CIFより大きいVGA未満のサイズ	CIFより小さいその他のサイズ
マーカースタンプ	○	○	○	○
フレーム合成	○	○	×	×
文字スタンプ	○	○	○	○※1
マジックスタンプ	○	○	×	○
サイズ変更	○	○	○	○
トリミング	○	○	○	○※2
フォトレタッチ	○	○	×	○
回転	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
ｉモードメール作成	○	○	○	○

○…ピクチャ編集可　×…ピクチャ編集不可
※1 24×24ドットより小さい静止画は編集できません。
※2 チャット画像サイズ(80×80)より小さい静止画は編集できません。
● 1616×1212ドット、1632×1224ドットの画像も編集できます。

お知らせ

- カメラで撮影した静止画やデータ通信で取得した静止画、ダウンロードもしくはｉモードメールから取得した静止画で「ファイル制限」がなしのファイルのみピクチャ編集できます。
- 静止画によってはピクチャ編集できない場合があります。
- 撮影した静止画の画像にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。
- 静止画によっては編集効果が現れにくいものもあります。
- 作成中のメールに添付されている10000バイトを超えるJPEG形式の画像をピクチャ編集して保存すると、新規保存され、編集元の画像はメールに添付されたままになります。作成中以外のメール（送信済みのメールなど）に添付されている10000バイトを超えるJPEG形式の画像を編集して上書き保存すると、メール添付は解除されます。
- 編集中に電池がなくなった場合は、編集した内容は破棄されます。
- 新規保存された静止画のファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。
  - ･ファイル名：YYYYMMDDhhmmnnn（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、n：番号）
  - ･タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
  - ･保存先：変更元のファイルが保存されているフォルダ（microSDメモリーカード内の静止画の場合は「ｉモード」フォルダ）
  - ･取得元：変更元と同じ

ピクチャ編集画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
マーカースタンプ	スタンプフォルダのマーカースタンプを合成します。 ▶**マーカースタンプを選択** ●[iα]（機能）→「右90度／左90度／180度」を選択すると、マーカースタンプを回転できます。「拡大／縮小」を選択すると、マーカースタンプを拡大･縮小できます。 ●[✉]（取消）でマーカースタンプを選択し直せます。 ●お買い上げ時に登録されているマーカースタンプについて⇒P.398 ▶**[○]で位置を決めて[●]（配置）を押す** ●[✉]（追加）を押すか[iα]（機能）→「追加」を選択するとマーカースタンプを追加できます。 ▶**[●]（確定）** ●[iα]（機能）→「確定」を選択してもマーカースタンプを確定できます。

機能メニュー	操作・補足
フレーム合成	▶フレームを選択▶●(確定) ●編集中の静止画と同じサイズのフレームのみ合成できます。 ●iα(機能)→「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●◎で前または次のフレームを表示します。 ◎を1秒以上押すと、連続して表示されます。 ●✉(取消)を押すかiα(機能)→「取消」を選択するとフレームを選択し直せます。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについて⇒P.398

機能メニュー	操作・補足
文字スタンプ	文字を合成します。 ▶文字を入力 文字数:全角15／半角30文字まで。ただし、静止画のサイズによっては入力できる文字数は少なくなります。 ●iα(機能)→「文字色」を選択し、色を選択すると、文字の色を変更できます。 ✉(切替)で16色・256色を切り替えることができます。 「フォント」→「ゴシック体／ポップ体」を選択すると、文字のフォント(書体)を変更できます。 「文字サイズ」→「拡大サイズ／通常サイズ／縮小サイズ」を選択すると、文字を拡大・縮小できます。 「文字入力」を選択すると、入力した文字を編集できます。 ▶◎で位置を決めて●(配置)を押す▶●(確定) ●iα(機能)→「確定」を選択しても文字スタンプを確定できます。 ●✉(取消)を押すかiα(機能)→「取消」を選択すると配置する位置を選択し直せます。

機能メニュー	操作･補足
マジックスタンプ	スタンプフォルダのマジックスタンプを合成します。人物の顔の部分を自動で認識し、ふさわしい位置に貼り付けます。 ▶マジックスタンプを選択 ●[iα](機能)→「スタンプ拡大／スタンプ縮小」を選択すると、マジックスタンプを拡大･縮小できます。 ●中止する場合は[✉](取消)を押します。 ●お買い上げ時に登録されているマジックスタンプについて⇒P.398 ▶[○]で位置を決めて[●](配置)を押す ●静止画からはみ出したマジックスタンプは、切り取られます。 ●[✉](追加)を押すか[iα](機能)→「追加」を選択するとマジックスタンプを追加できます。 ▶[●](確定) ●[iα](機能)→「確定」を選択してもマジックスタンプを確定できます。
サイズ変更	▶変更したい画像サイズを選択 ●元の静止画と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の静止画の縦横比を保ったまま、選択したサイズを超えない大きさに拡大／縮小します。 ▶[●](確定) ●[iα](機能)→「確定」を選択してもサイズを確定できます。 ●[✉](取消)を押すか[iα](機能)→「取消」を選択するとサイズを選択し直せます。

機能メニュー	操作･補足
トリミング	一定の大きさに切り出します。 ▶切り出したい画像サイズを選択 ●編集中の静止画より大きいサイズは選択できません。 ●「CIF(352×288)」「QVGA(320×240)」「メインLCD待受(240×320)」「CIF縦(288×352)」を選択した場合は、編集中の静止画やトリミングする枠が縦横ともに1／2に縮小して表示されます。 ▶[○]でトリミングする部分を決めて[●](確定)を押す ●[iα](機能)→「確定」を選択してもトリミング枠の位置を確定できます。 ●[✉](取消)を押すか[iα](機能)→「取消」を選択するとトリミングするサイズを選択し直せます。 ▶[●](確定) ●[iα](機能)→「確定」を選択してもトリミングを確定できます。 ●[✉](取消)または[iα](機能)→「取消」を選択するとトリミングする部分を選択し直せます。

機能メニュー	操作･補足
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 ▶**項目を選択** **シャープ**……輪郭を強調。 **ソフト**……輪郭をぼかす。 **セピア**……色調をセピアに。 **浮き彫り**……でこぼこの質感に。 **ネガ**……色調を反転。 **ミラー**……左右を反転。 **スーパークリアシャドウ** ……暗い静止画を見やすく。 **記憶色補正**…色やコントラストを補正。 取消 確定 機能 ▶**●(確定)** ● i α(機能)→「確定」を選択してもフォトレタッチを確定できます。 ● ✉(取消)を押すか i α(機能)→「取消」を選択すると効果を選択し直せます。
回転	▶**右90度・左90度・180度▶●(確定)** ● i α(機能)→「確定」を選択しても回転を確定できます。 ● ✉(取消)を押すか i α(機能)→「取消」を選択すると角度を選択し直せます。
明るさ	−3(暗い)から＋3(明るい)で調節します。 ▶**明るさを選択**
ｉモードメール作成	⇒P.199手順2へ
保存	編集後の静止画を保存します。⇒P.272

お知らせ

<マーカースタンプ>
- 以下のサイズのマーカースタンプは選択できません。
  QVGA(320×240)、CIF(352×288)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)

<フレーム合成>
- 編集中の静止画と同じサイズのフレーム以外は合成できません。

<文字スタンプ>
- 編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

<マジックスタンプ>
- CIF(352×288)サイズやCIF縦(288×352)サイズより大きいマジックスタンプは選択できません。
- 拡大や縮小は最大3回まで操作できますが、CIF(352×288)サイズより大きく拡大できません。
- 人物の顔や輪郭を正確に認識できないことがあります。複数の人物の顔がある場合は、1人の顔のみ認識します。

＜自作アニメ＞
アニメを作成する

ｉモードフォルダ、カメラフォルダ、ユーザフォルダ内のVGA(640×480)以下のJPEGファイルを最大20件(20コマ)選択し、アニメ再生できます。自作アニメは20件登録できます。

1 メニュー ▶ データBOX ▶ **マイピクチャ** ▶ **自作アニメ** ▶ **＜未登録＞**

自作アニメ一覧画面

● 変更する場合は、設定済みの自作アニメを選択します。

2 **コマ順＜1コマ目＞～＜20コマ目＞を選択**

3 **フォルダを選択** ▶ **静止画を選択**

● 登録済みの静止画を解除する場合は「ピクチャ解除」を選択します。

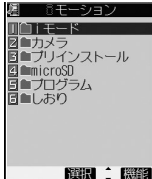
4 **手順2～手順3を繰り返す**

静止画の登録が完了したら、()を押します。

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶ タイトルを入力 ● 文字数：全角9／半角18文字まで。
自作アニメ設定	⇒P.277手順2へ
ピクチャ表示	自作アニメを再生します。
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。⇒P.270
ピクチャ情報	情報を表示します。⇒P.270
自作アニメ解除	▶ YES

自作アニメ再生中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。⇒P.270
表示サイズ設定	表示方法を設定します。⇒P.271
リトライ	再度自作アニメを再生します。

お知らせ

● 自作アニメに設定している静止画を削除すると、その静止画を含む自作アニメは解除されます。

＜ｉモーションプレーヤー＞
動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末内またはmicroSDメモリーカード内に保存した動画を再生します。

1 メニュー ▶ データBOX ▶ **ｉモーション** ▶ **フォルダを選択** ▶ **ファイルを選択**

動画フォルダ一覧画面

動画一覧画面

● カメラメニューで「ｉモーション」を選択してもｉモーションプレーヤーを起動できます。

● プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

再生不可

再生制限期限切れ など

● 他の機能でフォルダやｉモーションを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやｉモーションがあります。また、ｉモーションを選択中に✉(デモ)でｉモーションを確認できる場合があります。

プログラム再生

プログラム編集で選択した動画を繰り返し再生します。

1 [メニュー]▶[データBOX]▶iモーション▶プログラム

● 終了するには[ch クリア]を押します。

■動画再生時の操作

● 機能メニューから操作する場合⇒P.282

操作	ボタン操作
早見再生	[メール]([早見])⇒P.282
消音	[iα]([消音]) 再度[iα]([音声])を押すか音量調節を行うと音が鳴ります。
一時停止	[●]([一時停止]) 再度[●]([再生])で再生します。
コマ送り再生※1	一時停止中に[メール](コマ送) [メール](コマ送)を押すごとに1コマずつ進みます。
音量調節 お買い上げ時 レベル4	[上下]または[▲][▼] 押し続けると連続して音量が調整されます。 FOMA端末を閉じている場合も[▲][▼]で調節できます。 レベル0～6まで設定できます。
次のファイルを表示※2	[右]
前のファイルを表示※2	[左]※3
シーク(早送り)※1	[右]を押し続けている間、映像を早送り
シーク(早戻し)※1	[左]を押し続けている間、映像を早戻し

※1 iモーションを取得しながら再生しているときやQVGA(320×240)サイズのiモーションでは操作できない場合があります。

※2 動画一覧画面の並び順で表示します。動画一覧から再生した場合に操作できます。

※3 再生時間が10秒以上過ぎた場合は、頭出しになります。

■動画再生の仕様について

ファイル形式	MP4、ASF	
符号化方式	MP4ファイル	映像：MPEG4、H.263 音声：AMR、AAC、AAC+(HE-AAC)
	ASFファイル	映像：MPEG4 音声：G.726
画素数	MPEG4：QVGA(320×240)以下のファイル	
	H.263 ：Sub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)のファイルのみ	
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf	

● 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

動画フォルダ一覧画面で「microSD」を選択したときは

1.項目を選択

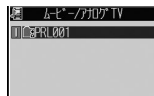
ムービー／アナログTV
…カメラで撮影した動画やパソコンなどで書き込んだ動画などを表示します。

デジタルTV
…他のAV機器でデジタル放送を録画した著作権保護対応動画を表示します。

移行可能コンテンツ
…サイトから取得した著作権のあるiモーションでmicroSDメモリーカードに移行可能なiモーションを表示します。

その他コンテンツ
…カメラ機能を使って記録した音声のみのiモーション、「microSDへコピー」でコピーした音声のみのiモーション、「microSDへコピー」でコピーした映像が再生不可能なiモーションを表示します。

2.「ムービー／アナログTV」「移行可能コンテンツ」「その他コンテンツ」の場合はフォルダを選択

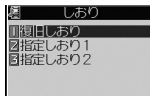
動画の一覧が表示されます。

microSD動画フォルダ一覧画面

動画フォルダ一覧画面で「しおり」を選択したときは

しおり選択画面

しおり選択画面が表示されます。しおりには「指定しおり」と「復旧しおり」があります。
「指定しおり」とは、あらかじめ動画の任意の場面に登録しておくことで、2つまで作成できます。
⇒P.282
「復旧しおり」とは、動画再生中に着信や各種アラーム動作があった場合や電池がなくなった場合など、再生が中断された場合に自動的に登録されるしおりです。

1. しおりを選択
   しおり登録されていた箇所から動画が再生されます。

- [iα]([機能])→「再生」を選択しても再生できます。「削除」を選択するとしおりを削除できます。ただし、「復旧しおり」は削除できません。
- しおりを登録した動画が削除されていた場合や他のフォルダに移動された場合は再生できません。

お知らせ

- シーク(早送り・早戻し)やコマ送り再生中は無音となります。また、テロップは表示されません。シーク(早送り・早戻し)は、動画を一時停止・再生中(スロー再生・早見再生も含む)に実行できます。
- ｉモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

動画フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	⇒P.265
フォルダ名編集	⇒P.265
フォルダ削除	⇒P.265

機能メニュー	操作・補足
プログラム編集	FOMA端末内のｉモーションを10個まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶プログラム順<1番目>～<10番目>を選択 ▶フォルダを選択▶ｉモーションを選択 ●登録済みのｉモーションを解除する場合は「ムービー解除」→「YES」を選択します。 ▶操作を繰り返してプログラム編集を完了させる ▶[✉]([完了])
プログラム解除	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶YES

microSD動画フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダタイトル編集	⇒P.265
フォルダ作成	⇒P.265
フォルダ削除	⇒P.265
保存先フォルダ選択	⇒P.265

動画一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモーション編集	動画／ｉモーションを編集します。 ⇒P.283
タイトル編集	⇒P.266
フォルダタイトル編集	⇒P.266
ｉモーション貼付	動画を着信音などに設定します。 ⇒P.280

機能メニュー	操作・補足
iモーション情報	情報を表示します。⇒P.281
iモードメール作成	ファイルを添付してiモーションメールを作成します。⇒P.199手順2へ
赤外線送信	⇒P.307
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。⇒P.299
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。⇒P.299
microSDへ移動	microSDメモリーカードに1件移動します。⇒P.300
本体へ移動	「移行可能コンテンツ」フォルダ内の動画をFOMA端末に1件移動します。⇒P.300
フォルダ移動	⇒P.267
コピー	⇒P.267
移動	⇒P.267
デスクトップ貼付	⇒P.121
ファイル名編集	⇒P.267
ファイル制限	⇒P.160
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
1件削除	▶YES
全削除	⇒P.267
複数選択	複数のファイルを選択します。⇒P.268
保存容量確認	⇒P.268
ソート	表示順を変更します。⇒P.268
一覧表示切替	動画の一覧表示を切り替えます。⇒P.282
フォルダ作成	⇒P.265
フォルダ削除	⇒P.265
保存先フォルダ選択	⇒P.265

お知らせ

<iモードメール作成>
- ファイルサイズが500Kバイトより大きいときは、メールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとiモーションの先頭から約490Kバイトまでを切り出します。
  テロップ付のiモーションの場合は、テロップは切り出せない旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- iモーションによってはiモードメール作成できない場合があります。
- iモーションによっては、ファイルサイズが増減する場合があります。
- iモーション編集画面から500Kバイトを超えるiモーションは添付できません。iモーションメールに添付できるサイズに切り出すには「メールサイズ切り出し」参照。

iモーション貼付

動画を着信音、待受画面、ウェイクアップ表示のいずれかに設定します。

1 動画一覧画面▶[iα](機能)▶iモーション貼付

2 以下の操作を行う

項目	操作・補足
着信音	▶着信の種類を選択 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
待受画面	▶YES
ウェイクアップ表示	▶YES

3 [✉](完了)を押す

お知らせ

- 取得元が「[アイコン]」のiモーションは着信音に設定できません。

i モーション情報

1 動画一覧画面・一時停止中・再生終了時 ▶ i α（機能）▶ i モーション情報

● ◎で画面をスクロールして確認できます。

項目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示。
ファイル種別	ファイル形式を表示。
タイトル	ファイルの初期タイトル名を表示。初期タイトル名がない場合は「不明」と表示。
作成者	ファイルの著作者情報を表示。情報がない場合は「不明」と表示。
コピーライト	ファイルの著作権情報の有無を表示。情報がない場合は「不明」と表示。
保存日時	ファイルの保存日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示。
説明	ファイルの説明を表示。説明がない場合は「不明」と表示。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示。
表示サイズ	表示サイズを表示。音声のみの動画の場合や再生不可のファイルの場合は「0×0」と表示。
取得元	ファイルの取得元を表示。
着信音設定	着信音設定の可／不可を表示。着信音に設定されている場合、設定先を表示。情報がない場合は「不明」と表示。
着信画面設定	着信画面設定の可／不可を表示。着信画面に設定されている場合、設定先を表示。
i モーション設定	i モーションの設定先を表示。設定されていない場合は「設定なし」と表示。
ファイル制限	ファイル制限のあり／なしを表示。

項目	情報内容	
再生制限	回数制限がある場合	「あとYY回（YY/XX）」（YY：残り再生回数、XX：全再生回数）と表示。
	期限制限がある場合	「ファイル登録日時〜再生期限日時」を表示。
	期間制限がある場合	「再生開始可能日時〜再生期限日時」を表示。
	再生制限がない場合	「なし」と表示。
microSDへの移動	ファイルをmicroSDメモリーカードに移動またはコピーできるかどうかを「可／不可／可（同一機種間）」で表示。移動、コピーのどちらかが可能な場合は「可」と表示。	
本体への移動	microSDメモリーカード内に保存してあるファイルをFOMA端末に移動またはコピーできるかどうかを「可／不可／可（同一機種間）」で表示。移動、コピーのどちらかが可能な場合は「可」と表示。	
ビデオ	映像のあり／なし／再生不可を表示。	
オーディオ	AAC／HE-AAC／AMR／なし／再生不可／再生可を表示。	
テキスト	テキストのあり／なし／再生不可を表示。	
プロテクト	プロテクトのあり／なしを表示。	
再生時間	再生時間を表示。	

お知らせ

● 「可（同一機種間）」のファイルはP704iμ以外のFOMA端末には移動できません。

● 「再生制限」「ビデオ」「オーディオ」「テキスト」でも、「不明」と表示される場合があります。

一覧表示切替

お買い上げ時	タイトル＋画像

動画一覧画面の表示内容を変更します。
microSDメモリーカードの一覧画面では、タイトルで表示するかファイル名で表示するかを選択できます。

1 動画一覧画面▶[i](機能)▶一覧表示切替▶表示方法を選択

タイトル……タイトルまたはファイル名を一覧表示。

タイトル＋画像……タイトルまたはファイル名と画像を同時に表示。(表示される画像は動画の1コマ目です。)

タイトル表示／ファイル名表示……タイトルを表示するかファイル名を表示するかを選択。

● microSDメモリーカードの一覧画面の場合、「タイトル」「タイトル＋画像」は「名前」「名前＋画像」と表示されます。

タイトル

タイトル＋画像

一時停止中･再生終了時の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で再生します。 ● スロー再生を解除するには、[✉]([▶])を押すか「通常再生」の操作を行います。
早見再生 (1.25倍速)	通常の約1.25倍の速度で再生します。 ● [✉]([⏩])を押すと2倍速再生されます。[✉]([▶])で通常再生に戻ります。
早見再生 (2倍速)	通常の約2倍の速度で再生します。 ● 早見再生を解除するには、[✉]([▶])を押すか「通常再生」の操作を行います。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	動画の再生を開始する位置を設定します。 **▶[◎]でタイムバーのカーソルを移動させて[●](確定)を押す** ● 中止する場合は[CLR]を押します。
しおり登録	動画にしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 **▶しおり1に登録・しおり2に登録**
iモーション編集	動画／iモーションを編集します。 ⇒P.283
iモードメール作成	ファイルを添付してiモーションメールを作成します。 ⇒P.199手順2へ
iモーション貼付	動画を着信音などに設定します。 ⇒P.280
iモーション情報	情報を表示します。 ⇒P.281
赤外線送信	⇒P.307
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。⇒P.299
デスクトップ貼付	⇒P.121
表示サイズ設定 お買い上げ時 等倍表示	動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 **▶等倍表示・画面サイズで表示** ●「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超える動画は画面サイズに縮小されます。
横全画面再生	動画を90度右方向に回転して全画面で再生します。 ● すでに横画面で再生しているときは縦画面に戻ります。

お知らせ

<スロー再生>

● スロー再生中は無音です。
● データを取得しながら再生中のｉモーションはスロー再生できません。

<早見再生>

● ｉモーションによっては、早見再生されない場合があります。
● 以下のｉモーションは早見再生できません。
  ･データを取得しながら再生中のｉモーション
  ･待受画面から再生したｉモーション
● 早見再生中はステレオで再生されません。
● 早見再生中は、音声が聞き取りづらい場合があります。

<再生位置選択>

● 動画／ｉモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

<しおり登録>

● 動画／ｉモーションによっては、しおりを登録できない場合があります。

<表示サイズ設定>

● 画像サイズによっては、画面の右側や下側が切り取られて表示される場合があります。

<横全画面再生>

● 本機能は現在の再生中のみ有効です。再生画面を終了すると縦画面に戻ります。

<ｉモーション編集>

動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションを編集します。編集した動画／ｉモーションは、編集元の動画／ｉモーションがあるフォルダに保存されます。

1 **動画一覧画面・一時停止中・再生終了時▶[iα]（機能）▶ｉモーション編集**

● [上下]または[▲][▼]で音量を調節できます。

ｉモーション編集画面

2 **[iα]（機能）▶動画／ｉモーションを編集**

操作方法⇒P.283～P.286

3 **[●]（保存）を押す**

● 編集した動画／ｉモーションを保存しない場合は、[ch クリア]または[☎]→「YES」を選択します。

4 **YES**

編集した動画／ｉモーションが保存されます。

● 保存されているｉモーションがいっぱいのとき⇒P.180

■ ｉモーション編集中･デモ再生中の操作

操作	ボタン操作
一時停止	[●]（❚❚） 再度[●]（▶）で再生します。
早送り	[右]を押し続けている間、映像を早送り
早戻し	[左]を押し続けている間、映像を早戻し
コマ送り	一時停止中に[右]
コマ戻し	一時停止中に[左]
音量調節	[上下]または[▲][▼]

● 状況によっては実行できない操作もあります。

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- 以下の動画／ｉモーションは編集できません。
  - ・サイトもしくはｉモードメールから取得した「ファイル制限」、「再生制限」がありのファイル
  - ・QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）サイズ以外のファイル
  - ・microSDメモリーカードに保存されているファイル
- ｉモーションによっては編集できない場合があります。
- ｉモーション編集により、画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。
- 編集中に電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を閉じた場合は、確定した編集内容を反映した状態で保存されます。ただし、保存されているｉモーションがいっぱいのときは保存されません。

ｉモーション編集画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモーション切り出し	動画／ｉモーションを切り出します。 ⇒P.284
ピクチャ切り出し	静止画を切り出して保存します。 ▶でフレームを表示して(確定)▶YES ▶フォルダを選択 ●保存されている画像がいっぱいのとき⇒P.180
アフレコ編集	音声を録音します。⇒P.285
テロップ編集	⇒P.285
メールサイズ切り出し	動画／ｉモーションをｉモーションメールに添付可能なサイズにします。 **メールサイズ(小)**.....約290Kバイト以下のサイズに切り出し。 **メールサイズ**............約490Kバイト以下のサイズに切り出し。 ▶で開始フレームを選択▶(始点) 動画／ｉモーションが再生されます。約290Kバイトまたは約490Kバイト以下のサイズになると、自動的に再生が停止します。 ▶(確定)
ｉモードメール作成	ファイルを添付してｉモーションメールを作成します。 ⇒P.199手順2へ
ファイル制限	⇒P.160

ｉモーション切り出し

ｉモーションから任意の範囲を切り出します。

1 **ｉモーション編集画面▶(機能)▶ｉモーション切り出し**

2 **で開始フレームを表示して(始点)を押す**

開始フレームが設定され、動画／ｉモーションが再生されます。

3 **切り出したいところまで再生したら(Ⅱ)を押す**

動画／ｉモーションの再生が一時停止します。

4 **で終了フレームを表示して(終点)を押す**

切り出した範囲が再生されます。
- ファイルサイズが約800Kバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。

5 **(確定)を押す**

お知らせ

- ｉモーション切り出しを行うと、再生時間が長くなる場合があります。

アフレコ編集

ｉモーションの任意の範囲に音声を録音します。

1 ｉモーション編集画面▶iα(機能)▶アフレコ編集

2 ✉(始点)を押す

録音が開始されます。送話口に向かってお話しください。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのマイクから録音します。
- 動画／ｉモーションの途中から録音したい場合は、●(▶)で動画／ｉモーションを再生します。

3 ✉(終点)を押す

録音が終了します。

- 続けて録音する場合は、手順2～手順3を繰り返します。

4 ●(完了)を押す

アフレコ編集が終了します。

5 ●(確定)を押す

テロップ編集

ｉモーションのテロップ情報（再生中に表示される文字情報）を作成・編集します。

「新規作成」の場合

1つの動画／ｉモーションに作成できるテロップは5つまでです。

1 ｉモーション編集画面▶iα(機能)▶テロップ編集▶新規作成

2 ◯で開始フレームを表示して✉(始点)を押す

- 早戻しにより、以前設定したテロップの終点に到達した場合、始点を決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると始点が決定され、前のテロップと隙間なくテロップを作成できます。

3 テロップを入力

- 文字数：全角20／半角40文字まで。

4 テロップ効果を選択▶効果の内容を選択

- 続けてテロップ効果を設定する場合は、手順4を繰り返します。
- テロップ効果の設定を終了する場合は、「設定完了」を選択します。

5 ◯で終了フレームを表示して✉(終点)を押す

- 開始フレームから終了フレームまで十分な間隔がない場合、終了フレームを選択できない場合があります。
- 他のテロップが設定されているフレームを表示した場合、終了フレームを決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると終了フレームが決定され、他のテロップと隙間なくテロップを作成できます。
- テロップの作成を続ける場合は手順2～手順5を繰り返します。

6 iα(機能)▶テロップ編集完了

7 ●(確定)を押す

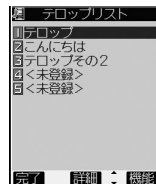
- iα(修正)でテロッププリスト画面が表示され、作成したテロップを修正できます。

「編集」の場合

1 ｉモーション編集画面▶iα(機能)▶テロップ編集▶YES▶編集

登録されているテロップが表示されます。

テロッププリスト画面

▶▶次ページにつづく

2 テロップを選んで[iα]([機能])▶項目を選択

文字変更 ....⇒P.285「新規作成」手順3
効果変更 ....⇒P.285「新規作成」手順4
開始位置変更 .....⇒P.285「新規作成」手順2
終了位置変更 .....⇒P.285「新規作成」手順5
テロップ追加 .....⇒P.286「テロップ追加」
テロップ削除 .....テロップを削除します。「YES」を選択します。

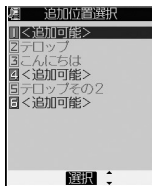
- テロップを選んで[●]([詳細])を押すと、そのテロップの詳細が確認できます。確認が終われば[clr]を押します。
- 続けてテロップを編集する場合は、手順2を繰り返します。

3 テロップリスト画面で[✉]([完了])▶[●]([確定])

テロップ追加

テロップを追加します。1つの動画／iモーションに作成できるテロップは5つまでです。

1 テロップリスト画面▶[iα]([機能])▶テロップ追加

上が先頭フレーム、下が最終フレームと見立てて、テロップを追加できる位置が表示されます。

2 <追加可能>

⇒P.285「新規作成」手順2～手順5へ

- 5つのテロップを作成した場合は、テロップリスト画面に戻ります。[✉]([完了])→[●]([確定])を押します。
- テロップが5つ未満の場合⇒P.285手順6～手順7へ

お知らせ

- 赤外線通信やデータ通信で取得したiモーションなどでテロップが6つ以上登録されていた場合は、編集時に6つ目以降のテロップは削除されます。また、全角20文字を超えるテロップは全角21文字目以降が削除され、対応していない効果なども削除されます。
- FOMA P704iμ未対応のテロップ効果は削除・変更される場合があります。
- テロップ編集を行うと、編集したデータは着信音に設定できません。

デモ再生一時停止中・iモーション編集中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で再生します。
早見再生（1.25倍速）	通常の約1.25倍の速度で再生します。
早見再生（2倍速）	通常の約2倍の速度で再生します。
始点	iモーション切り出し、メールサイズ切り出しの開始フレームを設定します。
終点	iモーション切り出しの終了フレームを設定します。
確定	ピクチャ切り出しのフレームを設定します。
停止	停止します。
テロップ表示始点	テロップ編集の開始フレームを設定します。
テロップ表示終点	テロップ編集の終了フレームを設定します。
テロップ編集完了	テロップ編集を終了します。

<キャラ電>

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送れるお客様の分身キャラクタのことです。
キャラ電プレーヤーでキャラ電を再生したり、キャラ電を撮影したりできます。

お買い上げ時に登録されているキャラ電

男性

女性

Dimo

お買い上げ時に登録されているキャラ電の操作

● 機能メニューから操作する場合⇒P.288

ボタン	男性	女性	Dimo
1	手を振る	手を振る	笑う
2	笑う	笑う	泣く
3	悲しむ	悲しむ	怒る
4	喜ぶ	喜ぶ	こんにちは
5	困る	困る	OK
6	はい	はい	NG
7	いいえ	いいえ	サメ
8	拍手する	拍手する	博士風メガネ
9	驚く	驚く	ガーン

● お買い上げ時に登録されているキャラ電にはパーツアクションはありません。
● これらのキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。⇒P.39

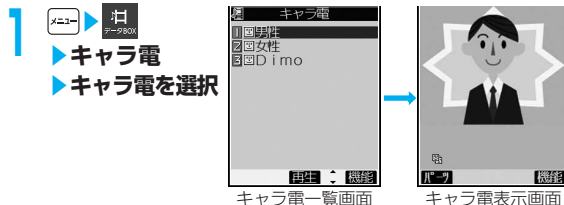
<キャラ電プレーヤー>

キャラ電を表示して操作する

登録されているキャラ電を表示します。
ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。
● キャラ電によっては、送話口に向かって話した音声に合わせて自動で動くものもあります。

1 ▶
▶**キャラ電**
▶**キャラ電を選択**

キャラ電一覧画面

キャラ電表示画面

■キャラ電操作のボタン割当

「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。

ボタン操作	内容
1～9 #1～#9※1※2 （全体アクションモード時）	全体アクション： 身体全体でアクションを表現。
11～99※1 （パーツアクションモード時）	パーツアクション： 身体の一部でアクションを表現。
0	実行中のアクションを中断。
＊	「アクション一覧」を表示。
✉	アクションモードを切り替え。

※1 お買い上げ時に登録されているキャラ電では利用できません。
※2 1桁目の#を取り消すにはもう一度#を押します。

お知らせ
● 操作できるアクション数はキャラ電により異なります。

▶▶次ページにつづく

キャラ電一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
キャラ電発信	キャラ電を利用してテレビ電話をかけます。⇒P.76
代替画像設定	⇒P.76
キャラ電撮影	⇒P.289
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●文字数:全角18／半角36文字まで。
情報表示	キャラ電のタイトル、ファイル名などを表示します。 ●[マルチカーソル]で画面をスクロールして確認できます。
保存容量確認	空き容量と保存容量(目安)を表示します。
デスクトップ貼付	⇒P.121
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時にインストールされているキャラ電も削除されます。
複数選択	複数のキャラ電を選択して削除します。 ▶削除したいキャラ電にチェック▶[iα]([機能]) ▶削除▶YES
表示サイズ設定 お買い上げ時 画面サイズで表示	キャラ電を等倍で表示するか画面サイズで表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES

お知らせ

<情報表示>
- 「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画･動画のメールへの添付、microSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

<1件削除><全削除><複数選択>
- 代替画像に設定しているDimo以外のキャラ電を削除した場合、代替画像はDimoに設定されます。Dimoを削除した場合、「内蔵」の代替画像を送信します。

キャラ電表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
キャラ電発信	キャラ電を利用してテレビ電話をかけます。⇒P.76
代替画像設定	⇒P.76
キャラ電撮影	⇒P.289
デスクトップ貼付	⇒P.121
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選び、[●]([選択])でアクションの実行、[✉]([詳細])でアクションの詳細を確認できます。 ●[＊]でもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 お買い上げ時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード([全])またはパーツアクションモード([パーツ])に切り替えます。 ●[✉]でも切り替えることができます。
情報表示	⇒P.288
表示サイズ設定	表示方法を設定します。⇒P.288

<キャラ電撮影>
キャラ電を撮影する

表示されているキャラ電を、静止画や動画として撮影します。

1 メニュー ▶ データBOX ▶ **キャラ電**
▶撮影したいキャラ電を選択
▶ i α（機能）▶キャラ電撮影

● キャラ電一覧画面の機能メニューからも選択できます。

キャラ電撮影画面

静止画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「📷」を表示して●（撮影）を押す

表示中のキャラ電の静止画が撮影されます。
● 「🎥」が表示されているときは▲で「📷」を表示します。

2 ●（保存）を押す

撮影した静止画を「カメラ」フォルダに保存します。

動画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「🎥」を表示して●（撮影）を押す

表示中のキャラ電の録画を開始します。
● 「📷」が表示されているときは▲で「🎥」を表示します。

2 ●（終了）▶●（保存）

撮影した動画を「カメラ」フォルダに保存します。

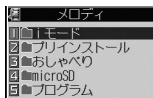
お知らせ
● 画像サイズはQCIF（176×144）に固定されます。
● マナーモード中や「着信音量」の「電話」や「メール」が「消去」に設定されている場合は、撮影確認音･撮影開始音･撮影終了音は鳴りません。
● 「映像／音声選択」が「映像＋音声」に設定されている場合は、音声も録音されます。（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、イヤホンマイクから音声が録音されます。）

キャラ電撮影画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
キャラ電切替	▶表示したいキャラ電を選択
代替画像設定	⇒P.76
アクション一覧	⇒P.288
アクション切替	⇒P.288
表示サイズ設定	表示方法を設定します。⇒P.288
記録サイズ設定 お買い上げ時 QCIF（176×144）	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶QCIF（176×144）・縮小サイズ（117×96）
映像／音声選択 お買い上げ時 映像＋音声	キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像･音声の有無を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶映像＋音声・映像のみ
記録品質設定 お買い上げ時 標準	キャラ電の動画を保存する際の画質を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶画質を選択

お知らせ
<キャラ電切替>
● キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。

<メロディプレーヤー>
メロディを再生する

メニュー 1 6

1 **メロディ**

メロディフォルダ一覧画面

2 フォルダを選択▶メロディを選択

メロディ一覧画面

メロディ再生画面

- 他の機能でフォルダやメロディを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやメロディがあります。また、メロディ選択中は確認のためにメロディが再生される場合や、✉(デモ)でメロディを再生できる場合があります。

プログラム再生

プログラム編集で選択したメロディを繰り返し再生します。

1

■メロディ再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	●(停止)、☎、📖、0～9、＊、＃、✉、📷を押す
音量調節	◎または▲▼ 押し続けで連続音量調節
次のファイルを再生※	◎
前のファイルを再生※	◎

※メロディ一覧画面から再生した場合、有効です。

メロディフォルダ一覧画面で「microSD」を選択したときは

1.項目を選択
　メロディ
　…FOMA端末からコピーしたメロディを表示します。
　移行可能コンテンツ
　…FOMA端末から移動した著作権のあるメロディを表示します。
2.フォルダを選択
　メロディの一覧が表示されます。

microSDメロディフォルダ一覧画面

お知らせ

- FOMA端末を閉じてもメロディは再生されます。
- メロディは「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定されていると、「レベル2」で再生されます。ただし、メロディ選択中に再生されるメロディの場合、鳴りません。
- 再生中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」の「電話」で設定されている音量に戻ります。

メロディフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	ユーザフォルダを最大20件まで新規作成します。 ▶フォルダ名を入力 ● 文字数：全角10／半角20文字まで。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶フォルダ名を入力 ● 文字数：全角10／半角20文字まで。
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべてのメロディを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
プログラム編集	メロディなどを10曲まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶プログラム順<1曲目>～<10曲目>を選択 ▶フォルダを選択▶メロディを選択 ● 登録済みのメロディを解除する場合は「メロディ解除」を選択します。 ▶操作を繰り返してプログラム編集を完了させる ▶✉(完了)
プログラム解除	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶YES

お知らせ

<フォルダ削除>
- 他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)

<プログラム編集>
- プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更したり削除したりすると、プログラムは全解除されます。

microSDメロディフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダタイトル編集	▶フォルダ名を入力 ● 文字数：全角31／半角63文字まで。 (「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10／半角20文字まで)
フォルダ作成	▶フォルダ名を入力 ● 文字数：全角31／半角63文字まで。 (「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10／半角20文字まで)
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
保存先フォルダ選択	メロディをmicroSDメモリーカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES

お知らせ

<フォルダタイトル編集>
- 「SDメロディ」フォルダはタイトル編集できません。

<フォルダ作成>
- microSDメモリーカード内の「メロディ」内フォルダ数が999件のときはフォルダ作成できません。

<フォルダ削除>
- 「SDメロディ」フォルダは削除できません。
- フォルダ内に非対応ファイルが含まれているフォルダは削除できません。

<保存先フォルダ選択>
- 保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。
  …「メロディ」フォルダ内のフォルダ
  …「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
- microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

▶▶次ページにつづく

メロディ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを編集 ●文字数：全角25／半角50文字まで。
フォルダタイトル編集	⇒P.266
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 ●文字数：半角英数字で36文字（拡張子を除く）まで。
メロディ再生	⇒P.290
着信音設定	▶着信の種類を選択 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
ファイル制限	選択したメロディのファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限について⇒P.160
デスクトップ貼付	⇒P.121
iモードメール作成	選択しているメロディをiモードメールに添付して作成します。 ⇒P.199手順2へ
赤外線送信	⇒P.307
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。 ⇒P.299
メロディ情報	メロディのタイトル、ファイル名などを表示します。 ●[]で画面をスクロールして確認できます。
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。⇒P.297
本体へ移動	「移行可能コンテンツ」フォルダ内のメロディをFOMA端末に1件移動します。⇒P.300
コピー	microSDメモリーカード内のメロディをmicroSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
移動	microSDメモリーカード内のメロディをmicroSDメモリーカード内の別のフォルダに移動します。 ▶移動先を選択 ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、[]（[]）を押すと表示できます。 上の階層に戻すには[]（[]）を押します。
保存容量確認	空き容量と保存容量（目安）を表示します。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除（1件削除）	FOMA端末内のメロディを1件削除します。 ▶1件削除▶YES
削除（選択削除）	FOMA端末内のメロディを選択して削除します。 ▶選択削除▶削除したいメロディにチェック ▶[]（完了）▶YES
削除（全削除）	FOMA端末内の選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES
1件削除	microSDメモリーカード内のメロディを1件削除します。 ▶YES
全削除	microSDメモリーカード内の選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
複数選択	microSDメモリーカード内の複数のメロディを選択して操作します。 ▶操作したいメロディにチェック▶[]（機能） ▶項目を選択 **削除**⇒P.292「1件削除」 **コピー**⇒P.292 **移動**⇒P.292 **全選択**………全選択します。 **全選択解除**…選択をすべて解除します。
ソート お買い上げ時 新しい順	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
フォルダ移動	FOMA端末内のメロディをFOMA端末内の別のフォルダに移動します。 ▶移動先のフォルダを選択 ▶移動したいメロディにチェック ▶[]（完了）▶YES
microSDへ移動	microSDメモリーカードに1件移動します。⇒P.300

機能メニュー	操作・補足
フォルダ作成	⇒P.291
フォルダ削除	⇒P.291
保存先フォルダ選択	⇒P.291

お知らせ

<ファイル名編集>

- 取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のアイコンが表示されているメロディはファイル名を変更できません。
- 記号など、一部の文字はファイル名に使用できません。

<ファイル制限>

- 取得元アイコンが「」のメロディにのみファイル制限を設定できます。
- ファイル制限を設定することによって100Kバイトを超える場合、ファイル制限を設定できません。

<iモードメール作成>

- 「」や「」のメロディは取得元、ファイル制限の設定に関わらずiモードメールに添付できません。また、取得元アイコンが「」や「」で「」のメロディや10000バイトを超えるメロディも添付できません。

<メロディ情報>

- メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、iモードメールに添付できないことがあります。
- 故障時移行可否について⇒P.270

<本体へコピー>

- 100Kバイトを超えるメロディはコピーできません。
- MFi、SMF以外のメロディはコピーできません。

<削除>

- 他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)

<ソート>

- ソート機能でメロディ一覧を表示させたあとその画面を終了し、再度メロディ一覧画面を表示したときは、「新しい順」に戻ります。

メロディ再生画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
着信音設定	着信音に設定します。⇒P.292
デスクトップ貼付	⇒P.121
iモードメール作成	選択しているメロディをiモードメールに添付して作成します。⇒P.199手順2へ
メロディ情報	メロディの情報を表示します。⇒P.292
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。⇒P.299
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。⇒P.297

microSDメモリーカードについて

microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

- FOMA P704iμでは市販の2GバイトまでのmicroSDメモリーカードに対応しています。(2007年6月現在)
  microSDメモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - iモードから　P-SQUARE(2007年6月現在)
    iMenu→メニュー／検索→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
  - パソコンから　http://panasonic.jp/mobile/

  サイト接続用QRコード

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カード処理を行っているときは絶対にmicroSDメモリーカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っているときは本体外側の着信／充電ランプが点灯／点滅します。(機能によっては点灯／点滅しない場合があります。)
  カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、microSDメモリーカードを抜いてください。
- 本体･microSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
- microSDメモリーカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。
- FOMA端末では、ダウンロードしたファイル制限のある静止画、iモーション、メロディ、着うた®、iアプリをmicroSDメモリーカードに保存できます。IP(サービス提供者)が許可していない場合は、保存できません。

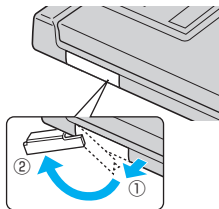
お知らせ

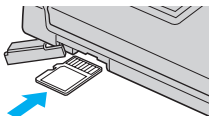
- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードは使用できないことがあります。必ずFOMA P704iμでフォーマットしたmicroSDメモリーカードをご使用ください。
- 本FOMA端末以外の機器でmicroSDメモリーカードの読み書きを行うと、ご利用の機器や操作方法によってはmicroSDメモリーカードが使用できなくなる場合があります。
- パソコンなど他機器で使用しているmicroSDメモリーカードをFOMA P704iμで使用すると、FOMA P704iμで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。

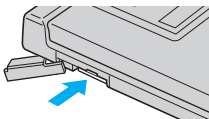
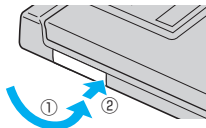
フォーマットを行うと、microSDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

1 microSDメモリーカード差込口のカバーを開ける

● 右側を引っ張り出したあと、矢印方向に回転させます。

2 microSDメモリーカードのうら面を上に向けて差し込む

● 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

取り外す場合

奥まで押し込むとmicroSDメモリーカードが出てくるので、そのまま抜き取ります。

3 microSDメモリーカード差込口のカバーを閉める

画面表示について

microSDメモリーカードを取り付けると以下のアイコンが表示されます。

:データを保存したり読み出したりできます。

:microSDメモリーカードにライトプロテクトがかかっています。データの保存、「microSDチェックディスク」、「microSDフォーマット」はできません。

:microSDメモリーカードを使用できません。microSDメモリーカードを取り外して、再度取り付けてください。それでも「」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。

お知らせ

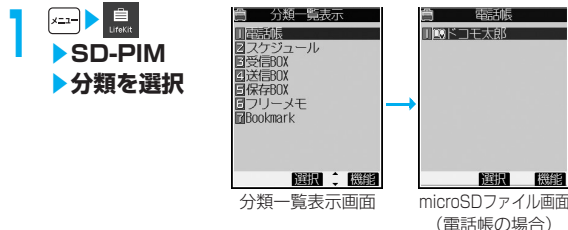
- FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- microSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますので注意してください。
- microSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとmicroSDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- microSDメモリーカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

<SD-PIM>
microSDメモリーカードのデータを表示する

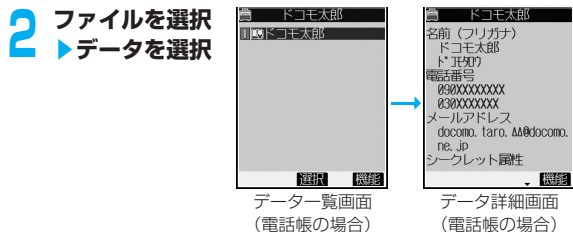
microSDメモリーカードに登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークを表示します。

1

▶SD-PIM
▶分類を選択

分類一覧表示画面　microSDファイル画面（電話帳の場合）

●「スケジュール」を選択すると、ToDoも表示されます。

2 ファイルを選択
▶データを選択

データ一覧画面（電話帳の場合）　データ詳細画面（電話帳の場合）

お知らせ

● デコメールを表示したときは、microSDメモリーカードに保存する前のメールイメージを、正しく表示できません。

分類一覧表示画面・microSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ● 文字数：全角15／半角31文字まで。
本体へ追加コピー	FOMA端末に追加でコピーします。⇒P.297
本体へ上書コピー	FOMA端末に上書きでコピーします。⇒P.298
1件本体へ追加コピー	FOMA端末に追加で1件コピーします。⇒P.297
全件本体へ追加コピー	FOMA端末に追加で全件コピーします。⇒P.297
全件本体へ上書コピー	FOMA端末に上書きで全件コピーします。⇒P.298
microSDへコピー	FOMA端末からmicroSDメモリーカードへコピーします。⇒P.297
1件削除	▶YES
全削除	現在表示している分類にあるファイルを全件削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
microSD情報表示	microSDメモリーカードの容量を表示します。⇒P.301
microSDフォーマット	microSDメモリーカードをフォーマットします。⇒P.301
microSDチェックディスク	microSDメモリーカードをチェックします。⇒P.301

お知らせ

<1件削除><全削除>

● パソコンなどでアクセス権が読み取り専用に設定されている場合、削除するかどうかの確認画面が表示されます。

FOMA端末内のデータをmicroSDメモリーカードへコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをmicroSDメモリーカードにコピーします。

1件microSDへコピー

FOMA端末内の1件のデータをmicroSDメモリーカードにコピーします。コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータの画面▶[iα]([機能])▶microSDへコピー▶YES

全件microSDへコピー

分類一覧画面で選択している分類やmicroSDファイル画面で表示している分類のデータをFOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピーします。コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードやボイスダイヤルはコピーされません。

1 分類一覧表示画面・microSDファイル画面▶[iα]([機能])▶microSDへコピー▶端末暗証番号を入力▶YES

- スケジュールをコピーするときは、「スケジュール」･「ToDo」･「全て」(スケジュールとToDo)のいずれかを選択します。

お知らせ

- シークレットで登録されているデータを1件コピーした場合、通常のデータとしてコピーされます。
- データを全件コピーした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
- 電話帳を全件コピーした場合、「自局番号表示」の内容もコピーされます。
- メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。
- パソコンなど他機器でプロテクト設定されたmicroSDメモリーカードには書き込みができません。
- ｉアプリを起動させるリンクのあるメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

microSDメモリーカード内のデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをFOMA端末にコピーします。

- microSDメモリーカードに保存できる件数について⇒P.304

1件本体へ追加コピー

データ一覧画面で選択しているデータや、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末にコピーします。

1 データ一覧画面・データ詳細画面▶[iα]([機能])▶1件本体へ追加コピー▶YES

全ファイル本体へ追加コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 分類一覧表示画面▶[iα]([機能])▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES
または
microSDファイル画面▶[iα]([機能])▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

▶▶次ページにつづく

1ファイル本体へ追加コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 **microSDファイル画面▶i(機能)▶本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES**
または
データ一覧画面▶i(機能)▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

全ファイル本体へ上書コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 **分類一覧表示画面▶i(機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES**
または
microSDファイル画面▶i(機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

1ファイル本体へ上書コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 **microSDファイル画面▶i(機能)▶本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES**
または
データ一覧画面▶i(機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

お知らせ

- コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。コピー済みのデータは登録されます。
- 電話帳を追加コピー時、microSDファイルに登録されているグループ番号･グループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号･グループ名と異なる場合、電話帳はグループ00に登録されます。
- 電話帳を上書きでコピーすると、ボイスダイヤルは削除されます。
- 電話帳を上書きでコピーした場合は、先頭のデータを「自局番号表示」に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「自局番号表示」に設定されます。「NO」を選択すると「自局番号表示」は設定されずに全データが電話帳に登録されます。
- 送信BOX、受信BOXがいっぱいのときにメールを1件コピーすると、保護されていない最も古いメール(受信メールの場合は既読メール)が上書きされます。
- 「全件本体へ追加コピー」した場合、以下のデータはコピーされません。
  ･日付時刻の設定が同じスケジュール
  ･同じURLのブックマーク
- microSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

静止画や動画などをコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDメモリーカードへコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDメモリーカードへコピーします。コピー先とファイル名は以下のとおりです。

静止画（DCF規格）	「ピクチャ」内の保存先フォルダ PXXXXXXX（Xは数字）
静止画（DCF規格外）	「イメージボックス」内の保存先フォルダ STILXXXX（Xは数字）
動画（映像あり）	「ムービー／アナログTV」内の保存先フォルダ MOLXXX（Xは英数字）
動画（映像なし）	「その他コンテンツ」内の保存先フォルダ MMFXXXX（Xは数字）
メロディ	保存先フォルダ RINGXXXX（Xは数字）

1 静止画一覧画面・静止画再生中・動画一覧画面 ▶ i α（機能）▶ピクチャmicroSDへコピー・イメージmicroSDへコピー・microSDへコピー

- 「複数選択」でコピーしたいファイルを選択しておくと、複数ファイルを一度にコピーできます。

お知らせ

- コピー処理中はmicroSDメモリーカードを抜かないでください。
- 「ｉモード」、「カメラ」、「ユーザフォルダ」内のファイルのみコピーできます。
- JPEGファイル、GIFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。
- 保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダを作成して保存します。コピーが完了すると「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」（XXXXXXXはフォルダ名）と表示されます。

お知らせ

- 以下のファイルはコピーできません。
  - ･1632×1224ドットを超える静止画
  - ･「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したファイル
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･再生制限付きファイル
- microSDメモリーカードへコピーすると、画質が劣化したりファイルサイズが大きくなる場合があります。
- VGA（640×480）サイズを超えるJPEGファイルをコピーする場合、VGA（640×480）サイズに縮小されることがあります。

microSDメモリーカード内のファイルをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカード内にあるファイルを、本体内のｉモードフォルダにコピーします。

1 microSDメモリーカードの静止画一覧画面・静止画再生中・動画一覧画面・動画一時停止中・動画再生終了時 ▶ i α（機能）▶本体へコピー

- 「複数選択」でコピーしたいファイルを選択しておくと、複数ファイルを一度にコピーできます。
- 保存されている画像･ｉモーションがいっぱいのとき⇒P.180

お知らせ

- コピー処理中はmicroSDメモリーカードを抜かないでください。
- JPEGファイル、GIFファイル、MP4ファイルをコピーできます。ただし、700Kバイトを超える画像、1632×1224ドットを超える画像はコピーできません。
- JPEGファイル、GIFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。ただし、ASF形式の動画、QVGA（320×240）サイズの動画、800Kバイトを超える動画は、複数コピーできません。
- 動画コピー時は動画を切り出し･変換･縮小を行うため、画質が劣化したり、ファイルサイズが増減することがあります。800Kバイトを超える動画の場合は、800Kバイトまでを切り出してコピーします。

▶▶次ページにつづく

お知らせ

- QVGA（320×240）サイズの動画やテロップ付の800Kバイトを超える動画をコピーする場合、テロップ情報が失われる旨の確認画面が表示されます。QVGA（320×240）サイズの動画をコピーする場合、QCIF（176×144）サイズに変換される旨の確認画面が表示されます。QVGA（320×240）サイズの動画、ASFファイル、800Kバイトを超えるファイルをコピーする場合、時間がかかる旨の確認画面が表示されます。
- ASF形式または800Kバイトを超える動画で以下の場合はコピーできません。
  ･音声コーデックがAAC、AAC+のとき
  ･動画像ビットレートが制限を超えるとき
  ･シーク（早送り･早戻し）ができないとき
  ･動画サイズがQVGA（320×240）、QCIF（176 ×144）、Sub-QCIF（128×96）以外のとき
  上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。
- ASFファイルをコピーすると、再生時間が長くなる場合があります。
- コピー後のファイルのタイトルはmicroSDメモリーカード内で設定したタイトルになります。ただし、microSDメモリーカード内でタイトルを設定していない場合や初期タイトルが不明な場合はファイル名になります。
- VGA（640×480）サイズを超えるJPEGファイルをコピーする場合、VGA（640×480）サイズに縮小されることがあります。

<コンテンツ移行対応>

著作権のあるファイルを移動する

FOMA端末内のファイルをmicroSDメモリーカードへ移動する

サイトから取得した著作権のあるファイルを暗号化してmicroSDメモリーカードに移動します。移動したファイルは「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダに保存されます。microSDメモリーカードに移動したファイルには、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

- ｉアプリのソフトもmicroSDメモリーカードに移動できます。⇒P.252

1 静止画一覧画面・動画一覧画面・メロディ一覧画面▶[iα]（機能）▶microSDへ移動▶OK

- 中止する場合は[✉]（中止）を押します。

お知らせ

- 取得元アイコンが「[icon]」のファイルのみmicroSDメモリーカードへ移動できます。
- 他の機能で設定されているファイルを移動すると、設定が解除されます。

microSDメモリーカード内のファイルをFOMA端末へ移動する

microSDメモリーカード内の著作権のあるファイルをFOMA端末の「ｉモード」フォルダに移動します。

1 microSDメモリーカードの静止画一覧画面・動画一覧画面・メロディ一覧画面▶[iα]（機能）▶本体へ移動

- 中止する場合は[✉]（中止）を押します。

お知らせ

- 著作権のあるファイル（ファイル制限あり）で本体へ移動「可」または「可（同一機種間）」のファイルのみFOMA端末へ移動できます。また、「可（同一機種間）」のファイルはP704iμ以外のFOMA端末には移動できません。本体へ移動「可」「不可」「可（同一機種間）」を確認するには「ピクチャ情報」「ｉモーション情報」「メロディ情報」参照。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。
- 移動したファイルは「ｉモード」フォルダに保存されます。

＜microSDフォーマット＞
microSDメモリーカードをフォーマットする

microSDメモリーカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。フォーマットは必ずFOMA P704iμで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードは正常に使用できない場合があります。

フォーマットを行うと、microSDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1
▶microSDフォーマット
▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- フォーマット中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- microSDフォーマット中に✉(中止)や☎を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。
- フォーマットを中止したmicroSDメモリーカードに保存されたデータの保証はいたしかねます。
- 未対応のメモリーカードはフォーマットできません。
- フォーマット後にmicroSDメモリーカードにデータを保存するときは、必要なフォルダが自動的に作成されます。

＜microSDチェックディスク＞
microSDメモリーカードをチェックする

microSDメモリーカードのチェックを行い、修復します。

1
▶microSDチェックディスク▶YES

お知らせ

- チェックディスク中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- フォーマットされていないmicroSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
- microSDメモリーカードのチェックディスクを行った場合、microSDメモリーカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
- microSDチェックディスク中に✉(中止)や☎を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、チェックディスクは中止されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDメモリーカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。

＜microSD情報表示＞
microSDメモリーカードの容量を表示する

microSDメモリーカードの空き容量と保存容量(目安)を表示します。
静止画、動画の保存容量を確認するには⇒P.268

1 メニュー▶LifeKit▶SD-PIM▶iα(機能)
▶microSD情報表示

- 確認が終わればchクリアを押します。

お知らせ

- microSDメモリーカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDメモリーカードに表示された容量より少なくなります。

microSDメモリーカードをパソコンなどで使う

microSDメモリーカードをmicroSDメモリーカードアダプタに接続すると、SDメモリーカード対応のパソコンなどで利用できます。microSDメモリーカードアダプタは、家電量販店などでお買い求めいただけます。
microSDメモリーカードアダプタの取り付けかたなどは、microSDメモリーカードアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使う

お買い上げ時	通信モード

microSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。
以下の機器が必要です。

- 接続ケーブル：FOMA USB接続ケーブル（別売）
- パソコン：FOMA USB接続ケーブル（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
- 対応OS：Windows® 2000、Windows® XP、Windows Vista™（各日本語版）

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**USBモード設定**▶**microSDモード**

- 「microSDモード」に設定すると、待受画面に「[アイコン]」が表示されます。
- パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信（OBEX）やUSBハンズフリー対応機器での通話で使用する場合は「通信モード」に設定します。

2 **FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続する**

パソコンがmicroSDメモリーカードを認識します。

- 待受画面に「[アイコン]」が表示されます。また、microSDメモリーカードを装着中は「[アイコン]」が表示されます。

お知らせ

- パソコンなどからmicroSDメモリーカードをフォーマットすると、FOMA端末で使用できなくなることがあります。必ずFOMA端末でフォーマットしてください。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合や、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中は本機能を設定できません。また、読み込み／書き込み中に「設定リセット」、「端末初期化」は行わないでください。microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- FOMA端末から読み込み／書き込み中はパソコンからは読み込み／書き込みできません。また、パソコンからの読み込み／書き込み中はFOMA端末からは読み込み／書き込みできません。
- ドコモケータイdatalinkを使用する場合は、「通信モード」でご利用ください。
- FOMA端末の電源を入れたまま電池パックを取り外すと、「USBモード設定」は「通信モード」に設定されます。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末はmicroSDメモリーカード内に次のようなフォルダを作成し、そのフォルダ内に保存します。パソコンなどで確認できます。

- DCIM（DCF規格静止画用フォルダ）
  - △△△_PANA
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - STILL（DCF規格外静止画フォルダ）
      - SUD□□□
    - RINGER（メロディ用フォルダ）
      - RUD□□□
    - MMFILE（SD-VIDEO規格外動画用フォルダ）
      - MUD□□□
    - TABLE（付加情報フォルダ）
- SD_VIDEO（動画用フォルダ〔音楽データ含む〕）
  - PRL◇◇◇（ムービー／アナログTV用フォルダ）
  - PRG◇◇◇（デジタルTV用フォルダ）
- SD_AUDIO（SDオーディオ用フォルダ）
- SD_PIM
  （電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマーク用フォルダ）
- SD_BIND
  （ｉアプリや移行可能コンテンツ用フォルダ）
  - SVC▲▲▲▲▲
    - ■■■■◆◆◆◆
- MISC
  （DPOF用フォルダ〔P.310「DPOF設定」を設定するときに自動作成されるフォルダです。〕）

△△△：100～999の3桁の半角数字
□□□：001～999の3桁の半角数字
◇◇◇：0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数※の文字
▲▲▲▲▲ ：00001～65535の5桁の半角数字
■■■■、◆◆◆◆ ：0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた0001～FFFFの16進数※の文字
※10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数え方です。

パソコンなどからmicroSDメモリーカードにファイルを書き込むときは

パソコンなどからmicroSDメモリーカードにファイルを書き込んで利用する場合は、それぞれのフォルダに指定のファイル名で書き込む必要があります。ファイル名については以下のとおりです。

ファイル	ファイル名
静止画（DCF規格）	Pxxxzzzz.JPG（JPEGファイル） Pxxxzzzz.GIF（GIFファイル）
静止画（DCF規格外）	STILzzzz.JPG（JPEGファイル） STILzzzz.GIF（アニメーションGIFファイル）
動画（ムービー／アナログTV）	MOL＊＊＊.3GP（3GPファイル） MOL＊＊＊.SDV（SDVファイル） MOL＊＊＊.ASF（ASFファイル） MOL＊＊＊.MP4（MP4ファイル）
動画（SD-VIDEO規格外）	MMFzzzz.3GP（3GPファイル） MMFzzzz.SDV（SDVファイル） MMFzzzz.ASF（ASFファイル） MMFzzzz.MP4（MP4ファイル）
メロディ	RINGzzzz.MLD（MFiファイル） RINGzzzz.SMF（SMFファイル）
電話帳 スケジュール ToDo メール フリーメモ ブックマーク	PIM$$$$$.VCF（vCardファイル） PIM$$$$$.VCS（vCalendarファイル） PIM$$$$$.VMG（vMessageファイル） PIM$$$$$.VNT（vNoteファイル） PIM$$$$$.VBM（vBookmarkファイル）

xxx：フォルダ名の「△△△」と同じ半角数字
zzzz：0001～9999の4桁の半角数字
＊＊＊：0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数※の文字
※10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数え方です。
$$$$$：00001～65535の5桁の半角数字

次ページにつづく

microSDメモリーカードに保存できる件数・時間について

microSDメモリーカードに保存できる件数・時間は、ご使用になるmicroSDメモリーカードの容量によって変わります。フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

ファイル	フォルダ	保存可能数・時間
静止画(DCF規格)	DCIM	⇒P.149
静止画(DCF規格外)	STILL	約58390件
動画(ムービー／アナログTV)	SD_VIDEO	⇒P.150
動画(デジタルTV)	SD_VIDEO	99件
動画(SD-VIDEO規格外)	MMFILE	約58390件
メロディ	RINGER	約58390件
SDオーディオ	SD_AUDIO	999件
電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマーク	SD_PIM	約58390件
iアプリ	SD_BIND	約58390件
移行可能コンテンツ	SD_BIND	

microSDメモリーカードの空き容量と保存容量は「microSD情報表示」で確認できます。

microSDメモリーカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDメモリーカードに表示された容量より少なくなります。

お知らせ

- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- パソコンの設定で拡張子や隠しフォルダなどが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- microSDメモリーカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。FOMA P704iμでmicroSDメモリーカードを読めなくなることがあります。
- FOMA P704iμ未対応のデータをパソコンでmicroSDメモリーカードに記録しても、FOMA P704iμでは認識できません。
- 「SD_AUDIO」、「SD_BIND」、「PRG◇◇◇」フォルダ内のファイルは暗号化されているため、パソコンで見ることはできません。
- パソコンでファイルの削除や上書き、書き込みを行う場合は、一度使用したファイル名は使用しないでください。例え、そのファイルを削除していたとしても、別のファイル名を使用してください。
- 他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- microSDリーダーライターおよびPCカードリーダーアダプタについては、microSDメモリーカードの動作を各メーカにご確認のうえお買い求めください。

用語解説

● DCF

Design rule for Camera File Systemの略でファイルシステムの規格です。

● MPEG4

Moving Picture Experts Group Phase4の略で、移動体通信やインターネットに向けた高能率符号化(データ圧縮)方式の動画です。

● MP4形式(拡張子:3gp)

「3gp」は3GPP(3rd Generation Partnership Project)により規定されたフォーマットです。

● MP4形式(拡張子:mp4)

動画像圧縮符号化の標準規格であるMPEG4で規定されたフォーマットです。

● ASF形式(拡張子:asf)

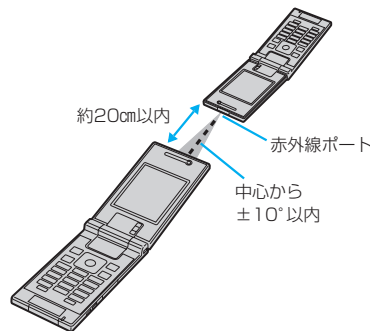
Advanced Streaming Formatの略で、映像、音声や文字などの情報を持つことのできるストリーミング配信に適したフォーマットです。

		撮影種別	
		音声のみ	通常·映像のみ
記録媒体設定	本体	MP4(3gp)	MP4(3gp)
	microSD	MP4(mp4)	ASF(asf)

FOMA端末、microSDメモリーカード間でコピー、移動すると、ファイル形式が変換されます。

赤外線通信について

FOMA端末はIrMCバージョン1.1に準拠しています。
赤外線通信機能を持つ機器との間でデータを送受信できます。
ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

● 赤外線の通信距離は、約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
● FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
● 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下·赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
● 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。
● 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、iモード·メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。
● 指定発信制限を設定中に、電話帳は受信できません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、自局番号表示のデータを送信できます。

■転送できるデータの一覧

転送条件 / 転送可能データ	1件	複数件	全件
電話帳(自局番号表示)	○	×	800件まで※1
スケジュール※2	○	×	100件まで
ToDo	○	×	100件まで
受信メール	○	×	1000件まで
送信メール	○	×	400件まで
保存メール	○	×	20件まで
フリーメモ	○	×	20件まで
メロディ※3、※4	○	×	×
静止画ファイル※4、※5	○	○	×
動画ファイル※4、※6	○	○	×
ブックマーク※7	○	×	100件まで

※1 電話帳の全件送受信件数は、電話番号とメールアドレスがそれぞれ800件に到達するまでです。
※2 休日･記念日は送受信できません。
※3 ファイルによっては送受信できません。
※4 vntファイルに変換して送受信されます。
※5 自作アニメは送受信できません。
また、VGA(640×480)サイズを超えるJPEGファイルを送受信する場合、VGA(640×480)サイズに縮小されることがあります。
※6 ASFファイルは送受信できません。
※7 ブックマークを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

■受信したデータの保存場所や保存順

データ		保存場所／保存順
電話帳(自局番号表示)	1件受信	電話帳のメモリ番号「010」～「799」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「799」がすべて登録されているときは、「000」～「009」(「ツータッチダイヤル」)の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
	全件受信	送信元と同じメモリ番号で登録されます。
スケジュール	1件受信	スケジュールの開始日時に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時に登録されます。
ToDo	1件受信	ToDoリストの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ順番で登録されます。
受信メール	1件受信	「受信フォルダ一覧」の「受信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
送信メール	1件受信	「送信フォルダ一覧」の「送信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
保存メール	1件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
フリーメモ	1件受信	<未登録>の一番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
メロディ	1件受信	「データBOX」内の「メロディ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
静止画ファイル	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「マイピクチャ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
動画ファイル	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「ｉモーション」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
ブックマーク	1件受信	「Bookmark」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
  ･FOMA端末外への出力が禁止されている静止画や動画、メロディ
  ･FOMAカード内の電話帳やSMS
- microSDメモリーカード内のデータは送信できません。FOMA端末にコピーまたは移動してから送信してください。
- 静止画、動画のタイトルは、全角9／半角18文字、メロディのタイトルは、全角25／半角50文字まで送受信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 受信メールの最大保存件数(⇒P.435)を超えた場合は、①「ゴミ箱」フォルダのメール②古い受信メールの順に上書きされます。
- 送信メールの最大保存件数(⇒P.435)を超えた場合は、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- 静止画は700Kバイト、動画は800Kバイト、メロディは100Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。
- FOMA USB接続ケーブル(別売)が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。
- 受信側の端末が対応していないデータは、送信できません。

データを1件または複数件送受信する

赤外線でデータを1件ずつ送受信します。
静止画ファイル、動画ファイルは複数件送受信できます。

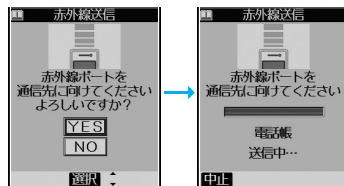
送受信時のご注意

- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録した電話帳を受信した場合、通常の電話帳として登録されます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードやボイスダイヤルは送信されません。

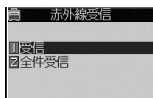
データを1件または複数件送信する

1 送信したいデータの画面▶[iα](機能)▶赤外線送信

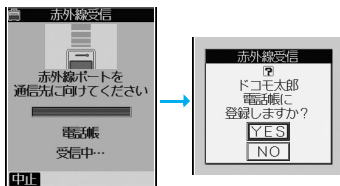
- 複数件送信する場合は、「複数選択」で送信したいファイルを選択し、[iα](機能)→「赤外線送信」を選択します。

2 YES

- 中止する場合は[✉](中止)または[CLR]を押します。
- 複数件送信の場合は、選択したファイル数分「YES」を選択してファイルを送信します。

データを1件または複数件受信する

メニュー 7 9

1   **▶赤外線受信**

赤外線受信選択画面

2 **受信▶YES**

- 中止する場合は[✉]（中止）または[clr]を押します。
- 1件受信後に続けて受信するかどうかの確認画面が表示されます。複数件受信の場合は「YES」を選択します。

お知らせ

- ソフトを起動する指示を受信した場合、対応するソフトがダウンロード済みであればそのソフトが起動します。ただし、ｉアプリ To 設定で「赤外線からｉアプリ To」にチェックを入れていない場合は起動しません。
- 電話帳に登録される電話番号は、メモリ番号「010」～「799」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「799」がすべて登録されているときは、「000」～「009」（「ツータッチダイヤル」）の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。

データを全件送受信する

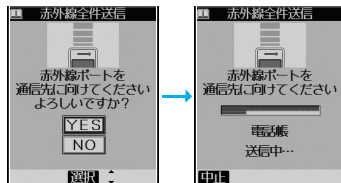
赤外線で電話帳、スケジュール、ToDo、フリーメモ、ブックマーク、メールのデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード（任意の4桁の番号）の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

全件送受信時のご注意

- 全件受信を行うと、登録されていたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信したデータで上書きされます。「シークレットモード」で登録されていたデータも削除されます。
  全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
- 電話帳を全件送信すると「自局番号表示」のデータも一緒に送信されます。受信側の「自局番号表示」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
- シークレットモード時に限らず「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。送信した「シークレットデータ」は受信側でも「シークレットデータ」として登録されます。
- 受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
- ToDoに対応していない端末にToDoを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- 保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。

データを全件送信する

1 送信したいデータの画面▶i α(機能)▶赤外線全件送信▶端末暗証番号を入力

2 認証パスワードを入力▶YES

- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。
- 中止する場合は✉(中止)またはCLRを押します。

お知らせ

- メールの全件送信を行った場合、10000バイトを超えるJPEG形式の画像の情報があるメールや、iアプリを起動させるリンク情報があるメールはその情報が削除されて送信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- シークレットモード時に関係なく、選択したすべてのデータが送信されます。
- 電話帳データを全件送信してもボイスダイヤルの情報は送信されません。

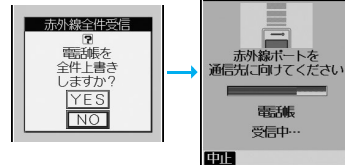
データを全件受信する

メニュー 7 9

1 メニュー▶LifeKit▶赤外線受信

赤外線受信選択画面

2 全件受信▶端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力▶YES

3 YES

登録済みのデータを削除し、受信を開始します。

- 中止する場合は✉(中止)またはCLRを押します。

お知らせ

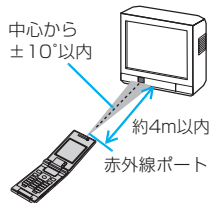
- 静止画が登録された電話帳やファイルが添付されたメールを受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリを起動してFOMA端末をテレビのリモコンとして使用できます。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。（お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は赤外線リモコン機能に対応しています。）また、リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。
- 機器によっては操作できないものもあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

リモコン操作について

- 機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。操作ができる範囲は正面で約4m以内です。
- 赤外線放射角度は中心から±10˚以内です。

＜電話帳画像転送＞
通信の設定を行う

お買い上げ時	する

赤外線、SD-PIM、ドコモケータイdatalinkで電話帳を転送したときに、登録されている静止画も合わせて転送するかどうかを設定します。

1 ▶▶**電話帳画像転送▶する・しない**

保存した画像を印刷する

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

DPOFとは、デジタルカメラで撮影された静止画用のプリント情報を記録するための指定方式です。
microSDメモリーカード内の静止画にプリントするかどうかの情報とその枚数を設定します。プリントサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンタで設定どおりに印刷できます。

1 **静止画再生中・静止画一覧画面▶[i α]（機能）▶DPOF設定▶プリント指定▶プリント枚数（枚）を入力**

- 「01」～「99」の2桁を入力します。
- 選択した静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定解除」を選択します。すべての静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定全解除」を選択します。

お知らせ

- DPOF設定した画像は種別アイコンが「」や「」になります。
- 999件までの画像にDPOF設定を設定できます。
- 700Kバイトを超える画像や1632×1224ドットを超える画像には設定できません。
- パソコンなど他機器で設定したDPOF設定は枚数情報以外は無効となります。
- microSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。（アイコン表示とピクチャ情報は設定済みとなります。）不要なファイルを削除するなどして、容量を空けてから再度設定してください。

音楽再生

音楽を聴く

音楽の再生方法について

FOMA端末で音楽を再生する方法には次の3つがあります。

■ｉモーションプレーヤー⇒P.277

「ｉモーション」フォルダからｉモーションを再生します。

■メロディプレーヤー⇒P.290

「メロディ」フォルダからメロディを再生します。

■SDオーディオ⇒P.312

「SDオーディオ」フォルダから音楽データを再生します。

- SDオーディオで音楽を聴きながらメールやサイトの表示（バックグラウンド再生）などを利用できます。⇒P.412

お願い

microSDメモリーカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

<SDオーディオ>

SDオーディオを利用する

音楽CDなどからmicroSDメモリーカードにパソコンを利用して保存した曲を、FOMA端末で再生できます。

- SDオーディオを使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。

microSDメモリーカードに音楽を保存する

付属のFOMA P704iμ用CD-ROMのSD-Jukeboxを利用して、パソコンでmicroSDメモリーカードに音楽を保存します。

- microSDメモリーカードアダプタ（別売）を使って、パソコンから直接microSDメモリーカードに保存することもできます。

※以下のステップは、FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使用し、音楽を保存する場合の一例です。

ステップ1 音楽を保存するために必要なものを準備する

必要なもの

- FOMA P704iμ本体
- microSDメモリーカード
- FOMA USB接続ケーブル（別売）
- パソコン（Windows® XP、Windows® 2000 Professional、Windows Vista™）
- SD-Jukebox（付属のFOMA P704iμ用CD-ROM）
- 保存したい音楽CD

ステップ2 SD-Jukeboxをインストールする

付属のFOMA P704iμ用CD-ROMからパソコンにインストールします。

◆SD-Jukeboxのインストールについて⇒P.317

ステップ3 FOMA端末をリーダーライターとして使う

準備をします。⇒P.302

ステップ4 microSDメモリーカードに音楽を保存する

SD-Jukeboxを起動してパソコンに音楽CDを入れます。SD-Jukeboxを使用してmicroSDメモリーカードに音楽を保存します。

- 操作方法についてはSD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末からFOMA USB接続ケーブルを取り外します。

FOMA端末で音楽を再生する

microSDメモリーカードに保存した音楽データをFOMA端末で再生します。

- 平型ステレオイヤホンセット(別売)を接続してステレオサウンドで音楽を楽しめます。

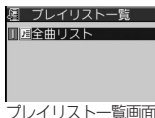
1 **SDオーディオ**

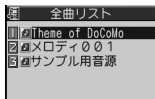
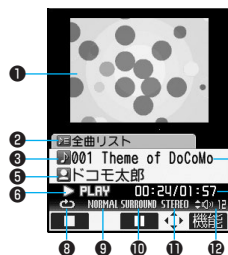
プレイリスト一覧
1 全曲リスト

プレイリスト一覧画面

- 前回再生した曲の情報がある場合は、再生画面(一時停止状態)が表示されます。[ch クリア]を押すごとに、曲一覧画面とプレイリスト一覧画面に戻れます。
- 現在再生中のプレイリストや前回再生したプレイリストには「★」マークが付いています。
- [✉]([再生])を押すと選択したプレイリスト内の先頭の曲から再生します。ただし、再生モードを「ランダム」や「ランダムリピート」に設定している場合は、プレイリスト内のいずれかの曲から再生されます。

2 プレイリストを選択▶曲を選択

全曲リスト
1 Theme of DoCoMo
2 メロディ001
3 サンプル用音源

曲一覧画面

- 現在再生中の曲や前回再生した曲には「★」マークが付いています。
- 再生中にFOMA端末を閉じても再生は継続されます。
- 再生中・一時停止中・停止中に[☎]を押すとSDオーディオを終了します。

■曲再生時の画面について

Theme of D

FOMA端末を閉じている場合※1

※1:プライベートウィンドウの表示は、曲名/アーティスト名が表示され、すべてが表示されない場合はテロップ状に流れて表示されます。

※2:複数の画像が登録されている場合、曲によっては再生中に画像が自動で順次表示されます。また、画像が登録されていない場合や総演奏時間が5秒未満の曲の場合は、アニメーションが表示されます。

❶…曲に登録されている画像※2

❷…プレイリスト名

❸…曲番号

❹…曲名

❺…アーティスト名

❻…再生状態

❼…再生時間/総演奏時間

❽…再生モード(「ノーマル」の場合は、何も表示されません。)

[→]:1曲終了　[⟲]:1曲リピート　[⟲]:全曲リピート

[⤮]:ランダム　[⤮]:ランダムリピート

❾…音質モード

[NORMAL]:ノーマル　[S-XBS]:S-XBS　[TRAIN]:トレイン

❿…サラウンド

[SURROUND]:ON

⓫…ステレオ/モノラル種別

[STEREO]:ステレオ　[MONO]:モノラル

⓬…音量

次ページにつづく

■曲再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	✉(■)／再生するには●(▶)
一時停止	●(❚❚)／再生するには●(▶)
音量調節 お買い上げ時 レベル12	○または▲▼ ● 押し続けると連続して音量が調節されます。 ● レベル0～25まで設定できます。 FOMA端末を閉じている場合▲▼
次の曲を再生	○
前の曲を再生※1	○／再生時間が3秒以上の場合は頭出し再生
シーク(早送り)※2	○を押し続けている間早送り
シーク(早戻し)※2	○を押し続けている間早戻し
次の画像を表示	3
前の画像を表示	1

※1 「ランダム」「ランダムリピート再生」時や前の曲がない場合は曲の頭出しになります。
※2 停止中･一時停止中は操作できません。

曲再生時の画面でFOMA端末を閉じた場合は、平型ステレオイヤホンセット(別売)または平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを使って、下記の操作を行えます。

● FOMA端末を開いている場合は下記の操作はできません。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押し。再生するには再度1回押し。
次の曲を再生	連続2回押し。
前の曲を再生※	連続3回押し。再生時間が3秒以上の場合は頭出し再生。

※「ランダム」「ランダムリピート再生」時や前の曲がない場合は曲の頭出しになります。

■曲再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	MPEG-2 AAC、MPEG-2 AAC+SBR
ビットレート	32～128kbps
最大保存可能曲数	999曲
最大プレイリスト数	99件 (1件のプレイリストには最大99曲まで登録可能※)

※「全曲リスト」を除く。

お知らせ

● 以下の操作を行うと、前回再生した曲の情報は消去されます。
  ･microSDメモリーカードを取り外し／取り付けした場合
  ･FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
  ･「設定リセット」や「端末初期化」を行った場合
● 再生中にチャットメールを起動してチャットメールを受信しても、お知らせ音は鳴りません。
● 電池残量が少ない場合、再生しようとすると確認画面が表示されます。再生中に電池残量が少なくなった場合は再生が一時停止し、電池残量警告音が鳴って終了するかどうかの確認画面が表示されます。マルチタスクで他の機能を起動中は、再生中の画面を表示すると確認画面が表示されます。
● 一時停止や早送りなどを頻繁に行うと電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
● microSDメモリーカード内の音楽データはFOMA端末で編集／削除できません。
● 曲名やアーティスト名などにFOMA端末で表示できない文字がある場合、FOMA端末では「･」で表示されることがあります。
● 以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後も一時停止状態になります。
  ･音声電話、テレビ電話の発着信があった場合
  ･「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときまたは待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
  ･「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラームが鳴った場合
  ･赤外線でデータを送信した場合

プレイリスト一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生モード変更 お買い上げ時 ノーマル	▶再生モードを選択 **ノーマル** …プレイリスト内の曲を曲一覧画面の並び順に再生。（最後の曲まで再生すると終了） **1曲終了** …選択した曲を1回再生。 **1曲リピート** …選択した曲を繰り返し再生。 **全曲リピート** …プレイリスト内の曲を曲一覧画面の並び順に繰り返し再生。 **ランダム** …プレイリスト内の曲をランダムに再生。（プレイリスト内のすべての曲を再生すると終了） **ランダムリピート** …プレイリスト内の曲をランダムに繰り返し再生。
音質モード変更 お買い上げ時 ノーマル	音質を変更します。平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときに効果が得られます。 ▶音質を選択 **ノーマル**…通常の音質。 **S-XBS**……低音を強調。 **トレイン**…音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減。
サラウンド設定 お買い上げ時 OFF	自然な立体感のある音で再生できます。 ▶ON・OFF
プレイリスト名編集	作成したプレイリストの名前を変更します。 ▶プレイリスト名を編集 ●文字数：60文字まで。
プレイリストコピー	プレイリストを複製します。 ▶プレイリスト名を入力 ●文字数：60文字まで。 ●「全曲リスト」を複製する場合、99曲目までがコピーされます。
プレイリスト1件削除	作成したプレイリストを削除します。 ▶YES
プレイリスト全削除	作成したプレイリストをすべて削除します。 ▶YES
複数選択	複数の作成したプレイリストを選択して削除します。 ▶削除したいプレイリストにチェック ▶iα（機能）▶プレイリスト削除▶YES

曲一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生モード変更	⇒P.315
音質モード変更	⇒P.315
サラウンド設定	⇒P.315
曲詳細情報	曲の曲名やアーティスト名、画像枚数や演奏時間などを表示します。 ●Ⓞで画面をスクロールして確認できます。
プレイリスト作成	新しいプレイリストを作成します。また、選択中の曲が新しく作成されたプレイリストに登録されます。 ▶プレイリスト名を入力 ●文字数：60文字まで。
1件登録	選択中の曲をプレイリストに登録します。登録した曲はプレイリストの最後に登録されます。 ▶プレイリストを選択
1件解除	選択中の曲をプレイリストから解除します。 ▶YES
全解除	プレイリスト内のすべての曲をプレイリストから解除し、プレイリストも削除します。 ▶YES

▶▶次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
複数選択	複数の曲を選択して操作します。 ▶**操作したい曲にチェック**▶ (機能)▶**項目を選択** **曲登録**……⇒P.315「1件登録」。 **曲解除**……⇒P.315「1件解除」。 **全選択**……すべての曲を選択。 **全選択解除**……選択をすべて解除。 **プレイリスト作成**……⇒P.315「プレイリスト作成」。
曲順変更	▶**1つ目の曲を選択**▶**2つ目の曲を選択** 2つの曲の順番を入れ替えます。上記の手順を繰り返して曲順を変更します。 ▶ (確定)
検索	「全曲リスト」の中から、曲名またはアーティスト名で曲を検索します。 ▶**曲名検索・アーティスト名検索** ▶**曲名またはアーティスト名を入力**▶ 該当する曲が一覧で表示されます。 ● 全曲リストの曲一覧画面で (検索)を押しても検索できます。全曲リスト以外の曲一覧画面を表示している場合は、 (全リスト)を押すと全曲リストの曲一覧画面を表示できます。 ● 文字数:60文字まで。 ● 曲名やアーティスト名は先頭の文字から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。
画像表示	曲に登録されている画像を表示します。 ● 複数の画像が登録されている場合は、を押すと前または次の画像を表示できます。

お知らせ

<複数選択>

● 99件まで選択できます。

● プレイリストをまたいで選択できません。

<検索>

● 曲名やアーティスト名にFOMA端末で表示できない文字(「・」で表示されている文字)や半角文字が含まれている場合は、正しく検索できない場合があります。

<画像表示>

● 画像容量が700Kバイトより大きい場合は正しく表示されない場合があります。

再生中・停止中・一時停止中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
プレイリスト変更	再生するプレイリストを変更します。 ⇒P.313手順2へ
曲変更	再生する曲を変更します。 ⇒P.313手順2へ
再生モード変更	⇒P.315
音質モード変更	⇒P.315
サラウンド設定	⇒P.315
曲詳細情報	曲の詳細情報を表示します。⇒P.315
1件登録	停止中の曲をプレイリストに登録します。登録した曲はプレイリストの最後に登録されます。 ▶**プレイリストを選択**
1件解除	停止中の曲をプレイリストから解除します。 ▶**YES**
前画像表示	前の画像を表示します。
次画像表示	次の画像を表示します。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは、音楽CDの曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲をmicroSDメモリーカードに書き込んでP704iμで楽しめるソフトウェアです。

- P704iμをFOMA USB接続ケーブル(別売)でパソコンと接続し、録音した曲をmicroSDメモリーカードに書き込めます。⇒P.302
- SD-Jukeboxをご利用いただく場合は、SDオーディオ簡易操作ガイド(同梱の別紙、または付属CD-ROM内のPDF版)、およびSD-Jukeboxのヘルプを必ずお読みください。

■対応するデータ形式

項　目	対応するデータ形式
入力形式	音楽CD、WMA、MP3、WAV、MPEG-4 AAC
出力形式	WMA、MPEG-2 AAC、MPEG-2 AAC+SBR、MP3

- パソコンの環境によっては変換できないファイルもあります。
- ディスクレーベル面にCOMPACT disc DIGITAL AUDIOのマークが入っていない音楽CDの再生／録音には対応していません。
- P704iμではMPEG-2 AAC形式、MPEG-2 AAC+SBR形式の音楽データのみ再生できます。

■動作環境

SD-Jukeboxをお使いいただくためには、以下のような性能を満たしたパソコンが必要です。

項　目	説　明
対応OS (日本語版)	Microsoft® Windows® 2000 Professional、 Microsoft® Windows® XP Professional/ Home Edition、Microsoft® Windows Vista™
必要な ソフトウェア	DirectX® 8.1以降 (インストールされていない場合、付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」からインストールしてください。

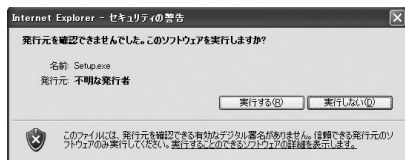
- SD-Jukeboxのヘルプ(取扱説明書)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」からAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
  ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。
- 著作権保護機能対応のSDメモリーカードスロット付パソコンやSDメモリーカードリーダーライターのみ動作します。

■SD-Jukeboxのインストール

付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットして「TOP」画面が表示されたら、「エンターテイメントツール」をクリックしてSD-Jukeboxの「インストール」をクリックします。インストーラーが起動します。画面に従って操作してください。

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。
　お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

- **「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行」をクリックしてください。

● 「Internet Explorer－セキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行する」をクリックしてください。

● 「TOP」画面が動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.5以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしても「TOP」画面が表示されない場合は、次の手順で操作してください。
1.Windows® のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
2.「<CD-ROMドライブのID>: ￥SD-Jukebox￥SD-JukeboxV6￥Setup.exe」と入力し、「OK」をクリックします。
以降、画面に従って操作します。
● SD-Jukeboxをインストールする際は、CD-ROMに添付されているシールのシリアル番号を入力する必要があります。シリアル番号を入力しないとインストールできませんので、シリアル番号は大切に保存してください。

本ソフトウェアに関するお問い合わせ先
Panasonic ソフトウェアサポート窓口
365日／受付9時～20時

一般電話からは　0120-853-334
携帯電話からは　0570-087-555（有料）
※PHSからはご利用になれません。
● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
● ホームページもご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

その他の便利な機能

<マルチアクセス>
マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。

音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

◆マルチアクセスの組み合わせ詳細⇒P.411

● マルチアクセスの使用状況はアイコンで確認できます。
「▰」.... 使用中の機能が一つのとき。
「▰」.... 使用中の機能が複数のとき。

お知らせ
● マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

iモード中・パケット通信中に音声電話をかける

iモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 iモード中・パケット通信中▶[メニュー](1秒以上)

待受画面が表示されます。

2 電話をかける

● iモード中にテレビ電話をかけると、iモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。
テレビ電話を終了すると、iモードの画面に戻ります。

iモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

iモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら電話着信画面が表示され、[☎]で電話に出る

● 電話に出ないでiモードやパケット通信の画面に戻るには[切]を1秒以上押します。
相手にはメッセージは流れず、呼出中になります。
電話着信画面に戻るには、もう一度[切]を1秒以上押します。

音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにiモードやメールの送受信などができます。

1 音声電話中▶[メニュー]

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

お知らせ
● 通話中にメールやメッセージR/Fを受信しても着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。(「受信表示設定」は無効)
● 「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときは、以下の場合を除いて、着信音が鳴り受信結果画面が表示されます。
・通話中　　・カメラ起動中
・iアプリ待受画面に設定したiアプリを通常のiアプリとして実行中
● パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

マルチアクセス中に画面を切り替えるときは

[切]を1秒以上押すか[切]を押してタスクメニューから切り替えます。
⇒P.322

＜マルチタスク＞
マルチタスクについて

FOMA端末は、メニュー機能(⇒P.31)など最大3つの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。
マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。
◆マルチタスクの組み合わせパターン⇒P.412

グループ	機能
メールグループ	ｉモードメール機能、SMS機能
ｉモードグループ	メインメニューの「ｉモードグループ」内のメニュー機能
設定グループ	メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能
ツールグループ	メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能
その他グループに属さない機能	音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など

● ここでは「メニューアイコン設定」(⇒P.115)を「ノーマル」に設定しているときの画面を例にしてマルチタスクを説明しています。

新しい機能を実行する

1 **各種機能を実行中▶[メニュー]▶新しい機能を実行**

ツールグループの機能を実行中の場合

機能の使用状況を確認するには

アイコンで確認するには
「▰」....使用中の機能が一つのとき。
「▰」....使用中の機能が複数のとき。
タスクメニューで確認するには
[タスク]を押します。
現在使用中のメニューが一覧表示されます。
一覧から選択してメニューを切り替えることもできます。

マルチタスク中のグループを確認するには

「メニューアイコン設定」を「モザイクタイル～リボン」に設定しているときは使用中のグループのアイコンに「▼」などが付きます。
「ノーマル」「カスタマイズ」に設定しているときはグループが枠で囲んで表示されます。

▶▶次ページにつづく

メニュー機能を呼び出す操作をしたときは

すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されている場合は、機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。
すでにタスクを3つ起動しているときに、さらに機能を起動しようとした場合、「これ以上機能を起動できません」と表示されます。

お知らせ

- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が動作中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

複数のメニュー機能が動作しているときは、[切替]を1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。最近選択したものから新しい順で切り替わります。

お知らせ

- メインメニュー以外で[メニュー]を1秒以上押すと待受画面が表示されます。
- [切替]で画面を切り替えても、動作中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力画面（⇒P.348）から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。

機能を終了する

メニュー機能の画面が表示されている状態で[終話]を押すと、そのメニュー機能が終了します。

- タスクメニューで[iα]（[ALL End]）を押し、「YES」を選択するとメニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。

<音声読み上げ>

着信やメールの内容を音声で知らせる

着信を着信音の代わりに音声で知らせたり、メールの内容を自動で読み上げるように設定できます。また、ボイスダイヤルやボイス検索の操作を音声ガイダンスで案内します。

音声読み上げ設定

お買い上げ時	OFF

1 [メニュー]▶[設定]▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ設定▶ON・OFF

2 読み上げたい項目にチェック▶[✉]（[完了]）

ボイスダイヤル
……ボイスダイヤル呼出の操作を音声ガイダンスで案内。
ボイス検索
……ボイス検索の操作を音声ガイダンスで案内。
電話着信
……音声電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせ。
テレビ電話着信
……テレビ電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせ。
メール／メッセージ受信
……メールやメッセージR/Fの受信時に件数を音声でお知らせ。
（「メール／メッセージ鳴動」の設定は無効。）
送受信メール一覧表示
……メール一覧画面で送信元／宛先、題名などを読み上げ。
送受信メール詳細表示
……メール詳細画面で送信元／宛先、題名、本文などを読み上げ。
（「開封時メロディ再生設定」を「自動再生する」に設定中は読み上げません。ただし、メール一覧画面で[●]を連続して押すと、メロディが再生されず音声読み上げを行う場合があります。）
メールプレビュー
……プレビュー表示の画面で宛先、本文などを読み上げ。

- いずれかのボタンを押すとメールの音声読み上げを途中で止めることができます。
ただし、画面をスクロールした場合は、音声読み上げは継続されます。

● microSDメモリーカードに保存されているメールは音声読み上げは行いません。

音声読み上げ音量

お買い上げ時	レベル4

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ音量**▶[上下キー]**で音量を調節**

音声読み上げ出力先

お買い上げ時	スピーカ

音声読み上げ時に鳴る音を、スピーカから鳴るようにするか受話口に耳をあてて聞くようにするかを設定します。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ出力先**▶**スピーカ・受話口**

お知らせ

● 「受話口」に設定していても、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」はスピーカから音が鳴ります。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると、「イヤホン切替」の設定に従って音が鳴ります。
ただし、「音声読み上げ出力先」を「受話口」に設定し、「イヤホン切替」を「イヤホン＋スピーカ」に設定した場合は、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」以外はイヤホンからのみ音が鳴ります。
● ハンズフリー対応機器からは「電話着信」「テレビ電話着信」のみ音声読み上げを行う場合があります。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押しても音声読み上げが止まらない場合があります。

音声読み上げ有効設定

お買い上げ時	標準

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時のみ音声読み上げを行います。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ有効設定**▶**標準・イヤホン接続時のみ**

標準……常に音声読み上げを行う。
イヤホン接続時のみ……接続時のみ音声読み上げを行う。

お知らせ

● 「イヤホン接続時のみ」に設定しているときは、音声読み上げ中に平型スイッチ付イヤホンマイクを外しても音声読み上げが継続されます。また、平型スイッチ付イヤホンマイクを外しているときに着信などがあった場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しても、音声読み上げは行いません。

▶▶次ページにつづく

音声読み上げのルールについて

電話帳やメールなどの内容は、おおむね次のルールに基づいて読み上げられます。

- 使用する機能によっては、各ルールとは異なって読み上げる場合があります。

<数字>

- 数字が並んでいる場合は、16桁まで桁読みします。ただし、先頭が「0」の場合やURL、メールアドレスと判定された場合は、数字の読み上げになります。
  <例>12345:イチマンニセンサンビャクヨンジューゴ
- 数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。
  <例>2007/11/15(2007.11.15)
  :ニセンナナネンジューイチガツジューゴニチ
  07/11/15(07.11.15)
  :ゼロナナネンジューイチガツジューゴニチ
- 「1日」は日付とそれ以外で読みが異なります。
  「1日」以外は常に日付と同様に読み上げます。
  <例>11月1日:ジューイチガツツイタチ
  1日後:イチニチゴ
- 数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。
  <例>10:30:ジュージサンジュップン
  AM10:30:ゴゼンジュージサンジュップン
  22:30:30:ニジューニジサンジュップンサンジュービョー
- 電話番号や郵便番号は「−」「(」「)」は読み上げず、数字だけを読み上げます。
  <例>090−1234−XXXX
  :ゼロキューゼロイチニサンヨンXXXX
- 数字の先頭に「¥」「$」「¢」「£」がある場合は、金額として読み上げます。「,」が使用されている場合は、3桁ごとに区切られていなければ「,」より前を金額、あとを数字と判定します。
  <例>¥980:キューヒャクハチジューエン
  ¥2,980:ニセンキューヒャクハチジューエン
  ¥29,80:ニジューキューエンハチジュー
- 「(数字)分の(数字)」は分数として読み上げます。

<英字>

- FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って読み上げます。
- 4文字以上でローマ字読みできる場合は、ローマ字読みで読み上げます。
- 数字のあとに英字がある場合は、単位として読み上げるものもあります。
- 日付の前にある「M」「T」「S」「H」は年号に変換して読み上げます。
- 上記の条件以外の場合は、アルファベット読みで読み上げます。

<記号>

- 「記号一覧表」に従って読み上げます。ただし、同じ記号が3つ以上続く場合は、その記号を読み上げません。
- 以下の文字列は「ヘンシン」と読み上げます。
  「Re:」「Re>」「Re2:」「Re2>」「Re2＊」
- 以下の文字列は「テンソー」と読み上げます。
  「Fw:」「Fw>」「Fw2:」「Fw2>」「Fw2＊」「Fwd:」「Fwd>」「Fwd2:」「Fwd2>」「Fwd2＊」
- 「ヘンシン」「テンソー」が複数連続する場合は、1回のみ読み上げます。
  <例>Re:Re>:ヘンシン
  Fw>Fw::テンソー
  Re:Fw:Fw:Re:Re:Re::ヘンシンテンソーヘンシン

<絵文字>

- 「絵文字一覧表」に従って読み上げます。

<顔文字>

- FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って顔文字を読み上げます。ただし、URLやメールアドレスと判定した場合は、記号として読み上げます。

<その他>

- 句読点や「!」「?」などがある場合は、区切って読み上げます。
- 曜日を表す漢字が「(」「)」ではさまれている場合は、曜日として読み上げます。
  <例>11/15(木)
  :ジューイチガツジューゴニチモクヨービ
- 文章の内容や記載の内容(特に地名や固有名詞など)により、正しく読み上げが行われない場合があります。

<自動電源ON／OFF設定>
指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

お買い上げ時	自動電源 ON：OFF 自動電源OFF：OFF

設定した時刻に自動的に電源をON／OFFします。

1 メニュー▶設定▶**時計▶自動電源ON／OFF設定▶自動電源 ON・自動電源 OFF▶項目を選択**

OFF……自動電源ON／OFFを設定しません。設定が終了します。
1回……設定した時刻に1回のみ電源をON／OFFします。
毎日……設定した時刻に毎日電源をON／OFFします。

2 **時刻を入力**

● 時刻は24時間で入力します。

お知らせ

● 「自動電源ON」と「自動電源OFF」を同時刻に設定した場合、設定した時刻になったときにFOMA端末の電源が切れていると電源が入り、FOMA端末の電源が入っていると電源が切れます。
● アラームやスケジュールアラームと同時刻に「自動電源OFF」を設定すると、アラームやスケジュールアラームが優先されます。
● 「自動電源OFF」を設定しても、待受画面以外を表示中に指定した時刻になった場合は電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了したあと、電源が切れます。
● 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

<アラーム>
アラームを利用する

メニュー 4 4

お買い上げ時	OFF

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。5件まで登録できます。

1 **▶アラーム**

2 **アラームを選んで✉（編集）▶以下の操作を行う**

● iα（機能）→「編集」を選択してもアラームを登録／編集できます。
● 登録済みのアラームを選択するか、iα（機能）→「詳細表示」を選択すると、登録内容を確認できます。
● アラームを「OFF」にする場合は、iα（機能）→「1件OFF」または「全件OFF」→「YES」を選択します。

項目	操作・補足
（時刻）	**▶アラームを鳴らす時刻を入力** ● 時刻は24時間で入力します。 ● すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。
（繰り返し）	**▶繰り返しの種類を選択** **設定なし**……繰り返しなし（1回のみ）の設定。繰り返しの設定が終了。 **毎日**……設定したアラームを毎日繰り返す。詳細画面に「D」が表示され、繰り返しの設定が終了。 **曜日指定**……設定したアラームを毎週、指定した曜日に繰り返す。 **▶設定したい曜日にチェック** **▶✉（完了）** ● 1つ以上の曜日を選択してください。 ● 詳細画面に「W」が表示されます。

▶▶次ページにつづく

項目	操作・補足
♪（アラーム音）	▶アラーム音の種類を選択 ●「OFF」選択時はアラーム音の設定が終了します。 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択
（音量）	▶ で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
（スヌーズ通知）	▶スヌーズ通知する・スヌーズ通知しない ●「スヌーズ通知する」選択時は設定が終了します。 ●「スヌーズ通知しない」選択時は続いてアラーム音が鳴り続ける時間を設定します。 ●スヌーズ通知の動作について⇒P.326 ▶鳴動時間（分）を入力 ●「01」～「10」の2桁を入力します。
（電源ON）	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶電源ONする・電源ONしない
（マナーモード優先）	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶項目を選択 **マナーモード優先する** .... P.109「アラーム音量」に従って音が鳴る。 **アラーム優先する** .... 本機能で設定した音量で音が鳴る。

3 （完了）を押す

お知らせ

- スヌーズ中に着信があった場合やスケジュール･ToDoのアラーム音が鳴った場合、スヌーズは解除されます。
- 自動的に電源をONにしてアラームを通知する場合、FOMAカード動作制限の対象となるアラーム音が選択されていると、お買い上げ時のアラーム音が鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているときは

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているとデスクトップにアイコンが表示されます。

「」.... 当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合に表示。

「」.... 明日以降の設定のみの場合に表示。

- 「時計表示設定」の「表示方法」を「OFF」に設定した場合や、スケジュール･ToDoを「通知しない」に設定して登録した場合は表示されません。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になると

アラーム音が約5分間（「アラーム」は設定した時間）鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は、を押してスヌーズを解除するまで約5分おきに約1分間、最大6回アラーム音が鳴ります。

- 通話中のときは
  受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。いずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。「アラーム」の場合は、もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームを終了します。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームを終了します。画面には、設定したアラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションまたはｉモーションが表示されます。
- 操作中は
  「アラーム通知設定」で操作中の通知のしかたを設定できます。
  ⇒P.334

● アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「ToDo」→「スケジュール」の優先順位で通知します。通知できなかったスケジュールまたはToDoについては「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
● 電源OFFのときは
<アラーム>
自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
<スケジュール･ToDo>
アラーム通知はしません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
● マナーモード中は
<アラーム>
バイブレータとイルミネーションの点灯でお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「アラーム音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。
<スケジュール･ToDo>
バイブレータとメッセージ表示、イルミネーションの点灯でお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「電話着信音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。
● オールロック中、PIMロック中は
アラーム通知はしません。オールロックやPIMロック解除後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。また、電源もOFFにしていたときは、電源はONにならず、オールロックやPIMロック解除後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
● SD-PIM動作中、赤外線通信中は
アラーム通知はしません。
各機能の終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
● ソフトウェア更新中は
アラーム通知はしません。
書き換え中に設定した時刻になった場合は、ソフトウェア更新終了後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

アラーム音／アラームメッセージ･アニメーション／iモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／iモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン(アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は(☎))を押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールのアラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

お知らせ
● iモーションによってはアラーム音に設定できない場合があります。
● アラーム音に設定したiモーションによってはアラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。

「アラーム通知」ができなかったときは

アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容(未通知アラーム情報)を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

1. 待受画面▶(●)▶アラーム を選択
   ● (☎)または(ch/クリア)を押すと元の状態に戻ります。
   ● 未通知アラーム情報を確認すると、「未通知アラームあり」のアイコンは消えます。

未通知アラーム情報	未通知アラーム情報	未通知アラーム情報
アラーム1通知 11/15(木)10:30	スケジュール通知 11/15(木)10:30 テニス	ToDo通知 11/15(木)10:30 優先度:高 状態確認:予定 会議
アラームの場合	スケジュールの場合	ToDoの場合

お知らせ
● 「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。

<スケジュール> メニュー 4 5

カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位または1週間単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2007年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

● アラーム通知の動作について⇒P.326

スケジュールを登録する

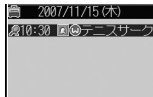
指定した日付・時刻になるとアラーム音やイルミネーション、アラームメッセージ(スケジュールの要約や内容)および設定したアイコンに対応したアニメーションで用件をお知らせします。
スケジュールは100件まで登録できます。

1 メニュー▶LifeKit▶スケジュール▶✉(新規)▶スケジュール▶以下の操作を行う

カレンダー画面

項目	操作・補足
(開始日時)	▶スケジュールを開始する日付、時刻を入力 ● 時刻は24時間制で入力します。
(終了日時)	▶スケジュールを終了する日付、時刻を入力 ● 時刻は24時間制で入力します。
(繰り返し)	▶繰り返しの種類を選択 **設定なし**……繰り返しなし(1回のみ)の設定。繰り返しの設定が終了。 **毎日**……設定したスケジュールを毎日繰り返す。繰り返しの設定が終了。 **曜日指定**……設定したスケジュールを毎週、指定した曜日に繰り返す。 ● 繰り返し(毎日／曜日指定)を設定したスケジュールも1件としてカウントされます。 ▶設定したい曜日にチェック▶✉(完了) ● 1つ以上の曜日を選択してください。
(通知)	▶通知方法を選択 **通知する**……開始日時に設定した時刻に通知。通知の設定が終了。 **事前通知する**…設定した事前通知時刻にのみ通知。 **通知しない**……通知なし。通知の設定が終了。 ▶何分前に通知するかを入力 ● 「01」～「99」の2桁を入力します。
(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ● 「OFF」選択時はアラーム音の設定が終了します。 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択 ● 待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量になります。
(要約)	▶スケジュール要約を入力 ● 文字数：全角20／半角40文字まで。
(内容)	▶スケジュール内容を入力 ● 文字数：全角256／半角512文字まで。 ▶アイコンを選択 ● ユーザアイコンを設定しているときは1～5が表示されます。 ● アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。

2 ✉(完了)を押す

- スケジュール内容を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。
- シークレットモード中は、スケジュールをシークレット登録するかどうかの確認画面が表示されます。
  「YES」または「NO」を選択します。
  シークレット専用モード中はシークレット登録されます。
- 設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
  :アラームでお知らせ
  :毎日繰り返し
  :曜日指定繰り返し

同じ日時に2つのスケジュールを設定しようとしたときは

同時刻に設定できるのは「繰り返し」(毎日／曜日指定)と「繰り返しなし」(設定なし)の組み合わせだけです。2つのスケジュールがともに「繰り返しなし」(設定なし)またはともに「繰り返し」(毎日／曜日指定)の場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
「繰り返しなし」のスケジュールと「繰り返し」のスケジュールの場合は、「繰り返しなし」が優先される旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

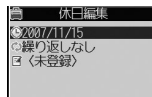
- シークレットデータとして登録したスケジュールは、「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードでのアラーム通知時にシークレットのアニメーションが表示され、アラームメッセージは表示されません。
- ｉモーションのユーザアイコンを設定したスケジュールのアラーム音にｉモーションまたは「おしゃべり1」「おしゃべり2」を設定した場合、設定したユーザアイコンは無効になります。
- アラーム音にｉモーションまたは「おしゃべり1」「おしゃべり2」を設定したスケジュールにｉモーションのユーザアイコンは設定できません。

お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(⇒P.294)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(⇒P.378)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

休日･記念日を登録する

休日と記念日は1日1件ずつ、それぞれ100件まで登録できます。

1 メニュー ▶ ▶ スケジュール ▶ ✉(新規) ▶ 休日・記念日 ▶ 以下の操作を行う

項目	操作･補足
(日付)	▶ 日付を入力
(繰り返し)	▶ 繰り返しの種類を選択 **設定なし**....繰り返しなし(1回のみ)の設定。 **毎年**............設定した休日･記念日を毎年繰り返す。 ● 繰り返し(毎年)を設定した休日･記念日も1件としてカウントされます。
(内容)	▶ 休日または記念日の内容を入力 ● 文字数:全角10／半角20文字まで。

2 ✉(完了)を押す

設定した休日()･記念日()が登録されます。
:毎年繰り返し

スケジュールの内容を確認する

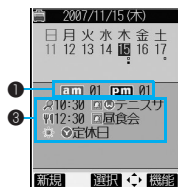
スケジュール、休日または記念日の内容を確認します。

1 メニュー ▶ ▶ **スケジュール**

カレンダー画面が表示されます。

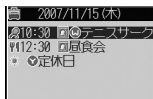
- 選択されている日付は反転表示され、画面の下にその日のスケジュールが表示されます。
- カレンダー画面の表示
  __:当日
  □:午前にスケジュールあり
  ■:午後にスケジュールあり
- 休日は赤色、記念日は赤丸で囲んで表示されます。

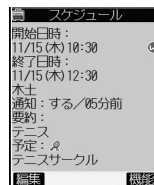
1ヶ月表示

❶スケジュール件数
❷スケジュール、休日、記念日のアイコン

1週間表示

❸スケジュール、休日、記念日のアイコンと内容

2 **日付を選択**

選択した日付のスケジュールの一覧が時刻順に表示されます。

スケジュール一覧画面

3 **スケジュール、休日または記念日を選択**

スケジュール詳細画面

お知らせ

- 祝日は「国民の祝日に関する法律」(昭和23年法律第178号)、および2005年5月までに既に公布されている一部改正法に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。
- 1ヶ月表示のカレンダー画面では、休日、記念日のアイコンは午後の欄に表示されます。

カレンダー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	▶項目を選択 **スケジュール**…⇒P.328手順1へ **休日**……⇒P.329手順1へ **記念日**……⇒P.329手順1へ
1ヶ月表示・1週間表示 お買い上げ時 1ヶ月表示	カレンダー画面の表示を切り替えます。 ▶1ヶ月表示・1週間表示
アイコン別表示	▶表示したいアイコンを選択 選択したアイコンで登録されているスケジュールの一覧が表示されます。 ●スケジュールを選択すると詳細が表示されます。 ●繰り返しを設定しているスケジュール(「Ⓦ」または「Ⓓ」)は1件として表示されます。日付は、今後のスケジュールの中で最も近い日付が表示されます。

機能メニュー	操作・補足
ユーザアイコン設定	⇒P.331
登録件数確認	スケジュール、休日、記念日の件数を表示します。シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されているスケジュールの件数を表示します。 ● 確認が終われば[ch クリア]を押します。
赤外線全件送信	⇒P.308
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶削除したい項目を選択▶YES
全削除	すべてのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶端末暗証番号を入力 ▶削除したい項目を選択▶YES ● 休日をすべて削除すると、祝日の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
祝日リセット	削除した祝日をお買い上げ時の初期状態に戻します。休日はリセットされません。 ▶YES

ユーザアイコン設定

静止画、アニメーションまたはｉモーションをユーザアイコンとして登録すると、用件をお知らせするときに登録した画像が表示されます。ユーザアイコンは5件まで登録でき、アイコン選択の画面では「[アイコン1]」～「[アイコン5]」と表示されます。

1 カレンダー画面・スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面▶[iα]([機能])▶ユーザアイコン設定▶<未登録>

● 静止画、アニメーションまたはｉモーションが1件も登録されていないときは、「ユーザアイコン設定」は選択できません。
● 変更する場合は、登録済みのユーザアイコンを選択します。

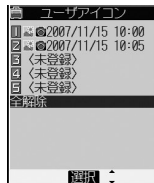
2 ユーザアイコンの種類を選択▶フォルダを選択▶画像を選択

● 選択した画像が大きい場合は「貼付表示位置」で設定した位置に表示されます。

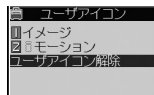
お知らせ

● 画像によってはユーザアイコンに設定できない場合があります。

ユーザアイコンの設定を解除するには

手順1の画面で「全解除」→「YES」を選択します。解除されたアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「[時計]」に変わります。

選択したユーザアイコン1件だけを解除するには

手順2で「ユーザアイコン解除」を選択します。

▶▶次ページにつづく

スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	▶項目を選択 **スケジュール** …⇒P.328手順1へ **休日**………⇒P.329手順1へ **記念日**……⇒P.329手順1へ
編集	スケジュール⇒P.328手順1へ 休日と記念日⇒P.329手順1へ ● ✉(編集)でも編集できます。 ● 祝日は編集できません。
コピー	スケジュール、休日または記念日をコピーして別の日付に登録します。 ▶貼り付け先の日付、時刻を入力 スケジュール⇒P.328手順1へ 休日と記念日⇒P.329手順1へ ● コピー元に「繰り返し(毎日／曜日指定／毎年)」が設定されていても、貼り付け先では「繰り返しなし」に変更されます。 ● 祝日はコピーできません。
カレンダー表示	アイコン別表示からカレンダー表示に戻ります。 アイコン別表示中のみ操作できます。
アイコン別表示	スケジュールをアイコン別に表示します。⇒P.330
ユーザアイコン設定	⇒P.331
シークレット設定・シークレット解除	スケジュールをシークレットに設定／解除します。 ▶YES ● 「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードで「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。
ｉモードメール作成	スケジュールの日付と内容が本文に入力されたｉモードメールを作成します。 ⇒P.199手順2へ
赤外線送信	⇒P.307
赤外線全件送信	⇒P.308
microSDへコピー	⇒P.297

機能メニュー	操作・補足
1件削除	▶YES ● 繰り返し(毎日／曜日指定／毎年)が設定されているスケジュール、休日または記念日を削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。 ● 祝日は「1件削除」でのみ削除できます。
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールを削除します。 ⇒P.331
選択削除	▶削除したいスケジュールにチェック ▶✉(完了)▶YES
全削除	スケジュール、休日または記念日をすべて削除します。 アイコン別表示中のみ操作できます。⇒P.331

<ToDo>
ToDoでスケジュールを管理する

メニュー 9 5

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoを最大100件登録してスケジュールを管理できます。

● アラーム通知の動作について⇒P.326

1 メニュー▶LifeKit▶ToDo▶✉(新規)▶以下の操作を行う

● すでにToDoが登録されている場合は、機能メニューから「新規登録」を選択します。
● 登録済みのToDoを選択すると、登録内容を確認できます。

項目	操作・補足
(本文)	▶本文(ToDo内容)を入力 ● 文字数：全角100／半角200文字まで。
(期日)	▶項目を選択 **直接入力**……期日(期限)を直接入力。 **カレンダーから入力**…カレンダーから期日(期限)を選択して確認。(確認後は●(確定)を押します) **なし**……期日(期限)設定なし。(アラーム通知しません)
(優先度)	▶優先度を選択 ● 期日順でソートしたときに、同一日付の場合優先度の高い順に表示されます。
(カテゴリー)	▶カテゴリーを選択
(通知)	▶通知方法を選択 **通知する**……設定時刻にアラームで通知。通知の設定が終了。 **事前通知する**……設定した事前通知時刻にのみ通知。 **通知しない**……通知なし。通知の設定が終了。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」〜「99」の2桁を入力します。
(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ●「OFF」選択時はアラーム音の設定が終了します。 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択 ● 待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量になります。

2 ✉(完了)を押す

高：優先度高い
低：優先度低い
● 本文(ToDo内容)を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(⇒P.294)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(⇒P.378)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

▶▶次ページにつづく

ToDo表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	⇒P.333手順1へ
編集	⇒P.333手順1へ ●[メール]（編集）でも編集できます。 ●ToDoの状態が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完」を選択し、P.333手順1「期日」と同様の操作を行います。
状態	ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 ▶**状態を選択** ●状態アイコンは、期日を過ぎると青色から赤色に変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.333手順1「期日」と同様の操作を行います。
カテゴリー別表示	▶**カテゴリーを選択** ●ToDoを選択すると詳細が表示されます。
ソート／フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 ▶**表示したい順番や状態を選択**
デスクトップ貼付	⇒P.121
赤外線送信	⇒P.307
赤外線全件送信	⇒P.308
microSDへコピー	⇒P.297
1件削除	▶**YES**
選択削除	▶**削除したいToDoにチェック** ▶[メール]（完了）▶**YES**
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoを削除します。 ▶**YES**
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

<アラーム通知設定>

アラームで通知するときの状況を設定する

お買い上げ時	通知優先

他の機能を操作中に「アラーム」、「スケジュール」と「ToDo」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 [メニュー]▶[設定]▶**時計**▶**アラーム通知設定**▶**操作優先・通知優先**

操作優先....待受画面表示中のみアラーム通知を実行。
通知優先....FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を実行。

お知らせ

●アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

<プライベートメニュー設定>
オリジナルのメニューを使う

お買い上げ時	自局番号表示　着信音量　発信者番号通知　電卓　アラーム　SDオーディオ　バイブレータ　スケジュール

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。
電話帳、設定、データBOX、LifeKit、ユーザデータ、サービス、ｉモード、メール、ｉアプリの各機能（⇒P.390）から9件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

スケジュール、休日または記念日の内容を確認します。

1 **メニューを2回押す**

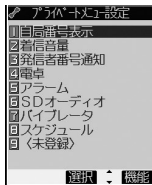
プライベートメニューが表示されます。
- ｉα（設定）を押すとプライベートメニュー設定画面が表示されます。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

プライベートメニュー

2 **アイコンを選択**

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー設定を表示する　メニュー 5 2

1 **メニュー▶設定▶ディスプレイ▶プライベートメニュー設定**

プライベートメニュー設定画面

プライベートメニュー設定画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能を登録します。 ▶**登録する機能を選択** ● プライベートメニュー設定画面で項目を選択しても登録画面が表示されます。 ● 🔘でメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。🔘で登録する機能を選びます。
背景イメージ変更 お買い上げ時 スタンダード	▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**
デスクトップ貼付	⇒P.121
メニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
1件解除	▶YES
全解除	▶YES

お知らせ

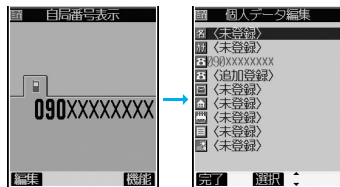
<メニュー登録>
- 「ｉモード」、「ｉアプリ」および「メール」はメニュー機能の大項目のみ登録できます。その中の各機能は登録できません。

<背景イメージ変更>
- 設定できる画像は、画像サイズがVGA（640×480）以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、アニメーションGIFを設定した場合は、最初の1コマ目が表示されます。

<自局番号表示> メニュー 0

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

ご契約の電話番号(自局番号)の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号(3件)、メールアドレス(3件)、住所、誕生日、メモ、静止画を登録できます。
メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 メニュー▶ユーザデータ▶**自局番号表示**▶✉(編集)
▶**端末暗証番号を入力**

自局番号表示画面

P.86手順2の操作を行って個人データを登録します。
- 自局番号は変更、削除できません。
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

2 ✉(完了)**を押す**

お知らせ
- 自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。
- 本機能で変更するメールアドレスは、自局番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

自局番号表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
個人データ編集	⇒P.336手順1へ
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 ▶端末暗証番号を入力 ◎でそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
赤外線送信	⇒P.307
microSDへコピー	⇒P.297
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
個人データ初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化(削除)して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。

<通話中音声メモ><待受中音声メモ>
音声電話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、音声電話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「待受中音声メモ」の2つがあります。録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「待受中音声メモ」のどちらか一方で1件、録音時間は約20秒間です。

●「通話中音声メモ」「待受中音声メモ」の再生／消去について⇒P.75

音声電話中に相手の声を録音する

1 音声電話中▶▼(1秒以上)

「ピッ」と鳴って録音が始まります。

- 以下の操作でも録音できます。
  1.音声電話中▶メニュー▶LifeKit▶通話中音声メモ
- 録音を途中で止めるときは●(停止)、chクリアまたは▼(1秒以上)を押します。
- 録音中に☎を押すと、録音を停止し、通話を終了します。
- 録音時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「通話中音声メモ」「待受中音声メモ」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生･未再生に関わらず上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録音できません。

待受中に自分の声を録音する メニュー 4 3

1 メニュー▶LifeKit▶待受中音声メモ▶YES

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

- 録音を途中で止めるときは●(停止)、chクリアまたは☎を押します。
- 録音時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときやアラーム、スケジュール、ToDoのアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

<動画メモ>
テレビ電話中の画像を動画メモとして録画する

テレビ電話中に相手のカメラ画像と音声を録画できます。1件につき約20秒間、5件まで録画できます。

●「動画メモ」の再生／消去について⇒P.75

1 テレビ電話中▶▼(1秒以上)

「ピッ」と鳴って録画が始まります。録画が始まると「●REC」が表示されます。

- 相手には「画像選択」の「動画メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
- 録画を途中で止めるときは●(停止)または▼(1秒以上)を押します。
- 録画中に☎を押すと、録画を停止し、通話を終了します。
- 録画時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録画が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「動画メモ」がすでに5件保存されているときに録画をした場合は、再生･未再生に関わらず最も古い「動画メモ」が上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録画できません。

お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

＜通話中時間表示＞ 通話時間の表示を設定する

メニュー 4 8

お買い上げ時	ON

通話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。

● 表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1

メニュー▶設定▶時間／料金▶通話中時間表示▶ON・OFF

音声電話の場合

テレビ電話の場合

● テレビ電話中はiα(機能)を押して「通話中時間表示」を選択します。

お知らせ

● 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合や、通話時間の表示が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」に戻ってカウントします。

＜通話時間／料金＞ 通話時間と通話料金を確認する

メニュー 6 1

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

● 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

● 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。

● 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「￥0」もしくは「￥＊＊」が表示されます。

● 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。

※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金は表示できません。（FOMAカードには蓄積されています。）

● 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

1 **メニュー▶設定▶時間／料金▶通話時間／料金**

前回通話時間

音声通話：直前の音声電話の通話時間を表示。

デジタル：直前のテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示。

前回通話料金

音声通話：直前の音声電話の通話料金を表示。

デジタル：直前のテレビ電話、64Kデータ通信の通話料金を表示。

積算通話時間

音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示。

デジタル：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示。

積算通話料金

積算通話料金リセット時から現在までの通話料金を表示。

時間リセット日時
前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示。

料金リセット日時
前回積算通話料金リセットを行った日付時刻を表示。

● 確認が終われば[ch クリア]を押します。

お知らせ

● 前回通話時間が「19時間59分59秒」、積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
● 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」(⇒P.54)が表示されている間は料金は課金されません。
● ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
● 着もじの送信料金はカウントされません。
● WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
● 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
● 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「￥＊＊」になります。

<積算リセット>
積算時間／積算通話料金をリセットする

[メニュー][6][0]

1 [メニュー]▶[設定]▶**時間／料金**▶**積算リセット**▶**端末暗証番号を入力**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
積算時間リセット	前回通話時間および積算通話時間を「0秒」に戻します。 ▶YES
積算通話料金リセット	前回通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ▶YES▶PIN2コードを入力 ● PIN2コードについて⇒P.126

<通話料金通知>
通話料金の上限値を設定する

お買い上げ時	通話料金通知:OFF、上限料金:0円(ON設定時)、 通知方法:アイコン(ON設定時)、 自動リセット設定:OFF(ON設定時)

積算通話料金の上限値を設定し、金額が上限料金を超えたときにお知らせします。「自動リセット設定」を「ON」に設定すると、毎月1日の0時に積算通話料金がリセットされ、「[¥]」が消去されます。

1 [メニュー]▶[設定]▶**時間／料金**▶**通話料金通知**▶**端末暗証番号を入力**▶**ON・OFF**

● 「OFF」選択時は設定が終了します。

2 **上限料金を入力**

10円から100000円まで、10円単位で設定できます。

3 **通知方法を選択**▶**ON・OFF**▶**PIN2コードを入力**

● PIN2コードについて⇒P.126

積算通話料金が上限料金を超えたときは

「[¥]」が表示されます。通知方法に「アイコン＋アラーム」を設定している場合は、待受画面に戻ったときに通話料金が上限料金を超えた旨のメッセージが表示され、スピーカから警告音が鳴ります。

上限値アイコン消去

通話料金通知で表示された「[¥]」を消去します。

1 [メニュー]▶[設定]▶**時間／料金**▶**上限値アイコン消去**▶**端末暗証番号を入力**

お知らせ

● 積算通話料金リセット、設定リセット、端末初期化を行うと、「[¥]」は消去されます。
● 上限値を超えた場合、設定した上限値で再度通知させたいときは、積算通話料金をリセットしてください。

<電卓>
電卓を使う

メニュー 8 5

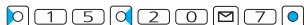
電卓を表示して四則演算(＋、－、×、÷)を行います。10桁まで表示できます。

1 メニュー▶LifeKit▶**電卓**
▶**以下の操作で計算を行う**

キー	操作	キー	操作	キー	操作
右	＋	上	×	決定	＝
左	－	下	÷	メール	小数点
chクリア	C(クリア)　直前に入力した数字を取り消します。				
	AC(オールクリア)　入力した計算をすべて取り消します。				

計算の例(－15+20.7の場合)

－ 1 5 ＋ 2 0 ． 7 ＝ 5.7

左 1 5 右 2 0 メール 7 決定

お知らせ

- 計算の途中に負数は入力できません。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「.E」を表示します。

<フリーメモ>
フリーメモを作成する

メニュー 4 2

フリーメモを20件まで登録できます。

1 メニュー▶LifeKit▶**フリーメモ**
▶**<未登録>を選んで**メール**(**編集**)**

- 登録済みのフリーメモを選択すると、登録内容を確認できます。フリーメモが長い場合は上下で画面をスクロールして確認できます。

2 **フリーメモを入力**

- 文字数:全角256／半角512文字まで。

お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(⇒P.294)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(⇒P.378)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

フリーメモ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	⇒P.340「フリーメモを作成する」手順2へ ● [メール]（編集）でも編集できます。
iモードメール作成	フリーメモの内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 ⇒P.199手順2へ
スケジュール作成	フリーメモの内容が入力されたスケジュールを作成します。 ▶スケジュール ⇒P.328手順1へ
赤外線送信	⇒P.307
赤外線全件送信	⇒P.308
microSDへコピー	⇒P.297
フリーメモ情報	フリーメモの作成日時、最終更新日時、分類を表示します。 ● 確認が終われば[CLR]を押します。
分類	フリーメモをカテゴリー別に設定します。 ▶分類を選択 ● 設定しない場合は「なし」になります。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいフリーメモにチェック ▶[メール]（完了）▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<FOMAカード(UIM)操作>

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに記憶している電話帳やSMSのデータを削除します。
FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 [メニュー]▶[LifeKit]▶**FOMAカード(UIM)操作▶端末暗証番号を入力**

端末暗証番号を入力すると「[圏外]」が表示され、電話やメールの機能は使えません。
- 端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード(UIM)操作を終了します。

2 **コピー・削除▶コピー先や削除元を選択▶電話帳・SMS**

電話帳
電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS
受信BOX…受信BOX内のデータをコピー・削除。
送信BOX…送信BOX内のデータをコピー・削除。
フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

3 **コピー・削除したいデータにチェック▶[メール]（完了）▶YES**

▶▶次ページにつづく

電話帳またはSMS一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。
1件選択	1件選択します。
タブ内全選択	表示しているタブ内のすべての電話帳を選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
タブ内全選択解除	表示しているタブ内の電話帳の選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。 ● 確認が終われば[ch クリア]を押します。

電話帳の機能メニューからコピーする

電話帳をFOMA端末(本体)またはFOMAカードへコピーします。

1 電話帳詳細画面▶[iα](機能)▶FOMAカードへコピー・本体へコピー▶YES

● FOMA端末(本体)の電話帳の場合は「FOMAカードへコピー」、FOMAカードの電話帳の場合は「本体へコピー」と表示されます。

メールの機能メニューから移動・コピーする

送受信したSMSをFOMA端末またはFOMAカードへ移動・コピーします。

1 送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶[iα](機能)▶FOMAカード操作▶移動またはコピーする方法を選択▶YES

「[メールアイコン]」はFOMA端末内のSMSを表します。
「[カードアイコン]」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ

- FOMA端末(本体)に登録された2つ目以降の電話番号/メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもFOMAカードにはコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、絵文字がスペースに変換されます。
- FOMA端末(本体)からFOMAカードへ電話帳をコピーしても、名前は全角10/半角21文字まで、フリガナは半角12文字までしかコピーされません。なお、半角のカタカナは全角に変換されます。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定中でもコピー・削除できません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名が設定されていない場合は、グループ00に登録されます。
- SMS送達通知の移動・コピーはできません。
- FOMAカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動・コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- FOMA端末からFOMAカードへSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動・コピーされます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける／受ける

イヤホンマイク端子(⇒P.25)のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)の接続プラグを差し込んで使用します。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 **平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す**

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。

3 **お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する**

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

1 **着信中▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す**

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手には自分のカメラ画像が送信されます。テレビ電話中に[カメラ]を押して自分のカメラ画像と代替画像を切り替えることができます。⇒P.77

- FOMA端末を閉じた状態でも利用できます。
- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信」をONに設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 **お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する**

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってから平型スイッチ付イヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。
(テレビ電話を保留していた場合、自分のカメラ画像を送信し、テレビ電話を開始します)
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンをご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。
- 通話中に[▲](音量を上げる)、[▼](音量を下げる)を押すと、音量調節ができます。

<オート着信> メニュー 9 4

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	オート着信：OFF、呼出時間：6秒（ON設定時）

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 メニュー▶設定▶**外部オプション▶オート着信▶ON・OFF**

● 「OFF」選択時は設定が終了します。

2 **呼出時間（秒）を入力**

● 「001」～「120」の3桁を入力します。
● 遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

お知らせ

● テレビ電話をオート着信した場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中に[i]を押して代替画像と自分のカメラ画像を切り替えることができます。⇒P.77
● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信を同時に設定する場合、オート着信を優先させるには、オート着信の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
● 64Kデータ通信中は、オート着信は行われません。

<設定リセット>

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の「お買い上げ時」の項目にある の項目を、お買い上げ時の状態に戻します。⇒P.390

1 メニュー▶設定▶**その他▶設定リセット▶端末暗証番号を入力▶YES**

お知らせ

● PIMロック中はリセットできません。

＜端末初期化＞
登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時の状態については「機能一覧表」を参照してください。
⇒P.390

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。ただし、ダウンロード辞書はお買い上げ時に登録されているものも含めてすべて削除されます。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除されません。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されます。
- 保護しているデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されているデコメール用のテンプレート、キャラ電を削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。
電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 **メニュー▶設定▶その他▶端末初期化▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES**

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期値設定」の画面が表示されます。

お知らせ
- PIMロック中は初期化できません。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存･登録･設定されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- ダウンロード辞書やｉアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。

お知らせ
- 端末初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、chクリアを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。

文字入力

区点コード一覧について

付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1.「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセット
2.「取扱説明書」▶「区点コード一覧(PDFファイル)」の順にクリック

- PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。
- お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
- ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

<文字入力>
文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

文字入力画面

文字入力(編集)画面には、文字入力方式や入力モード、残文字数などの情報が表示されます。

❶文字入力方式
2:モード2(2タッチ方式)
ニ:モード3(ニコタッチ方式)
- モード1(かな方式)のときは表示されません。

❷入力モード
漢:漢字ひらがな入力モード
ｶﾅ:カタカナ入力モード
英:英字入力モード
数:数字入力モード

❸全角/半角
全:全角入力モード
半:半角入力モード

❹入力可能な残りバイト数/最大入力バイト数
- 機能によっては「入力済み文字数」が表示される場合があります。

文字入力方式を選択する

メニュー 3 5

お買い上げ時	入力モード:すべてチェックあり 優先入力方式:モード1(かな方式)

文字入力方式には、次の3種類の方式があります。

モード1(かな方式)⇒P.348
1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに文字が変わります。

モード2(2タッチ方式)⇒P.356
2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

モード3(ニコタッチ方式)⇒P.357
2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

1 メニュー▶設定▶その他▶文字入力方式▶入力モード▶使用したいモードにチェック▶✉(完了)
- 2つ以上のモードを選択してください。

2 優先的に使うモードを選択
- 手順1で選択したモードの中から、優先的に使うモードを選択します。

文字入力(編集)画面での切り替え方法

文字入力(編集)画面では、次の2つの方法でモードを切り替えることができます。
- ✉(文字)を1秒以上押す
- 機能メニューから「入力モード切替」を選択する⇒P.352

<モード1(かな方式)>
モード1(かな方式)で文字を入力する

文字を入力する操作手順で✉(文字)を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

入力モード	入力できる文字
漢字ひらがな入力モード	ひらがな・文字変換(漢字、カタカナなど)・記号
カタカナ入力モード	カタカナ・記号
英字入力モード	英字・数字・記号
数字入力モード	数字・「＊」「＃」・記号

文字を入力する

少ない文字を入力するだけで予測される文字に変換できる予測変換機能や、文節間の関係から次の文節の変換候補を表示する関係候補を利用して文字を入力できます。
- 学習機能により予測変換候補や関係候補が増えます。

<例>フリーメモに「タダの菓子」を入力する

1 メニュー▶▶フリーメモ▶✉(編集)
- 予測変換モードで文字入力(編集)画面が表示されます。

2 ひらがなを入力

た→[4]を1回、[○]を1回
だ→[4]を1回、[＊]を1回
の→[5]を5回
か→[2]を1回
し→[3]を2回

- 一度に入力できる文字数：24文字まで。
- 同じボタンで入力する文字が続く場合は、[○]でカーソルを進めてから次の文字を入力します。
  「文字確定時間」を設定すると、カーソルを移動する操作が省略できます。
- 大文字･小文字を切り替える場合は文字を入力したあとに[☎]を押します。
- [📷]を押すごとに逆順に文字が表示されます。
- [✉]を押すごとに通常変換モードと予測変換モードが切り替わります。
- 変換せずにそのまま確定する場合は[●]（設定）を押します。

3 [○]で「の」までカーソルを移動

4 [○]で候補リストにカーソルを移動 ▶[○]で「タダの」を選んで[●]（選択）

- 「候補自動表示」を「OFF」に設定時は候補リストは表示されません。[○]で文字を変換します。
- 変換候補を選択中は[ch クリア]で文字入力（編集）画面に戻ります。
- [📷]で全文節を確定できます。

5 [○]で「し」までカーソルを移動

6 [○]で候補リストにカーソルを移動 ▶[○]で「菓子」を選んで[●]（選択）

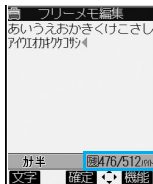
選択した文字が確定します。

- 「候補自動表示」を「OFF」に設定時は候補リストは表示されません。[○]で文字を変換します。
- 文字を確定後、関係候補となる文字列がある場合は、関係候補が表示されます。[○]で候補リストにカーソルを移動すると関係候補を入力できます。
- 関係候補を選択中は[ch クリア]で文字入力（編集）画面に戻ります。

お知らせ

- 学習機能により、最大1000単語分まで記憶され、変換率の高い文字は表示順位が上がります。
- 候補の文字列は、通常の変換を行った文字やダウンロードした辞書から表示されます。
  ･お買い上げ時は、少数の文字列しか登録されていないため候補を表示しない場合があります。通常の変換を行うことにより、それが候補に加えられます。
  ･辞書をサイトからダウンロードして候補に加えることもできます。ただし、ダウンロードした辞書を削除すると、候補からも削除されます。⇒P.180、P.356
- 2タッチ方式、ニコタッチ方式の漢字ひらがな入力モードでも予測変換機能、関係候補を利用できます。
- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。入力できるのは、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。
- ｉモードメールの本文を入力するときは、メール本文入力画面でダイヤルボタンを押すと文字入力（編集）画面が表示され、文字入力（編集）画面の機能メニューを利用できます。

残文字数、入力済み文字数について

文字入力画面では入力可能な残り文字数と最大入力文字数がバイト数で表示されます。（SMS本文入力時など、機能によっては入力済み文字数が文字数単位で表示されます。）

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。

- 半角1文字：1バイト
- 全角1文字：2バイト
- 全角：あいうえお　5文字（カウントは10バイト）
  半角：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺ　10文字（カウントは10バイト）

文字の組み合わせについて

文字入力の際は、文字の組み合わせに注意してください。

＜例＞「ﾄﾞｺﾓ」を半角カタカナ入力モードで、「の携帯電話」を漢字ひらがな入力モードで入力したとき

ﾄ	ﾞ	ｺ	ﾓ	の	携	帯	電	話
1	1	1	1	2	2	2	2	2

- 画面に表示される文字数は9文字でカウントは14バイト、半角文字14文字分となります。
- 半角文字の濁点「ﾞ」半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

その他の入力機能

項目	操作・補足
カタカナ入力 英数字入力 数字入力	[メール]（文字）を数回押して入力モードを選ぶ▶ボタンを押して文字を入力
改行入力	[カメラ]を押す ● 文末にカーソルがあり、文字が確定されているときは、[下]でも改行できます。
顔文字入力	「かお」と入力▶[下]で候補リストにカーソルを移動▶[決定]で顔文字を選択 ● お買い上げ時に登録されている定型文にも顔文字が登録されています。

お知らせ

<改行入力>

- 改行は、全角1文字分としてカウントされます。
- ｉモードのテキストボックスの編集など、機能によっては改行できない場合があります。

文字を修正する

1 カーソルを修正したい文字の左側へ移動▶[CLR]

カーソルの右側の文字が削除されます。

[CLR]を1秒以上押すとカーソル以降の文字がすべて削除されます。

- カーソルの右側に文字がない場合は、カーソルの左側の文字が削除されます。[CLR]を1秒以上押すとすべての文字が削除されます。

2 正しい文字を入力

カーソルの位置に文字が挿入されます。

編集中のデータについて

電池が切れたときは

「フリーメモ」、新規メールの文字編集中などに電池残量が少なくなると、自動的に文字編集を終了し電池切れアラームが鳴ります。編集中のデータは自動的に確定して保存されますので、充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとにもう一度編集できます。ただし、変換中の確定していない文字は保存されません。

☎を押したときは

文字を入力、編集中に☎を押すと、編集を終了するかどうかの確認画面が表示されます。（データを変更していないときは表示されません。）

- **編集中の内容を破棄して終わるときは**
  「YES」を選択します。
  編集中のデータを破棄して編集前の画面または待受画面に戻ります。
  ※☎でもデータを破棄して編集前の画面または待受画面に戻ります。
- **編集を続けるときは**
  「NO」を選択します。
  編集中のデータはそのままで元の画面に戻ります。
  ※chクリアでも元の画面に戻ります。

マルチタスク機能を利用したときは

他の文字入力（編集）画面に切り替えた場合でも、元の編集途中の画面はそのまま保持されます。タスクを切り替えれば、元の文字編集を行えます。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

マルチタスク機能が働くため編集中のデータはそのままで応対できます。

シークレット学習設定 メニュー 3 5

お買い上げ時	学習する

シークレットモード、シークレット専用モード中に行った文字変換を、学習履歴として記憶するかどうかを設定します。

1 メニュー▶▶**その他**▶**文字入力方式**▶**シークレット学習設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**学習する・学習しない**

文字入力（編集）中の機能メニュー

- メール本文入力画面での機能メニューについて⇒P.201

機能メニュー	操作・補足
絵文字入力	絵文字を画面に表示しながら入力します。 ▶**絵文字を選んで**●（選択） 上記の操作を繰り返して、9文字まで続けて絵文字を入力できます。 ● 漢字ひらがな入力モード中、＊でも絵文字の一覧が表示されます。 ● iα（次ページ）または▼で次のページへ、▲で前のページへ進みます。 ● 行番号（左側の番号）→列番号（上側の番号）の順にダイヤルボタンを押しても絵文字を選択できます。 ◆絵文字一覧表⇒P.407 ▶✉（完了） 選んでいる絵文字が入力され、文字入力（編集）画面に戻ります。 ● 📷を押すと選択している絵文字が入力され、文字入力（編集画面）に戻ります。
記号入力	記号を画面に表示しながら入力します。 ▶**記号を選んで**●（選択） 上記の操作を繰り返して、9文字まで続けて記号を入力できます。 ● #を1秒以上押しても、記号の一覧が表示されます。 ● iα（次ページ）または▼で次のページへ、▲で前のページへ進みます。 ● 行番号（左側の番号）→列番号（上側の番号）の順にダイヤルボタンを押しても記号を選択できます。 ◆記号一覧表⇒P.404 ▶✉（完了） 選んでいる記号が入力され、文字入力（編集）画面に戻ります。 ● 📷を押すと選択している記号が入力され、文字入力（編集画面）に戻ります。
全角切替・半角切替	全角、半角を切り替えます。

機能メニュー	操作・補足
コピー	文字をコピーします。⇒P.354
切り取り	文字を切り取ります。⇒P.354
貼り付け	切り取り・コピーした文字を貼り付けます。⇒P.354
定型文入力	▶フォルダを選択▶定型文を選択 ●数字入力モード以外のときは、[＊]を1秒以上押しても定型文のフォルダの一覧が表示されます。 ◆定型文一覧表⇒P.410
スペース入力	全角入力モードのときは全角スペース、半角入力モードのときは半角スペースを入力します。 ●文末にカーソルがある場合、[○]でもスペースを入力できます。
区点入力	区点コード一覧表（⇒付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」）にある文字・数字・記号を入力します。 漢字ひらがな入力モードのときに操作できます。 ▶区点コード（4桁）を入力 入力した区点コードに対応した文字が表示され、元の入力モードに戻ります。 ●入力した区点コードに対応する文字がないときは、スペースが入力されます。
電話帳引用	電話帳を呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 <FOMA端末内> 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ <FOMAカード内> 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス ▶グループ検索・行検索▶電話帳を選択 ▶引用したい項目にチェック ▶[✉]（完了）
個人データ引用	お客様の個人データを呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ ▶端末暗証番号を入力 ▶引用したい項目にチェック ▶[✉]（完了）

機能メニュー	操作・補足
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します。⇒P.161
日付／時刻入力	▶日付／時刻の形式を選択 ▶日付／時刻を入力 ●ダイヤルボタンで日付／時刻を入力します。 ●年数は1800年から2099年まで入力できます。
ユーザ辞書	ユーザ辞書に単語を登録します。⇒P.355
学習履歴	学習履歴を確認／削除します。⇒P.355
入力モード切替	文字入力方式を切り替えます。 ▶入力モードを選択 ●「文字入力方式」の「入力モード」（⇒P.348）で選択していない入力モードは選択できません。 ●文字入力（編集）画面で[✉]（文字）を1秒以上押しても入力モードが切り替わります。
2タッチ／ニコタッチガイダンス お買い上げ時 ON	モード2（2タッチ方式）、モード3（ニコタッチ方式）で入力中に、1桁目のボタンを押したときに文字の変換候補を画面の下に一覧表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
候補自動表示 お買い上げ時 3行	画面の下に表示する変換候補リストの行数を設定します。 ▶3行・4行・OFF
関係候補表示 お買い上げ時 ON	関係候補を使用するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
文字確定時間 お買い上げ時 OFF	モード1（かな方式）で文字入力中に、入力した文字を自動的に確定するかどうかを設定します。また、確定するまでの時間を選択できます。 同じボタンを押して入力する文字が続く場合でも、[○]でカーソルを移動する操作を省略できます。 ▶速い・普通・遅い・OFF

機能メニュー	操作・補足
ヘルプ	文字入力の操作方法を確認できます。 ▶項目を選択 ●確認が終われば、CLRを何度か押して文字入力(編集)画面に戻ります。
JUMP	カーソルを文頭または文末に移動させます。 ▶文頭へJUMP・文末へJUMP ●文字入力(編集)画面が複数のページにわたるときは、カーソルはページの先頭または最後に移動します。

お知らせ

<絵文字入力>

- 文字入力(編集)画面によっては絵文字を入力できない場合があります。
- 絵文字の一覧の1行目には、入力した絵文字の履歴が11件まで表示されます。

<記号入力>

- 数字入力モードで0を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。
- 文字入力(編集)画面によっては、入力できない記号があります。
- 記号の一覧の1行目には、入力した記号の履歴が11件まで表示されます。

<全角切替・半角切替>

- ニコタッチ方式の漢字ひらがな入力モードで半角切替した場合、半角カタカナ入力モードに切り替わります。

<定型文入力>

- 文字入力(編集)画面によっては定型文を入力できない場合があります。
- FOMA端末にあらかじめ登録された定型文は入力モードによって呼び出される内容が異なります。

<電話帳引用><個人データ引用>

- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

<文字確定時間>

- 文字確定時間の設定とボタン操作の速さによっては、うまく入力できない場合があります。

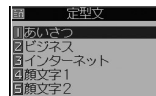
<定型文>

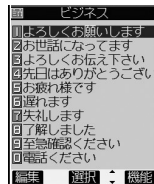
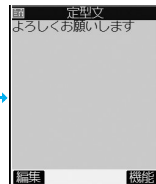
定型文を使用する

メニュー 3 8

FOMA端末にあらかじめ登録された定型文や自作の定型文を文字入力(編集)画面から呼び出して入力できます。
定型文は5つのフォルダに分かれていて、各フォルダに10件ずつ登録されています。登録されている定型文を編集し、自作の定型文として保存できます。

定型文を表示する

1 ▶▶**定型文**
▶**フォルダを選択**

定型文フォルダー一覧画面

2 **定型文を選択**

定型文一覧画面　　定型文画面

◆定型文一覧表⇒P.410

お知らせ

- メールの作成時に使用する自作の定型文には、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります。(ｉモードメールどうしでは絵文字を使用できます。)
- 「あいさつ」「ビジネス」フォルダにあらかじめ登録されている定型文は、漢字ひらがな入力モードでは漢字ひらがな表現、それ以外の入力モードでは半角カタカナ表現で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 ● 文字数:全角10/半角20文字まで。 ● フォルダ名に入力した文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。
フォルダ名初期化	フォルダ名をお買い上げ時のフォルダ名に戻します。 ▶YES

定型文一覧画面・定型文画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	▶定型文を入力 ● 文字数:全角64/半角128文字まで。 ● あらかじめ登録されている定型文の文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。 ● [✉]([編集])でも編集できます。
1件初期化	定型文をお買い上げ時の定型文に戻します。 ▶YES
全件初期化	フォルダ内のすべての定型文をお買い上げ時の定型文に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

文字の切り取り・コピーと貼り付け

切り取り・コピー

文字を最大全角5000/半角10000文字まで切り取り・コピーできます。

1 文字入力(編集)画面▶[iα]([機能])▶切り取り・コピー

2 始点を選択

● [iα]([全選択])ですべての文字を選択できます。

3 終点を選択

お知らせ

● デコメール本文入力中に切り取り・コピーして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます。
● デコメールの本文など、データの容量によってはメモリが不足するため切り取り・コピーできない場合があります。

貼り付け

切り取り・コピーした文字を貼り付けます。

1 文字入力(編集)画面▶カーソルを貼り付け開始位置へ移動▶[iα]([機能])▶貼り付け

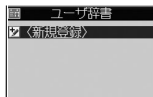
<ユーザ辞書>

ユーザ辞書に単語を登録する

メニュー 8 2

よく使う単語に好きな読み(ひらがな)を付けてユーザ辞書に100件まで登録できます。

1 メニュー▶ユーザデータ▶**ユーザ辞書▶<新規登録>**

- 登録済みのユーザ辞書を選択すると、登録内容を確認できます。
- 文字入力(編集)中の機能メニューから「ユーザ辞書」を選択してもユーザ辞書を表示できます。

2 **単語を入力**

- 文字数:全角10/半角20文字まで。ただし、改行は入力できません。

3 **読みを入力**

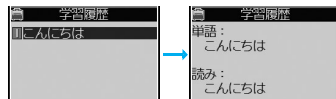
- 文字数:ひらがなで10文字まで。
  「長音(ー)」以外の記号は登録できません。ただし、「゛」や「゜」を付けることができる文字のときには「゛」や「゜」は登録できます。
- スペースを入力しても、自動的につめて登録されます。

ユーザ辞書表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	⇒P.355「ユーザ辞書に単語を登録する」手順2へ
編集	⇒P.355「ユーザ辞書に単語を登録する」手順2へ ● ✉(編集)でも編集できます。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいユーザ辞書にチェック ▶✉(完了)▶YES ● 文字入力(編集)中の機能メニューからユーザ辞書を表示した場合、「選択削除」は表示されません。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

学習履歴を確認する

FOMA端末は一度入力した文字列を自動的に記憶し、学習履歴として変換時の候補にします。

1 **文字入力(編集)中の機能メニュー▶学習履歴▶行を選択▶履歴を選択**

- 学習履歴を削除するには iα(機能)→「1件削除」または「全削除」→「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

学習履歴初期化

メニュー 3 5

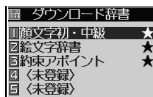
学習履歴をお買い上げ時の初期状態に戻します。

1 メニュー▶設定▶**その他▶文字入力方式▶学習履歴初期化▶端末暗証番号を入力▶YES**

<ダウンロード辞書>
ダウンロードした辞書を使用する

サイトからダウンロードした辞書(⇒P.180)を有効にします。

1 メニュー▶ユーザデータ▶**ダウンロード辞書**
▶ダウンロード辞書を選択

選択したダウンロード辞書が有効になり、「★」マークが付きます。
- ダウンロード辞書を無効にするには、同様の操作を行います。
- お買い上げ時は、「顔文字初・中級」「絵文字辞書」「約束アポイント」が登録されています。

ダウンロード辞書表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶**タイトルを編集** ● 文字数：全角10／半角20文字まで。 ● タイトルに入力した文字をすべて削除した場合は、元のタイトルに戻ります。
辞書ファイル設定 お買い上げ時 すべて有効	辞書を有効／無効にします。操作するごとに有効／無効が切り替わります。
辞書情報	辞書のタイトル、バージョンを表示します。 ● 確認が終わればクリアを押します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<モード2(2タッチ方式)>
モード2(2タッチ方式)で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。1つ目のボタンを押すと変換候補となる文字(記号)が画面の下に一覧表示されます。変換候補を表示するには、あらかじめ「2タッチ／ニコタッチガイダンス」を「ON」に設定します。
- 「2タッチ方式」への切り替えについて⇒P.348

◆ダイヤルボタンの文字割り当て一覧(2タッチ方式)⇒P.402

入力モードの切替(2タッチ方式)

文字入力(編集)画面で✉(文字)で入力モードを切り替えます。
入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

入力モード	入力できる文字
漢字ひらがな入力モード	ひらがな・英数字・記号など・文字変換 (漢字・カタカナ・数字・記号など)
カタカナ入力モード	カタカナ・英数字・記号など
英字入力モード	英字・記号
数字入力モード	数字・「＊」「＃」「+」

文字を入力する

<例>フリーメモに「タダの菓子」を入力する

1 [メニュー] ▶ [LifeKit] ▶ **フリーメモ** ▶ [✉]（編集）

文字入力（編集）画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→[4][1]
だ→[4][1]、[＊]
の→[5][5]
か→[2][1]
し→[3][2]

- 濁点、半濁点を入力する場合、文字を入力後[＊]を押します。
- [8][0]と押すと、大文字／小文字入力モードが切り替わります。大文字／小文字の切り替えが可能な文字を入力し、[☎]でも大文字／小文字が切り替わります。

ひらがなを入力後⇒P.349手順3へ

<モード3(ニコタッチ方式)>

モード3(ニコタッチ方式)で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字（記号）が入力されます。1つ目のボタンを押すと変換候補となる文字（記号）が画面の下に一覧表示されます。変換候補を表示するには、あらかじめ「2タッチ／ニコタッチガイダンス」を「ON」に設定します。

- 「ニコタッチ方式」への切り替えについて⇒P.348

◆ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（ニコタッチ方式）⇒P.403

入力モードの切替（ニコタッチ方式）

文字入力（編集）画面で[✉]（文字）で入力モードを切り替えます。
入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

入力モード	入力できる文字
漢字ひらがな入力モード	ひらがな･英数字･記号･文字変換（漢字･カタカナ･数字･記号） ●「半角切替」をすると、半角カタカナ入力モードに切り替わり、半角カタカナが入力できます。
数字入力モード	数字･「＊」「＃」「＋」

文字を入力する

<例>フリーメモに「タダの菓子」を入力する

1 [メニュー] ▶ ▶ **フリーメモ** ▶ [✉](編集)

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 ひらがなを入力

た→[4][1]
だ→[4][1]、[＊]
の→[5][5]
か→[2][1]
し→[3][2]

- 濁点、半濁点を入力する場合、文字を入力後[＊]を押します。
- 大文字／小文字の切り替えが可能な文字を入力し、[☎]で大文字／小文字が切り替わります。

ひらがなを入力後⇒P.349手順3へ

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.361
キャッチホン	要	有料	P.363
転送でんわサービス	要	無料	P.365
迷惑電話ストップサービス	要	無料	P.366
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.48
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.367
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.368
英語ガイダンス	不要	無料	P.368
マルチナンバー	要	有料	P.370
公共モード(ドライブモード)	不要	無料	P.70
公共モード(電源OFF)	不要	無料	P.71
OFFICEED	要	有料	P.371

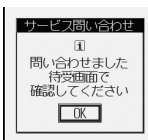
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

お知らせ
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。⇒P.372

<サービス問い合わせ> メニュー 2 5

新しい伝言メッセージがあるか確認する

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているかどうかを確認します。

1
メニュー ▶ サービス ▶ **サービス問い合わせ** ▶ **OK**

問い合わせ結果について

- 伝言メッセージがあるときは「留守番電話あり」のアイコン(留守)と留守番電話アイコン(など)を表示してお知らせします。
- 伝言メッセージがあることを示す留守番電話アイコン(など)は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去の操作をするか、「留守番アイコン消去」の操作を行うと消去されます。
- 留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージの件数によって、1、2、3…+(10件以上)と表示が変わります。表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 「件数増加鳴動設定」を設定すると、伝言メッセージが増加したときに着信音が鳴ります。
- 伝言メッセージの再生のしかたについて⇒P.361

「圏外」が表示されているときは

伝言メッセージの問い合わせができません。「圏外」が消える場所でご利用ください。

<留守番電話>

留守番電話サービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお応えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

● 伝言メモ(⇒P.73)を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。

● 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

留守番電話サービスについて

● 留守番電話サービスは音声電話、テレビ電話に有効です。
● 伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音／録画でき、最長72時間保存されます。
● テレビ電話の伝言メッセージが留守番電話サービスセンターにあるときは、SMSにて通知されます。
● 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信してください。
● 32Kテレビ電話による留守番電話接続はできません。
● キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。⇒P.78
● 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。⇒P.361) その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続します。
● かかってきた電話をボタン操作だけで留守番電話サービスセンターに接続できます。また、通話中にかかってきた電話も接続できます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1:サービスを開始に設定する
ステップ2:電話をかけてきた方が伝言を録音／録画する※
ステップ3:伝言メッセージを再生する

※急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」で、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスを利用する

1 メニュー ▶ ▶ **留守番電話** ▶ **以下の操作を行う**

項目	操作・補足
留守番メッセージ再生	留守番電話に録音された伝言メッセージを再生します。 ▶ **YES** ▶ **音声ガイダンスの指示に従って操作する**
留守番電話サービス開始	▶ **YES** ▶ **YES** ▶ **呼出時間(秒)を入力** ● 「000」～「120」の3桁を入力します。 ● 留守番設定確認の機能メニューから「留守番サービス開始」を選択しても開始できます。
留守番サービス停止	▶ **YES** ● 留守番設定確認の機能メニューから「留守番サービス停止」を選択しても停止できます。
留守番呼出時間設定	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を設定します。 ▶ **呼出時間(秒)を入力** ● 「000」～「120」の3桁を入力します。 ● 留守番設定確認の機能メニューから「呼出時間設定」を選択しても設定できます。
留守番設定確認	留守番電話サービスの設定内容を確認します。
留守番サービス設定	留守番電話サービスの設定内容を切り替えます。 ▶ **YES** ▶ **音声ガイダンスの指示に従って操作する**
件数増加鳴動設定 お買い上げ時 YES	伝言メッセージが増えたときに着信音を鳴らすように設定します。「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。 ▶ **YES・NO**

▶▶次ページにつづく

項目	操作・補足
留守番アイコン消去	待受画面にある留守番電話アイコン(など)を消去します。 ▶YES
着信通知開始	電波の届かない所にいるとき、電源を切っているときなどにかかってきた電話の着信履歴をSMSでお知らせします。SMS1通につき5件までの着信履歴が通知されます。 ▶**項目を選択** **全着信**…………すべての着信についてお知らせします。 **発番号あり**….相手の電話番号が通知された着信についてのみお知らせします。 ▶YES
着信通知停止	▶YES
着信通知設定確認	着信通知の設定内容を確認します。

お知らせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>
- 通話中は操作できません。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作(0～9、＊、＃)を行った場合、を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はをもう一度押してください。

<留守番呼出時間設定>
- 0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

<留守番アイコン消去>
- 留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

<着信通知開始>
- SMS一括拒否を設定している場合でも着信履歴は通知されます。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で留守番電話サービスセンターに接続できます。留守番電話サービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って留守番電話を利用できます。

1 着信中▶(機能)▶留守番電話

- 着信中に(機能)→＃でもかかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

指定留守番電話

電話帳に登録されている電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定に関わらず、留守番電話サービスセンターへ自動的に接続できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 電話帳詳細画面▶(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶指定留守番電話

「指定留守番電話」に「★」マークが付きます。
- 指定留守番電話を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップのアイコン(⇒P.72、P.121)と「着信履歴」でお知らせします。

<キャッチホン>
キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「着信動作選択」(⇒P.369)を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答できません。

キャッチホンサービスを利用する

1

項目	操作・補足
キャッチホンサービス開始	▶YES
キャッチホンサービス停止	▶YES
キャッチホンサービス設定確認	キャッチホンの設定内容を確認します。

通話中にかかってきた電話に出る

お話し中の通話を保留にして、かかってきた電話に出ます。

1 通話中着信▶[通話]

最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- [通話]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

お知らせ

- キャッチホンを利用できない通信・着信の場合、着信画面で[通話]を押すと、通話を終了すれば新しい着信に応答できる旨の確認画面が表示されます。
  [終話]を押すと元の通話が終了し、着信画面が表示されます。「OK」を選択すると、通話中着信の画面に戻ります。
- テレビ電話中に着信があった場合は、以下のような動作になります。
  ・着信時の画像に設定された動画／iモーション、Flash画像は表示されません。
  ・元の通話の相手には「内蔵」の代替画像が送信されます。
  ・バイブレータは動作しません。
- 117にかけているときに音声電話がかかってきた場合、通話中着信音は鳴りますが電話に出ることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。

通話を終了してかかってきた電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、かかってきた電話に出ます。

1 通話中着信▶[終話]

着信音が鳴ります。かかってきた電話に応答できます。

元の通話を続ける

1 **通話中着信▶[i&α](機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	操作・補足
着信拒否	着信を拒否し、元の通話に戻ります。
転送でんわ	かかってきた電話を転送先に転送し、元の通話に戻ります。
留守番電話	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続し、元の通話に戻ります。

お知らせ

- テレビ電話接続中、遠隔監視中、応答保留中、伝言メモ動作中の着信は拒否されます。元の通話を終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。(留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスの契約および設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。)

通話を保留して電話をかける

お話し中の通話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけます。

1 **通話中に別の相手の電話番号を入力▶[発信]**

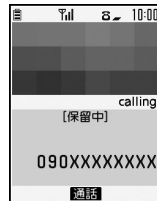
新しくかけた相手とお話しができます。
最初の方との通話は自動的に保留されます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- [発信]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して保留中の電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、保留中の電話に出ます。

1 **マルチ接続中▶[終話]**

着信音が鳴ります。

2 **[発信]または[●](通話)を押す**

- 通話中の相手が通話を終了したときは、[発信]で保留中の相手と通話します。

保留中の電話を終了する

1 **マルチ接続中▶[i&α](機能)▶保留呼切断**

お知らせ

- 保留中に着信があった場合は、保留が解除されます。
- マルチ接続中に別の電話がかかってきた場合、着信画面が表示されます。[i&α](機能)→「保留呼切断」を選択すると保留中の電話を終了します。「通話呼切断」を選択するとお話し中の電話を終了します。

<転送でんわ>
転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ(⇒P.73)や遠隔監視(⇒P.82)を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、「伝言メモ」の呼出時間や「遠隔監視」の応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

転送でんわサービスについて

- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。⇒P.365)その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、転送先に転送します。また「不在着信あり」のアイコンや「着信履歴」でお知らせします。ただし、呼出時間を0秒に設定した場合は、「着信履歴」には記憶されません。
- かかってきた電話をボタン操作だけで転送できます。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、転送でんわサービスの操作はできません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1: 転送先の電話番号を登録する
ステップ2: 転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3: お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4: 電話に出ないと指定した転送先へ自動的に転送される

転送でんわサービスを利用する

1 [メニュー]▶▶転送でんわ▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
転送サービス開始	▶転送先設定▶転送先の電話番号を入力 ● [Ω]で電話帳検索画面から電話番号を選択できます。⇒P.92 ▶呼出時間設定▶呼出時間(秒)を入力 ●「000」～「120」の3桁を入力します。 ▶開始▶YES
転送サービス停止	▶YES
転送先変更	▶転送先の電話番号を入力▶項目を選択 **転送先変更** …現在転送でんわサービスを使っているときに選択。 **転送先変更+転送開始** …転送でんわサービス停止中で、転送先の変更と同時に転送でんわサービスを開始したいときに選択。 ● [Ω]で電話帳検索画面から電話番号を選択できます。⇒P.92
転送先通話中時設定	転送先が通話中のときは留守番電話に録音するように設定します。 留守番電話を使うには留守番電話サービスのご契約が必要です。 ▶YES
転送サービス設定確認	転送先の電話番号や呼出時間などを確認します。 ●確認が終われば[chクリア]を押します。

お知らせ

- 着信中に応答すれば、転送されずに通話できます。
- 電波の届かない場合や、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
- 転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 待受画面▶1 4 2 9▶☎

音声ガイダンスに従って操作してください。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

着信中の電話を転送する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で「転送先」に設定した電話番号に転送できます。転送でんわサービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って転送できます。

1 着信中▶i α(機能)▶転送でんわ

指定転送でんわ

指定した電話帳に登録されている電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定に関わらず、着信音を約1秒間鳴らしてから自動的に転送できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 電話帳詳細画面▶i α(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶指定転送でんわ

「指定転送でんわ」に「★」マークが付きます。
- 指定転送でんわを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ
- 本機能を設定していても、転送でんわサービス停止中に「PIMロック」を設定すると、すべての着信が転送されなくなります。
- 転送先が未設定の場合、転送でんわサービス未契約の場合は、不在着信となります。

<迷惑電話ストップ>
迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

■迷惑電話ストップサービスに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	迷惑電話拒否登録した方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 (メッセージはお預かりしません)
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 (転送先には転送されません)
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード(ドライブモード)	着信拒否ガイダンスが流れます。 (公共モード(ドライブモード)のガイダンスは流れません)

詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

1 メニュー▶サービス▶迷惑電話ストップ▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信通話した相手の電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶YES▶OK
電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶電話番号を入力▶YES ● ◎で電話帳検索画面、◎で発信履歴一覧画面、◎で着信履歴一覧画面から電話番号を選択できます。
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶YES▶OK

項目	操作・補足
迷惑電話全登録削除	▶YES▶OK
拒否登録件数確認	拒否登録している件数を確認します。

＜番号通知お願いサービス＞
番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

■番号通知お願いサービスが「開始」中の着信と各サービスとの関係

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 （メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 （転送先には転送されません）
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	番号通知お願いガイダンスが流れます。 （公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません）

1 メニュー▶サービス▶**番号通知お願いサービス**
▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
番号通知お願い開始	▶YES▶OK
番号通知お願い停止	▶YES▶OK
番号通知お願い確認	番号通知お願いサービスの設定内容を確認します。

お知らせ

- FOMA端末の「非通知着信設定」を「拒否」に設定しているときに本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 本機能の設定・確認は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<デュアルネットワーク>
デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

● FOMA端末とmovaを同時に利用することはできません。
● デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

1 メニュー▶サービス▶**デュアルネットワーク▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
デュアルネットワーク切替	FOMA端末を利用できるように切り替えます。FOMA端末がFOMAエリア内にあるときに操作してください。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ● ネットワーク暗証番号について⇒P.126
デュアルネットワーク状態確認	デュアルネットワークサービスの設定内容を確認します。

ボタン操作でのデュアルネットワークサービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によってデュアルネットワークサービスを利用します。

■端末を切り替えるには(サービスを利用していない端末から)

1 5 4 0 発信→ネットワーク暗証番号入力
→切替ガイダンス→終話

■デュアルネットワーク状態確認(確認したい方の端末から)

1 5 4 6 発信→確認→終話

お知らせ
● 詳しくは、「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
● 音声ガイダンスに従ってボタン操作(0～9、*、#)を行った場合、終話を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は終話をもう一度押してください。

<英語ガイダンス>
ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
発信時・着信時に設定できるガイダンスは以下のとおりです。

■**発信時**(お客様ご自身へのガイダンス)

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
英語	英語でガイダンスします。

■**着信時**(お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス)

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
日本語＋英語	日本語でガイダンスしたあとに英語でガイダンスします。
英語＋日本語	英語でガイダンスしたあとに日本語でガイダンスします。

1 メニュー▶サービス▶**英語ガイダンス▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
ガイダンス設定	▶項目を選択 **発信時＋着信時** ……………発信時と着信時のガイダンスを一度に設定。 **発信時**…発信時のガイダンスを設定。 **着信時**…着信時のガイダンスを設定。 ▶ガイダンスに設定する言語を選択 ▶YES ●「発信時＋着信時」を選択した場合は、発信時のガイダンスを設定したあとに、着信時のガイダンスを設定します。
ガイダンス設定確認	英語ガイダンスの設定内容を確認します。 ● 確認が終われば クリア を押します。

お知らせ

- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<サービスダイヤル>

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内･受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1

項目	操作･補足
ドコモ故障問合せ	故障お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶●(発信) 113番に発信します。
ドコモ総合案内･受付	総合お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶●(発信) 151番に発信します。

<着信動作選択>

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

お買い上げ時	通常着信

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。

1 メニュー▶ ▶**着信動作選択**▶**以下の操作を行う**

項目	操作･補足
留守番電話	「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
転送でんわ	「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。
通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中(「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき)、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ● 通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ● 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。 ● 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

着信動作選択で選択した機能の使用を開始／停止したり、設定内容を確認できます。

1 ▶▶**通話中着信設定▶以下の操作を行う**

項目	操作･補足
通話中着信設定開始	▶YES
通話中着信設定停止	▶YES
通話中着信設定確認	着信動作の設定内容を確認します。

お知らせ

- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<遠隔操作設定>

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

1 メニュー▶▶**遠隔操作設定▶以下の操作を行う**

項目	操作･補足
遠隔操作開始	▶YES
遠隔操作停止	▶YES
遠隔操作設定確認	遠隔操作の設定内容を確認します。

お知らせ

- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<マルチナンバー>

付加番号を設定する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

電話番号登録

付加番号を登録します。

1 メニュー▶サービス▶**マルチナンバー▶電話番号登録▶付加番号を選択**

- iα(機能)→「編集」を選択しても付加番号を登録／編集できます。
- 登録済みの付加番号を選択すると、登録名と電話番号を確認できます。
- 登録済みの付加番号を削除するにはiα(機能)→「1件削除」または「全削除」→「YES」を選択します。

2 **登録名を入力▶電話番号を入力**

- 登録名の文字数：全角8／半角16文字まで。

通常発信番号設定

通常発信番号設定を切り替えることにより、すべての発信先に設定した番号で電話をかけることができます。

1 メニュー▶サービス▶**マルチナンバー▶通常発信番号設定▶電話番号を選択**

基本契約番号 .....ご契約の電話番号で発信します。
付加番号1～2 ...付加番号で発信します。登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

2 **YES**

電話をかけるときに発信番号を設定する

電話をかける前に、機能メニューから相手に通知する番号を選択して発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 iα(機能)▶**マルチナンバー▶電話番号を選択**

- 付加した電話番号を消去する場合は、「発番号設定消去」を選択します。
- マルチナンバー未契約の場合は、付加番号を選択しても基本契約番号での発信となります。

お知らせ

- 「基本契約番号」「付加番号1～2」を選択した場合は、電話番号のあとに「＊590＃」「＊591＃」「＊592＃」が付加されます。

通常発信番号設定確認

通常発信番号を確認します。

1 メニュー▶サービス▶**マルチナンバー▶通常発信番号設定確認**

着信音設定

お買い上げ時	通常着信音と同じ

付加番号に着信した場合の着信音を設定します。

1 メニュー▶サービス▶**マルチナンバー▶着信音設定▶付加番号を選択**

⇒P.103手順3へ
「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」または「テレビ電話」で設定した着信音になります。

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS(屋内基地局設備)で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご確認ください。

<追加サービス>

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

サービスを登録する

1 メニュー ▶ サービス ▶ **追加サービス** ▶ **追加サービス** ▶ **<未登録>を選んで** iα(**機能**) ▶ **設定追加**

追加サービス
1 XXXXXXXX
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉

- iα(機能)→「設定変更」を選択すると、登録済みのサービスの設定を変更できます。
- 登録済みのサービスを削除するにはiα(機能)→「1件削除」または「全削除」→「YES」→「OK」と選択します。
- 10件まで登録できます。

2 **サービス名を入力** ▶ **特番・USSD**

追加するサービス内容によって「特番」または「USSD」を選択します。
- サービス名の文字数：全角10／半角20文字まで。

3 **特番またはサービスコード(USSD)を入力** ▶ **YES**

お知らせ

- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」の確認･入力が必要です。
  特番
  .... サービスセンターに接続するための番号です。
  サービスコード(USSD)
  .... FOMA端末ではUSSDとして入力します。サービスセンターに通知するためのコードです。

登録したサービスを利用する

1 メニュー ▶ サービス ▶ **追加サービス** ▶ **追加サービス** ▶ **サービスを選択** ▶ ●(**送信**)

サービスセンターに発信します。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを10件まで登録できます。登録したコマンドが応答として返ってきたときに応答メッセージ名が表示されます。

1 メニュー ▶ サービス ▶ **追加サービス** ▶ **応答メッセージ設定** ▶ **<未登録>を選んで** iα(**機能**) ▶ **設定追加**

応答メッセージ設定
1 〈未登録〉
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉

- 登録済みの応答メッセージを選択すると、設定を確認できます。
- iα(機能)→「設定変更」を選択すると、登録済みの応答メッセージの設定を変更できます。
- 登録済みの応答メッセージを削除するにはiα(機能)→「1件削除」または「全削除」→「YES」→「OK」と選択します。

2 **コマンドを入力**

- ドコモから通知されたコード(USSD)を入力します。

3 **応答メッセージ名を入力** ▶ **YES**

- 文字数：全角10／半角20文字まで。

データ通信

データ通信について

詳細は付属のCD-ROM内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。

❶ 「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセット

❷ 「取扱説明書」▶「データ通信マニュアル(PDFファイル)」の順にクリック

- PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。
- お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
- ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、パケット通信・64Kデータ通信とデータ転送(OBEX)に分類されます。FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- データ通信中に他の機能を起動したり操作したりできないことがあります。詳しくはP.411「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。
- 海外では、パソコンに接続してのパケット通信と64Kデータ通信はご利用になれません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信形態です。(受信最大384kbps、送信最大64kbps)ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信形態です。FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続し64kbpsの通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送(OBEX)

赤外線やFOMA USB接続ケーブル(別売)を使ってデータを送受信する通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信できます。
FOMA端末とパソコン間でFOMA USB接続ケーブルを使ってデータ転送(OBEX)を行う際には、ドコモケータイdatalink(⇒P.378)をインストールしてください。

お知らせ

- FOMA端末からは、PIAFSなどのPHSサービス(32Kデータ通信および、64Kデータ通信)はご利用できません。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」、「sigmarion III」、「musea」に接続してデータ通信を行うことができます。
「sigmarion II」や「musea」を利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。
「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信の接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass(ユーザ証明書)が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)が利用できるパソコンであること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境について

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体

PC-AT互換機
FOMA USB接続ケーブル(別売)を使用する場合:USBポート
　(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)
ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。

OS

Microsoft® Windows® 2000 Professional、
Windows® XP Professional/Home Edition、Windows Vista™
(各日本語版)

必要メモリ

Microsoft® Windows® 2000 Professional:64Mバイト以上
Windows® XP Professional/Home Edition:128Mバイト以上
Windows Vista™:512Mバイト以上

ハードディスク容量

5Mバイト以上の空き容量

- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)または、FOMA 充電機能付USBケーブル 01(別売)
- 付属CD-ROM「FOMA P704iμ用CD-ROM」

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」または、「FOMA 充電機能付USBケーブル 01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では、FOMA USB接続ケーブルの場合で説明しています。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の2つの方法があります。

FOMA USB接続ケーブルを使う

FOMA USB接続ケーブル(別売)を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。
パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信形態に利用できます。

- 「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
- ご使用前に「P704iμ通信設定ファイル」(ドライバ)のインストールが必要です。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。⇒P.305
データ転送を行う場合のみ利用できます。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。
詳しくはPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。

1 **パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続する**

2 **「P704iμ通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールする**

3 **インストール後の確認をする**

4 **「FOMA PC設定ソフト」をインストールする**

- 「FOMA PC設定ソフト」を使わずに手動でも通信の設定は行えます。

5 **接続する**

付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」について

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続してパケット通信を行うときには、付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」の「P704iμ通信設定ファイル」(ドライバ)をパソコンにインストールしてください。
また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「FOMA PC設定ソフト」をインストールすることをおすすめします。

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

通信設定ファイル(ドライバ)のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで初めて接続するときに必要です。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作で設定ができます。「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。

ATコマンドについて

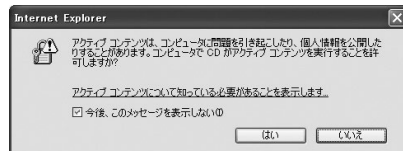
ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「データ通信マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書(PDF)が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

<収録ソフト/PDF>

- ・P704iμ通信設定ファイル(ドライバ)
- ・FOMA PC設定ソフト
- ・FOMAバイトカウンタ
- ・ドコモケータイdatalinkのご案内
- ・FirstPass PCソフト
- ・mopera Uのご案内(mopera Uかんたんスタート/U かんたん接続設定ソフト/U オリジナルデータ取得ソフト)
- ・SD-Jukebox
- ・PDF版「SDオーディオ簡易操作ガイド」
- ・PDF版「データ通信マニュアル」/「Manual for Data Communication」
- ・PDF版「区点コード一覧」/「Kuten Code List」
- ・Adobe®Reader®8.0

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。
※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。
お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途FOMA USB接続ケーブルが必要となります。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話や通信ができるサービスです。

- 本FOMA端末は、3Gローミングエリアで利用できます。エリア詳細については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。(GSM/GPRSサービスエリアでは利用できません。)
- 3Gローミングエリアは、世界標準規格である3GPP※に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
  ※3GPP(3rd Generation Partnership Project)は、第3世代移動体通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- お買い上げ時は、海外でのネットワークの切り替えが自動で行われるよう設定されています。⇒P.384
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下の冊子もあわせてご覧ください。

冊子名	内容
ご利用ガイドブック(国際サービス編)	サービス内容や利用料金、注意事項など、国際ローミングサービスの詳細を説明しています。
ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)	各ネットワークサービスのサービス内容や注意事項などを説明しています。

お知らせ

- 本書の巻末には、クイックマニュアル「海外利用編」を記載していますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。
- 国番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号、国際電話アクセス番号については、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

海外で利用できるサービスについて

通信サービス	説明
音声電話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や別の国への国際電話発信ができます。
テレビ電話	海外の特定3G携帯通信事業者のユーザや、FOMAユーザと国際テレビ電話ができます。
iモード	海外でもiモードを利用できます。 海外利用設定を行ってください。 詳しくは「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。
iモードメール	日本国内で使用しているアドレスのまま、海外でもiモードメールの送受信ができます。
SMS	海外でもSMSの送受信ができます。
iチャネル※	海外でもiチャネルを利用できます。

※自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。iチャネルの自動更新を再開するには、再度iチャネル設定を行う必要があります。なお、iチャネルの海外利用時には、ベーシックチャネルの自動更新についても通信料がかかります。(日本国内では、月額サービス利用料に含まれます。)

- 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外では、パソコンと接続してのパケット通信と64Kデータ通信はご利用になれません。

各通信方式と利用できる通信サービス

日本国内と海外のネットワークでは、利用できる通信サービスが異なります。

- 利用する海外の通信事業者によってもご利用いただける通信サービスは異なります。国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて、詳しくはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

ご利用時の確認について

ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 「WORLD WING」に対応しているFOMAカード(青色以外)をFOMA端末に取り付けておいてください。⇒P.38
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

■充電について

- ACアダプタの取扱上のご注意について⇒P.19
- ACアダプタでの充電方法について⇒P.42、P.43

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、一部を除くネットワークサービスの設定/解除などの操作を、海外からも行えます。

- 設定/解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外の通信事業者によっては利用できないことがあります。また、日本国内でのみ操作が可能なネットワークサービスもあります。
  海外でネットワークサービスをご利用の際は、ご出発前に「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」や「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

■SMSについて

国際ローミングを利用中でも、日本国内や海外でFOMA端末をご使用の相手や、海外通信事業者をご利用の相手との間でSMSの送受信ができます。

- 宛先は、相手の電話番号の前に「+」と相手の国番号を入力します。ただし、相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。ただし、イタリアなど一部の国･地域に送信するときは「0」が必要な場合があります。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」や「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

滞在先での確認

本FOMA端末は3Gローミングエリアでご利用いただけます。
海外に到着後、FOMA端末の電源を切った状態から電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。また、「ネットワーク名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者が待受画面に表示されます。

- 設定されたネットワークのサービスエリア外に移動した場合は、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して設定し直されます。

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失･盗難された後に発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」または「滞在国の国際電話アクセス番号」が必要になります。
- ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号、国際電話アクセス番号の最新情報については、ドコモの国際サービスホームページをご確認ください。

主要国の国際電話アクセス番号(表1)

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。(2007年6月現在)

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00	トルコ	00
アメリカ合衆国	011	ニュージーランド	00
アラブ首長国連邦	00	ノルウェー	00
イギリス	00	ハンガリー	00
イタリア	00	フィリピン	00
インド	00	フィンランド	00/990
インドネシア	001		
オーストラリア	0011	ブラジル	0041/0021/0023
オランダ	00		
カナダ	011		
韓国	001	フランス	00
ギリシャ	00	ベトナム	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポーランド	00
スウェーデン	00	ポルトガル	00
スペイン	00	香港	001
タイ	001	マカオ	00
台湾	002	マレーシア	00
チェコ	00	モナコ	00
中国	00	ルクセンブルグ	00
デンマーク	00	ロシア	810
ドイツ	00		

ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号(表2)

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。(2007年6月現在)

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00	タイ	001
アメリカ合衆国	011	台湾	00
アルゼンチン	00	中国	00
イギリス	00	デンマーク	00
イスラエル	014	ドイツ	00
イタリア	00	ニュージーランド	00
オーストラリア	0011	ノルウェー	00
オーストリア	00	フィリピン	00
オランダ	00	フィンランド	990
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	フランス	00
コロンビア	009	ベルギー	00
シンガポール	001	香港	001
スイス	00	マレーシア	00
スウェーデン	00	ルクセンブルグ	00
スペイン	00		

- 一部ご利用になれない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、表に記載のある国のみご利用可能です。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります。(お客様の負担となります)ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。ネットワークを手動で切り替えている場合は、P.384「ネットワーク接続モード選択」でFOMAネットワークに設定し直してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

電話帳を利用して日本に国際電話をかける

滞在先から日本の一般電話、携帯電話に電話をかける場合、相手が電話帳に登録されていれば、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- 電話帳に登録されている電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。また、あらかじめ「国際ダイヤル設定」(⇒P.61)の「自動付加設定」を「自動付加」および「日本(81)」に設定しておく必要があります。(お買い上げ時の設定)

1 電話帳詳細画面
▶[発信キー]または[●](発信)

- [テレビ電話キー]を押すと国際テレビ電話発信します。

2 発信

電話番号の先頭の「0」を「+81」に置き換えて発信します。

- 「元の番号で発信」を選択した場合は、電話帳に登録されている電話番号のまま発信します。

お知らせ

- 電話帳を使ってかけた場合のリダイヤルや発信履歴などからも、同様の操作で国際電話をかけることができます。

「+」を利用して国際電話をかける

発信時に[0]を1秒以上押すと「+」が入力できます。「+」を利用すれば、滞在先から日本など滞在国以外に国際電話をかけることができます。

1 [0](1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶[発信キー]または[●](発信)

- 日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- [テレビ電話キー]を押すと国際テレビ電話発信します。

国際電話発信

あらかじめ、国際電話設定(⇒P.62)で国際電話アクセス番号を、および国番号設定(⇒P.62)で国番号を登録している場合、滞在先の国際電話アクセス番号を利用して、滞在先から日本など滞在国以外に国際電話をかけることができます。なお、下記の手順は、海外でのみ有効です。

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 [メニューキー](機能)▶国際電話発信▶国際電話アクセス番号の名称を選択▶電話をかけたい国の国名称を選択▶[発信キー]または[●](発信)

- [テレビ電話キー]を押すと国際テレビ電話発信します。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるように、相手の電話番号を入力して音声電話やテレビ電話をかけます。⇒P.51

- 電話帳を利用して滞在国内に電話をかける場合は、P.383「滞在国外(日本を含む)に電話をかける」手順2で「元の番号で発信」を選択してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

日本国内での操作と同じ操作で海外でも音声電話やテレビ電話を受けることができます。⇒P.65

日本から電話をかけてもらうときは

日本国内で通常と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらうだけで、海外で日本からかかってきた電話を受けることができます。

「090－XXXX－XXXX」を入力して電話をかける

または

「080－XXXX－XXXX」を入力して電話をかける

日本以外の国から電話をかけてもらうときは

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話と同じように「発信国の国際電話アクセス番号」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

「発信国の国際電話アクセス番号－81－90－XXXX－XXXX」を入力して電話をかける

または

「発信国の国際電話アクセス番号－81－80－XXXX－XXXX」を入力して電話をかける

お知らせ

- 国･地域により、着信の場合であっても国際転送料を含んだ着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知してきて電話をかけてきた場合でも、海外の通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外でのご利用時には、「非通知着信設定」、「登録外着信拒否」、「電話帳指定設定(指定発信制限は除く)」が動作しない可能性があります。また、「着信動作選択」の設定に関わらず、「通常着信」として動作する可能性があります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本から国際転送されます。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料を含んだ着信料がかかります。

<ネットワーク接続モード選択>

通信事業者の検索方法を設定する

お買い上げ時	オート

利用中のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直すかどうかを設定します。

1 **メニュー▶設定▶ネットワーク設定▶ネットワーク接続モード選択▶項目を選択**

オート

…自動的に他の通信事業者に接続し直す。設定が終了。

マニュアル

…通信事業者の一覧を表示。利用できない通信事業者には「×」を表示。

ネットワーク再検索

…「オート」設定時は、自動的に接続先が切り替わる。設定が終了。
「マニュアル」設定時は、通信事業者の一覧を表示。

2 **通信事業者を選択**

- ✉(更新)を押すと再度通信事業者の一覧を表示します。

お知らせ

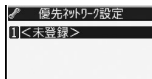
- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。
- 「マニュアル」に設定しているときに圏外になった場合は「」が表示されます。
- 「マニュアル」に設定しているときにFOMA端末の電源を入れ直した場合は、「ネットワーク再検索」を行い、再度通信事業者を選択してください。

<優先ネットワーク設定>
優先的に接続する通信事業者を設定する

「ネットワーク接続モード選択」を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の優先順位を設定します。通信事業者は20件まで登録できます。

1 メニュー▶設定▶**ネットワーク設定**▶**優先ネットワーク設定**

優先ネットﾜｰｸ設定
1<未登録>

● 登録済みの通信事業者を選択すると、登録内容を確認できます。

2 iα(機能)▶**リストから登録**

● 国名で通信事業者を検索する場合は、✉(検索)を押して国名を選択します。国選択リストで再度✉(検索)を押し、国名を入力して検索することもできます。

3 **通信事業者を選択**▶●(確定)▶✉(完了)▶**YES**

優先ネットワーク設定表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
マニュアル登録	国番号とオペレータ番号を入力して通信事業者を登録します。リストにない通信事業者も登録できます。 ▶**国番号(3桁)とオペレータ番号(2～3桁)を入力** ▶✉(完了)▶YES
リストから登録	リストから通信事業者を登録します。 ⇒P.385「優先的に接続する通信事業者を設定する」
在圏ネットワーク登録	現在接続している通信事業者を登録します。 ▶✉(完了)▶YES
優先順位変更	▶**変更後の優先順位を選択** ▶✉(完了)▶YES
1件削除	▶YES▶✉(完了)▶YES
全削除	▶YES▶✉(完了)▶YES

お知らせ
● 本機能の設定に関わらず、「DoCoMo」のネットワークが利用可能な場合は、優先的に接続されます。
● 本機能の設定はFOMAカードに記憶されます。
● FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。

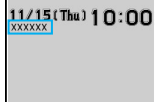
<ネットワーク名表示設定>
通信事業者を待受画面に表示する

お買い上げ時	表示なし

現在接続している通信事業者を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1
メニュー▶設定▶ネットワーク設定
▶ネットワーク名表示設定
▶表示あり・表示なし

「表示あり」に設定すると
待受画面の時計表示の下に通信事業者名が表示されます。

11/15(Thu) 10:00
XXXXXX

<ローミング設定>
ローミング中の動作について設定する

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときの動作を設定します。

ローミングガイダンス設定

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- ローミングガイダンスを設定した場合でも、海外通信事業者により、外国語のガイダンスが流れる場合があります。
- ガイダンス設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。

1 **メニュー▶サービス▶ローミング設定**
▶ローミングガイダンス設定
▶以下の操作を行う

項目	操作･補足
開始	▶YES
停止	▶YES
確認	「ローミングガイダンス設定」の設定内容を確認します。

ローミング時着信規制

国際ローミング中に着信を受け付けないように設定します。

● 一部の海外通信事業者では、ご利用いただけません。

1 ▶**ローミング設定**
▶**ローミング時着信規制**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
開始	▶項目を選択 **全着信規制** …音声電話やテレビ電話を含め、すべての着信を受け付けません。 **デジタル通信着信規制** …テレビ電話の着信のみを受け付けません。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ◆ネットワーク暗証番号について⇒P.126
停止	▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ◆ネットワーク暗証番号について⇒P.126
確認	「ローミング時着信規制」の設定内容を確認します。

<海外用サービス>

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの機能を利用します。あらかじめ「遠隔操作設定」を開始に設定しておく必要があります。

● 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。

1 メニュー▶サービス▶**海外用サービス**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
留守番電話（海外）	海外から留守番電話サービスを操作します。 ▶項目を選択 **留守番サービス開始**…… サービスを開始する。 **留守番サービス停止**…… サービスを停止する。 **留守番メッセージ再生**… メッセージを再生する。 **留守番サービス設定**…… サービスの設定を変更する。
転送でんわ（海外）	海外から転送でんわサービスを操作します。 ▶項目を選択 **転送サービス開始**……… サービスを開始する。 **転送サービス停止**……… サービスを停止する。
ローミングガイダンス（海外）	海外からローミングガイダンス設定を操作します。
遠隔操作設定（海外）	海外から遠隔操作設定を操作します。
番号通知お願いサービス	海外から番号通知お願いサービスを操作します。

2 **YES▶音声ガイダンスの指示に従って操作する**

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

機能一覧表

の項目はP.344「設定リセット」、※1の項目はP.235「メール設定リセット」、※2の項目はP.182「ｉモード設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
P.345「端末初期化」を行うと、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。

- 端末初期化を行うと、ダウンロード辞書はお買い上げ時に登録されているものも含めてすべて削除されます。
- 端末初期化を行っても、削除したプリインストールｉアプリは元に戻りません。

表の左端に記載している番号はメニュー番号です。

メール メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	受信BOX	メールなし（FOMAカード内は除く）	218
		ユーザ作成フォルダ：なし	
		ｉアプリメール用フォルダ：なし	
	送信BOX	メールなし（FOMAカード内は除く）	219
		ユーザ作成フォルダ：なし	
		ｉアプリメール用フォルダ：なし	
	保存BOX	メールなし（FOMAカード内は除く）	219
	新規メール作成	－	199
	チャットメール	チャットメンバー：未登録（「自分」は除く）	236
	ｉモード問い合わせ	－	214
	テンプレート	プリインストールデータのみ	206
	SMS作成	－	241
	SMS問い合わせ	－	243
	メール選択受信	－	214
	メール設定※1	スクロール設定：1行スクロール	234
		文字サイズ設定：拡大表示	234
		メール一覧表示設定：2行表示（本文あり）	234
		本文表示設定：通常表示	234
		開封時メロディ再生設定：自動再生する	234

メール メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	メール設定※1	冒頭文／署名設定 ［冒頭文］：未入力（自動貼付する） ［署名］：未入力（自動貼付する） ［引用符］：〉	236
		メールセキュリティ設定：すべてチェックなし	138
		受信表示設定：通知優先	234
		メール選択受信設定：OFF	214
		添付ファイル設定：すべて有効	234
		えチャット表示設定：自動表示する	234
		キラリメール設定：すべてチェックあり	213
		チャット設定 ［お知らせ音設定］：チャットお知らせ音1 ［チャットメール画像設定］：有効 ［ユーザ詳細設定］：自分（ユーザ名） ぞうさん（画像）	239
		SMS送達通知設定：要求しない	244
		SMS有効期間設定：3日	244
		SMS本文入力設定：日本語入力（70文字）	244
		シークレットメール表示設定：表示する	138
		カラーラベル自動設定：未登録	235

ｉモード メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	ｉMenu	－	168
	Bookmark	未登録	175
		ユーザ作成フォルダ：なし	
	画面メモ	未登録	177
		ユーザ作成フォルダ：なし	
	Internet	URL入力履歴：履歴なし	174
	ラストURL※2	ｉMenu	172
	メッセージR/F	メッセージなし	184
	ｉチャネル	－	193

iモード メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	ｉモード問い合わせ	−	214
	ユーザ証明書操作	−	188
	ｉモード設定※2	スクロール設定：1行スクロール	182
		文字サイズ設定：拡大表示	182
		画像表示設定：表示する	182
		ｉモーション設定 ［自動再生設定］：自動再生する	191
		メッセージ自動表示設定：メッセージR優先	184
		開封時メロディ再生設定：自動再生する	
		端末情報データ利用設定：利用する	182
		ホームURL設定 ［設定］：無効 ［ホームURL］：http://	175
		効果音設定：効果音ON	182

iアプリ メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	ソフト一覧（本体）	プリインストールｉアプリのみ	249
	ｉアプリ（microSD）	−	260
	自動起動設定	許可しない	258
	ｉアプリ実行情報	情報／履歴なし	258

設定 メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	着信		
50	着信音量	レベル4	68
13	着信音選択	電話：　着信音1	102
		テレビ電話：　着信音1	
		メール：　着信音2	
		チャットメール：着信音2	
		メッセージR：　着信音3	
		メッセージF：　着信音3	
54	バイブレータ	OFF	104
20	マナーモード選択	マナーモード	109
		オリジナルマナー設定時 ［伝言メモ］：OFF ［バイブレータ］：ON ［電話着信音量］：消去 ［メール着信音量］：消去 ［アラーム音量］：消去 ［メモ確認音］：ON ［ボタン確認音］：OFF ［通話中マイク感度］：アップ ［低電圧アラーム］：OFF	
	電話帳画像着信設定	ON	112
58	着信アンサー設定	エニーキーアンサー	67
18	クローズ動作設定	終話	67
68	メール／メッセージ鳴動	ON	107
		鳴動時間：5秒	
90	呼出時間表示設定	呼出動作開始時間：OFF	141
		開始時間：1秒（ON設定時）	
		時間内不在着信表示：表示する	
65	確認機能設定	電子音	120
	オープン設定	着信継続	67
	パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	81

▶▶次ページにつづく

	メニュー		
	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	ディスプレイ		
56	画面表示設定	待受画面：モザイクタイル	110
		ウェイクアップ表示：ウェイクアップ	
		電話発信：モザイクタイル	
		電話着信：モザイクタイル	
		テレビ電話発信：モザイクタイル	
		テレビ電話着信：モザイクタイル	
		メール送信：モザイクタイル	
		メール受信：モザイクタイル	
		問い合わせ：モザイクタイル	
		省電力：ON	
70	照明設定	通常時： ON＋省電（バックライト：ON） （省電力モード：ON） （待ち時間　：5分）	114
		充電時：標準	
		範囲：液晶＋ボタン	
		明るさ：レベル2	
86	配色パターン	セピア	115
93	プライベートウィンドウ	ON	113
		省電力モード：ON	
		着信表示：ON	
		メール表示：OFF	
		通信中表示：ON＋☼OFF	
	テロップ設定	テロップ表示設定：ON	194
		テロップ速度設定：標準	
66	フォント設定	フォント1	123
63	デスクトップ	使いかたナビ	121
15	バイリンガル	Japanese	124

	メニュー		
	機能名称	お買い上げ時	参照頁
52	プライベートメニュー設定	自局番号表示 着信音量 発信者番号通知 電卓 アラーム SDオーディオ バイブレータ スケジュール	335
		背景イメージ変更：スタンダード	335
57	メニュー画面設定	メニュー表示：一覧表示	115
		メニューアイコン設定：モザイクタイル	
	ピクチャ表示設定	ピクチャ一覧	271
	オープン新着表示	OFF	114
47	オート表示	OFF	114
36	表示アイコン説明	－	28
	イルミネーション設定		
	イルミネーション一括設定	スタンダード	118
89	着信イルミネーション	着信イルミネーション選択：オート	118
		パターン設定：固定パターン	
		カラー設定：初期状態	
	通話中イルミネーション	OFF	118
	不在未読イルミネーション	ON	118
	クローズイルミネーション	スカイ	118
	時報イルミネーション	OFF	118
	ミュージックイルミネーション	OFF	118
	サイドボタンイルミネーション	波	118
	ロック／セキュリティ		
	オールロック	解除	129

メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	PIMロック	解除	131
	セルフモード	解除	130
	ダイヤル発信制限	解除	136
	登録外着信拒否	許可	141
10	非通知着信設定	すべて許可／通常着信音と同じ	140
29	端末暗証番号変更	0000	127
	PIN設定	–	128
40	シークレットモード	解除	137
41	シークレット専用モード	解除	137
	フェイスリーダー設定	登録:未登録	132
		フェイスリーダーセキュリティ:標準	
		フェイスリーダー暗証番号変更:0000	
	スキャン機能	自動更新設定:有効	432
		スキャン機能設定:ON	
	PIMロック設定	閉じタイマーロック設定:OFF	134
		経過時間:5分(ON設定時)	
		開きロック解除設定:OFF	
		セキュリティモード:端末暗証番号	
	時間／料金		
61	通話時間／料金	前回通話時間･積算通話時間:0秒	338
		前回通話料金:￥＊＊	
		時間リセット日時･料金リセット日時:--/-- --:--	
60	積算リセット	–	339
48	通話中時間表示	ON	338
	通話料金通知	OFF	339
		上限料金:0円(ON設定時)	
		通知方法:アイコン(ON設定時)	
		自動リセット設定:OFF(ON設定時)	
	上限値アイコン消去	–	339
	時計		
31	時計設定	自動	47
39	時計表示設定	表示方法:英語	124
		表示サイズ:大きく表示	124

メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	自動電源ON／OFF設定	自動電源ON:OFF	325
		自動電源OFF:OFF	
	アラーム通知設定	通知優先	334
	通話		
76	ノイズキャンセラ	ON	63
75	通話品質アラーム	アラーム高音	106
77	再接続機能	アラーム高音	63
	保留音設定	応答保留音:応答保留音1	70
		通話中保留音:主よ人の望みの喜びよ	
	テレビ電話		
	画像品質設定	標準	79
	画像選択	応答保留選択:内蔵	79
		通話保留選択:内蔵	
		代替画像選択:キャラ電(Dimo)	
		伝言メモ選択:内蔵	
		伝言メモ準備選択:内蔵	
		動画メモ選択:内蔵	
	テレビ電話ハンズフリー設定	ON	78
	音声自動再発信	OFF	80
	遠隔監視設定	対局番号登録:未登録	82
		応答時間設定:5秒	
		設定:OFF	
	テレビ電話切替機能通知	–	80
	アプリケーション通信設定		
	接続待ち時間設定	60秒間	183
	iモード問い合わせ設定	すべてチェックあり	215
81	接続先選択	iモード	183
	SMS center設定	ドコモ	244
	証明書	すべて有効	187
	証明書センター接続設定	ドコモ	189
		ユーザ指定接続先:未登録	

▶▶次ページにつづく

設定 メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	iアプリ設定		
	ソフト情報表示設定	表示しない	249
	α照明設定	システム依存	260
	αバイブレータ	システム依存	260
	待受画面終了	−	259
	外部オプション		
51	イヤホン切替	イヤホン+スピーカ	107
94	オート着信	OFF	344
		呼出時間:6秒(ON設定時)	
	Feel＊Talk		
	通話後表示	ON	117
	履歴表示	ON	117
	イルミネーション	ON	117
	ネットワーク設定		
	プレフィックス設定	WORLD CALL (009130010)	62
	国際ダイヤル設定	自動付加設定:自動付加	61
		国際電話設定:WORLD CALL (009130010)	
		国番号設定:日本(81)	
	ネットワーク接続モード選択	オート	384
	優先ネットワーク設定	−	385
	ネットワーク名表示設定	表示なし	386
	その他		
30	ボタン確認音	ON	106
	充電確認音	ON	106
71	電池残量	−	44
	サイドボタン操作	閉じた時有効	137
35	文字入力方式	入力モード:すべてチェックあり	348
		優先入力方式:モード1(かな方式)	
		シークレット学習設定:学習する	351
	履歴表示設定	着信履歴:ON	137
		リダイヤル/発信履歴:ON	
84	ポーズダイヤル	未登録	59
	サブアドレス設定	ON	63

設定 メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	ボイス設定	ボイスダイヤル自動発信:OFF	99
		ボイスイヤホン発信:OFF	99
		発声者設定:男性向け	99
		音声読み上げ設定:OFF	322
		音声読み上げ音量:レベル4	323
		音声読み上げ出力先:スピーカ	323
		音声読み上げ有効設定:標準	323
	USBモード設定	通信モード	302
23	設定リセット	−	344
	端末初期化	−	345
	ソフトウェア更新	−	428

データBOX メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
46	マイピクチャ	プリインストールデータのみ	264
		ユーザ作成フォルダ:なし	
		ピクチャ貼付:あり	270
		貼付表示位置:中央に表示	267
		切り出し範囲:中央を表示	267
		ソート:新しい順	268
		ピクチャ一覧・タイトル名一覧:ピクチャ一覧	271
		表示サイズ設定:標準	271
		文字スタンプ [文字色]:16色、黒 [フォント]:ゴシック体 [文字サイズ]:通常サイズ	274
		自作アニメ:未登録	277

データBOX メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	i モーション	プリインストールデータのみ	277
		ユーザ作成フォルダ:なし	277
		音量調節:レベル4	278
		プログラム編集:未登録	279
		i モーション貼付(着信音):すべて解除	280
		i モーション貼付(待受画面):解除	280
		i モーション貼付(ウェイクアップ表示):解除	280
		ソート:新しい順	268
		一覧表示切替:タイトル+画像	282
		表示サイズ設定:等倍表示	282
16	メロディ	プリインストールデータのみ	290
		ユーザ作成フォルダ:なし	
		プログラム編集:未登録	291
		着信音設定:すべて解除	292
	キャラ電	プリインストールデータのみ	287
		代替画像設定:Dimo	76
		表示サイズ設定:画面サイズで表示	288
		カメラモード:フォトモード	289
		記録サイズ設定:QCIF(176×144)	289
		映像/音声選択:映像+音声	289
		記録品質設定:標準	289
	SDオーディオ	音量調節:レベル12	314
		再生モード変更:ノーマル	315
		音質モード変更:ノーマル	315
		サラウンド設定:OFF	315

LifeKit メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	バーコードリーダー	保存データ:なし	161
79	赤外線受信	−	309
	SD-PIM	−	296

LifeKit メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	カメラ	アウトカメラ	157
		画像サイズ設定 [フォト・連写モード]:CIF(352×288) [えチャット撮影]:QCIF(176×144)	157
		撮影間隔 [CIF(352×288)・待受(240×320)・QCIF(176×144)・Sub-QCIF(128×96)]:1.0秒	157
		撮影枚数 [CIF(352×288)]:4枚(固定) [待受(240×320)・QCIF(176×144)・Sub-QCIF(128×96)]:5枚	157
		動画容量設定:メール制限(小)	158
		動画保存設定:標準	158
		ホワイトバランス設定:オート	158
		画像チューニング:自動	158
		自動保存設定:OFF	158
		記録媒体設定:本体	158
		シャッター音選択:シャッター音1	158
		ファイル制限:なし	160
		表示サイズ設定:等倍表示	159
		撮影日付挿入設定:OFF	159
	使いかたナビ	−	36
	テキストリーダー	保存データ:なし	164
45	スケジュール	未登録	328
		1ヶ月表示・1週間表示:1ヶ月表示	330
		ユーザアイコン設定:未登録	331
44	アラーム	未登録	325
		OFF	
85	電卓	−	340
95	ToDo	未登録	333
42	フリーメモ	未登録	340
	メモの再生/消去	−	75

▶▶次ページにつづく

LifeKit メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	テレビ電話メモの再生／消去	－	75
55	伝言メモ	未登録	73
		OFF	
		応答メッセージ:標準(ON設定時)	
		呼出時間:8秒(ON設定時)	
43	待受中音声メモ※3	未登録	337
	通話中音声メモ※3	未登録	337
91	おしゃべり機能	未登録	105
	電話帳画像転送	する	310
	FOMAカード(UIM)操作	－	341
	電話帳お預かりサービス	電話帳通信履歴表示:履歴なし	100
		電話帳内画像送信設定:しない	

サービス メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
25	サービス問い合わせ	－	360
17	発信者番号通知	－	48
	留守番電話	件数増加鳴動設定:YES	361
	キャッチホン	－	363
	転送でんわ	－	365
	迷惑電話ストップ	－	366
	番号通知お願いサービス	－	367
	着信動作選択	通常着信	369
	通話中着信設定	－	370
	遠隔操作設定	－	370
	デュアルネットワーク	－	368
	英語ガイダンス	－	368
	海外用サービス	－	387
	ローミング設定	－	386
	追加サービス	未登録	372

サービス メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	追加サービス	応答メッセージ設定:未登録	372
	サービスダイヤル	－	369
	マルチナンバー	電話番号登録:未登録	370
		着信音設定:通常着信音と同じ	
	着もじ	メッセージ作成:未登録	57
		メッセージ表示設定:番号通知ありのみ	
		送信メッセージ詳細履歴:履歴なし	
		着もじ優先設定:OFF	

電話帳 メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
	電話帳登録	未登録(FOMAカード内は除く)	86
	電話帳検索	フリガナ検索	92
26	グループ設定	グループ名:グループ01～19(FOMAカード内は除く)	91
22	電話帳登録件数	－	94
62	電話帳便利機能	すべて解除	97
12	電話帳指定設定	すべて解除	139
	ボイスダイヤル登録	未登録	98

ユーザデータ メニュー

	機能名称	お買い上げ時	参照頁
0	自局番号表示	未登録(自局番号は除く)	336
82	ユーザ辞書	未登録	355
	ダウンロード辞書	プリインストールデータのみ	356
		辞書ファイル設定:すべて有効	
38	定型文	初期状態	353
97	メールメンバー	未登録	233
		メンバー名:メールメンバー1～20	
	チャットグループ	未登録	240
		グループ名:グループ1～5	
24	着信履歴	履歴なし	55
		受信アドレス一覧:履歴なし	230

メニュー

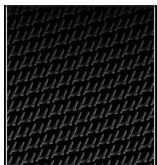
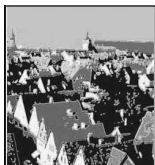
機能名称	お買い上げ時	参照頁
発信履歴	履歴なし	55
	送信アドレス一覧：履歴なし	229

その他 メニュー

機能名称	お買い上げ時	参照頁
テレビ電話	明るさ調節：0	78
	ホワイトバランス：オート	78
	照明設定：常時点灯	78
えチャット	画像サイズ設定：QCIF（176×144）	157
受話音量	レベル4	68
マナーモード	解除	108
公共モード（ドライブモード）	解除	70
リダイヤル	履歴なし	55
文字入力	2タッチ／ニコタッチガイダンス：ON	352
	候補自動表示：3行	352
	関係候補表示：ON	352
	文字確定時間：OFF	352
	学習履歴：未登録	355

※3 通話中は「通話中音声メモ」、通話中以外は「待受中音声メモ」が表示されます。

お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面・ウェイクアップ画面

ロゴ

街

シルエット

リボン

石畳

アクア

チューリップ

※1、2、3

ドット

※1、2、3

ストライプ

※1、2、4

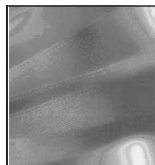
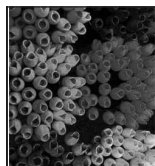
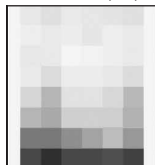
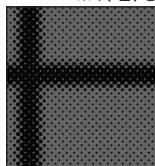
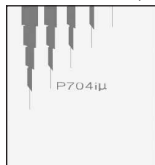
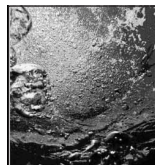
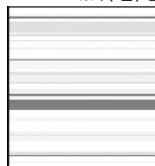
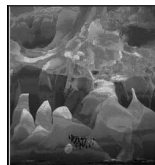
モザイクタイル

※1、2

ウェイクアップ

氷の世界

ペンギン

運河

※1 Flash画像
※2 背景色や模様が変化します。
※3 電源ON時やディスプレイを開いたときなどに画面が変化します。
※4 背景色が時間帯によって変化します。

フレーム

たんぽぽ　ひまわり　焼きイモ　温泉　フラワー　デニム
サイバー　おさかな　メタル　ハート　キラキラ　トロピカル
星　WANTED　反省･･･　マイク　雑誌　舞妓
ニュース　スクープ！

スタンプ

Happy Birthday!　Happy!　ありえない。　やられた。　ガーン　メラメラ
よろぴく　ハート1　ハート2　ハート3　グラスフラワー　キラキラ
さくらんぼ　クローバー　マル秘　ツッコミ　ビアジョッキ　涙
イヌ　フラワー　マジック ネコ耳　マジック ネコひげ　マジック ティアラ　マジック キラキラ
マジック ハイビスカス　マジック カウボーイハット　マジック 殿　マジック 工事中！　マジック 仮面　マジック マダム
マジック 燃える目　マジック キラキラ目　マジック バラ　マジック 号泣　マジック 10トン　マジック ほっぺ
マジック 鼻息　マジック 頭噴火　マジック 怒り　マジック 居眠り

お知らせ

- マジックスタンプで選択できるスタンプは「マジック ネコ耳」から「マジック 居眠り」までです。

デコメールピクチャ

ペンギン ハロー　ペンギン ショック　ペンギン 好き　ペンギン 怒り　ペンギン 疲れた　いただきます
ごちそうさま　やあ！　いま起きた　眠い･･　Oh!　OK
NG　YES　NO　ハート　コーヒーカップ　えんぴつ
スマイル　チュッ　怒り　ガーン　キラキラ　乾杯

風　音符　マイク　あっぱれ　日本一　あたり～

大丈夫かぁ！？※1　ごめんなさい※1　それではカンパイ※1　すきです※1　もうすぐかえる！※1　ひよこうれしい

ひよこショック　ひよこさみしい　くま怒る　くま泣く　カップ悩む　Hello

Good-Bye　おつかれ！　Thank you!　おめでとう　ヒマ？　遅れる～

ダッシュ　ラーメン　ライン犬　うぉ～！　ショック　お腹すいた～

疲れた　ヤバイ…　カンパーイ　寒い　暑い　ごめーん！

ひつじすき　女の子きらい　女の子さみしい　おやすみ　忙しい！　発熱

ファイト！　眠い　晴れ　曇り　雨　サッカー

野球

ごめんなさい※2

クラッカー※2

ん？？※2

おやすみ※2

雨のおでかけ※2

急ぐ※2　列車※2

※1 © I-FREEK CO.,INC.
※2 © Disney

動く文字スタンプ

マップ

空港

マスゲーム

RPG風

メール

サイバー

黒板

お茶はいかが※1

ひまわり※1

若草※1

うごくIDドッグ※2

うごくIDペンギン※2

リング※1

LOVELY※1

PIGEON※1

メガホン

看板クマ

ごめんね…

ペンギン

フキダシ犬

※1 © CHIE TANAKA
※2 © motion-id

テンプレート

おはよう！※

がんばれ～！※

OK※

NG※

I LOVE YOU.※

旅行に行ってきます！※

出掛けよう！！※

おつかれ～※

ありがとう※

おやすみなさい※

うれしい！！※

乾杯！！※

またね※

おめでとう※

大丈夫！？※

びっくり！※

こんにちは※

ごめん･･･。

飲みに行こう！

ノート

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

ボタン＼表示	漢	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	m n o M N O 6	6
7	まみむめも	マミムメモ	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	w x y z W X Y Z 9	9
0	わをんゎー □（スペース）	ワヲンヮ※1ー □（スペース）	0 □（スペース）	0
＊	゛ ゜※3	゛ ゜	. - @ _ / : ~ ※2 ￣ ※1 .ne.jp .co.jp .or.jp .com http://www. https://www. @docomo.ne.jp ※2	＊. - @ _ / : ~ ※2 ￣ ※1
＃	、。・！？	、。・！？	, ！？￥＆（）＊ ＃ " ' ＝ ^ ＋ ;	＃, ！？￥＆（） " ' ＝ ^ ＋ ;

※1：全角での文字入力時に表示されます。
※2：半角での文字入力時に表示されます。
※3：文字に続けて入力時に表示されます。文字を確定後に［＊］を押すと絵文字が表示されます。
●文字を入力後、［カメラ］を押すと押すごとに逆順に文字が変わります。
●ひらがな、カタカナ、英字を入力後、［☎］を押すと大文字／小文字が切り替わります。
●数字入力モードで［0］を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

漢字ひらがな入力モード

<大文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	#		♥	■
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

<小文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ゃ		ゅ		ょ					■
9										
0	ゎ			、	。					

カタカナ入力モード

<大文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	■
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

<小文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ｬ		ｭ		ｮ					■
9										
0	ヮ※1			,	.					

英字入力モード

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	"	$	%	'	+	a	b	c	d	e
2	,	.	:	;	<	f	g	h	i	j
3	=	>	@	[	]	k	l	m	n	o
4	^	_	‘※1 `※2	{	|	p	q	r	s	t
5	}	￣※1 ~※2				u	v	w	x	y
6						z	?	!	-	/
7						¥	&			
8		(		)		*	#			
9						1	2	3	4	5
0						6	7	8	9	0

■ ：大文字入力モード／小文字入力モードの切り替え

※1：全角での文字入力時に表示されます。

※2：半角での文字入力時に表示されます。

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- 漢字ひらがな、カタカナ入力モードの場合、文字の入力に続けて＊を押しても濁点・半濁点を入力できます。濁点は＊を1回、半濁点は＊を2回押します。
- 数字入力モードで0を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧(ニコタッチ方式)

漢字ひらがな入力モード

<大文字入力モード>

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ	い	う	え	お	.	ー	@	_	1
	2	か	き	く	け	こ		a	b	c	2
	3	さ	し	す	せ	そ		d	e	f	3
	4	た	ち	つ	て	と	っ	g	h	i	4
	5	な	に	ぬ	ね	の		j	k	l	5
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ		m	n	o	6
	7	ま	み	む	め	も	p	q	r	s	7
	8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	t	u	v	8
	9	ら	り	る	れ	ろ	w	x	y	z	9
	0	わ	を	ん	、	。	ー	・	!	?	0

<小文字入力モード>

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ					
	2	ヵ			ヶ			A	B	C	
	3							D	E	F	
	4			っ			つ	G	H	I	
	5							J	K	L	
	6							M	N	O	
	7						P	Q	R	S	
	8	ゃ	ゅ	ょ	や	ゆ	よ	T	U	V	
	9						W	X	Y	Z	
	0	ゎ									

カタカナ入力モード

<大文字入力モード>

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	.	-	@	_	1
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ		a	b	c	2
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ		d	e	f	3
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ｯ	g	h	i	4
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ		j	k	l	5
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ		m	n	o	6
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	p	q	r	s	7
	8	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ｬ	ｭ	ｮ	t	u	v	8
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	w	x	y	z	9
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	､	｡	-	･	!	?	0

<小文字入力モード>

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ					
	2							A	B	C	
	3							D	E	F	
	4			ｯ			ﾂ	G	H	I	
	5							J	K	L	
	6							M	N	O	
	7						P	Q	R	S	
	8	ｬ	ｭ	ｮ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	T	U	V	
	9						W	X	Y	Z	
	0										

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- [＊]を押すと濁点･半濁点を入力できます。濁点は[＊]を1回、半濁点は[＊]を2回押します。漢字ひらがな入力モードの場合、文字に続けて入力しないと入力できません。
- 数字入力モードで[0]を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

記号一覧表

「音声読み上げ設定」を「ON」に設定している場合は記号を音声で読み上げます。

記号	音声読み上げ
、	－
。	－
，	コンマ※1
．	ドット※1
・	テン
：	コロン
；	セミコロン
？	ギモンフ※1
！	カンタンフ※1
゛	ダクテン
゜	ハンダクテン
´	－
｀	－
¨	ウムラウト
＾	ヤマガタキゴウ※1
￣	オーバーライン
＿	アンダーライン
ヽ	－
ヾ	－
ゝ	－
ゞ	－
〃	－
仝	ドウ
々	－
〆	シメ
〇	ゼロ
ー	チョーオン※2
―	ダッシュ
‐	ハイフン

記号	音声読み上げ
／	スラッシュ
＼	バックスラッシュ
～	カラ※3
‖	－
｜	タテセン※1
…	テンテンテン
‥	テンテン
‘	－
’	アポストロフィ※1
“	－
”	インヨウフ※1
（	カッコ
）	トジカッコ
〔	カッコ
〕	トジカッコ
［	カッコ
］	トジカッコ
｛	カッコ
｝	トジカッコ
〈	カッコ
〉	トジカッコ
《	カッコ
》	トジカッコ
「	カギカッコ
」	トジカギカッコ
『	カギカッコ
』	トジカギカッコ
【	カッコ
】	トジカッコ

記号	音声読み上げ
＋	プラス
－	マイナス※4
±	プラスマイナス
×	カケル
÷	ワル
＝	イコール
≠	ノットイコール
＜	ショーナリ
＞	ダイナリ
≦	ショーナリイコール
≧	ダイナリイコール
∞	ムゲンダイ
∴	ユエニ
♂	オス
♀	メス
°	ド
′	フン
″	ビョー
℃	ドシー
￥	エン
＄	ドル
￠	セント
￡	ポンド
％	パーセント
＃	イゲタ
＆	アンド
＊	アスタリスク
＠	アットマーク
§	セクション
☆	ホシ
★	クロホシ
○	マル
●	クロマル
◎	ニジューマル
◇	ヒシガタ

記号	音声読み上げ
◆	クロヒシガタ
□	シカク
■	クロシカク
△	サンカク
▲	クロサンカク
▽	ギャクサンカク
▼	クロギャクサンカク
※	コメジルシ
〒	ユービンバンゴー
→	ミギヤジルシ
←	ヒダリヤジルシ
↑	ウエヤジルシ
↓	シタヤジルシ
〓	ゲタキゴー
∈	ゾクスル
∋	フクム
⊆	ブブンシューゴー
⊇	ブブンシューゴーフクム
⊂	シンブブンシューゴー
⊃	シンブブンシューゴーフクム
∪	ガッペー
∩	キョーツー
∧	オヨビ
∨	マタワ
￢	ヒテー
⇒	ナラバ
⇔	ドーチ
∀	スベテノ
∃	アル
∠	カク
⊥	スイチョク
⌒	コ
∂	ラウンドディー
∇	ナブラ
≡	ゴードー

記号	音声読み上げ
≒	ニアリーイコール
≪	ショーナリショーナリ
≫	ダイナリダイナリ
√	ルート
∽	ソージ
∝	ヒレー
∵	ナゼナラバ
∫	インテグラル
∬	ダブルインテグラル
Å	オングストローム
‰	パーミル
♯	シャープ
♭	フラット
♪	オンプ
†	ダガー
‡	ダブルダガー
¶	ダンラクキゴー
◯	マル
ゐ	イ
ゑ	エ
ヰ	イ
ヱ	エ
ヴ	ヴ
ヵ	カ
ヶ	ケ
Α	アルファ
Β	ベータ
Γ	ガンマ
Δ	デルタ
Ε	イプシロン
Ζ	ゼータ
Η	イータ
Θ	シータ
Ι	イオタ
Κ	カッパ

記号	音声読み上げ
Λ	ラムダ
Μ	ミュー
Ν	ニュー
Ξ	グザイ
Ο	オミクロン
Π	パイ
Ρ	ロー
Σ	シグマ
Τ	タウ
Υ	ユプシロン
Φ	ファイ
Χ	カイ
Ψ	プサイ
Ω	オメガ
α	アルファ
β	ベータ
γ	ガンマ
δ	デルタ
ε	イプシロン
ζ	ゼータ
η	イータ
θ	シータ
ι	イオタ
κ	カッパ
λ	ラムダ
μ	ミュー
ν	ニュー
ξ	グザイ
ο	オミクロン
π	パイ
ρ	ロー
σ	シグマ
τ	タウ
υ	ユプシロン
φ	ファイ

記号	音声読み上げ
χ	カイ
ψ	プサイ
ω	オメガ
А	アー
Б	ベー
В	ヴェー
Г	ゲー
Д	デー
Е	イェー
Ё	ヨー
Ж	ジェー
З	ゼー
И	イー
Й	イークラトコエ
К	カー
Л	エリ
М	エム
Н	エヌ
О	オー
П	ペー
Р	エル
С	エス
Т	テー
У	ウー
Ф	エフ
Х	ハー
Ц	ツェー
Ч	チェー
Ш	シャー
Щ	シチャー
Ъ	ツボルディーズナーク
Ы	ウイ
Ь	ミャーフィーズナーク
Э	エー
Ю	ユー

記号	音声読み上げ
Я	ヤー
а	アー
б	ベー
в	ヴェー
г	ゲー
д	デー
е	イェー
ё	ヨー
ж	ジェー
з	ゼー
и	イー
й	イークラトコエ
к	カー
л	エリ
м	エム
н	エヌ
о	オー
п	ペー
р	エル
с	エス
т	テー
у	ウー
ф	エフ
х	ハー
ц	ツェー
ч	チェー
ш	シャー
щ	シチャー
ъ	ツボルディーズナーク
ы	ウイ
ь	ミャーフィーズナーク
э	エー
ю	ユー
я	ヤー
―	−

▶▶次ページにつづく

記号	音声読み上げ
│	－
┌	－
┐	－
┘	－
└	－
├	－
┬	－
┤	－
┴	－
┼	－
━	－
┃	－
┏	－
┓	－
┛	－
┗	－
┣	－
┳	－
┫	－
┻	－
╋	－
┠	－
┯	－
┨	－
┷	－
┿	－
┝	－
┰	－
┥	－
┸	－
╂	－
①	マルイチ
②	マルニ
③	マルサン
④	マルヨン

記号	音声読み上げ
⑤	マルゴ
⑥	マルロク
⑦	マルナナ
⑧	マルハチ
⑨	マルキュー
⑩	マルジュー
⑪	マルジューイチ
⑫	マルジューニ
⑬	マルジューサン
⑭	マルジューヨン
⑮	マルジューゴ
⑯	マルジューロク
⑰	マルジューナナ
⑱	マルジューハチ
⑲	マルジューキュー
⑳	マルニジュー
Ⅰ	イチ
Ⅱ	ニ
Ⅲ	サン
Ⅳ	ヨン
Ⅴ	ゴ
Ⅵ	ロク
Ⅶ	ナナ
Ⅷ	ハチ
Ⅸ	キュー
Ⅹ	ジュー
㍉	ミリ
㌔	キロ
㌢	センチ
㍍	メートル
㌘	グラム
㌧	トン
㌃	アール
㌶	ヘクタール
㍑	リットル

記号	音声読み上げ
㍗	ワット
㌍	カロリー
㌦	ドル
㌣	セント
㌫	パーセント
㍊	ミリバール
㌻	ページ
㎜	ミリメートル
㎝	センチメートル
㎞	キロメートル
㎎	ミリグラム
㎏	キログラム
㏄	シーシー
㎡	ヘーホーメートル
㍻	ヘーセー
〝	－
〟	－
№	ナンバー
㏍	ケーケー
℡	デンワ
㊤	マルウエ
㊥	マルナカ

記号	音声読み上げ
㊦	マルシタ
㊧	マルヒダリ
㊨	マルミギ
㈱	カッコカブ
㈲	カッコユー
㈹	カッコダイ
㍾	メージ
㍽	タイショー
㍼	ショーワ
≒	ニアリーイコール
≡	ゴードー
∫	インテグラル
∮	ファイ
∑	シグマ
√	ルート
⊥	スイチョク
∠	カク
∟	チョッカク
⊿	サンカッケー
∵	ナゼナラバ
∩	キョーツー
∪	ガッペー

※1 URL、メールアドレス以外の場合は読み上げません。
※2 ひらがな、カタカナ、漢字のあとにある場合は直前の文字の語尾をのばして読み上げます。
※3 ひらがな、カタカナのあとにある場合は直前の文字の語尾をのばして読み上げます。
※4 URL、メールアドレスの場合は「ハイフン」と読み上げます。

お知らせ

- 「①」～「∪」の特殊記号は、i モード対応端末以外の携帯電話やパソコンに送信した場合、正しく表示されないことがあります。また、　の特殊記号は、SMSの本文には入力できず、半角スペースに置き換えて入力されます。

記号入力変換表

文字入力(編集)画面で「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示されます。次のような文字を入力して変換しても記号を入力できます。

入力	変換
おなじ	〃 々
から	〜
かんま	，
こんま	，
たてせん	‖ ｜
てんてん	… ‥
りーだ	…
しめ	〆
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】
たす	＋
ひく	−
ぷらすまいなす	±
かける	×
わる	÷
いこーる	＝
ふとうごう	＜＞≦≧
しょうなり	＜
だいなり	＞
しょうなりいこーる	≦
だいなりいこーる	≧
むげんだい	∞
おす	♂
めす	♀
ならば	⇒
どうち	⇔
にありいこーる	≒
ちいさい	≪
おおきい	≫
るーと	√

入力	変換
ど	° ℃
ふん	′
びょう	″
どる	＄
せんと	￠
ぽんど	￡
せつ	§
ほし	＊☆★
あっと	＠
まる	。○●◎〇
しかく	◇◆□■
さんかく	△▲▽▼
こめ	※
ゆうびん	〒
やじるし	→←↑↓
うえ	↑
した	↓
みぎ	→
ひだり	←
あすたりすく	＊
おんぐすとろーむ	Å
しゃーぷ	＃
ふらっと	♭
おんぷ	♪
だがー	†
だぶるだがー	‡
だんらく	¶
おーむ	Ω
でんわ	℡

絵文字一覧表

「音声読み上げ設定」を「ON」に設定している場合は絵文字を音声で読み上げます。

絵文字	音声読み上げ
	ハートマーク
	ユレルハートマーク
	シツレンマーク
	フクスーハートマーク
	ワーイマーク
	プンプンマーク
	ガクーマーク
	モウヤダーマーク
	フラフラマーク
	ルンルンマーク
	オンセンマーク
	カワイイマーク
	チュッマーク
	ピカピカマーク
	ヒラメキマーク
	ムカッマーク
	パンチマーク
	バクダンマーク
	ムードマーク
	ネムイマーク
	ビックリマーク
	ビックリハテナマーク
	ニジュービックリマーク
	ドーンマーク
	アセアセマーク
	アセタラーッマーク
	ダッシュマーク
	ウーマーク
	ウーンマーク
	グッドマーク

絵文字	音声読み上げ
	バッドマーク
	ミギナナメウエヤジルシマーク
	ミギナナメシタヤジルシマーク
	ヒダリナナメウエヤジルシマーク
	ヒダリナナメシタヤジルシマーク
	ハレマーク
	クモリマーク
	アメマーク
	ユキマーク
	カミナリマーク
	タイフーマーク
	キリマーク
	コサメマーク
	オヒツジザマーク
	オウシザマーク
	フタゴザマーク
	カニザマーク
	シシザマーク
	オトメザマーク
	テンビンザマーク
	サソリザマーク
	イテザマーク
	ヤギザマーク
	ミズガメザマーク
	ウオザマーク
	スポーツマーク
	ヤキューマーク
	ゴルフマーク
	テニスマーク
	サッカーマーク

次ページにつづく

絵文字	音声読み上げ
	スキーマーク
	バスケットマーク
	モータースポーツマーク
	ページャマーク
	デンシャマーク
	チカテツマーク
	シンカンセンマーク
	セダンマーク
	アールブイマーク
	バスマーク
	フネマーク
	ヒコーキマーク
	イエマーク
	ビルマーク
	ユービンキョクマーク
	ビョーインマーク
	ギンコーマーク
	エーティーエムマーク
	ホテルマーク
	コンビニマーク
	ガソリンスタンドマーク
	チューシャジョーマーク
	シンゴーマーク
	トイレマーク
	レストランマーク
	キッサテンマーク
	バーマーク
	ビールマーク
	ファーストフードマーク
	ブティックマーク
	ビヨーインマーク
	カラオケマーク
	エーガマーク
	ユーエンチマーク
	オンガクマーク
	アートマーク

絵文字	音声読み上げ
	エンゲキマーク
	イベントマーク
	チケットマーク
	キツエンマーク
	キンエンマーク
	カメラマーク
	カバンマーク
	ホンマーク
	リボンマーク
	プレゼントマーク
	バースデーマーク
	デンワマーク
	ケータイデンワマーク
	メモマーク
	テレビマーク
	ゲームマーク
	シーディーマーク
	ハートマーク
	スペードマーク
	ダイヤマーク
	クラブマーク
	メマーク
	ミミマーク
	グーマーク
	チョキマーク
	パーマーク
	アシマーク
	クツマーク
	メガネマーク
	クルマイスマーク
	シンゲツマーク
	カケヅキマーク
	ハンゲツマーク
	ミカヅキマーク
	マンゲツマーク
	イヌマーク

絵文字	音声読み上げ
	ネコマーク
	リゾートマーク
	クリスマスマーク
	カチンコマーク
	フクロマーク
	ペンマーク
	ヒトカゲマーク
	イスマーク
	ヨルマーク
	スーンマーク
	オンマーク
	エンドマーク
	トケーマーク
	デンワヘマーク
	メールヘマーク
	ファックスヘマーク
	アイモードマーク
	アイモードマーク
	メールマーク
	ドコモテーキョーマーク
	ドコモポイントマーク
	ユーリョーマーク
	ムリョーマーク
	アイディーマーク
	パスワードマーク
	ツギアリマーク
	クリアマーク
	サーチマーク
	ニューマーク
	イチジョーホーマーク
	フリーダイヤルマーク
	シャープダイヤルマーク
	モバキューマーク
	シカクイチ
	シカクニ
	シカクサン

絵文字	音声読み上げ
	シカクヨン
	シカクゴ
	シカクロク
	シカクナナ
	シカクハチ
	シカクキュー
	シカクゼロ
	ケッテーマーク
	アイアプリマーク
	アイアプリマーク
	ティーシャツマーク
	ガマグチサイフマーク
	ケショーマーク
	ジーンズマーク
	スノボマーク
	チャペルマーク
	ドアマーク
	ドルブクロマーク
	パソコンマーク
	ラブレターマーク
	レンチマーク
	エンピツマーク
	オーカンマーク
	ユビワマーク
	スナドケーマーク
	ジテンシャマーク
	ユノミマーク
	ウデドケーマーク
	ムムマーク
	ホッマーク
	ヒヤアセマーク
	ヒヤアセマーク
	プクッマーク
	ボケーッマーク
	ラブラブマーク
	オーケーマーク

絵文字	音声読み上げ
	アッカンベーマーク
	ウィンクマーク
	ウレシイマーク
	ガマンマーク
	ネコマーク
	ナキマーク
	ナミダマーク
NG	エヌジーマーク
	クリップマーク
©	コピーライトマーク
TM	トレードマーク
	ハシルヒトマーク
	マルヒマーク
	リサイクルマーク
®	レジストレッドマーク
	キケンマーク
	キンシマーク
	クーシツマーク
	ゴーカクマーク
	マンシツマーク
↔	サユーマーク
↕	ジョーゲマーク
	ガッコーマーク
	ナミマーク
	フジサンマーク
	クローバーマーク
	サクランボマーク
	チューリップマーク
	バナナマーク
	リンゴマーク
	ワカバマーク
	モミジマーク
	サクラマーク
	オニギリマーク
	ショートケーキマーク
	トックリマーク

絵文字	音声読み上げ
	ドンブリマーク
	パンマーク
	カタツムリマーク
	ヒヨコマーク
	ペンギンマーク
	サカナマーク
	ウマイマーク
	ウッシッシマーク
	ウママーク
	ブタマーク
	ワイングラスマーク
	ゲッソリマーク

お知らせ

- 絵文字はすべて全角文字でカウントされます。
- 絵文字は、ｉモード対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。また、「」～「」の絵文字は対応していないｉモード対応携帯電話では正しく表示されません。
- キラリメール対応絵文字は、一覧画面に黄色の枠で表示されます。

付録／外部機器連携／困ったときには ▼ 定型文一覧表

定型文一覧表

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
「あいさつ」フォルダ		
1	おはようございます	ｵﾊﾖｳｺﾞｻﾞｲﾏｽ
2	こんにちは	ｺﾝﾆﾁﾊ
3	こんばんは	ｺﾝﾊﾞﾝﾊ
4	おやすみなさい	ｵﾔｽﾐﾅｻｲ
5	いってきます	ｲｯﾃｷﾏｽ
6	いってらっしゃい	ｲｯﾃﾗｯｼｬｲ
7	ただいま帰りました	ﾀﾀﾞｲﾏｶｴﾘﾏｼﾀ
8	おかえりなさい	ｵｶｴﾘﾅｻｲ
9	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
10	さようなら	ｻﾖｳﾅﾗ
「ビジネス」フォルダ		
1	よろしくお願いします	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｼﾏｽ
2	お世話になってます	ｵｾﾜﾆﾅｯﾃﾏｽ
3	よろしくお伝え下さい	ﾖﾛｼｸｵﾂﾀｴｸﾀﾞｻｲ
4	先日はありがとうございました	ｾﾝｼﾞﾂﾊｱﾘｶﾞﾄｳｺﾞｻﾞｲﾏｼﾀ
5	お疲れ様です	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
6	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
7	失礼します	ｼﾂﾚｲｼﾏｽ
8	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
9	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
10	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ

No.	漢字ひらがな表現
「インターネット」フォルダ	
1	@docomo.ne.jp
2	.ne.jp/
3	.co.jp/
4	.or.jp/
5	.ac.jp/
6	.com/
7	http://www.
8	https://www.
9	www.
10	.html
「顔文字1」フォルダ	
1	(*￣O￣)ノ
2	♪(￣▽￣)ノ″
3	(　´Д｀)ノ~~
4	<(＿　＿;)>
5	(￣人￣)
6	o(≧▽≦)o
7	(p_q)エ-ン
8	(　T_T)
9	Σ(￣◇￣*)エェッ
10	(*≧m≦*)ププッ
「顔文字2」フォルダ	
1	(」´0｀)」オーイ
2	ツンツン(。゜ー゜)σ
3	ヾ(・ε・。)オイオイ
4	(・0・)ゞ了解！
5	(;¬_¬) アヤシイ
6	ヾ(≧▽≦)〃ヤダヤダ
7	σ(￣▽￣　)
8	<(｀⌒´)>エヘン
9	┐(￣ー￣)┌ フッ
10	~~~~━(・∀・)━ ブーン

マルチアクセスの組み合わせについて

通信状態＼通信イベント	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		SMS		iアプリ	iアプリソフト動作中	パケット通信（データ通信）		64Kデータ通信	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信	送信	受信	発信	発信	送信	受信	送信	受信
音声電話	△※1	△※2	×	×※3	○	○	△※5	○	△※5	×	×	○	○	×	×※3
テレビ電話	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×	△※5	×	×	×	×	×	×※3
iモード	○	○	△※6	△※7	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
iモードメール	○	○	△※6	△※7	○	×	×	×	△※5※8	○	×	×	×	×	×
SMS	○	○	○	○	○	×	△※5※8	×	△※5	○	○	○	○	×	○
iアプリ※9	×	○	×	△※7	×	×	△※5	×	△※5	×	×	×	×	×	×
iアプリソフト動作中	○	○	△※6	△※7	×	○	△※5	○	△※5	×	×	×	×	×	×
パケット通信（データ通信）	○	○	×	×※4	×	×	×	○	○	×	×	×	×※3	×	×
64Kデータ通信	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×※3

○：起動できます。
△：条件により起動できます。
×：起動できません。現在の通信状態を継続します。（発生した通信は拒否されます。）
※1：「キャッチホン」を契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※2：最大音声回線数＋1の状態のとき、留守番電話、キャッチホン、転送でんわを起動できます。⇒P.361、P.363、P.365
※3：「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」を契約されている場合、通話／通信を終了したあと、着信に応答できます。⇒P.369
※4：不在着信として着信履歴に残ります。
※5：画面に「（グレー）」を表示して受信をお知らせします。
※6：iモード接続を切断し、発信します。
※7：「パケット通信中着信設定」に従って動作します。
※8：iモードメールとSMSは1回線ずつ同時使用が可能です。
※9：iアプリのバージョンアップ、iアプリをダウンロード中の場合です。

マルチタスクの組み合わせについて

同じグループの機能が競合したとき（表中の　　部分）は、起動中の機能を切り替える画面が表示されます。ただし、操作によっては表示されないこともあります。

発生した機能＼使用中の機能	音声電話	テレビ電話	メール	iモードグループ		設定グループ		ツールグループ				プライベートメニュー
				iモード	iアプリ	設定※2	サービス	データBOX	LifeKit※1	電話帳※5	ユーザデータ	
音声電話	×	×	○	○	×	○	○※3	×	○※4	○	○※6	○
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
メール	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモード	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ	○	○	○	×	×	○	○	○※7	○	○	○	○
設定	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
サービス	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
データBOX※8	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
メロディ※11	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
iモーション※11	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
SDオーディオ	○※11	○※11	○※12	○	×	○	○	×	×	×	×	○
LifeKit※1	○※9	○※9	○※10	○	○	○	○	×	×	×	×	○
電話帳	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
ユーザデータ	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○

○：同時に起動できます。　×：同時に起動できません。

※1　：「おしゃべり機能」、「赤外線受信」、「SD-PIM」、「FOMAカード（UIM）操作」はマルチタスクで起動できません。
※2　：機能によっては利用できません。
※3　：通話中に「発信者番号通知」は起動できません。
※4　：通話中に起動できるLifeKitは、「カメラ（静止画撮影のみ）」、「使いかたナビ」、「バーコードリーダー（保存データの表示のみ）」、「テキストリーダー（保存データの表示のみ）」、「スケジュール」、「ToDo」、「フリーメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」、「電話帳お預かりサービス（電話帳通信履歴表示、電話帳内画像送信設定）」の各機能だけです。
※5　：「電話帳指定設定」は起動できません。
※6　：通話中に起動できるユーザデータは、「自局番号表示」、「着信履歴」、「発信履歴」、「メールメンバー」、「チャットグループ」の各機能だけです。
※7　：iアプリとSDオーディオは同時に起動できません。
※8　：ピクチャビューア（microSDメモリーカード）、iモーションプレーヤー、メロディプレーヤー、キャラ電プレーヤー使用中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、再生、表示は終了します。iモーション編集中に機能を切り替えることはできません。
※9　：「伝言メモ」、「テレビ電話伝言メモ」、「音声メモ」、「動画メモ」の再生中、「待受中音声メモ」の録音中に着信があった場合は、再生／録音を停止します。「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの読み取り中に着信があった場合は、読み取り中のデータを破棄します。
※10：「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合は、「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの読み取り中にメールを受信すると、読み取り中のデータを破棄します。
※11：バックグラウンド再生はできません。
※12：「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合は、メールを受信すると、再生は中断します。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2007年6月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2007年6月現在）
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。
  （一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック　P10
・リアカバー　P21
・平型コネクタ·ステレオミニジャック変換アダプタ　P01
・FOMA ACアダプタ　01／02
・FOMA海外兼用ACアダプタ　01※1
・FOMA DCアダプタ　01／02
・FOMA補助充電アダプタ　01
・卓上ホルダ　P23
・キャリングケースL　01
・FOMA USB接続ケーブル
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
・骨伝導レシーバマイク　01
・平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/P02
・平型ステレオイヤホンセット　P01
・スイッチ付イヤホンマイク　P001/P002※2
・ステレオイヤホンセット　P001※2
・イヤホンジャック変換アダプタ　P001
・車載ハンズフリーキット　01※3
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01
・車内ホルダ　01※4
・FOMA室内用補助アンテナ
・FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）
・FOMA乾電池アダプタ　01

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※2 イヤホンジャック変換アダプタ　P001が必要です。
※3 FOMA P704iμをUSB接続／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01が必要です。
※4 FOMA端末の外部接続端子などが車内ホルダにあたる場合は、FOMA端末か車内ホルダの向きを変えて取り付けてください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTimePlayer（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

- ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

AV機器とのリンクについて

他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したASF形式の動画をFOMA端末で再生できる場合があります。FOMA端末で録画した動画を他の機器で再生できる場合もあります。対応AV機器とのリンクに関する情報はこちらをご覧ください。
http://panasonic.jp/mobile/

対応AV機器とのリンクに関するお問い合わせ先

パナソニック モバイルコミュニケーションズ　お客様ご相談センター

一般電話からは フリーダイヤル 0120-15-8729
携帯電話･PHSからは　045-938-4023
受付時間　午前9:00～午後5:00
（土･日･祝日･所定の休日は除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

● まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。
ソフトウェア更新について⇒P.428

症状	チェックする箇所	参照頁
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池が正しく取り付けられていますか。 ● 電池切れになっていませんか。 ● デュアルネットワークサービスでmovaが利用可能になっている場合、FOMAサービスは利用できません。FOMAが利用可能になっていますか。詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。	41 42 368
ダイヤルボタンを押しても発信できない	● ダイヤル発信制限を設定していませんか。 ● 指定発信制限を設定していませんか。 ● オールロックを設定していませんか。 ● セルフモードを設定していませんか。	136 139 129 130
ダイヤルしたが話中音（プープー音）がでてつながらない	● 市外局番を忘れていませんか。 ● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ● 「圏外」の表示がでていませんか。	51 45
「圏外」が表示されて話中音（プープー音）がでる	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	45
「🔒」と「オールロック」が表示され、ボタンを押しても動作しない	● オールロックを設定していませんか。	129
FOMA端末を閉じているときに、サイドボタンを押しても動作しない	● サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定していませんか。	137
ピピピ…という警告音が鳴っている	● 電池が少なくなっています。充電してください。	42
充電ができない（FOMA端末の着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する）	● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● アダプタの電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。 ● アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。	41 43
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	● 省電力モードになっていませんか。	112
メールを受信したときに、異なる着信音が鳴る	● 電話帳便利機能でメールアドレスごとにメール着信音を設定した相手からのメールではありませんか。 ● グループ設定でメール着信音を設定したグループに登録されている相手からのメールではありませんか。	103 104
着信またはメールの受信があったときに、異なる着信／充電ランプが点灯／点滅する	● 電話帳便利機能で電話番号やメールアドレスごとに着信イルミネーション／メールイルミネーションを設定した相手からの着信／メールではありませんか。 ● グループ設定で着信イルミネーション／メールイルミネーションを設定したグループに登録されている相手からの着信／メールではありませんか。	119 119
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	● 画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。	39
積算通話料金がカウントされない	● FOMAカードに蓄積されている積算通話料金が上限（約1677万円）を超えていませんか。積算料金をリセットすることにより0円に戻せます。	339

こんな表示が出たときは

エラーメッセージの中の「(数字)」は、i モードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

ア

以下の宛先にはメール送信できませんでした(561)
Mails could not be sent to following address.(561)
●●@△△△.ne.jp※
…表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。
※メールアドレスは送信先により表示が異なります。

一部移動できませんでした
一部コピーできませんでした
…選択したファイルに移動/コピーできないファイルが含まれていました。

一部の画像が保存できません
…エラーが発生したため一部の画像が保存できません。

一部保存できませんでした
…選択したファイルにFOMA端末またはmicroSDメモリーカードにコピーできないファイルが含まれていました。

移動機情報送信が許可されていません
…端末情報データ利用設定が「利用しない」に設定されているため、FOMA端末の情報が送信されませんでした。⇒P.182

移動できませんでした
移動に失敗しました
…エラーが発生したため移動できませんでした。

イメージがいっぱいです
…画像が最大保存件数まで登録されているため、これ以上登録できません。不要な画像を削除してください。⇒P.267

イメージが表示できません
…画像データが不正なため表示できません。

映像が再生できません
映像/音声が再生できません
映像/テキストが再生できません
…非対応データのため映像や音声、テロップが再生できません。

遠隔操作可能なサービスは未契約です
…留守番電話サービス・転送でんわサービスなど遠隔操作可能なサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

応答がありませんでした(408)
…サイトやインターネットホームページからの応答がないため接続できませんでした。再度操作してください。

音声が再生できません
音声/テキストが再生できません
…非対応データのため音声やテロップが再生できません。

カ

解除できませんでした
…エラーが発生したため曲を解除できませんでした。

外部機器接続中です 起動できません
…外部機器を外してから再度操作してください。

書換え完了しました しばらくたってからソフトウェア更新を再度実行してください
…しばらくしてからソフトウェア更新を再度操作してください。⇒P.428

書換え失敗しました
…ソフトウェア更新に失敗しました。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。
⇒取扱説明書裏面

書き込みできません
…microSDメモリーカードがライトプロテクトされています。外部機器などでmicroSDメモリーカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。

画像がいっぱいのため画像以外を登録しました
…画像がいっぱいになったため画像以外が登録されました。

画像が登録できなかった電話帳があります
…画像がいっぱいになったため一部の電話帳の画像が登録できませんでした。

画像に誤りがあり正しく動作しません
…容量不足またはエラーが発生したため正しく動作しません。

画像表示設定がOFFのため画像取得できません
…画像表示設定が「表示しない」に設定されています。設定を「表示する」にしてから再度操作してください。⇒P.182

画像/動画がいっぱいのため画像/動画以外を登録しました
…画像/動画がいっぱいになったため一部の画像/動画が登録できませんでした。

カメラ起動失敗しました
…エラーが発生したためカメラを起動できませんでした。

規定のアクセス回数を超えたため参照できません(491)
…アクセス可能な回数を超えたため、表示できませんでした。

起動できませんでした
…エラーが発生したため起動できませんでした。

起動に失敗しました
…ｉアプリDXの起動に失敗しました。

記念日がいっぱいです
…不要な記念日を削除してから再度操作してください。⇒P.331、332

キャッチホン未契約です
…キャッチホンに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

休日がいっぱいです
休日／記念日がいっぱいです
…不要な休日／記念日を削除してから再度操作してください。⇒P.331、332

記録エラーです
記録エラーです 中止します
…エラーが発生したため記録できませんでした。

圏外です
…電波が届いていません。電波の強い場所で再度操作してください。

このカードでは無効な機能です
…挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。

このカードは使用できません
…FOMA P704iμでは使用できないメモリーカードです。FOMA P704iμに対応したmicroSDメモリーカードをご利用ください。
⇒P.294

このカードは認識できません
…正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。⇒P.38
…FOMAカードにエラーが発生したか、PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
⇒取扱説明書裏面

この画像は添付できません
…ｉモードメールに添付できない画像です。

この画像は表示できません
…画像データが不正なため表示できません。

この画像は保存できません
…画像が正常に表示できません。また、正常に表示された場合でも、ファイルの形式によっては保存できない場合があります。

この記念日は登録できません
…すでに登録されているデータと同じ日付の記念日を受信したため登録できません。

この機能は利用できません
…挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。

この休日は登録できません
…すでに登録されているデータと同じ日付の休日を受信したため登録できません。

この休日／記念日は登録できません
…すでに登録されているデータと同じ日付の休日／記念日を受信したため登録できません。

この言葉は設定できません 記号等消してください
…登録できない文字が使われているためユーザ辞書に登録できません。

このサイトとのSSL通信は無効です
…改ざんされたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。

このサイトの安全性が確認できません
SSL通信を切断します
…対応していないSSL証明書のため接続を中断しました。

このサイトは安全でない可能性があります
SSL通信を切断します
…SSL証明書の有効期限が切れています。

この辞書は保存できません
…ダウンロードした辞書が不正なため保存できません。

このスケジュールは登録できません
…すでに登録されているデータと同じ日時のスケジュールを受信したため登録できません。

この接続先の安全性が確認できません
SSL通信を切断します
…SSL証明書の有効期限が切れています。

この接続先は安全でない可能性があります
SSL通信を切断します
…SSL証明書の内容が一致していません。

このソフトは現在利用できません
…使用期限が過ぎたかサーバ側から使用停止状態に設定されているため起動できません。

このデータは貼り付けできません
…使用できない文字を貼り付けようとしています。貼り付ける文字を確認してから再度操作してください。⇒P.354

このデータは保存できません
…サイトから取得したデータが不正なため保存できません。

このファイルは表示できません
…対応していないファイルのため表示できません。

このメールは再送信できません
…宛先が不正であるか、メール本文が入力可能なサイズを超えています。

このメールは再送信できません 再編集して送信してください
…宛先が不正であるか、メール本文が入力可能なサイズを超えています。再編集してから送信してください。⇒P.225

このメロディは再生できません
このメロディは保存できません
…メロディデータが不正なため再生／保存できません。

この文字は登録できません
…登録できない文字が使われています。

このｉモーションは再生できません
…ｉモーションデータが不正なため再生できません。

コピーできませんでした
…エラーが発生したためコピーできませんでした。

これ以上機能を起動できません
…マルチタスクで使用できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了してから再度操作してください。⇒P.322

これ以上検索／フィルタはできません
…すでに最大回数までフィルタがかけられているため、これ以上できません。

これ以上保護できません
…すでに最大保護可能件数まで保護されています。他のデータの保護を解除してから再度操作してください。⇒P.178、186、226

コンテンツに誤りがあるためダウンロードできません
…データが不正なためダウンロードできません。

サ

サービス停止できませんでした
…エラーが発生したためサービス停止ができませんでした。

再生エラー発生 終了します
…動画再生時にエラーが発生しました。

再生可能日前です 再生できません
…再生可能日前のためｉモーションを再生できません。

再生制限データに誤りがあるため取得できません
…ｉモーションの再生制限データが不正なため取得できませんでした。

再生に失敗しました
…エラーが発生したため再生に失敗しました。

最大サイズを超えたので中断しました
…サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。
…データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。

削除できませんでした
…エラーが発生したため削除できませんでした。

作成可能サイズを超えるため一部削除されます
…宛先･題名･本文のいずれか（または複数）が入力可能文字数を超えています。

シークレットデータのため呼び出せません
…シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えていないため呼び出せません。シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えてから操作してください。⇒P.137

失敗しました
…エラーが発生したため操作できませんでした。
…フェイスリーダーの認証や登録に失敗しました。

指定サイトがみつかりません(404)
…サイトやインターネットホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。⇒P.174

指定したサイトへは接続できませんでした(504)
…サーバからの応答がなかったため接続できません。

指定したファイルが見つかりません(492)
…選択したファイルがFOMA端末内にありません。

自動付加設定中 削除できません
自動付加設定中 全削除できません
…自動付加設定で設定されている国際電話アクセス番号や国番号は削除できません。設定を変更／解除してから再度操作してください。⇒P.61

しばらくお待ちください
…音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

しばらくお待ち下さい(パケット)
…パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

しばらくたってから操作してください
…現在、起動できない状態になっています。しばらくしてから再度操作してください。

受信できませんでした
…接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため選択受信できません。設定を確認してから再度操作してください。⇒P.183

受信できませんでした ｉモードセンターが混み合っています
…回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

取得できなかったメッセージがあります
…FOMA端末内の受信メールがいっぱいになったため、一部のメールが受信できませんでした。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。⇒P.218、226
…SMSを受信する際に一定時間が過ぎたのでSMSを受信できませんでした。

▶▶次ページにつづく

詳細に誤りがあるため取得できません
…エラーが発生したためデータを取得できません。

スキャンが異常終了しました
…エラーが発生したためスキャンできませんでした。

スケジュールがいっぱいです
…FOMA端末内のスケジュールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なスケジュールを削除してから再度操作してください。⇒P.331、332

すでに他の機能が起動中です 起動できません
すでに他の機能が起動中です 設定できません
…マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。⇒P.322

すべて保護のため削除できません
…保護を解除してから再度操作してください。⇒P.178、186、226

正常に接続できませんでした(400)
…接続先にエラーがあるため正常に接続できませんでした。

赤外線送信できません
…エラーが発生したため赤外線送信ができませんでした。

セキュリティエラーのため終了しました
セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました
…ｉアプリDXが強制終了しました。⇒P.250

接続先が対応していません
…接続先選択で設定した接続先アドレスが対応していないため操作できません。設定を確認してから再度操作してください。⇒P.183
…ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。

接続できません
…接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っています。設定を確認してから再度操作してください。⇒P.183
…電波が弱いので、電波の強い場所で再度操作してください。

接続できませんでした
接続できませんでした(562)
…ネットワークに問題がありました。しばらくしてから再度操作してください。

設定できませんでした
設定に失敗しました
…エラーが発生したため設定できませんでした。

前回のソフトウェア更新は正しく終了されませんでした ソフトウェア更新を最初から実行してください
…ソフトウェア更新中にFOMA端末の電源が切られました。再度ソフトウェア更新を行ってください。⇒P.428

全件受信できません
…エラーが発生したため赤外線全件受信ができませんでした。

全件送信できません
…選択したファイルがすべてFOMA端末外への出力が禁止されているファイルです。

全件本体へコピーできませんでした
全件microSDへコピーできませんでした
…エラーが発生したため全件FOMA端末／microSDメモリーカードにコピーできませんでした。

全削除できません
…エラーが発生したため全削除できませんでした。

選択受信設定中です 起動できません
…メール選択受信設定が「ON」に設定されています。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。⇒P.214

選択操作が中断されました
…メッセージR/Fを選択削除中にメールまたはメッセージR/Fを受信しました。

操作できませんでした
操作内容をご確認ください
…エラーが発生したため操作できませんでした。

送信先にデータを登録できません
…送信相手がデータをロックしています。

送信できない宛先があります
送信できなかった宛先があります
…いくつかの宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。⇒P.199、236、241

送信できませんでした
送信できませんでした(552)
送信できませんでした(XXX)
…メールが正しく送信できませんでした。XXXには3桁の数字が表示されます。

送信できません 宛先を確認してください(451)
…メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度操作してください。⇒P.199、236、241

送信できませんでした ｉモードセンターが混み合っています
…回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

送信不可のファイルが添付されているため再送信できません
…メールにFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。

送信メールが壊れているため再送信できません
…メールの本文のサイズがオーバーしていたり、本文の添付情報が壊れていたりしています。

そのソフトは最新です
…目的のソフトが更新されていないため実行できません。

ソフトウェア更新機能起動中です 起動できません
…ソフトウェア更新が終了してから再度操作してください。

ソフトに誤りがあります
ソフトに誤りがあるためダウンロードできません
…ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。

ソフトに誤りがあるためバージョンアップを中止しました
…ソフトのデータが不正なためバージョンアップが中止されました。

ソフトに継続動作できない障害が発生しました
…ｉアプリ起動中や実行中にエラーが発生しました。

ソフトをダウンロード中です 起動できません
…ダウンロードが終了してから再度操作してください。

タ

対応機種ではありません
…ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。

対応していないコンテンツがあります
…FOMA端末に対応していないデータが含まれています。

対応ソフトがあるため削除できません
…対応するメール連動型ｉアプリがあるため削除できません。

対応ソフトが削除されています フォルダ内表示を参照してください
…対応するメール連動型ｉアプリが削除されています。

ダイヤル発信制限設定中です
…ダイヤル発信制限を解除してから再度操作してください。⇒P.136

大容量ファイル受信中です 操作できません
…10000バイトを超えるJPEG形式の画像を受信中のため操作できません。

ダウンロードが中断されました
…エラーが発生したためダウンロードが中断されました。

ダウンロードできません
ダウンロードできませんでした
ダウンロードできませんでした 更新を中止します
…他の機能が動作中、またはエラーが発生しました。

ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください
ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい
…パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルをご利用の場合、一定時間内に大量の通信を行うと、一定時間接続できなくなることがあります。しばらくしてから再度操作してください。

ただいまｉモードメールが混みあっています しばらくお待ち下さい(553)
…回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

着信通知未契約です
…留守番電話サービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

中断されました
…データ通信中にパソコン側から接続が切断されました。

中断しました
…エラーが発生したため中断されました。

通信が許可されていません
…通信設定が「通信しない」に設定されています。設定を「通信する」にしてから再度操作してください。⇒P.251

通知アイコン点灯していません
…上限通知アイコンが点灯していないため上限通知アイコンは消去できません。

通話中です 起動できません
通話中です 設定できません
通話中です 操作できません
通話中です 発信できません
通話中のため起動できません
通話中のため発信できません
…通話を終了してから再度操作してください。
⇒P.51、65

データ結合できませんでした
…読み取ったデータを結合できませんでした。今まで読み込んだデータは破棄されます。

データ取得できませんでした
…ｉモーションデータが不正なため取得できませんでした。

データに誤りがあります
…データに不正な箇所があります。

テキストが再生できません
…非対応データのためテロップが再生できません。

テキストリーダーを起動できません
…エラーが発生したためテキストリーダーを起動できませんでした。

デュアルネットワークサービス未契約です
…デュアルネットワークサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

テレビ電話中のため発信できません
…テレビ電話を終了してから再度操作してください。⇒P.51、65

テロップ表示設定ONのため設定できません
…テロップ表示設定が「ON」に設定されているためｉアプリを待受画面に設定できません。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。⇒P.194

転送サービス未契約です
…転送でんわサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

添付ファイルとのリンクが切断されました
…microSDメモリーカードから10000バイトを超えるJPEG形式の画像をｉモードメールに添付して送信または保存した際に、ファイルのリンク情報が解除されました。

添付ファイルを登録できません
…登録できないファイルが添付されたメールを受信しました。

テンプレートに保存できません
…メールをテンプレートとして保存できませんでした。

電話帳がいっぱいです
…FOMA端末内の電話帳がいっぱいになったため受信できませんでした。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。⇒P.94

電話帳画像いっぱいのため画像以外を登録しました
…電話帳に登録されている画像がいっぱいになったため画像以外のデータを登録しました。

電話帳に登録がないため起動できません
…通話相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていません。登録してから再度操作してください。⇒P.87

電話番号が通知されていないため起動できません
…通話相手の電話番号が通知されていません。

登録外着信拒否設定中です
…設定を「許可」にしてから再度操作してください。⇒P.141

登録中です しばらくしてからご利用ください(554)
…ユーザ登録中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。

登録できませんでした
登録に失敗しました
…エラーが発生したため登録できませんでした。

ナ

入力形式が正しくありません
…入力したUSSDが間違っています。正しいUSSDを入力してください。⇒P.372

入力データまたはURLが長すぎます
…入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから再度送信してください。⇒P.170

入力データをご確認ください(205)
…入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。

認識できません
…テキストが読み取りできませんでした。認識モードを変更するか、反転モードを変更するなどして再度読み取りを行ってください。⇒P.166

認証タイプに未対応です(401)
…対応していない認証タイプのため接続できません。

認証できませんでした
…認証エラーが発生しました。

ハ

バーコードリーダーを起動できません
…エラーが発生したためバーコードリーダーを起動できませんでした。

バージョンアップが中断されました
バージョンアップできません
バージョンアップできませんでした
…エラーが発生したためバージョンアップができませんでした。

バージョン表示できませんでした
…エラーが発生したためバージョンを表示できませんでした。

パターンデータは最新です
…パターンデータが最新のため更新は必要ありません。

パターンデータを更新してください
…エラーが発生したためスキャン機能を利用できません。パターンデータを更新してから再度操作してください。⇒P.432

発信できません
発信に失敗しました
…エラーが発生したため発信できませんでした。

ピクチャを再生できません
…非対応データのため画像が再生できません。

非対応ファイルがあります 削除できません
…対応していないデータがあるため削除できません。

表示できません
…対応するソフトが起動中です。ソフトを終了してから再度操作してください。⇒P.249

ファイルが壊れていました(493)
…取得したファイルが壊れているため、操作できません。

ファイル名変更できません
…ピリオドから始まるファイル名や半角英数字以外の禁止文字を含んだファイル名には変更できません。正しいファイル名を入力してから再度操作してください。⇒P.267

フォーマットエラーです 正しいフォーマットのカードを挿入してください
…FOMA P704iμ未対応フォーマットのmicroSDメモリーカードです。FOMA P704iμでフォーマットしてください。
⇒P.301

フォトが大きすぎるため作成できません
…撮影した画像が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。「メール用サイズ変更」や「ｉモードメール作成」で画像のサイズを変更してから作成してください。⇒P.267

フォルダ移動できませんでした
…エラーが発生したためフォルダを移動できませんでした。

フォルダ削除できませんでした
…エラーが発生したためフォルダを削除できませんでした。

フォルダ作成できませんでした
…エラーが発生したためフォルダを作成できませんでした。

フォルダ追加できませんでした
…エラーが発生したためフォルダを追加できませんでした。

フォルダ名編集できませんでした
…エラーが発生したためフォルダ名を編集できませんでした。

付加番号1は未契約です
付加番号2は未契約です
…付加番号を契約されていないため利用できません。付加番号をお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

振分け条件がいっぱいのため登録できません
…すでに最大件数設定されています。不要な設定を解除してから再度操作してください。
⇒P.232

プレイリスト作成できませんでした
…エラーが発生したためプレイリストを作成できませんでした。

プレイリスト名編集できませんでした
…エラーが発生したためプレイリスト名を編集できませんでした。

変更できませんでした
…エラーが発生したため曲順を変更できませんでした。

編集中のため削除できません
…他の機能で使用しています。他の機能を終了してから再度操作してください。⇒P.322

編集中メールに使用中のため変更できません
…作成中のｉモードメールに添付されているため変更できません。

編集に失敗しました
…エラーが発生したため編集できませんでした。

他の機能が起動中のため起動できません
…マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。⇒P.322

他の機能が起動中のため取得できません
…他の機能を終了してから再度操作してください。
⇒P.322

保護のため削除できません
…データが保護されています。保護を解除してから再度操作してください。
⇒P.186

保存可能サイズを超えているため設定できません
…「ファイル制限」を設定することによって保存可能サイズを超えています。

保存先設定できません
…フォルダ内に保存できる空き番号が存在しません。

保存できませんでした
…撮影した画像を保存できませんでした。

保存に失敗しました
…エラーが発生したため保存できませんでした。

本文中画像が削除されます
…FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられています。

本文編集できません
…添付ファイルが10000バイトあるため、本文を入力できません。

マ

待受画面貼付できませんでした
…エラーが発生したためデスクトップに貼り付けできませんでした。

マルチナンバー未契約です
…マルチナンバーに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

ムービーが大きすぎるため作成できません
…撮影した動画が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。「メールサイズ切り出し」や「ｉモードメール作成」で動画を切り出してから作成してください。⇒P.280、284

無効なデータを受信しました
無効なデータを受信しました(XXX)
…受信したデータにエラーがあるため表示または保存できません。受信したデータは破棄されます。XXXには3桁の数字が表示されます。

迷惑電話ストップサービス未契約です
…迷惑電話ストップサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません
…メールセキュリティを解除してから再度操作してください。⇒P.138、224

▶▶次ページにつづく

メール選択受信設定が受信しないに設定されています

…メール選択受信設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。⇒P.214

メールフォルダ利用中のため起動できません
メールフォルダ利用中のため削除できません
メールフォルダ利用中のためダウンロードできません

…対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。⇒P.249

メモリ機能動作中 設定できません

…microSDメモリーカードが使用中です。

メモリ番号:XXX 書き換えできません

…シークレットデータとして登録した電話帳や「オート表示」に設定した電話帳のメモリ番号と同じメモリ番号のため登録できません。違うメモリ番号に登録してください。XXXには3桁の数字が表示されます。⇒P.88

メモリ不足です
メモリ不足です 更新を中止します
メモリ不足です 文字スタンプが作成できませんでした
メモリ不足です ｉモードメニューに戻ります
メモリ不足のため表示できません

…メモリが不足したため処理を中断します。

メロディが再生できません

…エラーが発生したためメロディが再生できませんでした。

メロディが設定されていません

…プログラム編集がされていない状態でプログラムを再生しようとしたときに表示します。プログラムを編集後、プログラム再生してください。⇒P.291

ヤ

容量不足です

…保存容量がいっぱいのため操作できません。

呼出時間表示設定中です

…呼出時間表示設定が「ON」に設定されています。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。⇒P.141

読み込みエラーです
読み込みできませんでした

…microSDメモリーカードの情報読み込み中にmicroSDメモリーカードが抜かれたか、エラーが発生しました。microSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。⇒P.295

読み込みできませんでした 終了します

…動画読み込み時にエラーが発生しました。

…「移行可能コンテンツ」フォルダ内に保存されているファイルを、保存したときと異なるFOMAカードを挿入して再生しようとしたため読み込みできません。ファイルの保存時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。⇒P.38

読み取りできませんでした

…読み取りに失敗しました。

ラ

リセット失敗しました

…エラーが発生したため顔データのリセットに失敗しました。

利用可能なピクチャがありません

…サイズに合ったフレームがありません。

履歴表示OFF設定中です

…履歴表示設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。⇒P.137

留守番および転送サービス未契約です

…留守番電話サービスまたは転送でんわサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

留守番サービス未契約です

…留守番電話サービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。
⇒取扱説明書の裏表紙の裏面

英字・数字

FOMAカード(UIM)が異なるため起動できませんでした

…FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリダウンロード時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。⇒P.39

FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません

…FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。⇒P.39

FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

…FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。⇒P.39

ｉアプリ機能起動中です 操作できません

…ｉアプリ起動中のためSDオーディオを起動できませんでした。ｉアプリを終了してから再度操作してください。⇒P.249

ｉアプリ To 設定されていません

…「ｉアプリ To 設定」でチェックが付いていないためｉアプリを起動できません。チェックを付けてから再度操作してください。⇒P.251

ｉモードセンターが混みあっています しばらくお待ち下さい(555)

…回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています

…ｉモード問い合わせ設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。⇒P.215

microSDが抜かれました

…microSDメモリーカードの情報読み込み中にmicroSDメモリーカードが抜かれました。microSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。⇒P.295

microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします

…microSDメモリーカードのフォーマットが異常です。microSDメモリーカードをチェックディスクしてください。⇒P.301

microSDへコピーできませんでした

…エラーが発生したためmicroSDメモリーカードにコピーできませんでした。

PIMファイルが保存されていません

…microSDメモリーカード内に電話帳やスケジュールなどがありません。

PIMロック設定中です

…PIMロックを解除してから再度操作してください。⇒P.131

PIN1がロックされました PINロック解除コードを入力してください

…PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。⇒P.128

PIN1コードが違います

…入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。⇒P.127

PIN1コードが認識できませんでした
PIN1コードがロックされています
PIN1コードがロックされました PINロック解除コードを入力してください

…PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。⇒P.128

PINロック解除コードが認識できませんでした
PINロック解除コードがロックされています
PINロック解除コードがロックされました

…PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
⇒取扱説明書裏面

SDオーディオ機能起動中です 操作できません

…SDオーディオが起動中のため操作できません。SDオーディオを終了してから再度操作してください。⇒P.313

SMS center設定を確認してください

…SMS center設定でSMSセンターが正しく設定されていません。SMS center設定を設定してから再度操作してください。⇒P.244

SSL通信が切断されました

…改ざんされたSSL証明書を受信したか、SSLエラーが発生したため接続できませんでした。

SSL通信が無効です

…サーバの認証エラーのため接続できません。

SSL通信が無効に設定されています

…証明書設定でそのサーバのSSL証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。⇒P.187

Toの宛先を設定してください

…「To」に宛先が入力されていません。「To」に宛先を入力してから再度操作してください。
⇒P.199、200

ToDoがいっぱいです

…FOMA端末内のToDoがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なToDoを削除してから再度操作してください。⇒P.334

1件削除できません

…エラーが発生したためmicroSDメモリーカード内のデータを1件削除できませんでした。

1件本体へコピーできませんでした

…エラーが発生したため1件FOMA端末にコピーできませんでした。

10～100000円の間で設定してください

…通話料金通知の上限料金は10～100000円の間で設定してください。⇒P.339

＋の位置が不正です

…「＋」の位置が間違っています。電話番号の先頭に入力してください。⇒P.61

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

  ※本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。

  ※本FOMA端末はｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。

  ※本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。

  ※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（⇒P.378）とFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有償修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

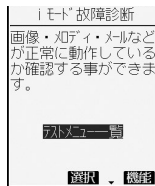
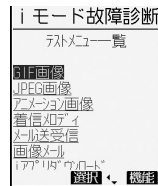
◎お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  ･火災･けが･故障の原因となります。
  ･FOMA端末･FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末･FOMAカードは使用できません。
  ･改造(部品の交換･改造･塗装等)が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態(ドコモ純正品状態)に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  ･改造が原因による故障･損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障･修理やその他取扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカ、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

◎メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

･ お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
･ FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化･消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像･着信メロディを故障修理時に限り移し替えいたします。(一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります。)

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像･メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
  ｉモードサイト:ｉMenu→お知らせ→サービス･機能→ｉモード→ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

- ｉモード故障診断時のパケット通信料は無料となります。(海外からのアクセスの場合は有料になります)
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報(機種名やメールアドレスなど)が自動的にサーバ(ｉモード故障診断サーバ)に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

＜ソフトウェア更新＞
ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させて頂きます。
ソフトウェアを更新するには、「即時更新」と「予約更新」の2つの方法があります。
【即時更新】:更新したいときすぐに更新を行います。
【予約更新】:更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行えます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。

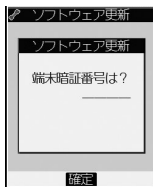
･電源が入っていないとき	･オールロック中
･日付時刻を設定していないとき	･PIMロック中
･通話中	･セルフモード設定中
･圏外にいるとき	･他の機能が動作中のとき
･海外で利用中のとき	･FOMAカードを挿入していないとき
･PIN1コード入力中	･パソコンなどの外部機器と接続中のとき
･PIN1コードロック中	

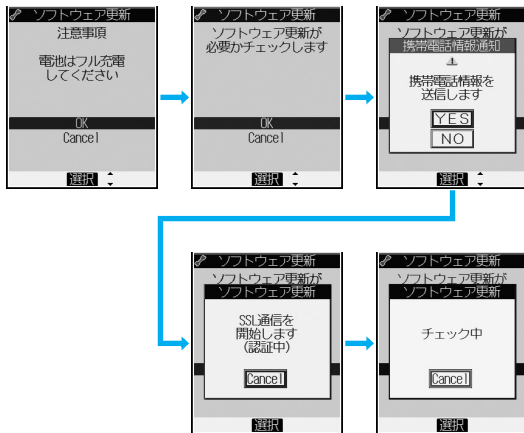
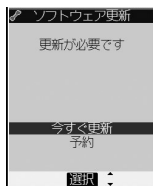
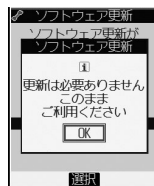
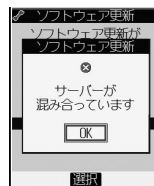
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書き換え)には時間がかかることがあります。
- PIN1コード入力設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。(ダウンロード中は音声着信･着信転送･伝言メモ操作が可能です。)
- ソフトウェア更新の際にはサーバー(当社のサイト)へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておいてください。(お買い上げ時:有効。設定方法について⇒P.187)
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 既にソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバー(当社が管理するソフトウェア更新用サーバー)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- お客様の確認操作なしでソフトウェア更新が終了すると、待受画面に「更新」(ソフトウェア更新完了)の「お知らせアイコン」が表示されます。ご確認いただきたい内容がある場合には「更新」(ソフトウェア更新　説明あり)が表示されます。「更新」を選択し、端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の携帯電話の状態(故障･破損･水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。(ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。)
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

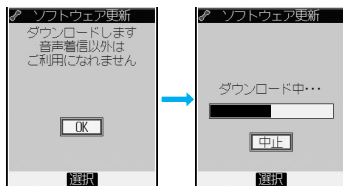
ソフトウェア更新を起動する

1 **メニュー ▶ 設定 ▶ その他 ▶ソフトウェア更新 ▶端末暗証番号を入力**

- 4～8桁の端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 入力した端末暗証番号は「_」で表示されます。
- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

2 **注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックします。**

- チェック中は音声電話を受けることができます。

3 **ソフトウェア更新が不要の際は「更新は必要ありません」と表示されますので、そのままご利用ください。更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。**
このとき、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

ソフトウェア更新画面

※更新が必要ない場合の画面

※サーバーが混み合っていて、ソフトウェア更新ができない場合の画面（しばらく待ってから再度ソフトウェア更新を起動してください。）

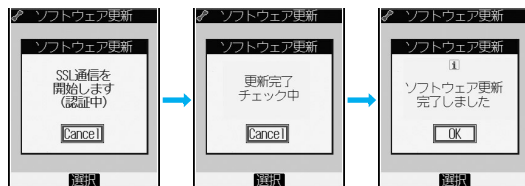
すぐにソフトウェアを更新する(即時更新)

1 「今すぐ更新」を選択すると「ダウンロードします」と表示され、しばらくするとダウンロードを開始します。(「OK」を選択するとすぐにダウンロードを開始します。)

- ダウンロード中は音声電話を受けることができます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理を実行します。

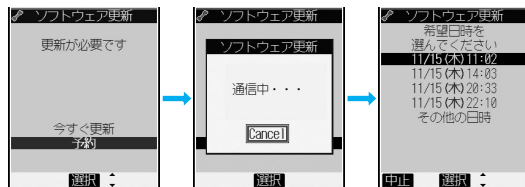
2 ダウンロードが終わると、ソフトウェアを書き換えます。(「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。)
書き換えが終わると、自動的に再起動します。

- 書き換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 書き換え中は電話を受けることもできません。

※ソフトウェア書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。また、ACアダプタ(別売)などを接続していても、一時的に充電を停止します。

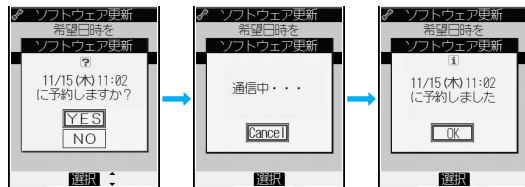
3 再起動すると再びサーバーと通信を行いますので、しばらくお待ちください。
更新の完了を確認したら「OK」を選択して終了です。

日時を予約してソフトウェアを更新する(予約更新)

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバーが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバーと通信して設定しておけます。

1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択します。

予約可能な日時が表示されます。

- ソフトウェア更新の予約では、サーバーの時刻が表示されます。

「その他の日時」を選択した場合
サーバーと通信をしたあと、希望日と時間帯を選べます。時間帯を選択する画面には各時間帯の予約空き状況が
○:空きあり、△:空きわずか、×:空きなし
のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバーと通信して予約時刻の候補が表示されます。

2 選択した日時の確認を行います。「YES」を選択します。再度サーバーと通信を行い、予約は完了です。

予約時刻になると右の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。

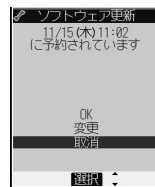
- オールロック中･PIMロック中などは、更新を開始するメッセージが表示されず、ソフトウェア更新も起動しません。P.429手順1の操作を行うと起動できなかった理由が表示されます。

お知らせ

- アラームなどが起動している場合には、ソフトウェア更新が起動しない場合があります。
- ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信中は、ソフトウェア更新は起動しません。受信を継続し、待受画面に「お知らせアイコン」を表示します。
- 予約が完了したあとにP.345「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約を確認する

設定メニューから「ソフトウェア更新」を選択し、端末暗証番号を入力すると、予約時刻を確認できます。

予約を確認した画面から予約日時の変更や予約を取り消せます。変更する場合には「変更」を選択します。取り消す場合には「取消」を選択します。

ソフトウェアの更新を終了する

各画面で「NO」や「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。

「YES」を選択すると、ソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「NO」を選択すると前の画面に戻ります。

お知らせ

- 操作中に電池の残量が「▯」になった場合、ソフトウェアのダウンロードや書き換えは行われず、操作を終了します。

<スキャン機能>
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロード・iモードメールやSMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。⇒P.432
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防げませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時	ON

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 メニュー ▶
▶ロック／セキュリティ
▶スキャン機能
▶スキャン機能設定

2 **ON・OFF▶YES**

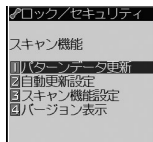
- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。⇒P.433

お知らせ

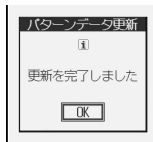
- moperaメールの着信通知、留守番電話の着信通知機能などのSMSはスキャン対象外となります。

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

パターンデータを更新します。

1 メニュー ▶ 設定
▶ロック／セキュリティ
▶スキャン機能
▶パターンデータ更新
▶YES▶YES

- iモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

2 **OK**

- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 以下の場合はパターンデータを更新できません。
  - ･日付時刻を設定していないとき　･通話中
  - ･圏外にいるとき
  - ･FOMAカードを挿入していないとき
  - ･オールロック中　･他の機能が動作中のとき
  - ･パソコンなどの外部機器と接続中のとき
  - ･セルフモード設定中　･PIMロック中
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

パターンデータを自動的に更新する<自動更新設定>

パターンデータが新しくなったときに、FOMA端末内のパターンデータを自動的に更新するかどうかを設定します。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶自動更新設定▶有効・無効**

2 **YES▶OK**

- 手順1で「有効」を選択した場合は、自動更新時に携帯電話情報を送信する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

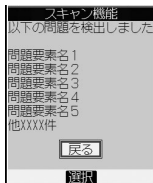
お知らせ

- 自動更新設定および自動更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバー(当社が管理するスキャン機能用サーバー)に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 自動更新が終了すると、待受画面に「更新」(パターン更新完了)の「お知らせアイコン」が表示されます。更新できなかった場合には「更新」(パターン更新失敗)が表示されます。「更新」を選択すると、更新結果の内容が表示されます。

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面で「詳細」を選択すると問題要素の名前が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2
スキャン機能 正常に動作できない場合があります OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ YES NO 詳細	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細
OK…動作を継続	YES …動作を中止し、終了 NO …..動作を継続	OK…動作を中止し、終了

	警告レベル3	警告レベル4
● ｉモードメールやSMSを表示する際の警告画面は、上記の画面と異なる場合があります。	スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ YES NO 詳細	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細
	YES …データを削除し、終了 NO …..動作を中止し、終了	OK…データを削除し、終了

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

パターンデータのバージョンを確認します。

1 メニュー▶**▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶バージョン表示**

- 確認が終われば「戻る」を選択します。

主な仕様

品名		FOMA P704iμ
サイズ(閉じたとき)		高さ103mm×幅49mm×厚さ11.4mm
質量(電池パック装着時)		約98g
連続待受時間		静止時：約400時間　移動時：約270時間
連続通話時間		音声電話時：約120分　テレビ電話時：約80分
充電時間		ACアダプタ：約100分　DCアダプタ：約100分
液晶部	方式	ディスプレイ：TFT 262,144色 プライベートウィンドウ：STN　1色
	サイズ	ディスプレイ：約2.2inch プライベートウィンドウ：約0.4inch
	画素数	ディスプレイ：76,800画素（240ドット×320ドット） プライベートウィンドウ：672画素（56ドット×12ドット）
撮像素子	種類	インカメラ／アウトカメラ：CMOS
	サイズ	インカメラ：1/11.0inch　アウトカメラ：1/4.0inch
カメラ部	有効画素数	インカメラ：約11万画素　アウトカメラ：約130万画素
	記録画素数(最大時)	インカメラ：約10万画素　アウトカメラ：約120万画素
	ズーム(デジタル)	インカメラ：最大約2.7倍 アウトカメラ：最大約5.0倍
記録部	静止画記録枚数	約186枚（本体保存時）※1
	静止画連続撮影	CIF：4枚　待受：5～10枚　QCIF：5～20枚 Sub-QCIF：5～20枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	本体：約119秒※2 microSDメモリーカード（64MB）：約33分※3
	動画ファイル形式	本体：MP4 microSDメモリーカード：ASF
音楽再生	連続再生時間※4	SDオーディオ（バックグラウンド再生対応）：約360分※5 ｉモーション：約360分※5
保存容量	着うた®	約3.3Mバイト

※1 画像サイズ：128×96、画質：ノーマル、ファイルサイズ：10K

※2 下記の条件の場合で本体に保存できる、動画1件あたりの最大録画時間
画像サイズ：Sub-QCIF（128×96）、ファイルサイズ制限：メール制限（大）、画質：時間優先、種別：画像＋音声

※3 下記の条件の場合でmicroSDメモリーカードに保存できる、動画1件あたりの最大録画時間
画像サイズ：QCIF（176×144）、ファイルサイズ制限：なし、
画質：ノーマル、種別：画像＋音声

※4 連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、平型ステレオイヤホンセット　P01を使用して再生できる時間の目安です。

※5 ファイル形式：AAC形式

FOMA端末の保存・登録・保護件数

以下の表は、FOMA 端末で保存・登録、保護できるデータの最大件数を示しています。（各機能の詳細については、表中の参照ページをご覧ください。）

機能		保存・登録件数 ＜保護件数＞	参照頁
電話帳		最大800※1、※2	86
スケジュール	スケジュール	100	328
	休日	100	329
	記念日	100	329
ToDo		100	333
フリーメモ		20	340
メール （SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大1000※2、※3、※4 ＜最大500※2＞	218
	送信メール	最大400※2、※4、※5 ＜最大200※2＞	219
	保存メール※6	20	219
	ユーザ作成フォルダ（受信BOX）	22	224
	ユーザ作成フォルダ（送信BOX）	22	224
テンプレート		45件※7	206
メッセージ	メッセージR	最大100※2 ＜最大50※2＞	184
	メッセージF	最大100※2 ＜最大50※2＞	184
ブックマーク	ブックマーク	100	175
	ブックマークフォルダ	10（「Bookmark」を含む）	176
画面メモ	画面メモ	最大100※2 ＜最大50※2＞	177
	画面メモフォルダ	10（「画面メモ」を含む）	177
ｉアプリ		最大200※2	246
	メール連動型ｉアプリ	5	248

機能		保存・登録件数	参照頁
静止画		最大560※2、※8、※9	264
	ユーザ作成フォルダ	20	265
動画／ｉモーション		最大100※2、※8	277
	ユーザ作成フォルダ	20	279
メロディ		最大400※2、※8	290
	ユーザ作成フォルダ	20	291
キャラ電		10※7	287

※1 50件までFOMAカードに保存できます。
※2 データ量によって実際に保存･登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※3 「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※4 SMSは、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。⇒P.342
※5 「チャット」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※6 作成中の未送信メールを保存できます。
※7 お買い上げ時に登録されているデータも含めます。
※8 お買い上げ時に登録されているデータは含みません。
※9 サイトから保存した静止画やフレーム、スタンプなども含めます。

お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存／登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存／登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード（⇒P.294）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（⇒P.378）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種FOMA P704iμの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA P704iμのSARの値は1.1W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ:
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ:
　http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ:
　http://www.nttdocomo.co.jp/product/
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
　http://panasonic.jp/mobile/

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.980 W/kg.**
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet* the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

The product “FOMA P704iμ” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.co.jp/pmc/products/en/support/index.html.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P704iμ handset, Battery Pack and FOMA AC Adapter for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a ‘flight mode’ or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

本索引は、本書に記載されている用語や記載内容を要約した用語を50音順に収録しています。知りたい内容が見つからない場合は、別の用語で探してください。

<例>
ｉアプリの「ソフト設定」でｉアプリ待受画面を設定したいとき

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

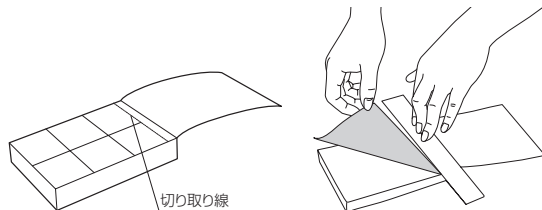
英字・数字

クイックマニュアル

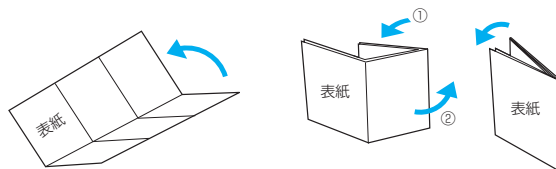
クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル「海外利用編」は、海外で国際ローミング(WORLD WING)をご利用いただく際に携帯してください。

切り取りかた

切り取り線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
定規などを切り取り線に合わせて切り取れます。
- はさみなどで切り取る際には、けがなどに気を付けてください。

折りかた

表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。
- 1枚目、2枚目と順番に重ね、折り畳んでお使いください。

Do Co Mo FOMA P704iμ

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの)151(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの)113(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

＜切り取り線＞

電話帳の登録(本体)

■登録先選択

待受画面→[○]→電話帳登録→本体

■名前入力

名前を入力→フリガナを確認

■グループ選択

GR＜未登録＞→グループを選択

■電話番号入力(4番号まで)

＜未登録＞→電話番号を入力→アイコンを選択

■メールアドレスを入力(3アドレスまで)

＜未登録＞→メールアドレスを入力→アイコンを選択

■住所入力

＜未登録＞→郵便番号を入力→住所を入力

■誕生日入力

＜未登録＞→誕生日を入力

■メモ入力

＜未登録＞→メモを入力

■静止画を登録

＜未登録＞→静止画選択→フォルダを選択→静止画を選択

■キャラ電選択

＜未登録＞→キャラ電選択→キャラ電を選択

■メモリ番号入力

NO→3桁のメモリ番号を入力→[✉]

リダイヤル・発信履歴・着信履歴から登録

■FOMA端末(本体)に追加登録

リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示→[iα]→電話帳登録→本体→追加登録→検索方法を選択→電話帳を検索→登録する電話帳を選択→[●]→[✉]→YES

電話帳の修正

電話帳詳細画面を表示→[✉]→修正したい項目を選択→内容を修正→[✉]→YES

文字の入力

■文字入力画面

■入力文字

漢・・・・・漢字ひらがな

カナ・・・カタカナ

英・・・・・英字

数・・・・・数字

■文字入力方式の選択

[メニュー]→[設定]→その他→文字入力方式→入力モード→入力モードにチェック

・モード1(かな方式)にチェック
・モード2(2タッチ方式)にチェック
・モード3(ニコタッチ方式)にチェック

→[✉]→優先的に使うモードを選択

■濁点、半濁点入力

文字を入力→[＊]を数回押す

■句読点入力

[＃]を数回押す

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切替

[✉]を数回押す

■絵文字入力
[iα]→絵文字入力→絵文字を選択→[✉]

■記号入力
[iα]→記号入力→記号を選択→[✉]

■改行入力
[📷]を押す

■スペース入力
[iα]→スペース入力

■文字消去
[○]でカーソル移動→[CLR クリア]

■大文字／小文字切替
文字を入力→[☎]

フリーメモに「タダの菓子」を入力

■文字入力(編集)画面を表示
[メニュー]→[LifeKit]→フリーメモ→[✉]

■ひらがなを入力(モード1)
た→[4]を1回、[○]を1回
だ→[4]を1回、[✳]を1回
の→[5]を5回
か→[2]を1回
し→[3]を2回

■文字を変換
[○]で「の」までカーソルを移動→[○]
→[○]で「タダの」を選んで[●]
→同様に残りの文字を確定

カメラ

■静止画撮影
待受画面→[📷]→[●]→[●]
→保存したいフォルダを選択

■連続撮影
待受画面→[📷]→[▲]→連写モード
→オート・マニュアル・オートブラケット
→[●]→静止画を選択→[✉]→[●]
→保存したいフォルダを選択→[●]
※連続撮影した静止画を1枚だけ選択して保存する場合の手順です。

■動画撮影
待受画面→[📷](1秒以上)→[●]→[●]→[●]
→保存したいフォルダを選択

<切り取り線>

ビューア・プレーヤー

■静止画再生
[メニュー]→[データBOX]→マイピクチャ
→フォルダを選択→静止画を選択

■動画再生
[メニュー]→[データBOX]→ｉモーション
→フォルダを選択→動画を選択

■メロディ再生
[メニュー]→[データBOX]→メロディ
→フォルダを選択→メロディを選択

音楽再生

■SDオーディオ再生
[メニュー]→[データBOX]→SDオーディオ
→プレイリストを選択→曲を選択

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける
相手の電話番号を入力→[テレビ電話]
→お話が終わったら[☎]で通話を終了する

■テレビ電話を受ける
着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅
→[テレビ電話]・[☎]・[●]
→お話が終わったら[☎]で通話を終了する
[テレビ電話]・[☎]で受けると自分のカメラ画像、[●]で受けると代替画像を相手に送信します。

■ハンズフリーに切り替える
通話中→[☎]

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

■作成画面を表示
待受画面→[✉]→新規メール作成

■宛先を入力
宛先欄を選択→入力方法を選択
→宛先を入力または選択

■題名を入力
題名欄を選択→題名を入力

■本文を入力
本文欄を選択→本文を入力

■メールを送信
[✉]→送信完了後[●]

ファイルの添付

■画像添付
作成画面を表示→[iα]
→添付ファイル追加→イメージ添付
→フォルダを選択→画像を選択

■メロディ添付
作成画面を表示→[iα]
→添付ファイル追加→メロディ添付
→フォルダを選択→メロディを選択

■ｉモーション添付
作成画面を表示→[iα]
→添付ファイル追加→ｉモーション添付
→フォルダを選択→ｉモーションを選択

ｉモードメールの受信

「✉(グレー)」が点滅→受信結果画面が表示
→「メール」を選択
→表示したいｉモードメールを選択

ｉモード問い合わせ

待受画面→[✉](1秒以上)

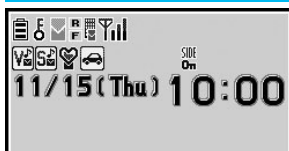
<切り取り線>

その他のメール機能

■返信
返信したいメールを選択または表示
→[iα]→返信・引用返信・参照返信
→本文欄を選択※→本文を入力→[✉]
→送信完了後[●]
※参照返信時は不要

■メールの転送
転送したいメールを選択または表示
→[iα]→転送→宛先欄を選択
→入力方法を選択
→宛先を入力または選択→[✉]
→送信完了後[●]

主なアイコン

11/15(Thu) 10:00

：電池残量(目安)
：オールロック中
：PIMロック中
：ダイヤル発信制限中
：シークレットモード、
シークレット専用モード中
(グレー)：未読ｉモードメール･SMSあり
(グレー)：未読メッセージRあり
(グレー)：未読メッセージFあり

ｉモードセンターからの通知
(グレー)：ｉモードメールあり
(グレー)：メッセージRあり
(グレー)：メッセージFあり
：ｉモードメールあり
(メール選択受信設定を「ON」に設定中)

：電波受信レベル(目安)
self：セルフモード中
：バイブレータを「OFF」以外に設定中
⇒P.20
：着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中
：マナーモード中⇒P.33
：公共モード(ドライブモード)中⇒P.33
：サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中⇒P.26

機能一覧表

メニュー	機能名称（[ ]内はメニュー番号）
メール	受信BOX 送信BOX 保存BOX 新規メール作成 チャットメール ｉモード問い合わせ テンプレート SMS作成 SMS問い合わせ メール選択受信 メール設定

メニュー	機能名称
ｉモード	ｉMenu Bookmark 画面メモ Internet ラストURL メッセージR/F ｉチャネル ｉモード問い合わせ ユーザ証明書操作 ｉモード設定
ｉアプリ	ソフト一覧（本体） ｉアプリ（microSD） 自動起動設定 ｉアプリ実行情報

メニュー	機能名称
設定	**着信** [50] 着信音量 [13] 着信音選択 [54] バイブレータ [20] マナーモード選択 電話帳画像着信設定 [58] 着信アンサー設定 [18] クローズ動作設定 [68] メール／メッセージ鳴動 [90] 呼出時間表示設定 [65] 確認機能設定 オープン設定 パケット通信中着信設定 **ディスプレイ** [56] 画面表示設定 [70] 照明設定 [86] 配色パターン [93] プライベートウィンドウ テロップ設定

メニュー	機能名称
設定	**ディスプレイ（つづき）** [66] フォント設定 [63] デスクトップ [15] バイリンガル [52] プライベートメニュー設定 [57] メニュー画面設定 ピクチャ表示設定 オープン新着表示 [47] オート表示 [36] 表示アイコン説明 **イルミネーション設定** イルミネーション一括設定 [89] 着信イルミネーション 通話中イルミネーション 不在未読イルミネーション クローズイルミネーション 時報イルミネーション ミュージックイルミネーション サイドボタンイルミネーション

メニュー	機能名称
設定	**ロック／セキュリティ** オールロック PIMロック セルフモード ダイヤル発信制限 登録外着信拒否 [10] 非通知着信設定 [29] 端末暗証番号変更 PIN設定 [40] シークレットモード [41] シークレット専用モード フェイスリーダー設定 スキャン機能 PIMロック設定

メニュー	機能名称
設定	**時間／料金** [61] 通話時間／料金 [60] 積算リセット [48] 通話中時間表示 通話料金通知 上限値アイコン消去 **時計** [31] 時計設定 [39] 時計表示設定 自動電源ON／OFF設定 アラーム通知設定 **通話** [76] ノイズキャンセラ [75] 通話品質アラーム [77] 再接続機能 保留音設定

＜切り取り線＞

<切り取り線>

メニュー	機能名称（[ ]内はメニュー番号）

設定	**テレビ電話**
	画像品質設定
	画像選択
	テレビ電話ハンズフリー設定
	音声自動再発信
	遠隔監視設定
	テレビ電話切替機能通知
	アプリケーション通信設定
	接続待ち時間設定
	iモード問い合わせ設定
	[81] 接続先選択
	SMS center設定
	証明書
	証明書センター接続設定

設定	**iアプリ設定**
	ソフト情報表示設定
	αの照明設定
	αバイブレータ
	待受画面終了
	外部オプション
	[51] イヤホン切替
	[94] オート着信
	Feel＊Talk
	通話後表示
	履歴表示
	イルミネーション
	ネットワーク設定
	プレフィックス設定
	国際ダイヤル設定
	ネットワーク接続モード選択
	優先ネットワーク設定
	ネットワーク名表示設定

設定	**その他**
	[30] ボタン確認音
	充電確認音
	[71] 電池残量
	サイドボタン操作
	[35] 文字入力方式
	履歴表示設定
	[84] ポーズダイヤル
	サブアドレス設定
	ボイス設定
	USBモード設定
	[23] 設定リセット
	端末初期化
	ソフトウェア更新
データBOX	[46] マイピクチャ
	iモーション
	[16] メロディ
	キャラ電
	SDオーディオ

LifeKit	バーコードリーダー
	[79] 赤外線受信
	SD-PIM
	カメラ
	使いかたナビ
	テキストリーダー
	[45] スケジュール
	[44] アラーム
	[85] 電卓
	[95] ToDo
	[42] フリーメモ
	メモの再生／消去
	テレビ電話メモの再生／消去
	[55] 伝言メモ
	[43] 待受中音声メモ（通話中音声メモ）
	[91] おしゃべり機能
	電話帳画像転送
	FOMAカード（UIM）操作
	電話帳お預かりサービス

サービス	[25] サービス問い合わせ
	[17] 発信者番号通知
	留守番電話
	キャッチホン
	転送でんわ
	迷惑電話ストップ
	番号通知お願いサービス
	着信動作選択
	通話中着信設定
	遠隔操作設定
	デュアルネットワーク
	英語ガイダンス
	海外用サービス
	ローミング設定
	追加サービス
	サービスダイヤル
	マルチナンバー
	着もじ

電話帳	電話帳登録
	電話帳検索
	[26] グループ設定
	[22] 電話帳登録件数
	[62] 電話帳便利機能
	[12] 電話帳指定設定
	ボイスダイヤル登録
ユーザデータ	[0] 自局番号表示
	[82] ユーザ辞書
	ダウンロード辞書
	[38] 定型文
	[97] メールメンバー
	チャットグループ
	[24] 着信履歴
	発信履歴

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始

[メニュー]→[サービス]→留守番電話
→留守番電話サービス開始→YES→YES
→呼出時間(秒)を入力

■留守番サービス停止

[メニュー]→[サービス]→留守番電話
→留守番サービス停止→YES

■留守番メッセージ再生

[メニュー]→[サービス]→留守番電話
→留守番メッセージ再生→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始

[メニュー]→[サービス]→キャッチホン
→キャッチホンサービス開始→YES

■キャッチホンサービス停止

[メニュー]→[サービス]→キャッチホン
→キャッチホンサービス停止→YES

■通話中にかかってきた電話に出る

通話中着信→[通話キー]
[通話キー]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

転送でんわサービス

■転送サービス開始

[メニュー]→[サービス]→転送でんわ
→転送サービス開始→転送先設定
→転送先の電話番号を入力
→呼出時間設定→呼出時間(秒)を入力
→開始→YES

■転送サービス停止

[メニュー]→[サービス]→転送でんわ
→転送サービス停止→YES

＜切り取り線＞

マナーモード

■設定／解除

待受中･通話中→[＃](１秒以上)

公共モード(ドライブモード)

■設定／解除

待受画面→[＊](１秒以上)

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス (有料:案内料＋通話料) ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	104
電報の発信(有料:電報料)	115
時報サービス(有料)	117
警察への緊急通報	110
消防･救急への緊急通報	119
海上で事件･事故が起きたときの緊急通報	118
災害用伝言ダイヤル(有料)	171
コレクトコール (有料:案内料＋通話料)	106
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番＋177

＜紛失時などの緊急連絡先＞

おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

おまかせロックの設定／解除

[フリーダイヤル] 0120-524-360

受付時間 24時間

その他緊急連絡先

連絡先:

連絡先:

連絡先:

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

FOMA P704iμ

クイックマニュアル「海外利用編」

海外での紛失、盗難、精算などについて

<DoCoMo インフォメーションセンター>（24時間受付）

●ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-5366-3114*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P704iμから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

●一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-0120-0151 *

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.18を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.21をご覧ください。

<切り取り線>

海外での故障に関して

<ネットワークテクニカルオペレーションセンター>（24時間受付）

●ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P704iμから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

●一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-5931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.18を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.21をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

海外で利用するための準備

iモードの設定

■日本で設定

[iα]→iMenu→料金＆お申込・設定
→オプション設定→海外利用設定
→iモード利用設定→「利用する」を選択
→iモードパスワードを入力→決定

■海外で設定

[iα]→iMenu→海外利用設定
→iモード利用設定→「利用する」を選択
→iモードパスワードを入力→決定

遠隔操作設定

■遠隔操作設定開始

[メニュー]→[サービス]→遠隔操作設定→遠隔操作開始
→YES

■遠隔操作設定停止

[メニュー]→[サービス]→遠隔操作設定→遠隔操作停止
→YES

時計設定

[メニュー]→[設定]→時計→時計設定
→自動

通信方式と利用できるサービス

本FOMA端末は3Gローミングエリアでご利用になれます。

通信サービス	3G
音声電話	○
テレビ電話	○
iモード	○
iモードメール	○
SMS	○
iチャネル	○
データ通信	×※

※海外では、パソコンと接続してのパケット通信と64Kデータ通信はご利用になれません。

通信事業者の検索方法の設定

[お買い上げ時の設定：オート]

[メニュー]→[設定]→ネットワーク設定
→ネットワーク接続モード選択→項目を選択

オート
…自動的に他の通信事業者に接続し直す。
設定が終了。

マニュアル
…通信事業者の一覧を表示。

ネットワーク再検索
…「オート」：自動的に接続先が切り替わる。
設定が終了。
…「マニュアル」：通信事業者の一覧を表示。

→通信事業者を選択

優先的に接続する通信事業者の設定

[メニュー]→[設定]→ネットワーク設定
→優先ネットワーク設定
→<未登録>を選んで[iα]
→リストから登録
→通信事業者を選択→[●]→[✉]
→YES

通信事業者を待受画面に表示

[メニュー]→[設定]→ネットワーク設定
→ネットワーク名表示設定
→表示あり・表示なし

ディスプレイ

待受画面にご利用のネットワークが表示されます。

11/15(Thu) 10:00
XXXXXX

帰国後の設定

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。

- ネットワークを手動で切り替えている場合
  [メニュー]→[設定]→ネットワーク設定
  →ネットワーク接続モード選択→マニュアル
  →DoCoMo

<切り取り線>

電話をかける／受ける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

■電話帳を利用して日本に国際電話をかける
電話帳詳細画面を表示→[☎]・[●]→発信
[TV]を押すと国際テレビ電話発信します。

■「+」を利用して国際電話をかける
[0](1秒以上)→「国番号－地域番号(市外局番)－相手先電話番号」を入力→[☎]・[●]
[TV]を押すと国際テレビ電話発信します。

日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

相手先電話番号を入力→[☎]・[●]
[TV]を押すと国際テレビ電話発信します。

■電話帳を利用して電話をかける
電話帳詳細画面を表示→[☎]・[●]
→元の番号で発信

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

電話がかかってきたら[☎]・[●]
(テレビ電話の場合、[TV]・[☎]・[●])

ネットワークサービスの利用

遠隔操作設定

- 日本国内で設定してください。

[メニュー]→[サービス]→海外用サービス→遠隔操作設定(海外)
→YES→音声ガイダンスの指示に従って操作

ローミングガイダンス設定

- 日本国内で設定してください。

[メニュー]→[サービス]→ローミング設定
→ローミングガイダンス設定→開始／停止→YES

ローミング時着信規制

- 日本国内で設定してください。

[メニュー]→[サービス]→ローミング設定
→ローミング時着信規制→開始／停止
→全着信規制・デジタル通信着信規制※
→YES→ネットワーク暗証番号を入力
※「開始」選択時のみ

留守番電話サービス

■留守番サービス開始／停止

メニュー→サービス→海外用サービス
→留守番電話(海外)
→留守番サービス開始／停止→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

■留守番メッセージ再生

メニュー→サービス→海外用サービス
→留守番電話(海外)
→留守番メッセージ再生→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

■留守番サービス設定

メニュー→サービス→海外用サービス
→留守番電話(海外)
→留守番サービス設定→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

転送でんわサービス

■転送サービス開始／停止

メニュー→サービス→海外用サービス
→転送でんわ(海外)
→転送サービス開始／停止→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

ローミングガイダンス(海外)

メニュー→サービス→海外用サービス
→ローミングガイダンス(海外)→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

<切り取り線>

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤル設定などで利用する国番号は、以下の番号を使用してください。

(2007年6月現在)

ご利用地域	国番号
アイルランド	353
アメリカ合衆国	1
アラブ首長国連邦	971
イギリス	44
イタリア	39
インド	91
インドネシア	62
オーストラリア	61
オランダ	31
カナダ	1
韓国	82
ギリシア	30

主要国の国番号(つづき)

(2007年6月現在)

ご利用地域	国番号
シンガポール	65
スイス	41
スウェーデン	46
スペイン	34
タイ	66
台湾	886
チェコ	420
中国	86
デンマーク	45
ドイツ	49
トルコ	90
ニュージーランド	64
ノルウェー	47
ハンガリー	36
フィリピン	63

主要国の国番号(つづき)

(2007年6月現在)

ご利用地域	国番号
フィンランド	358
ブラジル	55
フランス	33
ベトナム	84
ベルギー	32
ポーランド	48
ポルトガル	351
香港	852
マカオ	853
マレーシア	60
モナコ	377
ルクセンブルグ	352
ロシア	7

※このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

（2007年6月現在）

ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アラブ首長国連邦	00
イギリス	00
イタリア	00
インド	00
インドネシア	001
オーストラリア	0011
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
ギリシア	00
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00

主要国の国際電話アクセス番号（表1）（つづき）

（2007年6月現在）

ご利用地域	アクセス番号
スペイン	00
タイ	001
台湾	002
チェコ	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
トルコ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	00/990
ブラジル	0041/0021/0023
フランス	00

主要国の国際電話アクセス番号（表1）（つづき）

（2007年6月現在）

ご利用地域	アクセス番号
ベトナム	00
ベルギー	00
ポーランド	00
ポルトガル	00
香港	001
マカオ	00
マレーシア	00
モナコ	00
ルクセンブルグ	00
ロシア	810

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

（2007年6月現在）

ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アルゼンチン	00
イギリス	00
イスラエル	014
イタリア	00
オーストラリア	0011
オーストリア	00
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
コロンビア	009
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）（つづき）

（2007年6月現在）

ご利用地域	国際識別番号
タイ	001
台湾	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
フィリピン	00
フィンランド	990
ブラジル	0021
フランス	00
ベルギー	00
香港	001
マレーシア	00
ルクセンブルグ	00

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル「海外利用編」表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP.1の「海外での故障に関して」をご覧ください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「滞在国の国際電話アクセス番号（表1）」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）」が必要になります。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

＜切り取り線＞

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから	i Menu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ 各種手続き(ドコモeサイト) パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種手続き(ドコモeサイト)

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

FOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

- 公共モード(ドライブモード/電源OFF)⇒P.70、P.71
  電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- 伝言メモ機能⇒P.73
  電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。
- バイブレータ⇒P.104
  電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。
- マナーモード/スーパーサイレント/オリジナルマナー⇒P.108
  ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します(マナーモード・スーパーサイレント)。
  マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます(オリジナルマナー)。
  ※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス(⇒P.361)、転送でんわサービス(⇒P.365)などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
<DoCoMo インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて
<DoCoMo インフォメーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-5366-3114*** (無料)

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P704iμから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-0120-0151***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P.382をご覧ください。

海外での故障に関して
<ネットワークテクニカルオペレーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-6718-1414*** (無料)

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P704iμから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-5931-8600***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P.382をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ　株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ関西　株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

'07.8(第2.1版)
3TR005196BAA
S0707F0

FOMA® P704iμ

データ通信マニュアル

データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA P704iμでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）･「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、パケット通信・64Kデータ通信とデータ転送（OBEX）に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- 本FOMA端末は、IP接続に対応していません。
- 海外では、パソコンに接続してのパケット通信と64Kデータ通信はご利用になれません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信形態です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。
P.3以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信形態です。FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続し64kbpsの通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。
P.3以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送（OBEX）

赤外線やFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータを送受信する通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信できます。
FOMA端末とパソコン間でFOMA USB接続ケーブルを使ってデータ転送（OBEX）を行う際には、ドコモケータイdatalinkやデータリンクソフトをインストールしてください。

お知らせ

- FOMA端末からは、PIAFSなどのPHSサービス（32Kデータ通信および、64Kデータ通信）はご利用できません。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」、「sigmarion III」、「musea」に接続してデータ通信を行うことができます。「sigmarion II」や「musea」を利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信の接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

次ページにつづく

パケット通信および64Kデータ通信の条件

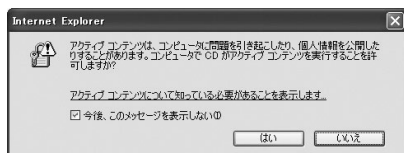
FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。
・FOMA USB接続ケーブル（別売）が利用できるパソコンであること
・FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
・FOMAサービスエリア内であること
・パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること
ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境について

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT 互換機 FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用する場合：USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/Home Edition、Windows Vista™（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 2000 Professional：64Mバイト以上 Windows® XP Professional/Home Edition：128Mバイト以上 Windows Vista™：512Mバイト以上 （各日本語版）
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量

●OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
●必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。
※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
・FOMA USB接続ケーブル（別売）または、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）
・付属CD-ROM「FOMA P704iμ用CD-ROM」

お知らせ

●USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」または、「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
●本書では、FOMA USB接続ケーブルの場合で説明しています。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の2つの方法があります。

FOMA USB接続ケーブルを使う

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。（P.3参照）
パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信形態に利用できます。
●データ通信を行うには「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
「メニュー▶設定▶その他▶USBモード設定▶通信モード」の操作を行います。
●ご使用前にP704iμ通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要です。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。
データ転送を行う場合のみ利用できます。

■用語解説

●APN
Access Point Nameの略です。パケット通信において、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別します。例えばmopera Uの場合は「mopera.net」のような文字列で表します。

●cid
Context Identifierの略です。パケット通信をする際に、FOMA端末にあらかじめ登録するAPNの登録番号です。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。

●Administrator権限・管理者権限
本書では、Windows® XP、Windows® 2000 Professional、Windows Vista™のシステムのすべてにアクセスできる権限のことを指しています。通常、Administratorsのグループに所属したユーザーはこの権限を持っています。一方、Administrator権限または管理者権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールなどを行うとエラーになります。
パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

●DNS
Domain Name Systemの略です。「nttdocomo.co.jp」のような人間が理解しやすい名前を、コンピュータが管理しやすい数字で表したアドレスに変換するシステムのことです。

●OBEX
OBEX（Object Exchange）は、IrDA（Infrared Data Association）が規定したデータ通信についての国際規格（プロトコル）です。
OBEX規格に対応した機器やソフトウェアを使うことで、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどさまざまな情報機器間で、データの送受信ができます。

●IrDA
Infrared Data Associationの略です。赤外線を用いたデータ通信の規格の制定、促進を行う国際的な組織です。

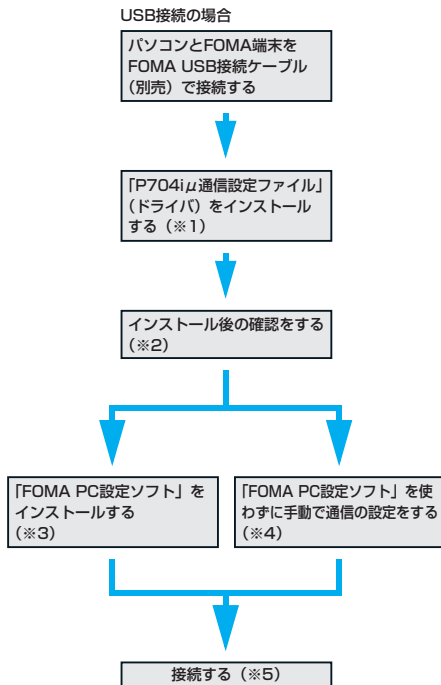
●IrMC
Ir Mobile Communicationsの略です。IrDAが定めた規格で、電話帳、スケジュール、メール、フリーメモなどのデータ交換方法が定められています。また、機器間の通信には、OBEX規格を使用することが規定されています。

●QoS
Quality of Serviceの略でネットワークのサービス品質です。FOMA端末のQoS設定では、速度を限定しないで接続するかあるいは最高速度（上り64kbps、下り384kbps）でのみ接続するかを設定できます。（接続後の速度は可変します。）詳しくはP.53参照。

●通信設定最適化
FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。
「Wireless」、「W-CDMA」、「Windows®」の環境下でFOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要です。

●W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つです。
FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

※1～5：パソコンのOSにより、準備のための参照先が異なります。

パソコンのOS	参照ページ				
	※1	※2	※3	※4	※5
Windows® XP／Windows® 2000 Professional	P.4	P.6	P.7	P.18、P.28	P.14、P.27
Windows Vista™	P.30	P.31	P.31	P.41、P.45	P.38、P.44

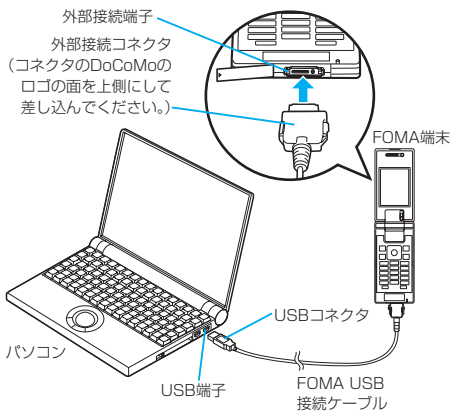
■付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」について
FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続してパケット通信を行うときには、付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」の「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）をパソコンにインストールしてください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「FOMA PC設定ソフト」をインストールすることをおすすめします。

パソコンとFOMA端末を接続する

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

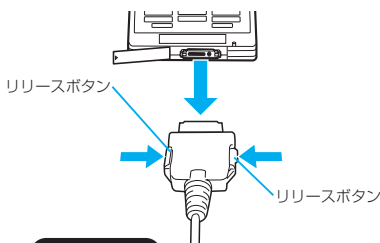
1 **FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む**

次ページにつづく

2 FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

お知らせ

- FOMA USB接続ケーブルのコネクタは無理に差し込まないでください。故障の原因となります。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。（パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。）
- FOMA端末に表示される「 」は、パケット通信または64Kデータ通信の通信設定ファイル（ドライバ）のインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。通信設定ファイル（ドライバ）のインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

■取り外し方

1. FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。
2. パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く。

お知らせ

- FOMA USB接続ケーブルは無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- データ通信中はFOMA USB接続ケーブルを取り外さないでください。パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- FOMA USB接続ケーブルの取り付け・取り外しは連続して行わないでください。一度、取り付け・取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

Windows® XP ／ Windows® 2000 Professionalをご利用の場合

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で初めて接続するときに必要です。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

Windows® XPの場合

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する（P.3参照）

2 Windows® を起動し、付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「FOMA P704iμ CD-ROM」の画面を閉じる

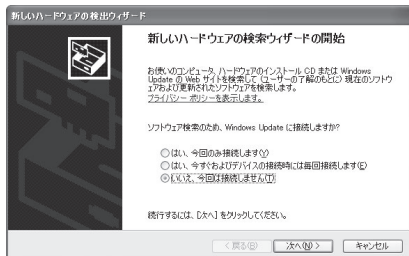
- この画面は「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合は、手順4へ進みます。
- 「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール中にこの画面が表示された場合も画面を閉じてください。

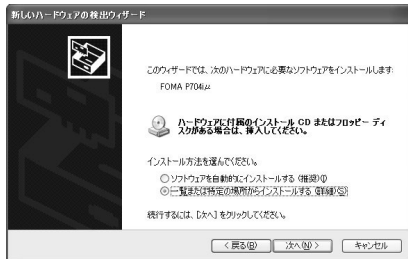
4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

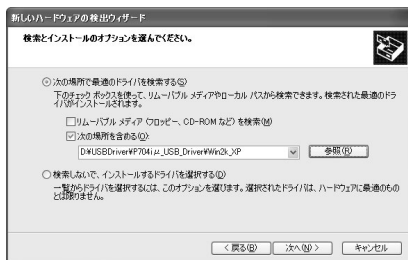
5 インストールを始める

タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップのメッセージが数秒間表示されたあと、下の画面が表示されます。
「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。

- お使いのパソコンにより、この画面は表示されない場合があります。

次ページにつづく

6 インストール方法を選ぶ

「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。

7 ドライバを選ぶ

「次の場所で最適のドライバを検索する」を選んだあと、「リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックします。「参照」をクリックし、「<CD-ROMドライブ名>:¥USBDriver¥P704iμ_USB_Driver¥Win2k_XP」を指定し、「次へ」をクリックします。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）

8 「完了」をクリックする

4つの「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）（P.6参照）がすべてインストールされます。
すべての「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

引き続き、「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。（P.6参照）

Windows® 2000 Professionalの場合

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する（P.3参照）

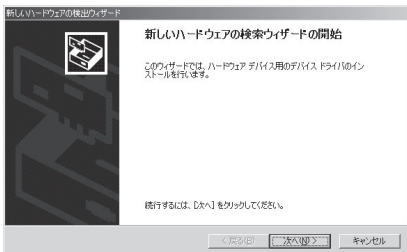
2 Windows® を起動し、付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「FOMA P704iμ CD-ROM」の画面を閉じる

- この画面は「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合は、手順4へ進みます。
- 「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール中にこの画面が表示された場合も画面を閉じてください。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

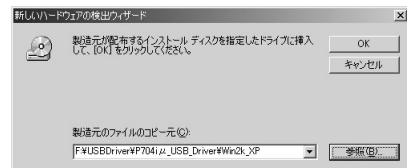
5 インストールを始める

「次へ」をクリックします。

6 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

- お使いのパソコンによっては「USB DEVICE」と表示されることがあります。

7 「場所を指定」を選択し、「次へ」をクリックする

8 検索するフォルダを指定する

フォルダ名は、「<CD-ROMドライブ名>:¥USBDriver¥P704iμ_USB_Driver¥Win2k_XP」です。
検索するフォルダを指定したら、「OK」をクリックします。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）
- ドライバはWindows® XPと共通です。

9 ドライバ名（P.6参照）を確認して、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA P704iμ」と表示されます。
- お使いのパソコンによっては「USB DEVICE」と表示されることがあります。

10 「完了」をクリックする

4つの「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）（P.6参照）がすべてインストールされます。

引き続き、「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。（P.6参照）

インストールしたドライバを確認する

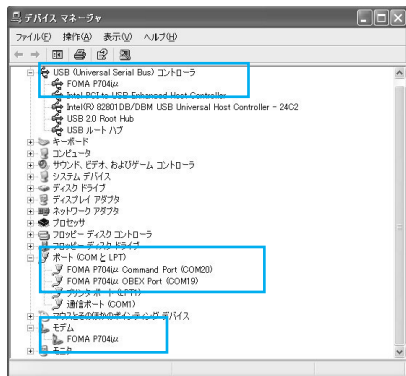
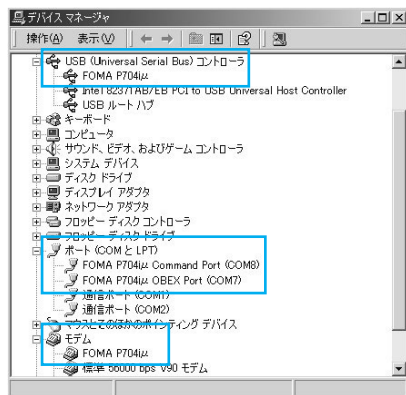
「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1 <Windows® XPの場合>
「スタート」▶「コントロールパネル」を開く▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を開く

<Windows® 2000 Professionalの場合>
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く▶「システム」を開く

2 **「ハードウェア」タブをクリック▶「デバイスマネージャ」をクリックする**

3 **各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する**

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

Windows® XPの場合

Windows® 2000 Professionalの場合

※COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	P704iμ通信設定ファイル（ドライバ）名
ポート（COM と LPT）	· FOMA P704iμ Command Port · FOMA P704iμ OBEX Port
モデム	· FOMA P704iμ
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	· FOMA P704iμ

「FOMA PC設定ソフト」を使って接続先の設定をするにはP.8参照。
「FOMA PC設定ソフト」を使わずに接続先の設定をするにはP.18、P.28参照。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のアンインストールが必要になった場合（バージョンアップする場合など）は、次の手順で行ってください。ここではWindows® XPを例にしてアンインストールを説明します。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 **FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す**

2 **「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を開く**

3 **「FOMA P704iμ USB」を選択して、「変更と削除」をクリックする**

4 **「OK」をクリックする**

5 **「はい」をクリックしてWindows® を再起動する**

以上でアンインストールは終了です。
- 「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

- 「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA USB接続ケーブルを抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、「FOMA P704iμ用CD-ROM」内の「USB Driver」→「Win2k_XP」を開き「p704iuun.exe」を実行して「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）を一度削除してから、再度インストールし直してください。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。（P.18、P.28参照）

■かんたん設定
ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「通信設定最適化」などをかんたんに行います。

■通信設定最適化
「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要になります。

■接続先（APN）の設定
パケット通信に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。
あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid※の1番にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid※の3番にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。
※「Context Identifier」のことで、パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号

お知らせ

- 旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または、本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン4.0.0）より以前のバージョンをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

STEP1　ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします。
インストール方法についてはP.8参照。
本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン4.0.0）より以前のバージョンがインストールされている場合は、本「FOMA PC設定ソフト」をインストールできませんので、あらかじめアンインストールしてください。旧「W-TCP設定ソフト」および、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.9参照。

STEP2　設定前の準備

各種設定前の準備をします。
各種設定の前にFOMA端末にパソコンが接続され、正しく認識されていることを確認してください。FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法ついてはP.3参照。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行えません。FOMA端末がパソコンに正しく認識されているか確認するにはP.6参照。
「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール方法についてはP.4～P.6参照。

STEP3　各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします。
かんたん設定からパケット通信を設定する
　「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合. P.10
　「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合. P.11
かんたん設定から64Kデータ通信を設定する
　「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合. P.13
　「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合. P.13
パケット通信性能を最適化するにはP.16参照。
接続先（APN）を設定するにはP.17参照。

STEP4　接　続

インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

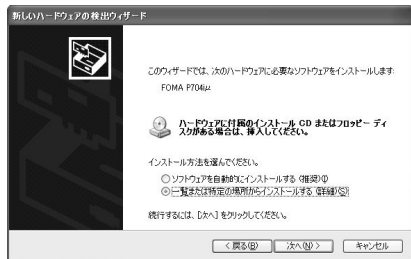
FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、通信設定最適化や接続先（APN）の設定ができます。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

FOMA端末がパソコンに正しく認識されているかご確認ください

「FOMA PC設定ソフト」をインストールする前に、パソコンのデバイス上に「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）が正しく登録されている必要があります。（P.6参照）

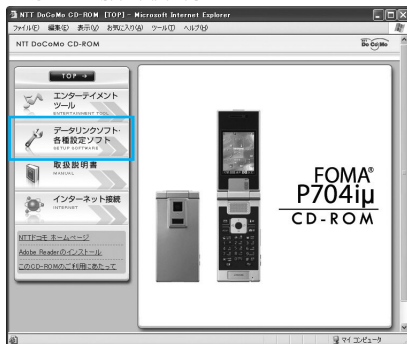
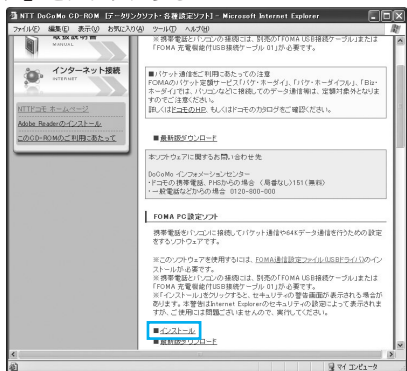
■FOMA端末をはじめてパソコンに接続すると
下のようなウィザードが開始されます。
FOMAデータ通信を利用するには、ご利用のパソコン側に、FOMA端末が「通信デバイス」として登録されている必要があります。
「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストールについてはP.4～P.6参照。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

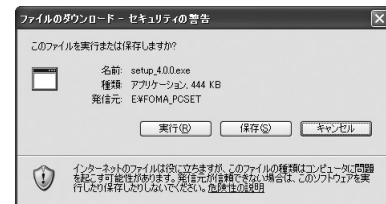
ここではWindows® XPにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 「FOMA PC設定ソフト」をインストールするには「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

メニューが動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
マイコンピュータなどでCD-ROMを参照して、「FOMA_PCSET」フォルダ内にある「setup_4.0.0.exe」をダブルクリックしてください。手順4へ進みます。

- 「FOMA PC設定ソフト」のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

3 「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」をクリックする

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

- 「ファイルのダウンロード－セキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行」をクリックしてください。

- 「Internet Explorer－セキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行する」をクリックしてください。

4 「次へ」をクリックする

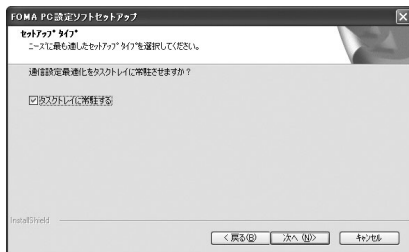
セットアップを始める前に、現在稼働中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックして、ご使用中のプログラムを保存終了させたあとインストールを再開してください。

- 「旧W-TCP設定ソフト」、「旧FOMAデータ通信設定ソフト」および「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.9参照。

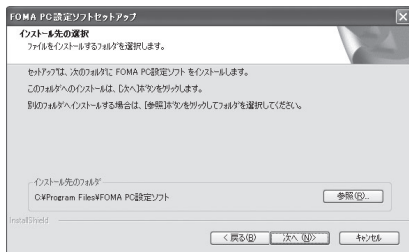
5 内容をご確認の上、契約内容にご同意いただける場合は、「はい」をクリックする

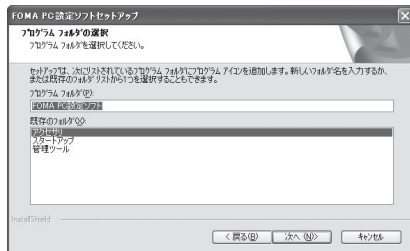
6 セットアップタイプを選択する

セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」を常駐させるかどうか選択できます。常駐する場合は「タスクトレイに常駐する」にチェックを付けて、「次へ」をクリックしてインストールを続けてください。

- 「タスクトレイに常駐する」のチェックを付けなかった場合でも「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」→「通信設定最適化をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定変更可能です。

デスクトップの右下（通常）のタスクトレイに表示されます。

7 インストール先を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、「参照」をクリックして、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。
（異なったドライブにもインストールできますが、ハードディスクスペースなどの問題がなければそのままお進みください。）

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、新規フォルダ名を入力して、「次へ」をクリックしてください。

9 「完了」をクリックする

セットアップが完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。

■「FOMA PC設定ソフト」インストール時の画面表示

旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「W-TCP設定ソフト」をアンインストールしてください。

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMAデータ通信設定ソフト」をアンインストールしてください。

本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン4.0.0）より以前のバージョンがインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールしてください。

インストール途中で「キャンセル」を押した場合
セットアップの途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックした場合、確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は「いいえ」を、意図的に中止する場合は「はい」をクリックし、「完了」をクリックしてください。

■「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報の確認について

「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」→「バージョン情報」を選択します。
「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報が表示されます。

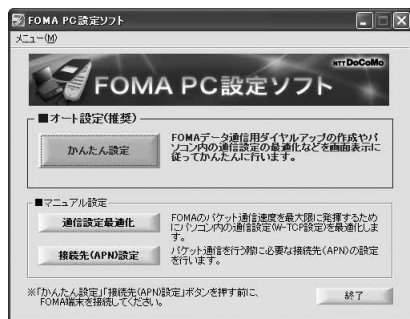
通信の設定を行う

パケット通信や64Kデータ通信に関するさまざまな設定をします。
簡単に設定できる「オート設定」とパソコンの知識が必要な「マニュアル設定」があります。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されているかご確認ください。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を開く

<Windows® 2000 Professionalの場合>
「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

この設定ソフトでは、お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダの情報」に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

・「かんたん設定」からパケット通信を設定する場合はP.10参照。
・「かんたん設定」から64Kデータ通信を設定する場合はP.13参照。
・「通信設定最適化」を設定する場合はP.16参照。
・「接続先（APN）設定」をする場合はP.17参照。

通信ポート指定について

1 「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」▶「通信設定」を選択する

・自動設定（推奨）
　自動的に接続されているFOMA端末を指定します。
　通常は自動設定をお選びください。
・COMポート指定
　COMポート番号を指定したい場合に、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポート番号（COM1～99）を指定します。
●COMポート番号の確認方法についてはP.19参照。

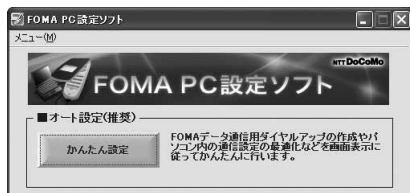
2 「OK」をクリックする

設定が適用されます。

かんたん設定からパケット通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。
●「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.11参照。

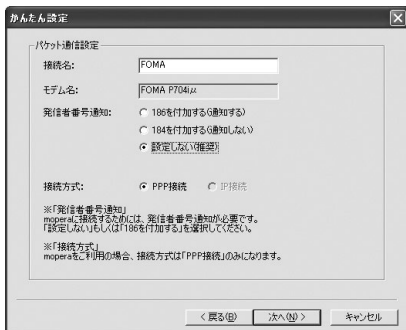
次ページにつづく

4 「OK」をクリックする

●パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

●半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
●本端末はPPP接続のみに対応しておりますので、接続方式は「PPP接続」を選択してください。
●ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択してください。「mopera U」および「mopera」に接続する場合は発信者番号が必要です。「設定しない」または「186を付加する」を選択してください。

6 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。

●ユーザーの選択は任意に行ってください。

7 「最適化を行う」にチェックを付け、「次へ」をクリックする

●すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

●設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
●「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.14参照）

●「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込みなどが必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 「OK」をクリックする

●パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

次ページにつづく

5 接続名を入力する

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- 「接続先（APN）の選択」欄には標準で「mopera.ne.jp（PPP接続）」が設定されていますが、「接続先（APN）設定」画面に進んでください。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択します。発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

6 「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、番号（cid）1には「mopera.ne.jp」が、番号（cid）3には「mopera.net」が設定されています。「追加」をクリックして、「接続先（APN）の追加」画面で、FOMAパケット通信に対応した接続先名（APN）を正しく入力して、「OK」をクリックします。
「パケット通信設定」の画面に戻ります。新たに設定した接続先（APN）を選択して、よろしければ「OK」をクリックしてください。

- 本端末はPPP接続のみに対応しておりますので、接続方式は「PPP接続」を選択してください。
  プロバイダの接続先（APN）、対応する接続方式については、各プロバイダにお問い合わせください。

7 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

8 「次へ」をクリックする

9 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ユーザーの選択は任意に行ってください。

10 「最適化を行う」にチェックを付け、「次へ」をクリックする

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

11 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

12 「OK」をクリックする

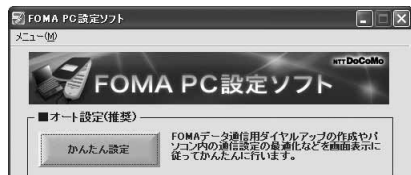
設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.14参照）

- 「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.13参照。

4 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
また、「モデムの選択」欄で、FOMA P704iμが表示されていることをご確認ください。
- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択してください。「mopera U」および「mopera」に接続する場合は発信者番号が必要です。

5 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。
- ユーザーの選択は任意に行ってください。

6 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

7 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.14参照）

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込みなどが必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 ダイヤルアップ情報を入力する

「mopera U」または「mopera」以外のISDN同期64K対応プロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、
①接続名の入力（任意）
②モデムの選択（FOMA P704iμ）
③プロバイダ接続の電話番号
をそれぞれに登録します。
④ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択します。
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。

- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。
- 「接続名」欄に半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。

5 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

6 「次へ」をクリックする

7 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ユーザーの選択は任意に行ってください。

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

FOMA

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.14参照）

設定した通信を実行する

ここではWindows® XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.3の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 デスクトップのダイヤルアップのショートカットアイコンをダブルクリックする

通信設定で作成されたFOMA接続のショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。

- ショートカットアイコンがない場合は以下の操作でアイコンを表示します。

＜Windows® XPの場合＞
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」

＜Windows® 2000 Professionalの場合＞
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」

2 ユーザー名、パスワードを入力し、「ダイヤル」をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合はユーザー名、パスワードについては空欄でも接続できます。
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」にチェックを付けると、このユーザーもしくはすべてのユーザーは次回から入力する必要がなくなります。

次ページにつづく

3 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックして、接続されたことを確認する

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

お知らせ

●ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが必要になることがあります。
●通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
●パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「」(通信中、データ送信中)
「」(通信中、データ受信中)
「」(通信中、データ送受信なし)
「」(発信中、または切断中)
「」(着信中、または切断中)

●64Kデータ通信中は、FOMA端末に「」が表示されます。

切断のしかた

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「切断」をクリックする

お知らせ

●ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
●パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

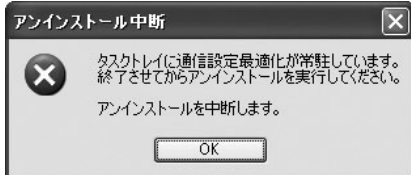
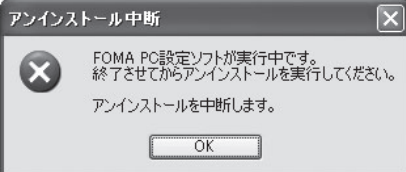
FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

1 起動中のプログラムを終了する

●「通信設定最適化ソフト」を終了します。
ウィンドウ右下タスクトレイの「通信設定最適化ソフト」を右クリックして、「終了」を選択します。

●「FOMA PC設定ソフト」を終了します。
「FOMA PC設定ソフト」右下にある「終了」をクリックします。
●「FOMA PC設定ソフト」や「通信設定最適化ソフト」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールをする

ここではWindows® XPでアンインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が異なります。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を開く

<Windows® 2000 Professionalの場合>
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」

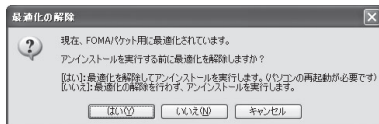
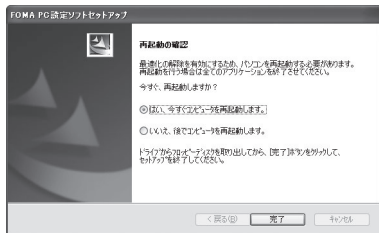
2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して、「削除」をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して、「はい」をクリックする

アンインストールが実行されプログラムが削除されます。

4 「完了」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

■「通信設定最適化」を解除するには
通信設定最適化されている場合は、下の画面が出ます。通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

設定を有効にするために、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、「完了」をクリックしてください。

通信設定最適化

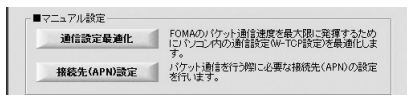
通信設定最適化ソフトの役割

「通信設定最適化」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定」ツールです。
FOMA端末の通信性能を最大限に活用する前に、このソフトウェアによる通信設定の最適化が必要です。
「かんたん設定」で「最適化を行う」にチェックを入れてダイヤルアップを作成した場合、ここでは最適化を行う必要はありません。

最適化の設定と削除

Windows® XPの場合

Windows® XPの場合はダイヤルアップごとに最適化設定が可能です。

1 <「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合>
「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「通信設定最適化」をクリックする

<タスクトレイから操作する場合>
タスクトレイの「通信設定最適化アイコン」をクリックして、プログラムを起動する

2 <システム設定が最適化されていない場合>
「最適化を行う」をクリックする

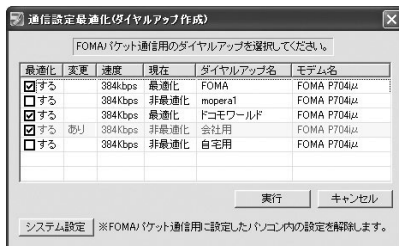
「384Kbps」を選択して最適化を行ってください。
最適化するダイヤルアップを選択し、「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

<システム設定が最適化されている場合>
内容の変更などがある場合は設定を行ってください。

<最適化を解除する場合>
ダイヤルアップ接続のチェックを外す▶「実行」▶「OK」をクリックする

FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。

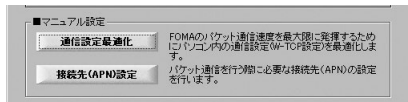
最適化	変更	速度	現在	ダイヤルアップ名	モデム名
☑する		384kbps	最適化	FOMA	FOMA P704iμ
☐する		384Kbps	非最適化	mopera1	FOMA P704iμ
☑する		384Kbps	最適化	ドコモワールド	FOMA P704iμ
☑する	あり	384Kbps	非最適化	会社用	FOMA P704iμ
☐する		384Kbps	非最適化	自宅用	FOMA P704iμ

次ページにつづく

3 「OK」をクリックする

4 「はい」をクリックする

設定を有効にするために、パソコンを再起動します。

Windows® 2000 Professionalの場合

1 <「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合>
「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「通信設定最適化」をクリックする

<タスクトレイから操作する場合>
タスクトレイの「通信設定最適化アイコン」をクリックして、プログラムを起動する

2 <最適化されていない場合>
「最適化を行う」をクリックする

「384Kbps」を選択して最適化を行ってください。

<最適化されている場合>
「最適化を解除する」をクリックする

FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。

3 「OK」をクリックする

4 「はい」をクリックする

設定を有効にするために、パソコンを再起動します。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）の設定をします。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先毎に、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
cid（Context Identifier）とはパケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号のことです。（P.21参照）

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「接続先（APN）設定」をクリックする

2 「OK」をクリックする

「OK」をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動アクセスし、登録されている「接続先（APN）設定」を読み込みます。また、設定情報は手順3でメニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からも読み込めます。

3 接続先（APN）の設定をする

- FOMA端末が接続されていない場合、この画面は表示されません。

接続先（APN）の追加・編集・削除

・接続先（APN）の追加をする場合は「追加」をクリックしてください。
・登録済みの接続先（APN）を編集（修正）する場合は「編集」をクリックします。
・登録済みの接続先（APN）を削除したい場合は、対象の接続先（APN）を選択して「削除」をクリックしてください。
　※「cid1」と「cid3」に登録されている接続先（APN）は削除できません。（「cid3」を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。）

ファイルへの保存

メニューの「ファイル」→「上書き保存」／「名前を付けて保存」からの操作で、FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存したりできます。

ファイルからの読み込み

メニューの「ファイル」→「開く」からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込めます。

次ページにつづく

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

メニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からの操作で、接続先（APN）設定をFOMA端末から読み込めます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込めます。なお、IP接続に対応していないFOMA端末に、IP情報は書き込めません。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面上で追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックすると、パケット通信ダイヤルアップが作成できます。FOMA端末に接続先（APN）情報の書き込みがされていない場合は、FOMA端末設定書き込み確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。書き込み終了後、「パケット通信ダイヤルアップ作成画面」が表示されます。
任意の接続先名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。（mopera Uまたはmoperaの場合は空欄でも接続できます。）
ユーザー名とパスワードを入力し、使用可能ユーザーの選択をして「OK」をクリックしてください。
ご利用のインターネットサービスプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。
設定入力が完了したら、「OK」をクリックしてください。
ダイヤルアップが作成されます。
「mopera U」または「mopera」を利用する場合はP.10参照。
「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合はP.11参照。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows® 標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.20参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.21参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）

<ATコマンドによるパケット通信設定の流れ>

COMポート番号を確認する（P.19参照）

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する（P.20手順3参照）

接続先（APN）の設定をする（P.21手順7参照）

発信者番号の通知／非通知を設定する（P.21手順2参照）

その他の設定をする（P.47参照）

通信ソフトを終了する（P.21手順9参照）

■ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1⏎」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA P704iμ」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先（APN）の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows® XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P704iμ」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.20参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows® 2000 Professionalの場合

1 「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P704iμ」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.20参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は10個まで登録でき、1～10の「cid」（P.21参照）という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定は不要です。
ここでは接続先（APN）が「XXX.abc」で、FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定（P.22参照）での接続先番号となります。

Windows® XPの例

1 **FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する**

2 **FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する**

3 **ハイパーターミナルを起動する**

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
ハイパーターミナル起動後に、「『既定のTelnet』プログラムにしますか？」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフトにご確認ください。
●Windows® 2000 Professionalでは、パソコンで「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。

4 **「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする**

ここでは例として「Sample」と入力します。

5 **接続方法を選択する**

＜「FOMA P704iμ」のCOMポート番号を選択できる場合＞
「接続方法」で「FOMA P704iμ」がインストールされたCOMポート番号を選択して「OK」をクリックします。
このあと手順6へ進んでください。
●ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA P704iμ」のCOMポート番号についてはP.19参照。

＜「FOMA P704iμ」のCOMポート番号を選択できない場合＞
「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。
(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。
(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P704iμ」を選択します。
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。
(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。

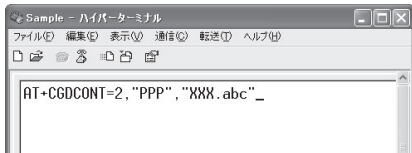
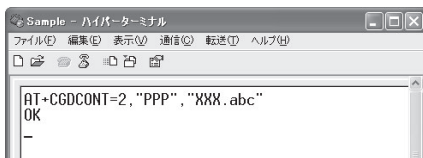
6 **COMポート番号のプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする**

●手順5でCOMポート番号を選択した場合に表示されます。

次ページにつづく

7 接続先（APN）を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PPP","APN"の形式で入力します。
cid：2もしくは4～10までのうち任意の番号を入力します。
※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。
"PPP"についてはそのまま"PPP"と入力します。
"APN"：APNを" "で囲んで入力します。
（例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"
入力後↵を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

- 現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT？↵」と入力します。APN設定が一覧で表示されます。

8 「OK」と表示されることを確認する

9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
- 「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1↵」と入力してください。

■cid（登録番号）について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が接続先（APN）として登録されています。「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合は、cid2とcid4～10のいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先（APN）を設定する必要があります。

お買い上げ時のcid登録

登録番号（cid）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp (mopera)
2	未設定
3	mopera.net (mopera U)
4～10	未設定

■cidに登録した接続先（APN）に接続するときの「電話番号」について

「＊99＊＊＊<cid番号>＃」

（例）cid2に登録した接続先（APN）に接続する場合
＊99＊＊＊2＃

■接続先（APN）設定のリセット／確認について

接続先（APN）設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

接続先（APN）設定のリセット

リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2とcid4～10の設定は未登録となります。
（入力方法）
AT+CGDCONT=↵（すべてのcidをリセットする場合）
AT+CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

接続先（APN）設定の確認

現在の設定内容を表示させます。
（入力方法）
AT+CGDCONT?↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定）を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド（＊DGPIRコマンド）で設定できます。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

- 「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.20参照。

2 ＊DGPIRコマンド（P.49参照）で発信者番号の通知／非通知を設定する

- 発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合は、
  AT＊DGPIR=1↵と入力します。
- 発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合は、
  AT＊DGPIR=2↵と入力します。

3 「OK」と表示されることを確認する

次ページにつづく

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1⏎」と入力してください。

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定（P.22参照）でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。

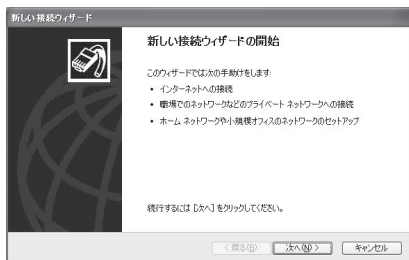
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186（通知）／184（非通知）の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid = 3 の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊3#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊3#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊3#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの186が優先される）
	非通知	
	通知	

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

Windows® XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く

2 「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

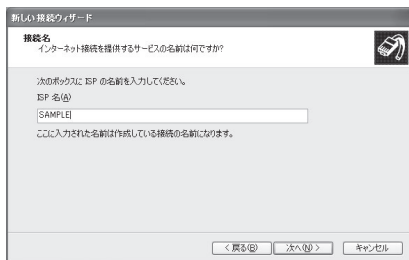
4 「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

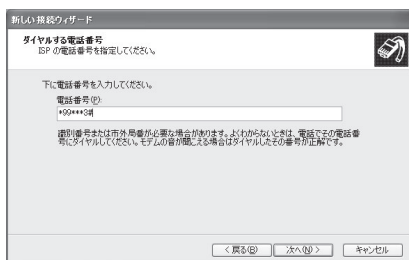
6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P704iμ」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする

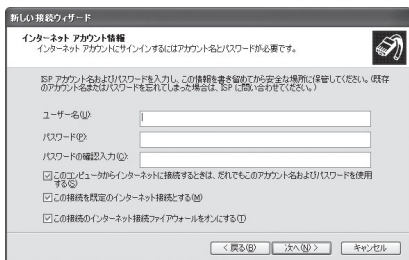
- 「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

8 「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

次ページにつづく

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

10 「完了」をクリックする

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P704iμ」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P704iμ」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P704iμ」以外のモデムのチェックを外してください。

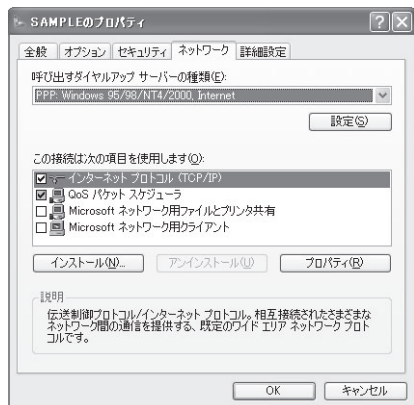
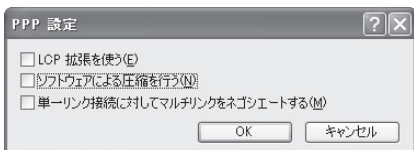
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

●「FOMA P704iμ」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

次ページにつづく

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。
続いて「設定」をクリックします。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

15 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

16 手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows® 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

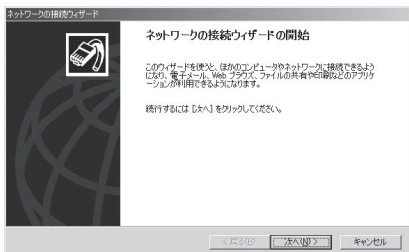
1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

- 「所在地情報」の画面は、手順2で「新しい接続の作成」を初めて起動したときのみ表示されます。
- 2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されるので、手順5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」が表示されたら、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

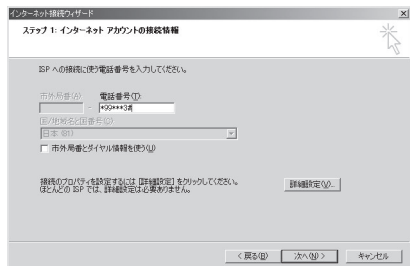
8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

次ページにつづく

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」の欄が「FOMA P704iμ」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする

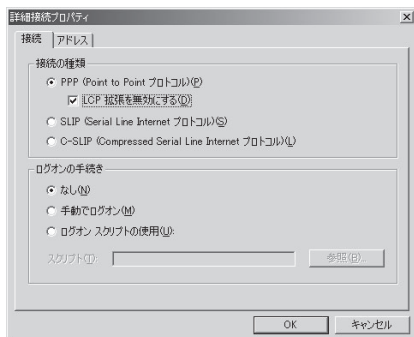
- 選択されていない場合には、「FOMA P704iμ」を選択します。
- お使いになるパソコンの動作環境によっては、下の画面は表示されません。その場合は、手順10へ進みます。

10 「電話番号」の欄に接続先番号を入力する

- 「市外局番」の欄には何も入力しません。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

11 「詳細設定」をクリックする

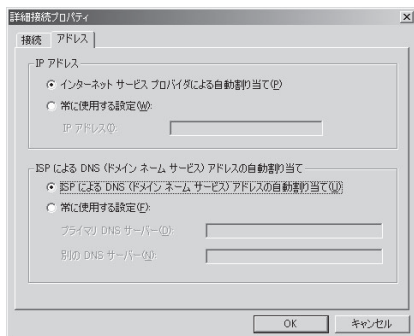
12 「接続」タブの中の設定を行う

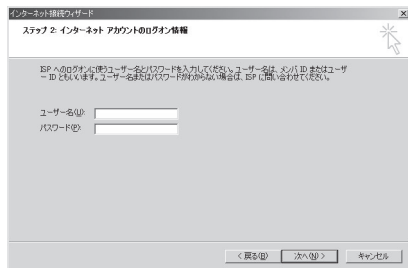
「接続の種類」、「ログオンの手続き」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
設定を確認したら、「アドレス」タブをクリックします。

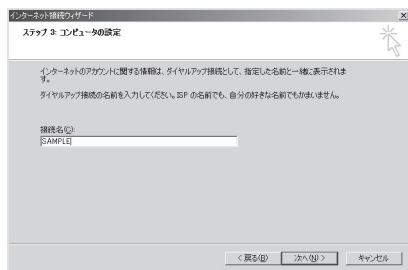
- **「接続」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

13 IPアドレスおよびDNS（ドメインネームサービス）アドレスの設定を行う

「IPアドレス」、「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
すべての入力が終わったら、「OK」をクリックします。手順10の画面に戻るので、「次へ」をクリックします。

- **IPアドレスおよびDNSアドレスの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

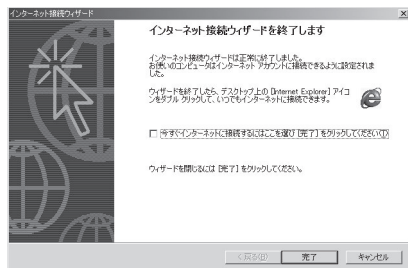
次ページにつづく

14「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたは管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

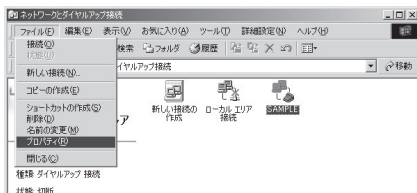
- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。この場合、「ユーザー名を空白のままにしておきますか？」という画面と「パスワードを空白のままにしておきますか？」という画面が表示されます。それぞれの画面で「はい」をクリックして手順15へ進みます。

15「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

16「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックする

- インターネットメールの設定をする場合は、「はい」を選択します。
- **設定する場合の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

17 続いて「TCP/IP」の設定をする

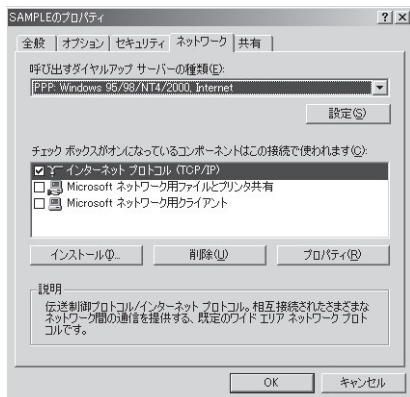
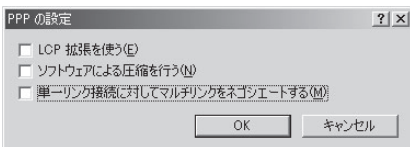
- 下の画面が表示された場合は、「今すぐインターネットに接続するにはここを選び［完了］をクリックしてください」のチェックを外して、「完了」をクリックします。

18「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

19 手順15で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー▶「プロパティ」を選択する

20「全般」タブで設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P704iμ」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックされている場合にはチェックを外します。
- 「FOMA P704iμ」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

次ページにつづく

21 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。
続いて「設定」をクリックします。

22 すべてのチェックを外して「OK」をクリックする

23 手順21の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

ここではWindows® XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.3の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

- パケット通信による接続を行うときにはP.16「通信設定最適化」で通信性能を最適化することをおすすめします。最適化することでFOMAネットワークでの高速通信を最大限に生かして利用できます。最適化を行うにはP.7「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。
- 64Kデータ通信を行う場合は、「通信設定最適化」で最適化をしないでください。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名（P.22参照）のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、下のようなメッセージが数秒間表示されます。

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
- メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「⇁」（通信中、データ送信中）
「⇀」（通信中、データ受信中）
「▯」（通信中、データ送受信なし）
「▯」（発信中、または切断中）
「▯」（着信中、または切断中）

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「▯」が表示されます。

切断のしかた

1 **タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする**

2 **「切断」をクリックする**

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「FOMA P704iμ」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.2参照）を満たしているかを確認してください。 ・「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定（P.18参照）と同じです。
以下の点に注意して操作してください。

- 64Kデータ通信では接続先（APN）の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。（mopera Uに接続する場合は「＊8701」、moperaに接続する場合は「＊9601」と電話番号欄に入力してください。）
- 「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
  （mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。）
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.14、P.27の手順に従って操作してください。

FirstPass PCソフトを利用する

FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末で取得したユーザ証明書を使ってパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにするものです。

FirstPass PCソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FirstPass PCソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必　要　環　境
パソコン本体	PC-AT 互換機
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional、Windows® XP（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 2000 Professional：32M バイト以上※ Windows® XP：128M バイト以上※
ハードディスク容量	10M バイト以上の空き容量※
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上 Windows® XP の場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以上

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

インストールする前に

FirstPass PCソフトをインストールする前にCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

FirstPass PCソフトをインストールする

ここではWindows® XPにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 FirstPass PCソフトをインストールするには**「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

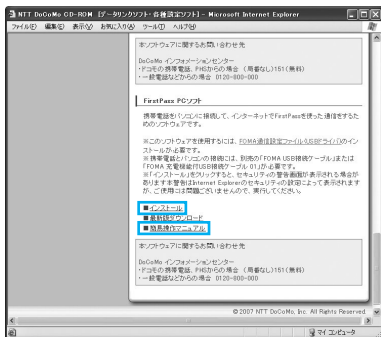
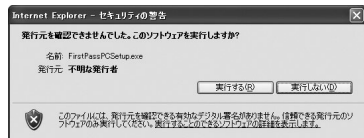
3 「FirstPass PCソフト」の「インストール」をクリックする

引き続き、「簡易操作マニュアル」(PDF形式)の手順に従ってインストールしてください。

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

●「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行」をクリックしてください。

ファイルのダウンロード - セキュリティの警告
このファイルを実行または保存しますか?
名前: FirstPassPCSetup.exe
種類: アプリケーション, 3.57 MB
発信元: E:¥FirstPassPCSoft
実行(R) 保存(S) キャンセル
インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピュータに問題を起こす可能性があります。発信元が信頼できない場合は、このソフトウェアを実行したり保存したりしないでください。危険性の説明

●「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行する」をクリックしてください。

Internet Explorer - セキュリティの警告
発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか?
名前: FirstPassPCSetup.exe
発行元: 不明な発行者
実行する(R) 実行しない(D)
このファイルには、発行元を確認できる有効なデジタル署名がありません。信頼できる発行元のソフトウェアのみ実行してください。実行することのできるソフトウェアの詳細を表示します。

Windows Vista™をご利用の場合

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で初めて接続するときに必要です。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する（P.3参照）

2 Windows® を起動し、付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする

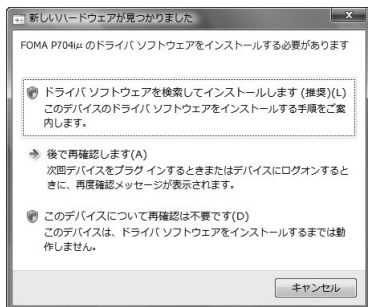
3 「FOMA P704iμ CD-ROM」の画面を閉じる

- この画面は「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合は、手順4へ進みます。
- 「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール中にこの画面が表示された場合も画面を閉じてください。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

5 インストールを始める

タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップのメッセージが数秒間表示されたあと、下の画面が表示されます。
「ドライバソフトウェアを検索してインストールします」を開いて、「続行」をクリックします。

- お使いのパソコンにより、この画面は表示されない場合があります。

6 新しいハードウェアの検出を行う

「ディスクはありません。他の方法を試します」を選択したあと、「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」を選択します。

7 ドライバを選ぶ

「サブフォルダも検索する」のチェックを外します。「参照」をクリックし、「<CD-ROMドライブ名>: ¥USBDriver¥P704iμ_USB_Driver¥WinVista32」を指定し、「次へ」をクリックします。
（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）

8 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする

9 「閉じる」をクリックする

4つの「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）（P.31参照）がすべてインストールされます。
すべての「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「デバイスを使用する準備ができました。デバイス ドライバ ソフトウェアが正しくインストールされました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

引き続き、「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。（P.31参照）

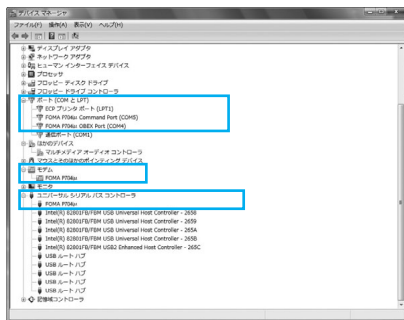
インストールしたドライバを確認する

「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1 「 （スタート）」▶「コントロールパネル」▶「システムとメンテナンス」を開く

2 「ハードウェアとデバイスを表示」を開く▶「続行」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

※COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	P704iμ通信設定ファイル（ドライバ）名
ポート（COM と LPT）	・FOMA P704iμ Command Port ・FOMA P704iμ OBEX Port
モデム	・FOMA P704iμ
ユニバーサル シリアル バス コントローラ	・FOMA P704iμ

「FOMA PC設定ソフト」を使って接続先の設定をするにはP.33参照。
「FOMA PC設定ソフト」を使わずに接続先の設定をするにはP.41、P.45参照。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のアンインストールが必要になった場合（バージョンアップする場合など）は、次の手順で行ってください。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す

2 「 （スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を開く

3 「FOMA P704iμ USB」を選択して、「アンインストールと変更」をクリック▶「続行」をクリック

4 「OK」をクリックする

5 「はい」をクリックしてWindows® を再起動する

以上でアンインストールは終了です。
- 「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

- 「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA USB接続ケーブルを抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、「FOMA P704iμ用CD-ROM」内の「USB Driver」→「WinVista32」を開き「p704iuun.exe」を実行して「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）を一度削除してから、再度インストールし直してください。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。（P.41、P.45参照）

■かんたん設定
ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」などをかんたんに行います。

■接続先（APN）の設定
パケット通信に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。
あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid※の1番にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid※の3番にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。
※「Context Identifier」のことで、パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号

お知らせ

- 旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または、本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン4.0.0）より以前のバージョンをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

STEP1　ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします。

インストール方法についてはP.32参照。
本「FOMA PC設定ソフト」(バージョン4.0.0)より以前のバージョンがインストールされている場合は、本「FOMA PC設定ソフト」をインストールできませんので、あらかじめアンインストールしてください。旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.34参照。

STEP2　設定前の準備

各種設定前の準備をします。

各種設定の前にFOMA端末にパソコンが接続され、正しく認識されていることを確認してください。FOMA USB接続ケーブル(別売)の取り付け方法ついてはP.3参照。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行えません。FOMA端末がパソコンに正しく認識されているか確認するにはP.31参照。
「P704iμ通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール方法についてはP.30～P.31参照。

STEP3　各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします。

かんたん設定からパケット通信を設定する
- 「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合…………P.35
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合…………P.36

かんたん設定から64Kデータ通信を設定する
- 「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合…………P.37
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合…………P.38

接続先(APN)を設定するにはP.40参照。

STEP4　接　続

インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、接続先(APN)の設定ができます。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

FOMA端末がパソコンに正しく認識されているかご確認ください

「FOMA PC設定ソフト」をインストールする前に、パソコンのデバイス上に「P704iμ通信設定ファイル」(ドライバ)が正しく登録されている必要があります。(P.31参照)

■FOMA端末をはじめてパソコンに接続すると

下のようなウィザードが開始されます。
FOMAデータ通信を利用するには、ご利用のパソコン側に、FOMA端末が「通信デバイス」として登録されている必要があります。
「P704iμ通信設定ファイル」(ドライバ)のインストールについてはP.30～P.31参照。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

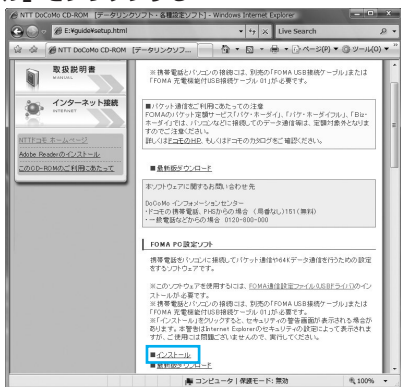
お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 **付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 「FOMA PC設定ソフト」をインストールするには**「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

メニューが動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer7.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
「コンピュータ」などでCD-ROMを参照して、「FOMA_PCSET」フォルダ内にある「setup_4.0.0.exe」をダブルクリックしてください。手順4へ進みます。

- ●「FOMA PC設定ソフト」のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

3 **「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」をクリックする**

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

- ●**「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行」をクリックしてください。

4 **「続行」をクリック▶「次へ」をクリックする**

セットアップを始める前に、現在稼働中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックして、ご使用中のプログラムを保存終了させたあとインストールを再開してください。

- ●「旧FOMAデータ通信設定ソフト」および「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.34参照。

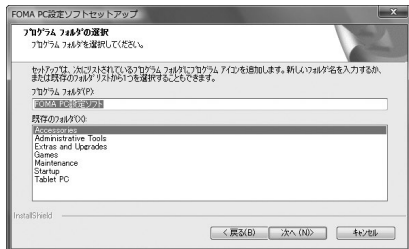
5 **内容をご確認の上、契約内容にご同意いただける場合は、「はい」をクリックする**

次ページにつづく

6 インストール先を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、「参照」をクリックして、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。
（異なったドライブにもインストールできますが、ハードディスクスペースなどの問題がなければそのままお進みください。）

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、新規フォルダ名を入力して、「次へ」をクリックしてください。

8 「完了」をクリックする

セットアップが完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。

■「FOMA PC設定ソフト」インストール時の画面表示

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「プログラムのアンインストール」から旧バージョンの「FOMAデータ通信設定ソフト」をアンインストールしてください。

インストール途中で「キャンセル」を押した場合
セットアップの途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックした場合、確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は「いいえ」を、意図的に中止する場合は「はい」をクリックし、「完了」をクリックしてください。

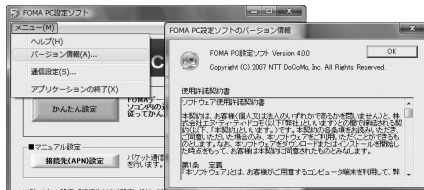
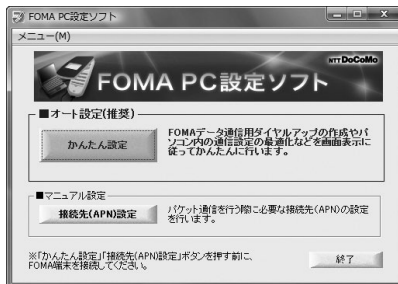
■「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報の確認について

「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」→「バージョン情報」を選択します。
「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報が表示されます。

通信の設定を行う

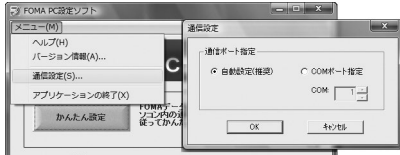
パケット通信や64Kデータ通信に関するさまざまな設定をします。
簡単に設定できる「オート設定」とパソコンの知識が必要な「マニュアル設定」があります。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されているかご確認ください。

1 「(スタート)」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を開く

この設定ソフトでは、お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダの情報」に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

・「かんたん設定」からパケット通信を設定する場合はP.35参照。
・「かんたん設定」から64Kデータ通信を設定する場合はP.37参照。
・「接続先（APN）設定」をする場合はP.40参照。

通信ポート指定について

1 「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」▶「通信設定」を選択する

・自動設定（推奨）
　自動的に接続されているFOMA端末を指定します。
　通常は自動設定をお選びください。
・COMポート指定
　COMポート番号を指定したい場合に、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポート番号（COM1 ～ 99）を指定します。

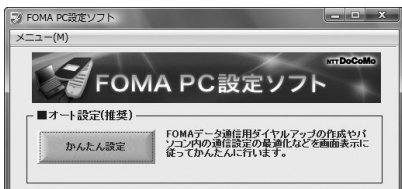
●COMポート番号の確認方法についてはP.41参照。

2 「OK」をクリックする

設定が適用されます。

かんたん設定からパケット通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。

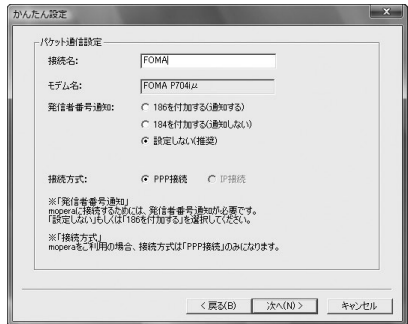
●「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.36参照。

4 「OK」をクリックする

●パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

●半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
●本端末はPPP接続のみに対応しておりますので、接続方式は「PPP接続」を選択してください。
●ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択してください。「mopera U」および「mopera」に接続する場合は発信者番号通知が必要です。「設定しない」または「186を付加する」を選択してください。

6 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。

●ユーザーの選択は任意に行ってください。

7 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

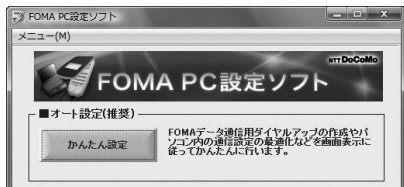
●設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
●「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

8 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.38参照）

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込みなどが必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 「OK」をクリックする

●パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力する

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

●半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。

●「接続先（APN）の選択」欄には標準で「mopera.ne.jp（PPP接続）」が設定されていますが、「接続先（APN）設定」画面に進んでください。

●ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択します。発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

6 「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、番号（cid）1には「mopera.ne.jp」が、番号（cid）3には「mopera.net」が設定されています。「追加」をクリックして、「接続先（APN）の追加」画面で、FOMAパケット通信に対応した接続先名（APN）を正しく入力して、「OK」をクリックします。

「パケット通信設定」の画面に戻ります。新たに設定した接続先（APN）を選択して、よろしければ「OK」をクリックしてください。

●本端末はPPP接続のみに対応しておりますので、接続方式は「PPP接続」を選択してください。
プロバイダの接続先（APN）、対応する接続方式については、各プロバイダにお問い合わせください。

7 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

8 「次へ」をクリックする

9 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

次ページにつづく

10 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

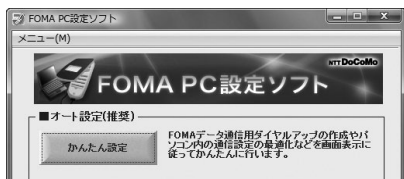
11 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.38参照）

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。

- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.38参照。

4 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
また、「モデムの選択」欄で、FOMA P704iμが表示されていることをご確認ください。

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択してください。「mopera U」および「mopera」に接続する場合は発信者番号が必要です。

5 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。

- ユーザーの選択は任意に行ってください。

6 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

7 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.38参照）

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込みなどが必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 ダイヤルアップ情報を入力する

「mopera U」または「mopera」以外のISDN同期64K対応プロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、
①接続名の入力（任意）
②モデムの選択（FOMA P704iμ）
③プロバイダ接続の電話番号
をそれぞれに登録します。
④ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択します。
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。

- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。
- 「接続名」欄に半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。

5 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

6 「次へ」をクリックする

7 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.38参照）

設定した通信を実行する

P.3の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「（スタート）」▶「接続先」を開き、接続先を選択して「接続」をクリックする

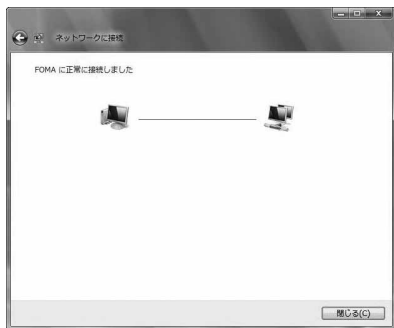
- 通信設定で作成されたFOMA接続のショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。ショートカットアイコンがない場合は以下の操作でアイコンを表示します。
「（スタート）」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「ネットワーク接続の管理」

次ページにつづく

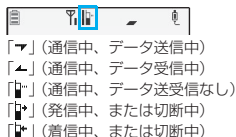
2 ユーザー名、パスワードを入力し、「ダイヤル」をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合はユーザー名、パスワードについては空欄でも接続できます。
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」にチェックを付けると、このユーザーもしくはすべてのユーザーは次回から入力する必要がなくなります。

3 接続されたことを確認し、「閉じる」をクリックする

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「」（通信中、データ送信中）
「」（通信中、データ受信中）
「」（通信中、データ送受信なし）
「」（発信中、または切断中）
「」（着信中、または切断中）

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「」が表示されます。

切断のしかた

1 「（スタート）」▶「接続先」を開く

2 通信中のアイコンを選択して、「切断」をクリックする▶「閉じる」をクリックする

お知らせ

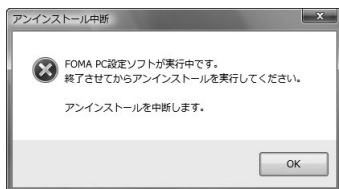
- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

1 起動中のプログラムを終了する

- 「FOMA PC設定ソフト」を終了するには、右下にある「終了」をクリックします。
- 「FOMA PC設定ソフト」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、プログラムを終了させてください。

アンインストールをする

お使いのパソコンにより画面の表示が異なります。

●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 **「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を開く**

2 **「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して、「アンインストール」をクリックする▶「続行」をクリックする**

3 **「はい」をクリックする**

アンインストールが実行されプログラムが削除されます。

4 **「完了」をクリックする**

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）の設定をします。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先毎に、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
cid（Context Identifier）とはパケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号のことです。

1 **「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「接続先（APN）設定」をクリックする**

2 **「OK」をクリックする**

「OK」をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動アクセスし、登録されている「接続先（APN）設定」を読み込みます。また、設定情報は手順3でメニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からも読み込めます。

3 **接続先（APN）の設定をする**

●FOMA端末が接続されていない場合、この画面は表示されません。

接続先（APN）の追加・編集・削除

・接続先（APN）の追加をする場合は「追加」をクリックしてください。
・登録済みの接続先（APN）を編集（修正）する場合は「編集」をクリックします。
・登録済みの接続先（APN）を削除したい場合は、対象の接続先（APN）を選択して「削除」をクリックしてください。
※「cid1」と「cid3」に登録されている接続先（APN）は削除できません。（「cid3」を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。）

ファイルへの保存

メニューの「ファイル」→「上書き保存」／「名前を付けて保存」からの操作で、FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存したりできます。

ファイルからの読み込み

メニューの「ファイル」→「開く」からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込めます。

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

メニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からの操作で、接続先（APN）設定をFOMA端末から読み込めます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込めます。
なお、IP接続に対応していないFOMA端末に、IP情報は書き込めません。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面上で追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックすると、パケット通信ダイヤルアップが作成できます。FOMA端末に接続先（APN）情報の書き込みがされていない場合は、FOMA端末設定書き込み確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。書き込み終了後、「パケット通信ダイヤルアップ作成画面」が表示されます。
任意の接続先名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。（mopera Uまたはmoperaの場合は空欄でも接続できます。）
ユーザー名とパスワードを入力し、使用可能ユーザーの選択をして「OK」をクリックしてください。
ご利用のインターネットサービスプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。
設定入力が完了したら、「OK」をクリックしてください。
ダイヤルアップが作成されます。
「mopera U」または「mopera」を利用する場合はP.35参照。
「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合はP.36参照。

次ページにつづく

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.42参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.42参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）
<ATコマンドによるパケット通信設定の流れ>

COMポート番号を確認する

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する

接続先（APN）の設定をする

発信者番号の通知／非通知を設定する

その他の設定をする

通信ソフトを終了する

■ATコマンドについて
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1⏎」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA P704iμ」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先（APN）の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

1 **「（スタート）」▶「コントロールパネル」を開く**

2 **「コントロールパネル」の「ハードウェアとサウンド」から「電話とモデムのオプション」を開く**

3 **「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする**

4 **「モデム」タブを開き、「FOMA P704iμ」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする**

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.42参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定に従ってください。）

接続先（APN）の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は10個まで登録でき、1～10の「cid」という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定は不要です。
ここでは接続先（APN）が「XXX.abc」で、FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定（P.42参照）での接続先番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定）を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド（＊DGPIRコマンド）で設定できます。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

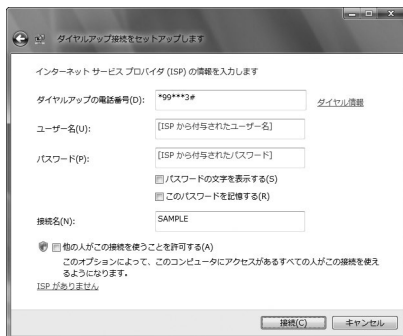
1 「（スタート）」▶「接続先」▶「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

2 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して、「次へ」をクリックする

3 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P704iμ」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする

- 「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

4 「接続名」の欄に任意の名前を入力する

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

5 「ダイヤルアップの電話番号」の欄に接続先番号を入力する

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。

6 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「接続」をクリックする▶「スキップ」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。
- ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

7 「接続をセットアップします」をクリックする▶「閉じる」をクリックする

8 「（スタート）」▶「接続先」▶接続済みの接続先を選んで、右クリックから「プロパティ」を選択する

次ページにつづく

9 「全般」タブで設定を確認する

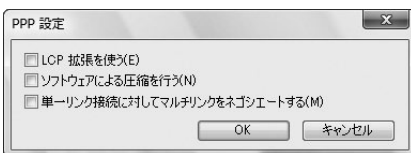
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P704iμ」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P704iμ」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P704iμ」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P704iμ」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。

10 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は必要に応じて設定してください。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

11 「オプション」タブをクリックして、「PPP設定」をクリックする

12 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

13 手順9の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

P.3の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

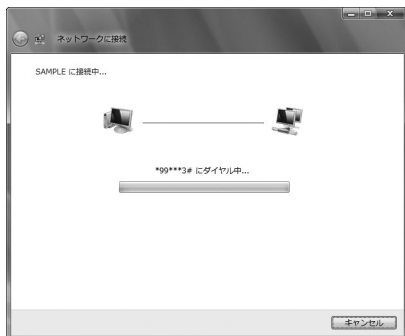
1 「（スタート）」▶「接続先」を開く

2 接続先を選択して「接続」をクリックする

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示される

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了後、「閉じる」をクリックする

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「 」（通信中、データ送信中）
「 」（通信中、データ受信中）
「 」（通信中、データ送受信なし）
「 」（発信中、または切断中）
「 」（着信中、または切断中）

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「 」が表示されます。

切断のしかた

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「接続または切断」を選択して、「切断」をクリックする▶「閉じる」をクリックする

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「FOMA P704iμ」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.2参照）を満たしているかを確認してください。 ・「P704iμ通信設定ファイル」（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定（P.41参照）と同じです。
以下の点に注意して操作してください。

- 64Kデータ通信では接続先（APN）の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。（mopera Uに接続する場合は「*8701」、moperaに接続する場合は「*9601」と電話番号欄に入力してください。）
- 「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
  （mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。）
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.38、P.44の手順に従って操作してください。

FirstPass PCソフトを利用する

FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末で取得したユーザ証明書を使ってパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにするものです。

FirstPass PCソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FirstPass PCソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必　要　環　境
パソコン本体	PC-AT 互換機
OS	Microsoft® Windows Vista™（日本語版）
必要メモリ	512M バイト以上※
ハードディスク容量	10M バイト以上の空き容量※
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 7.0 以上

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

インストールする前に

FirstPass PCソフトをインストールする前にCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

FirstPass PCソフトをインストールする

お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 **付属の「FOMA P704iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 FirstPass PCソフトをインストールするには**「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

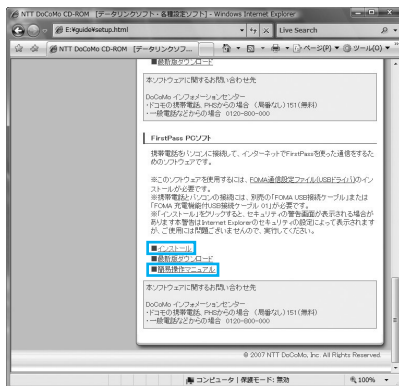
3 **「FirstPass PCソフト」の「インストール」をクリックする**

引き続き、「簡易操作マニュアル」(PDF形式)の手順に従ってインストールしてください。

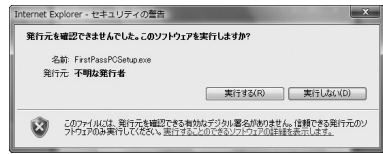
「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

●**「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**

「実行」をクリックしてください。

ファイルのダウンロード - セキュリティの警告
このファイルを実行または保存しますか?
名前: FirstPassPCSetup.exe
種類: アプリケーション, 3.57 MB
発信元: E:¥FirstPassPCSoft
実行(R) 保存(S) キャンセル

●**「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**

「実行する」をクリックしてください。

Internet Explorer - セキュリティの警告
発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか?
名前: FirstPassPCSetup.exe
発行元: 不明な発行者
実行する(R) 実行しない(D)

ATコマンドを利用する

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド（命令）です。
※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[AT]：FOMA P704iμ Command Portで使用できるコマンドです。
[M]：FOMA P704iμ（モデム）で使用できるコマンドです。
[&F]：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[&W]：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻せます。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

●入力例

●ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。

お知らせ

●ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。
・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
●オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO↵」と入力します。
※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■設定の保存について
AT+CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ONまたは外部機器の取り外し時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W↵」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF･ON後であっても、「ATZ↵」と入力することにより、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	−	A/ OK
AT% V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT% V Ver1.00 OK
AT&Cn [M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0： CDは常にON n=1： CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	n=0： ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） n=1： ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 n=2： ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [M] [&F][&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0： 無線区間通信速度を表示します。 n=1： DTEシリアル通信速度を表示します。（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT&Sn [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n=0： DRは常にON（初期値） n=1： DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&Wn [M]	現在の設定値を記憶します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT*DANTE [AT][M]	アンテナの本数を表示します。（0～3）	=0： FOMA端末のアンテナが圏外 =1： FOMA端末のアンテナが0本または1本 =2： FOMA端末のアンテナが2本 =3： FOMA端末のアンテナが3本	AT*DANTE *DANTE:3 OK AT*DANTE=? *DANTE:(0-3) OK
AT*DGANSM=n [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n=0： 着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） n=1： 着信拒否設定（AT*DGARL）を有効にします。 n=2： 着信許可設定（AT*DGAPL）を有効にします。 AT*DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT*DGANSM=0 OK AT*DGANSM? *DGANSM:0 OK
AT*DGAPL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0： <cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 n=1： <cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT*DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT*DGAPL=0,1 OK AT*DGAPL? *DGAPL:1 OK AT*DGAPL=1 OK AT*DGAPL? OK
AT*DGARL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。 APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0： <cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 n=1： <cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT*DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT*DGARL=0,1 OK AT*DGARL? *DGARL:1 OK AT*DGARL=1 OK AT*DGARL? OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=n [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。 （P.21、P.42参照）	n=Ø：　APNをそのまま使用します。（初期値） n=1：　APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） n=2：　APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT＊DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT＊DGPIR=Ø OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:Ø OK
AT＊DRPW [AT][M]	受信電力指標を表示します。（Ø：最小値～75：最大値）	－	AT＊DRPW ＊DRPW:Ø OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	－	－
AT+CEER [M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.54参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.53参照。	P.53参照。
AT+CGEQMIN [M]	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.53参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.53参照。
AT+CGEQREQ [M]	PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.53参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.53参照。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 12345123451234561 OK
AT+CGREG=n [M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n=Ø：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： Ø：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,Ø OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 123456789Ø12345 OK
AT+CLIP=n [AT][M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n=Ø：　通知しません。（初期値） n=1：　通知します。 リザルト：+CLIP：<n>,<m> m=Ø：　発信時の相手に番号を通知しないNW設定 m=1：　発信時の相手に番号を通知するNW設定 m=2：　不明	AT+CLIP=Ø OK AT+CLIP? +CLIP:Ø,1 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CLIR=n [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n=0：CLIRサービスの契約に従い、発番通知されます（されません）。 n=1：通話相手に番号発信しません。 n=2：通話相手に番号発信します。（初期値） リザルト：+CLIR：<n>,<m> m=0：CLIRは起動していません。（常時通知） m=1：CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2：不明 m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=n [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0：通常のERRORリザルトを用います。（初期値） n=1：+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 n=2：+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR：SIM not inserted
AT+CNUM [AT][M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number：電話番号 type：129もしくは145 129: 国際アクセスコード+を含まない 145: 国際アクセスコード+を含む リザルト：+CNUM:,<number>,<type>	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK
AT+CR=n [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n=0：表示しません。（初期値） n=1：表示します。 <serv>：パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。 （回線種別により"SYNC"、"AV32K"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=n [AT][M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0：+CRINGを使用しません。（初期値） n=1：+CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC：0 OK
AT+CREG=n [AT][M] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。	n=0：通知なし。（初期値） n=1：通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：音声圏外 1：音声圏内 4：不明 5：音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+GMI [M]	メーカ名（Panasonic）を表示します。	－	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P704iμ）を表示します。	－	AT+GMM FOMA P704imyu OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	n：　DCE by DTE m：　DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m=2,2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46=n [M] [&F][&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	n=22：W-CDMA（Wideband CDMA）のみ指定可能です。（初期値）	AT+WS46=22 OK
ATA [M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD [M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1～10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略できます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：　エコーバックなし n=1：　エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn [M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0：　回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER
ATIn [AT][M]	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示します。 n=1：製品名を表示します。（+GMMと同じ） n=2：PPPパケット機能のバージョンを表示します。（+GMRと同じ）	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P704imyu OK
ATOn [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0：　オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：　リザルトコードを表示します。（初期値） n=1：　リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 (このとき、OKは応答されません。)
ATS0=n [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：　自動着信しません。（初期値） n=1～255：指定したリング回数で自動着信します。 （n≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動着信せず約30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=43：　初期値 n=127：エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13：　初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10：　初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS5=n [M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? ØØ8 OK
ATS3Ø=n [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザーデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定がØの場合、不活動タイマOFFとなります。	n=Ø～255（初期値はØ）（単位：分）	ATS3Ø=Ø OK
ATS1Ø3=n [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=Ø：　＊（アスタリスク） n=1：　／（スラッシュ）（初期値） n=2：　￥またはバックスラッシュ	ATS1Ø3=Ø OK
ATS1Ø4=n [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=Ø：　#（シャープ） n=1：　%（パーセント）（初期値） n=2：　&（アンド）	ATS1Ø4=Ø OK
ATVn [M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=Ø：　リザルトコードを数値で返送します。 n=1：　リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATXn [M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=Ø：　ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 n=1：　ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=2：　ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=3：　ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 n=4：　ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK
ATZ [M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	－	（オンライン時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK
AT￥S [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	－	AT￥S E1 QØ V1 X4 &C1 &D2 &SØ ￥VØ SØØØ=ØØØ SØØ2=Ø43 SØØ3=Ø13 SØØ4=Ø1Ø SØØ5=ØØ8 SØØ6=ØØ5 SØØ7=Ø6Ø SØØ8=ØØ3 SØ1Ø=ØØ1 SØ3Ø=ØØØ S1Ø3=ØØØ S1Ø4=ØØØ OK
AT￥Vn [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	n=Ø：　拡張リザルトコードを使用しません。（初期値） n=1：　拡張リザルトコードを使用します。	AT￥VØ OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。

- AT（ATのみの入力）
- ATP（パルス設定）
- ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
- ATT（トーン設定）
- ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
- ATS1Ø（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名： +CGDCONT [M]

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>※ ：1 ～ 1Ø
<APN>※ ：任意

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1 ～ 1Øが登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4 ～ 1Øに設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します
+CGDCONT=<cid> ：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=? ：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT? ：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名： +CGEQMIN=[パラメータ] [M]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>
[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※ ：1 ～ 1Ø
<Maximum bitrate UL>※ ：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>※ ：なし（初期値）または384

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1 ～ 1Øが登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4 ～ 1Øに設定します。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid> ：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の4パターンのみ設定できます。（(1)の設定が各cidに初期値として設定されています。）

(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2)上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384
OK

(3)上り64kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64
OK

(4)上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名： +CGEQREQ=[パラメータ] [M]

・概要

PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。

・書式

+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明

<cid>※：1 ～ 1Ø

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1 ～ 1Øが登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4 ～ 1Øに設定します。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQREQ= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid> ：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の1パターンのみ設定できます。
（各cidに初期値として設定されています。）

(1)上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名： +CLIP

・概要

"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。
+CLIP：<number><type>

・コマンド実行例

AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："Ø9Ø12345678",49

切断理由一覧

■64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

■パケット通信

値	理由
27	APN が存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

■リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
7	BUSY	話中音の検出中です
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■拡張リザルトコード

&E0のとき
FOMA端末−基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ

- ATVnコマンド（P.52参照）がn=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末−PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64K データ通信で接続
2	AV32K	テレビ電話 32K で接続
3	AV64K	テレビ電話 64K で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■リザルトコード表示例

- ATX0が設定されている場合
  AT￥Vコマンド（P.52参照）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1
- ATX1が設定されている場合※
  ・ATX1、AT￥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末−PC間の速度>の書式で表示します。
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1 21
  ・ATX1、AT￥V1が設定されている場合※
  接続完了のときに、以下の書式で表示します。
  CONNECT<FOMA端末−PC間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT 460800 PACKET
  　　　　　　　mopera.ne.jp /64/384
  　　　　　　　(mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。)
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1215
  ※ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
  AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。

'07.7（第1版）
S0707F0

FOMA® P704iμ

区点コード一覧

＜区点コード一覧表の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【		あ		】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【		い		】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【		う		】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【		え		】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【		お		】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【		か		】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【		き		】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【		く		】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【		け		】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【		こ		】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【		さ		】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【		し		】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【		す		】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【		せ		】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【		そ		】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	【		た		】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【		ち		】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【		つ		】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【		て		】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【		と		】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【		な		】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【		に		】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【		ぬ		】					
390									濡	
	【		ね		】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【		の		】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【		は		】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【		ひ		】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【		ふ		】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【		へ		】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【		ほ		】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【		ま		】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【		み		】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【		む		】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【		め		】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【		も		】					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【		や		】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【		ゆ		】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【		よ		】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【		ら		】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【		り		】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【		る		】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【		れ		】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【		ろ		】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【		わ		】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	禄
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

'07.7（第1版）
S0707F0